

電子的な標準様式（案）

令和5年3月29日	参考資料5
第4回 第4期特定健診・特定保健指導の見直しに関する検討会	

資料名	実施機関→保険者	保険者→国
	(A)	(B)
特定健診・特定保健指導 交換用基本情報ファイル仕様説明書	1-1A	1-1B
特定健診・特定保健指導 交換用基本情報ファイル仕様説明書 XMLスキーマファイル	1-2A	1-2B
特定健診・特定保健指導 決済情報集計ファイル仕様説明書	2-1A	-
特定健診・特定保健指導 決済情報集計ファイル仕様説明書 XMLスキーマファイル	2-2A	-
特定健診・特定保健指導 集計情報ファイル仕様説明書	-	2-3B
特定健診・特定保健指導 集計情報ファイル仕様説明書 XMLスキーマファイル	-	2-4B
特定健診情報ファイル仕様説明書	3-1A	3-1B
特定健診情報ファイル仕様説明書 XMLスキーマファイル	3-2AB	
特定健診決済情報ファイル仕様説明書	4-1A	-
特定健診決済情報ファイル仕様説明書 XMLスキーマファイル	4-2A	-
特定保健指導情報ファイル仕様説明書	5-1A	5-1B
特定保健指導情報ファイル仕様説明書 XMLスキーマファイル	5-2AB	
特定保健指導決済情報ファイル仕様説明書	6-1A	-
特定保健指導決済情報ファイル仕様説明書 XMLスキーマファイル	6-2A	-
共通XMLスキーマファイル説明書	7-1A	7-1B
共通XMLスキーマファイル ファイル1	7-2AB	
共通XMLスキーマファイル ファイル2	7-3AB	
共通XMLスキーマファイル ファイル3	7-4AB	
共通XMLスキーマファイル ファイル4	7-5AB	
共通XMLスキーマファイル ファイル5	7-6AB	
特定健診・特定保健指導のデータファイル送付用ファイルアーカイブ仕様説明書	8-1A	-
提出用データアーカイブ仕様	-	8-2B
特定健診情報ファイル仕様説明書（閲覧用）	-	9-1B
共通XMLスキーマファイル説明書（閲覧用）	-	9-2B
提出用データアーカイブ仕様（閲覧用）	-	9-3B
特定健診情報ファイル仕様説明書（匿名済）	-	10-1B
特定保健指導情報ファイル仕様説明書（匿名済）	-	10-2B
OID(オブジェクトID)表	付属1	
XML用特定健診項目情報	付属2	
XML用特定保健指導項目情報	付属3	
各XMLスキーマ・仕様説明書とデータファイル概念図との対応関係図	付属4	
メタボリックシンドローム判定・保健指導レベル判定のロジック・集計情報ファイルの計算方法	参考	

特定健診・特定保健指導の電子的なデータ標準様式

1-1A 特定健診・特定保健指導 交換用基本情報ファイル
(健診・保健指導機関等→医療保険者)

仕様説明書

Version 4

	Version: 4
仕様説明書	2023.03.31

目次

1.	はじめに	1
1.1	目的	1
1.2	参考資料	1
2.	文書項目	1
3.	XML仕様	2
3.1	交換用基本情報 (index)	4
3.2	作成年月日	6
3.3	オブジェクト識別子	6
4.	コード表	7
5.	OID仕様	8
6.	サンプルXML	8

	Version: 4
仕様説明書	2023.03.31

修正履歴

2008.4.3 V1.41 より以後の修正履歴

日付	版	修正内容
2008年4月3日	1. 4 1	厚労省通知と連携して公表。
2009年3月30日	2	他の仕様説明書に合わせてバージョン番号を2に統一。 仕様上の修正はないが、厚労省通知を引用していることを明示。 1.1 説明を適正化。 3 説明を補足。
2017年3月31日	3	<p>■XML仕様上に関する修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診情報／特定保健指導情報交換用共通 XML スキーマ (co08_V08.xsd)の「詳細な健診項目コード(別表 8)」「保健指導実施時点コード(別表 11)」「保健指導区分コード(別表 12)」に新規コードを追加 <p>■XML仕様上に関係のない修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バージョンを「2」から「3」に修正 ・1.2 参考資料の資料名を修正
2020年3月31日	3. 1	<p><本仕様書の適用範囲> オンライン資格確認等システムを活用した特定健診情報等の保険者間引継ぎ実施に伴い、加入者を特定するための被保険者証等枝番の項目追加と特定健診情報等の閲覧用ファイルの新規追加に伴う変更内容を反映させた。</p> <p>■XML仕様上に関する修正</p> <p><被保険者証等枝番の追加に伴う修正></p> <p>7. XML スキーマ</p> <p><閲覧用ファイル追加に伴う修正></p> <p>3.1 交換用基本情報(index)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種別コード:10 の場合の説明削除 ・予備用種別コードの記載変更 ・表 1 交換用基本情報 XML 仕様の 4 receiver に関する説明変更 ・表 5 交換用基本情報 XML 仕様の 4 に送付先機関が出現しない条件の記載変更 <p>4. コード表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表 8 種別コード (12:変更、14~20:予備追加) ・表 9 実施区分コード (3:「匿名化済」を明記、5:新規追加、6~9:予備追加) <p>7. XML スキーマ</p> <p><総ファイル数の拡大に伴う修正></p> <p>3.1 交換用基本情報(index)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表 5 交換用基本情報 XML 仕様の 6.1 に記録できる総ファイル数の桁数を 6 桁から 8 桁に変更 ・7. XML スキーマ <p>■XML仕様上に関係しない修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バージョンを「3」から「3.1」に変更 ・各種サンプル XML の日付変更
2023年3月31日	4	<p>■XML仕様上に関する修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種別コード、実施区分コードの名称変更に合わせて表 8、表 9 を

	Version: 4
仕様説明書	2023.03.31

		<p>修正</p> <ul style="list-style-type: none">XML 名前空間を変更 (https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html) <p>■XML 仕様上に関係しない修正</p> <ul style="list-style-type: none">本仕様書のファイル名を変更バージョンを「3.1」から「4」に変更1.1 目的の厚労省通知との対応関係に係る記載を削除1.2 参考資料のリンクを最新のリンクに修正7. XML スキーマの記載を削除各種サンプルの日付変更その他既存誤記及び見栄え修正
--	--	--

	Version: 4
仕様説明書	2023.03.31

交換用基本情報ファイル仕様説明書

1. はじめに

1.1 目的

本書は、特定健診データの電子的交換に必要なファイルのうち、特定健診情報、及び、特定保健指導情報の交換用基本情報ファイルのXML仕様を定めたものである。

1.2 参考資料

下記は、この文書で参照している標準仕様及び研究報告書等の名称、バージョン、並びにその説明の一覧である。

[1] 厚生労働省, 「標準的な健診・保健指導プログラム(改定版)」

[2] 厚生労働省, 「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」

[3] HL7 Inc, HL7 Version 3 Normative Edition 2006, <http://www.hl7.org/>.

[4] XML Schema Part 2: Datatypes, W3C Recommendation, <http://www.w3.org/TR/xmlschema-2/>.

[5] 総務省, 全国地方公共団体コード, <https://www.soumu.go.jp/denshijiti/code.html>

※[1]、[2]については、厚生労働省 HP 「特定健診・特定保健指導について」

(<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html>) に公表されている最新版を参照すること。

2. 文書項目

特定健診情報、特定保健指導情報の交換用基本情報ファイルの項目を表1に示す。

表1 交換用基本情報ファイル項目一覧

No	ファイルの記録内容	フィールド名称	記録内容
1	特定健診/特定保健指導交換用情報	種別	結果送付・返戻送付等の別を記録
2		送付元機関	特定健診機関番号、特定保健指導機関番号、代行機関番号又は保険者番号を記録
3		送付先機関	特定健診機関番号、特定保健指導機関番号、代行機関番号又は保険者番号を記録
4		作成年月日	ファイルの作成年月日(西暦)を記録
5		実施区分	特定健診:「1」を記録。特定保健指導:「2」を記録。
6		総ファイル数	このアーカイブに含まれる特定健診情報ファイル・特定保健指導情報ファイルの総ファイル数を記録。

	Version: 4
仕様説明書	2023.03.31

3. XML 仕様

XML 設計における基本方針として、できる限り単純な XML とするが、日付や識別子などのデータ型のモデルは、HL7 CDA R2 形式で記述される特定健診情報/特定保健指導情報ファイルとの整合性を考慮した。また、内容の妥当性の確認のために属性値と内容モデルとの共起制約のチェックが必要になるといった、XML スキーマだけでは単純に記述できないような制約は可能な限り用いないことを方針とした。

本書では、XML 仕様を表 2 に示す表形式で記述する。

「要素名」で示される行は、その表に示される XML 要素名である。この要素の子要素または属性を表中の各行に示す。このとき、灰色に網掛けした行は XML 要素を表し、網掛けされていない行は、属性またはテキスト内容を表す。

「要素/属性」列は、各行が示す項目が XML 要素の場合要素名を、属性の場合は属性名を表す。属性名の前には「@」を付与する。テキスト内容の場合は「テキスト内容」を示す。

「型」列は、「要素」「属性」「テキスト」の 3 種類の値をとり、それぞれ、その行が表す内容が、XML 要素、属性、テキスト内容であることを示す。

多重度は、指定された要素または属性の出現数の最小値と最大値とを「..」の両端に示す形で表現する。最大値に制限がない場合は「*」（アスタリスク）で示す。例えば、下表 2 の場合、interactionType 要素は、XML 中に 0 または 1 つのみ出現し、sender 要素は、1 つ以上複数個出現することを意味する。なお、多重度は、その項目の上位の項目が出現する場合の多重度となる。例えば下の例では、interactionType 要素の多重度が「0..1」で、その下位項目である code 属性の多重度が「1..1」であるということは、上位項目である interactionType 要素自体は省略することが可能であるが、interactionType 要素が出現する場合には、その下位項目である code 属性も必ず出現することを意味している。

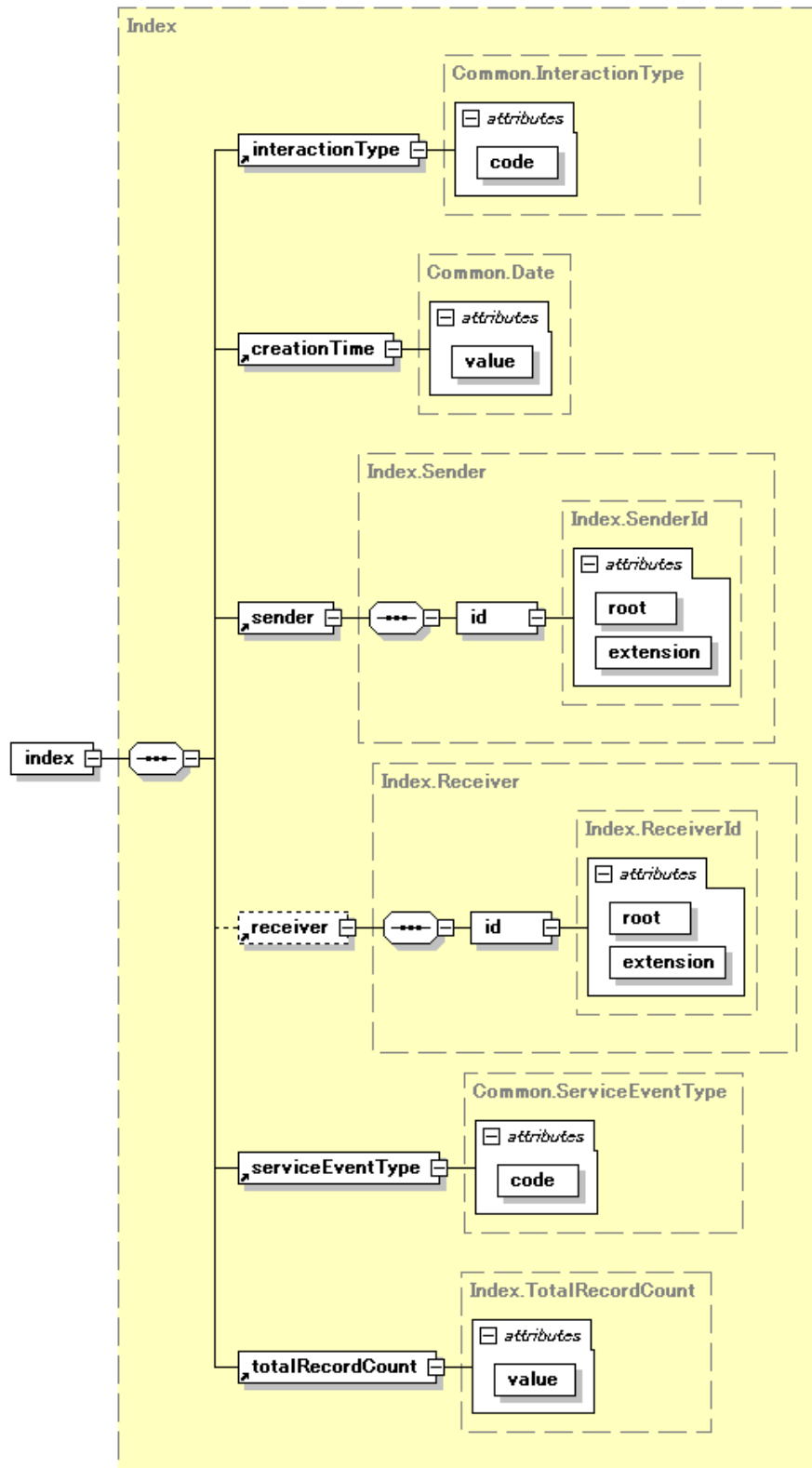
最小多重度が 0 である項目は、その要素または属性が存在しない場合があることを示す。もし記述すべき値がない（または記述すべき値が空文字列）場合には、その要素自体または属性自体を省略しなければならない。要素または属性を出現させて値は空文字列にすることは許可されない。

ここで掲げる表は XML タグ仕様の読み方を示すために記載した架空のものであり、本仕様とは無関係のものとして見る必要がある。

表 2 本書における XML 仕様の表記例

要素名		index		
No	要素 / 属性	型	多重度	説明
1.1	interactionType	要素	0..1	種別
1.1.1	@code	属性	1..1	表 2 のコード値
1.2	sender	要素	1..*	送付元機関
1.2.1	id	要素	1..1	送付元機関番号（以下のいずれかを値にとる） 特定健診機関番号・特定保健指導機関番号：半角数字 10 桁 代行機関番号：半角数字 8 桁 保険者番号：半角数字 8 桁以内
1.2.1.1	@root	属性	1..1	機関番号を識別するオブジェクト識別子
1.2.1.2	@extension	属性	1..1	機関番号文字列

本書で定義する XML スキーマ(ix08_V08.xsd)の構造を図 1 に示す。



Generated by XmlSpy

www.altova.com

図 1 XML スキーマの構造

	Version: 4
仕様説明書	2023.03.31

3.1 交換用基本情報 (index)

特定健診情報／特定保健指導情報交換用基本情報ファイルのルート要素。種別コードによって、送付元機関(sender)、送付先機関(receiver)に記録する機関番号やオブジェクト識別子が異なる。種別コードに「9:その他」、「13～20:予備」が指定された場合は、送付元機関と送付先機関が識別できないことから、本バージョンではこれらの種別コードには対応しない。

表3に示すとおり、事業者等から保険者へ特定健診結果を送付する場合には、種別コード「6:特定健診機関又は特定保健指導機関から保険者」を指定し、送付元機関番号には、「5521111111」または「6631111116」を指定する。保険者から保険者へ、異動者の健診結果を送付する場合には、種別コードに「8:保険者から保険者」を指定し、送付元機関番号、送付先機関番号に、送付元保険者番号、送付先保険者番号をそれぞれ指定する。

表3 他の健診結果を送付する場合の設定値

	事業者→保険者	保険者→保険者
種別	6:特定健診機関又は特定保健指導機関から保険者	8:保険者から保険者
送信元機関番号 OID	1.2.392.200119.6.102	1.2.392.200119.6.101
送信元機関番号	5521111111 または 6631111116	送付元保険者番号
送信先機関番号 OID	1.2.392.200119.6.101	1.2.392.200119.6.101
送信先機関番号	保険者番号	送付先保険者番号
実施区分	1:特定健診情報	1:特定健診情報

また、本規格は、特定健診の結果だけではなく、事業者健診や健康増進法に基づくがん検診といった、他の健診の結果を、事業者や市町村に送付する際にも使用することができる。その場合の、各項目の設定値を表4に示す。

表4 他の健診結果を送付する場合の設定値

	特定健診機関→事業者 ¹	特定健診機関→市町村介護部門	特定健診機関→市町村一般衛生部門
種別	9:その他	9:その他	9:その他
送信元機関番号 OID	1.2.392.200119.6.102	1.2.392.200119.6.102	1.2.392.200119.6.102
送信元機関番号	特定健診・特定保健指導機関番号	特定健診・特定保健指導機関番号	特定健診・特定保健指導機関番号
送信先機関番号 OID	使用しない	1.2.392.200119.6.105	1.2.392.200119.6.105
送信先機関番号	使用しない	全国地方公共団体コード[5]+市町村部門コード(表10)	全国地方公共団体コード[5]+市町村部門コード(表10)
実施区分	4:他の健診結果の受領分	4:他の健診結果の受領分	4:他の健診結果の受領分

¹ 学校保健安全法の対象となる学校の設置者も含む

	Version: 4
仕様説明書	2023.03.31

表 5 交換用基本情報 XML 仕様

型名		index		
No	要素 / 属性	型	多重度	説明
1	interactionType	要素	1..1	種別
1.1	@code	属性	1..1	種別コード (表 8)
2	creationTime	要素	1..1	(提出用ファイルの) 作成年月日
2.1	@value	属性	1..1	書式: YYYYMMDD (3.2 節参照)
3	sender	要素	1..1	送付元機関
3.1	id	要素	1..1	送付元機関番号 (以下のいずれかを値にとる) 1.1(種別コード)が「1」「6」の場合: 特定健診機関番号・特定保健指導機関番号: 半角数字 10 桁 1.1(種別コード)が「2」「3」「11」の場合: 代行機関番号: 半角数字 8 桁 1.1(種別コード)が「4」「5」「7」「8」の場合: 保険者番号: 半角数字 8 桁固定 (8 桁に満たない場合は先頭をゼロ埋め)
3.1.1	@root	属性	1..1	送付元機関番号を識別するオブジェクト識別子 (3.3 節及び表 11 参照)
3.1.2	@extension	属性	1..1	送付元機関番号文字列
4	receiver	要素	0..1	送付先機関 1.1(種別コード)が「9」で事業者健診の場合等 送付先機関番号が無い場合には、出現しない。
4.1	id	要素	1..1	送付先機関番号 1.1(種別コード)が「2」「7」の場合: 特定健診機関番号・特定保健指導機関番号: 半角数字 10 桁 1.1(種別コード)が「1」「4」「5」の場合: 代行機関番号: 半角数字 8 桁 1.1(種別コード)が「3」「6」「8」「11」の場合: 保険者番号: 半角数字 8 桁固定 (8 桁に満たない場合は先頭をゼロ埋め)
4.1.1	@root	属性	1..1	送付先機関番号を識別するオブジェクト識別子 (3.3 節及び表 11 参照)
4.1.2	@extension	属性	1..1	送付先機関番号文字列
5	serviceEventType	要素	1..1	実施区分
5.1	@code	属性	1..1	実施区分 (表 9)
6	totalRecordCount	要素	1..1	総ファイル数 提出用アーカイブファイルの、DATA フォルダ、及び、CLAIMS フォルダ以下のファイル総数 (健診/保健指導結果データファイルと健診/保健指導決済データファイルのみが対象)。
6.1	@value	属性	1..1	整数 8 桁以内

	Version: 4
仕様説明書	2023.03.31

3.2 作成年月日

作成年月日を表示する日付型は、以下に示す正規表現で表現される文字列型として定義される。そのため、2月30日や9月31日といった、本来正しくない日付であっても妥当と判断されることに注意する。

表 6 作成年月日 XML 仕様

型名	date	
base	型	説明
xs:string	xs:pattern	正規表現 : $((([1-9][0-9][0-9][0-9])((0[1-9]) (1[0-2]))((([0-2][0-9]) (3[01]))))$

3.3 オブジェクト識別子

オブジェクト識別子情報(OID : Object Identifier)を表す oid 型は、以下の単純型で規定される。本仕様で使用する OID の一覧は、5節表 11 に示す。

表 7 オブジェクト識別子 XML 仕様

型名	oid	
base	型	説明
xs:string	xs:pattern	正規表現 : $[0-2](¥.(0 [1-9][0-9]*)*)$

	Version: 4
仕様説明書	2023.03.31

4. コード表

本 XML で使用するコード表を以下に示す。

表 8 種別コード

コード名	コード	内容	備考
種別コード	1	特定健診機関又は特定保健指導機関から代行機関	請求
	2	代行機関から特定健診機関又は特定保健指導機関	返戻
	3	代行機関から保険者	請求
	4	保険者から代行機関（未決済データの場合）	返戻依頼
	5	保険者から代行機関（決済済データの場合）	過誤請求
	6	特定健診機関又は特定保健指導機関から保険者	代行機関を介しない場合
	7	保険者から特定健診機関又は特定保健指導機関	
	8	保険者から保険者	
	9	その他	
	10	保険者から国	実績報告
	11	代行機関から保険者へ確認依頼	確認依頼
	12	閲覧用	閲覧用特定健診結果
	13	予備	関係機関からの要望により設定
	14	予備	(検討中)
	15	予備	
	16	予備	
	17	予備	
	18	予備	
	19	予備	
	20	予備	

表 9 実施区分コード

コード名	コード	内容	備考
実施区分コード	1	特定健診情報	
	2	特定保健指導情報	
	3	国への実績報告(匿名化済)	保険者での設定は不要
	4	他の健診結果の受領分	事業者健診の結果を受領した場合
	5	国への実績報告(匿名化前)	
	6	予備	
	7	予備	
	8	予備	
	9	予備	

表 10 市町村部門コード (本仕様独自コード)

コード名	コード	内容	備考
市町村部門コード	1	市町村介護部門	
	2	市町村一般衛生部門	
	3	介護部門と一般衛生部門を兼務の場合	

	Version: 4
仕様説明書	2023.03.31

5. OID 仕様

本 XML で使用する OID の一覧を示す。

表 11 OID 一覧

OID	説明	備考
1. 2. 392. 200119. 6. 101	保険者番号	
1. 2. 392. 200119. 6. 102	特定健診機関番号／特定保健指導機関番号	
1. 2. 392. 200119. 6. 103	代行機関番号	
1. 2. 392. 200119. 6. 105	地方公共団体コード	

6. サンプル XML

特定健診情報／特定保健指導情報交換用基本情報ファイルの XML の例として、下記の内容を示す XML を以下に示す。

表 12 サンプル XML 内容

項目名称	値
種別	1 (特定健診機関又は特定保健指導機関から代行機関)
作成年月日	令和 6 年 5 月 21 日
送付元機関	健診機関番号 1234567890
送付先機関	代行機関番号 12345678
実施区分	1 (特定健診情報)
総ファイル数	100

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<index xmlns="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html ./XSD/
ix08_V08.xsd">
  <!-- 種別 -->
  <interactionType code="1"/>
  <!-- 作成年月日 (2024年5月21日) -->
  <creationTime value="20240521"/>
  <!-- 送付元機関 (特定健診機関番号 : 1234567890の場合) -->
  <sender>
    <id root="1. 2. 392. 200119. 6. 102" extension="1234567890"/>
  </sender>
  <!-- 送付先機関 (代行機関番号 : 12345678の場合) -->
  <receiver>
    <id root="1. 2. 392. 200119. 6. 103" extension="12345678"/>
  </receiver>
  <!-- 実施区分 -->
  <serviceEventType code="1"/>
  <!-- 総ファイル数 -->
  <totalRecordCount value="100"/>
</index>
```

	Version: 4
仕様説明書	2023.03.31

Ver.4

本説明文書は、厚生労働省保険局医療介護連携政策課医療費適正化対策推進室により修正されました。また、「第4期特定健診・特定保健指導の見直しに関する検討会」の下に設置された「システム改修に関するワーキンググループ」の作業班メンバーや、ここに記載していない多くの方々の献身的な貢献により検討された成果に基づいています。

システム改修に関するワーキンググループ作業班

特定健診・特定保健指導の電子的なデータ標準様式
1-1B 特定健診・特定保健指導 交換用基本情報ファイル
(医療保険者→国)(閲覧用)
仕様説明書

Version 4

	Version: 4
仕様説明書	2023.03.31

目次

1.	はじめに	1
1.1	目的	1
1.2	参考資料	1
2.	文書項目	1
3.	XML 仕様	1
3.1	交換用基本情報 (indexAnnual)	4
3.2	作成年月日	5
3.3	オブジェクト識別子	5
4.	コード表	6
5.	OID 仕様	7
6.	サンプル XML	8

	Version: 4
仕様説明書	2023.03.31

修正履歴

2020.03.31 V3.1 より以後の修正履歴

日付	版	修正内容
2020年3月31日	3.1	<p>1.1目的 オンライン資格確認等システムを活用した特定健診情報等の保険者間引継ぎ実施に伴い、本文書をこれまでの保険者から支払基金への実績報告用に加えて閲覧用ファイルの交換（保険者から支払基金、支払基金から保険者の両方向を対象）にも適用する旨を記載</p> <p>■XML仕様上に関する修正 <閲覧用ファイル追加に伴う修正> - 文書名の変更 および他文書名変更に伴う参照の変更</p> <p>2. 文書項目 ・表1項目一覧の種別、送付元機関、送付先機関、実施区分の記載内容を変更</p> <p>3.1交換用基本情報(indexAnnual) ・種別コードおよび機関番号の格納内容説明変更（表3についても同様）</p> <p>4. コード表 ・表6 種別コード（12:変更、14~20:予備追加） ・表7 実施区分コード（3:「匿名化済」を明記、5:新規追加、6~9:予備追加）</p> <p>6. サンプル XML ・サンプル1として保険者から支払基金への実績報告 XML を変更記載 ・サンプル2として閲覧用ファイルの交換用 XML を新規追加記載</p> <p><総ファイル数の拡大に伴う修正> 3.1 交換用基本情報(index) ・表3 交換用基本情報 XML 仕様の 6.2 に記録できる整数桁数を6桁から8桁に変更</p> <p>■XML仕様上に関係のない修正 ・バージョンを「3」から「3.1」に修正</p>
2023年3月31日	4.0	<p>■XML仕様上に関する修正 ・種別コード、実施区分コードの名称変更に合わせて表6、表7を修正 ・XML名前空間を変更 (https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html)</p> <p>■XML仕様上に関係のない修正 ・本仕様書のファイル名を変更 ・バージョンを「3.1」から「4」に変更 ・1.1 目的の厚労省通知との対応関係に係る記載を削除 ・1.2 参考資料のリンクを最新のリンクに修正 ・7. XMLスキーマの記載を削除 ・各種サンプルの日付変更 ・その他既存誤記及び見栄え修正</p>

	Version: 4
)仕様説明書	2023.03.31

交換用基本情報ファイル(医療保険者→国) (閲覧用) 仕様説明書

1. はじめに

1.1 目的

本文書の目的は、「特定健診・特定保健指導情報の交換用基本情報ファイル」について、実績報告（または閲覧）用データの電子的な記述仕様を説明するものである。また技術仕様上の位置づけとしては、交換用基本情報ファイルのXML(eXtensible Markup Language)による電子的標準様式を定義するものであり、別途公表されている同XMLスキーマを説明および補完するものである。なお、健診機関・保健指導機関が保険者や代行機関に健診・保健指導結果データを提出する際に使用する「特定健診・特定保健指導 交換用基本情報ファイル仕様説明書」（以下、保険者用交換用基本情報ファイル仕様）との相違点は太字下線で示す。

1.2 参考資料

下記は、この文書で参照している標準仕様及び研究報告書等の名称、バージョン、並びにその説明の一覧である。

- [1] 厚生労働省, 「標準的な健診・保健指導プログラム (改定版)」
 - [2] 厚生労働省, 「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」
 - [3] HL7 Inc, HL7 Version 3 Normative Edition 2006, <http://www.hl7.org/>.
 - [4] XML Schema Part 2: Datatypes, W3C Recommendation, <http://www.w3.org/TR/xmlschema-2/>.
 - [5] 総務省, 全国地方公共団体コード <https://www.soumu.go.jp/denshijiti/code.html>,
- ※[1]、[2]については、厚生労働省 HP 「特定健診・特定保健指導について」 (<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html>) に公表されている最新版を参照すること。

2. 文書項目

特定健診情報、特定保健指導情報の交換用基本情報ファイルの項目を表1に示す。

表1 交換用基本情報ファイル項目一覧

No	ファイルの記録内容	フィールド名称	記録内容
1	特定健診/特定保健指導交換用情報	種別	「表6 種別コード」にそって以下のコードを記録する。 保険者からの実績報告:「10」を記録 閲覧用:「12」を記録
2		送付元機関	送付元の機関番号を記録
3		送付先機関	送付先の機関番号を記録
4		作成年月日	ファイルの作成年月日(西暦)を記録
5		実施区分	保険者から国への実績報告の場合:「5」を記録 支払基金から国への実績報告の場合:「3」を記録 閲覧用の場合:「1」を記録
6		総ファイル数	特定健診情報ファイル・特定保健指導情報ファイルの総ファイル数を記録。
7		このアーカイブのファイル数	このアーカイブに含まれる特定健診情報ファイル・特定保健指導情報ファイルの総ファイル数を記録
8		総アーカイブ数	アーカイブした総ファイル数を記録
9		アーカイブ番号	このアーカイブファイルの番号を記録

3. XML 仕様

XML 設計における基本方針として、できる限り単純なXMLとするが、日付や識別子などのデータ

	Version: 4
仕様説明書	2023.03.31

型のモデルは、HL7 CDA R2 形式で記述される特定健診情報/特定保健指導情報ファイルとの整合性を考慮した。また、内容の妥当性の確認のために属性値と内容モデルとの共起制約のチェックが必要になるといった、XML スキーマだけでは単純に記述できないような制約は可能な限り用いないことを方針とした。

本書では、XML 仕様を表 2 に示す表形式で記述する。

「要素名」で示される行は、その表に示される XML 要素名である。この要素の子要素または属性を表中の各行に示す。このとき、灰色に網掛けした行は XML 要素を表し、網掛けされていない行は、属性またはテキスト内容を表す。

「要素/属性」列は、各行が示す項目が XML 要素の場合要素名を、属性の場合は属性名を表す。属性名の前には「@」を付与する。テキスト内容の場合は「テキスト内容」を示す。

「型」列は、「要素」「属性」「テキスト」の 3 種類の値をとり、それぞれ、その行が表す内容が、XML 要素、属性、テキスト内容であることを示す。

多重度は、指定された要素または属性の出現数の最小値と最大値とを「..」の両端に示す形で表現する。最大値に制限がない場合は「*」（アスタリスク）で示す。例えば、下表 2 の場合、interactionType 要素は、XML 中に 0 または 1 つのみ出現し、sender 要素は、1 つ以上複数個出現することを意味する。なお、多重度は、その項目の上位の項目が出現する場合の多重度となる。例えば下の例では、interactionType 要素の多重度が「0..1」で、その下位項目である code 属性の多重度が「1..1」であるということは、上位項目である interactionType 要素自体は省略することが可能であるが、interactionType 要素が出現する場合には、その下位項目である code 属性も必ず出現することを意味している。

表 2 本書における XML 仕様の表記例

要素名		index		
No	要素 / 属性	型	多重度	説明
1.1	interactionType	要素	0..1	種別
1.1.1	@code	属性	1..1	表 2 のコード値
1.2	sender	要素	1..*	送付元機関
1.2.1	id	要素	1..1	送付元機関番号（以下のいずれかを値にとる） 特定健診機関番号・特定保健指導機関番号：半角数字 10 桁 代行機関番号：半角数字 8 桁 保険者番号：半角数字 8 桁以内
1.2.1.1	@root	属性	1..1	機関番号を識別するオブジェクト識別子
1.2.1.2	@extension	属性	1..1	機関番号文字列

本書で定義する XML スキーマ(aix08_V08.xsd)の構造を図 1 に示す。

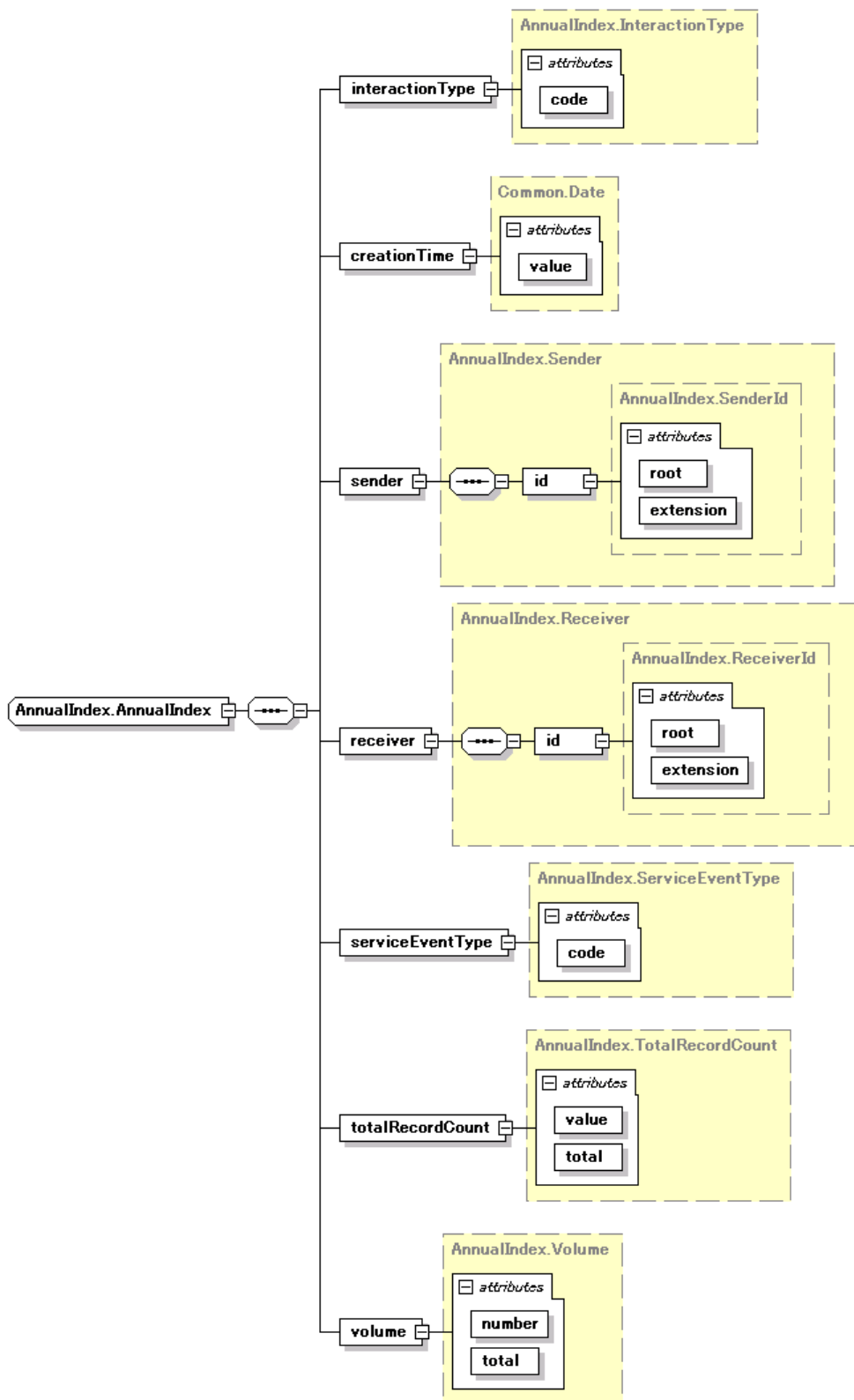


図1 XMLスキーマの構造

	Version: 4
)仕様説明書	2023.03.31

3.1 交換用基本情報 (annualIndex)

特定健診情報／特定保健指導情報交換用基本情報ファイルのルート要素。種別コードおよび機関番号には、交換対象とする内容により以下の通り格納する。

1) 実績報告時

種別コード「10:保険者から国」を指定する。送付元機関番号には保険者番号を8桁で格納し、送付先機関が社会保険診療報酬支払基金である場合「94899010」を格納する。

2) 閲覧用データの交換時（保険者→支払基金、支払基金→保険者）

種別コード「12:閲覧用」を指定する。送付元または送付先の機関番号には、保険者の場合は保険者番号8桁で格納し、社会保険診療報酬支払基金の場合は「94899010」を格納する。

保険者用交換用基本情報ファイルとは異なり、実績報告および閲覧用の交換用基本情報ファイルは、アーカイブファイルを複数に分割して提出する場合に、提出用アーカイブファイルの総数を指定するとともに、分割識別番号を1から99の間で指定する。提出用アーカイブファイルを分割せずに1ファイルとして提出する場合には、分割識別番号、分割総数共に「1」を指定する。詳細は、別紙「提出用データアーカイブ仕様」を参照のこと。

表3 交換用基本情報 XML 仕様

型名		annualIndex		
No	要素 / 属性	型	多重度	説明
1	interactionType	要素	1..1	種別
1.1	@code	属性	1..1	種別コード（表6） ・実績報告時は「10:保険者から国」 ・閲覧用データの交換時は「12:閲覧用」を設定。
2	creationTime	要素	1..1	（提出用ファイルの）作成年月日
2.1	@value	属性	1..1	書式：YYYYMMDD（3.2節参照）
3	sender	要素	1..1	送付元機関
3.1	id	要素	1..1	送付元機関番号。 保険者の場合：保険者番号：半角数字8桁（8桁に満たない場合は先頭をゼロ埋めする） 支払基金の場合：「94899010」 オンライン資格確認等システムから閲覧用ファイルをダウンロードする際には、オンライン資格確認等システムからの受信の旨を示すため、便宜上、社会保険診療報酬支払基金：「94899010」を記録する。
3.1.1	@root	属性	1..1	送付元機関番号を識別するオブジェクト識別子（3.3節及び表5参照） 保険者の場合：保険者番号を識別するOID：「1.2.392.200119.6.101」。 支払基金の場合：代行機関番号を識別するOID：「1.2.392.200119.6.103」。
3.1.2	@extension	属性	1..1	送付元機関番号文字列。8桁に満たない場合は先頭をゼロ埋めし8桁固定とする。
4	receiver	要素	1..1	送付先機関
4.1	id	要素	1..1	送付先機関番号。 前述No3.1の送信元設定説明と同一。ただし、オンライン資格確認等システムに閲覧用ファイルをアップロードする際には、オンライン資格確認等システムへの送信の旨を示すため、便宜上、社会保険診療報酬支払基金：「94899010」を記録する。
4.1.1	@root	属性	1..1	送付先機関番号を識別するオブジェクト識別子（3.3節及び表5参照） （前述No3.1.1の送信元設定説明と同一）
4.1.2	@extension	属性	1..1	送付先機関番号文字列。

	Version: 4
)仕様説明書	2023.03.31

5	serviceEventType	要素	1..1	実施区分
5.1	@code	属性	1..1	実施区分 (表 7) 保険者から国への実績報告の場合:「5」を記録 支払基金から国への実績報告の場合:「3」を記録 閲覧用の場合:「1」を記録
6	totalRecordCount	要素	1..1	総ファイル数。
6.1	@value	属性	1..1	このアーカイブファイルに含まれる総ファイル数を記録する。 総ファイル数とは、このアーカイブファイルに含まれる、 CHECKUP フォルダ、及び、GUIDANCE フォルダ内のファイルの合 計数で、この2つのフォルダ外のファイル数は含めない。
6.2	@total	属性	1..1	提出する (複数の) アーカイブファイル全体における、上記総 ファイル数の合計数を記録する。整数 8 桁以内。
7	volume	要素	1..1	アーカイブ数。
7.1	@number	属性	1..1	このアーカイブファイル名につける分割識別番号。 1 から 99 までの数字を格納。分割しない場合は「1」を指定。
7.2	@total	属性	1..1	総アーカイブファイル数 (=分割アーカイブ総数)。分割しな い場合は「1」を指定。1 から 99 までの数字を格納。

3.2 作成年月日

作成年月日を表現する日付型は、XML スキーマでは以下に示す正規表現で表現される文字列型として定義される。そのため、2月30日や9月31日といった、本来正しくない日付であっても妥当と判断されることに注意する。

表 4 作成年月日 XML 仕様

型名	date	
base	型	説明
xs:string	xs:pattern	正規表現 : $((([1-9][0-9][0-9][0-9])((0[1-9]) (1[0-2])))(([0-2][0-9]) (3[01]))$

3.3 オブジェクト識別子

オブジェクト識別子情報(OID: Object Identifier)を表す oid 型は、以下の単純型で規定される。本仕様で使用する OID の一覧は、5 節表 8 に示す。

表 5 オブジェクト識別子 XML 仕様

型名	oid	
base	型	説明
xs:string	xs:pattern	正規表現 : $[0-2](¥.(0 [1-9][0-9]*))*$

	Version: 4
)仕様説明書	2023.03.31

4. コード表

本 XML で使用するコード表を以下に示す。

表 6 種別コード

網掛けは本仕様では使用しない。

コード名	コード	内容	備考
種別コード	1	特定健診機関又は特定保健指導機関から代行機関	請求
	2	代行機関から特定健診機関又は特定保健指導機関	返戻
	3	代行機関から保険者	請求
	4	保険者から代行機関（未決済データの場合）	返戻依頼
	5	保険者から代行機関（決済済データの場合）	過誤請求
	6	特定健診機関又は特定保健指導機関から保険者	代行機関を介しない場合
	7	保険者から特定健診機関又は特定保健指導機関	
	8	保険者から保険者	
	9	その他	
	10	保険者から国	実績報告
	11	代行機関から保険者へ確認依頼	確認依頼
	12	閲覧用	閲覧用特定健診結果
	13	予備	関係機関からの要望により設定
	14	予備	(検討中)
	15	予備	
	16	予備	
	17	予備	
	18	予備	
	19	予備	
	20	予備	

表 7 実施区分コード

網掛けは本仕様では使用しない。

コード名	コード	内容	備考
実施区分コード	1	特定健診情報	
	2	特定保健指導情報	
	3	国への実績報告(匿名化後)	保険者での設定は不要
	4	他の健診結果の受領分	事業者健診の結果を受領した場合
	5	国への実績報告(匿名化前)	
	6	予備	
	7	予備	
	8	予備	
	9	予備	

	Version: 4
仕様説明書	2023.03.31

5. OID 仕様

本 XML で使用する OID の一覧を示す。

表 8 OID 一覧

OID	説明	備考
1. 2. 392. 200119. 6. 101	保険者番号	送付元機関の機関番号の OID として指定
1. 2. 392. 200119. 6. 103	代行機関番号	送付先機関の機関番号の OID として指定

	Version: 4
仕様説明書	2023.03.31

6. サンプル XML

特定健診情報／特定保健指導情報交換用基本情報ファイルの XML の例を以下に示す。

(サンプル 1) 保険者から国への実績報告時

表 9 サンプル XML 内容

項目名称	値
種別	10 (保険者から国)
作成年月日	令和 7 年 11 月 1 日
送付元機関	保険者番号 123456
実施区分	5 (国への実績報告(匿名化前))
総ファイル数	10000
アーカイブ分割識別番号	1
アーカイブファイル総数	1

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<annualIndex xmlns="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html"
xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html ./XSD/aiX08_V08.
xsd">
  <!-- 種別 (国への実績報告 : 10) -->
  <interactionType code="10"/>
  <!-- 作成年月日 (2025年11月1日) -->
  <creationTime value="20251101"/>
  <!-- 送付元機関 (保険者番号 : 123456の場合) -->
  <sender>
    <id root="1.2.392.200119.6.101" extension="00123456"/>
  </sender>
  <!-- 送付先機関 (社会保険診療報酬支払基金 : 94899010) -->
  <receiver>
    <id root="1.2.392.200119.6.103" extension="94899010" />
  </receiver>
  <!-- 実施区分 (「5 : 国への実績報告(匿名化前)」の場合) -->
  <serviceEventType code="5"/>
  <!-- 総ファイル数 (「10000」の場合) -->
  <totalRecordCount total="10000" value="10000" />
  <!-- アーカイブ分割識別番号 : 1、アーカイブファイル総数 : 1 の場合 -->
  <volume number="1" total="1" />
</annualIndex>
```

	Version: 4
仕様説明書	2023.03.31

(サンプル2) 閲覧用ファイルの交換時 (支払基金→保険者)

表 10 サンプル XML 内容

項目名称	値
種別	12 (閲覧用)
作成年月日	令和7年11月1日
送付先機関	保険者番号 123456
実施区分	1 (特定健診情報)
総ファイル数	1000
アーカイブ分割識別番号	1
アーカイブファイル総数	1

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<annualIndex xmlns="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html"
xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html ./XSD/aix08_V08.xsd">
  <!-- 種別 (閲覧用 : 12) -->
  <interactionType code="12"/>
  <!-- 作成年月日 (2025年11月1日) -->
  <creationTime value="20251101"/>
  <!-- 送付元機関 (社会保険診療報酬支払基金 : 94899010) -->
  <sender>
    <id root="1.2.392.200119.6.103" extension="94899010" />
  </sender>
  <!-- 送付先機関 (保険者番号 : 123456の場合) -->
  <receiver>
    <id root="1.2.392.200119.6.101" extension="00123456" />
  </receiver>
  <!-- 実施区分 (「1 : 特定健診情報」の場合) -->
  <serviceEventType code="1"/>
  <!-- 総ファイル数 (「1000」の場合) -->
  <totalRecordCount total="1000" value="1000" />
  <!-- アーカイブ分割識別番号 : 1、アーカイブファイル総数 : 1 の場合 -->
  <volume number="1" total="1" />
</annualIndex>
```

	Version: 4
仕様説明書	2023.03.31

Ver.4

本説明文書は、厚生労働省保険局医療介護連携政策課医療費適正化対策推進室により修正されました。また、「第4期特定健診・特定保健指導の見直しに関する検討会」の下に設置された「システム改修に関するワーキンググループ」の作業班メンバーや、ここに記載していない多くの方々の献身的な貢献により検討された成果に基づいています。

システム改修に関するワーキンググループ作業班

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xs:schema attributeFormDefault="unqualified" elementFormDefault="qualified"
targetNamespace="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html"
xmlns:xs="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
xmlns="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html">
  <xs:include schemaLocation="co08_V08.xsd"/>
  <!-- Element Definition -->
  <xs:element type="Index" name="index"/>
  <xs:element type="Common.Date" name="creationTime"/>
  <xs:element type="Index.Sender" name="sender"/>
  <xs:element type="Index.Receiver" name="receiver"/>
  <xs:element type="Index.TotalRecordCount" name="totalRecordCount"/>
  <!-- ComplexType Definition -->
  - <xs:complexType name="Index">
    - <xs:sequence>
      <xs:element ref="interactionType"/>
      <xs:element ref="creationTime"/>
      <xs:element ref="sender"/>
      <xs:element ref="receiver" minOccurs="0"/>
      <xs:element ref="serviceEventType"/>
      <xs:element ref="totalRecordCount"/>
    </xs:sequence>
  </xs:complexType>
  - <xs:complexType name="Index.TotalRecordCount">
    <xs:attribute type="grandTotalCount" name="value" use="required"/>
  </xs:complexType>
  - <xs:complexType name="Index.SenderId">
    <xs:attribute type="senderOid" name="root" use="required"/>
    <xs:attribute type="senderId" name="extension" use="required"/>
  </xs:complexType>
  - <xs:complexType name="Index.ReceiverId">
    <xs:attribute type="receiverOid" name="root" use="required"/>
    <xs:attribute type="receiverId" name="extension" use="required"/>
  </xs:complexType>
  - <xs:complexType name="Index.Sender">
    - <xs:sequence>
      <xs:element type="Index.SenderId" name="id"/>
    </xs:sequence>
  </xs:complexType>
  - <xs:complexType name="Index.Receiver">
    - <xs:sequence>
      <xs:element type="Index.ReceiverId" name="id"/>
    </xs:sequence>
  </xs:complexType>
</xs:schema>

```

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xs:schema attributeFormDefault="unqualified" elementFormDefault="qualified"
targetNamespace="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html"
xmlns:xs="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
xmlns="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html">
  <xs:include schemaLocation="co08_V08.xsd"/>
  <!-- Element Definition -->
  <xs:element type="AnnualIndex.AnnualIndex" name="annualIndex"/>
  <xs:element type="AnnualIndex.AnnualIndex" name="archiveIndex"/>
  <!-- ComplexType Definition -->
  <!-- 交換用基本情報ファイル -->
  - <xs:complexType name="AnnualIndex.AnnualIndex">
    - <xs:sequence>
      <xs:element type="AnnualIndex.InteractionType" name="interactionType"/>
      <xs:element type="Common.Date" name="creationTime"/>
      <xs:element type="AnnualIndex.Sender" name="sender"/>
      <xs:element type="AnnualIndex.Receiver" name="receiver"/>
      <xs:element type="AnnualIndex.ServiceEventType" name="serviceEventType"/>
      <xs:element type="AnnualIndex.TotalRecordCount" name="totalRecordCount"/>
      <xs:element type="AnnualIndex.Volume" name="volume"/>
    </xs:sequence>
  </xs:complexType>
  <!-- 種別 -->
  - <xs:complexType name="AnnualIndex.InteractionType">
    <xs:attribute type="Code.InteractionTypeAnnual" name="code" use="required"/>
  </xs:complexType>
  <!-- 送付元機関 -->
  - <xs:complexType name="AnnualIndex.Sender">
    - <xs:sequence>
      <xs:element type="AnnualIndex.SenderId" name="id"/>
    </xs:sequence>
  </xs:complexType>
  - <xs:complexType name="AnnualIndex.SenderId">
    <xs:attribute type="insuranceProviderOid" name="root" use="required"/>
    <xs:attribute type="insuranceProviderId" name="extension" use="required"/>
  </xs:complexType>
  <!-- 送付先機関 -->
  - <xs:complexType name="AnnualIndex.Receiver">
    - <xs:sequence>
      <xs:element type="AnnualIndex.ReceiverId" name="id"/>
    </xs:sequence>
  </xs:complexType>
  - <xs:complexType name="AnnualIndex.ReceiverId">
    <xs:attribute type="agencyProviderOid" name="root" use="required"/>
    <xs:attribute type="agencyProviderId" name="extension" use="required"/>
  </xs:complexType>
  <!-- 実施区分 -->
  - <xs:complexType name="AnnualIndex.ServiceEventType">
    <xs:attribute type="Code.ServiceEventTypeAnnual" name="code" use="required"/>
  </xs:complexType>
  <!-- 総ファイル数 -->
  - <xs:complexType name="AnnualIndex.TotalRecordCount">
    <xs:attribute type="totalCount" name="value" use="required"/>

```

```

        <xs:attribute type="grandTotalCount" name="total" use="required"/>
    </xs:complexType>
    <!-- 分割数 -->
- <xs:complexType name="AnnualIndex.Volume">
    <xs:attribute type="AnnualIndex.VolumeNumber" name="number" use="required"/>
    <xs:attribute type="AnnualIndex.TotalNumber" name="total" use="required"/>
</xs:complexType>
    <!-- SimpleType Definition -->
    <!-- 種別コード(別表1) -->
- <xs:simpleType name="Code.InteractionTypeAnnual">
    - <xs:restriction base="Code.InteractionType">
        <xs:enumeration value="10"/>
        <xs:enumeration value="12"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
    <!-- 実施区分コード(別表3) -->
- <xs:simpleType name="Code.ServiceEventTypeAnnual">
    - <xs:restriction base="Code.ServiceEventType">
        <xs:enumeration value="1"/>
        <xs:enumeration value="3"/>
        <xs:enumeration value="5"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
    <!-- 分割識別番号 -->
- <xs:simpleType name="AnnualIndex.VolumeNumber">
    - <xs:restriction base="xs:integer">
        <xs:minInclusive value="1"/>
        <xs:maxInclusive value="99"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
    <!-- 分割総数 -->
- <xs:simpleType name="AnnualIndex.TotalNumber">
    - <xs:restriction base="xs:integer">
        <xs:minInclusive value="1"/>
        <xs:maxInclusive value="99"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
</xs:schema>

```

特定健診・特定保健指導の電子的なデータ標準様式
2-1A 特定健診・特定保健指導 決済情報集計ファイル
仕様説明書
Version 4

特定健診・特定保健指導データの電子的交換のためのファイル仕様説明書	Version: 4
決済情報集計ファイル仕様説明書	2023.3.31

目次

1.	はじめに	1
1.1	目的	1
1.2	参考資料	1
2.	文書項目	1
3.	XML仕様	2
3.1	集計情報 (Summary)	4
4.	コード表	4
5.	サンプル XML	5

特定健診・特定保健指導データの電子的交換のためのファイル仕様説明書	Version: 4
決済情報集計ファイル仕様説明書	2023.3.31

修正履歴

2008.4.3 V1.4 より以後の修正履歴

日付	版	修正内容
2008年4月3日	1. 4	厚労省通知と連携して公表。
2009年3月30日	2	他の仕様説明書に合わせてバージョン番号を2に統一。 仕様上の修正はないが、厚労省通知を引用していることを明示。 1.1 説明を適正化。 3 説明を補足。
2017年3月31日	3	<p>■XML仕様上に関する修正</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定健診情報／特定保健指導情報交換用共通XMLスキーマ (co08_V08.xsd)の「詳細な健診項目コード(別表8)」「保健指導実施時点コード(別表11)」「保健指導区分コード(別表12)」に新規コードを追加 <p>■XML仕様上に関係のない修正</p> <ul style="list-style-type: none"> バージョンを「2」から「3」に修正 ファイル名を決済情報集計ファイルに修正 1.2参考資料の資料名を修正
2020年3月31日	3. 1	<p>オンライン資格確認等システムを活用した特定健診情報等の保険者間引継ぎ実施に伴い、加入者を特定するための被保険者証等枝番の項目追加と特定健診情報等の閲覧用ファイルの新規追加に伴う変更内容を反映させた。</p> <p>■XML仕様上に関する修正</p> <p><被保険者証等枝番の追加に伴う修正></p> <p>7. XMLスキーマ</p> <p><閲覧用ファイル追加に伴う修正></p> <p>4. コード表</p> <ul style="list-style-type: none"> 表4 実施区分コード (3:「匿名化済」を明記、5:新規追加、6~9:予備追加)
2023年3月31日	4	<p>■XML仕様上に関する修正</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施区分コードの名称変更に合わせて表4を修正 XML名前空間を変更 (https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html) <p>■XML仕様上に関係のない修正</p> <ul style="list-style-type: none"> 本仕様書のファイル名を変更 バージョンを「3.1」から「4」に修正 6. XMLスキーマの記載を削除 1.1目的の厚労省通知との対応関係に係る記載を削除 その他既存誤記及び見栄え修正

特定健診・特定保健指導データの電子的交換のためのファイル仕様説明書	Version: 4
決済情報集計ファイル仕様説明書	2023.3.31

決済情報集計ファイル仕様説明書

1. はじめに

1.1 目的

本書は、特定健診データの電子的交換に必要なファイルのうち、特定健診情報、及び、特定保健指導情報の決済情報集計ファイルのXML仕様を定めたものである。

1.2 参考資料

下記は、この文書で参照している標準仕様及び研究報告書等の名称、バージョン、並びにその説明の一覧である。

- [1] 厚生労働省, 「標準的な健診・保健指導プログラム(改定版)」
 - [2] 厚生労働省, 「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」
 - [3] HL7 Inc, HL7 Version 3 Normative Edition 2006, <http://www.hl7.org/>.
 - [4] XML Schema Part 2: Datatypes, W3C Recommendation, <http://www.w3.org/TR/xmlschema-2/>.
- ※[1]、[2]については、厚生労働省 HP 「特定健診・特定保健指導について」
(<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html>) に公表されている最新版を参照すること。

2. 文書項目

特定健診情報、特定保健指導情報の決済情報集計ファイルの項目を表1に示す。

表1 決済情報集計ファイル項目一覧

No	ファイルの記録内容	フィールド名称	記録内容
1	特定健診/特定保健指導集計情報	実施区分	特定健診:「1」を記録。特定保健指導:「2」を記録。
2		特定健診受診者/特定保健指導利用者の総数	特定健診受診者/特定保健指導利用者の総数を記録
3		特定健診の単価/特定保健指導の算定金額の総計	特定健診に係る決済情報の単価(合計)/特定保健指導に係る決済情報の算定金額の集計を記録
4		特定健診受診者/特定保健指導利用者の窓口負担の金額総計	特定健診/特定保健指導に係る決済情報の窓口負担金額(合計)の集計を記録
5		他の検診による負担金額の総計	集合契約において、他の法令に基づく検診(がん検診等)を共同実施した場合の、他の検診側で負担する金額(合計)の集計を記録
6		特定健診/特定保健指導の請求金額総計	特定健診/特定保健指導に係る決済情報の請求金額の集計を記録

特定健診・特定保健指導データの電子的交換のためのファイル仕様説明書	Version: 4
決済情報集計ファイル仕様説明書	2023.3.31

3. XML 仕様

XML 設計における基本方針として、できる限り単純な XML とするが、日付や識別子などのデータ型のモデルは、HL7 CDA R2 形式で記述される特定健診情報/特定保健指導情報ファイルとの整合性を考慮した。また、内容の妥当性の確認のために属性値と内容モデルとの共起制約のチェックが必要になるといった、XML スキーマだけでは単純に記述できないような制約は可能な限り用いないことを方針とした。

本書では、XML 仕様を表 2 に示す表形式で記述する。

「要素名」で示される行は、その表に示される XML 要素名である。この要素の子要素または属性を表中の各行に示す。このとき、灰色に網掛けした行は XML 要素を表し、網掛けされていない行は、属性またはテキスト内容を表す。

「要素/属性」列は、各行が示す項目が XML 要素の場合要素名を、属性の場合は属性名を表す。属性名の前には「@」を付与する。テキスト内容の場合は「テキスト内容」を示す。

「型」列は、「要素」「属性」「テキスト」の 3 種類の値をとり、それぞれ、その行が表す内容が、XML 要素、属性、テキスト内容であることを示す。

多重度は、指定された要素または属性の出現数の最小値と最大値とを「..」の両端に示す形で表現する。最大値に制限がない場合は「*」（アスタリスク）で示す。例えば、下表 2 の場合、interactionType 要素は、XML 中に 0 または 1 つのみ出現し、sender 要素は、1 つ以上複数個出現することを意味する。なお、多重度は、その項目の上位の項目が出現する場合の多重度となる。例えば下の例では、interactionType 要素の多重度が「0..1」で、その下位項目である code 属性の多重度が「1..1」であるということは、上位項目である interactionType 要素自体は省略することが可能であるが、interactionType 要素が出現する場合には、その下位項目である code 属性も必ず出現することを意味している。

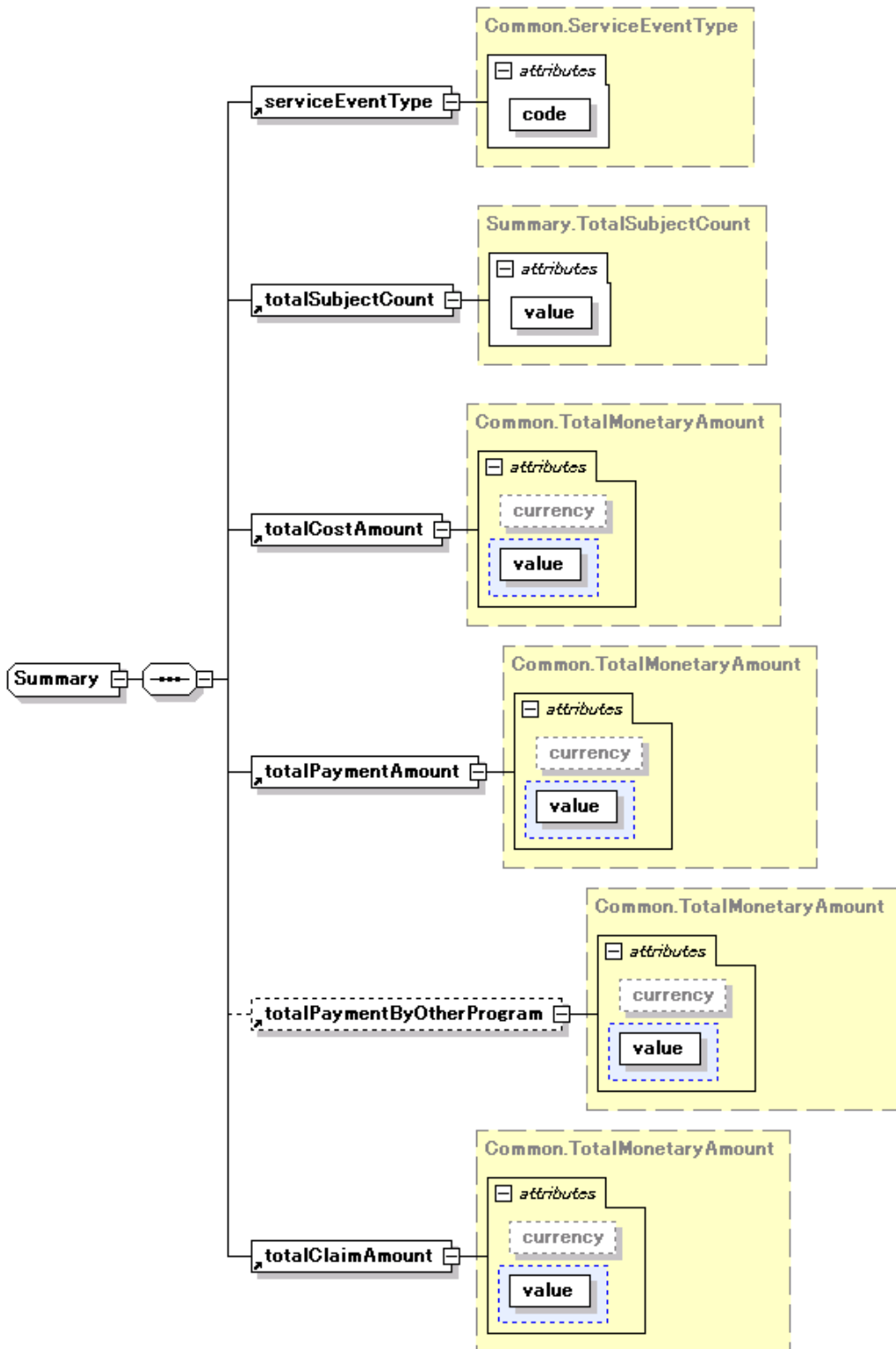
最小多重度が 0 である項目は、その要素または属性が存在しない場合があることを示す。もし記述すべき値がない（または記述すべき値が空文字列）場合には、その要素自体または属性自体を省略しなければならない。要素または属性を出現させて値は空文字列にすることは許可されない。

ここで掲げる表は XML タグ仕様の読み方を示すために記載した架空のものであり、本仕様とは無関係のものとして見る必要がある。

表 2 本書における XML 仕様の表記例

要素名		index		
No	要素 / 属性	型	多重度	説明
1.1	interactionType	要素	0..1	種別
1.1.1	@code	属性	1..1	表 2 のコード値
1.2	sender	要素	1..*	送付元機関
1.2.1	id	要素	1..1	送付元機関番号（以下のいずれかを値にとる） 特定健診機関番号・特定保健指導機関番号：半角数字 10 桁 代行機関番号：半角数字 8 桁 保険者番号：半角数字 8 桁以内
1.2.1.1	@root	属性	1..1	機関番号を識別するオブジェクト識別子
1.2.1.2	@extension	属性	1..1	機関番号文字列

本書で定義する XML スキーマ(su08_V08.xsd)の構造を図 1 に示す。



Generated by XmlSpy

www.altova.com

図 1 XML スキーマの構造

特定健診・特定保健指導データの電子的交換のためのファイル仕様説明書	Version: 4
決済情報集計ファイル仕様説明書	2023.3.31

3.1 集計情報 (Summary)

特定健診情報／特定保健指導情報の決済情報集計ファイルの XML 仕様を以下に示す。
totalPaymentByOtherProgram 要素は、健診の提出ファイルにおいてのみ使用し、共同実施を行わない場合は省略可能とする。その他のすべての子要素は必須要素であり、多重度は「1..1」となる

また、本規格は、特定健診の結果だけではなく、事業者健診や健康増進法に基づくがん検診といった、他の健診の結果を、事業者や市町村に送付する際にも使用することができる。その場合の実施区分は、「4:他の健診結果の受領分」を指定する。

表 3 集計情報 XML 仕様

型名		summary		
No	要素 / 属性	型	多重度	説明
1	serviceEventType	要素	1..1	実施区分。
1.1	@code	属性	1..1	表 4 のコード値。
2	totalSubjectCount	要素	1..1	このアーカイブに含まれる受診者／利用者の総数。
2.1	@value	属性	1..1	総数を半角数字 6 桁以内で記載。
3	totalCostAmount	要素	1..1	特定健診：このアーカイブに含まれる単価の金額総計。 保健指導：このアーカイブに含まれる算定金額の総計。
3.1	@value	属性	1..1	単価／算定金額の総計を半角数字 9 桁以内で記載。
3.2	@currency	属性	1..1	通貨コード。「JPY」固定。省略可。
4	totalPaymentAmount	要素	1..1	このアーカイブに含まれる窓口支払金額の集計。
4.1	@value	属性	1..1	窓口支払金額の総計を半角数字 9 桁以内で記載。
4.2	@currency	属性	1..1	通貨コード。「JPY」固定。省略可。
5	totalPaymentByOtherProgram	要素	0..1	集合契約において、他の法令に基づく検診（がん検診等）を共同実施した場合の、他の検診側で負担する金額（合計）の集計。
5.1	@value	属性	1..1	窓口支払金額の総計を半角数字 9 桁以内で記載。
5.2	@currency	属性	1..1	通貨コード。「JPY」固定。省略可。
6	totalClaimAmount	要素	1..1	このアーカイブに含まれる保険者への請求金額の集計。
6.1	@value	属性	1..1	請求金額の総計を半角数字 9 桁以内で記載。
6.2	@currency	属性	1..1	通貨コード。「JPY」固定。省略可。

4. コード表

本 XML で使用するコード表を以下に示す。

表 4 実施区分コード

コード名	コード	内容	備考
実施区分 コード	1	特定健診情報	
	2	特定保健指導情報	
	3	国への実績報告(匿名化済)	保険者での設定は不要
	4	他の健診結果の受領分	事業者健診の結果を受領した場合
	5	国への実績報告(匿名化前)	
	6	予備	
	7	予備	
	8	予備	
	9	予備	

特定健診・特定保健指導データの電子的交換のためのファイル仕様説明書	Version: 4
決済情報集計ファイル仕様説明書	2023.3.31

5. サンプル XML

特定健診情報・特定保健指導 決済情報集計ファイルの XML の例として、下記の内容を示す XML を以下に示す。

表 5 サンプル XML 内容

項目名称	値
実施区分	1 (特定健診情報)
特定健診受診者の総数	100 名
特定健診の単価の金額総計	5,802,457 円
特定健診の窓口支払金額の総計	1,234,567 円
他の健診による負担金額の総計	2,000,000 円
特定健診の請求金額総計	2,567,890 円

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<summary xmlns="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html"
xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html ./XSD/su08_V0
8.xsd">
  <!-- 実施区分 -->
  <serviceEventType code="1"/>
  <!-- 特定健診受診者／特定保健指導利用者の総数（100名の場合） -->
  <totalSubjectCount value="100"/>
  <!-- 特定健診 単価総計／特定保健指導 算定金額総計（5,802,457円の場合） -->
  <totalCostAmount value="5802457" currency="JPY"/>
  <!-- 特定健診／特定保健指導の窓口支払の金額総計（1,234,567円の場合） -->
  <totalPaymentAmount value="1234567" currency="JPY"/>
  <!-- 他の検診による負担金額の総計（2,000,000円の場合） -->
  <totalPaymentByOtherProgram value="2000000" currency="JPY"/>
  <!-- 特定健診／特定保健指導の請求金額総計（2,567,890円の場合） -->
  <totalClaimAmount value="2567890" currency="JPY"/>
</summary>
```

特定健診・特定保健指導データの電子的交換のためのファイル仕様説明書	Version: 4
決済情報集計ファイル仕様説明書	2023.3.31

Ver.4

本説明文書は、厚生労働省保険局医療介護連携政策課医療費適正化対策推進室により修正されました。また、「第4期特定健診・特定保健指導の見直しに関する検討会」の下に設置された「システム改修に関するワーキンググループ」の作業班メンバーや、ここに記載していない多くの方々の献身的な貢献により検討された成果に基づいています。

システム改修に関するワーキンググループ作業班

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xs:schema attributeFormDefault="unqualified" elementFormDefault="qualified"
targetNamespace="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html"
xmlns:xs="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
xmlns="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html">
  <xs:include schemaLocation="co08_V08.xsd"/>
  <!-- Element Definition -->
  <xs:element type="Summary" name="summary"/>
  <xs:element type="Summary.TotalSubjectCount" name="totalSubjectCount"/>
  <xs:element type="Common.TotalMonetaryAmount" name="totalCostAmount"/>
  <xs:element type="Common.TotalMonetaryAmount" name="totalPaymentAmount"/>
  <xs:element type="Common.TotalMonetaryAmount"
    name="totalPaymentByOtherProgram"/>
  <xs:element type="Common.TotalMonetaryAmount" name="totalClaimAmount"/>
  <!-- ComplexType Definition -->
  - <xs:complexType name="Summary">
    - <xs:sequence>
      <xs:element ref="serviceEventType"/>
      <xs:element ref="totalSubjectCount"/>
      <xs:element ref="totalCostAmount"/>
      <xs:element ref="totalPaymentAmount"/>
      <xs:element ref="totalPaymentByOtherProgram" minOccurs="0"/>
      <xs:element ref="totalClaimAmount"/>
    </xs:sequence>
  </xs:complexType>
  - <xs:complexType name="Summary.TotalSubjectCount">
    <xs:attribute type="totalCount" name="value" use="required"/>
  </xs:complexType>
</xs:schema>

```


特定健診・特定保健指導の電子的なデータ標準様式

2-3B 特定健診・特定保健指導 集計情報ファイル
(医療保険者→国)
仕様説明書

Version 4

特定健康診査・特定保健指導の電子的な標準様式	Version: 4
集計情報ファイル（国への実績報告用）仕様説明書	2023.03.31

目次

1.	はじめに	3
1.1	目的	3
1.2	参考資料	3
1.3	修正履歴	3
1.4	本仕様書の適用範囲	4
2.	文書項目	4
3.	XML仕様	7
3.1	集計情報 (AnnualSummary)	17
3.2	全体情報 (total)	19
3.3	内臓脂肪症候群情報 (metabolicSyndrome)	20
3.4	服薬情報 (medication)	21
3.5	内臓脂肪症候群該当者の減少率情報 (reductionRateOfHighRiskGroup)	22
3.6	内臓脂肪症候群予備群者の減少率情報 (reductionRateOfMiddleRiskGroup)	22
3.7	保健指導対象者の減少率情報 (reductionRateOfGuidanceGroup)	23
3.8	特定保健指導情報 (healthGuidance)	24
3.9	アウトカム評価情報 (outcomeAssessment)	27
4.	コード表	27
5.	サンプルXML	28

特定健康診査・特定保健指導の電子的な標準様式	Version: 4
集計情報ファイル（国への実績報告用）仕様説明書	2023.03.31

集計情報ファイル(医療保険者→国) 仕様説明書

1. はじめに

1.1 目的

本文書の目的は、「特定健診・特定保健指導情報の集計情報ファイル」について、その電子的な記述仕様を説明するものである。また技術仕様上の位置づけとしては、集計情報ファイル（医療保険者→国）のXML(eXtensible Markup Language)による電子的標準様式を定義するものであり、別途公表されている同XMLスキーマを説明および補完するものである。

1.2 参考資料

下記は、この文書で参照している標準仕様及び研究報告書等の名称、バージョン、並びにその説明の一覧である。

- [1] 厚生労働省、「標準的な健診・保健指導プログラム（改定版）」
 - [2] 厚生労働省、「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」
 - [3] HL7 Inc, HL7 Version 3 Normative Edition 2006, <http://www.hl7.org/>.
 - [4] XML Schema Part 2: Datatypes, W3C Recommendation, <http://www.w3.org/TR/xmlschema-2/>.
- ※[1]、[2]については、厚生労働省 HP 「特定健診・特定保健指導について」
(<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html>) に公表されている最新版を参照すること。

1.3 修正履歴

日付	版	修正内容
-	1. 1	3 XML仕様 ページ5 最終行を削除（赤字での記載を取りやめたため）。 3.1 集計情報 ページ14 増減を表すchanges属性の計算方法として、「当該年度の値から前年度の値を引いた値」と記載していたが、これは厚労省通知の記載と異なっており正しくは「前年度の値から当該年度の値を引いた値」と記載すべきであったため、訂正。 5 サンプルXML ページ23～27 上記訂正に伴い、表13のサンプル中の増減欄、およびXMLサンプル中の増減とchanges属性の値を訂正。
2009年3月30日	2	2. 文書項目 保険者での服薬確認を実施した際の集計方法について追加。
2017年3月31日	3	<p>■XML仕様上に関する修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表1に「XML-No」欄、および「備考」欄を追加 ・2. 文書項目の表1に「No36：特定保健指導（動機付け支援相当）の利用者数（人）」 「No37：特定保健指導（モデル実施）の利用者数（人）」 「No40：特定保健指導（動機付け支援相当）の終了者数（人）」 「No：41 特定保健指導（モデル実施）の終了者数（人）」を追加 また、No32, 33, 34, 38, 42 の「積極的支援」を「積極的支援レベル」、No43, 44, 45, 47 の「動機付け支援」を「動機付け支援レベル」に修正 ・図1の表の項番を修正 ・3. XML仕様の図1スキーマの構造（特定保健指導）を張替 ・3.8 特定保健指導情報の表11にNo. 10. 6, 10. 7, 10. 10, 10. 11 を追加 ・5 サンプルXMLの表13のサンプルを修正 <p>■XML仕様上に関するない修正</p>

特定健康診査・特定保健指導の電子的な標準様式	Version: 4
集計情報ファイル（国への実績報告用）仕様説明書	2023.03.31

2023年3月31日	4	<ul style="list-style-type: none"> ・バージョンを「2」から「3」に修正 ・その他既存誤記及び見栄え修正 <p>■XML仕様上に関する修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル実施に関する項目を削除（v3時点でのXML-No. 37、41） ・アウトカム評価に関する項目の追加（XML-No. 11.1～11.14）。それに伴う図12の追加、サンプルの修正 ・特定保健指導開始前の服薬者数に関する項目名（XML-No. 10.4、10.16）を一部修正 ・特定保健指導開始後の服薬者数に関する項目の追加（XML-No. 10.10、10.11、10.20） ・服薬者の取扱い変更に伴う一部集計項目の算式変更（XML-No. 10.12、10.21、10.23） ・服薬者数の取扱いについて、「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」の内容と重複する記載を削除 ・一部項目の多重度を支払基金のチェック仕様にあわせ「0..0」→「1..0」に修正 ・XML名前空間を変更 (https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html) <p>■XML仕様上に関係のない修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本仕様書のファイル名を変更 ・バージョンを「3」から「4」に修正 ・1.1目的の厚労省通知との対応関係に係る記載を削除 ・6.XMLスキーマの記載を削除 ・各種サンプルの日付変更 ・その他既存誤記及び見栄え修正
------------	---	---

1.4 本仕様書の適用範囲

本仕様書（Version4）は、令和6年度以降に実施される特定健康診査及びそれに基づき実施される特定保健指導の実績報告を実施する、特定健診情報、特定保健指導情報の集計情報ファイル（医療保険者→国）に適用される。

2. 文書項目

特定健診情報、特定保健指導情報の集計情報ファイル（医療保険者→国）の項目を表1に示す。

表1 集計情報ファイル項目一覧（厚労省通知別表6）

No	項目	XML-No	備考
1	特定健康診査対象者数※1	4.1	当該年齢層における対象者数
2	特定健康診査の対象となる被扶養者の数	4.2	被用者保険の保険者のみ記録
3	2のうち、特定健康診査受診券を配布した者の数	4.3	被用者保険の保険者のみ記録
4	特定健康診査受診者数（人）	4.4	1のうち、定められた健診項目を全て受診した者の数
5	健診受診率（%）	4.5	$=4/1 * 100$
6	評価対象者数（人）	4.6	4の健診完了者に加え、全ての健診は受診できなかったものの、階層化が可能な対象者も含んだ数
7	内臓脂肪 内臓脂肪症候群該当者数（人）	5.1	

特定健康診査・特定保健指導の電子的な標準様式	Version: 4
集計情報ファイル（国への実績報告用）仕様説明書	2023.03.31

8	症候群	内臓脂肪症候群該当者割合（％）	5.2	$=7/6 * 100$
9		内臓脂肪症候群予備群者数（人）	5.3	
10		内臓脂肪症候群予備群者割合（％）	5.4	$=9/6 * 100$
11	服薬中の者	高血圧症の治療に係る薬剤を服用している者の数（人）	6.1	
12		高血圧症の治療に係る薬剤を服用している者の割合（％）	6.2	$=11/6 * 100$
13		脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者の数（人）	6.3	
14		脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者の割合（％）	6.4	$=13/6 * 100$
15		糖尿病の治療に係る薬剤を服用している者の数（人）	6.5	
16		糖尿病の治療に係る薬剤を服用している者の割合（％）	6.6	$=15/6 * 100$
17	内臓脂肪症候群該当者の減少率	昨年度の内臓脂肪症候群該当者の数（人）	7.1	
18		17のうち、今年度の内臓脂肪症候群予備群の数（人）	7.2	
19		17のうち、今年度の内臓脂肪症候群予備群の割合（％）	7.3	$=18/17 * 100$
20		17のうち、今年度の内臓脂肪症候群該当者・予備群ではなくなった者の数（人）	7.4	
21		17のうち、今年度の内臓脂肪症候群該当者・予備群ではなくなった者の割合（％）	7.5	$=20/17 * 100$
22		内臓脂肪症候群該当者の減少率（％）	7.6	$=(18+20)/17 * 100$
23	内臓脂肪症候群予備群の減少率	昨年度の内臓脂肪症候群予備群の数（人）	8.1	
24		23のうち、今年度の内臓脂肪症候群該当者・予備群ではなくなった者の数（人）	8.2	
25		23のうち、今年度の内臓脂肪症候群該当者・予備群ではなくなった者の割合（％）	8.3	$=24/23 * 100$
26	保健指導対象者の減少率	昨年度の特定保健指導の対象者数（人）	9.1	
27		26のうち、今年度は特定保健指導対象でなくなった者の数（人）※2	9.2	
28		特定保健指導対象者の減少率（％）	9.3	$=27/26 * 100$
29		昨年度の特定保健指導の利用者数（人）	9.4	
30		29のうち、今年度は特定保健指導の対象ではなくなった者の数（人）※2	9.5	
31		特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率（％）	9.6	$=30/29 * 100$
32	特定保健指導	特定保健指導（積極的支援レベル）の対象者数（人）	10.2	6のうち、実施基準(※3)第8条第2項の規定に該当する者
33		特定保健指導（積極的支援レベル）の対象者の割合（％）	10.3	$=32/6 * 100$
34		特定保健指導開始前に、服薬確認により特定保健指導（積極的支援レベル）対象者から除外した者の数（人）	10.4	
35		特定保健指導（積極的支援）の利用者数（人）	10.5	初回面接を実施した者（※4）の数
36		特定保健指導（動機付け支援相当）の利用者数（人）	10.6	初回面接を実施した者（※4）の数
37		特定保健指導（積極的支援レベル）の利用者の割合（％）	10.7	$=(35+36)/32 * 100$
38		特定保健指導（積極的支援）の終了者数（人）	10.8	実績評価まで完了した者(実績評価において、度重なる連絡にも応答がなく未実施の場合も完了と見做す)
39		特定保健指導（動機付け支援相当）の終了者数（人）	10.9	
40		特定保健指導開始後に、服薬確認により特定保健指導（積極的支援）対象者から除外した者の数（人）	10.10	
41		特定保健指導開始後に、服薬確認により特定保健指導（動機付け支援相当）対象者から除外した者の数（人）	10.11	
42		特定保健指導（積極的支援レベル）の終了者の割合（％）	10.12	$=(38+39)/(32-40-41) * 100$

特定健康診査・特定保健指導の電子的な標準様式	Version: 4
集計情報ファイル（国への実績報告用）仕様説明書	2023.03.31

43		特定保健指導（動機付け支援レベル）の対象者数（人）	10.14	6のうち、実施基準(※3)第7条第2項の規定に該当する者
44		特定保健指導（動機付け支援レベル）の対象者の割合（％）	10.15	=43/6*100
45		特定保健指導開始前に、服薬確認により特定保健指導(動機付け支援レベル)の対象者から除外した者の数(人)	10.16	
46		特定保健指導（動機付け支援）の利用者数（人）	10.17	初回面接を実施した者（※4）の数
47		特定保健指導（動機付け支援レベル）の利用者の割合（％）	10.18	=46/43*100
48		特定保健指導（動機付け支援）の終了者数（人）	10.19	実績評価まで完了した者(実績評価において、度重なる連絡にも応答がなく未実施の場合も完了と見做す)
49		特定保健指導開始後に、服薬確認により特定保健指導（動機付け支援）対象者から除外した者の数（人）	10.20	
50		特定保健指導（動機付け支援）の終了者の割合（％）	10.21	=48/(43-49)*100
51		特定保健指導の対象者数（小計）（人）	10.23	=32-40-41+43-49
52		特定保健指導の終了者数（小計）（人）	10.24	=38+39+48
53		特定保健指導の終了者（小計）の割合（％）	10.25	=52/51*100
54	アウトカム評価	特定保健指導（積極的支援）終了者の腹囲2cm・体重2kg減達成者数（人）	11.1	38のうち、2cm・2kg減を達成した者の数
55		特定保健指導（積極的支援）終了者の腹囲2cm・体重2kg減達成割合（％）	11.2	=54/38*100
56		特定保健指導（積極的支援）終了者の腹囲1cm・体重1kg減達成者数（人）	11.3	38のうち、1cm・1kg減を達成した者の数
57		特定保健指導（積極的支援）終了者の腹囲1cm・体重1kg減達成割合（％）	11.4	=56/38*100
58		特定保健指導（積極的支援）終了者の生活習慣の改善(食習慣)者数（人）	11.5	38のうち、食習慣の改善を達成した者の数
59		特定保健指導（積極的支援）終了者の生活習慣の改善(食習慣)割合（％）	11.6	=58/38*100
60		特定保健指導（積極的支援）終了者の生活習慣の改善(運動習慣)者数（人）	11.7	38のうち、運動習慣の改善を達成した者の数
61		特定保健指導（積極的支援）終了者の生活習慣の改善(運動習慣)割合（％）	11.8	60/38*100
62		特定保健指導（積極的支援）終了者の生活習慣の改善(喫煙習慣)者数（人）	11.9	38のうち、喫煙習慣の改善を達成した者の数
63		特定保健指導（積極的支援）終了者の生活習慣の改善(喫煙習慣)割合（％）	11.10	=62/38*100
64		特定保健指導（積極的支援）終了者の生活習慣の改善(休養習慣)者数（人）	11.11	38のうち、休養習慣の改善を達成した者の数
65		特定保健指導（積極的支援）終了者の生活習慣の改善(休養習慣)割合（％）	11.12	=64/38*100
66		特定保健指導（積極的支援）終了者の生活習慣の改善(その他の生活習慣)者数（人）	11.13	38のうち、その他の生活習慣の改善を達成した者の数
67		特定保健指導（積極的支援）終了者の生活習慣の改善(その他の生活習慣)割合（％）	11.14	=66/38*100

- ※1 健診対象者数は当該年度で毎年4月1日を基準とし、その年度中に異動した者及び除外基準を満たす者を除く。
 ※2 検査結果の改善により、特定保健指導の対象から外れたのみをカウントする(服薬中の者となることにより、特定保健指導の対象から外れたものを除く)。
 ※3 特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する基準（平成19年厚生労働省令第157号）
 ※4 初回面接未完了の者は含めない。

特定健康診査・特定保健指導の電子的な標準様式	Version: 4
集計情報ファイル（国への実績報告用）仕様説明書	2023.03.31

3. XML 仕様

XML 設計における基本方針として、できる限り単純な XML とするが、日付や識別子などのデータ型のモデルは、HL7 CDA R2 形式で記述される特定健診情報/特定保健指導情報ファイルとの整合性を考慮した。また、内容の妥当性の確認のために属性値と内容モデルとの共起制約のチェックが必要になるといった、XML スキーマだけでは単純に記述できないような制約は可能な限り用いないことを方針とした。

本書では、XML 仕様を表 2 に示す表形式で記述する。

「要素名」で示される行は、その表に示される XML 要素名である。この要素の子要素または属性を表中の各行に示す。このとき、灰色に網掛けした行は XML 要素を表し、網掛けされていない行は、属性またはテキスト内容を表す。

「要素/属性」列は、各行が示す項目が XML 要素の場合要素名を、属性の場合は属性名を表す。属性名の前には「@」を付与する。テキスト内容の場合は「テキスト内容」を示す。

「型」列は、「要素」「属性」「テキスト」の 3 種類の値をとり、それぞれ、その行が表す内容が、XML 要素、属性、テキスト内容であることを示す。

多重度は、指定された要素または属性の出現数の最小値と最大値とを「..」の両端に示す形で表現する。最大値に制限がない場合は「*」（アスタリスク）で示す。例えば、下表 2 の場合、interactionType 要素は、XML 中に 0 または 1 つのみ出現し、sender 要素は、1 つ以上複数個出現することを意味する。なお、多重度は、その項目の上位の項目が出現する場合の多重度となる。例えば下の例では、interactionType 要素の多重度が「0..1」で、その下位項目である code 属性の多重度が「1..1」であるということは、上位項目である interactionType 要素自体は省略することが可能であるが、interactionType 要素が出現する場合には、その下位項目である code 属性も必ず出現することを意味している。

表 2 本書における XML 仕様の表記例

要素名		index		
No	要素 / 属性	型	多重度	説明
1.1	interactionType	要素	0..1	種別
1.1.1	@code	属性	1..1	表 2 のコード値
1.2	sender	要素	1..*	送付元機関
1.2.1	id	要素	1..1	送付元機関番号（以下のいずれかを値にとる） 特定健診機関番号・特定保健指導機関番号：半角数字 10 桁 代行機関番号：半角数字 8 桁 保険者番号：半角数字 8 桁以内
1.2.1.1	@root	属性	1..1	機関番号を識別するオブジェクト識別子
1.2.1.2	@extension	属性	1..1	機関番号文字列

本書で定義する XML スキーマ(asu08_V08.xsd)の構造を図 1～図 12 に示す。

特定健康診査・特定保健指導の電子的な標準様式	Version: 4
集計情報ファイル（国への実績報告用）仕様説明書	2023.03.31

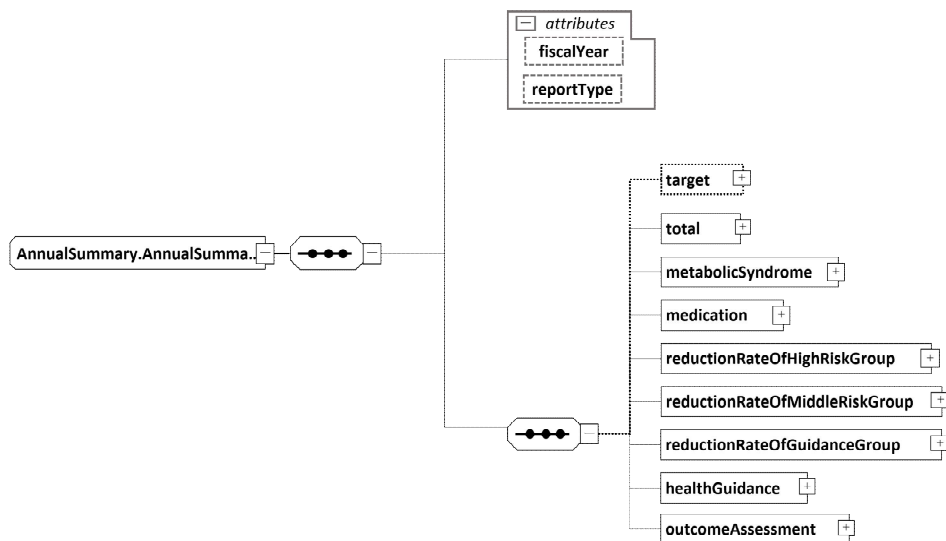


図 1 XML スキーマの構造（全体構造）

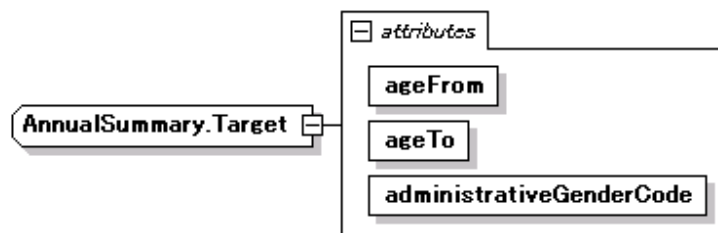


図 2 スキーマの構造（対象情報）

特定健康診査・特定保健指導の電子的な標準様式	Version: 4
集計情報ファイル（国への実績報告用）仕様説明書	2023.03.31

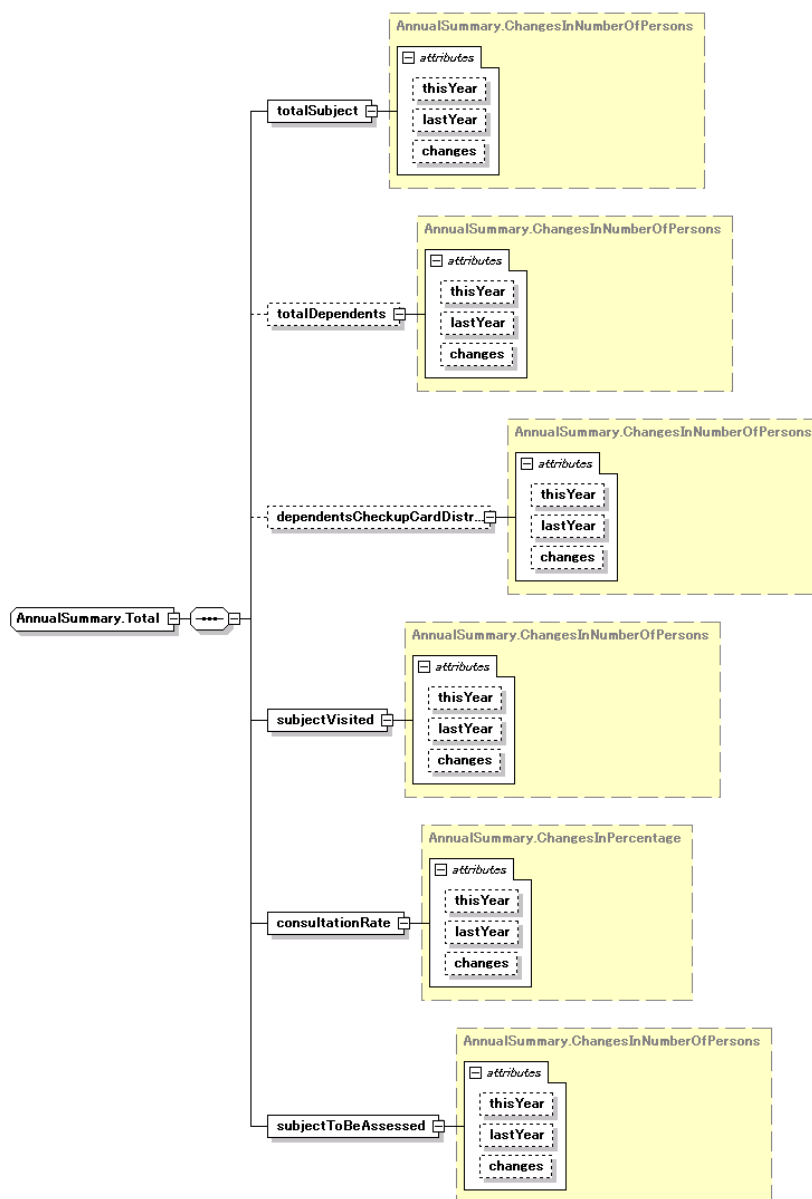


図3 スキーマの構造（全体情報）

特定健康診査・特定保健指導の電子的な標準様式	Version: 4
集計情報ファイル（国への実績報告用）仕様説明書	2023.03.31

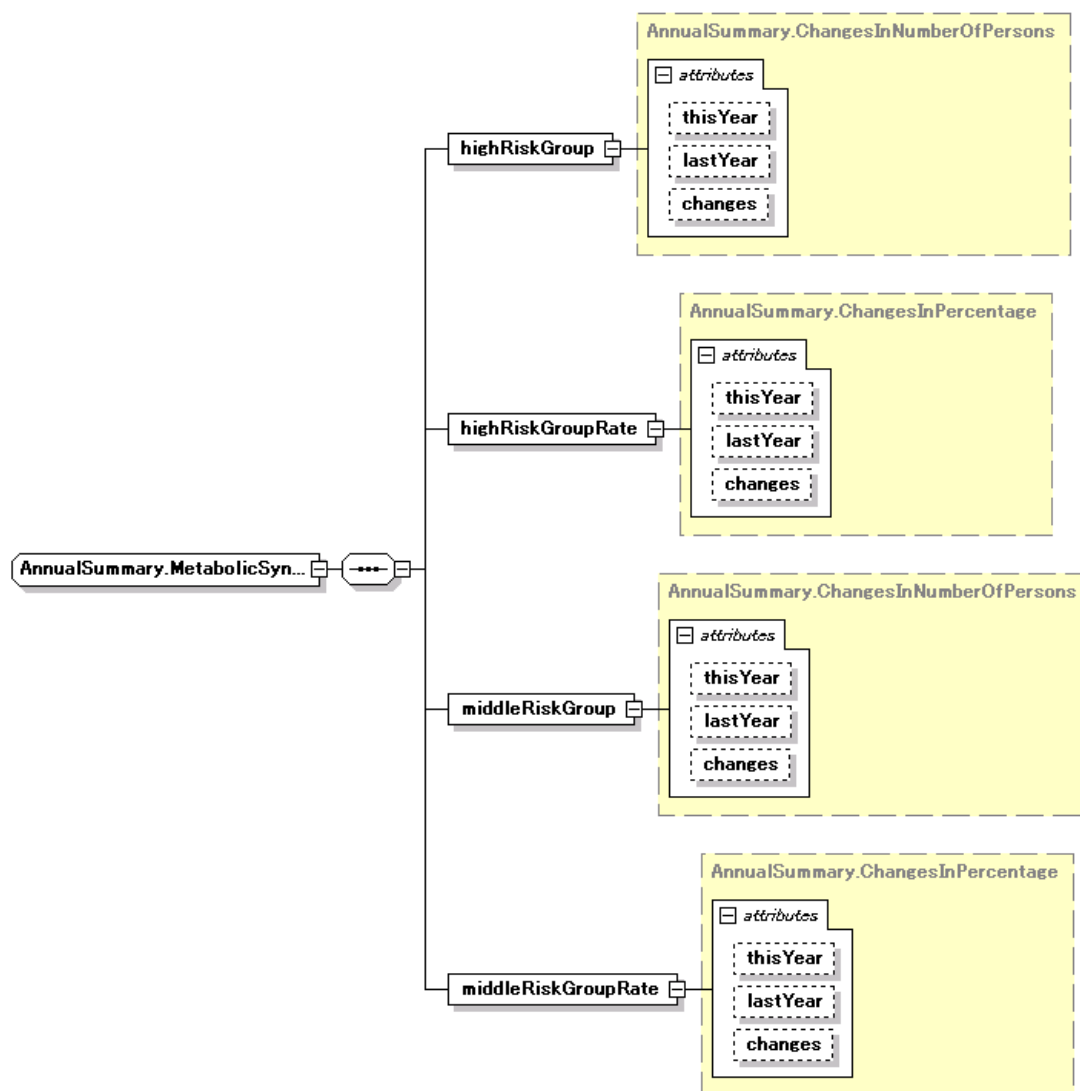


図 4 スキーマの構造（内臓脂肪症候群）

特定健康診査・特定保健指導の電子的な標準様式	Version: 4
集計情報ファイル（国への実績報告用）仕様説明書	2023.03.31

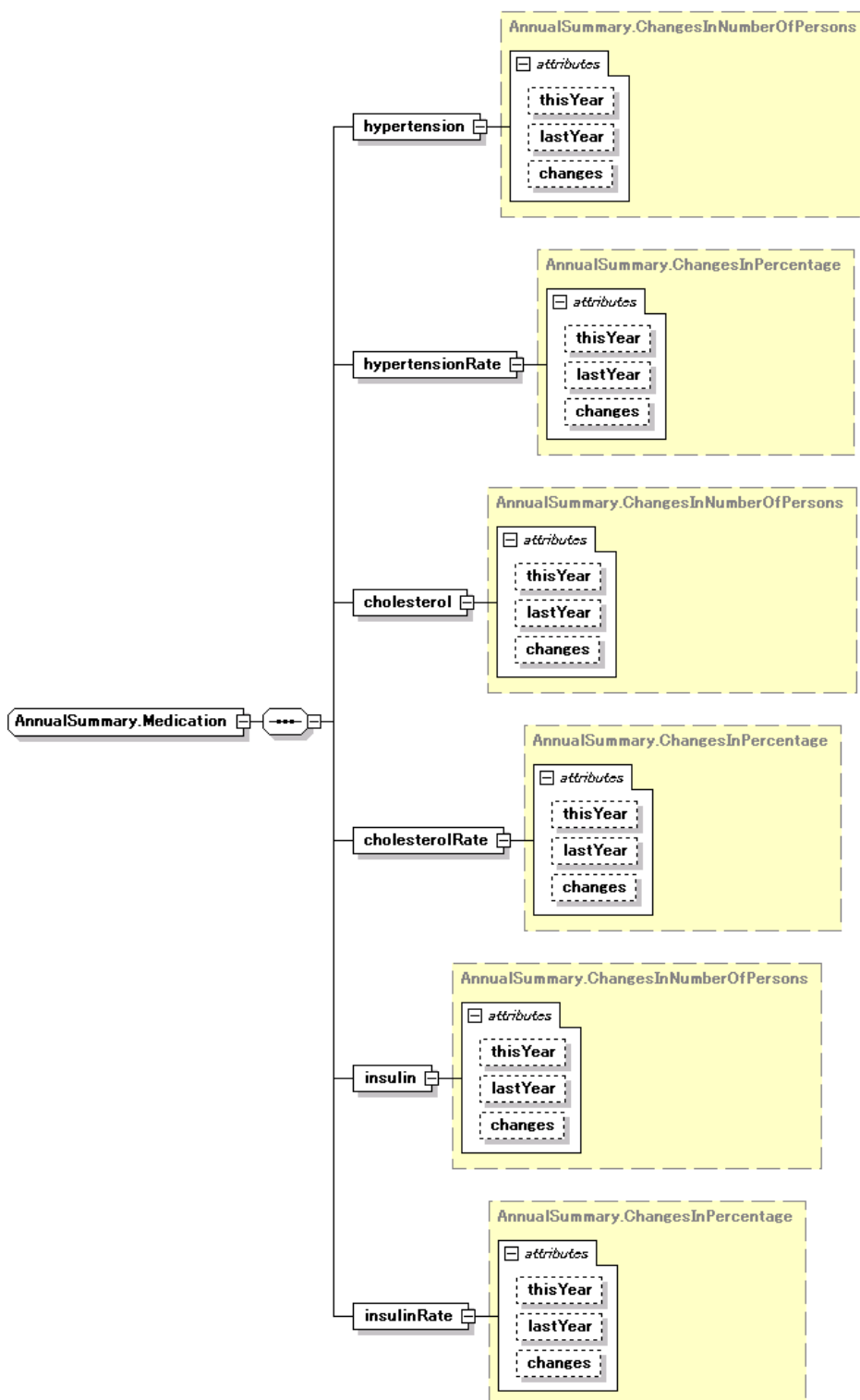


図 5 スキーマの構造（服薬中の者）

特定健康診査・特定保健指導の電子的な標準様式	Version: 4
集計情報ファイル（国への実績報告用）仕様説明書	2023.03.31

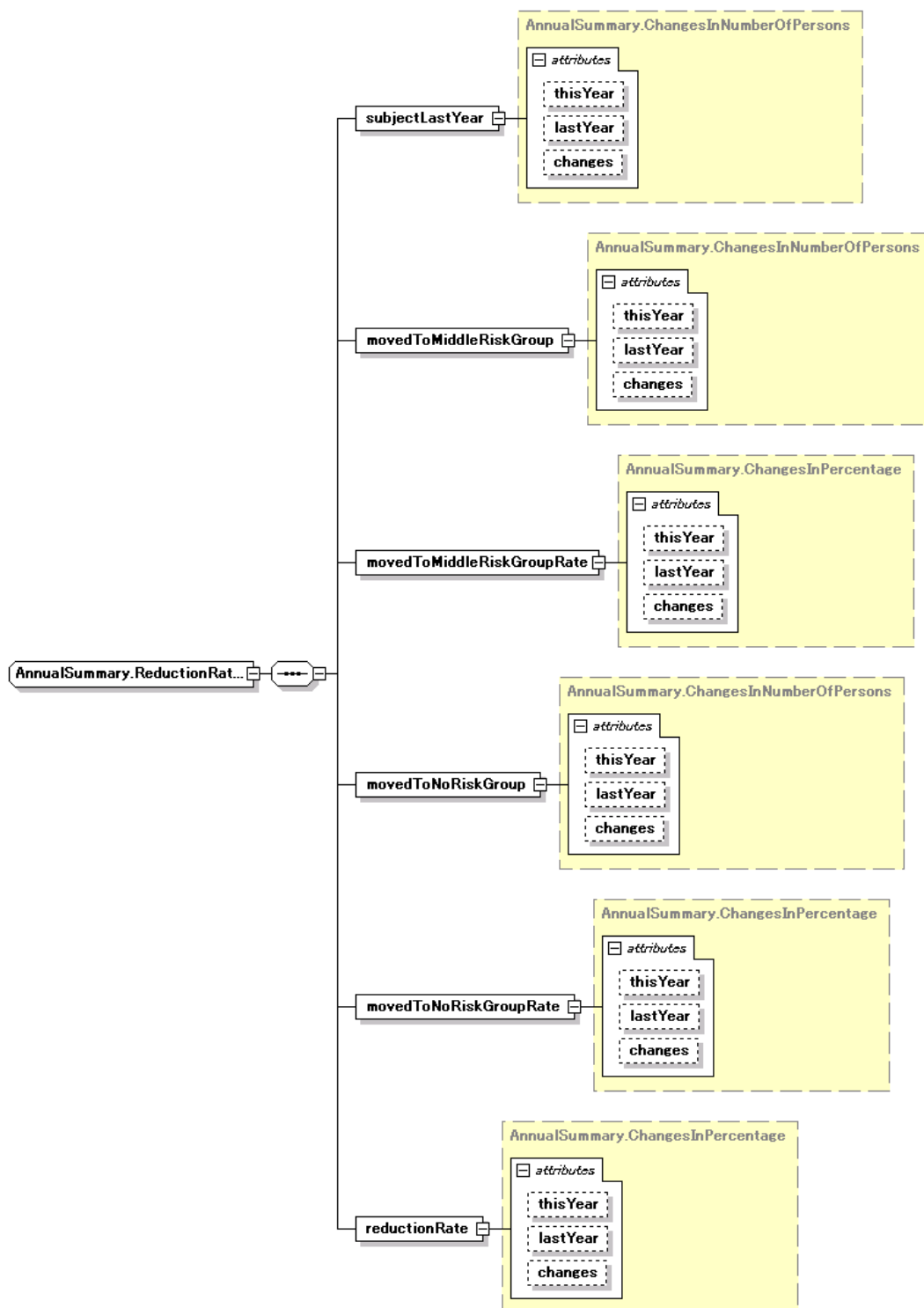


図 6 スキーマの構造（内臓脂肪症候群該当者の減少率）

特定健康診査・特定保健指導の電子的な標準様式	Version: 4
集計情報ファイル（国への実績報告用）仕様説明書	2023.03.31

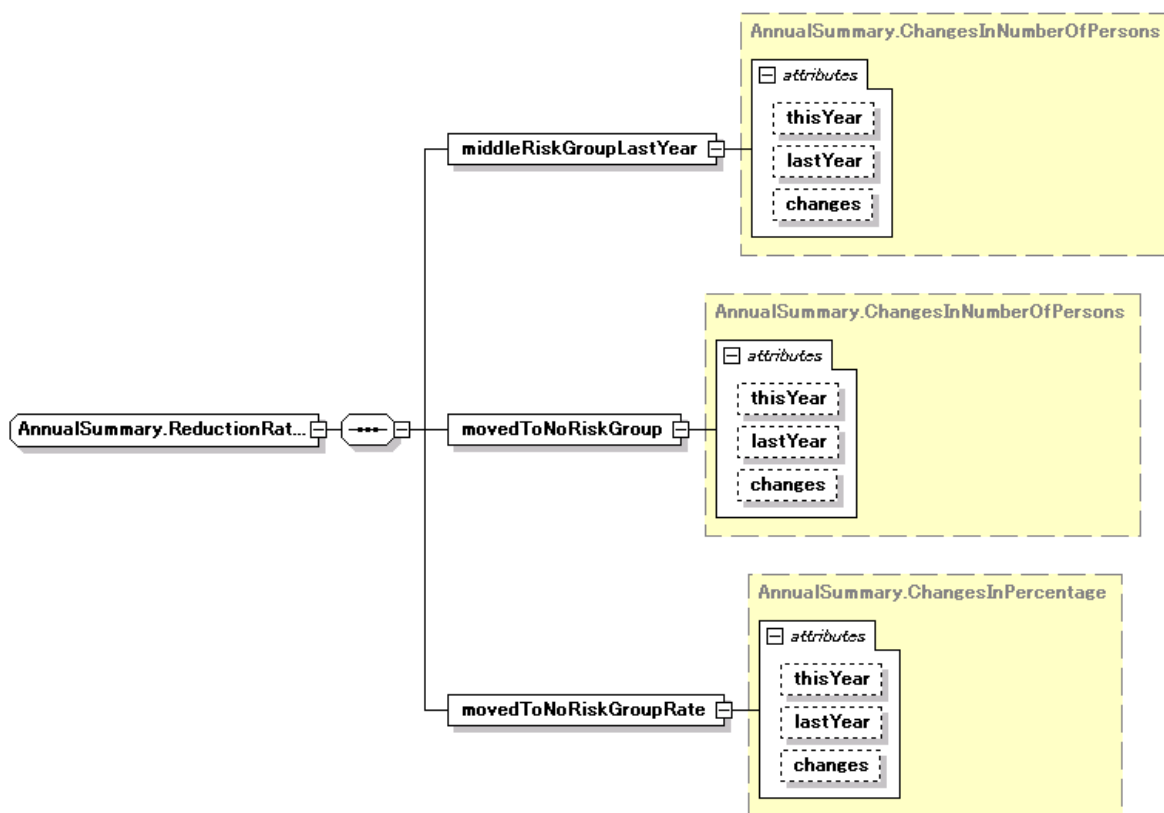


図7 スキーマの構造（内臓脂肪症候群予備群の減少率）

特定健康診査・特定保健指導の電子的な標準様式	Version: 4
集計情報ファイル（国への実績報告用）仕様説明書	2023.03.31

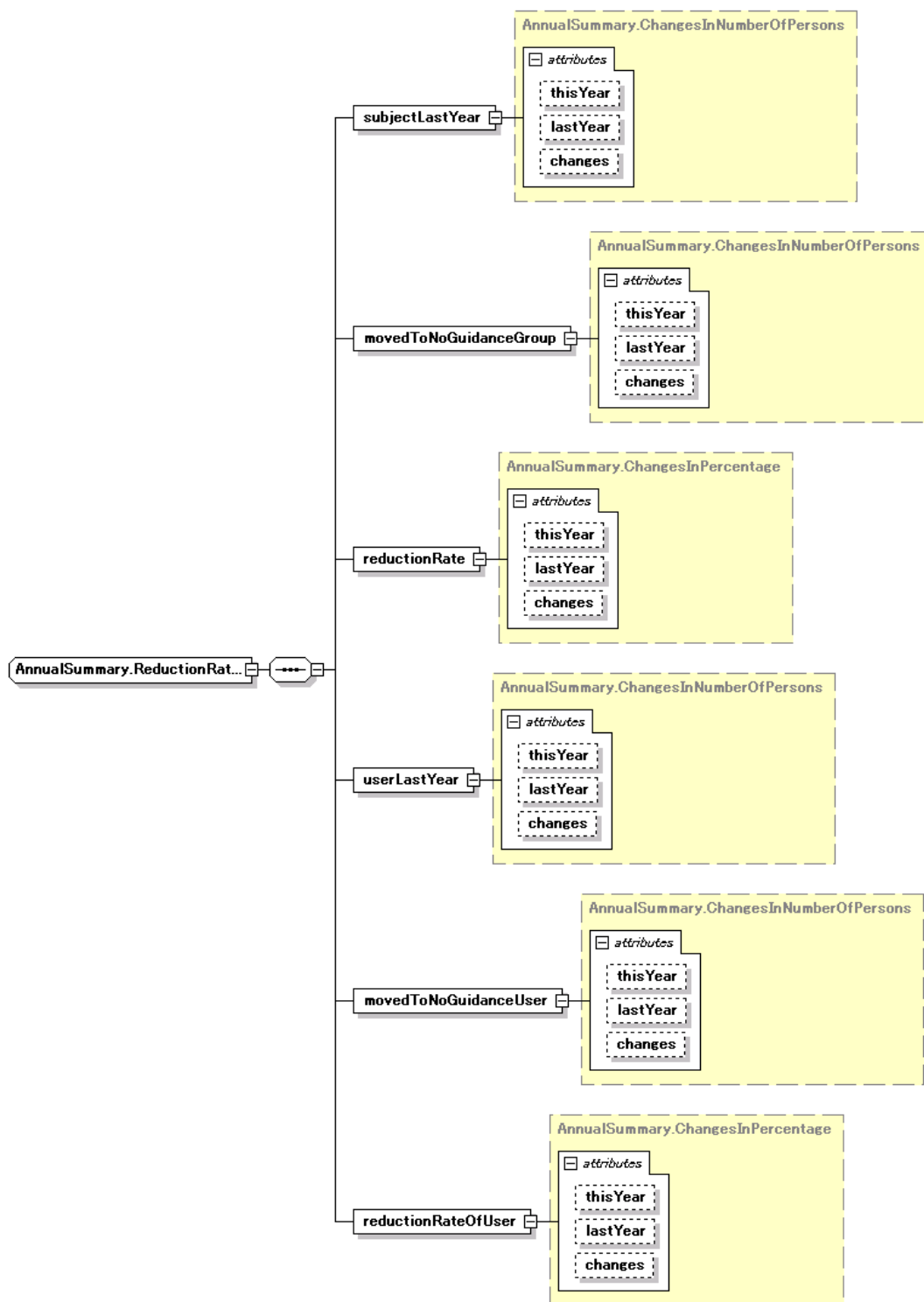


図 8 スキーマの構造（保健指導対象者の減少率）

特定健康診査・特定保健指導の電子的な標準様式	Version: 4
集計情報ファイル（国への実績報告用）仕様説明書	2023.03.31

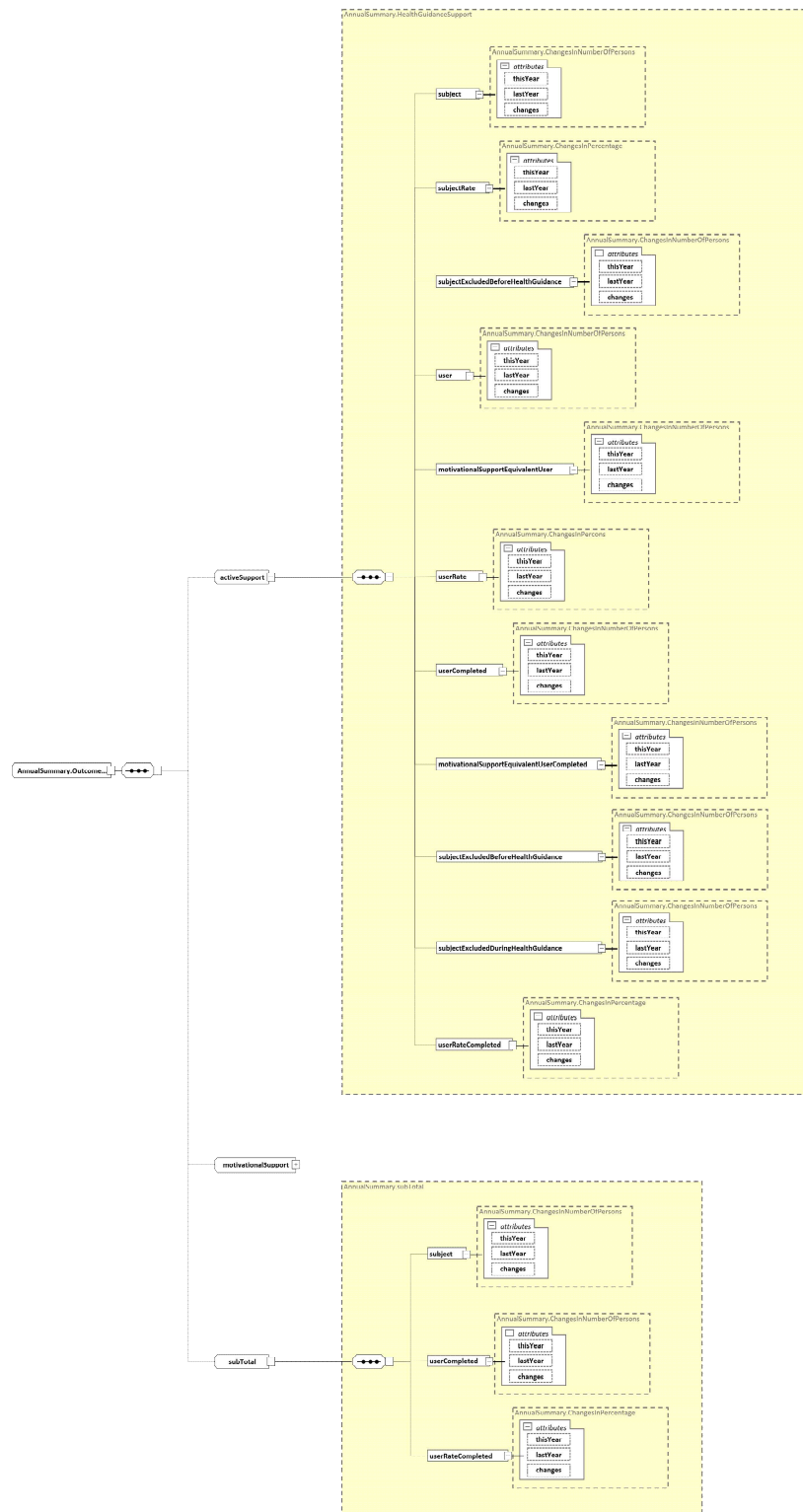


図9 スキーマの構造（特定保健指導）

特定健康診査・特定保健指導の電子的な標準様式	Version: 4
集計情報ファイル（国への実績報告用）仕様説明書	2023.03.31

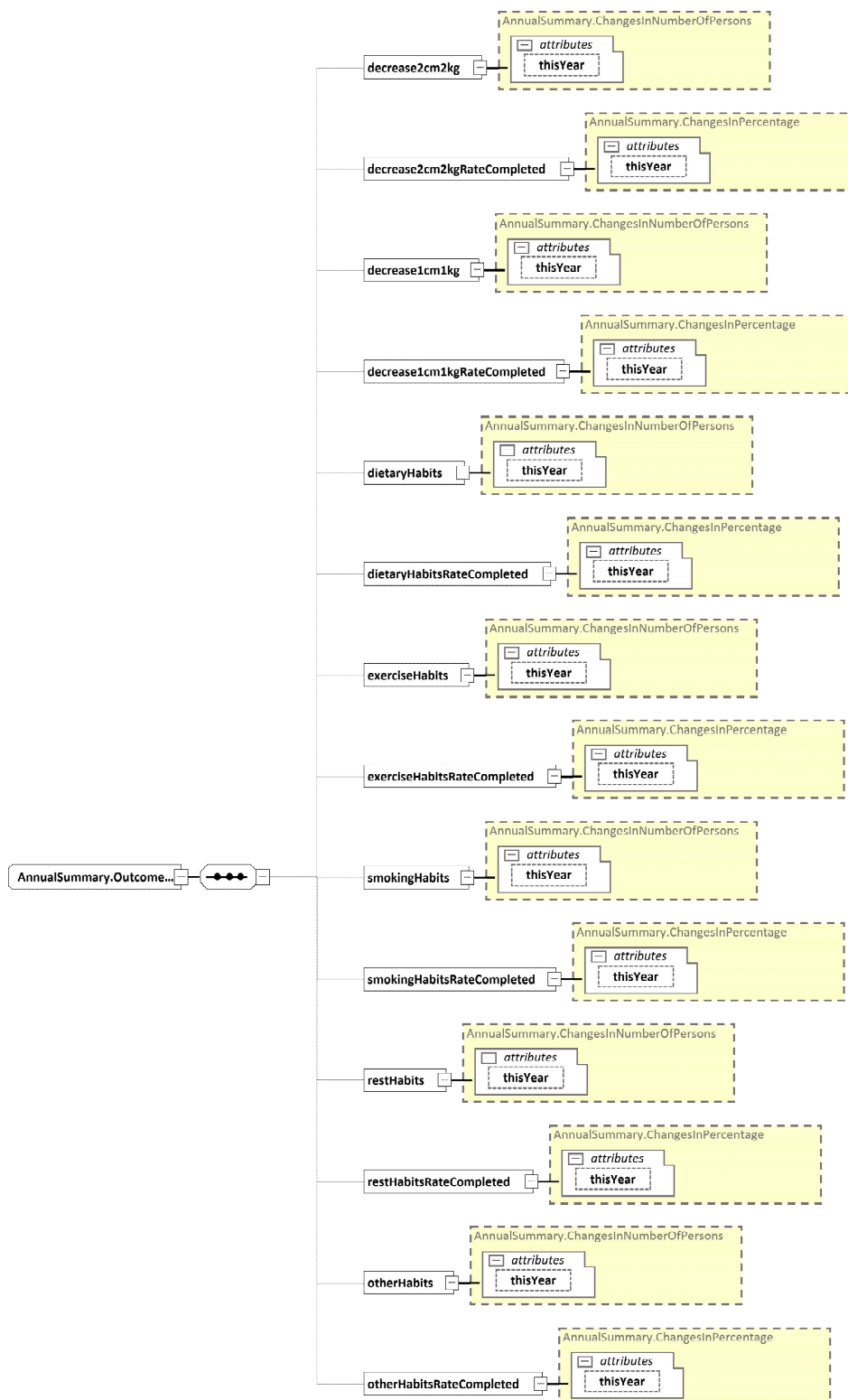


図 12 スキーマの構造（アウトカム評価）

特定健康診査・特定保健指導の電子的な標準様式	Version: 4
集計情報ファイル（国への実績報告用）仕様説明書	2023.03.31

3.1 集計情報 (AnnualSummary)

特定健診情報／特定保健指導情報の集計情報ファイル（医療保険者→国）の XML 仕様を以下に示す。表の最右列は、厚労省通知別表 6 の対応行番号を示している。

集計情報ファイルのルート要素「**annualSummary**」の属性、「**fiscalYear**」には、報告対象年度を西暦 4 桁で記録する。「**reportType**」には、総括表の場合「**Total**」、年代別ファイルの場合「**Separated**」を記録する。

「**target**」要素は必須で、年代別ファイルの場合は、対象年代の下限「**ageFrom**」、対象年代の上限「**ageTo**」、性別コード「**administrativeGenderCode**」とも必須である。総括表（全対象者）の場合は、対象年代の下限、上限、及び、性別コードは記録しないが、総括表（男女別）の場合は性別コードのみ記録する（表 3）。

すべての共通の仕様として、厚労省通知別表 6 の今年度欄は、集計事項が「今年度」の事項である場合には、**thisYear** 属性に当該対象年度の値、**lastYear** 属性にその前年度の値、**changes** 属性に前年度の値から当該年度の値を引いた値を設定する。前年度の値が存在しない場合には、**lastYear** 属性と **changes** 属性は属性自体が出現しない。

集計事項が「昨年度」の事項である場合には、**thisYear** 属性に昨年度の値、**lastYear** 属性に一昨年度の値、**changes** 属性に一昨年度の値から昨年度の値を引いた値を設定する。昨年度の値が存在しない場合には、**thisYear** 属性は属性自体が出現しない。また一昨年度の値が存在しない場合には、**lastYear** 属性と **changes** 属性は属性自体が出現しない。

集計事項の報告が当該対象年度において必須ではない場合には、当該要素は出現しない。

集計事項の報告が当該対象年度において必須であるにもかかわらず対象年度の値がなんらかの理由で算出できず報告ができない場合には、本仕様上は当該要素を出現させ **thisYear** 属性を出現させないものとするが、これは報告義務に準拠していないファイルを作成したことになる。

人数を記録する場合、半角数字で記録し、桁数は特に指定しない。負数の場合にだけマイナス符号をつける。

健診受診率のように割合を記録する場合、書式は、小数点以下第 2 位を四捨五入し、小数点以下第 1 位までの値で記録する（例えば 10% は 10.0、-12.45% は -12.5 と記録する）。負数の場合にだけマイナス符号をつける。

表 3 年代別ファイルと総括表の相違点

	年代別ファイル	総括表(男女別)	総括表(全対象者)
annualSummary/@reportType	Separated	Total	Total
annualSummary/target/@ageFrom	必須	記録しない (ageFrom 属性を出現させない)	記録しない(ageFrom 属性を出現させない)
annualSummary/target/@ageTo	必須	記録しない (ageTo 属性を出現させない)	記録しない(ageTo 属性を出現させない)
annualSummary/target/@administrativeGenderCode	必須	必須	記録しない (administrativeGenderCode 属性を出現させない)

特定健康診査・特定保健指導の電子的な標準様式	Version: 4
集計情報ファイル（国への実績報告用）仕様説明書	2023.03.31

表 4 集計情報 XML 仕様

本表では「記録しない」とある場合には当該属性または当該要素が出現しないことを示す。

型名		annualSummary			
No	要素 / 属性	型	多重度	説明	別表 6 の集 計事 項 No
1	annualSummary	要素	1..1	集計情報ファイルのルート要素。	—
1.1	@fiscalYear	属性	1..1	報告対象年度を西暦 4 桁で記録。 例：「2024」。 提出年度ではないことに注意。	—
1.2	@reportType	属性	1..1	総括表の場合「Total」を記録。 年代別ファイルの場合「Separated」を記録。	—
2	target	要素	1..1	集計対象を記録。	—
2.1	@ageFrom	属性	0..1	対象年代の下限を記録。例：「40」。 年代別ファイルの場合は必須。総括表の 場合は記録しない。	—
2.2	@ageTo	属性	0..1	対象年代の上限を記録。例：「44」。 年代別ファイルの場合は必須。総括表の 場合は記録しない。	—
2.3	@administrativeGenderCode	属性	0..1	対象性別を示す男女区分コード。表 13から 男性＝「1」、女性＝「2」を記録。 年代別ファイル、総括表（男女別）の 場合に記録。総括表（全体）の 場合には記録しない。	—
4	total	要素	1..1	全体（今年度、昨年度、増減）。	1～6
5	metabolicSyndrome	要素	1..1	内臓脂肪症候群（今年度、昨年度、増減）。	7～10
6	medication	要素	1..1	服薬中の者（今年度、昨年度、増減）。	11～ 16
7	reductionRateOfHighRiskGroup	要素	0..1	内臓脂肪症候群該当者の減少率（今年度、 昨年度、増減）。 算出可能な場合のみ記録。	17～ 22
8	reductionRateOfMiddleRiskGroup	要素	0..1	内臓脂肪症候群予備群の減少率（今年度、 昨年度、増減）。 算出可能な場合のみ記録。	23～ 25
9	reductionRateOfGuidanceGroup	要素	0..1	保健指導対象者の減少率（今年度、 昨年度、増減）。 算出可能な場合のみ記録	26～ 31
10	healthGuidance	要素	1..1	特定保健指導（今年度、昨年度、増減）。	32～ 53
11	outcomeAssessment	要素	1..1	アウトカム評価（今年度）。	54～ 67

特定健康診査・特定保健指導の電子的な標準様式	Version: 4
集計情報ファイル（国への実績報告用）仕様説明書	2023.03.31

3.2 全体情報 (total)

表 5 全体情報 XML 仕様

型名		annualSummary/total		
No	要素 / 属性	型	多重度	別表 6 の集計事項 No
4.1	totalSubject	要素	1..1	1
4.1.1	@thisYear	属性	1..1	1(今年度)
4.1.2	@lastYear	属性	0..1	1(昨年度)
4.1.3	@changes	属性	0..1	1(増減)
4.2	totalDependents	要素	1..1	2
4.2.1	@thisYear	属性	1..1	2(今年度)
4.2.2	@lastYear	属性	0..1	2(昨年度)
4.2.3	@changes	属性	0..1	2(増減)
4.3	dependentsCheckupCardDistributed	要素	1..1	3
4.3.1	@thisYear	属性	1..1	3(今年度)
4.3.2	@lastYear	属性	0..1	3(昨年度)
4.3.3	@changes	属性	0..1	3(増減)
4.4	subjectVisited	要素	1..1	4
4.4.1	@thisYear	属性	1..1	4(今年度)
4.4.2	@lastYear	属性	0..1	4(昨年度)
4.4.3	@changes	属性	0..1	4(増減)
4.5	consultationRate	要素	1..1	5
4.5.1	@thisYear	属性	1..1	5(今年度)
4.5.2	@lastYear	属性	0..1	5(昨年度)
4.5.3	@changes	属性	0..1	5(増減)
4.6	subjectToBeAssessed	要素	1..1	6
4.6.1	@thisYear	属性	1..1	6(今年度)
4.6.2	@lastYear	属性	0..1	6(昨年度)
4.6.3	@changes	属性	0..1	6(増減)

特定健康診査・特定保健指導の電子的な標準様式	Version: 4
集計情報ファイル（国への実績報告用）仕様説明書	2023.03.31

3.3 内臓脂肪症候群情報 (metabolicSyndrome)

内臓脂肪症候群とその予備群の人数、及び、評価対象者数に対する割合を記録する。

表 6 内臓脂肪症候群情報 XML 仕様

型名		annualSummary/metabolicSyndrome		
No	要素 / 属性	型	多重度	別表 6 の集計事項 No
5.1	highRiskGroup	要素	1..1	7
5.1.1	@thisYear	属性	1..1	7(今年度)
5.1.2	@lastYear	属性	0..1	7(昨年度)
5.1.3	@changes	属性	0..1	7(増減)
5.2	highRiskGroupRate	要素	1..1	8
5.2.1	@thisYear	属性	1..1	8(今年度)
5.2.2	@lastYear	属性	0..1	8(昨年度)
5.2.3	@changes	属性	0..1	8(増減)
5.3	middleRiskGroup	要素	1..1	9
5.3.1	@thisYear	属性	1..1	9(今年度)
5.3.2	@lastYear	属性	0..1	9(昨年度)
5.3.3	@changes	属性	0..1	9(増減)
5.4	middleRiskGroupRate	要素	1..1	10
5.4.1	@thisYear	属性	1..1	10(今年度)
5.4.2	@lastYear	属性	0..1	10(昨年度)
5.4.3	@changes	属性	0..1	10(増減)

特定健康診査・特定保健指導の電子的な標準様式	Version: 4
集計情報ファイル（国への実績報告用）仕様説明書	2023.03.31

3.4 服薬情報 (medication)

血圧、コレステロール、血糖に関する薬の服用者の人数、及び、評価対象者数に対する割合を記録する。保険者での再確認に伴い、集計情報の値が変化することがあるため、「エラー! 参照元が見つかりません。」を参照し、集計を実施する。

表 7 服薬情報 XML 仕様

型名		annualSummary/medication		
No	要素 / 属性	型	多重度	別表 6 の集計事項 No
6.1	hypertension	要素	1..1	11
6.1.1	@thisYear	属性	1..1	11(今年度)
6.1.2	@lastYear	属性	0..1	11(昨年度)
6.1.3	@changes	属性	0..1	11(増減)
6.2	hypertensionRate	要素	1..1	12
6.2.1	@thisYear	属性	1..1	12(今年度)
6.2.2	@lastYear	属性	0..1	12(昨年度)
6.2.3	@changes	属性	0..1	12(増減)
6.3	cholesterol	要素	1..1	13
6.3.1	@thisYear	属性	1..1	13(今年度)
6.3.2	@lastYear	属性	0..1	13(昨年度)
6.3.3	@changes	属性	0..1	13(増減)
6.4	cholesterolRate	要素	1..1	14
6.4.1	@thisYear	属性	1..1	14(今年度)
6.4.2	@lastYear	属性	0..1	14(昨年度)
6.4.3	@changes	属性	0..1	14(増減)
6.5	insulin	要素	1..1	15
6.5.1	@thisYear	属性	1..1	15(今年度)
6.5.2	@lastYear	属性	0..1	15(昨年度)
6.5.3	@changes	属性	0..1	15(増減)
6.6	insulinRate	要素	1..1	16
6.6.1	@thisYear	属性	1..1	16(今年度)
6.6.2	@lastYear	属性	0..1	16(昨年度)
6.6.3	@changes	属性	0..1	16(増減)

特定健康診査・特定保健指導の電子的な標準様式	Version: 4
集計情報ファイル（国への実績報告用）仕様説明書	2023.03.31

3.5 内臓脂肪症候群該当者の減少率情報 (reductionRateOfHighRiskGroup)

内臓脂肪症候群該当者の減少率情報を記録する。

表 8 内臓脂肪症候群該当者の減少率情報 XML 仕様

型名		annualSummary/reductionRateOfHighRiskGroup		
No	要素 / 属性	型	多重度	別表 6 の集計事項 No
7.1	subjectLastYear	要素	0..1	17
7.1.1	@thisYear	属性	0..1	17(今年度)
7.1.2	@lastYear	属性	0..1	17(昨年度)
7.1.3	@changes	属性	0..1	17(増減)
7.2	movedToMiddleRiskGroup	要素	0..1	18
7.2.1	@thisYear	属性	0..1	18(今年度)
7.2.2	@lastYear	属性	0..1	18(昨年度)
7.2.3	@changes	属性	0..1	18(増減)
7.3	movedToMiddleRiskGroupRate	要素	0..1	19
7.3.1	@thisYear	属性	0..1	19(今年度)
7.3.2	@lastYear	属性	0..1	19(昨年度)
7.3.3	@changes	属性	0..1	19(増減)
7.4	movedToNoRiskGroup	要素	0..1	20
7.4.1	@thisYear	属性	0..1	20(今年度)
7.4.2	@lastYear	属性	0..1	20(昨年度)
7.4.3	@changes	属性	0..1	20(増減)
7.5	movedToNoRiskGroupRate	要素	0..1	21
7.5.1	@thisYear	属性	0..1	21(今年度)
7.5.2	@lastYear	属性	0..1	21(昨年度)
7.5.3	@changes	属性	0..1	21(増減)
7.6	reductionRate	要素	0..1	22
7.6.1	@thisYear	属性	0..1	22(今年度)
7.6.2	@lastYear	属性	0..1	22(昨年度)
7.6.3	@changes	属性	0..1	22(増減)

3.6 内臓脂肪症候群予備群者の減少率情報 (reductionRateOfMiddleRiskGroup)

内臓脂肪症候群予備群者の減少率情報を記録する。

表 9 内臓脂肪症候群予備群者の減少率情報 XML 仕様

型名		AnnualSummary/reductionRateOfMiddleRiskGroup		
No	要素 / 属性	型	多重度	別表 6 の集計事項 No
8.1	middleRiskGroupLastYear	要素	0..1	23
8.1.1	@thisYear	属性	0..1	23(今年度)
8.1.2	@lastYear	属性	0..1	23(昨年度)
8.1.3	@changes	属性	0..1	23(増減)
8.2	movedToNoRiskGroup	要素	0..1	24
8.2.1	@thisYear	属性	0..1	24(今年度)
8.2.2	@lastYear	属性	0..1	24(昨年度)
8.2.3	@changes	属性	0..1	24(増減)
8.3	movedToNoRiskGroupRate	要素	0..1	25

特定健康診査・特定保健指導の電子的な標準様式	Version: 4
集計情報ファイル（国への実績報告用）仕様説明書	2023.03.31

8.3.1	@thisYear	属性	0..1	25（今年度）
8.3.2	@lastYear	属性	0..1	25（昨年度）
8.3.3	@changes	属性	0..1	25（増減）

3.7 保健指導対象者の減少率情報 (reductionRateOfGuidanceGroup)

保健指導対象者の減少率情報を記録する。

表 10 保健指導対象者の減少率情報 XML 仕様

型名		annualSummary/reductionRateOfGuidanceGroup		
No	要素 / 属性	型	多重度	別表 6 の行 No
9.1	subjectLastYear	要素	0..1	26
9.1.1	@thisYear	属性	0..1	26（今年度）
9.1.2	@lastYear	属性	0..1	26（昨年度）
9.1.3	@changes	属性	0..1	26（増減）
9.2	movedToNoGuidanceGroup	要素	0..1	27
9.2.1	@thisYear	属性	0..1	27（今年度）
9.2.2	@lastYear	属性	0..1	27（昨年度）
9.2.3	@changes	属性	0..1	27（増減）
9.3	reductionRate	要素	0..1	28
9.3.1	@thisYear	属性	0..1	28（今年度）
9.3.2	@lastYear	属性	0..1	28（昨年度）
9.3.3	@changes	属性	0..1	28（増減）
9.4	userLastYear	要素	0..1	29
9.4.1	@thisYear	属性	0..1	29（今年度）
9.4.2	@lastYear	属性	0..1	29（昨年度）
9.4.3	@changes	属性	0..1	29（増減）
9.5	movedToNoGuidanceUser	要素	0..1	30
9.5.1	@thisYear	属性	0..1	30（今年度）
9.5.2	@lastYear	属性	0..1	30（昨年度）
9.5.3	@changes	属性	0..1	30（増減）
9.6	reductionRateOfUser	要素	0..1	31
9.6.1	@thisYear	属性	0..1	31（今年度）
9.6.2	@lastYear	属性	0..1	31（昨年度）
9.6.3	@changes	属性	0..1	31（増減）

特定健康診査・特定保健指導の電子的な標準様式	Version: 4
集計情報ファイル（国への実績報告用）仕様説明書	2023.03.31

3.8 特定保健指導情報 (healthGuidance)

特定保健指導情報として、積極的支援、動機付け支援、それぞれについて、対象者数と利用者数、終了者数、各人数の対象者数と比較した割合を格納する。

積極的支援、動機付け支援ごとにそれぞれ activeSupport 要素、motivationalSupport 要素により階層化（構造化）されていることに注意のこと。

表 11 特定保健指導情報 XML 仕様

型名		annualSummary/healthGuidance		
No	要素 / 属性	型	多重度	別表 6 の集計事項 No
10.1	activeSupport	要素	0..1	32~43
10.2	activeSupport/subject	要素	0..1	32
10.2.1	@thisYear	属性	0..1	32(今年度)
10.2.2	@lastYear	属性	0..1	32(昨年度)
10.2.3	@changes	属性	0..1	32(増減)
10.3	activeSupport/subjectRate	要素	0..1	33
10.3.1	@thisYear	属性	0..1	33(今年度)
10.3.2	@lastYear	属性	0..1	33(昨年度)
10.3.3	@changes	属性	0..1	33(増減)
10.4	activeSupport/subjectExcludedBeforeHealthGuidance	要素	0..1	34
10.4.1	@thisYear	属性	0..1	34(今年度)
10.4.2	@lastYear	属性	0..1	34(昨年度)
10.4.3	@changes	属性	0..1	34(増減)
10.5	activeSupport/user	要素	0..1	35
10.5.1	@thisYear	属性	0..1	35(今年度)
10.5.2	@lastYear	属性	0..1	35(昨年度)
10.5.3	@changes	属性	0..1	35(増減)
10.6	activeSupport/motivationalSupportEquivalentUser	要素	0..1	36
10.6.1	@thisYear	属性	0..1	36(今年度)
10.6.2	@lastYear	属性	0..1	36(昨年度)
10.6.3	@changes	属性	0..1	36(増減)
10.7	activeSupport/userRate	要素	0..1	37
10.7.1	@thisYear	属性	0..1	37(今年度)
10.7.2	@lastYear	属性	0..1	37(昨年度)
10.7.3	@changes	属性	0..1	37(増減)
10.8	activeSupport/userCompleted	要素	0..1	38
10.8.1	@thisYear	属性	0..1	38(今年度)
10.8.2	@lastYear	属性	0..1	38(昨年度)
10.8.3	@changes	属性	0..1	38(増減)
10.9	activeSupport/motivationalSupportEquivalentUserCompleted	要素	0..1	39
10.9.1	@thisYear	属性	0..1	39(今年度)
10.9.2	@lastYear	属性	0..1	39(昨年度)
10.9.3	@changes	属性	0..1	39(増減)
10.10	activeSupport/subjectExcludedDuringHealthGuidance	要素	0..1	40
10.10.1	@thisYear	属性	0..1	40(今年度)

特定健康診査・特定保健指導の電子的な標準様式	Version: 4
集計情報ファイル（国への実績報告用）仕様説明書	2023.03.31

10.10.2	@lastYear	属性	0..1	40(昨年度)
10.10.3	@changes	属性	0..1	40(増減)
10.11	activeSupport/subjectExcludedMotivationalSupportEquivalentDuringHealthGuidance	要素	0..1	41
10.11.1	@thisYear	属性	0..1	41(今年度)
10.11.2	@lastYear	属性	0..1	41(昨年度)
10.11.3	@changes	属性	0..1	41(増減)
10.12	activeSupport/userRateCompleted	要素	0..1	42
10.12.1	@thisYear	属性	0..1	42(今年度)
10.12.2	@lastYear	属性	0..1	42(昨年度)
10.12.3	@changes	属性	0..1	42(増減)
10.13	motivationalSupport	要素	0..1	43~50
10.14	motivationalSupport/subject	要素	0..1	43
10.14.1	@thisYear	属性	0..1	43(今年度)
10.14.2	@lastYear	属性	0..1	43(昨年度)
10.14.3	@changes	属性	0..1	43(増減)
10.15	motivationalSupport/subjectRate	要素	0..1	44
10.15.1	@thisYear	属性	0..1	44(今年度)
10.15.2	@lastYear	属性	0..1	44(昨年度)
10.15.3	@changes	属性	0..1	44(増減)
10.16	motivationalSupport/subjectExcludedBeforeHealthGuidance	要素	0..1	45
10.16.1	@thisYear	属性	0..1	45(今年度)
10.16.2	@lastYear	属性	0..1	45(昨年度)
10.16.3	@changes	属性	0..1	45(増減)
10.17	motivationalSupport/user	要素	0..1	46
10.17.1	@thisYear	属性	0..1	46(今年度)
10.17.2	@lastYear	属性	0..1	46(昨年度)
10.17.3	@changes	属性	0..1	46(増減)
10.18	motivationalSupport/userRate	要素	0..1	47
10.18.1	@thisYear	属性	0..1	47(今年度)
10.18.2	@lastYear	属性	0..1	47(昨年度)
10.18.3	@changes	属性	0..1	47(増減)
10.19	motivationalSupport/userCompleted	要素	0..1	48
10.19.1	@thisYear	属性	0..1	48(今年度)
10.19.2	@lastYear	属性	0..1	48(昨年度)
10.19.3	@changes	属性	0..1	48(増減)
10.20	motivationalSupport/subjectExcludedDuringHealthGuidance	要素	0..1	49
10.20.1	@thisYear	属性	0..1	49(今年度)
10.21.2	@lastYear	属性	0..1	49(昨年度)
10.21.3	@changes	属性	0..1	49(増減)
10.21	motivationalSupport/userRateCompleted	要素	0..1	50
10.21.1	@thisYear	属性	0..1	50(今年度)
10.21.2	@lastYear	属性	0..1	50(昨年度)
10.21.3	@changes	属性	0..1	50(増減)

特定健康診査・特定保健指導の電子的な標準様式	Version: 4
集計情報ファイル（国への実績報告用）仕様説明書	2023.03.31

10.22	subTotal	要素	1..1	51~53
10.23	subTotal/subject	要素	1..1	51
10.23.1	@thisYear	属性	1..1	51(今年度)
10.23.2	@lastYear	属性	0..1	51(昨年度)
10.23.3	@changes	属性	0..1	51(増減)
10.24	subTotal/userCompleted	要素	1..1	52
10.24.1	@thisYear	属性	1..1	52(今年度)
10.24.2	@lastYear	属性	0..1	52(昨年度)
10.24.3	@changes	属性	0..1	52(増減)
10.25	subTotal/userRateCompleted	要素	1..1	53
10.25.1	@thisYear	属性	1..1	53(今年度)
10.25.2	@lastYear	属性	0..1	53(昨年度)
10.25.3	@changes	属性	0..1	53(増減)

特定健康診査・特定保健指導の電子的な標準様式	Version: 4
集計情報ファイル（国への実績報告用）仕様説明書	2023.03.31

3.9 アウトカム評価情報 (outcomeAssessment)

アウトカム評価情報として、積極的支援の対象者数および終了者数に対する、各種アウトカム指標の達成者の割合を格納する。集計対象が thisYear 属性のみである点に注意のこと。

表 12 アウトカム評価情報 XML 仕様

型名		annualSummary/outcomeAssessment		
No	要素 / 属性	型	多重度	の集計事項 No
11.1	decrease2cm2kg	要素	0..1	54
11.1.1	@thisYear	属性	0..1	54(今年度)
11.2	decrease2cm2kgRateCompleted	要素	0..1	55
11.2.1	@thisYear	属性	0..1	55(今年度)
11.3	decrease1cm1kg	要素	0..1	56
11.3.1	@thisYear	属性	0..1	56(今年度)
11.4	decrease1cm1kgRateCompleted	要素	0..1	57
11.4.1	@thisYear	属性	0..1	57(今年度)
11.5	dietaryHabits	要素	0..1	58
11.5.1	@thisYear	属性	0..1	58(今年度)
11.6	dietaryHabitsRateCompleted	要素	0..1	59
11.6.1	@thisYear	属性	0..1	59(今年度)
11.7	exerciseHabits	要素	0..1	60
11.7.1	@thisYear	属性	0..1	60(今年度)
11.8	exerciseHabitsRateCompleted	要素	0..1	61
11.8.1	@thisYear	属性	0..1	61(今年度)
11.9	smokingHabits	要素	0..1	62
11.9.1	@thisYear	属性	0..1	62(今年度)
11.10	smokingHabitsRateCompleted	要素	0..1	63
11.10.1	@thisYear	属性	0..1	63(今年度)
11.11	restHabits	要素	0..1	64
11.11.1	@thisYear	属性	0..1	64(今年度)
11.12	restHabitsRateCompleted	要素	0..1	65
11.12.1	@thisYear	属性	0..1	65(今年度)
11.13	otherHabits	要素	0..1	66
11.13.1	@thisYear	属性	0..1	66(今年度)
11.14	otherHabitsRateCompleted	要素	0..1	67
11.14.1	@thisYear	属性	0..1	67(今年度)

4. コード表

本 XML で使用するコード表を以下に示す。

表 13 男女区分コード（特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き 付属資料 7 別表 4）

コード名	コード	内容	備考
男女区分 コード	1	男	
	2	女	

特定健康診査・特定保健指導の電子的な標準様式	Version: 4
集計情報ファイル（国への実績報告用）仕様説明書	2023.03.31

5. サンプル XML

特定健診情報／特定保健指導情報集計ファイルの XML の例として、下記の内容を示す XML を以下に示す。本サンプルはあくまで XML への格納方法を示すために提示しているものであり、数値同士の計算上の整合性は保障されていない。

表 14 サンプル XML 内容

No	項目	今年度	昨年度	増減
1	特定健康診査対象者数	550	500	-50
2	特定健康診査の対象となる被扶養者の数	200	180	-20
3	2のうち、特定健康診査受診券を配布した者の数	200	180	-20
4	特定健康診査受診者数（人）	480	450	-30
5	健診受診率（％）	87.3	90.0	2.7
6	評価対象者数（人）	500	500	0
7	内臓脂肪症候群該当者数（人）	100	150	50
8	内臓脂肪症候群該当者割合（％）	20.0	30.0	10.0
9	内臓脂肪症候群予備群者数（人）	250	300	50
10	内臓脂肪症候群予備群者割合（％）	50.0	60.0	10.0
11	高血圧症の治療に係る薬剤を服用している者の数（人）	30	40	10
12	高血圧症の治療に係る薬剤を服用している者の割合（％）	6.0	8.0	2.0
13	脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者の数（人）	40	50	10
14	脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者の割合（％）	8.0	10.0	2.0
15	糖尿病の治療に係る薬剤を服用している者の数（人）	40	30	-10
16	糖尿病の治療に係る薬剤を服用している者の割合（％）	8.0	6.0	-2.0
17	昨年度の内臓脂肪症候群該当者の数（人）	150	200	50
18	17のうち、今年度の内臓脂肪症候群予備群の数（人）	80	100	20
19	17のうち、今年度の内臓脂肪症候群予備群の割合（％）	53.3	50	-3.3
20	17のうち、今年度の内臓脂肪症候群該当者・予備群ではなくなった者の数（人）	30	40	10
21	17のうち、今年度の内臓脂肪症候群該当者・予備群ではなくなった者の割合（％）	20.0	20.0	0.0
22	内臓脂肪症候群該当者の減少率（％）	73.3	70.0	-3.3
23	昨年度の内臓脂肪症候群予備群の数（人）	300	300	0
24	23のうち、今年度の内臓脂肪症候群該当者・予備群ではなくなった者の数（人）	80	60	-20
25	23のうち、今年度の内臓脂肪症候群該当者・予備群ではなくなった者の割合（％）	26.7	20	-6.7
26	昨年度の特定保健指導の対象者数（人）	390	400	10
27	26のうち、今年度は特定保健指導対象でなくなった者の数（人）	80	60	-20
28	特定保健指導対象者の減少率（％）	20.5	15.0	-5.5
29	昨年度の特定保健指導の利用者数（人）	370	380	10
30	29のうち、今年度は特定保健指導の対象ではなくなった者の数（人）	30	20	-10
31	特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率（％）	8.1	5.3	-2.8
32	特定保健指導（積極的支援レベル）の対象者数（人）	120	130	10
33	特定保健指導（積極的支援レベル）の対象者の割合（％）	24.0	26.0	2
34	特定保健指導開始前に、服薬確認により特定保健指導（積極的支援レベル）の対象者から除外した者の数	30	20	-10
35	特定保健指導（積極的支援）の利用者数（人）	75	100	25

特定健康診査・特定保健指導の電子的な標準様式	Version: 4
集計情報ファイル（国への実績報告用）仕様説明書	2023.03.31

36		特定保健指導（動機付け支援相当）の利用者数（人）	15	5	-10
37		特定保健指導（積極的支援レベル）の利用者の割合（％）	75.0	80.8	5.8
38		特定保健指導（積極的支援）の終了者数（人）	60	80	20
39		特定保健指導（動機付け支援相当）の終了者数（人）	7	3	-4
40		特定保健指導開始後に、服薬確認により特定保健指導（積極的支援）対象者から除外した者の数（人）	2	1	-1
41		特定保健指導開始後に、服薬確認により特定保健指導（動機付け支援相当）対象者から除外した者の数（人）	0	1	1
42		特定保健指導（積極的支援レベル）の終了者の割合（％）	56.8	63.8	7.0
43		特定保健指導（動機付け支援レベル）の対象者数（人）	200	260	60
44		特定保健指導（動機付け支援レベル）の対象者の割合（％）	40.0	52.0	12.0
45		特定保健指導開始前に、服薬確認により特定保健指導（動機付け支援レベル）の対象者から除外した者の数	50	40	-10
46		特定保健指導（動機付け支援）の利用者数（人）	180	250	70
47		特定保健指導（動機付け支援レベル）の利用者の割合（％）	90.0	96.2	6.2
48		特定保健指導（動機付け支援）の終了者数（人）	160	220	60
49		特定保健指導開始後に、服薬確認により特定保健指導（動機付け支援）対象者から除外した者の数（人）	1	2	1
50		特定保健指導（動機付け支援）の終了者の割合（％）	80.4	84.6	4.2
51		特定保健指導の対象者数（小計）（人）	317	390	73
52		特定保健指導の終了者数（小計）（人）	227	303	76
53		特定保健指導の終了者（小計）の割合（％）	71.6	77.7	6.1
54	アウトカム評価	特定保健指導（積極的支援）終了者の腹囲2cm・体重2kg減達成者数（人）	10		
55		特定保健指導（積極的支援）終了者の腹囲2cm・体重2kg減達成割合（％）	16.7		
56		特定保健指導（積極的支援）終了者の腹囲1cm・体重1kg減達成者数（人）	20		
57		特定保健指導（積極的支援）終了者の腹囲1cm・体重1kg減達成割合（％）	33.3		
58		特定保健指導（積極的支援）終了者の生活習慣の改善（食習慣）者数（人）	25		
59		特定保健指導（積極的支援）終了者の生活習慣の改善（食習慣）割合（％）	41.7		
60		特定保健指導（積極的支援）終了者の生活習慣の改善（運動習慣）者数（人）	18		
61		特定保健指導（積極的支援）終了者の生活習慣の改善（運動習慣）割合（％）	30.0		
62		特定保健指導（積極的支援）終了者の生活習慣の改善（喫煙習慣）者数（人）	2		
63		特定保健指導（積極的支援）終了者の生活習慣の改善（喫煙習慣）割合（％）	3.3		
64		特定保健指導（積極的支援）終了者の生活習慣の改善（休養習慣）者数（人）	15		
65		特定保健指導（積極的支援）終了者の生活習慣の改善（休養習慣）割合（％）	25.0		
66		特定保健指導（積極的支援）終了者の生活習慣の改善（その他の生活習慣）者数（人）	20		
67		特定保健指導（積極的支援）終了者の生活習慣の改善（その他の生活習慣）割合（％）	33.3		

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<annualSummary fiscalYear="2024" reportType="Separated"
xmlns="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html"
xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html
../XSD/asu08_V08.xsd">
```

特定健康診査・特定保健指導の電子的な標準様式	Version: 4
集計情報ファイル（国への実績報告用）仕様説明書	2023.03.31

```

<target ageFrom="40" ageTo="44" administrativeGenderCode="1"/>
<!-- 全体 -->
<total>
  <!-- No.1 健診対象者数 -->
  <!-- （今年度：550人、昨年度：500人、増減：-50人 の場合） -->
  <totalSubject thisYear="550" lastYear="500" changes="-50"/>
  <!-- No.2 特定健康診査の対象となる被扶養者の数（人） -->
  <!-- （今年度：200人、昨年度：180人、増減：-20人 の場合） -->
  <totalDependents thisYear="200" lastYear="180" changes="-20"/>
  <!-- No.3 2のうち、特定健康診査受診券を配布した者の数（人） -->
  <!-- （今年度：200人、昨年度：180人、増減：-20人 の場合） -->
  <dependentsCheckupCardDistributed thisYear="200" lastYear="180" changes="-20"/>
  <!-- No.4 健診受診者数（人） -->
  <!-- （今年度：480人、昨年度：450人、増減：-30人 の場合） -->
  <subjectVisited thisYear="480" lastYear="450" changes="-30"/>
  <!-- No.5 健診受診率（%） -->
  <!-- （今年度：87.3%、昨年度90.0%、増減：2.7%の場合） -->
  <consultationRate thisYear="87.3" lastYear="90.0" changes="2.7"/>
  <!-- No.6 評価対象者数（人） -->
  <!-- （今年度：500人、昨年度：500人、増減：0人の場合） -->
  <subjectToBeAssessed thisYear="500" lastYear="500" changes="0"/>
</total>
<!-- 内臓脂肪症候群 -->
<metabolicSyndrome>
  <!-- No.7 内臓脂肪症候群該当者数 -->
  <!-- （今年度：100人、昨年度：150人、増減：50人の場合） -->
  <highRiskGroup thisYear="100" lastYear="150" changes="50"/>
  <!-- No.8 内臓脂肪症候群該当者割合（%） -->
  <!-- （今年度：20.0%、昨年度：30.0%、増減：10.0%の場合） -->
  <highRiskGroupRate thisYear="20.0" lastYear="30.0" changes="10.0"/>
  <!-- No.9 内臓脂肪症候群予備群者数 -->
  <!-- （今年度：250人、昨年度：300人、増減：50人の場合） -->
  <middleRiskGroup thisYear="250" lastYear="300" changes="50"/>
  <!-- No.10 内臓脂肪症候群予備群者割合（%） -->
  <!-- （今年度：50.0%、昨年度：60.0%、増減：10.0%） -->
  <middleRiskGroupRate thisYear="50.0" lastYear="60.0" changes="10.0"/>
</metabolicSyndrome>
<!-- 服薬中の者 -->
<medication>
  <!-- No.11 血圧を下げる薬服用者の数（人） -->
  <!-- （今年度：30人、昨年度：40人、増減：10人） -->
  <hypertension thisYear="30" lastYear="40" changes="10"/>
  <!-- No.12 血圧を下げる薬服用者の割合（%） -->
  <!-- （今年度：6.0%、昨年度：8.0%、増減：2.0%） -->
  <hypertensionRate thisYear="6.0" lastYear="8.0" changes="2.0"/>
  <!-- No.13 コレステロールを下げる薬服用者の数（人） -->
  <!-- （今年度：40人、昨年度50人、増減：10人） -->

```

特定健康診査・特定保健指導の電子的な標準様式	Version: 4
集計情報ファイル（国への実績報告用）仕様説明書	2023.03.31

```

<cholesterol thisYear="40" lastYear="50" changes="10"/>
<!-- No. 14 コレステロールを下げる薬服用者の割合（％） -->
<!-- （今年度：8.0%、昨年度：10.0%、増減：2.0%） -->
<cholesterolRate thisYear="8.0" lastYear="10.0" changes="2.0"/>
<!-- No. 15 インスリン使用・血糖を下げる薬服用者の数（人） -->
<!-- （今年度：40人、昨年度：30人、増減：-10人） -->
<insulin thisYear="40" lastYear="30" changes="-10"/>
<!-- No. 16 インスリン使用・血糖を下げる薬服用者の割合（％） -->
<!-- （今年度：8.0%、昨年度：6.0%、増減：-2.0%） -->
<insulinRate thisYear="8.0" lastYear="6.0" changes="-2.0"/>
</medication>
<!-- 内臓脂肪症候群該当者の減少率 -->
<reductionRateOfHighRiskGroup>
<!-- No. 17 昨年度内臓脂肪症候群の該当者の数（人） -->
<!-- （今年度：150人、昨年度：200人、増減：50人） -->
<subjectLastYear thisYear="150" lastYear="200" changes="50" />
<!-- No. 18 15のうち、今年度内臓脂肪症候群予備群の数（人） -->
<!-- （今年度：80人、昨年度：100人、増減：20人） -->
<movedToMiddleRiskGroup thisYear="80" lastYear="100" changes="20"/>
<!-- No. 19 15のうち、今年度内臓脂肪症候群予備軍の割合（％） -->
<!-- （今年度：53.3%、昨年度：50.0%、増減：-3.3%） -->
<movedToMiddleRiskGroupRate thisYear="53.3" lastYear="50.0" changes="-3.3"/>
<!-- No. 20 15のうち、今年度内臓脂肪症候群該当者・予備群でなかった者の数（人） -->
<!-- （今年度：30人、昨年度：40人、増減：10人） -->
<movedToNoRiskGroup thisYear="30" lastYear="40" changes="10"/>
<!-- No. 21 15のうち、今年度内臓脂肪症候群該当者・予備群でなかった者の割合（％） -->
<!-- （今年度：20.0%、昨年度：20.0%、増減：0%） -->
<movedToNoRiskGroupRate thisYear="20.0" lastYear="20.0" changes="0.0"/>
<!-- No. 22 内臓脂肪症候群該当者の減少率（％） -->
<!-- （今年度：73.3%、昨年度：70.0%、増減：-3.3%） -->
<reductionRate thisYear="73.3" lastYear="70.0" changes="-3.3"/>
</reductionRateOfHighRiskGroup>
<!-- 内臓脂肪症候群予備群の減少率 -->
<reductionRateOfMiddleRiskGroup>
<!-- No. 23 昨年度内臓脂肪症候群予備群の数（人） -->
<!-- （今年度：300人、昨年度：300人、増減：0人） -->
<middleRiskGroupLastYear thisYear="300" lastYear="300" changes="0" />
<!-- No. 24 21のうち、今年度内臓脂肪症候群該当者・予備群でなかった者の数（人） -->
<!-- （今年度：80人、昨年度：60人、増減：-20人） -->
<movedToNoRiskGroup thisYear="80" lastYear="60" changes="-20"/>
<!-- No. 25 21のうち、今年度内臓脂肪症候群該当者・予備群でなかった者の割合（％） -->
<!-- （今年度：26.7%、昨年度：20.0%、増減：-6.7%） -->
<movedToNoRiskGroupRate thisYear="26.7" lastYear="20.0" changes="-6.7"/>
</reductionRateOfMiddleRiskGroup>
<!-- 保健指導対象者の減少率 -->
<reductionRateOfGuidanceGroup>
<!-- No. 26 昨年度特定保健指導の対象者（人） -->

```

特定健康診査・特定保健指導の電子的な標準様式	Version: 4
集計情報ファイル（国への実績報告用）仕様説明書	2023.03.31

```

<!-- (今年度：390人、昨年度：400人、増減：10人) -->
<subjectLastYear thisYear="390" lastYear="400" changes="10" />
<!-- No. 27 24のうち、今年度は特定保健指導対象でなかった者の数（人） -->
<!-- (今年度：80人、昨年度：60人、増減：-20人) -->
<movedToNoGuidanceGroup thisYear="80" lastYear="60" changes="-20"/>
<!-- No. 28 特定保健指導対象者の減少率（%） -->
<!-- (今年度：20.5%、昨年度：15.0%、増減：-5.5%) -->
<reductionRate thisYear="20.5" lastYear="15.0" changes="-5.5"/>
<!-- No. 29 特定保健指導利用者の数（人） -->
<!-- (今年度：370人、昨年度：380人、増減：10人) -->
<userLastYear thisYear="370" lastYear="380" changes="10" />
<!-- No. 30 29のうち、今年度特定保健指導対象でなかった者の数（人） -->
<!-- (今年度：30人、昨年度：20人、増減：-10人) -->
<movedToNoGuidanceUser thisYear="30" lastYear="20" changes="-10"/>
<!-- No. 31 特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率（%） -->
<!-- (今年度：8.1%、昨年度：5.3%、増減：-2.8%) -->
<reductionRateOfUser thisYear="8.1" lastYear="5.3" changes="-2.8"/>
</reductionRateOfGuidanceGroup>
<!-- 特定保健指導 -->
<healthGuidance>
  <activeSupport>
    <!-- No. 32 特定保健指導対象者（積極的支援レベル） -->
    <!-- (今年度：120人、昨年度：130人、増減：10人の場合) -->
    <subject thisYear="120" lastYear="130" changes="10"/>
    <!-- No. 33 特定保健指導対象者の割合（積極的支援レベル）（%） -->
    <!-- (今年度：24.0%、昨年度：26.0%、増減：2.0%の場合) -->
    <subjectRate thisYear="24.0" lastYear="26.0" changes="2.0"/>
    <!-- No. 34 特定保健指導開始前に、服薬確認により特定保健指導（積極的支援レベル）の対象者から除外した者の数 -->
    <!-- (今年度：30人、昨年度：20人、増減：-10人の場合) -->
    <subjectExcluded thisYear="30" lastYear="20" changes="-10"/>
    <!-- No. 35 特定保健指導利用者数（積極的支援） -->
    <!-- (今年度：75人、昨年度：100人、増減：25人の場合) -->
    <user thisYear="75" lastYear="100" changes="25"/>
    <!-- No. 36 特定保健指導（動機付け支援相当）の利用者数 -->
    <!-- (今年度：15人、昨年度：5人、増減：-10人の場合) -->
    <motivationalSupportEquivalentUser thisYear="15" lastYear="5" changes="-10"/>
    <!-- No. 37 特定保健指導利用者の割合（積極的支援レベル）（%） -->
    <!-- (今年度：75.0%、昨年度：80.8%、増減：5.8%の場合) -->
    <userRate thisYear="75.0" lastYear="80.8" changes="5.8"/>
    <!-- No. 38 特定保健指導終了者数（積極的支援） -->
    <!-- (今年度：60人、昨年度：80人、増減：20人の場合) -->
    <userCompleted thisYear="60" lastYear="80" changes="20"/>
    <!-- No. 39 特定保健指導（動機付け支援相当）の終了者数 -->
    <!-- (今年度：7人、昨年度：3人、増減：-4人の場合) -->
    <motivationalSupportEquivalentUserCompleted thisYear="7" lastYear="3" changes="-4"/>

```


特定健康診査・特定保健指導の電子的な標準様式	Version: 4
集計情報ファイル（国への実績報告用）仕様説明書	2023.03.31

```

<!-- No. 40 特定保健指導開始後に、服薬確認により特定保健指導（積極的支援）対象者から除外
した者の数（人） -->
<!-- （今年度：2人、昨年度：1人、増減：-1人の場合） -->
<subjectExcludedBeforeHealthGuidance thisYear="2" lastYear="1" changes="-1" />
<!-- No. 41 特定保健指導開始後に、服薬確認により特定保健指導（動機付け支援相当）対象者か
ら除外した者の数（人） -->
<!-- （今年度：0人、昨年度：1人、増減：1人の場合） -->
<subjectExcludedDuringHealthGuidance thisYear="0" lastYear="1" changes="1" />
<!-- No. 42 特定保健指導終了者の割合（積極的支援レベル）（%） -->
<!-- （今年度：56.8%、昨年度：63.8%、増減：7.0%の場合） -->
<userRateCompleted thisYear="56.8" lastYear="63.8" changes="7.0"/>
</activeSupport>
<motivationalSupport>
<!-- No. 43 特定保健指導対象者（動機付け支援レベル） -->
<!-- （今年度：200人、昨年度：260人、増減：60人の場合） -->
<subject thisYear="200" lastYear="260" changes="60"/>
<!-- No. 44 特定保健指導対象者の割合（積極的支援レベル）（%） -->
<!-- （今年度：40.0%、昨年度：52.0%、増減：12.0%の場合） -->
<subjectRate thisYear="40.0" lastYear="52.0" changes="12.0"/>
<!-- No. 45 服薬中のため特定保健指導（動機付け支援レベル）の対象者から除外した者の数 -->
<!-- （今年度：50人、昨年度：40人、増減：-10人の場合） -->
<subjectExcludedBeforeHealthGuidance thisYear="50" lastYear="40" changes="-10"/>
<!-- No. 46 特定保健指導利用者数（動機付け支援） -->
<!-- （今年度：180人、昨年度：250人、増減：70人の場合） -->
<user thisYear="180" lastYear="250" changes="70"/>
<!-- No. 47 特定保健指導利用者の割合（動機付け支援レベル）（%） -->
<!-- （今年度：90.0%、昨年度：96.2%、増減6.2%の場合） -->
<userRate thisYear="90.0" lastYear="96.2" changes="6.2"/>
<!-- No. 48 特定保健指導終了者数（動機付け支援） -->
<!-- （今年度：160人、昨年度：220人、増減：60人の場合） -->
<userCompleted thisYear="160" lastYear="220" changes="60"/>
<!-- No. 49 特定保健指導開始後に、服薬確認により特定保健指導（動機付け支援）対象者から除
外した者の数（人） -->
<!-- （今年度：1人、昨年度：2人、増減：1人の場合） -->
<subjectExcludedDuringHealthGuidance thisYear="1" lastYear="2" changes="1" />
<!-- No. 50 特定保健指導終了者の割合（動機付け支援）（%） -->
<!-- （今年度：80.4%、昨年度：84.6%、増減：4.2%の場合） -->
<userRateCompleted thisYear="80.4" lastYear="84.6" changes="4.2"/>
</motivationalSupport>
<subTotal>
<!-- No. 51 特定保健指導対象者数（小計）（人） -->
<!-- （今年度：317人、昨年度：390人、増減：73人の場合） -->
<subject thisYear="317" lastYear="390" changes="73"/>
<!-- No. 52 特定保健指導終了者数（小計）（人） -->
<!-- （今年度：227人、昨年度：303人、増減：76人の場合） -->
<userCompleted thisYear="227" lastYear="303" changes="76"/>
<!-- No. 53 特定保健指導終了者の割合（小計）（%） -->

```

特定健康診査・特定保健指導の電子的な標準様式	Version: 4
集計情報ファイル（国への実績報告用）仕様説明書	2023.03.31

```

<!-- (今年度：71.6%、昨年度：77.7%、増減：6.1%の場合) -->
<userRateCompleted thisYear="71.6" lastYear="77.7" changes="6.1"/>
</subTotal>
</healthGuidance>
<!--アウトカム評価 -->
<outcomeAssessment>
<!-- No. 54 特定保健指導（積極的支援）終了者の腹囲2cm・体重2kg減達成者数（人） -->
<!-- (今年度：10人の場合) -->
<decrease2kg2cm thisYear="10"/>
<!-- No. 55 特定保健指導（積極的支援）終了者の腹囲2cm・体重2kg減達成割合（%） -->
<!-- (今年度：16.7%の場合) -->
<decrease2cm2kgRateCompleted thisYear="16.7"/>
<!-- No. 56 特定保健指導（積極的支援）終了者の腹囲1cm・体重1kg減達成者数（人） -->
<!-- (今年度：20人の場合) -->
<decrease1cm1kg thisYear="20"/>
<!-- No. 57 特定保健指導（積極的支援）終了者の腹囲1cm・体重1kg減達成割合（%） -->
<!-- (今年度：33.3%の場合) -->
<decrease1cm1kgRateCompleted thisYear="33.3"/>
<!-- No. 58 特定保健指導（積極的支援）終了者の生活習慣の改善（食習慣）者数（人） -->
<!-- (今年度：25人の場合) -->
<dietaryHabits thisYear="25"/>
<!-- No. 59 特定保健指導（積極的支援）終了者の生活習慣の改善（食習慣）割合（%） -->
<!-- (今年度：41.7%の場合) -->
<dietaryHabitsRateCompleted thisYear="41.7"/>
<!-- No. 60 特定保健指導（積極的支援）終了者の生活習慣の改善（運動習慣）者数（人） -->
<!-- (今年度：18人の場合) -->
<exerciseHabits thisYear="18"/>
<!-- No. 61 特定保健指導（積極的支援）終了者の生活習慣の改善（運動習慣）割合（%） -->
<!-- (今年度：30.0%の場合) -->
<exerciseHabitsRateCompleted thisYear="30.0"/>
<!-- No. 62 特定保健指導（積極的支援）終了者の生活習慣の改善（喫煙習慣）者数（人） -->
<!-- (今年度：2人の場合) -->
<smokingHabits thisYear="2"/>
<!-- No. 63 特定保健指導（積極的支援）終了者の生活習慣の改善（喫煙習慣）割合（%） -->
<!-- (今年度：3.3%の場合) -->
<smokingHabitsRateCompleted thisYear="3.3"/>
<!-- No. 64 特定保健指導（積極的支援）終了者の生活習慣の改善（休養習慣）者数（人） -->
<!-- (今年度：15人の場合) -->
<restHabits thisYear="15"/>
<!-- No. 65 特定保健指導（積極的支援）終了者の生活習慣の改善（休養習慣）割合（%） -->
<!-- (今年度：25.0%の場合) -->
<restHabitsRateCompleted thisYear="25.0"/>
<!-- No. 66 特定保健指導（積極的支援）終了者の生活習慣の改善（その他の生活習慣）者数（人） -->
<!-- (今年度：20人の場合) -->
<otherHabits thisYear="20"/>
<!-- No. 67 特定保健指導（積極的支援）終了者の生活習慣の改善（その他の生活習慣）割合（%） -->

```

特定健康診査・特定保健指導の電子的な標準様式	Version: 4
集計情報ファイル（国への実績報告用）仕様説明書	2023.03.31

```
>  
  <!-- （今年度：33.3%の場合） -->  
  <otherHabitsRateCompleted thisYear="33.3"/>  
</outcomeAssessment>  
</annualSummary>
```

特定健康診査・特定保健指導の電子的な標準様式	Version: 4
集計情報ファイル（国への実績報告用）仕様説明書	2023.03.31

Ver.4

本説明文書は、厚生労働省保険局医療介護連携政策課医療費適正化対策推進室により修正されました。また、「第4期特定健診・特定保健指導の見直しに関する検討会」の下に設置された「システム改修に関するワーキンググループ」の作業班メンバーや、ここに記載していない多くの方々の献身的な貢献により検討された成果に基づいています。

システム改修に関するワーキンググループ作業班

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<!-- 【第4期修正案】特定健診・特定保健指導 集計情報ファイル仕様説明書 XMLスキーマファイル (医療保険者→支払基金) -->
<xs:schema attributeFormDefault="unqualified" elementFormDefault="qualified"
targetNamespace="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html"
xmlns:xs="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
xmlns="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html">
  <xs:include schemaLocation="co08_V08.xsd"/>
  <!-- Xml Element Definition -->
  <xs:element type="AnnualSummary.AnnualSummary" name="annualSummary"/>
  <!-- ComplexType Definition -->
  <!-- 集計情報ファイル(AnnualSummary) -->
  - <xs:complexType name="AnnualSummary.AnnualSummary">
    - <xs:sequence>
      <xs:element type="AnnualSummary.Target" name="target" minOccurs="0"/>
      <xs:element type="AnnualSummary.Total" name="total"/>
      <xs:element type="AnnualSummary.MetabolicSyndrome"
name="metabolicSyndrome"/>
      <xs:element type="AnnualSummary.Medication" name="medication"/>
      <xs:element type="AnnualSummary.ReductionRateOfHighRiskGroup"
name="reductionRateOfHighRiskGroup" minOccurs="0"/>
      <xs:element type="AnnualSummary.ReductionRateOfMiddleRiskGroup"
name="reductionRateOfMiddleRiskGroup" minOccurs="0"/>
      <xs:element type="AnnualSummary.ReductionRateOfGuidanceGroup"
name="reductionRateOfGuidanceGroup" minOccurs="0"/>
      <xs:element type="AnnualSummary.HealthGuidance" name="healthGuidance"/>
      <!-- 第4期追加項目 アウトカム評価 -->
      <xs:element type="AnnualSummary.OutcomeAssessment"
name="outcomeAssessment"/>
    </xs:sequence>
    <xs:attribute type="xs:gYear" name="fiscalYear" use="required"/>
    <xs:attribute type="Code.ReportType" name="reportType" use="required"/>
  </xs:complexType>
  <!-- 対象情報(AnnualSummary.Target) -->
  - <xs:complexType name="AnnualSummary.Target">
    <xs:attribute type="AnnualSummary.ageFrom" name="ageFrom" use="optional"/>
    <xs:attribute type="AnnualSummary.ageTo" name="ageTo" use="optional"/>
    <xs:attribute type="Code.AdministrativeGender" name="administrativeGenderCode"
use="optional"/>
  </xs:complexType>
  <!-- 全体情報(AnnualSummary.Total) -->
  - <xs:complexType name="AnnualSummary.Total">
    - <xs:sequence>
      <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInNumberOfPersons"
name="totalSubject"/>
      <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInNumberOfPersons"
name="totalDependents" minOccurs="0"/>
      <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInNumberOfPersons"
name="dependentsCheckupCardDistributed" minOccurs="0"/>
      <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInNumberOfPersons"
name="subjectVisited"/>
      <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInPercentage"
name="consultationRate"/>
    </xs:sequence>
  </xs:complexType>

```

```

        <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInNumberOfPersons"
            name="subjectToBeAssessed"/>
    </xs:sequence>
</xs:complexType>
    <!-- 内臓脂肪症候群情報(AnnualSummary.MetabolicSyndrome) -->
- <xs:complexType name="AnnualSummary.MetabolicSyndrome">
    - <xs:sequence>
        <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInNumberOfPersons"
            name="highRiskGroup"/>
        <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInPercentage"
            name="highRiskGroupRate"/>
        <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInNumberOfPersons"
            name="middleRiskGroup"/>
        <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInPercentage"
            name="middleRiskGroupRate"/>
    </xs:sequence>
</xs:complexType>
    <!-- 服薬中の者情報(AnnualSummary.Medication) -->
- <xs:complexType name="AnnualSummary.Medication">
    - <xs:sequence>
        <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInNumberOfPersons"
            name="hypertension"/>
        <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInPercentage"
            name="hypertensionRate"/>
        <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInNumberOfPersons"
            name="cholesterol"/>
        <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInPercentage"
            name="cholesterolRate"/>
        <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInNumberOfPersons"
            name="insulin"/>
        <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInPercentage"
            name="insulinRate"/>
    </xs:sequence>
</xs:complexType>
    <!-- 内臓脂肪症候群該当者の減少率情報
        (AnnualSummary.ReductionRateOfHighRiskGroup) -->
- <xs:complexType name="AnnualSummary.ReductionRateOfHighRiskGroup">
    - <xs:sequence>
        <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInNumberOfPersons"
            name="subjectLastYear" minOccurs="0"/>
        <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInNumberOfPersons"
            name="movedToMiddleRiskGroup" minOccurs="0"/>
        <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInPercentage"
            name="movedToMiddleRiskGroupRate" minOccurs="0"/>
        <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInNumberOfPersons"
            name="movedToNoRiskGroup" minOccurs="0"/>
        <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInPercentage"
            name="movedToNoRiskGroupRate" minOccurs="0"/>
        <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInPercentage"
            name="reductionRate" minOccurs="0"/>
    </xs:sequence>
</xs:complexType>

```

```

<!-- 内臓脂肪症候群予備群者の減少率情報
(AnnualSummary.ReductionRateOfMiddleRiskGroup) -->
- <xs:complexType name="AnnualSummary.ReductionRateOfMiddleRiskGroup">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInNumberOfPersons"
      name="middleRiskGroupLastYear" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInNumberOfPersons"
      name="movedToNoRiskGroup" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInPercentage"
      name="movedToNoRiskGroupRate" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>
<!-- 保健指導対象者の減少率情報(AnnualSummary.ReductionRateOfGuidanceGroup)
-->
- <xs:complexType name="AnnualSummary.ReductionRateOfGuidanceGroup">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInNumberOfPersons"
      name="subjectLastYear" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInNumberOfPersons"
      name="movedToNoGuidanceGroup" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInPercentage"
      name="reductionRate" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInNumberOfPersons"
      name="userLastYear" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInNumberOfPersons"
      name="movedToNoGuidanceUser" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInPercentage"
      name="reductionRateOfUser" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>
<!-- 特定保健指導情報(AnnualSummary.HealthGuidance) -->
- <xs:complexType name="AnnualSummary.HealthGuidance">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="AnnualSummary.HealthGuidanceSupport"
      name="activeSupport" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="AnnualSummary.HealthGuidanceSupport"
      name="motivationalSupport" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="AnnualSummary.SubTotal" name="subTotal"/>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>
<!-- 特定保健指導の対象者情報(AnnualSummary.HealthGuidanceSupport) -->
- <xs:complexType name="AnnualSummary.HealthGuidanceSupport">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInNumberOfPersons"
      name="subject" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInPercentage" name="subjectRate"
      minOccurs="0"/>
    <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInNumberOfPersons" name="user"
      minOccurs="0"/>
    <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInNumberOfPersons"
      name="motivationalSupportEquivalentUser" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInPercentage" name="userRate"
      minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>

```

```

<xs:element type="AnnualSummary.ChangesInNumberOfPersons"
  name="userCompleted" minOccurs="0"/>
<xs:element type="AnnualSummary.ChangesInNumberOfPersons"
  name="motivationalSupportEquivalentUserCompleted" minOccurs="0"/>
<xs:element type="AnnualSummary.ChangesInPercentage"
  name="userRateCompleted" minOccurs="0"/>
  <!-- 第4期追加項目 服薬 -->
<xs:element type="AnnualSummary.ChangesInNumberOfPersons"
  name="subjectExcludedBeforeHealthGuidance" minOccurs="0"/>
<xs:element type="AnnualSummary.ChangesInNumberOfPersons"
  name="subjectExcludedDuringHealthGuidance" minOccurs="0"/>
</xs:sequence>
</xs:complexType>
  <!-- 特定保健指導対象者の小計(AnnualSummary.SubTotal) -->
- <xs:complexType name="AnnualSummary.SubTotal">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInNumberOfPersons"
      name="subject"/>
    <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInNumberOfPersons"
      name="userCompleted"/>
    <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInPercentage"
      name="userRateCompleted"/>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>
  <!-- 第4期追加項目 アウトカム評価情報(AnnualSummary.OutcomeAssessment) -->
- <xs:complexType name="AnnualSummary.OutcomeAssessment">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInNumberOfPersons"
      name="decrease2cm2kg" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInPercentage"
      name="decrease2cm2kgRateCompleted" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInNumberOfPersons"
      name="decrease1cm1kg" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInPercentage"
      name="decrease1cm1kgRateCompleted" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInNumberOfPersons"
      name="dietaryHabits" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInPercentage"
      name="dietaryHabitsRateCompleted" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInNumberOfPersons"
      name="exerciseHabits" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInPercentage"
      name="exerciseHabitsRateCompleted" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInNumberOfPersons"
      name="smokingHabits" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInPercentage"
      name="smokingHabitsRateCompleted" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInNumberOfPersons"
      name="restHabits" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInPercentage"
      name="restHabitsRateCompleted" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInNumberOfPersons"
      name="otherHabits" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>

```



```

        <xs:element type="AnnualSummary.ChangesInPercentage"
            name="otherHabitsRateCompleted" minOccurs="0"/>
    </xs:sequence>
</xs:complexType>
<!-- 人数の推移を示す要素 -->
- <xs:complexType name="AnnualSummary.ChangesInNumberOfPersons">
    <xs:attributeGroup ref="AnnualSummary.AttributeGroupForNumberOfPersons"/>
</xs:complexType>
<!-- 割合の推移を示す要素 -->
- <xs:complexType name="AnnualSummary.ChangesInPercentage">
    <xs:attributeGroup ref="AnnualSummary.AttributeGroupForPercentage"/>
</xs:complexType>
<!-- AttributeGroup Definition -->
<!-- 人数用属性グループ -->
- <xs:attributeGroup name="AnnualSummary.AttributeGroupForNumberOfPersons">
    <xs:attribute type="xs:integer" name="thisYear" use="optional"/>
    <xs:attribute type="xs:integer" name="lastYear" use="optional"/>
    <xs:attribute type="xs:integer" name="changes" use="optional"/>
</xs:attributeGroup>
<!-- 割合用属性グループ -->
- <xs:attributeGroup name="AnnualSummary.AttributeGroupForPercentage">
    <xs:attribute type="AnnualSummary.percentage" name="thisYear" use="optional"/>
    <xs:attribute type="AnnualSummary.percentage" name="lastYear" use="optional"/>
    <xs:attribute type="AnnualSummary.percentage" name="changes" use="optional"/>
</xs:attributeGroup>
<!-- 集計ファイル区分 -->
- <xs:simpleType name="Code.ReportType">
    - <xs:restriction base="codedSimpleValue">
        <xs:enumeration value="Total"/>
        <xs:enumeration value="Separated"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
<!-- 年齢下限 -->
- <xs:simpleType name="AnnualSummary.ageFrom">
    - <xs:restriction base="xs:integer">
        <xs:enumeration value="40"/>
        <xs:enumeration value="45"/>
        <xs:enumeration value="50"/>
        <xs:enumeration value="55"/>
        <xs:enumeration value="60"/>
        <xs:enumeration value="65"/>
        <xs:enumeration value="70"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
<!-- 年齢上限 -->
- <xs:simpleType name="AnnualSummary.ageTo">
    - <xs:restriction base="xs:integer">
        <xs:enumeration value="44"/>
        <xs:enumeration value="49"/>
        <xs:enumeration value="54"/>
        <xs:enumeration value="59"/>
        <xs:enumeration value="64"/>
        <xs:enumeration value="69"/>
    </xs:restriction>

```

```
        <xs:enumeration value="74"/>
      </xs:restriction>
    </xs:simpleType>
    <!-- 割合 -->
  - <xs:simpleType name="AnnualSummary.percentage">
    - <xs:restriction base="xs:decimal">
      <xs:fractionDigits value="1"/>
    </xs:restriction>
  </xs:simpleType>
</xs:schema>
```

特定健診・特定保健指導の電子的なデータ標準様式

3-1A 特定健診情報ファイル
(健診・保健指導機関等→医療保険者)

仕様説明書

Version 4

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

目次

1.	はじめに	1
1.1	目的	1
1.2	参考資料	1
2.	概要	2
2.1	本文書の位置付け	2
2.2	記載内容の優先度	2
2.3	標準フォーマットの基本的な方針	3
2.3.1	1 健診結果 1 ファイル	3
2.3.2	本標準フォーマットが対象とする健診情報	3
2.3.3	HL 7 C D A規格との関係	4
3.	特定健診情報ファイル仕様	7
3.1	全体構成の概要	7
3.2	ヘッダ部	8
3.2.1	名前空間	8
3.2.2	CDA 管理情報	8
3.2.3	健診管理情報	9
3.2.3.1	受診者情報	12
3.2.3.2	ファイル作成機関の情報	16
3.2.3.3	ファイル作成管理責任機関情報	19
3.2.3.4	受診券情報と保険者情報	20
3.2.3.5	健診実施情報	22
3.3	ボディ部	26
3.3.1	健診報告区分と CDA セクションの関係	30
3.3.2	特定健診検査・問診セクション	34
3.3.2.1	セクション部仕様	34
3.3.2.2	テキスト部（説明ブロック）仕様	36
3.3.2.3	エントリ部仕様	38
3.3.2.3.1	検査・問診結果セクションエントリ部パターン①	38
3.3.2.3.2	一連検査グループの考え方	38
3.3.2.3.3	測定値が入力許容範囲外の場合の測定値の記述	50
3.3.2.3.4	検査結果セクションエントリ部パターン②	52
3.3.2.3.5	未実施および測定不可能項目の表現	54
3.3.2.3.6	情報提供の方法および初回面接実施について	55
4.	ボキャブラリ仕様	56
4.1	例外値	56
4.2	性別コード	56
4.3	単位コード	56
4.4	守秘レベルコード	57
4.5	検査値解釈コード	57
4.6	行為種別コード	57
4.7	行為ムードコード	57
4.8	行為間関係種別コード	58
4.9	参加者種別コード	58
4.10	役割種別コード	58
4.11	資格区分コード	58

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

修正履歴

2008.04.03 V1.27 より以後の修正履歴

日付	版	修正内容
2008.04.03	v1.27 2009.04.03	V1.279 を V1.27 として厚労省通知と連携して公表。内容修正なし
2012.10.10	V2 2012.10.10	<p>■XML仕様上に関する修正</p> <p>本仕様書の適用範囲を追記。</p> <p><資格区分の追加></p> <p>本仕様変更は、特定健康診査・特定保健指導利用者の被保険者・被扶養者の別を明らかにするために設定するものである。本仕様変更は支払基金への実績報告ファイルのみに適用されるものである。国民健康保険においては一意に定まるため、提出を必須としない。</p> <p>仕様書上の修正・追加箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> • 3.2.3.1 受診者情報 • 4.11 資格区分コード <p><検査結果値の入力許容範囲外の値の実測値記載></p> <p>本仕様変更は、特定健康診査の入力最大値・最小値が定められている項目について、測定値が項目ごとに指定された入力許容範囲外（入力最小値以下または入力最大値以上）の場合、測定値は実測値ではなく「H」または「L」を示すコード値として表現すると定められていたが、入力許容範囲外（入力最小値以下または入力最大値以上）の場合も実測値を記載することとする。</p> <p>仕様書上の修正・追加箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> • 3.3.2.2 テキスト部（説明ブロック）仕様 • 3.3.2.3.2 一連検査グループの考え方 • 3.3.2.3.3 測定値が入力許容範囲外の場合の測定値の記述 <p><プログラムサービスコード付与の運用ルール変更></p> <p>健診実施機関においてプログラムサービスコードに格納すべきコードを委託契約締結時に保険者が指定したコードを格納することとする。また、保険者でプログラムサービスコードの確認を実施し、誤ったコードが設定されていると判断した場合は、保険者においてプログラムサービスコードを適切な値に更新してもよいこととする。</p> <p>仕様書上の修正・追加箇所</p>

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

		<ul style="list-style-type: none"> • 3.2.3.5 健診実施情報 <p>■XML仕様上に関係のない修正</p> <p>※累積された誤記指摘を修正。</p> <p>※仕様上の曖昧さを解消するため、および理解を助けるための説明、参考資料を追加。</p> <p>1.1 不要な説明を削除。</p> <p>2.1 説明を適正化。説明を補足。</p> <p>2.2 説明を補足。</p> <p>2.3.2 説明を補足。</p> <p>2.3.3 説明を補足。</p> <p>3.2.1 既公表済みの正誤表を反映（スキーマファイル名等）、説明を補足。</p> <p>3.2.3 同上、および健診情報に関係のない記載を削除。</p> <p>表4 厚労省資料の名称を適正化。</p> <p>表4 6.3.2健診情報整理番号2を公式に使うことになった場合に使用すべきOIDの誤記を修正。</p> <p>表4 6.5～6.10 全角半角の使用方法の記述の曖昧さを排除。</p> <p>表6 最大バイト数などの記載を補足。</p> <p>表11 10.2.1 説明を補足。</p> <p>表12 これまで開発者向け補足資料として公開されていたものに記載されていた説明をここに追加。</p> <p>3.3.1 表に説明を補足。同表のあとの補足説明を追加。</p> <p>表16 表外に注を明記。</p> <p>3.3.2.3.2 表の欄外の説明を補足。</p> <p>表17 (4)の説明を補足。</p> <p>3.3.2.3.4 サンプル②-3の欄外に注を追加。</p> <p>3.3.2.3.5 尿検査ができない場合に測定不可能を用いることができることを明示。また、測定不可能と未実施の違いについて説明を追加。</p> <p>※ 参考資料として、XMLサンプルを追加。</p> <p>※ 表8以降の既公表済みの正誤表の反映。</p>
2017.03.31	V3	<p>■XML仕様上に関係する修正</p> <ul style="list-style-type: none"> • 3.2.3.1 受診者情報の表4の健診情報整理番号1, 2の説明を修正、健診情報整理番号3, 4, 5を追加 • 3.2.3.4 受診券情報と保険者情報にセット券の説明を追加 • 仕様書中の生活機能評価における記載を削除 • 4.3 単位コードに「mL/min/{1.73_m2}」「mg/L」「mg/g*CR」「mg/day」を追加 • 3.3.2.3.2 一連検査グループの表に「心電図検査（対象者）」「眼底検査（対象者）」「血清クレアチニン」「eGFR」「血清クレアチニン（対象者）」「血清クレアチニン（実施理由）」を追加

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

		<ul style="list-style-type: none"> ・3.3.2.3.6 情報提供の方法および初回面接実施についてを追加 ■XML仕様上に関係のない修正 ・バージョンを「2」から「3」に修正 ・その他既存誤記及び見栄え修正
2020.03.31	V3.1	<p><本仕様の適用範囲> オンライン資格確認等システムを活用した特定健診情報等の保険者間引継ぎ実施に伴い、加入者を特定するための被保険者証等枝番の項目追加に伴う変更内容を反映させた。</p> <p>■XML仕様上に関する修正 <被保険者証等枝番の追加に伴う修正> 3.2.3.1受診者情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表3 項目一覧に該当項目追加 ・表4 XML仕様に該当項目の説明追加 ・XML サンプルに該当要素の記述追加 <p>■XML仕様上に関係のない修正 <既存の誤記修正></p> <ul style="list-style-type: none"> ・表4 XML仕様のXML要素の網掛追加(patientRole/id) ・表9 XML仕様の多重度修正(9.4 time/high) <p>・その他既存誤記及び見栄え修正</p>
2023.03.31	V4	<p>■XML仕様上に関する修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中性脂肪が空腹時中性脂肪(トリグリセリド)と随時中性脂肪(トリグリセリド)に分かれたことによる、文言およびサンプルの記載修正 ・表 17(11) (13) 検査値、検査基準値の型桁について「XML 用特定健診項目情報」の「数値型の場合の形式」に従うことを明記 ・「3.3.2.3.6 情報提供の方法および初回面接実施について」の初回面接実施に1週間後まで許容する記載追加。 ・「3.3.2.3.6 情報提供の方法および初回面接実施について」にて、「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」の内容と重複する記載を削除 <p>■XML仕様上に関係のない修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本仕様書のファイル名を変更 ・バージョンを「3.1」から「4」に修正 ・2.1 本文書の位置付け等の厚労省通知との対応関係に係る記載を削除 ・各種サンプルの日付変更 ・その他既存誤記及び見栄え修正

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

本仕様書の適用範囲

本仕様説明書（Version4）は、令和6年度分の法定報告（令和7年11月1日までに実施する法定報告）に係る特定健診情報ファイルから適用される。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

特定健診情報ファイル仕様説明書

1. はじめに

1.1 目的

本文書の目的は、2008年度から実施している特定健診の健診結果情報を、健診機関が医療保険者または代行機関に対して電子的に提出（報告）する際に使用する、電子的なデータ標準様式の定義について詳細に説明することである。

健診機関は、本仕様に準拠したデータを作成し、提出を行わねばならない。

1.2 参考資料

下記の表は、この文書で参照している標準仕様及び研究報告書等の名称、バージョン、並びにその説明の一覧である。

本文書での仕様等の引用名称	バージョン	説明
厚生労働省 特定健診プログラム改定版	※	「標準的な健診・保健指導プログラム」
厚生労働省 特定健診プログラム手引書	※	「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」
HL7 Version 3	Normative 2005	HL7 Version 3 の 2005 年度 規範版パッケージ。CDA Release 2.0 の規格書が含まれる。
日本 HL7 協会 診療情報提供書	1.0	日本 HL7 協会が策定した、CDA R2 規格をベースとして診療情報提供書の規格。 http://www.hl7.jp/intro/std/HL7J-CDA-001.pdf
HL7 CRS	final draft	米国 HL7 協会が策定中の診療文書に関する実装ガイド。 Implementation Guide for CDA Release 2 – Level 1 and 2 – Care Record Summary (US realm), HL7, Inc., Final Text, June 8, 2006
XML	1.1	eXtensible Markup Language http://www.w3.org/TR/2006/REC-xml11-20060816/
XPath	1.0	http://www.w3.org/TR/xpath
電子レセプト仕様書		「電子レセプトの作成手引き（医科）」社会保険診療報酬支払基金レセプト電算処理システム電子レセプト作成手引き http://www.ssk.or.jp/seikyushiharai/rezept/iryokikan/iryokikan_02.files/jiki_i01.pdf

※厚生労働省 HP 「特定健診・特定保健指導について」

(<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html>) に公表されている最新版を参照すること。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

2. 概要

2.1 本文書の位置付け

本文書は、2008年度から実施されている特定健診の健診結果情報を、健診機関が保険者または代行機関に対して電子的に提出（報告）する際に使用する、電子的なデータ標準様式（以下では特定健診標準フォーマット、または単に標準フォーマットと記載する）を定義するものである。

標準フォーマットはXML規格にもとづいている。XML規格はデータ中に<aaa> ... </aaa>のようなタグと呼ばれるマークを埋め込むことにより、データの意味付けと構造に関する情報をデータと一緒に送信できるようにした言語規格で、インターネット上でのデータのやり取りや、コンピュータシステム間でのデータ交換、データベースからのデータの読み書きの際など広範に使用されるようになっている。XML規格をある目的で使用する場合には、どのようなデータにどのようなタグをつけるか、またデータ同士をどのように階層化するかについて、その目的ごとに取り決める必要があり、その取り決めに関する規則はXMLスキーマと呼ばれる方式で記述されたファイルで記述する。DTDと呼ばれる方式で記述する方法もあるが、最近はXMLスキーマによる記述のほうが増えている。

本標準フォーマットは、XMLスキーマで詳細が定義されており、ホームページに公開されている¹。DTD形式による定義は提供されていない。本書はそのXMLスキーマの説明書としての位置付けであると同時に、XMLスキーマでは記述しつくせない細かい制約事項を記載している。従って、本書は別途公開されている対応するXMLスキーマファイルと併せて使用するものであり、それぞれ単独では意味をなさない。

2.2 記載内容の優先度

この文書の記載内容と最新の厚生労働省通知の記述に相違がある場合には、最新の厚生労働省通知 (<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000165280.html>)の記述を優先するものとする。本文書と対をなして公表されているXMLスキーマファイルでは、XML要素や属性の出現多重度や選択性について、本文書での記載よりも緩い記述（制約条件が広い記述）になっていることがある。このような場合には、本文書に記載されている記述が優先するものとする。たとえばXMLスキーマでは1回以上何度出現してもよいとなっている要素について、本文書では1回だけ必ず出現するものと記載しているケースでは、本文書に従うものとし、当該要素は1回だけ必ず出現しなければならない。同様にたとえばXMLスキーマでは出現してもしなくても良い（出現がオプショナル）とされている属性や要素について、本文書では出現してもよいことが明示的に記載されていないケースでは、本文書に従うものとし、当該属性や当該要素は出現してはならない。

¹ <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html>

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

2.3 標準フォーマットの基本的な方針

2.3.1 1 健診結果 1 ファイル

本標準フォーマットは、1 人の受診者の 1 回の特定健診の結果情報を、報告に際して必要となるヘッダー情報（健診機関に関する情報や日付、受診者を識別するための情報など）を含めた 1 つの XML 形式で格納し、1 個の電子ファイル（Windows や UNIX などのコンピュータオペレーティングシステムでひとつの電子ファイルとして扱われるファイル単位）とするものである。

1 人の受診者の 1 回の特定健診の結果情報ごとに 1 電子ファイルとし、複数回もしくは複数受診者の結果はその数だけの電子ファイルを別々に生成する方針をとっている。従って、1 電子ファイルに、複数回もしくは複数受診者の健診結果を格納することはできない。

2.3.2 本標準フォーマットが対象とする健診情報

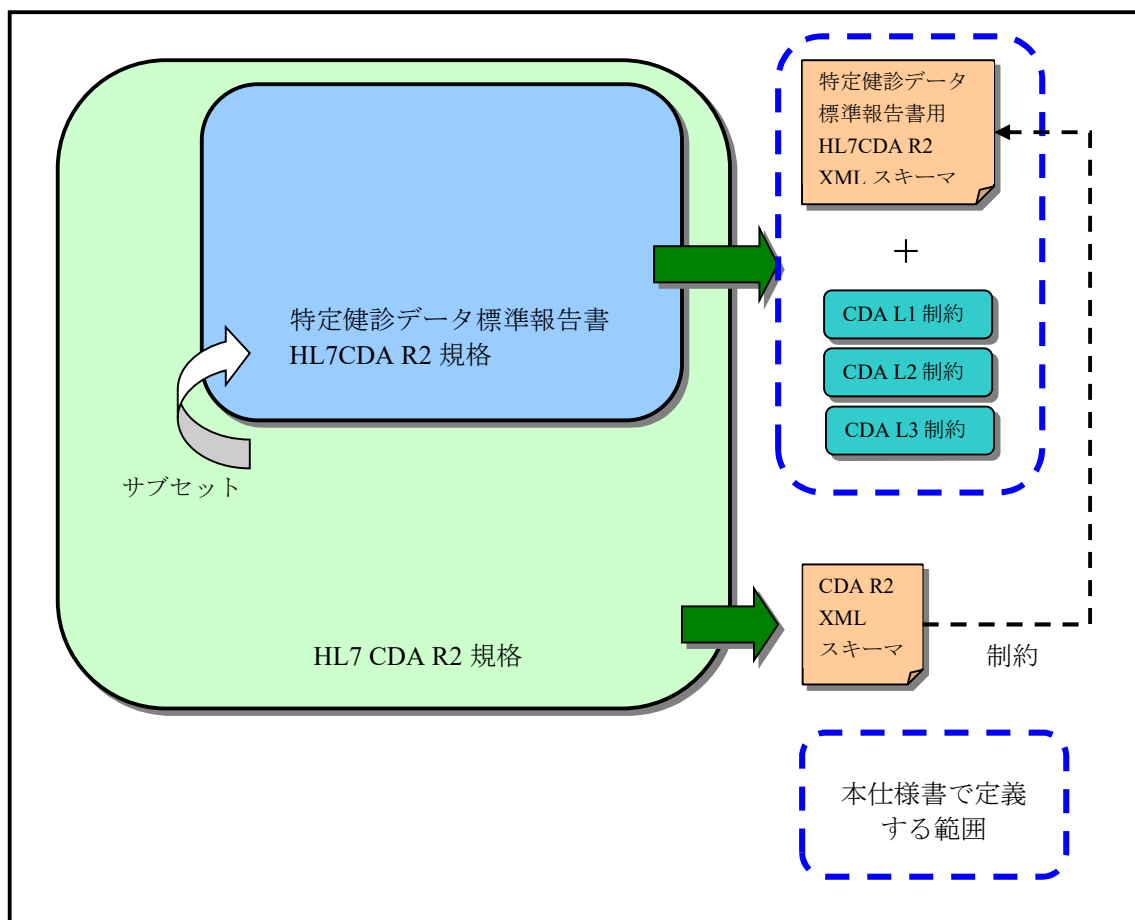
本標準フォーマットは、2008 年度から実施されている特定健診の結果情報を格納することを目的としている。保険者もしくは健診機関の独自方針により、特定健診の基本項目や医師の判断により追加される項目以外に、それらに加えて追加で実施されるオプションの健診項目についても、その検査結果をできるだけ格納できるように設計されている。しかし、それらの追加項目のあらゆる結果データを任意の希望する形式で格納できるようにすることまでは配慮していないので、データ形式によっては格納できない場合もある。たとえば上部消化管内視鏡検査が追加で実施された場合に、その所見の有無やコメント文は格納することが可能であるが、内視鏡画像データそのものを格納することは想定していない。

さらに本標準フォーマットは、前述したように特定健診の結果情報を健診機関から保険者に提出するケースを目的としている。しかし、労働安全衛生法にもとづいて実施された健診結果の全項目を格納することも可能となるように設計されているので、そのような健診結果を送信する目的で使用することもできる。また、その他の各種健診事業のほとんどに対応できるようにしている。そのような場合の利用方法について 3.3.1 節で解説している。ただしこの場合でも、前述した内視鏡画像データを格納できないのと同様に、あらゆる結果データを任意の希望する形式で格納することができるように配慮されているわけではない。また、このようなあらゆる健診検査項目の結果を任意のデータ形式で格納し提出する利用方法は、本解説書のカバーする範囲ではない。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

2.3.3 HL7 CDA規格との関係

本標準フォーマットは、HL7 CDA Release 2（以下 CDA R2）規格²に完全準拠するものとし、本標準フォーマット仕様は、HL7 CDA 規格で定義される XML スキーマに対して特定健診固有のさらなる制約を課すことで実現されている。各種制約のなかで、HL7CDA R2 仕様に対して、その XML 要素あるいは属性の多重度に対して適用される制約³や、コード値を限定するような制約については、HL7CDA R2 仕様の XML スキーマとなる「特定健診情報ファイル XML スキーマ」で定義され、その XML スキーマファイルが本説明書とは別に公開される。本説明書で解説される XML スキーマで妥当であると検証された XML インスタンス（XML ファイル）は、HL7CDA R2 XML スキーマに対しても妥当であることが必ず保証される。



² ANSI/HL7 CDA R2-2005 4/21/2005 版

³例えば CDA R2 仕様においてある要素の多重度が"0..*"であるものを"1..1"に制約するといった制約。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

本仕様書では、XML タグ仕様を以下のような表形式で示す。ここで掲げる表と図は XML タグ仕様の読み方を示すために記載した架空のものであり、本仕様とは無関係のものとして見る必要がある。

XML-No	XPath	説明	多重度	選択性
3.2.1	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		0..*	O
3.2.1.1	code	セクションコード。	1..1	M
3.2.1.1.1	@code	セクションコードのニーモニック。	1..1	M
3.2.1.1.2	@codeSystem	セクションコードのコード体系を識別する OID。	1..1	M
3.2.1.1.3	@codeSystemVersion	セクションコードのコード体系バージョン。	0..1	O
3.2.1.2	title	セクションタイトル。	1..1	M
3.2.1.2.1	text()	セクションタイトルを示す文字列。	1..1	M

「XPath」の列に示される”/ClinicalDocument”から開始される文字列は、XML のルート要素から、この表で示される XML 要素までのパスを XPath により記述したものである。例えば上の表中の XPath “/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section” は、以下の XML の青枠で囲まれた section 要素の仕様を記述していることを示す。

```

<ClinicalDocument>
  <component>
    <structuredBody>
      <component>
        <section>
          <code code="ABCDE" codeSystem="123.456.7890.1" />
          <title>検体検査等</title>
        </section>
        ...
      </component>
    </structuredBody>
  </component>
</ClinicalDocument>

```

表中には XPath で示される要素の子要素を、表の各行に順に記述する。このとき、code や title などインデントされずに灰色の網掛けで表現される項目は、それが XML 要素であることを意味する。一方、@code や @codeSystem のようにインデントされ @ をつけて示される項目は、それが XML 属性であることを意味する。text() と示される項目は、XML テキスト内容を表す。

「多重度」は、指定された項目の出現数の最小値と最大値を”..”の両端に示す形で表現する。最大値に制限が無い場合は、”*” (アスタリスク) によって表現される。例えば、上の例で、section 要素に付けられた”0..*”という多重度は、指定された section 要素が XML 中に 0 個以上複数出現し、その出現数の最大値には制限がないことを示す。一方 title 要素は、section 要素が出現する際には必ず 1 つ出現することを示す。

最小多重度が 0 である項目は、その要素または属性が存在しない場合があることを示す。もし記述すべき値がない（または記述すべき値が空文字列）場合には、その要素自体または属性自体を省略しなければならない。要素または属性を出現させて値は空文字列にすることは許可されない。

「選択性（オプショナリティ）」は、M (Mandatory) または O (Optional) または X (出現してはならない) のいずれかの値で表現される。M は、必須値であり、その要素または属性は必ず 1 個以上出現し、かつ空文字列でない値が必ず格納されなければならない。

O はオプショナル項目（任意出現項目）であり、記述すべき値が存在しない場合やある条件下で

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

は、省略する項目である。また、記述すべき値がない（または記述すべき値が空文字列）場合には、その要素自体または属性自体を省略しなければならない。要素または属性を出現させて値は空文字列にすることは許可されない。Mが指定されている要素の多重度の最小値は必ず1以上となる。

表中でXML要素の階層の上位にある項目に対して下位に位置する項目の多重度や選択性を指定する場合、下位の項目の多重度および選択性は、上位の項目が出現する場合での制約を記述する。例えば、上の例で、**section**要素の選択性がO (Optional)であるのに、その下位の**code**要素の選択性がM (Mandatory)であるのは、**section**要素が存在する状況での**code**要素の選択性を示しており、**section**要素が存在するときには**code**要素が必ず出現しなければならないことを意味する。

上記の表で最初の列XML-NOは、本仕様書内で引用に便利ようにつけた番号で、すべての表を通じた一意の通し番号になっており、XML仕様Noとして引用される。

説明文中に最大バイト数の記載がある場合には、特に条件記載がない限り半角文字を1バイト、全角文字（シフトJIS系文字における2バイト文字）を2バイトに換算した場合の文字列バイト長を指すものとする。

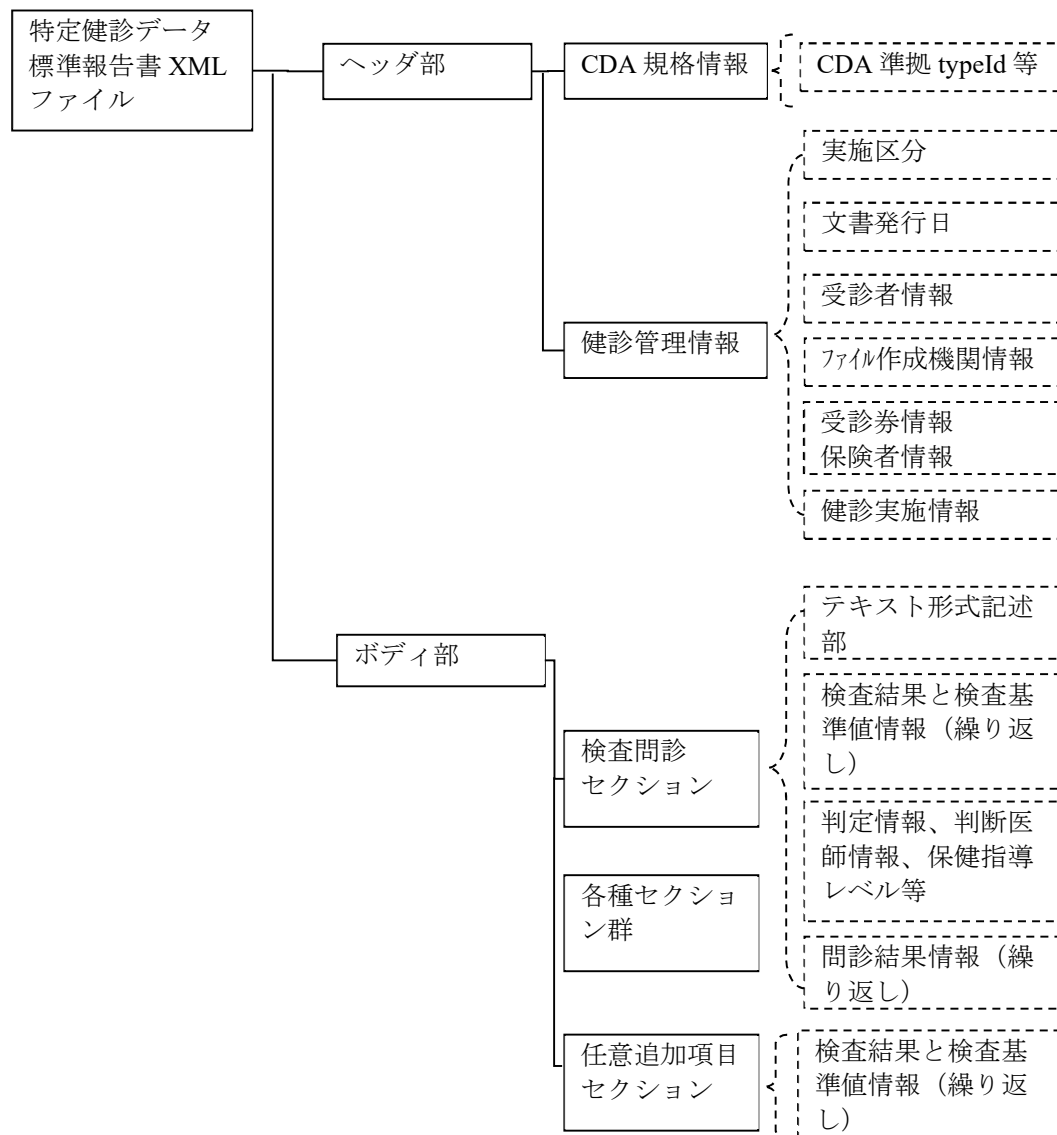
（本仕様のXMLドキュメントにおいて使用するUTF-8文字コードは、全角1文字を3バイトまたは4バイトで記録するものである。そのため、本仕様の説明文中において文字の桁数を表すために記述されたバイト数と、XMLドキュメントで文字の記録に要するバイト数は一致しない点に留意されたい。）

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

3. 特定健診情報ファイル仕様

3.1 全体構成の概要

本標準フォーマットにもとづく XML ファイルは、ヘッダ部とボディ部からなる（下図）。



ヘッダ部には、CDA 規格上必要となるメッセージ種別など CDA 規格情報、記録されているイベント（健診、指導など）に関する実施区分や文書発行日（特定健診情報ファイルの作成日）情報、作成者情報すなわち健診機関情報、記録対象者（受診者）情報、受診券情報や保険者情報、健診実施日などの健診管理情報から構成される。

ボディ部には、健診結果の情報が、一部は人間可読なテキスト形式で記述されるとともに、コンピュータ処理を可能とするための形式で構造化されて記述される。

健診結果は、原則として法令等で定められた項目群の情報を格納するセクションと、実施関係者同士で任意に追加された項目群の情報を格納するセクションに分けて格納される。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

3.2 ヘッダ部

3.2.1 名前空間

本仕様書で定義される XML インスタンスの名前空間は「`urn:hl7-org:v3`」とし、これをデフォルト名前空間として指定する。

また、本仕様書で定義される XML インスタンスでは、「`http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance`」という URI で識別される XML スキーマインスタンスの名前空間を使用する。

本仕様のスキーマファイルは「`hc08_V08.xsd`」というファイル名のファイルにより別途提供される。ここでこのファイル名中の `V08` は version 番号であり、今後スキーマファイルに大きな変更が加わる場合にはそれに伴って変更される可能性がある。下記は XML インスタンスの実例であり、本仕様に基づくすべての XML インスタンスは、スキーマファイル名の version 番号部分を除きこの部分を変更してはならない。

補足説明 1：本仕様でファイルを生成する側は、文字コードは UTF-8 を使用するものとする。

補足説明 2：UTF-8 文字コードのファイルをコンピュータプログラムにより生成する場合に、ファイルの冒頭の（通常のテキスト表示では見えない最初の）3 バイトに **Byte Order Mark**

（**BOM**）と呼ばれる 3 バイト `EF BB BF` (16 進) をつけるスタイルと、つけないスタイルの両方が世の中に存在する。本仕様でファイルを生成する側は、この **BOM** と呼ばれる 3 バイトを付与しないものとする。ソフトウェア開発者は、自分の使用する XML ファイル生成機能が自動的に **BOM** を付与するソフトかどうかを調べ、自動付与するスタイルのソフトウェアの場合には、生成されたファイルの第 1 バイト目からの先頭 3 バイトを削除することが必要である。どちらのソフトウェアであるかを調査するためには、テキスト表示ソフトでは通常表示されないの、冒頭の数バイトをプログラムで **BOM** を確認することが必要である。

一方、本仕様で生成されたファイルを受信する側では、生成側が誤って **BOM** を付けたファイルを生成している可能性を想定し、**BOM** の有無にかかわらず正しく処理できるようにすることが必要である。

補足説明 3：スキーマファイル名の version 番号部分は `V08` で統一する。下記の例で示すように、`hc08_V08.xsd` とするものとする。今後スキーマファイルが一部修正された場合においても、リリースされたスキーマファイル名を下図のようにバージョン番号部分を `V08` に名前を変更して使用するものとする。なお、将来の制度の改訂などにより、部分修正に留まらない大きな変更が加えられた場合には、これによらない場合がある。

なお、オペレーティングシステムによる違いの影響を排除するため、スキーマファイル名、その相対パス名の英大文字小文字の違いを意識するものとし、以下の通りとする。

スキーマファイル名を含む相対パス名：`../XSD/hc08_V08.xsd`

注：ピリオド 2 個で始まっていることから分かるように、スキーマファイルが格納されるフォルダ `XSD` は、本 XML ファイルが格納されるフォルダ（ディレクトリ）の兄弟フォルダである。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<ClinicalDocument xmlns="urn:hl7-org:v3"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="urn:hl7-org:v3 ../XSD/hc08_V08.xsd">
  ...
</ClinicalDocument>
```

3.2.2 CDA 管理情報

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

特定健診情報ファイルのトップレベルの XML 要素である ClinicalDocument の最初の 2 つの要素は、HL7CDA に準拠する上で必要な情報であり、表 1 に示される 2 要素が含まれる。

表 1 ヘッダ部の CDA 管理情報

No	XPath	説明	厚労省公表資料との対応	多重度	選択性
0	/ClinicalDocument			1..1	M
1	typeId	タイプ ID。準拠している CDA R2 仕様を識別する。		1..1	M
1.1	@root	HL7 に登録されている成果物の名前空間 OID となる「2.16.840.1.113883.1.3」を設定。		1..1	M
1.2	@extension	CDA R2 仕様のバージョンを一意に識別する成果物識別子である「POCD_HD000040」を設定。		1..1	M
2	id	生成されたファイルをユニークに識別する ID。		1..1	M
2.1	@nullFlavor	未使用としヌル値を意味する“NI”を設定。		1..1	M

3.2.3 健診管理情報

CDA 管理情報の 2 つの要素につづく要素は、健診管理情報であり、表 2 に示される項目からなる。

表 2 ヘッダ部の健診管理情報

No	XPath	説明	厚労省公表資料との対応	多重度	選択性
0	/ClinicalDocument			1..1	M
3	code	報告区分を表すコードを設定。このファイルが作成された目的や作成タイミングなどの情報を格納するために使用される。		1..1	M
3.1	@code	報告区分コード 2 桁 10: 特定健診情報 40: 健診結果を特定健診結果報告以外の報告として送付する場合。受信側がこの報告区分コードでの報告を受け取れることが確認できている場合にのみ使用できる。 送信側が XML ファイルを作成する時には、実施区分コード(通知別表 3) 1 桁をこの報告区分の 10 の位に設定し、報告区分コードの 1 の位にはゼロを設定するものとする。 受信側が XML ファイルを受信して使用する場合には、この報告区分 2 桁のうち 10 の位の 1 桁をとりだし、それを通知別表 3 の実施区分 1 桁として取得し使用すること。	1 桁目 (10 の位) は通知別表 3 実施区分コード	1..1	M
3.2	@codeSystem	コードのコード体系を識別する OID。「1.2.392.200119.6.1001」を設定。		1..1	M
3.3	@displayName	使用しない。存在しなくてもよい。		0..1	O
4	effectiveTime	本ファイルのオフィシャルなファイル作成日(実際のファイル作成日と異なることもあり)。この日付をもって本データを提出したこととして取り扱う		1..1	M

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

		日。			
4.1	@value	「YYYYMMDD」。		1..1	M
5	confidentialityCode	守秘レベルコード。HL7 ポキャブラリドメイン Confidentiality の値を使用。		1..1	M
5.1	@code	守秘レベルコード。通常時の守秘レベルを表す「N」を設定。		1..1	M
5.2	@codeSystem	XML ファイルサイズを小さくするため当面使用しない。使用する場合には守秘レベルコードのコード体系を識別する OID。「2.16.840.1.113883.5.25」固定。		0..1	O
6	recordTarget	受診者情報。構造を含め詳細は、3.2.3.1 節に記載。		1..1	M
7	author	本ファイルを作成し提出する健診機関の情報（通常は送付元に相当する）。構造を含め詳細は、3.2.3.2 節に記載。		1..1	M
8	custodian	本ファイル作成管理責任機関情報。本仕様では使用しないが HL7CDA 規格上必須であるため、3.2.3.3 節のように記述するものとする。		1..1	M
9	participant	受診者の受診券に関する情報および所属する保険者に関する情報。被保険者番号に関する情報はここではなく、recordTarget に記述される。詳細は、3.2.3.4 節に記載。		0..1	O
10	documentationOf	健診実施情報。詳細は、3.2.3.5 節に記載。		1..1	M

ヘッダ部の XML サンプルを以下に示す。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ClinicalDocument xmlns="urn:hl7-org:v3"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="urn:hl7-org:v3 ../XSD/hc08_V08.xsd">
  <typeId root="2.16.840.1.113883.1.3" extension="POCD_HD00040" />
  <id nullFlavor="NI"/>
  <!--報告区分 10=特定健診情報の報告-->
  <code code="10" codeSystem="1.2.392.200119.6.1001" />
  <!-- 文書発行日 (西暦) -->
  <effectiveTime value="20241001" />
  <confidentialityCode code="N"/>
  <!-- 受診者情報 -->
  <recordTarget>...</recordTarget>
  <!--ファイル作成機関情報 -->
  <author>...</author>
  <!-- ファイル作成管理責任機関情報 -->
  <custodian>...</custodian>
  <!--受診券と保険者情報 -->
  <participant typeCode="HLD">...</participant>
  <!-- 健診実施情報 -->
  <documentationOf>...</documentationOf>
    <component>...</component>
    ...
</ClinicalDocument>

```

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

3.2.3.1 受診者情報

ClinicalDocument の子要素である **recordTarget** 要素で受診者情報を記述する。健診データ項目一覧表のうち、表 3 に示す項目がこの要素で表現される。

表 3 受診者情報に含まれる項目

項目名	XML 仕様 No	XPath
保険者番号	6.8.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/id/@extension
被保険者証等記号	6.9.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/id/@extension
被保険者証等番号	6.10.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/id/@extension
被保険者証等枝番	6.11.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/id/@extension
受診者の郵便番号	6.13.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/addr/postalCode/text()
受診者の住所	6.12.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/addr/text()
受診者の氏名	6.15.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/patient/name/text()
受診者の性別	6.16.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/patient/administrativeGenderCode/@code
受診者の生年月日	6.17.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/patient/birthTime/@value

受診者情報の XML 仕様の詳細を表 4 に示す。

表 4 受診者情報 XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
6	/ClinicalDocument/recordTarget		1..1	M
6.1	patientRole	受診者情報。	1..1	M
6.2	patientRole/id	整理用番号 1。保険者より国へ報告する際に利用するものであり、健診機関からの出力データには出現させない。	0..0	×
6.2.1	@extension	「整理用番号 1」に対応する文字列。保険者より国へ報告する際に利用するものであり、健診機関からの出力データには出現させない。	1..1	M
6.2.2	@root	整理用番号 1 の OID。「1.2.392.200119.6.202」を設定。保険者より国へ報告する際に利用するものであり、健診機関からの出力データには出現させない。	1..1	M
6.3	patientRole/id	整理用番号 2 保険者より国へ報告する際に利用するものであり、健診機関からの出力データには出現させない。	0..0	×
6.3.1	@extension	「整理用番号 2」に対応する文字列。保険者より国へ報告する際に利用するものであり、健診機関からの出力データには出現させない。	1..1	M
6.3.2	@root	整理用番号 2 の OID。「1.2.392.200119.6.203」を設定。保険者より国へ報告する際に利用するものであり、健診機関からの出力データには出現させない。	1..1	M
6.4	patientRole/id	整理用番号 3。保険者より国へ報告する際に利用するものであり、健診機関からの出力データには出現させない。	0..0	×
6.4.1	@extension	「整理用番号 3」に対応する文字列。保険者より国へ報告する際に利用するものであり、健診機関からの出力データには出現させない。	1..1	M
6.4.2	@root	整理用番号 3 の OID。「1.2.392.200119.6.900」を設定。保険者より国へ報告する際に利用するものであり、健	1..1	M

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

		診機関からの出力データには出現させない。		
6.5	patientRole/id	整理用番号4。保険者より国へ報告する際に利用するものであり、健診機関からの出力データには出現させない。	0.0	×
6.5.1	@extension	「整理用番号4」に対応する文字列。保険者より国へ報告する際に利用するものであり、健診機関からの出力データには出現させない。	1..1	M
6.5.2	@root	整理用番号4のOID。 「1.2.392.200119.6.18010」を設定。保険者より国へ報告する際に利用するものであり、健診機関からの出力データには出現させない。	1..1	M
6.6	patientRole/id	整理用番号5。保険者より国へ報告する際に利用するものであり、健診機関からの出力データには出現させない。	0.0	×
6.6.1	@extension	「整理用番号5」に対応する文字列。保険者より国へ報告する際に利用するものであり、健診機関からの出力データには出現させない。	1..1	M
6.6.2	@root	整理用番号5のOID。 「1.2.392.200119.6.18020」を設定。保険者より国へ報告する際に利用するものであり、健診機関からの出力データには出現させない。	1..1	M
6.7	patientRole/id	整理用番号5のチェックコード。健診機関からの出力データには出現させない。	0	×
6.7.1	@extension	「整理用番号5のチェックコード」の値。整理用番号5付番時の状況を表すコード。健診機関からの出力データには出現させない。	1..1	M
6.7.2	@root	整理用番号5チェックコードのOID。 「1.2.392.200119.6.21010」を設定。健診機関からの出力データには出現させない。	1..1	M
6.8	patientRole/id	資格区分 保険者より国へ報告する際に利用するものであり、健診機関からの出力データには出現させない。 資格は、特定健康診査においては受診日時点、特定保健指導においては初回面談実施日時点を基準とする。	0.0	×
6.8.1	@extension	「資格区分」文字列。数字1桁固定長とする。	1..1	M
6.8.2	@root	資格区分のOID。「1.2.392.200119.6.206」を設定。	1..1	M
6.9	patientRole/id	保険者番号	1..1	M
6.9.1	@extension	「保険者番号」文字列。数字8桁固定長とする。 8桁に満たない場合には先頭のゼロをつけて8桁とする。	1..1	M
6.9.2	@root	保険者番号のOID。「1.2.392.200119.6.101」を設定。	1..1	M
6.10	patientRole/id	被保険者証等記号 被保険者証等記号が存在しない場合には、本要素は出現させない。 ただし、受信側保険者のシステムによっては「一」の1文字(シフトJISコード 849F、ひらがなで「けいせん」と入力して仮名漢字変換される罫線記号)を設定するものとして本要素を出力する必要がある場合があるので、受信側保険者システムに確認をとること。	0..1	O
6.10.1	@extension	「被保険者証等記号」に対応する文字列。全角だけ	1..1	M

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

		からなる文字列または半角だけからなる文字列のどちらかとする。英数字だけの場合には 1 バイト系(半角)文字列だけから構成するか、または全角文字列だけから構成する。記号または仮名漢字を含む場合には英数字を含めすべて全角文字列だけから構成するものとする。なお、いずれの場合にも、全角空白を含めないこととする。 最大 40 バイト。		
6.10.2	@root	被保険者証等記号の OID。「1.2.392.200119.6.204」を設定。	1..1	M
6.11	patientRole/id	被保険者証等番号	1..1	M
6.11.1	@extensionk	「被保険者証等番号」に対応する文字列。全角だけからなる文字列または半角だけからなる文字列のどちらかとする。英数字だけの場合には 1 バイト系(半角)文字列だけから構成するか、または全角文字列だけから構成する。記号または仮名漢字を含む場合には英数字を含めすべて全角文字列だけから構成するものとする。なお、いずれの場合にも、全角空白を含めないこととする。	1..1	M
6.11.2	@root	被保険者証等番号の OID。「1.2.392.200119.6.205」を設定。	1..1	M
6.12	patientRole/id	被保険者証等枝番 被保険者証等枝番が採番されていない、または不明の場合には、本要素は出現させない。	0..1	O
6.12.1	@extension	「被保険者証等枝番」に対応する文字列。数字 2 桁固定とする。	1..1	M
6.12.2	@root	被保険者証等枝番の OID。「1.2.392.200119.6.211」を設定。	1..1	M
6.13	patientRole/addr/	受診者住所情報。	1..1	M
6.13.1	text()	「受診者住所」に対応する受診券裏面に記入された受診者の住所を 2 バイト系だけからなる文字列で記録。郵便番号を含まず、空白を含めない。最大 80 バイト。	1..1	M
6.14	patientRole/addr/postalCode	受診者の郵便番号	1..1	M
6.14.1	text()	「受診者郵便番号」に対応する半角文字列。書式は、「###-####」([0-9]{3}-[0-9]{4})。ハイフンを含む)。8 バイト固定。	1..1	M
6.15	patientRole/patient	受診者個人情報	1..1	M
6.16	patientRole/patient/name	受診者の氏名	1..1	M
6.16.1	text()	「受診者カナ氏名」に対応する全角カタカナ文字列で空白を含まない。姓と名の間にも空白をあけないこと。最大 40 バイト。	1..1	M
6.17	patientRole/patient/administrativeGenderCode	「受診者の性別」コード。	1..1	M
6.17.1	@code	受診者の性別コードのニーモニック。男=「1」、女=「2」。	1..1	M
6.17.2	@codeSystem	受診者の性別コードのコード体系を識別する OID。「1.2.392.200119.6.1104」を設定。	0..1	O
6.18	patientRole/patient/birthTime	受診者の生年月日。	1..1	M
6.18.1	@value	「受診者の生年月日」。書式は数字半角文字列で「YYYYMMDD」。	1..1	M

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

受診者情報の XML サンプルを以下に示す。

```

<ClinicalDocument>
...
<!--受診者情報 -->
  <recordTarget>
    <patientRole>
      <!-- 保険者番号 -->
      <id extension="12345678" root="1.2.392.200119.6.101" />
      <!-- 被保険者証記号 -->
      <id extension="あいう" root="1.2.392.200119.6.204" />
      <!-- 被保険者証番号 -->
      <id extension="11223344" root="1.2.392.200119.6.205" />
      <!-- 被保険者証枝番 -->
      <id extension="01" root="1.2.392.200119.6.211" />
      <!-- 受診者の郵便番号と住所 -->
      <addr>
        <postalCode>123-0001</postalCode>
        東京都千代田区霞が関1-1-1
      </addr>
    </patient>
    <!-- 氏名カナ -->
    <name>スズキイチロウ</name>
    <!-- 別表4の性別コード: 男 -->
    <administrativeGenderCode code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.1104" />
    <!-- 受診者の生年月日(西暦) -->
    <birthTime value="19620924" />
  </patient>
</patientRole>
</recordTarget>
...
</ClinicalDocument>

```


特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

3.2.3.2 ファイル作成機関の情報

特定健診情報ファイルのファイル作成機関であり、特定健診の結果報告の場合すなわち XML 仕様 No.3.1 (/ClinicalDocument/code/@code) が「10」である場合には通常は健診機関でもある。健診を実施した健診機関に関する情報は、author 要素で記述されるのではなく、documentationOf 要素中で記述されることに注意していただきたい。

表 5 に示す項目がこの要素（ファイル作成機関）で表現され、このうちファイル作成機関番号とファイル作成機関名称は必須である。

健診実施機関ではない組織が電子ファイルを作成するような場合には、下記のファイル作成機関に関する情報と、健診実施機関の情報とは異なることになる。

ファイル作成機関に関する情報は、このようなケースに備えて用意されているが、厚労省通知においてはファイル作成機関に関する情報は存在しないため、XML ファイル作成時および受信時には以下のように処理すること。

1) 作成時

ファイル作成機関と健診実施機関が異なる場合で、個別契約などによりファイル作成機関情報を格納することが要請されているような場合にかぎり、ファイル作成機関情報は実際のファイル作成機関についての情報を格納する。

それ以外の場合、すなわちファイル作成機関と健診実施機関が同じである場合や、両者が異なるが特段それを区別してファイル作成機関についての情報を送信する必要がない集合契約による場合もしくは代行機関を通して提出する場合などにおいては、ファイル作成機関情報には健診実施機関情報と同じ機関の情報を格納する。ただしこの場合でもファイル作成機関情報要素全体を省略してしまふことはできない。

2) 受信時

ファイルの受信時には、特別な必要性がない限り、ファイル作成機関情報は無視してよい。健診実施機関情報とは異なる値が格納されているケースがありうるため、健診実施機関情報として取り扱ってはいけない。健診実施機関に関する情報は、documentationOf 要素に記述されているので、そちらを読み出して使用すること。

表 5 ファイル作成機関情報に含まれる項目

項目名	XML 仕様 No	XPath
ファイル作成機関番号	7.5.1	/ClinicalDocument/author/assignedAuthor/representedOrganization/id/@extension
ファイル作成機関名称	7.6.1	/ClinicalDocument/author/assignedAuthor/representedOrganization/name/text()
ファイル作成機関電話番号	7.7.1	/ClinicalDocument/author/assignedAuthor/representedOrganization/telecom/@value
ファイル作成機関住所	7.8.1	/ClinicalDocument/author/assignedAuthor/representedOrganization/addr/text()
ファイル作成機関郵便番号	7.9.1	/ClinicalDocument/author/assignedAuthor/representedOrganization/addr/postalCode/text()

ファイル作成機関情報の XML 仕様を表 6 に示す。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

表 6 作成機関情報 XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
7	/ClinicalDocument/author		1..1	M
7.1	time	ファイル作成日。このファイルの実際の作成日。XML 仕様 No.4 の effectiveTime と通常は同一の値であるが、3 月 31 日付けの報告 (effectiveTime) のファイルを、3 月 29 日に作成(本項目)したことを記録したい場合では、両者を異なる値とすることは可能。 受信側で特に利用されることはない。	1..1	M
7.1.1	@value	書式は「YYYYMMDD」	1..1	M
7.2	assignedAuthor	ファイル作成機関情報	1..1	M
7.3	assignedAuthor/id	ファイル作成機関識別子	1..1	M
7.3.1	@nullFlavor	HL7 ポキャブラリドメイン NullFlavor より「NI」を設定。	1..1	M
7.4	assignedAuthor/representedOrganization	ファイル作成機関	1..1	M
7.5	assignedAuthor/representedOrganization/id	ファイル作成機関の番号	1..1	M
7.5.1	@extension	「ファイル作成機関番号」に対応する文字列。半角数字 10 桁固定。	1..1	M
7.5.2	@root	ファイル作成機関のための OID を設定。 健診機関: 「1.2.392.200119.6.102」	1..1	M
7.6	assignedAuthor/representedOrganization/name	ファイル作成機関の名称。	1..1	M
7.6.1	text()	「ファイル作成機関名称」文字列。	1..1	M
7.7	assignedAuthor/representedOrganization/telecom	ファイル作成機関の連絡先情報。	0..1	O
7.7.1	@value	電話番号。「tel:」で始まる文字列で数字だけとし、ハイフンやカッコなど区切り文字を含まない。 例: "tel:0312345678" 「tel:」の 4 バイトを含めて最大 15 バイト。	1..1	M
7.8	assignedAuthor/representedOrganization/addr	ファイル作成機関の所在地情報。	0..1	O
7.8.1	text()	「ファイル作成機関住所」に対応する住所を全角文字列で記録。郵便番号を含まず、空白を含めない。最大 80 バイト。	1..1	M
7.9	assignedAuthor/representedOrganization/addr/postalCode	ファイル作成機関の所在地郵便番号情報。	0..1	O
7.9.1	text()	「ファイル作成機関郵便番号」に対応する半角文字列。書式は、「###-####」([0-9]{3}-[0-9]{4})。ハイフンを含む)。8 バイト固定。	1..1	M

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

ファイル作成機関の XML サンプルを以下に示す。

```
<ClinicalDocument>
...
<!-- ファイル作成機関情報 -->
<author>
  <time value="20240727" />
  <assignedAuthor>
    <id nullFlavor="NI" />
    <representedOrganization>
      <id extension="1234567890" root="1.2.392.200119.6.102" />
      <name>特定健診センター</name>
      <telecom value="tel:0312345678" />
      <addr>
        <postalCode>112-0000</postalCode>
        東京都千代田区大手町1-2-3
      </addr>
    </representedOrganization>
  </assignedAuthor>
</author>
...
</ClinicalDocument>
```

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

3.2.3.3 ファイル作成管理責任機関情報

特定健診情報の送信のためには特に必要としていない情報であるが、HL7CDA 規格上は報告書管理責任機関情報として必須要素であるため表 7 のように記述する。
受信側は無視してよい。

表 7 ファイル作成管理責任機関情報 XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
8	/ClinicalDocument/custodian		1..1	M
8.1	assignedCustodian	ファイル作成管理責任機関情報	1..1	M
8.2	assignedCustodian/ representedCustodianOrganization	ファイル作成管理責任機関	1..1	M
8.3	assignedCustodian/ representedCustodianOrganization/id	ファイル作成管理責任機関の機関番号	1..1	M
8.3.1	@nullFlavor	"NI" を設定する。	1..1	M

ファイル作成管理責任機関情報の XML サンプルを以下に示す。

```

<ClinicalDocument>
...
<!-- ファイル作成管理責任機関情報 -->
<custodian>
  <assignedCustodian>
    <representedCustodianOrganization>
      <id nullFlavor="NI" />
    </representedCustodianOrganization>
  </assignedCustodian>
</custodian>
...
</ClinicalDocument>

```

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

3.2.3.4 受診券情報と保険者情報

受診者が健診実施時に属した保険者の情報および、その保険者が発行した受診券に関する情報を表現する。表 8 に示す項目が含まれる。なお、保険者番号については、recordTarget (XML 仕様 No: 6) の中で記述される保険者番号と同一でなければならない。万一、値が異なる場合には、recordTarget (XML 仕様 No: 6) の中で記述される保険者番号のほうが正しいものとして処理される。受診券が発行されないケースでは本要素/ClinicalDocument/participant は出現しない。

特定健診当日、または1週間以内に特定保健指導の初回面接を実施できるセット券（特定健康診査＋特定保健指導）の場合、受診券の種別番号には「5」が設定される。

表 8 受診券情報と保険者情報へのマッピング項目

項目名	XML 仕様 No	XPath
受診券有効期限	9.4.1	/ClinicalDocument/participant/time/high/@value
受診券整理番号	9.6.1	/ClinicalDocument/participant/associatedEntity/id/@extension
受診券を発行した保険者番号	9.8.1	/ClinicalDocument/participant/associatedEntity/scopingOrganization/id/@extension

受診券情報と保険者情報の XML 仕様を表 9 に示す。

表 9 受診券情報と保険者情報の XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
9	/ClinicalDocument/participant		0..1	O
9.1	@typeCode	HL7 ボキャブラリドメイン ParticipationType から所有者を示す「HLD」を設定。	1..1	M
9.2	functionCode	受診券の情報であることを示す情報	1..1	M
9.2.1	@code	受診券券面種別コードを示す「1」を設定。	1..1	M
9.2.2	@codeSystem	受診券・利用券の券面種別コードのための OID。「1.2.392.200119.6.208」を設定。	1..1	M
9.3	time	受診券の有効期間	1..1	M
9.4	time/high	有効期間の終了日すなわち有効期限	0..1	O
9.4.1	@value	「受診券有効期限」、書式は“YYYYMMDD”。	1..1	M
9.5	associatedEntity	受診券と発行者の識別情報。	1..1	M
9.5.1	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン RoleClass から「IDENT」を設定。	1..1	M
9.6	associatedEntity/id	受診券整理番号	1..1	M
9.6.1	@extension	「受診券整理番号」に対応する文字列。数字 11 桁固定。(通知別表5参照)	1..1	M
9.6.2	@root	受診券整理番号のための OID。「1.2.392.200119.6.209.nnnnnnnnn」を設定。ここで nnnnnnnnn は XML 仕様 No.9.8.1 に記述される保険者番号 8 桁の先頭に 1 をつけて 9 桁とした番号。OID 表も参照のこと。	1..1	M
9.7	associatedEntity/scopingOrganization	受診券を発行した保険者の保険者情報。	1..1	M
9.8	associatedEntity/scopingOrganization/id	受診券を発行した保険者の保険者番号。	1..1	M
9.8.1	@extension	「(受診券を発行した)保険者番号」。送信側(ファイル作成側)は recordTarget (XML 仕様 No. 6) の中で記述される保険者番号 8 桁と同一番号を設定する。省略はできな	1..1	M

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

		い。ファイル受信側では無視してよく、仮に本属性が ecardTarget (XML 仕様 No. 6) の中で記述される保険者番号と異なっていた場合にも無視してよい。		
9.8.2	@root	保険者番号の OID。「1.2.392.200119.6.101」を設定。	1..1	M

受診券と保険者情報の XML サンプルを以下に示す。

```

<ClinicalDocument>
...
<participant typeCode="HLD">
<functionCode code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.208" />
<time>
<!-- high は受診券の有効期限（その日を含む） -->
<high value="20250331" />
</time>

<associatedEntity classCode="IDENT">
<!-- 受診券番号 -->
<id extension="11123344551" root="1.2.392.200119.6.209.131130685" />

<!-- 保険者情報 -->
<scopingOrganization>
<!-- 保険者番号 31130685 -->
<id extension="31130685" root="1.2.392.200119.6.101" />
</scopingOrganization>
</associatedEntity>
</participant>
...
</ClinicalDocument>

```

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

3.2.3.5 健診実施情報

健診実施情報を表現する。表 10 に示す項目が含まれる。

表 10 健診実施情報に含まれる項目

項目名	XML 仕様 No	XPath
健診実施時のプログラム種別	10.2.1	/ClinicalDocument/documentaionOf/serviceEvent/code/@code
健診実施年月日	10.3.1	/ClinicalDocument/documentaionOf/serviceEvent/effectiveTime/@value
健診実施機関番号	10.8.1	/ClinicalDocument/documentaionOf/serviceEvent/performer/assignedEntity/representedOrganization/id/@extension
健診実施機関名称	10.9.1	/ClinicalDocument/documentaionOf/serviceEvent/performer/assignedEntity/representedOrganization/name/text()
健診実施機関電話番号	10.10.1	/ClinicalDocument/documentaionOf/serviceEvent/performer/assignedEntity/representedOrganization/telecom/@value
健診実施機関住所	10.11.1	/ClinicalDocument/documentaionOf/serviceEvent/performer/assignedEntity/representedOrganization/addr/text()
健診実施機関郵便番号	10.12.1	/ClinicalDocument/documentaionOf/serviceEvent/performer/assignedEntity/representedOrganization/addr/postalCode/text()

集合契約にて実施する際は、保険者と健診実施機関との間で健診種別の取り決めを交わすことは困難であるが、個別契約及び事業者健診において事業主から健診実施機関に本様式での報告を委託する際、委託契約締結時に健診プログラムサービスコードに埋めるべきコードを保険者等（事業主含む）との間で合意がある場合は、健診実施機関にてその指定値を設定できることとする。

健診実施情報の XML 仕様を表 11 に示す。

表 11 健診実施情報 XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
10	/ClinicalDocument/documentationOf		1..1	M
10.1	serviceEvent	健診実施情報。	1..1	M
10.2	serviceEvent/code	健診プログラムサービスコード。 ヘッダー部の健診管理情報における code (XML 仕様 No.3) は本ファイルを作成し提出する事由区分の意味で使用するのに対して、この健診プログラムサービスコードは、健診実施時にどのような区分として実施されたかを示す。	1..1	M
10.2.1	@code	以下のいずれの目的で実施された健診(検査)によって、本ファイルで報告する検査・問診データが得られたかについて主たるものをひとつ記述する。共同実施の場合には、最も主たる特定健診以外の健診事業のコードを記述することを原則とする。 個別契約や事業者健診における委託契約締結時に健診プログラムサービスコードに埋めるべきコードを保険者等(事業主含む)との間で合意がある場合、健診実施機関は、その指	1..1	M

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

		<p>定値を設定できる。</p> <p>ただし電子ファイル作成を入力機関が代行する場合などでこの情報が不明な場合には、「000」(不明)を設定するか、または特定健診報告である場合には常に「010」を設定することも止むを得ない。</p> <p>いずれにせよ、送信側(本ファイル作成側)は本情報をかみならず設定しなければならない。</p> <p>一方、受信側がこの情報をどのように利用するかについては受信側のプログラムにまかされているので本情報は無視してもよいが、特定健診以外の利用の場合では必須の健診結果が格納されているかどうかを判定するために必要となる情報と考えられる。</p> <p>※表外の補足説明も参照のこと。</p> <p>000: 不明</p> <p>010: 特定健診</p> <p>020: 広域連合の保健事業</p> <p>030: 事業者健診(労働安全衛生法に基づく健診)</p> <p>040: 学校健診(学校保健安全法に基づく職員健診)</p> <p>060: がん検診</p> <p>090: 肝炎検診</p> <p>990: 上記ではない健診(検診)</p>		
10.2.2	@codeSystem	コード体系を識別するOID。「1.2.392.200119.6.1002」を設定。	1..1	M
10.2.3	@displayName	コードの表示名。コードに応じて「特定健診」「広域連合保健事業」「事業者健診」「学校健診」「がん検診」「肝炎検診」「その他検診」を設定。これらの文字列は人間が読んでコードに対応する意味がわかるために便宜上記述されるものであり、この文字列と完全に一致させる必要はなく、一致していることを要求するものでもない。省略可能。	0..1	O
10.3	serviceEvent/effectiveTime	健診の実施日	1..1	M
10.3.1	@value	「健診実施年月日」に対応する文字列。書式は「YYYYMMDD」。	1..1	M
10.4	serviceEvent/performer	健診プログラムサービスの実施者情報	1..1	M
10.4.1	@typecode	HL7 ボキャブラリドメイン より「PRF」を設定。	1..1	M
10.5	serviceEvent/performer/assignedEntity	健診実施機関情報	1..1	M
10.6	serviceEvent/performer/assignedEntity/id	健診実施機関識別子	1..1	M
10.6.1	@nullFlavor	HL7 ボキャブラリドメイン NullFlavor より「NI」を設定。	1..1	M

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

10.7	serviceEvent/performer/assignedEntity/representedOrganization	健診実施機関	1..1	M
10.8	serviceEvent/performer/assignedEntity/representedOrganization/id	健診実施機関の番号	1..1	M
10.8.1	@extension	「健診実施機関番号」に対応する文字列。数字 10 桁固定。(通知別表2参照)	1..1	M
10.8.2	@root	健診実施機関のための OID を設定。 健診機関:「1.2.392.200119.6.102」	1..1	M
10.9	serviceEvent/performer/assignedEntity/representedOrganization/name	健診実施機関の名称。	1..1	M
10.9.1	text()	「健診実施機関名称」文字列。 全角文字列のみ。最大 40 バイト。	1..1	M
10.10	serviceEvent/performer/assignedEntity/representedOrganization/telecom	健診実施機関の連絡先情報。	1..1	M
10.10.1	@value	電話番号。「tel :」で始まる文字列で数字だけとし、ハイフンやカッコなど区切り文字を含まない。例:“tel:0312345678” 「tel:」の 4 バイトを含めて最大 15 バイト。	1..1	M
10.11	serviceEvent/performer/assignedEntity/representedOrganization/addr	健診実施機関の所在地情報。	1..1	M
10.11.1	text()	「健診実施機関住所」に対応する住所を全角文字列で記録。郵便番号を含まず、空白を含まない。 最大 80 バイト。	1..1	M
10.12	serviceEvent/performer/assignedEntity/representedOrganization/addr/postalCode	健診実施機関の所在地郵便番号情報。	1..1	M
10.12.1	text()	「健診実施機関郵便番号」に対応する半角文字列。書式は、「###-####」([0-9]{3}-[0-9]{4}。ハイフンを含む)。8 バイト固定。	1..1	M

補足説明：

特定健診がん検診＋肝炎検診 のように 2 つ以上の健診が同時実施された場合で、その結果から特定健診報告を行うようなケースでは、表 2 (No. 3.1) の報告区分コードは「特定健診情報」の報告であるから「10」となるが、表 11 (No. 10.2) の健診プログラムサービスコードは、特定健診のコード、がん検診のコード、肝炎検診のコード、上記ではない健診のコードのいずれかを使用する。いずれを使用するかについて提出先機関と事前に協議ができていない場合にはそれに従うが、特段の取り決めがない場合には「010」（特定健診）を設定してもかまわない。

なお、本仕様としてはいずれのコードでもよい場合には、特定健診を除いて、一番コードの小さいものをひとつ格納することを推奨する（特定健診＋がん検診＋肝炎検診 であれば、特定健診を除いてコードの小さいがん検診のコードすなわち 060 を設定しておく）。

健診実施情報の XML サンプルを以下に示す。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

```

<ClinicalDocument>
...
<documentationOf>
  <serviceEvent>
    <code code="010" codeSystem="1.2.392.200119.6.1002"
      displayName="特定健診"/>
    <effectiveTime value="20070720"/>
    <performer typeCode="PRF">
      <assignedEntity>
        <id nullFlavor="NI" />
        <representedOrganization>
          <id extension="1234567890" root="1.2.392.200119.6.102" />
          <name>特定健診サービス</name>
          <telecom value="tel:0312345678" />
          <addr>
            東京都千代田区大手町 1 - 2 - 3
            <postalCode>112-0000</postalCode>
          </addr>
        </representedOrganization>
      </assignedEntity>
    </performer>
  </serviceEvent>
</documentationOf>
...
</ClinicalDocument>

```

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

3.3 ボディ部

ボディ部には、特定健診で定められた結果情報（検査結果および問診結果）、および任意に追加された健診項目結果情報が含まれ、それぞれ CDA セクションとして表現される。

各セクションは、そのセクションの内容を人が解釈することを目的として構造化テキストとして記述する説明ブロック（Narrative Block）と、セクション内容を機械可読なデータとして記述するエン트리記述ブロック（Entry）から構成される。

説明ブロックは、**section** 要素内の **text** 要素に HTML に類似するタグを使って記述されるが、**text** 要素にすべての健診項目の結果を記述するとそれだけでファイルサイズが非常に大きくなること、および必要ならエン트리記述ブロック中のデータから説明ブロックデータを機械的に生成可能であること、の2つの理由により、本仕様では **text** 要素には限定された少数の項目だけを任意記述するものとし、その他の項目の記述は行わないこととする。

一方、エン트리記述ブロックは、**section** 要素の子要素となる **entry** 要素の繰り返して記述する。**section** 要素は、セクションの種別を示すセクションコードを表す **code** 要素を、子要素として含まなければならない。各セクションのセクションコードを表 12 に示す。

表 12 健診データ CDA セクションの種類とコード

セクションコード	セクション名	説明
01010	特定健診検査・問診セクション	<p>特定健診で定められた健診項目の検査結果および問診結果。</p> <p>特定健診結果を報告する場合（報告区分10）では、ファイル作成側ではこのセクションは必須であり、このセクションに特定健診に必要な基本項目（1 階建て部分）および実施された詳細な項目（2 階建て部分）の格納を必ず行わなければならない。特定健診制度以外の制度により実施され特定健診項目も同時に実施された場で特定健診結果を報告する場合のファイルでは、このセクションに加えて当該制度に対応するセクションも一緒に作成してそこにその制度の全結果を格納してもよい。ただし受診者が同意していないにもかかわらず、特定健診以外の制度の検診（健診）結果を受診者に無断でその制度に無関係な第三者に送信することは避けなければならない。</p> <p>特定健診報告（報告区分10）を受信した場合には、ファイル受信側でこのセクションはかならず存在しているか確認する必要があり、特定健診結果は必ずこのセクションから取り出さなければならない。</p>
01020	広域連合保健事業セクション	後述する 3.3.1 の補足説明を参照。
01030	労働安全衛生法健診セクション	<p>労働安全衛生法に基づいて実施された健診において、同法で定められた健診の検査結果および問診結果。</p> <p>労働安全衛生法により実施された健診結果を報告したい場合には、ファイル作成側ではこのセクションは必須であり、本制度でとりきめたすべての結果を（特定健診と重複する項目の結果を含めて）このセクションに格納しなければならない。</p> <p>受信側との取り決めにより、特定健診検査・問診セクションをあわせて作成し、特定健診項目だけをそのセクションにも重複格納してもよいが、その場合にも労働安全衛生法健診セクションから特定健診項目の結果を削除してはならない。</p> <p>なお、実施された健診結果のうち特定健診部分だけを</p>

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

		抜き出して特定健診の報告としてファイルを作成する場合(報告区分10のファイルを作成する場合)には、本表の特定健診検査・問診セクションの説明を優先させること。
01040	学校保健安全法健診セクション	<p>学校保健安全法に基づいて実施された健診において、同法で定められた(教職員の)健診項目の検査結果および問診結果。</p> <p>学校保健安全法により実施された教職員の健診結果を報告したい場合には、ファイル作成側ではこのセクションは必須であり、本制度でとりきめたすべての結果を(特定健診と重複する項目の結果を含めて)このセクションに格納しなければならない。</p> <p>受信側との取り決めにより、特定健診検査・問診セクションをあわせて作成し、特定健診項目だけをそのセクションにも重複格納してもよいが、その場合にも学校保健安全法健診セクションから特定健診項目の結果を削除してはならない。</p> <p>なお、実施された健診結果のうち特定健診部分だけを抜き出して特定健診の報告としてファイルを作成する場合(報告区分10のファイルを作成する場合)には、本表の特定健診検査・問診セクションの説明を優先させること。</p>
01060	がん検診セクション	<p>がん検診で実施された検診の結果</p> <p>がん検診により実施された健診結果を報告したい場合には、ファイル作成側ではこのセクションは必須であり、本制度でとりきめたすべての結果を(特定健診と重複する項目の結果を含めて)このセクションに格納しなければならない。</p> <p>受信側との取り決めにより、特定健診検査・問診セクションをあわせて作成し、特定健診項目だけをそのセクションにも重複格納してもよいが、その場合にもがん検診セクションから特定健診項目の結果を削除してはならない。</p> <p>なお、実施された検診結果のうち特定健診部分だけを抜き出して特定健診の報告としてファイルを作成する場合(報告区分10のファイルを作成する場合)には、本表の特定健診検査・問診セクションの説明を優先させること。</p>
01090	肝炎検診セクション	<p>肝炎検診で実施された検診の結果</p> <p>肝炎検診により実施された健診結果を報告したい場合には、ファイル作成側ではこのセクションは必須であり、本制度でとりきめたすべての結果を(特定健診と重複する項目の結果を含めて)このセクションに格納しなければならない。</p> <p>受信側との取り決めにより、特定健診検査・問診セクションをあわせて作成し、特定健診項目だけをそのセクションにも重複格納してもよいが、その場合にも肝炎検診セクションから特定健診項目の結果を削除してはならない。</p> <p>なお、実施された検診結果のうち特定健診部分だけを抜き出して特定健診の報告としてファイルを作成する場合(報告区分10のファイルを作成する場合)には、本表の特定健診検査・問診セクションの説明を優先させること。</p>

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

01990	任意追加項目セクション	と。 1)いずれかの法令もしくは制度に基づいて実施された健診(検診)において、当該制度に定められていない項目を同時に実施した場合の検査結果および問診結果。この場合には該当するセクションとともに出現する。たとえば特定健診の3階建て部分の検査項目についてはこのセクションに格納する。 その他の制度の場合で、個別に追加された項目なのか制度にもとづく項目なのか判定が困難であるようなケースでは、当該制度のセクションに格納してもよく、また本セクションと重複して格納してもよい。 2)いずれの制度にも基づかず任意に実施された健診(検診)サービス(人間ドックなど)において、健診項目の検査結果および問診結果を格納する。この場合にはこのセクションだけが出現する。
-------	-------------	--

ボディ部の XML 仕様を表 13 に示す。

表 13 ボディ部の XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11	/ClinicalDocument/component		1..1	M
11.1	structuredBody	構造化ボディ。	1..1	M
11.2	structuredBody/component	セクションへの包含関係情報。3.3.1 節で認識するように 1 個から 3 個の要素が存在する。	1..3	M
11.3	structuredBody/component/section	セクション情報。詳細は 3.3.1~3.3.3 節。	1..1	M

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

以下に CDA ボディの XML サンプルを示す。

```
<ClinicalDocument>
...
<!-- 健診情報、保健指導情報-->
<component>
  <structuredBody>
    <component>
      <section>
        <!-- 特定健診の検査・問診セクション (3.3.2 節) -->
      </section>
    </component>

    <component>
      <section>
        <!-- 任意追加項目セクション (3.3.3 節) -->
      </section>
    </component>
  </structuredBody>
</component>
</ClinicalDocument>
```

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

3.3.1 健診報告区分と CDA セクションの関係

特定健診だけでなく、労働安全衛生法に基づく健診や学校保健安全法に基づく教職員健診（以下、労安法等健診）、任意の人間ドック等の健診（以下、任意健診）など種々の健診結果を報告する場合にも本仕様を準用することができる。一般に健診機関が労働安全衛生法や学校保健安全法に基づく健診を行う場合には、その健診において特定健診項目をすべて含むように実施されることが想定される。こうした状況において、健診機関からの電子的なファイル作成による報告には、次の2つの報告形態が想定される。

① 健診実施機関は、保険者に提出する特定健診情報ファイルを本仕様に基づいて作成・提出する（特定健診分）ほか、それとは別に、健診委託元（事業者等）にすべての健診項目の結果を含めた健診情報ファイル（たとえば労安分）を本仕様を準拠して別々のファイルとして作成し提出する。

② 健診実施機関は、健診委託元（事業者等）にすべての健診項目の結果を含めた健診情報ファイルをひとつだけ本仕様を準拠して作成し提出する。提出を受けた健診委託元（事業者等）は、この健診情報ファイルを加工処理し、保険者に提出する特定健診情報ファイル（特定健診分）を本仕様に基づいて作成・提出する。この場合において、加工処理を別の機関に委託することもあり得る。

これらの報告形態と、本仕様書における表2（No. 3.1）の「報告区分」およびCDA セクションの関係は表のとおりである。上記のいずれの場合においても、最終的に提出されるファイルは報告目的ごとに別々のファイルとして作成しなければならない。

報告目的	報告元→報告先	報告形態の例	報告区分(XML仕様 No.3.1)	CDA セクションの有無等 数字列はセクションコード			本仕様書
				01010 (特定健診)	01020～ 01090(特定健診以外の 法令等で定める健診)	01990(任意追加項目・ 任意の人間ドック)	
特定健診の報告	健診機関→保険者*1	特定健診で定める基本健診項目結果および詳細な項目のみ報告*2	10	○	—	—	○
特定健診の報告	健診機関→保険者*1	特定健診で定める健診項目結果 + 心電図検査・貧血検査・眼底検査・血清クレアチニン検査以外の追加健診項目結果の報告	10	○	—	○	○
特定健診以外の制度にもとづく健診結果の報告	健診機関→健診の委託元	法令等で定める健診結果単独の結果の報告（たとえば事業者健診のうち労安法分の報告）	40	△(原則としてなし)	○(これには特定健診で定められる項目の結果がある場合にはそれも含める)	—	○
特定健診以外	健診機関→健	法令等で定める健診結	40	△(原則	○(これには	○(法で定	○

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

の制度にもとづく健診結果の報告	診の委託元	果の報告 + 追加健診項目結果の報告(たとえば事業者健診のうち労安法分の報告に加えて追加項目がある場合)		としてなし)	特定健診で定められる項目の結果がある場合にはそれも含める)	める項目以外の追加項目)	
人間ドック等の任意の健診サービスの結果報告	健診機関→任意健診の委託元	特定健診で定める項目を包含する、法令等で定めない任意健診(保険者が任意に設定する人間ドックの結果の報告)	40	△(原則としてなし)	—	○(これには特定健診で定められる項目の結果がある場合にはそれも含める)	○

- *1: 代行機関経由で保険者へ提出する場合を含む。ただし代行機関がファイルの内容を一切加工しない(一部の健診項目だけに絞りに絞って提出するなどする処理をしない)ことを想定している。
- *2: 特定健診で定めない健診結果を保険者へ報告する場合には、受診者が同意していることが前提。
- : 当該セクションは必須。
- △: 当該セクションはないことが原則であるが、特定健診で定めるすべての健診項目結果が存在する場合には、その結果を 01010(特定健診)セクションに格納してもよい。特定健診との同時実施の場合がこれにあたる。ただしこの場合にも、本来のセクション(01020~01090 および 01990)には同じ結果を重複して格納することとする。
- : 当該セクションは不要であり、ファイル作成側では当該セクションは生成しないものとする。

補足説明:

1. 広域連合の保健事業における健診データの報告方法

上記の表での説明にかかわらず、広域連合の保健事業における健診データを本仕様にもとづき電子ファイルで行う場合には、以下のとおりとする。

方針:

本保健事業における健診は、74歳までを対象とする特定健診制度に該当するわけではないが、次に掲げる点を除き、特定健診を実施したのと同じ報告方法で行うことができるので、特定健診と同じ実施区分"1"(報告区分"10")とするほか、決済情報ファイル中の「決済情報」においても特定健診が実施されたと同じ方法でファイル中に単価等を格納する。

異なる点:

- 1) 腹囲が必須項目でない。
- 2) 健診情報ファイル中のプログラムサービスコードを「020: 広域連合の保健事業」とすることを原則とするが、受信側との間で事前に取り決めがない限り「010: 特定健診」としてもよい。

注意:

以上のことから、XML 仕様としては CDA セクションコード(OID= 1.2.392.200119.6.1010)として「01020: 広域連合保健事業セクション」が定義されてはいるが、ここに結果を格納せず、「01010: 特定健診検査・問診結果セクション」に結果を格納するものとする。したがって、「01020: 広域連合保健事業セクション」は健診機関から保険者(市町村)への報告には使用されないことになる。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

2. 事業者健診における健診データの報告方法

- 例1) 健診機関が事業者健診を行い、事業者に結果を報告する場合は、この報告自体の目的は特定健診報告ではないので、報告区分は 41、セクションは労安セクション(コード 01030)に結果を格納する。労安法に定められていない追加健診項目の結果がある場合には、任意追加項目セクションに格納する。
- 例2) 健診機関が事業者健診と特定健診の両方を行い、事業者に両方を一緒に報告する場合には、2通りの方法があり、両者の取り決めによる。

方法1) この報告自体の目的は特定健診報告に加えて事業者健診報告も兼ねているため、報告区分は 41、セクションは特定健診セクションと労安セクションの両方を生成する。特定健診セクションには特定健診報告に必須となるすべての検査結果と問診結果等の情報を格納する必要があり、同時に労安セクションには労安報告として必要な項目をすべて格納する。この場合、特定健診セクションに格納した検査項目のうち事業者健診報告にも必要な検査項目は労安セクションにも重複して格納することが必要である。さらに、もし労安法にもとづく項目以外に追加の項目の結果がある場合には、任意追加項目セクションに格納する。

この方法による報告では、ファイルを受信した事業者が、当該ファイルから特定健診セクションをとりだして新しいファイルを生成し報告区分 10 とした特定健診報告ファイルを作成し、保険者に報告することが想定される。

方法2) 報告時に、健診機関もしくは事業者が、特定健診報告ファイルと事業者健診報告ファイルを別のファイルとして作成し、別のアーカイブファイルを生成する。このような方法を取る場合には、特定健診報告ファイルは事業者経由もしくは直接、保険者に送付されることとなる。

特定健診報告ファイルの報告区分は 10、セクションは特定健診セクションだけ、または特定健診セクションと任意追加項目セクションとなる。任意追加項目セクションには特定健診項目として指定されていない項目の結果を格納することができる。ただし特定健診に制度上含まれない検査項目の結果を、特定健診報告により保険者に報告することは、本人の事前の同意が必要であるとみなされている。

一方、別途生成する労安報告ファイルでは、報告区分は 41、セクションは労安セクションだけ、もしくは労安セクションと任意追加項目セクションにより構成される。労安セクションには労安法で取り決めた項目の結果が格納され、それに加えて事業者または健診機関が追加した項目の結果は任意追加項目セクションに格納される。

※ 同一の検査項目の結果が同じファイルの異なるセクションに重複して現れる場合の受信側の処理のルールについて

報告区分コード(特定健診報告の場合には10)に従い、その報告区分に対応するセクションに格納されているデータを優先的に処理し、それとは異なるセクションに出現する同一健診項目のデータは無視すること。仮に異なる結果が格納されていてもこのルールにより結果はひとつおりに定められる。

次に、報告区分コードに対応するセクションに格納されていないが任意追加項目セクションに格納されている健診項目データは、報告された結果として処理すること。

そして、報告区分コードに対応するセクションと任意追加項目セクションの2つのセクション以外の

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

セクションの存在は、(特定健診セクションの存在を判断して別の特定健診報告ファイルを生成するなどの受信側が新たな処理を行う場合をのぞき、)健診(検診)結果としての処理上は無視すること。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

3.3.2 特定健診検査・問診セッション

3.3.2.1 セクション部仕様

検査や問診結果の情報は、単一のセクションで表現され、人が解釈するための説明ブロックと、各検査項目に対応する機械可読表現である複数の **entry** 要素を含む。セクションコードには前節の表に従い、特定健診報告の場合には健診データ CDA セクションコードのうち「01010」を指定する。

検査・問診結果セクションの XML 仕様を表 14 に示す。その他のセクションの場合にはこれに準じセクションコードおよびセクションタイトルを対応する値に変更して使用すること。

表 14 検査・問診結果セクション XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.3	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		1..1	M
11.4	code	CDA セクションコード。	1..1	M
11.4.1	@code	CDA セクションコード「01010」を設定。	1..1	M
11.4.2	@codeSystem	CDA セクションコードのコード体系を示す OID。「1.2.392.200119.6.1010」を設定。	1..1	M
11.4.3	@displayName	CDA セクションコードの表示名。「検査・問診結果セクション」を設定。	0..1	O
11.5	title	CDA セクションタイトル。	0..1	O
11.5.1	text()	CDA セクションタイトルを示す文字列。「検査・問診結果セクション」を設定。	1..1	M
11.6	text	CDA セクションのテキスト記述。	1..1	M
11.6.1	text()	CDA セクションのテキスト記述。詳細は 3.3.2.2 節。	1..1	M
11.7	entry	健診項目の機械可読表現。詳細は 3.3.2.3 節。	1..*	M

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

検査・問診結果セクションの XML サンプルを以下に示す。

```
<section>
  <code code="01010" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
    displayName="検査・問診結果セクション"/>
  <title>検査・問診結果セクション</title>
  <text>
    <!-- 検査・問診結果セクション テキスト記述 (3.3.2.2 節) -->
  </text>
  <!-- 検査・問診結果セクション 機械可読記述 (1つ以上の entry) -->
  <entry>
    ...
  </entry>
  <entry>
    ...
  </entry>
  ...
</section>
```

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

3.3.2.2 テキスト部（説明ブロック）仕様

検査・問診結果セクションの内容を人が解釈するための情報を記述する説明ブロックには、**list** 要素および **item** 要素を使用して、検査項目とその結果値を表現する。各健診項目に対して、1 つの **item** 要素が対応する。**item** 要素のテキスト内容の書式は、

「**項目名 検査結果テキスト**」（空白は半角スペース）

とし、検査結果テキストは、検査結果セクションパターン①およびパターン②によって、以下の値を指定する（パターンについての説明は、3.3.2.3 エントリ部仕様を参照のこと）。

パターン①「**検査結果 表示用単位**」（空白は半角スペース）

パターン②「**検査結果コード表示名**」

また、未実施の項目の場合、検査結果テキストは「**未実施**」を設定し、測定不可能の場合は「**測定不可能**」を設定する。

さらに、測定値が入力許容範囲外（入力最小値以下または入力最大値以上）の場合には、パターン①の表記に加え「**H**」または「**L**」を出現させる。

検査基準値に基づく判定結果は記述しない。

ファイルサイズをコンパクトにするため、説明ブロックに記述する項目は表 15 に掲げた項目だけに限定するものとする。また、これらについても任意である。まったく記述しなくてもよいがその場合でも **text** 要素は必須である。

表 15 検査結果項目説明ブロック仕様

項目名	単位(表示用)
身長	cm
体重	kg
BMI	kg/m2
腹囲	cm
メタボリックシンドローム判定	
保健指導レベル	

表 16 検査結果セクション説明ブロック XML 仕様

XML-No	XPath	説明	多重度	選択性
11.6	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/text		1..1	M
	list	説明ブロック 検査項目リスト	0..1	O
	list/item	検査項目	1..*	M
	text()	検査項目内容を表すテキスト。書式は「 項目名 検査結果テキスト 」（空白は半角スペース）で検査結果テキストは、以下のいずれかとする。 「 未実施 」 ……未実施の場合 「 測定不可能 」 ……測定不可能の場合 「 測定値 単位(表示用) H 」 ……検査項目パターン①で入力最大値以上の場合 「 測定値 単位(表示用) L 」 ……検査項目パターン①で入力最小値以下の場合 「 測定値 単位(表示用) 」 ……上記以外の検査項目パターン① 「 検査結果コード表示名 」 ……上記以外の検査項目パターン②	1..1	M

注：記述すべき検査項目がひとつも存在しない場合には、**list** 要素自体が出現してはならない。すなわち `<list><item /></list>` のような記述や、`<list/>` という記述はここでは認められない。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

[text 要素を記述する例](#)

```

<section>
  <code code="01010" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
  displayName="検査・問診結果セクション" />
  <title>検査・問診結果セクション</title>
  <text>
    <list>
      <item>身長 176.6 cm</item>
      <item>体重 77.5 kg</item>
      <item>BMI 25.5 kg/m2</item>

      <item>BMI 120 kg/m2 H</item>
      ※上記の行は、本記載例中の BMI 算出によるものではなく、入力許容範囲を外れた場合
      の記載例として示すものである。重複出現を許している訳ではない。

      <item>腹囲 85cm</item>
      <item>メタボリックシンドローム判定 予備群該当</item>
      <item>保健指導レベル 積極的支援</item>
    </list>
  </text>
  ...
</section>

```

[text 要素になにも記述しない例](#)

```

<section>
  <code code="01010" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="検査・問診結果セクション" />
  <title>検査・問診結果セクション</title>
  <text />
  ...
</section>

```

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

3.3.2.3 エントリ部仕様

検査・問診結果セクションに含まれる項目は、その結果値のとりうる値により、

① 検査結果が定量値で表現される項目

② 検査結果がコード値（定性結果、所見解釈コード）で表現される項目

の2つのパターンに分類することができる。検査項目の機械可読な表現を記述する **entry** 要素の XML 仕様は、その項目がどちらのパターンに該当するかによって決定される。以下に、それぞれのパターンの XML 仕様を示す。

3.3.2.3.1 検査・問診結果セクションエントリ部パターン①

健診結果が単一の物理量（実数値と単位の組）で表現される項目であり、本仕様とは別に公開される「XML 用特定健診項目情報」の XML データ型が「PQ」である項目が該当する。

このパターンに含まれる検査項目では、各項目で、表 17 に示す(1)から(13)の値を設定する。項目によってそれぞれ設定する値が異なるものや、設定する必要のないものが存在する。それらの仕様を表 17 に示す。なお表 17 および表 18 は、パターン①およびパターン②の両方に使用できるように記述してある。

3.3.2.3.2 一連検査グループの考え方

「貧血検査の複数項目の検査結果とその検査を実施した理由情報」、あるいは「胸部 X 線検査所見とそのフィルム番号」などのように、ある検査結果は、それに付帯する情報（付帯情報）とともに現れることがある。このような付帯情報を単に検査結果と並列に並べてしまうと、付帯情報とその検査項目の付帯情報であったかを識別することが困難になる場合がある。そこで、このように1個以上の検査結果とその付帯情報をひとつのグループとしてまとめて記述する仕組みを導入することが必要である。このような目的で導入されるグループを本仕様書では「一連検査グループ」と呼んでいる。

一連検査グループとしてグルーピングされない複数の検査結果は、「entry 要素の中に observation 要素が1個ネ스팅された構造」の繰り返しとして記述される。つまり entry/observation が各検査項目を記述している。

これに対して、一連検査グループとしてグルーピングされる複数の検査結果およびその付帯情報は、entry 要素の直下に一連検査グループをくくるための observation 要素がひとつだけ出現し、その内部に「entryRelationship 要素の中に observation 要素が1個ネ스팅された構造」の繰り返しとして各検査結果および付帯情報が記述される。つまり、entry/observation はグループをくくる単位となり、その子要素として entryRelationship/observation が各検査項目を記述している。

各 entryRelationship 同士の関係は、entryRelationship/@typeCode により記述され、詳細は本仕様のボキャブラリ仕様「行為間関係種別コード」に記載されており以下のようなものがある。

COMP：包含関係（組み合わせ関係）

RSON：他の項目への理由関係

本仕様では、現在までに本仕様に関連する厚労省の資料で公表されている項目のうち、次表に示すものをそれぞれ一連検査グループとしてまとめることとしている。なお随時血糖については食後採血時間とともに一連検査グループにすべきところであるが、厚生労働省の特定健診項目資料では食後採血時間を独立した項目情報として取り扱うこととしたので、それにあわせて食後採血時間に関する情報を随時血糖値とグループ化することを取りやめた（2007.10.29）。

中性脂肪(トリグリセリド)と食後採血時間についてもグループ化しないとした（2023.03.31）。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

グループ	行為間関係種別 コード	検査項目または情報項目
特定健診 において 医師の判 断があっ て実施さ れる貧血 検査	COMP	ヘマトクリット値
	COMP	血色素量（ヘモグロビン）
	COMP	赤血球数
	COMP	MCV、MCH、MCHC（特定健診報告では不要）
	COMP	白血球（特定健診報告では不要）
	COMP	血小板（特定健診報告では不要）
	RSON	貧血検査実施理由※1
心電図検 査	COMP	心電図所見の有無
	COMP	心電図所見
	RSON	心電図検査（対象者）※2
	RSON	心電図実施理由※1
胸部 X 線 直接・が ん健診	COMP	胸部エックス線検査（がん：直接）
	COMP	胸部エックス線検査撮影年月日（直接）
	COMP	胸部エックス線検査フィルム番号（直接）
胸部 X 線 直接・一 般健診	COMP	胸部エックス線検査（一般：直接）所見の有無
	COMP	胸部エックス線検査（一般：直接）所見
	COMP	胸部エックス線検査撮影年月日（直接）
	COMP	胸部エックス線検査フィルム番号（直接）
胸部 X 線 間接・一 般健診	COMP	胸部エックス線検査（一般：間接）所見の有無
	COMP	胸部エックス線検査（一般：間接）所見
	COMP	胸部エックス線検査撮影年月日（間接）
	COMP	胸部エックス線検査フィルム番号（間接）
胸部 X 線 直接・が ん健診	COMP	胸部エックス線検査（がん：間接）
	COMP	胸部エックス線検査撮影年月日（間接）
	COMP	胸部エックス線検査フィルム番号（間接）
胸部 CT 直接・が ん健診	COMP	胸部 CT 検査（がん）
	COMP	胸部 CT 検査撮影年月日
	COMP	胸部 CT 検査フィルム番号
胸部 CT 直接・一 般健診	COMP	胸部 CT 検査（所見の有無）
	COMP	胸部 CT 検査（所見）
	COMP	胸部 CT 検査撮影年月日
	COMP	胸部 CT 検査フィルム番号
上部消化 管検査	COMP	上部消化管エックス線（所見の有無）
	COMP	上部消化管エックス線（所見）
	COMP	上部消化管エックス線撮影年月日
	COMP	上部消化管エックス線フィルム番号
眼底検査	COMP	眼底検査（いずれかの分類あるいはその他の所見）の1項目
	RSON	眼底検査（対象者）※2
	RSON	眼底検査（実施理由）※1
生活機能 評価	COMP	生活機能評価1
	COMP	生活機能評価2
	COMP	生活機能評価3
血清クレ	COMP	血清クレアチニン
	COMP	eGFR

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

アチニン 検査	RSON	血清クレアチニン (対象者) ※2
	RSON	血清クレアチニン (実施理由) ※1

※1：特定健診以外の健診において医師の判断によらず契約で実施が予定されていた場合や、特定健診の詳細な項目として実施されたのではない場合にはこの項目は存在しなくてもよいが、その場合にもグループ化はするものとする。

※2：詳細健診として実施している場合、同じグループの検査結果および実施理由と併せて必ず出現する。（詳細な項目として実施していない場合は出現しなくてもよいが、出現させる場合、「0（詳細な健診の項目以外で実施）」を設定する）

表 17 検査結果項目パターン①②で指定するデータ

No	項目名	値	備考	XML 仕様 No
(1)	検査項目コード	検査項目に対応するコードを指定。 本仕様とは別に公開される「XML 用特定健診項目情報」の「項目コード」に収載されており、JLAC10-17 桁コードにもとづいて厚生労働省および関連団体で特定健診項目コードとして取り決めたコードを使用する。		11.9.1
(2)	検査項目コード体系OID	1.2.392.200119.6.1005		11.9.3
(3)	検査項目コード表示名	項目に対応するコード値の表示名（「XML 用特定健診項目情報」の「項目名」を参照）を設定。		11.9.4
(4)	検査結果データ型	検査結果のコードのデータ型。「XML 用特定健診項目情報」の「XML データ型」を設定。 パターン①の場合、「PQ」 パターン②の場合、 1) 順序付コード値を示す「CO」。 2) 順序なしコード型を示す「CD」。 3) 文字列型を示す「ST」。 コードをあらわすデータ型に「CO」と「CD」があるので注意すること。	未実施の場合は出現しない。	11.11.1
(5)	結果	パターン①の場合、測定値の実数部（物理量）。入力許容範囲外（入力最小値以下または入力最大値以上）の場合については 3.3.2.3.3 節参照。「XML 用特定健診項目情報」の「数値型の場合の形式」に従うこと。 パターン②の場合、結果を示すコードまたは文字列	未実施、測定不可能の場合は出現しない。	パターン①の場合、11.11.2 パターン②の場合、11.11.5 および 11.11.9
(6)	単位コード	パターン①の場合、「XML 用特定健診項目情報」の「XML 用単位」を設定。コード体系 UCUM で定められた表記に従っている。 <u>表示用の単位コードと異なる場合があることに注意。</u> 検査値に単位がない場合には出現しない。	未実施、測定不可能の場合は出現しない。	11.11.3

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

		パターン②の場合には出現しない。		
(7)	結果コード体系 OID	パターン①の場合には出現しない。 パターン②の場合、結果を示すコードテーブルの OID。「XML 用特定健診項目情報」の「結果コード OID」を設定。	未実施、測定不可能の場合には出現しない。	11.11.6
(8)	結果コード表示名	パターン①の場合には出現しない。 パターン②の場合、結果を示すコードに対応するコード表示名。	未実施、測定不可能の場合には出現しない。	11.11.8
(9)	検査法コード	検査法の指定が必要な項目のみ出現し、「XML 用特定健診項目情報」の「XML 検査方法コード」を設定。	検査法の指定がない項目、及び、未実施の場合には出現しない。	11.13.1
(10)	検査法コード体系 OID	検査法の指定が必要な項目のみ出現し、「XML 用特定健診項目情報」の検査方法コードを表す OID「1.2.392.200119.6.1007」を設定。	検査法の指定がない項目、及び、未実施の場合には出現しない。	11.13.2
(11)	検査基準下限値	検査基準値が設定される項目のみ出現し、項目に設定された検査基準下限値を設定。「XML 用特定健診項目情報」の「数値型の場合の形式」に従うこと。	検査基準値が設定される項目のみ出現。未実施の場合には出現しない。	11.20.1
(12)	検査基準下限値単位コード	検査基準値が設定される項目のみ出現し、(6)と同一の単位コードを設定。検査値に単位がない場合には出現しない。	検査基準値が設定される項目のみ出現。未実施の場合には出現しない。	11.20.2
(13)	検査基準上限値	検査基準値が設定される項目のみ出現し、項目に設定された検査基準上限値を設定。「XML 用特定健診項目情報」の「数値型の場合の形式」に従うこと。	検査基準値が設定される項目のみ出現。未実施の場合には出現しない。	11.21.1
(14)	検査基準上限値単位コード	検査基準値が設定される項目のみ出現し、(6)と同一の単位コードを設定。検査値に単位がない場合には出現しない。	検査基準値が設定される項目のみ出現。未実施の場合には出現しない。	11.21.2
(15)	結果解釈コード	① 測定値が検査基準範囲外の場合：測定値が検査基準上限値を超える場合は「H」、検査基準下限値未満の場合は「L」を設定。 ② 検査基準値が設定されている項目で、測定値が検査基準範囲内の場合には「N」を設定。値が「N」の場合には省略できる。 ③ 検査基準値が設定されない項目：要素自体が出現しない。	検査基準値が設定される項目のみ出現。未実施の場合には出現しない。値が「N」の場合には省略できる。	11.12.1
(16)	食後経過時間	検査項目が「空腹時血糖」「随時血糖」および「空腹時中性脂肪(トリグリセリド)」「随時中性脂肪(トリグリセリド)」の場合、分単位で設定。	未実施の場合には出現しない。	11.10.2
(17)	結果を記録した者の	氏名を文字列で設定。	結果を記録した医師名など	11.15.2

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

	氏名		を記述する場合に使用する。	
--	----	--	---------------	--

検査結果セクションパターン①②の XML 仕様を表 18 に示す。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

表 18 検査結果項目パターン①② XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.7	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry (一連検査グループレベルまたは、一連検査グループに属さない項目のエントリの場合)、または /ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry/observation/entryRelationship (一連検査グループを構成する各項目のエントリの場合)		1..*	M
11.8	observation	検査結果情報	1..1	M
11.8.1	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass から、観察行為を示す「OBS」を設定。	1..1	M
11.8.2	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン AntMood から、結果情報を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.8.3	@negationInd	検査が未実施の場合「true」を設定。それ以外の場合は「false」を設定。スキーマにより false をデフォルトに設定してあるため、false の場合には省略可能。	0..1	O
11.9	observation/code	健診項目コード。項目によって使用するコード体系が異なる。	1..1	M
11.9.1	@code	表 17「(1) 検査項目コード」。一連検査グループレベルをあらわす場合でグループコードが存在しない場合には出現しない。observation 要素が entryRelationship の子要素である場合には、必ず検査項目コードが格納される。	0..1	O
11.9.2	@nullFlavor	一連検査グループをあらわす場合で、グループコードが存在しない場合には nullFlavor="NA" とする(貧血検査、心電図検査、眼底検査、血清クレアチニン検査など検査とその理由などがグループ化される場合に使用される。後述のサンプルも参照のこと)。observation 要素が entryRelationship の子要素である場合には、出現しない。	0..1	O
11.9.3	@codeSystem	表 17「(2) 検査項目コード OID」。デフォルト値 = 1.2.392.200119.6.1005 の場合には省略する。 @nullFlavor (11.9.2) が記述される場合には出現しない。	0..1	O
11.9.4	@displayName	表 17「(3) 検査項目コード表示名」。通常省略する。 @nullFlavor (11.9.2) が記述される場合には出現しない。	0..1	O
11.10	observation/effectiveTime	時間情報を記述。 observation/code/@code が、血糖値および中性脂肪値(トリグリセリド)とともにグループ化される食後時間値をコードで記述するために使用されている場合において、コード記述に加えて経過時間を	0..1	O

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

		分でも記述したい場合にだけ出現する。その必要がない場合は出現しない。		
11.10.1	Width	時間情報のための要素。	1..1	M
11.10.2	width/@value	食後経過時間の分単位の値。	1..1	M
11.10.3	width/@unit	単位コード UCUM より「min」を指定。	1..1	M
11.11	observation/value	検査結果値。未実施の場合にはこの要素は出現しない。測定値が入力許容範囲外(入力最小値以下または入力最大値以上)の場合には 3.3.2.3.3 節参照。code/@code (11.9.1)が一連検査グループコードである場合や @nullFlavor (11.9.2)が記述される場合には出現しない。	0..2	O
11.11.1	@xsi:type	表 17「(4) 検査結果データ型。」	1..1	M
11.11.2	@value	パターン①の場合、表 17「(5) 結果」。測定不可能の場合は出現しない。パターン②の場合、出現しない。	0..1	O
11.11.3	@unit	パターン①の場合、表 17「(6) 単位コード」。測定不可能の場合は出現しない。また、検査値に単位がない場合には出現しない。パターン②の場合、出現しない。	0..1	O
11.11.4	@nullFlavor	測定不可能の場合のみ、HL7 ポキヤブラリドメイン NullFlavor から、「NI」を指定。その他の場合はこの属性は出現してはならない。	0..1	O
11.11.5	@code	パターン②の場合、表 17「(5) 結果」。測定不可能の場合および @xsi:type が「ST」の場合は出現しない。パターン①の場合には出現しない。	0..1	O
11.11.6	@codeSystem	パターン②の場合、表 17「(7) 結果コード体系 OID」。測定不可能の場合および @xsi:type が「ST」の場合は出現しない。パターン①の場合には出現しない。	0..1	O
11.11.7	@codeSystemName	パターン①で結果があらかじめ決められた入力許容範囲外(入力最小値以下または入力最大値以上)の場合に、結果をコード化して設定した場合にのみ使用し、「 ObservationInterpretation 」という文字列を設定。(セクション 3.3.2.3.3 入力許容範囲外(入力最小値以下または入力最大値以上)の場合の測定値の記述、および表 19を参照のこと。	0..1	O
11.11.8	@displayName	パターン②の場合、表 17「(8) 検査項目コード表示名」。測定不可能の場合および @xsi:type が「ST」の場合は出現しない。パターン①の場合には出現しない。	0..1	O

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

11.11.9	text()	パターン②の場合で、@xsi:type が「ST」の場合の結果値。 未実施の場合および@xsi:type が「ST」以外の場合には出現しない。 パターン①の場合には出現しない。	0..1	O
11.12	observation/interpretationCode	結果解釈コード。測定不可能、未実施の場合は出現しない。測定値が検査基準範囲内の場合には省略できる。code/@code (11.9.1)が一連検査グループコードである場合や @nullFlavor (11.9.2)が記述される場合には出現しない。	0..1	O
11.12.1	@code	表 17「(15) 結果解釈コード」。	1..1	M
11.13	observation/methodCode	検査方法コード。検査方法が指定されている項目について設定。未実施の場合は出現しない。code/@code (11.9.1)が一連検査グループコードである場合や @nullFlavor (11.9.2)が記述される場合には出現しない。	0..1	O
11.13.1	@code	表 17「(9) 検査法コード」。	1..1	M
11.13.2	@codeSystem	表 17「(10) 検査法コード体系 OID」。「1.2.392.200119.6.1007」を設定。XML スキーマによりデフォルト値として 1.2.392.200119.6.1007 が設定されているため、本属性は省略可能である。	0..1	O
11.14	observation/author	結果の記録に関する情報 医師の所見など、一部の情報項目についてのみ、所見記載者の氏名を格納するために出現する。	0..1	O
11.14.1	time/@nullFlavor	「NI」を設定。	1..1	M
11.15	observation/author/assignedAuthor	結果の記録者の情報	0..1	O
11.15.1	id/@nullFlavor	「NI」を設定。	1..1	M
11.15.2	assignedPerson/name/text()	表 17「(17)結果の記録者の氏名」を設定。形式は問わない。	1..1	M
11.16	observation/entryRelationship	observation/code が一連検査グループに属する項目情報を格納する場合に必ず出現し、一連検査グループを構成する各項目ごとに1組の entryRelationship/observation(11.8)構造として出現する。	0..*	O
11.16.1	@typeCode	血糖および中性脂肪(トリグリセリド)検査の食後経過時間を記述する場合には、HL7 ポキャブラリドメイン ActRelationship より参照情報であることを意味する「REFR」を設定。 code/@code が一連検査グループコードである場合には、一連検査グループを構成する個々の検査結果を表現するた	1..1	M

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

		めに、「COMP」を指定。同じく、一連検査グループを構成する検査理由を表現するために、「RSON」を設定。		
11.16.2	Observation	一連検査グループを構成する各項目が entryRelationship/observation(11.8)構造として出現する。この observation の仕様は本表の 11.8 を再帰的に参照すること。	1..1	M
11.17	observation/referenceRange	検査基準値情報。 observation/value/@xsi:type が PQ (定量値) の場合であって検査基準値情報が存在する場合には出現しなければならない。それ以外では出現しない。	0..1	O
11.18	observation/referenceRange/observationRange	検査基準値。	1..1	M
11.18.1	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass から、観察行為を示す「OBS」を設定。	1..1	M
11.18.2	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン AntMood から、結果情報を示す「EVN. CRT」を設定。	1..1	M
11.19	observation/referenceRange/observationRange/value	検査基準値の範囲。検査基準上限値以下かつ検査基準下限値以上。	1..1	M
11.19.1	@xsi:type	物理量の区間を表す「IVL_PQ」固定。	1..1	M
11.20	observation/referenceRange/observationRange/value/low	検査基準下限値。	1..1	M
11.20.1	@value	表 17「(11) 検査基準下限値」。	1..1	M
11.20.2	@unit	表 17「(12) 検査基準下限値単位」。 11.11.3 で設定したコードと同一。検査値に単位がない場合には出現しない。	0..1	O
11.21	observation/referenceRange/observationRange/value/high	検査基準上限値。	1..1	M
11.21.1	@value	表 17「(13) 検査基準上限値」。	1..1	M
11.21.2	@unit	表 17「(14) 検査基準上限値単位」。 11.11.3 で設定したコードと同一。検査値に単位がない場合には出現しない。	0..1	O

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

【サンプル①-1】 検査結果セクションパターン①の entry 要素のサンプルを示す。

検査項目：空腹時中性脂肪(トリグリセリド) 項目コード="3F015000002327101" 測定値=100 mg/dl

検査基準値=下限値 50、上限値 150

測定法=可視吸光光度法(酵素比色法・グリセロール消去) 検査法コード 3F01510000

結果解釈コード="N"

(サンプル中の検査基準値やデータ、コードはあくまでXML形式をサンプルとして示すためであり、ここに記述されている値そのものをそのまま使用してはいけません)

```

<entry>
<observation classCode="OBS" moodCode="EVN" negationInd="false">
  <code code="3F015000002327101" />
  <value xsi:type="PQ" value="100" unit="mg/dL" />
  <interpretationCode code="N" />
  <methodCode code="3F01510000" codeSystem="1.2.392.200119.6.1007" />
  <referenceRange>
    <observationRange classCode="OBS" moodCode="EVN.CRT">
      <value xsi:type="IVL_PQ">
        <low value="50" unit="mg/dL" />
        <high value="150" unit="mg/dL" />
      </value>
    </observationRange>
  </referenceRange>
</observation>
</entry>

```


特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

【サンプル①-2】「易疲労感の訴えあり」という理由で医師の判断により貧血検査セットとして、血色素量と赤血球数が実施された場合のサンプルを示す。一連検査グループの記述例である。

検査項目：血色素量 項目コード="2A030000001930101" 測定値=15.0 mg/dl
検査基準値：下限値 12.5 上限値 15.9 結果解釈コード="N"

検査項目：赤血球数 項目コード="2A020000001930101" 測定値=500 万/mm³
検査基準値：下限値 427 上限値 570 結果解釈コード="N"

検査理由：項目コード="2A020161001930149" 易疲労感の訴えあり ST型（文字列型）
（サンプル中の検査基準値やデータ、コードはあくまでXML形式をサンプルとして示すためであり、ここに記述されている値そのものをそのまま使用してはいけない）

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

```

<entry>
  <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
    <code nullFlavor="NA" />
    <!-- 血色素量 -->
    <entryRelationship typeCode="COMP">
      <observation classCode="OBS" moodCode="EVN" negationInd="false">
        <code code="2A030000001930101" />
        <value xsi:type="PQ" value="15.0" unit="g/dL" />
        <interpretationCode code="N" />
        <referenceRange>
          <observationRange classCode="OBS" moodCode="EVN.CRT">
            <value xsi:type="IVL_PQ">
              <low value="12.5" unit="g/dL" />
              <high value="15.9" unit="g/dL" />
            </value>
          </observationRange>
        </referenceRange>
      </observation>
    </entryRelationship>

    <!-- 赤血球数 -->
    <entryRelationship typeCode="COMP">
      <observation classCode="OBS" moodCode="EVN" negationInd="false">
        <code code="2A020000001930101" />
        <value xsi:type="PQ" value="500" unit="10*4/mm3" />
        <interpretationCode code="N" />
        <referenceRange>
          <observationRange classCode="OBS" moodCode="EVN.CRT">
            <value xsi:type="IVL_PQ">
              <low value="427" unit="10*4/mm3" />
              <high value="570" unit="10*4/mm3" />
            </value>
          </observationRange>
        </referenceRange>
      </observation>
    </entryRelationship>

    <!-- 貧血検査実施理由 -->
    <entryRelationship typeCode="RSON">
      <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
        <code code="2A020161001930149" />
        <value xsi:type="ST">易疲労感の訴えあり</value>
      </observation>
    </entryRelationship>
  </observation>
</entry>

```

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

3.3.2.3.3 測定値が入力許容範囲外の場合の測定値の記述

測定値が項目毎に指定された入力許容範囲外（入力最小値以下または入力最大値以上）の場合、測定値は実測値に加え、「H」（以上）または「L」（以下）を示すコード値も併せて出現させる。具体的には value 要素をコード型、数値型を各 1 回出現させれば良い。両者の順番については、どちらが先に出現しても問題ない。

以上のルールを模式的に示すと、次のようにまとめることができる。

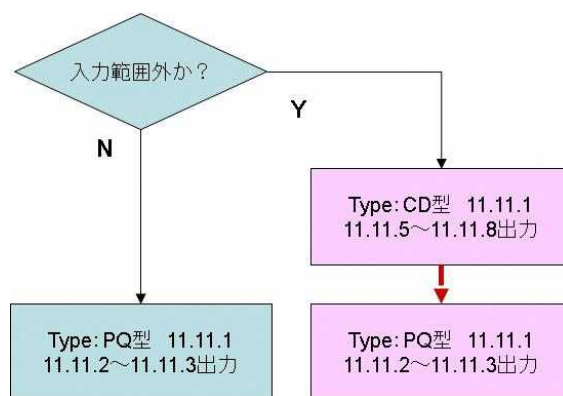


表 19 検査結果セクションエントリ部パターン① XML 仕様（入力許容範囲外の場合の測定値の指定）

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.8 (再掲)	/ClinicalDocument/ component/structuredBody/component/section/entry/observation		1..1	M
11.11 (再掲)	value	測定値が入力許容範囲外（入力最小値以下または入力最大値以上）の場合の測定結果の記述。未実施の場合は出現しない。	0..2	O
11.11.1 (再掲)	@xsi:type	コード型を表す「CD」を設定。	1..1	M
11.11.5 (再掲)	@code	HL7 ボキャブラリドメイン Observation Interpretation より、入力最大値以上の場合は「H」、入力最小値以下の場合は「L」を設定。	0..1	O
11.11.6 (再掲)	@codeSystem	HL7 ボキャブラリドメイン ObservationInterpretation を示す「2.16.840.1.113883.5.83」を設定。	0..1	O
11.11.7 (再掲)	@codeSystemName	「ObservationInterpretation」を設定。	0..1	O
11.11.8 (再掲)	@displayName	入力最大値以上の場合は「以上」、入力最小値以下の場合は「以下」という文字列を設定。	0..1	O
11.11 (再掲)	value	測定値が入力許容範囲外（入力最小値以下または入力最大値以上）の場合の測定結果の記述。未実施の場合は出現しない。	0..2	O
11.11.1 (再掲)	@xsi:type	数値型を表す「PQ」を設定。	1..1	M
11.11.2 (再掲)	@value	表 17「(5) 結果」。	0..1	O
11.11.3 (再掲)	@unit	表 17「(6) 単位コード」。	0..1	O

★補足情報：ここで記載されている入力最大値、入力最小値とは、厚労省標準的な健診・保健指導に関するプログラム（改定版）別紙 7-3 に記載されている「入力最大値」「入力最小値」のことである。また、入力許容範囲とは、「入力最小値<入力許容範囲<入力最大値」で表される値の範囲のことである。

測定値が最大バイト長（*1）の表現範囲を超えた場合は、表現範囲の最大値を記載する。

*1) 「XML 用特定健診項目情報」の「文字列換算（全角 2 バイト、半角 1 バイト）時の最大

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

バイト長」、「数値型の場合の形式」を参照のこと。
「数値型の場合の形式」が、「NNNNN」ならば、「99999」を記載する。

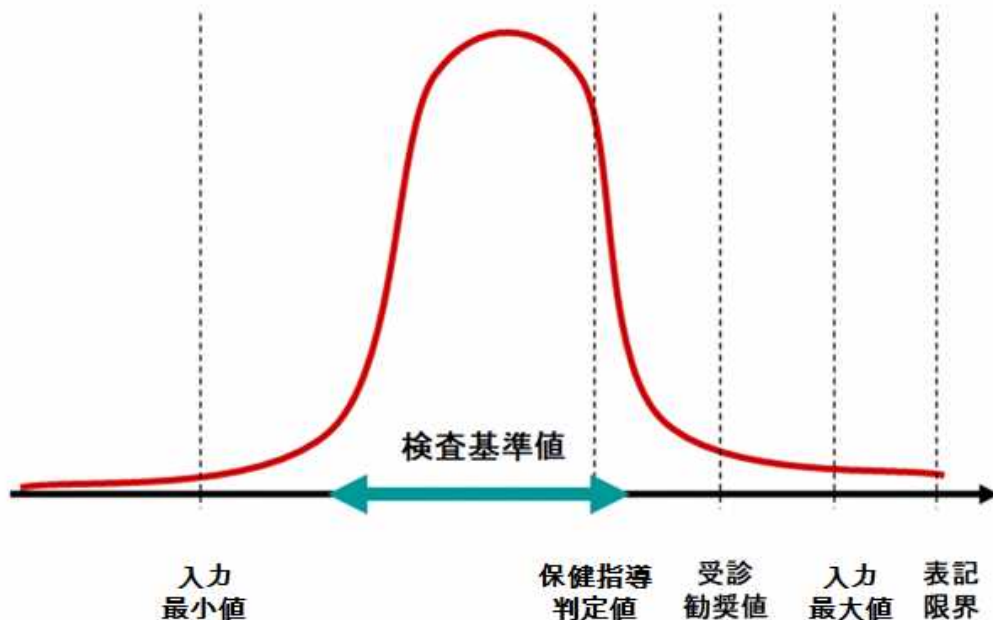
サンプルを下に示す。

```

<entry>
<observation classCode="OBS" moodCode="EVN" negationInd="false">
<code code="3F01500002327101" />
<value xsi:type="PQ" value="2000" unit="mg/dL" />
<value xsi:type="CD" code="H" codeSystem="2.16.840.1.113883.5.83"
displayName="以上" />
<interpretationCode code="H" />
<methodCode code="3F0150000" codeSystem="1.2.392.200119.6.1007" />
<referenceRange>
<observationRange classCode="OBS" moodCode="EVN.CRT">
<value xsi:type="IVL_PQ">
<low value="50" unit="mg/dL" />
<high value="150" unit="mg/dL" />
</value>
</observationRange>
</referenceRange>
</observation>
</entry>

```

入力許容範囲外（入力最小値以下または入力最大値以上）の場合に保健指導レベル判定等に利用可能であるかについてだが、入力最大値以上であってもメタボリックシンドローム判定・保健指導レベル判定値を超過しておりリスクカウント可能であることが確認できることから、メタボリックシンドローム判定・保健指導レベル判定等に利用しても問題ない。



特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

3.3.2.3.4 検査結果セクションエントリ部パターン②

検査結果が定性値もしくは半定量値で表現される項目であり、本仕様とは別に公開される「XML用特定健診項目情報」のXMLデータ型が「CD」、「CO」、「ST」である項目が該当する。

XML仕様は、表17および表18に記載されている。

検査結果セクションパターン②のentry要素のサンプルを以下に示す。

【サンプル②-1】

検査項目：眼底検査（キースワグナー分類） 表示名="眼底検査KW分類"

測定値：分類 I （コード値=2）

データ型：CO

眼底検査（キースワグナー分類）コード表のOID=1.2.392.200199.6.2110

サンプル中の検査基準値やデータ、コードはあくまでXML形式をサンプルとして示すためであり、ここに記述されている値そのものをそのまま使用してはいけない

```
<entry>
  <observation classCode="OBS" moodCode="EVN" negationInd="false">
    <code code="9E100166000000011" displayName="眼底検査KW分類"/>
    <value xsi:type="CO" code="2" codeSystem="1.2.392.200199.6.2110"
      displayName=" I "/>
  </observation>
</entry>
```

【サンプル②-2】

検査項目：他覚症状所見 表示名="他覚所見"

結果値："胸部くも状血管あり"

データ型：ST

サンプル中の検査基準値やデータ、コードはあくまでXML形式をサンプルとして示すためであり、ここに記述されている値そのものをそのまま使用してはいけない

```
<entry>
  <observation classCode="OBS" moodCode="EVN" negationInd="false">
    <code code="9N066160800000049" displayName="他覚所見"/>
    <value xsi:type="ST">胸部くも状血管あり</value>
  </observation>
</entry>
```

【サンプル②-3】

検査項目：医師の診断(判定)（運動指導必要）および判断した医師名（田中太郎）

サンプル中の検査基準値やデータ、コードはあくまでXML形式をサンプルとして示すためであり、ここに記述されている値そのものをそのまま使用してはいけない

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

```

<entry>
  <!-- 医師の診断(判定)-->
  <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
    <code code="9N511000000000049"/>
    <value xsi:type="ST">運動指導必要</value>
    <author>
      <time nullFlavor="NI"/>
      <assignedAuthor>
        <id nullFlavor="NI"/>
        <assignedPerson>
          <name>田中太郎</name>
        </assignedPerson>
      </assignedAuthor>
    </author>
  </observation>
</entry>

```

本仕様では、「医師の診断（判定）」を空文字列としたり value 要素を省略することはできないこととしているため、「医師の診断（判定）」として、特記事項がない場合は「特記事項なし」と記述するものとする。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

3.3.2.3.5 未実施および測定不可能項目の表現

検査結果セクションパターン①、及びパターン②の両方の場合において、ある検査項目が、未実施である場合は、**observation** 要素の **negationInd** 属性を「true」に指定することで表現する。このとき、**observation** 要素の子要素には、**code** 要素のみを含む。
未実施とは、検査予定であり検査しようとしたが検体を採取できない場合、あるいは検査予定であったが受診者の事情により検査を行うことが適切でないと検査時点で考えられた場合などである。最初から検査する予定がなかった場合には、**entry** 自体を出力するべきではない。

サンプル中の検査基準値やデータ、コードはあくまでXML形式をサンプルとして示すためであり、ここに記述されている値そのものをそのまま使用してはいけない

```
<entry>
  <observation classCode="OBS" moodCode="EVN" negationInd="true">
    <code code="3F015000002327101" displayName="空腹時中性脂肪(トリグリセリド)"/>
  </observation>
</entry>
```

ある検査項目が、測定不可能であった場合は、**value** 要素の **nullFlavor** 属性に、データが存在しないことを意味する「NI」値を指定する。このとき **value** 要素には、**nullFlavor** 属性を除いて、**xsi:type** 属性のみを指定する。検査基準値や検査手法コードは、通常の項目と同様に指定するが、結果解釈値は出現しない。ただし、検査基準値や検査手法コードは、任意要素であるから省略してもよい。以下に測定不可能項目の2つの例を示す。

測定不可能とは、健診機関としては検体を採取したが、検体のなんらかの理由（凝固、量が不足、適切な検体補助剤が入れられていないなど）、検査機器のトラブル、検体搬送時の事故等により検査ができなかった場合、あるいは検査装置の測定限界を超えた異常な値を呈したために検査ができなかった場合、生理中であり尿検査ができなかった場合などが該当する（下記注を参照）。

注：「測定不可能」と「未実施」の取り扱いの違いについて

厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」の1-2-1を参照。

サンプル中の検査基準値やデータ、コードはあくまでXML形式をサンプルとして示すためであり、ここに記述されている値そのものをそのまま使用してはいけない

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

検査基準値や検査手法コードを記述した例

```
<entry>
  <observation classCode="OBS" moodCode="EVN" negationInd="false">
    <code code="3F015000002327101" displayName="空腹時中性脂肪(トリグリセリド)" />
    <value xsi:type="PQ" nullFlavor="NI" />
    <methodCode code="3F01510000" codeSystem="1.2.392.200119.6.1007" />
    <referenceRange>
      <observationRange classCode="OBS" moodCode="EVN.CRT">
        <value xsi:type="IVL_PQ">
          <low value="30" unit="mg/dL"/>
          <high value="188" unit="mg/dL" />
        </value>
      </observationRange>
    </referenceRange>
  </observation>
</entry>
```

検査基準値や検査手法コードを省略した例

```
<entry>
  <observation classCode="OBS" moodCode="EVN" negationInd="false">
    <code code="3F015000002327101" displayName="空腹時中性脂肪(トリグリセリド)" />
    <value xsi:type="PQ" nullFlavor="NI" />
  </observation>
</entry>
```

3.3.2.3.6 情報提供の方法および初回面接実施について

「情報提供の方法」および「初回面接実施」については、特定健康診査・問診セクションに出現することとし、出現条件は以下のとおりとする。

- ・ 情報提供の方法
任意項目とし、「1：付加価値の高い情報提供」「2：専門職による対面説明」「3：1と2の両方実施」のいずれかを設定する。
なお、1～3に当てはまらない場合は出現させない。
- ・ 初回面接実施
特定保健指導の初回面接を実施できるセット券（特定健康診査＋特定保健指導）にて、特定健診当日から1週間後まで（健診実施日を0日として7日後まで。例えば月曜日に特定健診を受診した場合は、健診当日から次の月曜日まで）に特定保健指導の初回面接を実施した場合「1：健診1週間以内に初回面接実施」を設定する。
なお、1に当てはまらない場合は出現させない。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

4. ボキャブラリ仕様

本節では、健診データメッセージ仕様で使用するコード値を定義するボキャブラリドメインについて述べる。

4.1 例外値

例外値（ヌル値・不明値・欠損値）が送信される場合に、適切な値が送られない理由を識別するコード。本仕様では、HL7 ボキャブラリドメイン NullFlavor から、以下の値のみを使用する。

コード体系名： NullFlavor

コード体系 OID： 2.16.840.1.11383.5.1008

コード	表示名	説明
NI	no information	もっとも一般的な例外値。情報が存在しない。
UNK	unknown	適切な値が利用可能であるか不明。

4.2 性別コード

患者の（管理上の）性別コード。通知別表 4：男女区分コードから、以下の値を使用する。

コード体系名： 男女区分コード

コード体系 OID： 1.2.392.200119.6.1104

コード	表示名	説明
1	男	男性。
2	女	女性。

4.3 単位コード

単位コード。本メッセージ規格で使用するコードのみを表に示す。詳細は <http://aurora.rg.iupui.edu/~shadow/units/UCUM/> を参照のこと。

コード体系名： UCUM

コード体系 OID： 2.16.840.1.

.8

コード	一般的な単位表記	説明
kg	kg	kilo gram
cm	cm	centi meter
kg/m2	kg/m ²	kilo gram per square meter
mm[Hg]	mmHg	milli meter of mercury column
mg/dL	mg/dl	milli gram per deci liter
g/dL	g/dl	gram per deci liter
[iU]/L	IU/l 37°C	international unit per liter
U/L	U/l	Unit per liter
10*4/mm3	万/mm ³	ten thousands per cubic milli meter
kcal	kcal	kilo calories
%	%	percent
mo	月	month
min	分	minute
mL/min/{1.73_m2}	ml/min/1.73m ²	milliliter per minute per 1.73 square meter
mg/L	mg/L	milligram per liter

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

mg/g*CR	mg/g・CR	milligram per gram
mg/day	mg/day	milligram per day

4.4 守秘レベルコード

健診データの守秘レベルを示すコード。HL7 ボキャブラリドメイン Confidentiality で定義された値から、以下の値のみを使用する。

コード体系名： Confidentiality

コード体系 OID： 2.16.840.1.113883.5.25

値集合名： x_BasicConfidentialityKind

コード	表示名	説明
N	normal	通常の守秘規則が適用される。合法的な医療もしくは事務処理において必要性を持つ認証された人のみがアクセスできる。

4.5 検査値解釈コード

検査値解釈コード。本仕様では、検査基準値及び入力許容範囲が設定されている健診項目についてその解釈を示すために使用する。HL7 ボキャブラリドメイン ObservationInterpretation で定義された値から、以下の値のみを使用する。

コード体系名： ObservationInterpretation

コード体系 OID： 2.16.840.1.113883.5.83

コード	表示名	説明
H	以上	検査基準上限値超過。入力最大値以上の場合にも使用する。
L	以下	検査基準下限値未滿。入力最小値以下の場合にも使用する。

4.6 行為種別コード

行為の種別を示すコード。HL7 ボキャブラリドメイン ActClass より、以下の値のみを使用。

コード体系名： ActClass

コード体系 OID： 2.16.840.1.113883.5.6

コード	表示名	説明
OBS	observation	行為の中で観察行為を表す。
ACT	Action	意図された行為の実施を表す。

4.7 行為ムードコード

行為のムード（法）を識別するコード。HL7 ボキャブラリドメイン ActMood より、以下の値のみを使用。

コード体系名： ActMood

コード体系 OID： 2.16.840.1.113883.5.1001

コード	表示名	説明
EVN	event	行為の結果を表す。
EVN.CRT	event criterion	規準や条件を表す。
INT	intent	行為の計画を表す。
GOL	Gole	行為の目標を表す。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

4.8 行為間関係種別コード

行為間の関係を識別するコード。HL7 ボキャブラリドメイン ActRelationshipType より以下の値のみを使用。

コード体系名： ActRelationshipType

コード体系 OID： 2.16.840.1.113883.5.1002

コード	表示名	説明
REFR	-	行為間関係のうち、参照関係を表す。
COMP	-	包含関係を表す。
RSON	-	理由関係を表す。

4.9 参加者種別コード

行為への参加者の種別を識別するコード。HL7 ボキャブラリドメイン ParticipationType より以下の値のみを使用。

コード体系名： ParticipationType

コード体系 OID： 2.16.840.1.113883.5.128

コード	表示名	説明
HLD	holder	契約などの保持者を示す。

4.10 役割種別コード

役割種別コード。HL7 ボキャブラリドメイン RoleClass より以下の値のみを使用。

コード体系名： RoleClass

コード体系 OID： 2.16.840.1.113883.5.110

コード	表示名	説明
POLHOLD	-	健康保険契約の保持者(被保険者)であることを示す。

4.11 資格区分コード

健診受診者・保健指導利用者の被保険者・被扶養者の別を明らかにするために使用。国民健康保険に関しては一意に定まるため、提出は任意とする。保険者より国へ報告する際に利用するものであり、健診機関からの出力データには出現しないため、後期高齢者医療広域連合の被保険者等は規定していない。

コード体系名：資格区分

コード体系 OID： 1.2.392.200119.6.206

コード	表示名	説明
1	強制被保険者	被用者の被保険者であることを示す。
2	強制被扶養者	被用者の被扶養者であることを示す。
3	任意継続被保険者	任意継続被保険者であることを示す。
4	任意継続被扶養者	任意継続被扶養者であることを示す。
5	特例退職被保険者	特例退職被保険者であることを示す。
6	特例退職被扶養者	特例退職被扶養者であることを示す。
7	国保被保険者	国民健康保険及び国民健康保険組合の被保険者であることを示す。

ここにあげたコード表以外に、厚生労働省サイトより別途提供されるコード表情報をあわせて参照する

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

こと。

厚生労働省サイト：<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html>

5. OID 表

本文書中で記載されている各種コードのコード体系コード（OID）は、別表 OID 一覧表を参照すること。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

Ver.4

本説明文書は、厚生労働省保険局医療介護連携政策課医療費適正化対策推進室により修正されました。また、「第4期特定健診・特定保健指導の見直しに関する検討会」の下に設置された「システム改修に関するワーキンググループ」の作業班メンバーや、ここに記載していない多くの方々の献身的な貢献により検討された成果に基づいています。

システム改修に関するワーキンググループ作業班

特定健診・特定保健指導の電子的なデータ標準様式

3-1B 特定健診情報ファイル
(医療保険者→国)
仕様説明書
Version 4

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

目次

1.	はじめに	1
1.1	目的	1
1.2	参考資料	1
2.	概要	2
2.1	本文書の位置付け	2
	<u>本文書と既存の仕様説明書との相違点</u>	2
2.2	記載内容の優先度	3
2.3	標準フォーマットの基本的な方針	3
2.3.1	1 健診結果 1 ファイル	3
2.3.2	本標準フォーマットが対象とする健診情報	3
2.3.3	HL 7 C D A規格との関係	3
3.	特定健診情報ファイル仕様	7
3.1	全体構成の概要	7
3.2	ヘッダ部	8
3.2.1	名前空間	8
3.2.2	CDA 管理情報	9
3.2.3	健診管理情報	9
3.2.3.1	受診者情報	12
3.2.3.2	ファイル作成機関の情報	17
3.2.3.3	ファイル作成管理責任機関情報	20
3.2.3.4	受診券情報	21
3.2.3.5	健診実施情報	23
3.3	ボディ部	26
3.3.1	健診報告区分と CDA セクションの関係	28
3.3.2	特定健診検査・問診セクション	28
3.3.2.1	セクション部仕様	28
3.3.2.2	テキスト部（説明ブロック）仕様	30
3.3.2.3	エントリ部仕様	32
3.3.2.3.1	検査・問診結果セクションエントリ部パターン①	32
3.3.2.3.2	一連検査グループの考え方	32
3.3.2.3.3	測定値が入力許容範囲外の場合の測定値の記述	42
3.3.2.3.4	検査結果セクションエントリ部パターン②	44
3.3.2.3.5	未実施および測定不可能項目の表現	46
3.3.2.3.6	保険者において服薬状況を再確認した場合の取り扱いについて	49
4.	ボキャブラリ仕様	51
4.1	例外値	51
4.2	性別コード	51
4.3	単位コード	51
4.4	守秘レベルコード	52
4.5	検査値解釈コード	52
4.6	行為種別コード	52
4.7	行為ムードコード	52
4.8	行為間関係種別コード	53
4.9	参加者種別コード	53
4.10	役割種別コード	53
4.11	資格区分コード	53

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

4.12	再確認コード	54
5.	OID表	54
6.	「保険者が健診機関から受領するファイル」を保険者が加工して本仕様に準拠させるのに必要な加工箇所の例	55

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

修正履歴

日付	版	修正内容
2008.07.10	V1.0	初版
2012.10.10	V2	<p>■XML仕様上に関する修正</p> <p>本仕様書の適用範囲を追記。</p> <p><資格区分の追加></p> <p>本仕様変更は、特定健康診査・特定保健指導利用者の被保険者・被扶養者の別を明らかにするために設定するものである。本仕様変更は支払基金への実績報告ファイルのみに適用されるものである。国民健康保険においては一意に定まるため、提出を必須としない。</p> <p>仕様書上の修正・追加箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> • 3.2.3.1 受診者情報 • 4.11 資格区分コード <p><検査結果値の入力許容範囲外の値の実測値記載></p> <p>本仕様変更は、特定健康診査の入力最大値・最小値が定められている項目について、測定値が項目ごとに指定された入力許容範囲外（入力最小値以下または入力最大値以上）の場合、測定値は実測値ではなく「H」または「L」を示すコード値として表現すると定められていたが、入力許容範囲外（入力最小値以下または入力最大値以上）の場合も実測値を記載することとする。</p> <p>仕様書上の修正・追加箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> • 3.3.2.2 テキスト部（説明ブロック）仕様 • 3.3.2.3.2 一連検査グループの考え方 • 3.3.2.3.3 測定値が入力許容範囲外の場合の測定値の記述 <p><プログラムサービスコード付与の運用ルール変更></p> <p>健診実施機関においてプログラムサービスコードに格納すべきコードを委託契約締結時に保険者が指定したコードを格納することとする。また、保険者でプログラムサービスコードの確認を実施し、誤ったコードが設定されていると判断した場合は、保険者においてプログラムサービスコードを適切な値に更新してもよいこととする。</p> <p>仕様書上の修正・追加箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> • 3.2.3.5 健診実施情報 <p><保険者での服薬確認を実施した際の項目の追加></p> <p>特定保健指導の対象者のうち、服薬中のため特定保健指導の対象者から除外する対象者の抽出方法について、特定健</p>

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

		<p>康診査における質問票により抽出することが基本であるが、健診受診者の質問票への誤記入や勘違い等も考えられる。</p> <p>また、レセプト情報を用いる方法では、受診者本人が何の疾患で通院し、どんな薬を内服しているかの認識と事実とのかい離も否定できない。</p> <p>そのため、医療保険者の専門職（医師・保健師・管理栄養士・看護師）による、当該受診者本人への確認と、3疾患（高血圧症・脂質異常症・糖尿病のいずれかまたは2つあるいは全部）にて通院服薬中であることについての本人の同意を得るという手順を踏んだ上、次の条件に当てはまる場合のみ、特定保健指導の対象者から除外することを可能とする。</p> <p>仕様書上の修正・追加箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> 3.3.2.3.7 保険者において服薬状況を再確認した場合の取り扱いについて <p>■XML仕様上に関係のない修正</p> <p>※特定健診情報ファイル仕様書（医療保険者への提出用）におけるV2への改訂にあわせた改訂。 ※仕様に変更はないが上記仕様書のバージョン番号をあわせるためバージョン2に番号を更新。</p>
2017.03.31	V3	<p>■XML仕様上に関する修正</p> <ul style="list-style-type: none"> 3.2.3.1 受診者情報の説明及び表4の健診情報整理番号1, 2の説明を修正、健診情報整理番号3, 4, 5を追加 3.2.3.4 受診券情報と保険者情報にセット券の説明を追加 仕様書中の生活機能評価における記載を削除 4.3 単位コードに「mL/min/{1.73_m2}」「mg/L」「mg/g*CR」「mg/day」を追加 3.3.2.3.2 一連検査グループの表に「心電図検査（対象者）」「眼底検査（対象者）」「血清クレアチニン」「eGFR」「血清クレアチニン（対象者）」「血清クレアチニン（実施理由）」を追加 6「保険者が健診機関から受領するファイル」を保険者が加工して本仕様準拠させるのに必要な加工箇所の例に整理用番号3の例を追加 <p>■XML仕様上に関係のない修正</p> <ul style="list-style-type: none"> バージョンを「2」から「3」に修正 その他既存誤記及び見栄え修正
2020.03.31	V3.1	<p><本仕様書の適用範囲></p> <p>オンライン資格確認等システムを活用した特定健診情報等の保険者間引継ぎ実施に伴い、本文書を保険者から支払基金への実績報告用のみ使用することとし、報告項目の見直し結果を反映させた。</p> <p>■XML仕様上に関する修正</p> <p><実績報告の顕名化および項目の見直しに伴う修正></p> <p>3.2.3 健診管理情報</p>

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

		<ul style="list-style-type: none"> ・表 2 受診券情報を必須項目から省略可能項目に変更 3.2.3.1 受診者情報 <ul style="list-style-type: none"> ・健診機関から受領するファイルに対する編集内容説明を削除 ・表 3 受診者情報に含まれる項目の削除（整理用番号 1～3）および追加（被保険者証等の記号・番号・枝番、氏名、住所） ・表 4 XML 仕様の該当項目説明変更および追加 ・XML サンプルへの該当項目の記述削除および追加 3.2.3.2 ファイル作成機関の情報 <ul style="list-style-type: none"> ・表 5 含まれる項目を明示 ・表 6 XML 仕様に各要素の記録条件を明示 6. 「保険者が健診機関から受領するファイル」を保険者が加工して本仕様に準拠させるのに必要な加工箇所の例 <ul style="list-style-type: none"> ・前述の項目変更（追加および削除）の反映記載 <p>■XML 仕様上に関係のない修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バージョンを「3」から「3.1」に修正 ・仕様書の適用範囲を令和 2 年度の法定報告に修正 ・各種サンプル XML の日付変更 ・その他既存誤記及び見栄え修正
2023.03.31	V4	<p>■XML 仕様上に関する修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中性脂肪が空腹時中性脂肪(トリグリセリド)と随時中性脂肪(トリグリセリド)に分かれたことによる、文言およびサンプルの記載修正 ・表 17(11)(13)検査値、検査基準値の型桁について「XML 用特定健診項目情報」の「数値型の場合の形式」に従うことを明記 ・「3.2.3.4 受診券情報」にて、「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」の内容と重複する記載を削除 ・服薬者に関する考え方の一部変更(保険者再確認に保健指導開始後の服薬確認を追加、服薬が確認された場合に集計情報ファイルの服薬者カウントに反映等)に合わせて「3.3.2.3.6 保険者において服薬状況を再確認した場合の取扱いについて」の説明を変更 ・3.3.2「特定健診検査・問診セクション」および表 18 にて「医師の診断(判定)」の author 要素を削除する旨を明記 ・コード値の変更に合わせて 4.12「再確認コード」を修正 ・4.13「問診結果コード」を追加 ・6. 「「保険者が健診機関から受領するファイル」を保険者が加工して本仕様に準拠させるのに必要な加工箇所の例」に該当箇所をまとめた表を追加 <p>■XML 仕様上に関係のない修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本仕様書のファイル名を変更 ・バージョンを「3.1」から「4」に修正 ・1.1 目的等の厚労省通知との対応関係に係る記載を削除 ・その他既存誤記及び見栄え修正

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

本仕様書の適用範囲

本仕様説明書（Version4）は、令和6年度分の法定報告（令和7年11月1日までに実施する法定報告）に係る特定健診情報ファイルから適用される。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

特定健診情報ファイル(医療保険者→国) 仕様説明書

1. はじめに

1.1 目的

本文書の目的は、2008年度から実施している特定健診の健診結果情報を、医療保険者が国に対して電子的に提出（報告）する際に使用する、電子的なデータ標準様式の定義について詳細に説明することである。

保険者は、本仕様に準拠したデータを作成し、報告を行わねばならない。

1.2 参考資料

下記の表は、この文書で参照している標準仕様及び研究報告書等の名称、バージョン、並びにその説明の一覧である。

本文書での仕様等の引用名称	バージョン	説明
厚生労働省 特定健診プログラム改定版	※	「標準的な健診・保健指導プログラム」
厚生労働省 特定健診プログラム手引書	※	「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」
HL7 Version 3	Normative 2005	HL7 Version 3 の 2005 年度 規範版パッケージ。CDA Release 2.0 の規格書が含まれる。
日本 HL7 協会 診療情報提供書	1.0	日本 HL7 協会が策定した、CDA R2 規格をベースとした診療情報提供書の規格。 http://www.hl7.jp/intro/std/HL7J-CDA-001.pdf
HL7 CRS	final draft	米国 HL7 協会が策定中の診療文書に関する実装ガイド。 Implementation Guide for CDA Release 2 – Level 1 and 2 – Care Record Summary (US realm), HL7, Inc., Final Text, June 8, 2006
XML	1.1	Extensible Markup Language http://www.w3.org/TR/2006/REC-xml11-20060816/
XPath	1.0	http://www.w3.org/TR/xpath
電子レセプト仕様書		「電子レセプトの作成手引き（医科）」社会保険診療報酬支払基金レセプト電算処理システム電子レセプト作成手引き http://www.ssk.or.jp/seikyushiharai/rezept/iryokikan/iryokikan_02.files/jiki_i01.pdf
健診機関健診情報ファイル仕様説明書	※	「3-1A 特定健診情報ファイル（健診・保健指導機関等→医療保険者）仕様説明書」

※厚生労働省 HP「特定健診・特定保健指導について」

(<https://www.mhlw.go.jp/stf/scisakunitsuite/bunya/0000161103.html>) に公表されている最新版を参照すること。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

2. 概要

2.1 本文書の位置付け

本文書は、2008年度から実施されている特定健診の健診結果情報を、保険者が国に対して電子的に提出（報告）する際に使用する、電子的なデータ標準様式（以下では特定健診標準フォーマット、または単に標準フォーマットと記載する）を定義するものである。

標準フォーマットはXML規格にもとづいている。XML規格はデータ中に<aaa> ... </aaa>のようなタグと呼ばれるマークを埋め込むことにより、データの意味付けと構造に関する情報をデータと一緒に送信できるようにした言語規格で、インターネット上でのデータのやり取りや、コンピュータシステム間でのデータ交換、データベースからのデータの読み書きの際など広範に使用されるようになっている。XML規格をある目的で使用する場合には、どのようなデータにどのようなタグをつけるか、またデータ同士をどのように階層化するかについて、その目的ごとに取り決める必要がある、その取り決めに関する規則はXMLスキーマと呼ばれる方式で記述されたファイルで記述する。DTDと呼ばれる方式で記述する方法もあるが、最近はXMLスキーマによる記述のほうが増えている。

本標準フォーマットは、XMLスキーマで詳細が定義されており、ホームページに公開されている¹。DTD形式による定義は提供されていない。本書はそのXMLスキーマの説明書としての位置付けであると同時に、XMLスキーマでは記述しつくせない細かい制約事項を記載している。従って、本書は別途公開されている対応するXMLスキーマファイルと併せて使用するものであり、それぞれ単独では意味をなさない。

本文書と既存の仕様説明書との相違点

本文書で説明される標準フォーマットは、「特定健康診査・特定保健指導の電子的な標準様式の仕様に関する資料」のうち、「特定健診情報ファイル仕様」（以下では「健診機関健診情報ファイル仕様説明書」と記載する）と基本的には同一である。仕様上の異なる部分は、本標準フォーマットでは提出不要となった特定健診情報項目についての仕様の削除だけであり、新たな仕様の追加はない。ただし、仕様の削除のうちには、これまで必須とされていた情報が、存在してはいけない情報となった場合が含まれることに注意が必要である。

また本文書として健診機関健診情報ファイル仕様説明書と異なる部分は、1）上記の仕様上の異なる部分を反映させている点、2）実績報告としての位置づけから明らかに説明が不要となる部分の削除、の2点である。なお、1）に関する削除箇所にはそれがわかるように当該箇所で注釈等を記載している場合がある（すべての箇所に記載しているわけではない）。

なお、本書に対応するXMLスキーマファイルは、「健診機関健診情報ファイル仕様説明書」とともに公開されているXMLスキーマファイルと完全に同一であるため重複して公表をせず、後者を参照するものとする。提出不要となった特定健診情報項目を本仕様で削除したにもかかわらず、対応するXMLスキーマファイルに変更の必要がない理由は、これらの削除項目に対応する要素または属性はあらかじめ省略可能と定義されていたからである。

なお、「保険者が健診機関から受領するファイル」を保険者が加工して本仕様に準拠させるのに必要な加工箇所の例を本仕様説明書の末尾「6.「保険者が健診機関から受領するファイル」を保険者が加工して本仕様に準拠させるのに必要な加工箇所の例に提示してあるので参考にされたい。

¹<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html>

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

2.2 記載内容の優先度

この文書の記載内容と最新の厚生労働省通知との記述に相違がある場合には、最新の厚生労働省通知(<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000165280.html>)との記述を優先するものとする。

本文書と対をなして公表されている XML スキーマファイルでは、XML 要素や属性の出現多重度や選択性について、本文書での記載よりも緩い記述（制約条件が広い記述）になっていることがある。このような場合には、本文書に記載されている記述が優先するものとする。たとえば XML スキーマでは 1 回以上何度出現してもよいとなっている要素について、本文書では 1 回だけ必ず出現するものと記載しているケースでは、本文書に従うものとし、当該要素は 1 回だけ必ず出現しなければならないと 2 回以上出現してはならない。同様にたとえば XML スキーマでは出現してもしなくても良い（出現がオプション）とされている属性や要素について、本文書では出現してもよいことが明示的に記載されていないケースでは、本文書に従うものとし、当該属性や当該要素は出現してはならない。

2.3 標準フォーマットの基本的な方針

2.3.1 1 健診結果 1 ファイル

本標準フォーマットは、1 人の受診者の 1 回の特定健診の結果情報を、報告に際して必要となるヘッダー情報（健診機関に関する情報や日付、受診者を識別するための情報など）を含めた 1 つの XML 形式で格納し、1 個の電子ファイル（Windows や UNIX などのコンピュータオペレーティングシステムでひとつの電子ファイルとして扱われるファイル単位）とするものである。

1 人の受診者の 1 回の特定健診の結果情報ごとに 1 電子ファイルとし、複数回もしくは複数受診者の結果はその数だけの電子ファイルを別々に生成する方針をとっている。従って、1 電子ファイルに、複数回もしくは複数受診者の健診結果を格納することはできない。

2.3.2 本標準フォーマットが対象とする健診情報

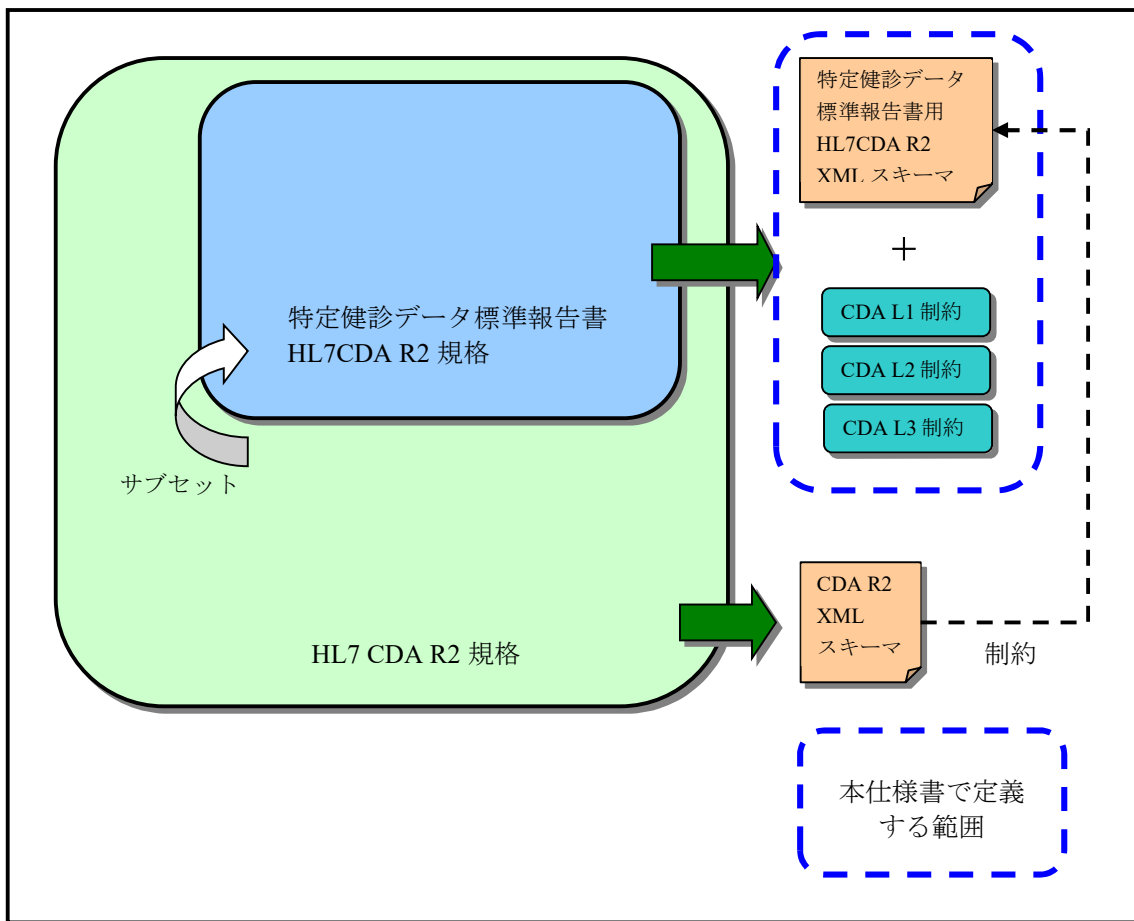
本標準フォーマットは、2008 年度から実施されている特定健診の結果情報を格納することを目的としている。

2.3.3 HL7 CDA 規格との関係

本標準フォーマットは、HL7 CDA Release 2（以下 CDA R2）規格²に完全準拠するものとし、本標準フォーマット仕様は、HL7 CDA 規格で定義される XML スキーマに対して特定健診固有のさらなる制約を課すことで実現されている。各種制約のなかで、HL7 CDA R2 仕様に対して、その XML 要素あるいは属性の多重度に対して適用される制約³や、コード値を限定するような制約については、HL7 CDA R2 仕様の XML スキーマとなる「特定健診情報ファイル XML スキーマ」で定義され、その XML スキーマファイルが本説明書とは別に公開される。本説明書で解説される XML スキーマで妥当であると検証された XML インスタンス（XML ファイル）は、HL7 CDA R2 XML スキーマに対しても妥当であることが必ず保証される。

² ANSI/HL7 CDA R2-2005 4/21/2005 版

³例えば CDA R2 仕様においてある要素の多重度が"0..*"であるものを"1..1"に制約するといった制約。



特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

本仕様書では、XML タグ仕様を以下のような表形式で示す。ここで掲げる表と図は XML タグ仕様の読み方を示すために記載した架空のものであり、本仕様とは無関係のものとして見る必要がある。

XML-No	XPath	説明	多重度	選択性
3.2.1	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		0..*	O
3.2.1.1	code	セクションコード。	1..1	M
3.2.1.1.1	@code	セクションコードのニーモニック。	1..1	M
3.2.1.1.2	@codeSystem	セクションコードのコード体系を識別する OID。	1..1	M
3.2.1.1.3	@codeSystemVersion	セクションコードのコード体系バージョン。	0..1	O
3.2.1.2	title	セクションタイトル。	1..1	M
3.2.1.2.1	text()	セクションタイトルを示す文字列。	1..1	M

「XPath」の列に示される”/ClinicalDocument”から開始される文字列は、XML のルート要素から、この表で示される XML 要素までのパスを XPath により記述したものである。例えば上の表中の XPath ”/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section” は、以下の XML の青枠で囲まれた section 要素の仕様を記述していることを示す。

```

<ClinicalDocument>
  <component>
    <structuredBody>
      <component>
        <section>
          <code code="ABCDE" codeSystem="123.456.7890.1" />
          <title>検体検査等</title>
        </section>
      ...
    </component>
  </structuredBody>
</ClinicalDocument>

```

表中には XPath で示される要素の子要素を、表の各行に順に記述する。このとき、code や title などインデントされずに灰色の網掛けで表現される項目は、それが XML 要素であることを意味する。一方、@code や @codeSystem のようにインデントされ @ をつけて示される項目は、それが XML 属性であることを意味する。text() と示される項目は、XML テキスト内容を表す。

「多重度」は、指定された項目の出現数の最小値と最大値を”..”の両端に示す形で表現する。最大値に制限が無い場合は、”*” (アスタリスク) によって表現される。例えば、上の例で、section 要素に付けられた”0..*”という多重度は、指定された section 要素が XML 中に 0 個以上複数出現し、その出現数の最大値には制限がないことを示す。一方 title 要素は、section 要素が出現する際には必ず 1 つ出現することを示す。多重度が 0 とだけ記載されている場合には、既存の「健診機関健診情報ファイル仕様説明書」では要素または属性が存在していたが、本仕様では出現しないこととなった（使用しないこととなった）ことを明示しており、この場合当該要素または属性は出現してはならない。この場合次項の選択性は×となっている。

「選択性（オプションリティ）」は、M (Mandatory) または O (Optional) または×（出現してはならない）のいずれかの値で表現される。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

Mは、必須値であり、その要素または属性は必ず1個以上出現し、かつ空文字列でない値が必ず格納されなければならない。

Oはオプション項目（任意出現項目）であり、記述すべき値が存在しない場合やある条件下では、省略する項目である。また記述すべき値がない（または記述すべき値が空文字列）場合には、その要素自体または属性自体を省略しなければならない。要素または属性を出現させて値は空文字列にすることは許可されない。Mが指定されている要素の多重度の最小値は必ず1以上となる。

×は、既存の「健診機関健診情報ファイル仕様説明書」では要素または属性が存在していたが、本仕様では出現しないこととなった（使用しないこととなった）ことを明示しており、この場合当該要素または属性は出現してはならない。×が指定されている項目の多重度は必ず0である。

表中でXML要素の階層の上位にある項目に対して下位に位置する項目の多重度や選択性を指定する場合、下位の項目の多重度および選択性は、上位の項目が出現する場合での制約を記述する。例えば、上の例で、**section**要素の選択性がO（Optional）であるのに、その下位の**code**要素の選択性がM（Mandatory）であるのは、**section**要素が存在する状況での**code**要素の選択性を示しており、**section**要素が存在するときには**code**要素が必ず出現しなければならないことを意味する。

上記の表で最初の列XML-NOは、本仕様書内で引用に便利ようにつけた番号で、すべての表を通じた一意の通し番号になっており、XML仕様Noとして引用される。

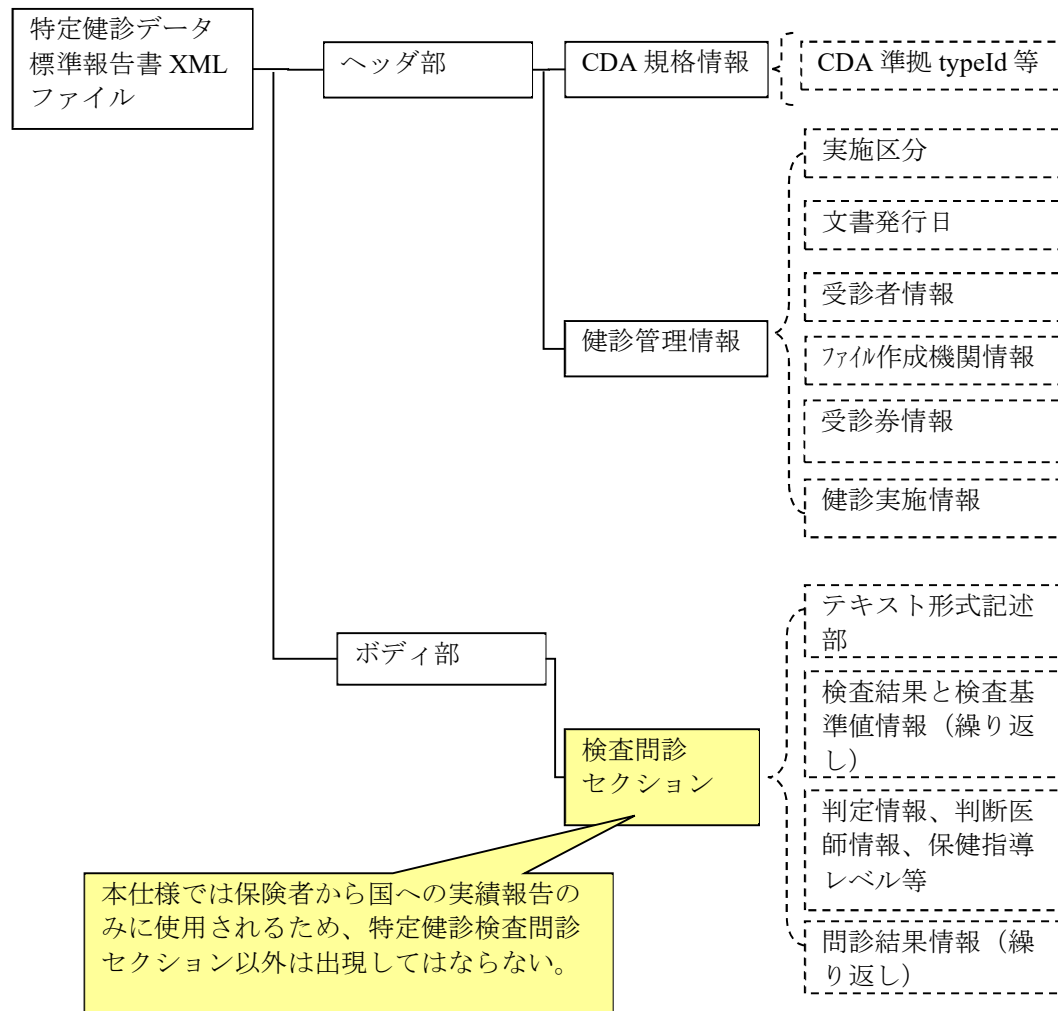
説明文中に最大バイト数の記載がある場合には、特に条件記載がない限り半角文字を1バイト、全角文字（シフトJIS系文字における2バイト文字）を2バイトを換算した場合の文字列バイト長を指すものとする。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3. 特定健診情報ファイル仕様

3.1 全体構成の概要

本標準フォーマットにもとづく XML ファイルは、ヘッダ部とボディ部からなる（下図）。



ヘッダ部には、CDA 規格上必要となるメッセージ種別など CDA 規格情報、記録されているイベント（健診、指導など）に関する実施区分や文書発行日（特定健診情報ファイルの作成日）情報、作成者情報、記録対象者（受診者）情報、受診券情報、健診実施日などの健診管理情報から構成される。

ボディ部には、健診結果の情報が、一部は人間可読なテキスト形式で記述されるとともに、コンピュータ処理を可能とするための形式で構造化されて記述される。

健診結果は、特定健診検査問診セクションだけからなる。⁴

⁴健診情報ファイル仕様説明書(健診機関→保険者)では、特定健診検査問診セクション以外に追加のセクションの配置が認められているが、本仕様では保険者から国への実績報告のみに使用されるため、特定健診検査問診セクション以外は出現してはならない。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.2 ヘッダ部

3.2.1 名前空間

本仕様書で定義される XML インスタンスの名前空間は「`urn:hl7-org:v3`」とし、これをデフォルト名前空間として指定する。

また、本仕様書で定義される XML インスタンスでは、「`http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance`」という URI で識別される XML スキーマインスタンスの名前空間を使用する。

本仕様のスキーマファイルは「`hc08_V08.xsd`」というファイル名のファイルにより別途提供される。ここでこのファイル名中の `V08` は version 番号であり、今後スキーマファイルが一部修正された場合においても、リリースされたスキーマファイル名のバージョン番号部分を `V08` に名前を変更して使用するものとする。なお、将来の制度の改訂などにより、部分修正に留まらない大きな変更が加えられた場合には、これによらない場合がある。

下記は XML インスタンスの実例であり、本仕様に基づくすべての XML インスタンスは、スキーマファイル名の version 番号部分を除きこの部分を変更してはならない。

補足説明 1：本仕様でファイルを生成する側は、文字コードは UTF-8 を使用するものとする。

補足説明 2：UTF-8 文字コードのファイルをコンピュータプログラムにより生成する場合に、ファイルの冒頭の（通常のテキスト表示では見えない最初の）3 バイトに Byte Order Mark

（BOM）と呼ばれる 3 バイト EF BB BF (16 進) をつけるスタイルと、つけないスタイルの両方が世の中に存在する。本仕様でファイルを生成する側は、この BOM と呼ばれる 3 バイトを付与しないものとする。ソフトウェア開発者は、自分の使用する XML ファイル生成機能が自動的に BOM を付与するソフトかどうかを調べ、自動付与するスタイルのソフトウェアの場合には、生成されたファイルの第 1 バイト目からの先頭 3 バイトを削除することが必要である。どちらのソフトウェアであるかを調査するためには、テキスト表示ソフトでは通常表示されないの、冒頭の数バイトをプログラムで確認するなりして確認することが必要である。

一方、本仕様で生成されたファイルを受信する側では、生成側が誤って BOM を付けたファイルを生成している可能性を想定し、BOM の有無にかかわらず正しく処理できるようにすることが必要である。

補足説明 3：スキーマファイル名の version 番号部分は `V08` で統一する。下記の例で示すように、`hc08_V08.xsd` とするものとする。今後スキーマファイルが一部修正された場合においても、リリースされたスキーマファイル名を下図のようにバージョン番号部分を `V08` に名前を変更して使用するものとする。なお、将来の制度の改訂などにより、部分修正に留まらない大きな変更が加えられた場合には、これによらない場合がある。

なお、オペレーティングシステムによる違いの影響を排除するため、スキーマファイル名、その相対パス名の英大文字小文字の違いを意識するものとし、以下の通りとする。

スキーマファイル名を含む相対パス名：`../XSD/hc08_V08.xsd`

注：ピリオド 2 個で始まっていることから分かるように、スキーマファイルが格納されるフォルダ `XSD` は、本 XML ファイルが格納されるフォルダ（ディレクトリ）の兄弟フォルダである。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<ClinicalDocument xmlns="urn:hl7-org:v3"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="urn:hl7-org:v3 ../XSD/hc08_V08.xsd">
  ...
</ClinicalDocument>
```

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.2.2 CDA 管理情報

特定健診情報ファイルのトップレベルの XML 要素である ClinicalDocument の最初の 2 つの要素は、HL7CDA に準拠する上で必要な情報であり、表 1 に示される 2 要素が含まれる。

ここでは、保険者が健診機関から受領するファイルに対して加工の必要はない。

表 1 ヘッダ部の CDA 管理情報

No	XPath	説明	厚労省公表資料との対応	多重度	選択性
0	/ClinicalDocument			1..1	M
1	typeId	タイプ ID。準拠している CDA R2 仕様を識別する。		1..1	M
1.1	@root	HL7 に登録されている成果物の名前空間 OID となる「2.16.840.1.113883.1.3」を設定。		1..1	M
1.2	@extension	CDA R2 仕様のバージョンを一意に識別する成果物識別子である「POCD_HD000040」を設定。		1..1	M
2	Id	生成されたファイルをユニークに識別する ID。		1..1	M
2.1	@nullFlavor	未使用としヌル値を意味する“NI”を設定。		1..1	M

3.2.3 健診管理情報

CDA 管理情報の 2 つの要素につづく要素は、健診管理情報であり、表 2 に示される項目からなる。

ここでは、保険者が健診機関から受領するファイルに対して次の加工を行うことが必要である。

- 1) 表 2 XML 仕様 No.4.1（ファイル作成日）：保険者が本ファイルを作成した日付に上書き設定。
- 2) 同仕様 No.6（受診者情報）：加工必要。詳細は 3.2.3.1 節参照。
- 3) 同 No.7（ファイル作成機関情報）：加工必要。詳細は 3.2.3.2 節参照。
- 4) 同 No.8（ファイル作成管理責任機関情報）：加工不要。
- 5) 同 No.9（受診券情報）：加工必要。詳細は 3.2.3.4 節参照。
- 6) 同 No.10（健診実施情報）：加工必要。詳細は 3.2.3.5 節参照。

表 2 ヘッダ部の健診管理情報

No	XPath	説明	厚労省公表資料との対応	多重度	選択性
0	/ClinicalDocument			1..1	M
3	code	報告区分を表すコードを設定。このファイルが作成された目的や作成タイミングなどの情報を格納するために使用される。		1..1	M
3.1	@code	報告区分コード 2 桁 (上位 1 桁が特定健診受診情報の実施区分に対応する) 10: 特定健診情報 または 40: 他の健診結果の受領分、または他の健診	1 桁目（10 の位）は実施区分コード。	1..1	M

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

		の不足項目を実施 送信側がXMLファイルを作成する時には、実施区分コード 1 桁(1 または 4)をこの報告区分の 10の位に設定し1の位は0(ゼロ)とすること。なお「国への実績報告(匿名化済)」のコードとして用意されている「3」をここでは使用しないので注意すること。 受信側がXMLファイルを受信して使用する場合には、この報告区分 2 桁のうち10の位の 1 桁をとりだし、それを特定健診受診情報の実施区分として取得し使用すること。		
3.2	@codeSystem	コードのコード体系を識別する OID。 「1.2.392.200119.6.1001」を設定。	1..1	M
3.3	@displayName	使用しない。存在しなくてもよい。	0..1	O
4	effectiveTime	本ファイルのオフィシャルなファイル作成日(実際のファイル作成日と異なることもあり)。この日付をもって本データを提出したこととして取り扱う日。 ※健診機関より受領したファイル中に格納されている本要素の日付を書き換える必要がある。	1..1	M
4.1	@value	「YYYYMMDD」。	1..1	M
5	confidentialityCode	守秘レベルコード。HL7 ボキャブラリドメイン Confidentiality の値を使用。	1..1	M
5.1	@code	守秘レベルコード。通常時の守秘レベルを表す「N」を設定。	1..1	M
5.2	@codeSystem	XML ファイルサイズを小さくするため当面使用しなくてよいが、使用する場合には守秘レベルコードのコード体系を識別する OID。 「2.16.840.1.113883.5.25」固定。	0..1	O
6	recordTarget	受診者情報。構造を含め詳細は、3.2.3.1 節に記載。	1..1	M
7	author	本ファイルを作成し提出する保険者側の情報(通常は送付元に相当する)。構造を含め詳細は、3.2.3.2 節に記載。	1..1	X
8	custodian	本ファイル作成管理責任機関情報。本仕様では使用しないが HL7CDA 規格上必須であるため、3.2.3.3 節のように記述するものとする。	1..1	M
9	participant	受診者の受診券に関する情報。	0..1	O
10	documentationOf	健診実施情報。詳細は、3.2.3.5 節に記載。	1..1	M

ヘッダ部の XML サンプルを以下に示す。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<ClinicalDocument xmlns="urn:hl7-org:v3"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="urn:hl7-org:v3 ../XSD/hc08_V08.xsd">
  <typeId root="2.16.840.1.113883.1.3" extension="POCD_HD000040" />
  <id nullFlavor="NI"/>
  <!--報告区分 10=特定健診情報の報告-->
  <code code="10" codeSystem="1.2.392.200119.6.1001" />
  <!-- 文書発行日（西暦） -->
  <effectiveTime value="20250401" />
  <confidentialityCode code="N" />
  <!-- 受診者情報 -->
  <recordTarget>...</recordTarget>
  <!--ファイル作成機関情報 -->
  <author>...</author>
  <!-- ファイル作成管理責任機関情報 -->
  <custodian>...</custodian>
  <!--受診券情報 -->
  <participant typeCode="HLD">...</participant>
  <!-- 健診実施情報 -->
  <documentationOf>...</documentationOf>
    <component>...</component>
    ...
</ClinicalDocument>

```

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.2.3.1 受診者情報

ClinicalDocument の子要素である **recordTarget** 要素で受診者情報を記述する。健診データ項目一覧表のうち、表 3 に示す項目がこの要素で表現される。

表 3 受診者情報に含まれる項目

項目名	XML仕様 No	XPath
保険者番号	6.8.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/id/@extension
被保険者証等記号	6.9.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/id/@extension
被保険者証等番号	6.10.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/id/@extension
被保険者証等枝番	6.11.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/id/@extension
受診者の氏名	6.15.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/patient/name/text()
受診者の生年月日	6.17.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/patient/birthTime/@value
受診者の性別	6.16.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/patient/administrativeGenderCode/@code
資格区分	6.7.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/id/@extension
受診者の郵便番号	6.13.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/addr/postalCode/text()
受診者の住所	6.12.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/addr/text()

受診者情報の XML 仕様の詳細を表 4 に示す。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

表 4 受診者情報 XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選 択 性
6	/ClinicalDocument/recordTarget		1..1	M
6.1	patientRole	受診者情報	1..1	M
6.2	patientRole/id	整理用番号1 ※1	0	X
6.2.1	@extension	「整理用番号1」に対応する文字列。 医療保険者より国への出力データの場合 は出現させない。	1..1	M
6.2.2	@root	整理用番号1のOID。 「1.2.392.200119.6.202」を設定。	1..1	M
6.3	patientRole/id	整理用番号2 ※1	0	X
6.3.1	@extension	「整理用番号2」に対応する文字列。 医療保険者より国への出力データの場合 は出現させない。	1..1	M
6.3.2	@root	整理用番号2のOID。 「1.2.392.200119.6.203」を設定。	1..1	M
6.4	patientRole/id	整理用番号3 ※1	0	X
6.4.1	@extension	「整理用番号3」に対応する文字列。 医療保険者より国への出力データの場合 は出現させない。	1..1	M
6.4.2	@root	整理用番号3のOID。 「1.2.392.200119.6.900」を設定。	1..1	M
6.5	patientRole/id	整理用番号4 将来的な活用可能性を考え、何らかの個人 識別番号を入れられる枠を設けておく。	0	X
6.5.1	@extension	「整理用番号4」に対応する文字列。 医療保険者より国への出力データの場合 は出現させない。	1..1	M
6.5.2	@root	整理用番号4のOID。 「1.2.392.200119.6.18010」を設定。	1..1	M
6.6	patientRole/id	整理用番号5 将来的な活用可能性を考え、何らかの個人 識別番号を入れられる枠を設けておく。	0	X
6.6.1	@extension	「整理用番号5」に対応する文字列。 医療保険者より国への出力データの場合 は出現させない。	1..1	M
6.6.2	@root	整理用番号5のOID。 「1.2.392.200119.6.18020」を設定。	1..1	M
6.7	patientRole/id	整理用番号5のチェックコード。医療保険者 より国への出力データには出現させない。	0	X
6.7.1	@extension	「整理用番号5のチェックコード」の値。整理 用番号5付番時の状況を表すコード。医療 保険者より国への出力データには出現させ ない。	1..1	M
6.7.2	@root	整理用番号5チェックコードのOID。 「1.2.392.200119.6.21010」を設定。医療保 険者より国への出力データには出現させな	1..1	M

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

		い。		
6.8	patientRole/id	資格区分 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 保険者より国へ報告する際に利用するものであり、健診機関からの出力データには出現しない。 資格は、特定健康診査においては受診日時点、特定保健指導においては初回面談実施日時点を基準とする。 ➤ 国保においては、値が一意に定まるため、出現させなくても良い。 	0..1	O
6.8.1	@extension	「資格区分」コード文字列。数字1桁固定長とする。 ボキャブラリは、4.11 資格区分コードを参照	1..1	M
6.8.2	@root	資格区分の OID。「1.2.392.200119.6.206」を設定。	1..1	M
6.9	patientRole/id	保険者番号	1..1	M
6.9.1	@extension	「保険者番号」文字列。数字 8 桁固定長とする。 8桁に満たない場合には先頭のゼロをつけて8桁とする。	1..1	M
6.9.2	@root	保険者番号の OID。「1.2.392.200119.6.101」を設定。	1..1	M
6.10	patientRole/id	被保険者証等記号 被保険者証等記号が存在しない場合には、本要素は出現させない。 ただし、送信側保険者のシステムによっては「一」の1文字(シフトJISコード 849F、ひらがなで「けいせん」と入力して仮名漢字変換される野線記号)を設定して本要素を出力する場合があるので、その場合は被保険者証等記号が存在しないものとして扱う必要がある。	0..1	O
6.10.1	@extension	「被保険者証等記号」に対応する文字列。 全角だけからなる文字列または半角だけからなる文字列のどちらかとする。英数字だけの場合には1バイト系(半角)文字だけから構成するか、または全角文字だけから構成する。記号または仮名漢字を含む場合には英数字を含めすべて全角文字だけから構成するものとする。なお、いずれの場合にも、全角空白を含めないこととする。 最大 40 バイト。	1..1	M
6.10.2	@root	被保険者証等記号の OID。 「1.2.392.200119.6.204」を設定。	1..1	M
6.11	patientRole/id	被保険者証等番号	1..1	M

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

6.11.1	@extension	「被保険者証等番号」に対応する文字列。全角だけからなる文字列または半角だけからなる文字列のどちらかとする。英数字だけの場合には1バイト系(半角)文字だけから構成するか、または全角文字だけから構成する。記号または仮名漢字を含む場合には英数字を含めすべて全角文字だけから構成するものとする。なお、いずれの場合にも、全角空白を含めないこととする。	1..1	M
6.11.2	@root	被保険者証等番号のOID。 「1.2.392.200119.6.205」を設定。	1..1	M
6.12	patientRole/id	被保険者証等枝番 後期高齢者医療保険者においては本要素は出現させない。その他採番されない場合は「00」を設定する。	1..1	M
6.12.1	@extension	「被保険者証等枝番」に対応する文字列。数字2桁固定とする。	1..1	M
6.12.2	@root	被保険者証等枝番のOID。 「1.2.392.200119.6.211」を設定。	1..1	M
6.13	patientRole/addr/	受診者住所情報	1..1	M
6.13.1	text()	「受診者住所」に対応する受診券裏面に記入された受診者の住所を2バイト系だけからなる文字列で記録。郵便番号を含まず、空白を含めない。最大80バイト。	1..1	M
6.14	patientRole/addr/postalCode	受診者の郵便番号	1..1	M
6.14.1	text()	「受診者郵便番号」に対応する半角文字列。書式は、「###-####」([0-9]{3}-[0-9]{4}。ハイフンを含む)。8バイト固定。	1..1	M
6.15	patientRole/patient	受診者個人情報	1..1	M
6.16	patientRole/patient/name	受診者の氏名	1..1	M
6.16.1	text()	「受診者カナ氏名」に対応する全角カタカナ文字列で空白を含まない。姓と名の間にも空白をあけないこと。最大40バイト。	1..1	M
6.17	patientRole/patient/administrativeGenderCode	「受診者の性別」コード。	1..1	M
6.17.1	@code	受診者の性別コード 男=「1」、女=「2」。	1..1	M
6.17.2	@codeSystem	受診者の性別コードのコード体系を識別するOID。「1.2.392.200119.6.1104」を設定。	0..1	O
6.18	patientRole/patient/birthTime	受診者の生年月日。	1..1	M
6.18.1	@value	「受診者の生年月日」。書式は数字半角文字列で「YYYYMMDD」。	1..1	M

※1 整理用番号1～5は厚労省から配布された匿名化・提供システムで生成される項目である。

受診者情報のXMLサンプルを以下に示す。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

```

<ClinicalDocument>
...
<!-- 受診者情報 -->
<recordTarget>
<patientRole>
<!-- 保険者番号 -->
<id extension="12345678" root="1.2.392.200119.6.101" />
<!-- 被保険者証記号 -->
<id extension="あいう" root="1.2.392.200119.6.204" />
<!-- 被保険者証番号 -->
<id extension="11223344" root="1.2.392.200119.6.205" />
<!-- 被保険者証枝番 -->
<id extension="01" root="1.2.392.200119.6.211" />
<!-- 資格区分 -->
<id extension="1" root="1.2.392.200119.6.206" />
<addr>
<!-- 受診者の郵便番号 -->
<postalCode>123-0001</postalCode>
<!-- 受診者の住所 -->
東京都千代田区霞が関1-1-1
</addr>
<patient>
<!-- 氏名カナ -->
<name>スズキイチロウ</name>
<!-- 性別コード：男 -->
<administrativeGenderCode code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.1104" />
<!-- 受診者の生年月日（西暦） -->
<birthTime value="19720924" />
</patient>
</patientRole>
</recordTarget>
...
</ClinicalDocument>

```

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.2.3.2 ファイル作成機関の情報

本ファイル作成機関の情報として保険者側の情報を格納する部分となるが、特定健診の結果報告の場合すなわち XML 仕様 No.3.1 (/ClinicalDocument/code/@code) が「10」である場合には必ず保険者でもある。健診を実施した健診機関に関する情報は、author 要素で記述されるのではなく、documentationOf 要素中で記述されることになる。

表 5 に示す項目がこの要素（ファイル作成機関）で表現され、このうちファイル作成機関番号とファイル作成機関名称は必須である。

表 5 ファイル作成機関情報に含まれる項目

項目名	XML 仕様 No	XPath
ファイル作成機関番号	7.5.1	/ClinicalDocument/author/assignedAuthor/representedOrganization/id/@extension
ファイル作成機関名称	7.6.1	/ClinicalDocument/author/assignedAuthor/representedOrganization/name/text()
ファイル作成機関電話番号	7.7.1	/ClinicalDocument/author/assignedAuthor/representedOrganization/telecom/@value
ファイル作成機関住所	7.8.1	/ClinicalDocument/author/assignedAuthor/representedOrganization/addr/text()
ファイル作成機関郵便番号	7.9.1	/ClinicalDocument/author/assignedAuthor/representedOrganization/addr/postalCode/text()

ファイル作成機関情報の XML 仕様を表 6 に示す。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

表 6 作成機関情報 XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
7	/ClinicalDocument/author		1..1	M
7.1	time	ファイル作成日。このファイルの実際の作成日。XML 仕様 No.4 の effectiveTime と通常は同一の値であるが、3 月 31 日付けの報告 (effectiveTime) のファイルを、3 月 29 日に作成(本項目)したことを記録したい場合では、両者を異なる値とすることは可能。 受信側で特に利用されることはない。	1..1	M
7.1.1	@value	書式は「YYYYMMDD」	1..1	M
7.2	assignedAuthor	ファイル作成機関情報	1..1	M
7.3	assignedAuthor/id	ファイル作成機関識別子	1..1	M
7.3.1	@nullFlavor	HL7 ポキャブラリドメイン NullFlavor より「NI」を設定。	1..1	M
7.4	assignedAuthor/representedOrganization	ファイル作成機関	1..1	M
7.5	assignedAuthor/representedOrganization/id	ファイル作成機関の番号	1..1	M
7.5.1	@extension	「ファイル作成機関番号」に対応する文字列。保険者番号(8桁)を設定。	1..1	M
7.5.2	@root	ファイル作成機関のための OID を設定。保険者番号:「1.2.392.200119.6.101」	1..1	M
7.6	assignedAuthor/representedOrganization/name	ファイル作成機関の名称。	1..1	M
7.6.1	text()	「ファイル作成機関名称」文字列。	1..1	M
7.7	assignedAuthor/representedOrganization/telecom	ファイル作成機関の連絡先情報。	0..1	O
7.7.1	@value	電話番号。「tel:」で始まる文字列で数字だけとし、ハイフンやカッコなど区切り文字を含まない。例: "tel:0312345678" 「tel:」の 4 バイトを含めて最大 15 バイト。	1..1	M
7.8	assignedAuthor/representedOrganization/addr	ファイル作成機関の所在地情報。	0..1	O
7.8.1	text()	「ファイル作成機関住所」に対応する住所を全角文字列で記録。郵便番号を含まず、空白を含めない。最大 80 バイト。	1..1	M
7.9	assignedAuthor/representedOrganization/addr/postalCode	ファイル作成機関の所在地郵便番号情報。	0..1	O
7.9.1	text()	「ファイル作成機関郵便番号」に対応する半角文字列。書式は、「###-####」([0-9]{3}-[0-9]{4})。ハイフンを含む)。8 バイト固定。	1..1	M

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

ファイル作成機関の XML サンプルを以下に示す。

```

<ClinicalDocument>
...
<!-- ファイル作成機関情報 -->
<author>
  <time value="20250402" />
  <assignedAuthor>
    <id nullFlavor="NI" />
    <representedOrganization>
      <id extension="1234" root="1.2.392.200119.6.101" />
      <name>あいうえお健康保険組合</name>
      <telecom value="tel:0312345678" />
      <addr>
        <postalCode>112-0000</postalCode>
        東京都千代田区大手町1-2-3
      </addr>
    </representedOrganization>
  </assignedAuthor>
</author>
...
</ClinicalDocument>

```

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.2.3.3 ファイル作成管理責任機関情報

特定健診情報の送信のためには特に必要としていない情報であるが、HL7CDA 規格上は報告書管理責任機関情報として必須要素であるため表 7 のように記述する。
受信側は無視してよい。

ここでは、保険者が健診機関から受領するファイルに対して加工不要である。

表 7 ファイル作成管理責任機関情報 XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
8	/ClinicalDocument/custodian		1..1	M
8.1	assignedCustodian	ファイル作成管理責任機関情報	1..1	M
8.2	assignedCustodian/ representedCustodianOrganization	ファイル作成管理責任機関	1..1	M
8.3	assignedCustodian/ representedCustodianOrganization/id	ファイル作成管理責任機関の機関番号	1..1	M
8.3.1	@nullFlavor	“NI”を設定する。	1..1	M

ファイル作成管理責任機関情報の XML サンプルを以下に示す。

```

<ClinicalDocument>
...
<!-- ファイル作成管理責任機関情報 -->
<custodian>
  <assignedCustodian>
    <representedCustodianOrganization>
      <id nullFlavor="NI" />
    </representedCustodianOrganization>
  </assignedCustodian>
</custodian>
...
</ClinicalDocument>

```


特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.2.3.4 受診券情報

受診者が健診実施時に属した保険者の情報および、その保険者が発行した受診券に関する情報を表現する目的で存在する。表 8 に本仕様で使用する項目を示す。

特定健診当日、または 1 週間以内に特定保健指導の初回面接を実施できるセット券（特定健康診査＋特定保健指導）の場合、受診券の種別番号には「5」が設定される。

記載規則は最新の厚生労働省通知を参照すること。

ここでは、保険者が健診機関から受領するファイルに対して次の加工を行うことが必要である。

- 1) 表 9 XML仕様 No.9.3 : time 要素を削除
- 2) 同 No.9.6.2 : @root 属性を削除。
- 3) 同 No.9.7 : associatedEntity/scopingOrganization 要素を削除。

表 8 受診券情報へのマッピング項目

項目名	XML仕様 No	XPath
受診券整理番号	9.6.1	/ClinicalDocument/participant/associatedEntity/id/@extension

受診券情報の XML 仕様を表 9 に示す。

表 9 受診券情報の XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
9	/ClinicalDocument/participant		0..1	O
9.1	@typeCode	HL7 ボキャブラリドメイン ParticipationType から所有者を示す「HLD」を設定。	1..1	M
9.2	functionCode	受診券の情報であることを示す情報	1..1	M
9.2.1	@code	受診券券面種別コードを示す「1」を設定。	1..1	M
9.2.2	@codeSystem	受診券・利用券の券面種別コードのためのOID。「1.2.392.200119.6.208」を設定。	1..1	M
9.3	time	受診券の有効期間 <u>要素が出現しない</u>	0	X
9.5	associatedEntity	受診券と発行者の識別情報。	1..1	M
9.5.1	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン RoleClass から「IDENT」を設定。	1..1	M
9.6	associatedEntity/id	受診券整理番号	1..1	M
9.6.1	@extension	「 <u>受診券整理番号</u> 」に対応する文字列。数字 11 桁固定。	1..1	M
9.6.2	@root	本来は受診券整理番号のためのOIDを設定する属性であるが、本仕様では省略する(属性を出現させない)。 健診機関情報から受領するファイルにはOIDが設定されており、そのOIDには受診券を発行した保険者番号が含まれているため、OIDを削除することが必要である。 <u>属性が出現しない</u>	0	X
9.7	associatedEntity/scopingOrganization	受診券を発行した保険者の保険者情報 <u>要素が出現しない</u>	0	X

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

受診券の XML サンプルを以下に示す。

```
<ClinicalDocument>
...
<participant typeCode="HLD">
<functionCode code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.208" />
  <associatedEntity classCode="IDENT">
    <!-- 受診券番号 -->
    <id extension="11223344551" />
  </associatedEntity>
</participant>
...
</ClinicalDocument>
```

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.2.3.5 健診実施情報

健診実施情報を表現する。表 10 に示す項目が含まれる。健診実施機関の電話番号、住所、郵便番号は格納されない。

ここでは、保険者が健診機関から受領するファイルに対して次の加工を行うことが必要である。

- 1) 表 1 1 XML仕様 No.10.10 :
serviceEvent/performer/assignedEntity/representedOrganization/telecom
要素を削除。
- 2) 同 No.10.11、10.12 : serviceEvent/performer/assignedEntity/representedOrganization/addr
要素を削除。

表 10 健診実施情報に含まれる項目

項目名	XML仕様 No	XPath
健診実施時のプログラム種別	10.2.1	/ClinicalDocument/documentaionOf/serviceEvent/code/@code
健診実施年月日	10.3.1	/ClinicalDocument/documentaionOf/serviceEvent/effectiveTime/@value
健診実施機関番号	10.8.1	/ClinicalDocument/documentaionOf/serviceEvent/performer/assignedEntity/representedOrganization/id/@extension
健診実施機関名称	10.9.1	/ClinicalDocument/documentaionOf/serviceEvent/performer/assignedEntity/representedOrganization/name/text()

健診実施情報の XML 仕様を表 11 に示す。

表 11 健診実施情報 XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
10	/ClinicalDocument/documentationOf		1..1	M
10.1	serviceEvent	健診実施情報。	1..1	M
10.2	serviceEvent/code	健診プログラムサービスコード。 この健診プログラムサービスコードは、健診実施時にどのような区分として実施されたかを示す。	1..1	M
10.2.1	@code	健診機関から保険者が受領したファイル中に格納されている本情報をそのまま設定してもよい。 委託契約締結時に健診プログラムサービスコードに埋めるべきコードを保険者等（事業主含む）が指定し、健診実施機関にその指定値を設定することを求めても良い 保険者で健診プログラムサービスコードの確認を行い、誤ったコードが設定されていると判断した場合は、保険者において、健診プログラムサービスコードを適切と思われる値に、更新してもよい。 000: 不明	1..1	M

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

		010: 特定健診 020: 広域連合の保健事業 030: 事業者健診(労働安全衛生法に基づく健診) 040: 学校健診(学校保健安全法に基づく職員健診) 060: がん検診 090: 肝炎検診 990: 上記ではない健診(検診)		
10.2.2	@codeSystem	コード体系を識別するOID。「1.2.392.200119.6.1002」を設定。	1..1	M
10.2.3	@displayName	コードの表示名。コードに応じて「特定健診」「広域連合保健事業」「事業者健診」「学校健診」「がん検診」「肝炎検診」「その他検診」を設定。これらの文字列は人間が読んでコードに対応する意味がわかるために便宜上記述されるものであり、この文字列と完全に一致させる必要はなく、一致していることを要求するものでもない。省略可能。	0..1	O
10.3	serviceEvent/effectiveTime	健診の実施日	1..1	M
10.3.1	@value	「健診実施年月日」に対応する文字列。書式は「YYYYMMDD」。	1..1	M
10.4	serviceEvent/performer	健診プログラムサービスの実施者情報	1..1	M
10.4.1	@typecode	HL7 ポキャブラリドメイン より「PRF」を設定。	1..1	M
10.5	serviceEvent/performer/assignedEntity	健診実施機関情報	1..1	M
10.6	serviceEvent/performer/assignedEntity/id	健診実施機関識別子	1..1	M
10.6.1	@nullFlavor	HL7 ポキャブラリドメイン NullFlavor より「NI」を設定。	1..1	M
10.7	serviceEvent/performer/assignedEntity/representedOrganization	健診実施機関	1..1	M
10.8	serviceEvent/performer/assignedEntity/representedOrganization/id	健診実施機関の番号	1..1	M
10.8.1	@extension	「健診実施機関番号」に対応する文字列。数字10桁固定。保険者自らが実施した場合や、健診機関番号はない機関での実施形態の場合の設定値については厚労省通知を参照すること。	1..1	M
10.8.2	@root	健診実施機関のためのOIDを設定。健診機関:「1.2.392.200119.6.102」前項で保険者自らが実施した場合や、健診機関番号がない機関での実施形態の場合の設定値を使用した場合にも「1.2.392.200119.6.102」を設定する。	1..1	M
10.9	serviceEvent/performer/assignedEntity/representedOrganization/name	健診実施機関の名称。	1..1	M
10.9.1	text()	「健診実施機関名称」文字列。文字数の最大長は厚労省通知別紙を参照のこと。	1..1	M

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

10.10	serviceEvent/performer/assignedEntity/representedOrganization/telecom	健診実施機関の連絡先情報 要素が出現しない	0	X
10.11	serviceEvent/performer/assignedEntity/representedOrganization/addr	健診実施機関の所在地情報 要素が出現しない。	0	X
10.12	serviceEvent/performer/assignedEntity/representedOrganization/addr/postalCode	健診実施機関の所在地郵便番号情報 要素が出現しない。	0	X

健診実施情報の XML サンプルを以下に示す。

```

<ClinicalDocument>
...
<documentationOf>
  <serviceEvent>
    <code code="010" codeSystem="1.2.392.200119.6.1002"
      displayName="特定健診"/>
    <effectiveTime value="20240720"/>
    <performer typeCode="PRF">
      <assignedEntity>
        <id nullFlavor="NI" />
        <representedOrganization>
          <id extension="1234567890" root="1.2.392.200119.6.102" />
          <name>特定健診サービス</name>
        </representedOrganization>
      </assignedEntity>
    </performer>
  </serviceEvent>
</documentationOf>
...
</ClinicalDocument>

```

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.3 ボディ部

ボディ部には、特定健診で定められた結果情報（検査結果および問診結果）、および任意に追加された健診項目結果情報が含まれ、それぞれ CDA セクションとして表現される。

各セクションは、そのセクションの内容を人が解釈することを目的として構造化テキストとして記述する説明ブロック（Narrative Block）と、セクション内容を機械可読なデータとして記述するエン트리記述ブロック（Entry）から構成される。

説明ブロックは、**section** 要素内の **text** 要素に HTML に類似するタグを使って記述されるが、**text** 要素にすべての健診項目の結果を記述するとそれだけでファイルサイズが非常に大きくなること、および必要ならエン트리記述ブロック中のデータから説明ブロックデータを機械的に生成可能であること、の2つの理由により、本仕様では **text** 要素には限定された少数の項目だけを任意記述するものとし、その他の項目の記述は行わないこととする。

一方、エン트리記述ブロックは、**section** 要素の子要素となる **entry** 要素の繰り返して記述する。**section** 要素は、セクションの種別を示すセクションコードを表す **code** 要素を、子要素として含まなければならない。セクションコードを表 12 に示す。

本仕様では報告対象が特定健診で定められた検査結果・問診結果のみであることから、ボディ部には、特定健診検査・問診セクションのみを格納する。他のセクションは出現してはならない。

ここでは、保険者が健診機関から受領するファイルに対して次の加工を行うことが必要である。

健診機関等から保険者が受領するファイルには、特定健診検査・問診セクション以外のセクションが含まれることがあるので、その場合にはそれらのセクションは削除することが必要となる。具体的には、

/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/code/@code の値が"01010"でない場合には、その /ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section を削除する。

本節以降で必要となる加工は上記だけで、それ以外の加工は不要である。

表 12 健診データ CDA セクションの種類とコード

セクションコード	セクション名	説明
01010	特定健診検査・問診セクション	特定健診で定められた健診項目の検査結果および問診結果。本セクションはかならず1度だけ存在しなければならない。

ボディ部の XML 仕様を表 13 に示す。

表 13 ボディ部の XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11	/ClinicalDocument/component		1..1	M
11.1	structuredBody	構造化ボディ。	1..1	M
11.2	structuredBody/component	セクションへの包含関係情報。3.3.1 節で認識するように1個から3個の要素が存在する。	1..1	M
11.3	structuredBody/component/section	セクション情報。詳細は 3.3.1～3.3.3 節。	1..1	M

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

以下に CDA ボディの XML サンプルを示す。

```
<ClinicalDocument>
...
<!-- 健診情報、保健指導情報-->
<component>
  <structuredBody>
    <component>
      <section>
        <!-- 特定健診の検査・問診セクション（3.3.2節）-->
      </section>
    </component>
  </structuredBody>
</component>
</ClinicalDocument>
```

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.3.1 健診報告区分と CDA セクションの関係

本仕様では特定健診セクション以外は使わないため、本節は不要であるが、健診機関健診情報ファイル仕様説明書と章・節番号の整合を取るために残した。

3.3.2 特定健診検査・問診セクション

本セクションおよびそれ以降最終ページまでの記述は、正誤表の反映および文字色や文字スタイルおよび表 14 (11.4.1) のセクションコードの制限と表 18(11.14) 医師の氏名の削除に関する記述を除き、健診機関健診情報ファイル仕様説明書と完全に同一である。

3.3.2.1 セクション部仕様

検査や問診結果の情報は、単一のセクションで表現され、人が解釈するための説明ブロックと、各検査項目に対応する機械可読表現である複数の **entry** 要素を含む。セクションコードには前節の表に従い、特定健診報告の場合には健診データ CDA セクションコードのうち「01010」を指定する。

検査・問診結果セクションの XML 仕様を表 14 に示す。

表 14 検査・問診結果セクション XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.3	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		1..1	M
11.4	code	CDA セクションコード。	1..1	M
11.4.1	@code	CDA セクションコード「01010」を設定。 これ以外のセクションコードは認められない。	1..1	M
11.4.2	@codeSystem	CDA セクションコードのコード体系を示す OID。「1.2.392.200119.6.1010」を設定。	1..1	M
11.4.3	@displayName	CDA セクションコードの表示名。「検査・問診結果セクション」を設定。	0..1	O
11.5	title	CDA セクションタイトル。	0..1	O
11.5.1	text()	CDA セクションタイトルを示す文字列。「検査・問診結果セクション」を設定。	1..1	M
11.6	text	CDA セクションのテキスト記述。	1..1	M
11.6.1	text()	CDA セクションのテキスト記述。詳細は 3.3.2.2 節。	1..1	M
11.7	entry	健診項目の機械可読表現。詳細は 3.3.2.3 節。	1..*	M

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

検査・問診結果セクションの XML サンプルを以下に示す。

```
<section>
  <code code="01010" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
    displayName="検査・問診結果セクション"/>
  <title>検査・問診結果セクション</title>
  <text>
    <!-- 検査・問診結果セクション テキスト記述 (3.3.2.2 節) -->
  </text>
  <!-- 検査・問診結果セクション 機械可読記述 (1つ以上の entry) -->
  <entry>
    ...
  </entry>
  <entry>
    ...
  </entry>
  ...
</section>
```

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.3.2.2 テキスト部（説明ブロック）仕様

検査・問診結果セクションの内容を人が解釈するための情報を記述する説明ブロックには、**list** 要素および **item** 要素を使用して、検査項目とその結果値を表現する。各健診項目に対して、1 つの **item** 要素が対応する。**item** 要素のテキスト内容の書式は、

「**項目名 検査結果テキスト**」（空白は半角スペース）

とし、検査結果テキストは、検査結果セクションパターン①およびパターン②によって、以下の値を指定する（パターンについての説明は、3.3.2.3 エントリ部仕様を参照のこと）。

パターン①「**検査結果 表示用単位**」（空白は半角スペース）

パターン②「**検査結果コード表示名**」

また未実施の項目の場合、検査結果テキストは「**未実施**」を設定し、測定不可能の場合は「**測定不可能**」を設定する。

さらに、測定値が入力許容範囲外（入力最小値以下または入力最大値以上）の場合には、パターン①の表記に加え「**H**」または「**L**」を出現させる。

検査基準値に基づく判定結果は記述しない。

ファイルサイズをコンパクトにするため、説明ブロックに記述する項目は表 15 に掲げた項目だけに限定するものとする。またこれらについても任意である。まったく記述しなくてもよいがその場合でも **text** 要素は必須である。

表 15 検査結果項目説明ブロック仕様

項目名	単位(表示用)
身長	cm
体重	kg
BMI	kg/m ²
腹囲	cm
メタボリックシンドローム判定	
保健指導レベル	

表 16 検査結果セクション説明ブロック XML 仕様

XML-No	XPath	説明	多重度	選択性
11.6	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/text		1..1	M
	list	説明ブロック 検査項目リスト	0..1	O
	list/item	検査項目	1..*	M
	text()	検査項目内容を表すテキスト。書式は「 項目名 検査結果テキスト 」（空白は半角スペース）で検査結果テキストは、以下のいずれかとする。 「 未実施 」 ……未実施の場合 「 測定不可能 」 ……測定不可能の場合 「 測定値 単位(表示用) H 」 ……検査項目パターン①で入力最大値以上の場合 「 測定値 単位(表示用) L 」 ……検査項目パターン①で入力最小値以下の場合 「 測定値 単位(表示用) 」 ……上記以外の検査項目パターン① 「 検査結果コード表示名 」 ……上記以外の検査項目パターン②	1..1	M

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

[text 要素を記述する例](#)

```

<section>
  <code code="01010" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
  displayName="検査・問診結果セクション" />
  <title>検査・問診結果セクション</title>
  <text>
    <list>
      <item>身長 176.6 cm</item>
      <item>体重 77.5 kg</item>
      <item>BMI 25.5 kg/m2</item>

      <item>BMI 120 kg/m2 H</item>
      ※上記の行は、本記載例中の BMI 算出によるものではなく、入力許容範囲を外れた場合
      の記載例として示すものである。重複出現を許している訳ではない。

      <item>腹囲 85cm</item>
      <item>メタボリックシンドローム判定 予備群該当</item>
      <item>保健指導レベル 積極的支援</item>
    </list>
  </text>
  ...
</section>

```

[text 要素になにも記述しない例](#)

```

<section>
  <code code="01010" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="検査・問診結果セクション" />
  <title>検査・問診結果セクション</title>
  <text />
  ...
</section>

```

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.3.2.3 エントリ部仕様

検査・問診結果セクションに含まれる項目は、その結果値のとりうる値により、

- ① 検査結果が定量値で表現される項目
- ② 検査結果がコード値（定性結果、所見解釈コード）で表現される項目

の2つのパターンに分類することができる。検査項目の機械可読な表現を記述する **entry** 要素の XML 仕様は、その項目がどちらのパターンに該当するかによって決定される。以下に、それぞれのパターンの XML 仕様を示す。

3.3.2.3.1 検査・問診結果セクションエントリ部パターン①

健診結果が単一の物理量（実数値と単位の組）で表現される項目であり、本仕様とは別に公開される「XML 用特定健診項目情報」の XML データ型が「PQ」である項目が該当する。このパターンに含まれる検査項目では、各項目で、表 17 に示す(1)から(13)の値を設定する。項目によってそれぞれ設定する値が異なるものや、設定する必要のないものが存在する。それらの仕様を表 17 に示す。なお表 17 および表 18 は、パターン①およびパターン②の両方に使用できるよう記述してある。

3.3.2.3.2 一連検査グループの考え方

「貧血検査の複数項目の検査結果とその検査を実施した理由情報」、あるいは「胸部 X 線検査所見とそのフィルム番号」などのように、ある検査結果は、それに付帯する情報（付帯情報）とともに現れることがある。このような付帯情報を単に検査結果と並列に並べてしまうと、付帯情報とその検査項目の付帯情報であったかを識別することが困難になる場合がある。そこで、このように1個以上の検査結果とその付帯情報をひとつのグループとしてまとめて記述する仕組みを導入することが必要である。このような目的で導入されるグループを本仕様書では「一連検査グループ」と呼んでいる。

一連検査グループとしてグルーピングされない複数の検査結果は、「entry 要素の中に observation 要素が1個ネスティングされた構造」の繰り返しとして記述される。つまり entry/observation が各検査項目を記述している。

これに対して、一連検査グループとしてグルーピングされる複数の検査結果およびその付帯情報は、entry 要素の直下に一連検査グループをくくるための observation 要素がひとつだけ出現し、その内部に「entryRelationship 要素の中に observation 要素が1個ネスティングされた構造」の繰り返しとして各検査結果および付帯情報が記述される。つまり、entry/observation はグループをくくる単位となり、その子要素として entryRelationship/observation が各検査項目を記述している。

各 entryRelationship 同士の関係は、entryRelationship/@typeCode により記述され、詳細は本仕様のボキャブラリ仕様「行為間関係種別コード」に記載されており以下のようなものがある。

- COMP：包含関係（組み合わせ関係）
- RSON：他の項目への理由関係

本仕様では、現在までに本仕様に関連する厚労省の資料で公表されている項目のうち、次表に示すものをそれぞれ一連検査グループとしてまとめることとしている。なお随時血糖については食後採血時間とともに一連検査グループにすべきところであるが、厚生労働省の特定健診項目資料では食後採血時間を独立した項目情報として取り扱うこととしたので、それにあわせて食後採血時間に関する情報を随時血糖値とグループ化することを取りやめた（2007.10.29）。

中性脂肪(トリグリセリド)と食後採血時間についてもグループ化しないとした（2023.03.31）。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

グループ	行為間関係種別コード	検査項目または情報項目
特定健診において医師の判断があつて実施される貧血検査	COMP	ヘマトクリット値
	COMP	血色素量（ヘモグロビン）
	COMP	赤血球数
	COMP	MCV、MCH、MCHC（特定健診報告では不要）
	COMP	白血球（特定健診報告では不要）
	COMP	血小板（特定健診報告では不要）
	RSON	貧血検査実施理由※1
心電図検査	COMP	心電図所見の有無
	COMP	心電図所見
	RSON	心電図（対象者）※2
	RSON	心電図実施理由※1
胸部 X 線 直接・がん健診	COMP	胸部エックス線検査（がん：直接）
	COMP	胸部エックス線検査撮影年月日（直接）
	COMP	胸部エックス線検査フィルム番号（直接）
胸部 X 線 直接・一般健診	COMP	胸部エックス線検査（一般：直接）所見の有無
	COMP	胸部エックス線検査（一般：直接）所見
	COMP	胸部エックス線検査撮影年月日（直接）
	COMP	胸部エックス線検査フィルム番号（直接）
胸部 X 線 間接・一般健診	COMP	胸部エックス線検査（一般：間接）所見の有無
	COMP	胸部エックス線検査（一般：間接）所見
	COMP	胸部エックス線検査撮影年月日（間接）
	COMP	胸部エックス線検査フィルム番号（間接）
胸部 X 線 直接・がん健診	COMP	胸部エックス線検査（がん：間接）
	COMP	胸部エックス線検査撮影年月日（間接）
	COMP	胸部エックス線検査フィルム番号（間接）
胸部 CT 直接・がん健診	COMP	胸部 CT 検査（がん）
	COMP	胸部 CT 検査撮影年月日
	COMP	胸部 CT 検査フィルム番号
胸部 CT 直接・一般健診	COMP	胸部 CT 検査（所見の有無）
	COMP	胸部 CT 検査（所見）
	COMP	胸部 CT 検査撮影年月日
	COMP	胸部 CT 検査フィルム番号
上部消化管検査	COMP	上部消化管エックス線（所見の有無）
	COMP	上部消化管エックス線（所見）
	COMP	上部消化管エックス線撮影年月日
	COMP	上部消化管エックス線フィルム番号
眼底検査	COMP	眼底検査（いずれかの分類あるいはその他の所見）の1項目
	RSON	眼底検査（対象者）※2
	RSON	眼底検査（実施理由）※1
生活機能評価	COMP	生活機能評価1
	COMP	生活機能評価2
	COMP	生活機能評価3
血清クレ	COMP	血清クレアチニン
	COMP	eGFR

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

アチニン 検査	RSON	血清クレアチニン（対象者）※2
	RSON	血清クレアチニン（実施理由）※1

※1：特定健診以外の健診において医師の判断によらず契約で実施が予定されていた場合や、特定健診の詳細な項目として実施されたのではない場合にはこの項目は存在しなくてもよいが、その場合にもグループ化はするものとする。

※2：詳細な健診として実施している場合、同じグループの検査結果および実施理由と併せて必ず出現する。（詳細な項目として実施していない場合は出現しなくてもよいが、出現させる場合、「0（詳細な健診の項目以外で実施）」を設定する）

表 17 検査結果項目パターン①②で指定するデータ

No	項目名	値	備考	XML 仕様 No
(1)	検査項目コード	検査項目に対応するコードを指定。本仕様とは別に公開される「XML 用特定健診項目情報」の「 <u>項目コード</u> 」に収載されており、JLAC10-17 桁コードにもとづいて厚生労働省および関連団体で特定健診項目コードとして取り決めたコードを使用する。		11.9.1
(2)	検査項目コード体系 OID	1.2.392.200119.6.1005		11.9.3
(3)	検査項目コード表示名	項目に対応するコード値の表示名（「XML 用特定健診項目情報」の「 <u>項目名</u> 」を参照）を設定。		11.9.4
(4)	検査結果データ型	検査結果のコードのデータ型。「XML 用特定健診項目情報」の「 <u>XML データ型</u> 」を設定。パターン①の場合、「PQ」 パターン②の場合、 1) 順序付コード値を示す「CO」。 2) 順序なしコード型を示す「CD」。 3) 文字列型を示す「ST」。	未実施、測定不可能の場合は出現しない。	11.11.1
(5)	結果	パターン①の場合、測定値の実数部（物理量）。入力許容範囲外（入力最小値以下または入力最大値以上）の場合については 3.3.2.3.3 節参照。「XML 用特定健診項目情報」の「数値型の場合の形式」に従うこと。パターン②の場合、結果を示すコードまたは文字列	未実施、測定不可能の場合は出現しない。	パターン①の場合、11.11.2 パターン②の場合、11.11.5 および 11.11.9
(6)	単位コード	パターン①の場合、「XML 用特定健診項目情報」の「 <u>XML 用単位</u> 」を設定。コード体系 UCUM で定められた表記に従っている。 <u>表示用の単位コードと異なる場合があることに注意</u> 。検査値に単位がない場合には出現しない。パターン②の場合には出現しない。	未実施、測定不可能の場合は出現しない。	11.11.3
(7)	結果コード体系 OID	パターン①の場合には出現しない。	未実施、測定不可能の場合	11.11.6

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

		パターン②の場合、結果を示すコードテーブルのOID。「XML用特定健診項目情報」の「結果コードOID」を設定。	は出現しない。	
(8)	結果コード表示名	パターン①の場合には出現しない。パターン②の場合、結果を示すコードに対応するコード表示名。	未実施、測定不可能の場合には出現しない。	11.11.8
(9)	検査法コード	検査法の指定が必要な項目のみ出現し、「XML用特定健診項目情報」の「XML検査方法コード」を設定。	検査法の指定がない項目、及び、未実施の場合には出現しない。	11.13.1
(10)	検査法コード体系OID	検査法の指定が必要な項目のみ出現し、「特定健診項目コード表(XML用)」の検査方法コードを表すOID「1.2.392.200119.6.1007」を設定。	検査法の指定がない項目、及び、未実施の場合には出現しない。	11.13.2
(11)	検査基準下限値	検査基準値が設定される項目のみ出現し、項目に設定された検査基準下限値を設定。「XML用特定健診項目情報」の「数値型の場合の形式」に従うこと。	検査基準値が設定される項目のみ出現。未実施の場合には出現しない。	11.20.1
(12)	検査基準下限値単位コード	検査基準値が設定される項目のみ出現し、(6)と同一の単位コードを設定。検査値に単位がない場合には出現しない。	検査基準値が設定される項目のみ出現。未実施の場合には出現しない。	11.20.2
(13)	検査基準上限値	検査基準値が設定される項目のみ出現し、項目に設定された検査基準上限値を設定。「XML用特定健診項目情報」の「数値型の場合の形式」に従うこと。	検査基準値が設定される項目のみ出現。未実施の場合には出現しない。	11.21.1
(14)	検査基準上限値単位コード	検査基準値が設定される項目のみ出現し、(6)と同一の単位コードを設定。検査値に単位がない場合には出現しない。	検査基準値が設定される項目のみ出現。未実施の場合には出現しない。	11.21.2
(15)	結果解釈コード	① 測定値が検査基準範囲外の場合：測定値が検査基準上限値を超える場合は「H」、検査基準下限値未満の場合は「L」を設定。 ② 検査基準値が設定されている項目で、測定値が検査基準範囲内の場合には「N」を設定。値が「N」の場合には省略できる。 ③ 検査基準値が設定されない項目：要素自体が出現しない。	検査基準値が設定される項目のみ出現。未実施の場合には出現しない。値が「N」の場合には省略できる。	11.12.1
(16)	食後経過時間	検査項目が「空腹時血糖」「随時血糖」および「空腹時中性脂肪(トリグリセリド)」「随時中性脂肪(トリグリセリド)」の場合、分単位で設定。	未実施の場合には出現しない。	11.10.2
(17)	結果を記録した者の氏名	氏名を文字列で設定。	結果を記録した医師名などを記述する場合に使用する。	11.15.2

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

検査結果セクションパターン①②の XML 仕様を表 18 に示す。

表 18 検査結果項目パターン①② XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.7	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry（一連検査グループレベルまたは、一連検査グループに属さない項目のエントリの場合）、または /ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry/observation/entryRelationship（一連検査グループを構成する各項目のエントリの場合）		1..*	M
11.8	observation	検査結果情報	1..1	M
11.8.1	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass から、観察行為を示す「OBS」を設定。	1..1	M
11.8.2	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン AntMood から、結果情報を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.8.3	@negationInd	検査が未実施の場合「true」を設定。それ以外の場合は「false」を設定。スキーマにより false をデフォルトに設定してあるため、false の場合には省略可能。	0..1	O
11.9	observation/code	健診項目コード。項目によって使用するコード体系が異なる。	1..1	M
11.9.1	@code	表 17「(1) 検査項目コード」。 一連検査グループレベルを問わず場合でグループコードが存在しない場合には出現しない。observation 要素が entryRelationship の子要素である場合には、必ず検査項目コードが格納される。 (注)本仕様では一連検査グループを問わずグループコードは公表されていないので存在しない。	0..1	O
11.9.2	@nullFlavor	一連検査グループを問わず場合で、グループコードが存在しない場合には nullFlavor="NA"とする (貧血検査、心電図検査、眼底検査、血清クレアチニン検査など検査とその理由などがグループ化される場合に使用される。後述のサンプルも参照のこと) observation 要素が entryRelationship の子要素である場合には、出現しない。	0..1	O
11.9.3	@codeSystem	表 17「(2) 検査項目コード OID」。 デフォルト値 = 1.2.392.200119.6.1005 の場合には省略する。 @nullFlavor (11.9.2)が記述される場合には出現しない。	0..1	O
11.9.4	@displayName	表 17「(3) 検査項目コード表示名」。通常省略する。@nullFlavor (11.9.2)が記述される場合には出現しない。	0..1	O

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

11.10	observation/effectiveTime	時間情報を記述。 observation/code/@code が、血糖値および中性脂肪(トリグリセリド)とともにグループ化される食後時間値をコードで記述するために使用されている場合において、コード記述に加えて経過時間を分でも記述したい場合にだけ出現する。その必要がない場合は出現しない。	0..1	O
11.10.1	width	時間情報のための要素。	1..1	M
11.10.2	width/@value	食後経過時間の分単位の値。	1..1	M
11.10.3	width/@unit	単位コード UCUM より「min」を指定。	1..1	M
11.11	observation/value	検査結果値。未実施の場合にはこの要素は出現しない。測定値が入力許容範囲外(入力最小値以下または入力最大値以上)の場合には 3.3.2.3.3 節参照。 code/@code (11.9.1)が一連検査グループコードである場合や @nullFlavor (11.9.2)が記述される場合には出現しない。	0..2	O
11.11.1	@xsitype	表 17「(4) 検査結果データ型。	1..1	M
11.11.2	@value	パターン①の場合、表 17「(5) 結果」。測定不可能の場合は出現しない。 パターン②の場合、出現しない。	0..1	O
11.11.3	@unit	パターン①の場合、表 17「(6) 単位コード」。測定不可能の場合は出現しない。 また検査値に単位がない場合には出現しない。 パターン②の場合、出現しない。	0..1	O
11.11.4	@nullFlavor	測定不可能の場合のみ、HL7 ポキャブラリドメイン NullFlavor から、「NI」を指定。 その他の場合はこの属性は出現してはならない。	0..1	O
11.11.5	@code	パターン②の場合、表 17「(5) 結果」。測定不可能の場合および @xistype が「ST」の場合は出現しない。 パターン①の場合には出現しない。	0..1	O
11.11.6	@codeSystem	パターン②の場合、表 17「(7) 結果コード体系 OID」。測定不可能の場合および @xistype が「ST」の場合は出現しない。 パターン①の場合には出現しない。	0..1	O
11.11.7	@codeSystemName	パターン①で結果があらかじめ決められた入力許容範囲外(入力最小値以下または入力最大値以上)の場合に、結果をコード化して設定した場合にのみ使用し、「 ObservationInterpretation 」という文字列を設定。(セクション 3.3.2.3.3 入力許容範囲外(入力最小値以下または入力最大値以上)の場合の測定値の記述、	0..1	O

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

		および表19を参照のこと。		
11.11.8	@displayName	パターン②の場合、表 17「(8) 検査項目コード表示名」。測定不可能の場合および@xsi:type が「ST」の場合は出現しない。 パターン①の場合には出現しない。	0..1	O
11.11.9	text()	パターン②の場合で、@xsi:type が「ST」の場合の結果値。 未実施の場合および@xsi:type が「ST」以外の場合には出現しない。 パターン①の場合には出現しない。	0..1	O
11.12	observation/interpretationCode	結果解釈コード。測定不可能、未実施の場合には出現しない。測定値が検査基準範囲内（検査基準上限値以下かつ検査基準下限値以上）の場合には省略できる。code/@code (11.9.1) が一連検査グループコードである場合や@nullFlavor (11.9.2) が記述される場合には出現しない。	0..1	O
11.12.1	@code	表 17「(15) 結果解釈コード」。	1..1	M
11.13	observation/methodCode	検査方法コード。検査方法が指定されている項目について設定。未実施の場合には出現しない。code/@code (11.9.1) が一連検査グループコードである場合や@nullFlavor (11.9.2) が記述される場合には出現しない。	0..1	O
11.13.1	@code	表 17「(9) 検査法コード」。	1..1	M
11.13.2	@codeSystem	表 17「(10) 検査法コード体系 OID」。「1.2.392.200119.6.1007」を設定。 XML スキーマによりデフォルト値として 1.2.392.200119.6.1007 が設定されているため、本属性は省略可能である。	0..1	O
11.14	observation/author	結果の記録に関する情報 医師の所見など、一部の情報項目についてのみ、所見記載者の氏名を格納するために出現する。「健診機関健診情報ファイル仕様説明書」では 存在するが法定報告時は削除すること 。	0	X
11.14.1	time/@nullFlavor	「NI」を設定。	0	X
11.15	observation/author/assignedAuthor	結果の記録者の情報	0	X
11.15.1	id/@nullFlavor	「NI」を設定。	0	X
11.15.2	assignedPerson/name/text()	表 17「(17)結果の記録者の氏名」を設定。形式は問わない。	0	X
11.16	observation/entryRelationship	observation/code が一連検査グループに属する項目情報を格納する場合に必ず出現し、一連検査グループを構成する各項目ごとに1組のentryRelationship/observation(11.8)構造	0..*	O

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

		として出現する。		
11.16.1	@typeCode	血糖および中性脂肪検査の食後経過時間を記述する場合には、HL7 ポキャブラリドメイン ActRelationship より参照情報であることを意味する「REFR」を設定。 code/@code が一連検査グループコードである場合には、一連検査グループを構成する個々の検査結果を表現するために、「COMP」を指定。同じく、一連検査グループを構成する検査理由を表現するために、「RSON」を設定。	1..1	M
11.16.2	observation	一連検査グループを構成する各項目が entryRelationship/observation(11.8)構造として出現する。この observation の仕様は本表の 11.8 を再帰的に参照すること。	1..1	M
11.17	observation/referenceRange	検査基準値情報。 observation/value/@xsi:type が PQ など定量値の場合であって検査基準値情報が存在する場合には出現しなければならない。それ以外では出現しない。	0..1	O
11.18	observation/referenceRange/observationRange	検査基準値。	1..1	M
11.18.1	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass から、観察行為を示す「OBS」を設定。	1..1	M
11.18.2	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン AntMood から、結果情報を示す「EVN. CRT」を設定。	1..1	M
11.19	observation/referenceRange/observationRange/value	検査基準範囲。検査基準上限値以上かつ検査基準下限値以下以上。	1..1	M
11.19.1	@xsi:type	物理量の区間を表す「IVL_PQ」固定。	1..1	M
11.20	observation/referenceRange/observationRange/value/low	検査基準下限値。	1..1	M
11.20.1	@value	表 17「(11) 検査基準下限値」。	1..1	M
11.20.2	@unit	表 17「(12) 検査基準下限値単位」。 11.11.3 で設定したコードと同一。検査値に単位がない場合には出現しない。	0..1	O
11.21	observation/referenceRange/observationRange/value/high	検査基準上限値。	1..1	M
11.21.1	@value	表 「(13) 検査基準上限値」。	1..1	M
11.21.2	@unit	表 「(14) 検査基準上限値単位」。 11.11.3 で設定したコードと同一。検査値に単位がない場合には出現しない。	0..1	O

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

【サンプル①－１】 検査結果セクションパターン①の entry 要素のサンプルを示す。

検査項目：空腹時中性脂肪(トリグリセリド) 項目コード="3F015000002327101" 測定値=100 mg/dl

検査基準値=下限値 50、上限値 150

測定法=可視吸光光度法（酵素比色法・グリセロール消去）検査法コード 3F01510000

結果解釈コード="N"

（サンプル中の検査基準値やデータ、コードはあくまでXML形式をサンプルとして示すためであり、ここに記述されている値そのものをそのまま使用してはいけない）

```
<entry>
  <observation classCode="OBS" moodCode="EVN" negationInd="false">
    <code code="3F015000002327101" />
    <value xsi:type="PQ" value="100" unit="mg/dL" />
    <interpretationCode code="N" />
    <methodCode code="3F01510000" codeSystem="1.2.392.200119.6.1007" />
    <referenceRange>
      <observationRange classCode="OBS" moodCode="EVN.CRT">
        <value xsi:type="IVL_PQ">
          <low value="50" unit="mg/dL" />
          <high value="150" unit="mg/dL" />
        </value>
      </observationRange>
    </referenceRange>
  </observation>
</entry>
```

【サンプル①－２】 「易疲労感の訴えあり」という理由で医師の判断により貧血検査セットとして、血色素量と赤血球数が実施された場合のサンプルを示す。一連検査グループの記述例である。

検査項目：血色素量 項目コード="2A030000001930101" 測定値=15.0 mg/dl

検査基準値：下限値 12.5 上限値 15.9 結果解釈コード="N"

検査項目：赤血球数 項目コード="2A020000001930101" 測定値=500 万/mm³

検査基準値：下限値 427 上限値 570 結果解釈コード="N"

検査理由：項目コード="2A020161001930149" 易疲労感の訴えあり ST型（文字列型）

（サンプル中の検査基準値やデータ、コードはあくまでXML形式をサンプルとして示すためであり、ここに記述されている値そのものをそのまま使用してはいけない）

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

```

<entry>
  <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
    <code nullFlavor="NA" />
    <!-- 血色素量 -->
    <entryRelationship typeCode="COMP">
      <observation classCode="OBS" moodCode="EVN" negationInd="false">
        <code code="2A030000001930101" />
        <value xsi:type="PQ" value="15.0" unit="g/dL" />
        <interpretationCode code="N" />
        <referenceRange>
          <observationRange classCode="OBS" moodCode="EVN.CRT">
            <value xsi:type="IVL_PQ">
              <low value="12.5" unit="g/dL" />
              <high value="15.9" unit="g/dL" />
            </value>
          </observationRange>
        </referenceRange>
      </observation>
    </entryRelationship>

    <!-- 赤血球数 -->
    <entryRelationship typeCode="COMP">
      <observation classCode="OBS" moodCode="EVN" negationInd="false">
        <code code="2A020000001930101" />
        <value xsi:type="PQ" value="500" unit="10*4/mm3" />
        <interpretationCode code="N" />
        <referenceRange>
          <observationRange classCode="OBS" moodCode="EVN.CRT">
            <value xsi:type="IVL_PQ">
              <low value="427" unit="10*4/mm3" />
              <high value="570" unit="10*4/mm3" />
            </value>
          </observationRange>
        </referenceRange>
      </observation>
    </entryRelationship>

    <!-- 貧血検査実施理由 -->
    <entryRelationship typeCode="RSON">
      <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
        <code code="2A020161001930149" />
        <value xsi:type="ST">易疲労感の訴えあり</value>
      </observation>
    </entryRelationship>
  </observation>
</entry>

```

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.3.2.3.3 測定値が入力許容範囲外の場合の測定値の記述

測定値が項目毎に指定された入力許容範囲外（入力最小値以下または入力最大値以上）の場合、測定値は実測値に加え、「H」（以上）または「L」（以下）を示すコード値も併せて出現させる。具体的には value 要素をコード型、数値型を各 1 回出現させれば良い。両者の順番については、どちらが先に出現しても問題ない。以上のルールを模式的に示すと、次のようにまとめることができる。

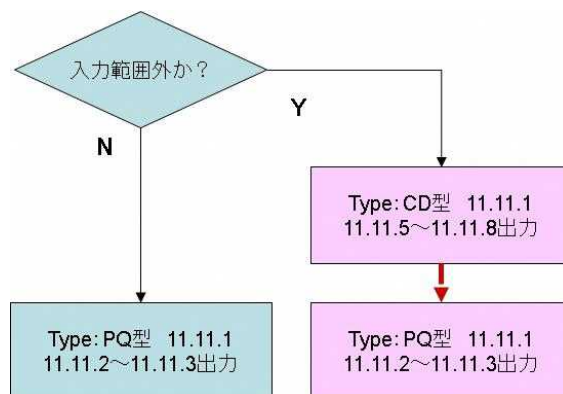


表 19 検査結果セクションエントリ部パターン① XML 仕様（入力許容範囲外の場合の測定値の指定）

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.8 (再掲)	/ClinicalDocument/component/section/entry/observation		1..1	M
11.11 (再掲)	value	測定値が入力許容範囲外（入力最小値以下または入力最大値以上）の場合の測定結果の記述。未実施の場合は出現しない。	0..2	O
11.11.1 (再掲)	@xsi:type	コード型を表す「CD」を設定。	1..1	M
11.11.5 (再掲)	@code	HL7 ボキャブラリドメイン Observation Interpretation より、入力最大値以上の場合は「H」、入力最小値以下の場合は「L」を設定。	0..1	O
11.11.6 (再掲)	@codeSystem	HL7 ボキャブラリドメイン Observation Interpretation を示す「2.16.840.1.113883.5.83」を設定。	0..1	O
11.11.7 (再掲)	@codeSystemName	「Observation Interpretation」を設定。	0..1	O
11.11.8 (再掲)	@displayName	入力最大値以上の場合は「以上」、入力最小値以下の場合は「以下」という文字列を設定。	0..1	O
11.11 (再掲)	value	測定値が入力許容範囲外（入力最小値以下または入力最大値以上）の場合の測定結果の記述。未実施の場合は出現しない。	0..2	O
11.11.1 (再掲)	@xsi:type	数値型を表す「PQ」を設定。	1..1	M
11.11.2 (再掲)	@value	表 17「(5) 結果」。	0..1	O
11.11.3 (再掲)	@unit	表 17「(6) 単位コード」。	0..1	O

★補足情報：ここで記載されている入力最大値、入力最小値とは、厚労省標準的な健診・保健指導に関するプログラム（改定版）別紙 7-3 に記載されている「入力最大値」「入力最小値」のことである。また、入力許容範囲とは、「入力最小値<入力許容範囲<入力最大値」で表される値の範囲のことである。

測定値が最大バイト長（*1）の表現範囲を超えた場合は、表現範囲の最大値を記載する。

*1) XML 用特定健診項目情報（電子的な標準様式の仕様に関する資料 付属資料 2）の「文字列換算（全角 2 バイト、半角 1 バイト）時の最大バイト長」、「数値型の場合の形式」を参照のこと。

「数値型の場合の形式」が、「NNNNN」ならば、「99999」を記載する。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

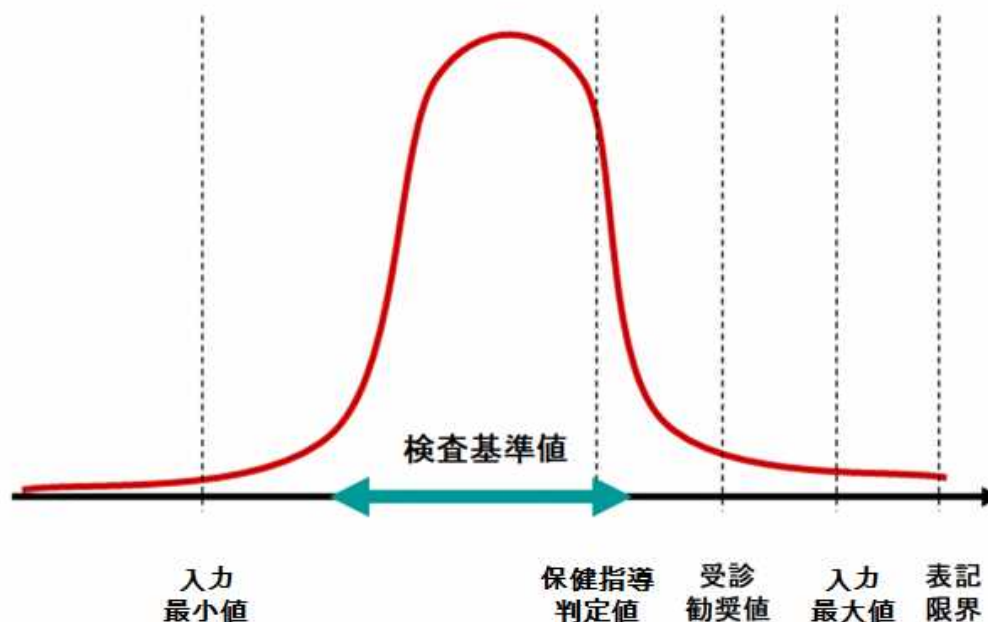
サンプルを下に示す。

```

<entry>
<observation classCode="OBS" moodCode="EVN" negationInd="false">
  <code code="3F01500002327101" />
  <value xsi:type="PQ" value="2000" unit="mg/dL" />
  <value xsi:type="CD" code="H" codeSystem="2.16.840.1.113883.5.83"
    displayName="以上" />
  <interpretationCode code="H" />
  <methodCode code="3F0150000"
    codeSystem="1.2.392.200119.6.1007" />
  <referenceRange>
    <observationRange classCode="OBS" moodCode="EVN.CRT">
      <value xsi:type="IVL_PQ">
        <low value="50" unit="mg/dL" />
        <high value="150" unit="mg/dL" />
      </value>
    </observationRange>
  </referenceRange>
</observation>
</entry>

```

入力許容範囲外（入力最小値以下または入力最大値以上）の場合に保健指導レベル判定等に利用可能であるかについてだが、入力最大値以上であってもメタボリックシンドローム判定・保健指導レベル判定値を超過しておりリスクカウント可能であることが確認できることから、メタボリックシンドローム判定・保健指導レベル判定等に利用しても問題ない。



特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.3.2.3.4 検査結果セクションエントリ部パターン②

検査結果が定性値もしくは半定量値で表現される項目であり、本仕様とは別に公開される「XML用特定健診項目情報」のXMLデータ型が「CD」、「CO」、「ST」である項目が該当する。

XML仕様は、表 17 および表 18 に記載されている。

検査結果セクションパターン②の entry 要素のサンプルを以下に示す。

【サンプル②-1】

検査項目：眼底検査（キースワグナー分類） 表示名="眼底検査KW分類"

測定値：分類 I （コード値=2）

データ型：CO

眼底検査（キースワグナー分類）コード表のOID=1.2.392.200199.6.2110

サンプル中の検査基準値やデータ、コードはあくまでXML形式をサンプルとして示すためであり、ここに記述されている値そのものをそのまま使用してはいけない

```
<entry>
  <observation classCode="OBS" moodCode="EVN" negationInd="false">
    <code code="9E100166000000011" displayName="眼底検査KW分類"/>
    <value xsi:type="CO" code="2" codeSystem="1.2.392.200199.6.2110"
      displayName=" I "/>
  </observation>
</entry>
```

【サンプル②-2】

検査項目：他覚症状所見 表示名="他覚所見"

結果値："胸部くも状血管あり"

データ型：ST

サンプル中の検査基準値やデータ、コードはあくまでXML形式をサンプルとして示すためであり、ここに記述されている値そのものをそのまま使用してはいけない

```
<entry>
  <observation classCode="OBS" moodCode="EVN" negationInd="false">
    <code code="9N066160800000049" displayName="他覚所見"/>
    <value xsi:type="ST">胸部くも状血管あり</value>
  </observation>
</entry>
```


特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

【サンプル②－3】

検査項目： 医師の診断(判定)

サンプル中の検査基準値やデータ、コードはあくまでXML形式をサンプルとして示すためであり、ここに記述されている値そのものをそのまま使用してはいけません

```
<entry>
  <!-- 医師の診断(判定) -->
  <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
    <code code="9N511000000000049"/>
    <value xsi:type="ST">運動指導必要</value>
  </observation>
</entry>
```

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.3.2.3.5 未実施および測定不可能項目の表現

【未実施】

未実施とは、検査予定であり検査しようとしたが検体を採取できない場合、あるいは検査予定であったが受診者の事情により検査を行うことが適切でないとして検査時点で考えられた場合などである。

検査結果セクションパターン①、及びパターン②の両方の場合において、ある検査項目が、未実施である場合は、**observation** 要素の **negationInd** 属性を「true」に指定することで表現する。このとき、**observation** 要素の子要素には、**code** 要素のみを含む。

最初から検査する予定がなかった場合には、**entry** 自体を出力するべきではない。

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.7 (再掲)	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry		1..*	M
11.8 (再掲)	observation	検査結果情報	1..1	M
11.8.1 (再掲)	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass から、観察行為を示す「OBS」を設定。	1..1	M
11.8.2 (再掲)	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン AntMood から、結果情報を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.8.3 (再掲)	@negationInd	検査が未実施の場合「true」を設定。それ以外の場合は「false」を設定。	0..1	O
11.9 (再掲)	observation/code	健診項目コード。項目によって使用するコード体系が異なる。	1..1	M
11.9.1 (再掲)	@code	表 17「(1) 検査項目コード」。	0..1	O
11.9.3 (再掲)	@codeSystem	表 17「(2) 検査項目コード OID」。 デフォルト値 = 1.2.392.200119.6.1005 の場合には省略する。	0..1	O
11.9.4 (再掲)	@displayName	表 17「(3) 検査項目コード表示名」。通常省略する。@nullFlavor (11.9.2)が記述される場合には出現しない。	0..1	O

サンプル中の検査基準値やデータ、コードはあくまでXML形式をサンプルとして示すためであり、ここに記述されている値そのものをそのまま使用してはいけません

```
<entry>
  <observation classCode="OBS" moodCode="EVN" negationInd="true">
    <code code="3F015000002327101" displayName="空腹時中性脂肪(トリグリセリド)"/>
  </observation>
</entry>
```

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

【測定不能】

測定不能とは、健診機関としては検体を採取したが、検体のなんらかの理由（凝固、量が不足、適切な検体補助剤が入れていないなど）、検査機器のトラブル、検体搬送時の事故等により検査ができなかった場合、あるいは検査装置の測定限界を超えた異常な値を呈したために検査ができなかった場合、生理中であり尿検査ができなかった場合などが該当する。

ある検査項目が、測定不可能であった場合は、**value** 要素の **nullFlavor** 属性に、データが存在しないことを意味する「**NI**」値を指定する。

このとき **value** 要素には、**nullFlavor** 属性を除いて、**xsi:type** 属性のみを指定する。

検査基準値や検査手法コードは、通常の項目と同様に指定するが、結果解釈値は出現しない。

ただし、検査基準値や検査手法コードは、任意要素であるから省略してもよい。

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.7（再掲）	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry		1..*	M
11.11	observation/value	検査結果値。未実施の場合にはこの要素は出現しない。測定値が入力許容範囲を外れた場合には 3.3.2.3.3 節参照。code/@code (11.9.1)が一連検査グループコードである場合や @nullFlavor (11.9.2)が記述される場合には出現しない。	0..2	O
11.11.1	@xsi:type	表 17「(4)検査結果データ型。	1..1	M
11.11.4	@nullFlavor	測定不可能の場合のみ、HL7 ポキャブラリドメイン NullFlavor から、「 NI 」を指定。その他の場合はこの属性は出現してはならない。	0..1	O

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

以下に測定不可能項目の2つの例を示す。

サンプル中の検査基準値やデータ、コードはあくまでXML形式をサンプルとして示すためであり、ここに記述されている値そのものをそのまま使用してはいけない

検査基準値や検査手法コードを記述した例

```
<entry>
  <observation classCode="OBS" moodCode="EVN" negationInd="false">
    <code code="3F015000002327101" displayName="空腹時中性脂肪(トリグリセリド)" />
    <value xsi:type="PQ" nullFlavor="NI" />
    <methodCode code="3F01510000" codeSystem="1.2.392.200119.6.1007" />
    <referenceRange>
      <observationRange>
        <value xsi:type="IVL_PQ">
          <low value="30" unit="mg/dL"/>
          <high value="188" unit="mg/dL" />
        </value>
      </observationRange>
    </referenceRange>
  </observation>
</entry>
```

検査基準値や検査手法コードを省略した例

```
<entry>
  <observation classCode="OBS" moodCode="EVN" negationInd="false">
    <code code="3F015000002327101" displayName="空腹時中性脂肪(トリグリセリド)" />
    <value xsi:type="PQ" nullFlavor="NI" />
  </observation>
</entry>
```

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.3.2.3.6 保険者において服薬状況を再確認した場合の取り扱いについて

特定保健指導の対象者のうち、質問票の記載間違いおよび特定健診後特定保健指導までに服薬を開始した場合に特定保健指導の対象者から除外する者の抽出方法については、下記のコードを用いる。

保険者再確認

検査項目コード	名称	コード値
9N702167200000049	保険者再確認 服薬 1（血圧）	4.12 参照
9N707167200000049	保険者再確認 服薬 2（血糖）	4.12 参照
9N712167200000049	保険者再確認 服薬 3（脂質）	4.12 参照

下記留意事項に沿って記載すること。

- ① 保険者再確認によって「1:質問票の記載違い(服薬中)を確認」「2:健診以後に服薬開始を確認」に該当した場合のみ、上記の各検査項目を entry として出現させること。ただし、質問票の服薬項目※（血圧・血糖・脂質）がそれぞれ「2:いいえ」であること。
- ② 再確認により服薬が明らかとなった場合、集計情報ファイルの服薬者カウントにおいて反映を行うこと。
- ③ 再確認により服薬が明らかとなった場合、健診機関からの報告されている保健指導レベル判定結果と異なる値となるが、保険者において修正は行わないこと。

※質問票の服薬項目

検査項目コード	名称	コード値
9N701000000000011	服薬 1（血圧）	4.13 参照
9N706000000000011	服薬 2（血糖）	4.13 参照
9N711000000000011	服薬 3（脂質）	4.13 参照

通常の間診と同様に、本仕様とは別に公開される「XML用特定健診項目情報」のXMLデータ型が「CD」である項目として記述を行う。XML仕様は、表 17 および表 18 に記載されている。

【サンプル 1】

検査項目： 保険者再確認 服薬 1（血圧） 表示名="保険者再確認 服薬 1（血圧）"

測定値： 健診以後に服薬開始を確認（コード値=2）

データ型： CD

再確認者コードの OID=1. 2. 392. 200119. 6. 24020

サンプル中の検査基準値やデータ、コードはあくまでXML形式をサンプルとして示すためであり、ここに記述されている値そのものをそのまま使用してはいけない

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

```

<entry>
  <observation classCode="OBS" moodCode="EVN" negationInd="false">
    <!-- JLAC10 は新規検査項目コード、OID は特定健診項目コード表の項目コード（JLAC10-17
    桁コード） [既存の OID] -->
    <code code="9N702167200000049" displayName="保険者再確認 服薬 1（血圧）"/>
    <!-- 再確認コード 1:質問票の記載違い（服薬中）を確認 2:健診以後に服薬開始を確認 [新
    規 OID] -->
    <value xsi:type="CD" code="2" codeSystem="1.2.392.200119.6.24020" />
  </observation>
</entry>

```

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

4. ボキャブラリ仕様

本節では、健診データメッセージ仕様で使用するコード値を定義するボキャブラリドメインについて述べる。

4.1 例外値

例外値（ヌル値・不明値・欠損値）が送信される場合に、適切な値が送られない理由を識別するコード。本仕様では、HL7 ボキャブラリドメイン NullFlavor から、以下の値のみを使用する。

コード体系名：NullFlavor

コード体系 OID：2.16.840.1.11383.5.1008

コード	表示名	説明
NI	no information	もっとも一般的な例外値。情報が存在しない。
UNK	unknown	適切な値が利用可能であるが不明。

4.2 性別コード

患者の（管理上の）性別コード。特定健診別表 4：男女区分コードから、以下の値を使用する。

コード体系名：男女区分コード

コード体系 OID：1.2.392.200119.6.1104

コード	表示名	説明
1	男	男性。
2	女	女性。

4.3 単位コード

単位コード。本メッセージ規格で使用するコードのみを表に示す。詳細は <http://aurora.rg.iupui.edu/~shadow/units/UCUM/> を参照のこと。

コード体系名：UCUM

コード体系 OID：2.16.840.1.11383.6.8

コード	一般的な単位表記	説明
kg	kg	kilo gram
cm	cm	centi meter
kg/m2	kg/m ²	kilo gram per square meter
mm[Hg]	mmHg	milli meter of mercury column
mg/dL	mg/dl	milli gram per deci liter
g/dL	g/dl	gram per deci liter
[iU]/L	IU/l 37°C	international unit per liter
U/L	U/l	Unit per liter
10*4/mm3	万/mm ³	ten thousands per cubic milli meter
kcal	kcal	kilo calories
%	%	percent
mo	月	month
min	分	minute
mL/min/[1.73_m2]	ml/min/1.73m ²	milliliter per minute per 1.73 square meter
mg/L	mg/L	milligram per liter
mg/g*CR	mg/g・CR	milligram per gram

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

mg/day	mg/day	milligram per day
--------	--------	-------------------

4.4 守秘レベルコード

健診データの守秘レベルを示すコード。HL7 ボキャブラリドメイン Confidentiality で定義された値から、以下の値のみを使用する。

コード体系名： Confidentiality
コード体系 OID： 2.16.840.1.113883.5.25
値集合名： x_BasicConfidentialityKind

コード	表示名	説明
N	normal	通常の守秘規則が適用される。合法的な医療もしくは事務処理において必要性を持つ認証された人のみがアクセスできる。

4.5 検査値解釈コード

検査値解釈コード。本仕様では、検査基準値及び入力許容範囲が設定されている健診項目についてその解釈を示すために使用する。HL7 ボキャブラリドメイン ObservationInterpretation で定義された値から、以下の値のみを使用する。

コード体系名： ObservationInterpretation
コード体系 OID： 2.16.840.1.113883.5.83

コード	表示名	説明
H	以上	検査基準上限値超過。入力最大値以上の場合にも使用する。
L	以下	検査基準下限値未滿。入力最小値以下の場合にも使用する。

4.6 行為種別コード

行為の種別を示すコード。HL7 ボキャブラリドメイン ActClass より、以下の値のみを使用。

コード体系名： ActClass
コード体系 OID： 2.16.840.1.113883.5.6

コード	表示名	説明
OBS	observation	行為の中で観察行為を表す。
ACT	Action	意図された行為の実施を表す。

4.7 行為ムードコード

行為のムード（法）を識別するコード。HL7 ボキャブラリドメイン ActMood より、以下の値のみを使用。

コード体系名： ActMood
コード体系 OID： 2.16.840.1.113883.5.1001

コード	表示名	説明
EVN	event	行為の結果を表す。
EVN.CRT	event criterion	規準や条件を表す。
INT	intent	行為の計画を表す。
GOL	Gole	行為の目標を表す。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

4.8 行為間関係種別コード

行為間の関係を識別するコード。HL7 ボキャブラリドメイン ActRelationshipType より以下の値のみを使用。

コード体系名： ActRelationshipType

コード体系 OID： 2.16.840.1.113883.5.1002

コード	表示名	説明
REFR	-	行為間関係のうち、参照関係を表す。
COMP	-	包含関係を表す。
RSON	-	理由関係を表す。

4.9 参加者種別コード

行為への参加者の種別を識別するコード。HL7 ボキャブラリドメイン ParticipationType より以下の値のみを使用。

コード体系名： ParticipationType

コード体系 OID： 2.16.840.1.113883.5.128

コード	表示名	説明
HLD	holder	契約などの保持者を示す。

4.10 役割種別コード

役割種別コード。HL7 ボキャブラリドメイン RoleClass より以下の値のみを使用。

コード体系名： RoleClass

コード体系 OID： 2.16.840.1.113883.5.110

コード	表示名	説明
POLHOLD	-	健康保険契約の保持者(非保険者)であることを示す。

4.11 資格区分コード

健診受診者・保健指導利用者の被保険者・被扶養者の別を明らかにするために使用。保険者より国へ報告する際に利用するものであり、健診機関からの出力データには出現しないため、後期高齢者医療広域連合の被保険者等は規定していない。

コード体系名：資格区分コード

コード体系 OID： 1.2.392.200119.6.206

コード	表示名	説明
1	強制被保険者	被用者の被保険者であることを示す。
2	強制被扶養者	被用者の被扶養者であることを示す。
3	任意継続被保険者	任意継続被保険者であることを示す。
4	任意継続被扶養者	任意継続被扶養者であることを示す。
5	特例退職被保険者	特例退職被保険者であることを示す。
6	特例退職被扶養者	特例退職被扶養者であることを示す。
7	国保被保険者	被用者の被保険者であることを示す。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

4.12 再確認コード

保険者における服薬再確認を行った場合に使用。

コード体系名：再確認コード

コード体系 OID： 1.2.392.200119.6.24020

コード	表示名	説明
1	質問票の記載違い(服薬中)を確認	質問票の記載違い(服薬中)を確認
2	健診以後に服薬開始を確認	健診以後に服薬開始を確認

4.13 問診結果コード

コード体系名：問診結果コード

コード体系 OID： 1.2.392.200119.6.2003

コード	表示名	説明
1	はい	問診結果が「はい」であることを示す。
2	いいえ	問診結果が「いいえ」であることを示す。

5. OID 表

本文中で記載されている各種コードのコード体系コード（OID）は、別表 OID 一覧表を参照すること。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

6. 「保険者が健診機関から受領するファイル」を保険者が加工して本仕様に準拠させるのに必要な加工箇所の例

この例はあくまで理解を助けるために提示するものであり、万一、ここでの例と本仕様説明書およびXMLスキーマとに相違がある場合には、後者を優先するものとする。

節	表番号	該当箇所	XPath	説明
			/ClinicalDocument	
3.2.3 健診管理情報	表 2 ヘッダ部の健診管理情報	No.4.1 (ファイル作成日)	effectiveTime/@value	保険者が本ファイルを作成した日付に上書き
		No.6 (受診者情報)	recordTarget	詳細は 3.2.3.1 節参照
		No.7 (ファイル作成機関情報)	author	詳細は 3.2.3.2 節参照
		No.9 (受診券情報)	participant	詳細は 3.2.3.4 節参照
		No.10 (健診実施情報)	documentationOf	詳細は 3.2.3.5 節参照
3.3.2 特定健診検査・問診検査・問診セクション	表 14 検査・問診結果セクションXML仕様	No.11.4.1 (セクションコード)	component/structuredBody/component/section/code/@code	「01010」のみ認める
3.3.2.3 エントリ部仕様	表 18 検査結果項目パターン①②XML仕様	No.11.14 (所見記載者の氏名)	component/structuredBody/component/section/entry/observation/author	医師の氏名の要素は削除

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<!-- 2023. 3. 31 項目を充実して新しいサンプルを作成 -->
<ClinicalDocument xmlns="urn:h17-org:v3" xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="urn:h17-org:v3 ../XSD/hc08_V08.xsd">
  <!-- ヘッダ情報記述部 -->
  <!--CDAのデフォルト-->
  <typeId root="2.16.840.1.113883.1.3" extension="POCD_HD000040" />
  <id nullFlavor="NI" />
  <!--報告区分コード -->
  <code code="10" codeSystem="1.2.392.200119.6.1001" />
  <!--文書発行日（西暦）-->
  <effectiveTime value="20251010" /> ☆保険者が本ファイルを作成した日付に上書き設定
  <confidentialityCode code="N" />
  <!--受診者情報-->
  <recordTarget>
    <patientRole>
      <!-- 保険者番号 -->
      <id extension="12000001" root="1.2.392.200119.6.101" />
      <!-- 被保険者証等記号 -->
      <id extension="あああ" root="1.2.392.200119.6.204" />
    
```

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

```

<!-- 被保険者証等番号 -->
<id extension="103" root="1.2.392.200119.6.205" />
<!-- 被保険者証等枝番 -->
<id extension="01" root="1.2.392.200119.6.211" />
<id extension="1" root="1.2.392.200119.6.206" /> ☆資格区分（1桁）追加
<!-- 受診者 -->
<addr>
  <postalCode>113-8655</postalCode>東京都文京区本郷7-3-1</addr>
<patient>
  <name>タナカカズコ</name>
  <!-- 性別 -->
  <administrativeGenderCode code="2" codeSystem="1.2.392.200119.6.1104" />
  <!-- 生年月日 -->
  <birthTime value="19600203" />
</patient>
</patientRole>
</recordTarget>
<!-- Author -->
<author>
  <!-- 作成日 -->
  <time value="20251010" /> ☆保険者が本ファイルを作成した日付に上書き設定
  <assignedAuthor>
    <id nullFlavor="NI" />
    <representedOrganization>
      <!-- 作成機関のID番号 -->
      <id extension="12000001" root="1.2.392.200119.6.101" />
      <!-- 作成機関名 -->
      <name>あいうえお健康保険組合</name>
      <telecom value="tel:0312345678" />
      <addr>
        <postalCode>112-0000</postalCode>東京都千代田区大手町1-2-3</addr>
      </representedOrganization>
    </assignedAuthor>
  </author>
  <custodian>
    <assignedCustodian>
      <representedCustodianOrganization>
        <id nullFlavor="NI" />
      </representedCustodianOrganization>
    </assignedCustodian>
  </custodian>
  <participant typeCode="HLD">
    <!-- 受診券 -->
    <functionCode code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.208" />
    <time>
      <!-- 有効期限 -->
      <high value="20250331" />
    </time>
    <associatedEntity classCode="IDENT">

```

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

```

<!-- 番号 -->
<id extension="10111293841" root="1.2.392.200119.6.209.112000001" />
<!-- 保険者情報 -->
<scopingOrganization>
  <!-- 保険者番号 -->
  <id extension="12000001" root="1.2.392.200119.6.101" />
</scopingOrganization>
</associatedEntity>
</participant>
<!-- 健診実施情報 -->
<documentationOf>
  <serviceEvent>
    <!-- プログラムサービスコード -->
    <code code="010" codeSystem="1.2.392.200119.6.1002" />
    <!-- 実施日 -->
    <effectiveTime value="20250430" />
    <performer typeCode="PRF">
      <assignedEntity>
        <id nullFlavor="NI" />
        <representedOrganization>
          <!-- 実施機関番号 -->
          <id extension="1323456789" root="1.2.392.200119.6.102" />
          <!-- 実施組織名 -->
          <name>東京健診センター</name>
          <telecom value="tel:0312341234" />
          <addr>
            <postalCode>112-1111</postalCode>東京都港区みなと1-1-2</addr>
          </representedOrganization>
        </assignedEntity>
      </performer>
    </serviceEvent>
  </documentationOf>
  <!-- 結果記述部 -->
  <component>
    <structuredBody>
      <component>
        <section>
          <code code="01010" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="特定健診検査・問診
          セクション" />
          <text />
          <entry>
            <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
              <code code="9N001000000000001" displayName="身長" />
              <value xsi:type="PQ" value="150.0" unit="cm" />
            </observation>
          </entry>
          <entry>
            <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
              <code code="9N511000000000049" displayName="医師の診断（判定）" />

```

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

```

<value xsi:type="ST">運動指導必要</value>
  <author>
    <time nullFlavor="NI"/>
    <assignedAuthor>
      <id nullFlavor="NI"/>
      <assignedPerson>
        <name>田中太郎</name>
      </assignedPerson>
    </assignedAuthor>
  </author>
</observation>
</entry>
:
:
</section>
</component>
<component>
  <section>
    <code code="01990" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="追加項目セクション" />
    <text />
    <entry>
      <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
        <code code="3J010000002327101" displayName="総ビリルビン" />
        <value xsi:type="PQ" value="0.8" unit="mg/dL" />
        :
        :
      </observation>
    </entry>
  </section>
</component>
</structuredBody>
</component>
</ClinicalDocument>

```

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

Ver.4

本説明文書は、厚生労働省保険局医療介護連携政策課医療費適正化対策推進室により修正されました。また、「第4期特定健診・特定保健指導の見直しに関する検討会」の下に設置された「システム改修に関するワーキンググループ」の作業班メンバーや、ここに記載していない多くの方々の献身的な貢献により検討された成果に基づいています。

システム改修に関するワーキンググループ作業班

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<!-- edited with XMLSpy v2007 sp2 (http://www.altova.com) by HOSHIMOTO Hiroyuki (The University of Tokyo) -->
<xs:schema elementFormDefault="qualified" targetNamespace="urn:hl7-org:v3" xmlns:xs="http://www.w3.org/2001/XMLSchema" xmlns="urn:hl7-org:v3" xmlns:mif="urn:hl7-org:v3/mif">
  <!-- Edited by HOSHIMOTO Hiroyuki, The University of Tokyo Hospital -->
  <!-- Version 20070809 draft -->
  <!-- このスキーマは、HL7v3-CDAR2のPOCD_MT000040.xsdから、必要な要素を残し、いくつかの属性に値の制約を加えたものです。 -->
  <!-- ***** -->
  * XML schema for message type POCD_MT000040. * Generated by XMLITS version 2.0 * * Copyright (c) 2002, 2003, 2004, 2005 Health
  Level Seven. All rights reserved. * Redistribution and use in source and binary forms, with or without * modification, are permitted provided that
  the following conditions * are met: * 1. Redistributions of source code must retain the above copyright * notice, this list of conditions and the
  following disclaimer. * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright * notice, this list of conditions and the following
  disclaimer in the * documentation and/or other materials provided with the distribution. * 3. All advertising materials mentioning features or use
  of this software * must display the following acknowledgement: * This product includes software developed by Health Level Seven. * THIS
  SOFTWARE IS PROVIDED BY HEALTH LEVEL SEVEN, INC. AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND * ANY EXPRESS OR IMPLIED
  WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE * IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR
  A PARTICULAR PURPOSE * ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE * FOR
  ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL * DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT
  LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS * OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS
  INTERRUPTION) * HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT * LIABILITY,
  OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY * OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN
  IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF * SUCH DAMAGE. *
  *****
  -->
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>Generated using schema builder version 2.0. Stylesheets: RoseTreeToMIFStaticModel.xsl version: 1.1 StaticMifToXsd.xsl
    version 2.0</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  <xs:include schemaLocation="./coreschemas/datatypes_hcgv08.xsd"/>
  <xs:include schemaLocation="./coreschemas/voc_hcgv08.xsd"/>
  <xs:include schemaLocation="./coreschemas/narrativeBlock_hcgv08.xsd"/>
  <!-- CDA本体の入り口 -->
  <xs:element type="POCD_MT000040.ClinicalDocument" name="ClinicalDocument"/>
  <!-- 以下は、POCD_MT000040の抜粋+ローカルの制約 -->
  - <xs:complexType name="POCD_MT000040.InfrastructureRoot.typeId">
    - <xs:complexContent>
      - <xs:restriction base="II">
        <xs:attribute type="uid" name="root" fixed="2.16.840.1.113883.1.3" use="required"/>
        <xs:attribute type="st" name="extension" use="required"/>
      </xs:restriction>
    </xs:complexContent>
  </xs:complexType>
  - <xs:complexType name="POCD_MT000040.AssignedAuthor">
    - <xs:sequence>
      <xs:element type="II" name="id" maxOccurs="unbounded"/>
      <xs:element type="CE" name="code" minOccurs="0"/>
      <xs:element type="TEL" name="telecom" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    - <xs:choice>
      <xs:element type="POCD_MT000040.Person" name="assignedPerson" minOccurs="0"/>
      <xs:element type="POCD_MT000040.AuthoringDevice" name="assignedAuthoringDevice" minOccurs="0"/>
    </xs:choice>
      <xs:element type="POCD_MT000040.Organization" name="representedOrganization" minOccurs="0"/>
    </xs:sequence>
      <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
      <xs:attribute type="RoleClassAssignedEntity" name="classCode" fixed="ASSIGNED" use="optional"/>
    </xs:complexType>
  - <xs:complexType name="POCD_MT000040.AssignedCustodian">
    - <xs:sequence>
      <xs:element type="POCD_MT000040.CustodianOrganization" name="representedCustodianOrganization"/>
    </xs:sequence>
      <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
      <xs:attribute type="RoleClassAssignedEntity" name="classCode" fixed="ASSIGNED" use="optional"/>
    </xs:complexType>
  - <xs:complexType name="POCD_MT000040.AssignedEntity">
    - <xs:sequence>
      <xs:element type="II" name="id" maxOccurs="unbounded"/>
      <xs:element type="CE" name="code" minOccurs="0"/>
      <xs:element type="TEL" name="telecom" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
      <xs:element type="POCD_MT000040.Person" name="assignedPerson" minOccurs="0"/>
      <xs:element type="POCD_MT000040.Organization" name="representedOrganization" minOccurs="0"/>
    </xs:sequence>
      <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
      <xs:attribute type="RoleClassAssignedEntity" name="classCode" fixed="ASSIGNED" use="optional"/>
    </xs:complexType>
  - <xs:complexType name="POCD_MT000040.AssociatedEntity">
    - <xs:sequence>
      <xs:element type="II" name="id" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
      <xs:element type="CE" name="code" minOccurs="0"/>
      <xs:element type="TEL" name="telecom" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
      <xs:element type="POCD_MT000040.Person" name="associatedPerson" minOccurs="0"/>
      <xs:element type="POCD_MT000040.Organization" name="scopingOrganization" minOccurs="0"/>
    </xs:sequence>

```



```

    </xs:sequence>
    <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
    <xs:attribute type="RoleClassAssociative" name="classCode" use="required"/>
  </xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.Author">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="TS" name="time"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.AssignedAuthor" name="assignedAuthor"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="ParticipationType" name="typeCode" fixed="AUT" use="optional"/>
  <xs:attribute type="ContextControl" name="contextControlCode" fixed="OP" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.AuthoringDevice">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="CE" name="code" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="SC" name="softwareName" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="EntityClassDevice" name="classCode" fixed="DEV" use="optional"/>
  <xs:attribute type="EntityDeterminer" name="determinerCode" fixed="INSTANCE" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.ClinicalDocument">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="CS" name="realmCode" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.InfrastructureRoot.typeId" name="typeId"/>
    - <xs:element name="templateId" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0">
      - <xs:complexType>
        - <xs:complexContent>
          - <xs:restriction base="II">
            <xs:attribute type="st" name="extension" use="required"/>
            <xs:attribute type="uid" name="root" fixed="1.2.392.200119.6.1009" use="required"/>
          </xs:restriction>
          </xs:complexContent>
        </xs:complexType>
      </xs:element>
      <xs:element type="II" name="id"/>
    - <xs:element name="code" minOccurs="0">
      - <xs:complexType>
        - <xs:complexContent>
          - <xs:restriction base="CD">
            <xs:attribute type="cs" name="code" use="required"/>
            <xs:attribute type="uid" name="codeSystem" fixed="1.2.392.200119.6.1001" use="optional"/>
          </xs:restriction>
          </xs:complexContent>
        </xs:complexType>
      </xs:element>
      <xs:element type="ST" name="title" minOccurs="0"/>
      <xs:element type="TS" name="effectiveTime"/>
      <xs:element type="CE" name="confidentialityCode"/>
    - <xs:element name="languageCode" minOccurs="0">
      - <xs:complexType>
        - <xs:complexContent>
          - <xs:restriction base="CS">
            <xs:attribute type="cs" name="code" fixed="ja-JP" use="optional"/>
          </xs:restriction>
          </xs:complexContent>
        </xs:complexType>
      </xs:element>
      <xs:element type="POCD_MT000040.RecordTarget" name="recordTarget" maxOccurs="unbounded"/>
      <xs:element type="POCD_MT000040.Author" name="author" maxOccurs="unbounded"/>
      <xs:element type="POCD_MT000040.DataEnterer" name="dataEnterer" minOccurs="0"/>
      <xs:element type="POCD_MT000040.Custodian" name="custodian"/>
      <xs:element type="POCD_MT000040.InformationRecipient" name="informationRecipient" maxOccurs="unbounded"
        minOccurs="0"/>
      <xs:element type="POCD_MT000040.Participant1" name="participant" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
      <xs:element type="POCD_MT000040.DocumentationOf" name="documentationOf" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
      <xs:element type="POCD_MT000040.Component2" name="component"/>
    </xs:sequence>
    <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
    <xs:attribute type="ActClassClinicalDocument" name="classCode" fixed="DOCCLIN" use="optional"/>
    <xs:attribute type="ActMood" name="moodCode" fixed="EVN" use="optional"/>
  </xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.Component2">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="POCD_MT000040.StructuredBody" name="structuredBody"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="ActRelationshipHasComponent" name="typeCode" fixed="COMP" use="optional"/>
  <xs:attribute type="bl" name="contextConductionInd" fixed="true" use="optional"/>
</xs:complexType>

```

```

- <xs:complexType name="POCD_MT000040.Component3">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="POCD_MT000040.Section" name="section"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="ActRelationshipHasComponent" name="typeCode" fixed="COMP" use="optional"/>
  <xs:attribute type="bl" name="contextConductionInd" fixed="true" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.Component4">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="INT" name="sequenceNumber" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="BL" name="seperatableInd" minOccurs="0"/>
    - <xs:choice>
      <xs:element type="POCD_MT000040.Observation" name="observation"/>
    </xs:choice>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="ActRelationshipHasComponent" name="typeCode" fixed="COMP" use="optional"/>
  <xs:attribute type="bl" name="contextConductionInd" fixed="true" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.Custodian">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="POCD_MT000040.AssignedCustodian" name="assignedCustodian"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="ParticipationType" name="typeCode" fixed="CST" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.CustodianOrganization">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="II" name="id" maxOccurs="unbounded"/>
    <xs:element type="ON" name="name" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="TEL" name="telecom" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="AD" name="addr" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="EntityClassOrganization" name="classCode" fixed="ORG" use="optional"/>
  <xs:attribute type="EntityDeterminer" name="determinerCode" fixed="INSTANCE" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.DataEnterer">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="TS" name="time" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.AssignedEntity" name="assignedEntity"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="ParticipationType" name="typeCode" fixed="ENT" use="optional"/>
  <xs:attribute type="ContextControl" name="contextControlCode" fixed="OP" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.DocumentationOf">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="POCD_MT000040.ServiceEvent" name="serviceEvent"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="ActRelationshipType" name="typeCode" fixed="DOC" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.Entity">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="CS" name="realmCode" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.InfrastructureRoot.typeId" name="typeId" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="II" name="templateId" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="II" name="id" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="CE" name="code" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="ED" name="desc" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="EntityClassRoot" name="classCode" use="optional" default="ENT"/>
  <xs:attribute type="EntityDeterminer" name="determinerCode" fixed="INSTANCE" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.Entry">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="POCD_MT000040.Observation" name="observation"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="x_ActRelationshipEntry" name="typeCode" use="optional" default="COMP"/>
  <xs:attribute type="bl" name="contextConductionInd" fixed="true" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.EntryRelationship">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="INT" name="sequenceNumber" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="BL" name="seperatableInd" minOccurs="0"/>
    - <xs:choice>
      <xs:element type="POCD_MT000040.Observation" name="observation"/>
    </xs:choice>
  </xs:sequence>

```

```

    </xs:choice>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="x_ActRelationshipEntryRelationship" name="typeCode" use="required"/>
  <xs:attribute type="bl" name="inversionInd" use="optional"/>
  <xs:attribute type="bl" name="contextConductionInd" use="optional" default="true"/>
  <xs:attribute type="bl" name="negationInd" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.InformationRecipient">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="POCD_MT000040.IntendedRecipient" name="intendedRecipient"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="x_InformationRecipient" name="typeCode" use="optional" default="PRCP"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.IntendedRecipient">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="II" name="id" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="AD" name="addr" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="TEL" name="telecom" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.Person" name="informationRecipient" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.Organization" name="receivedOrganization" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="x_InformationRecipientRole" name="classCode" use="optional" default="ASSIGNED"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.Observation">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="II" name="id" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    - <xs:element name="code">
      - <xs:complexType>
        - <xs:complexContent>
          - <xs:restriction base="CD">
            - <xs:sequence>
              <xs:element type="ED" name="originalText" minOccurs="0"/>
              <xs:element type="CR" name="qualifier" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
              <xs:element type="CD" name="translation" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
            </xs:sequence>
            <xs:attribute type="cs" name="code" use="optional"/>
            <xs:attribute type="uid" name="codeSystem" use="optional" default="1.2.392.200119.6.1005"/>
            <xs:attribute type="st" name="codeSystemName" use="optional"/>
            <xs:attribute type="st" name="codeSystemVersion" use="optional"/>
            <xs:attribute type="st" name="displayName" use="optional"/>
          </xs:restriction>
        </xs:complexContent>
      </xs:complexType>
    </xs:element>
    <xs:element type="ED" name="text" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="CS" name="statusCode" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="IVL_TS" name="effectiveTime" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="ANY" name="value" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="CE" name="interpretationCode" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    - <xs:element name="methodCode" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0">
      - <xs:complexType>
        - <xs:complexContent>
          - <xs:restriction base="CE">
            <xs:attribute type="cs" name="code" use="required"/>
            <xs:attribute type="uid" name="codeSystem" use="optional" default="1.2.392.200119.6.1007"/>
          </xs:restriction>
        </xs:complexContent>
      </xs:complexType>
    </xs:element>
    <xs:element type="CD" name="targetSiteCode" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.Specimen" name="specimen" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.Performer2" name="performer" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.Author" name="author" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.Participant2" name="participant" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.EntryRelationship" name="entryRelationship" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.ReferenceRange" name="referenceRange" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="ActClassObservation" name="classCode" use="required"/>
  <xs:attribute type="x_ActMoodDocumentObservation" name="moodCode" use="required"/>
  <xs:attribute type="bl" name="negationInd" use="optional" default="false"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.ObservationRange">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="CD" name="code" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="ED" name="text" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="ANY" name="value" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="CE" name="interpretationCode" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>

```

```

    </xs:sequence>
    <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
    <xs:attribute type="ActClassObservation" name="classCode" use="optional" default="OBS"/>
    <xs:attribute type="ActMood" name="moodCode" fixed="EVN.CRT" use="optional"/>
  </xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.Organization">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="II" name="id" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="ON" name="name" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="TEL" name="telecom" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="AD" name="addr" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="EntityClassOrganization" name="classCode" fixed="ORG" use="optional"/>
  <xs:attribute type="EntityDeterminer" name="determiner" fixed="INSTANCE" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.Participant1">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="CS" name="realmCode" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.InfrastructureRoot.typeId" name="typeId" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="II" name="templateId" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="CE" name="functionCode" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="IVL_TS" name="time" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.AssociatedEntity" name="associatedEntity"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="ParticipationType" name="typeCode" use="required"/>
  <xs:attribute type="ContextControl" name="contextControlCode" fixed="OP" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.Participant2">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="CS" name="realmCode" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.InfrastructureRoot.typeId" name="typeId" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="II" name="templateId" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="IVL_TS" name="time" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="CE" name="awarenessCode" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.ParticipantRole" name="participantRole"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="ParticipationType" name="typeCode" use="required"/>
  <xs:attribute type="ContextControl" name="contextControlCode" fixed="OP" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.ParticipantRole">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="CS" name="realmCode" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.InfrastructureRoot.typeId" name="typeId" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="II" name="templateId" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="II" name="id" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="CE" name="code" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="AD" name="addr" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="TEL" name="telecom" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    - <xs:choice>
      <xs:element type="POCD_MT000040.PlayingEntity" name="playingEntity" minOccurs="0"/>
    </xs:choice>
    <xs:element type="POCD_MT000040.Entity" name="scopingEntity" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="RoleClassRoot" name="classCode" use="optional" default="ROL"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.Patient">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="PN" name="name" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="CE" name="administrativeGenderCode" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="TS" name="birthTime" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="EntityClass" name="classCode" fixed="PSN" use="optional"/>
  <xs:attribute type="EntityDeterminer" name="determinerCode" fixed="INSTANCE" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.PatientRole">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="II" name="id" maxOccurs="unbounded"/>
    <xs:element type="AD" name="addr" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="TEL" name="telecom" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.Patient" name="patient" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.Organization" name="providerOrganization" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="RoleClass" name="classCode" fixed="PAT" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.Performer1">

```

```

- <xs:sequence>
  <xs:element type="CS" name="realmCode" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
  <xs:element type="POCD_MT000040.InfrastructureRoot.typeId" name="typeId" minOccurs="0"/>
  <xs:element type="II" name="templateId" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
  <xs:element type="CE" name="functionCode" minOccurs="0"/>
  <xs:element type="IVL_TS" name="time" minOccurs="0"/>
  <xs:element type="POCD_MT000040.AssignedEntity" name="assignedEntity"/>
</xs:sequence>
<xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
<xs:attribute type="x_ServiceEventPerformer" name="typeCode" use="required"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.Performer2">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="CS" name="realmCode" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.InfrastructureRoot.typeId" name="typeId" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="II" name="templateId" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="IVL_TS" name="time" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="CE" name="modeCode" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.AssignedEntity" name="assignedEntity"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="ParticipationPhysicalPerformer" name="typeCode" fixed="PRF" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.Person">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="PN" name="name" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="EntityClass" name="classCode" fixed="PSN" use="optional"/>
  <xs:attribute type="EntityDeterminer" name="determinerCode" fixed="INSTANCE" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.PlayingEntity">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="CS" name="realmCode" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.InfrastructureRoot.typeId" name="typeId" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="II" name="templateId" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="CE" name="code" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="PQ" name="quantity" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="PN" name="name" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="ED" name="desc" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="EntityClassRoot" name="classCode" use="optional" default="ENT"/>
  <xs:attribute type="EntityDeterminer" name="determinerCode" fixed="INSTANCE" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.RecordTarget">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="POCD_MT000040.PatientRole" name="patientRole"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="ParticipationType" name="typeCode" fixed="RCT" use="optional"/>
  <xs:attribute type="ContextControl" name="contextControlCode" fixed="OP" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.ReferenceRange">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="POCD_MT000040.ObservationRange" name="observationRange"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="ActRelationshipType" name="typeCode" fixed="REFV" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.Section">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="II" name="id" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="CE" name="code" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="ST" name="title" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="StrucDoc.Text" name="text" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.Author" name="author" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.Entry" name="entry" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="xs:ID" name="ID"/>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="ActClass" name="classCode" fixed="DOCSECT" use="optional"/>
  <xs:attribute type="ActMood" name="moodCode" fixed="EVN" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.ServiceEvent">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="II" name="id" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    - <xs:element name="code" minOccurs="0">
      - <xs:complexType>
        - <xs:complexContent>
          - <xs:restriction base="CD">

```

```

        <xs:attribute type="cs" name="code" use="required"/>
        <xs:attribute type="uid" name="codeSystem" fixed="1.2.392.200119.6.1002" use="optional"/>
    - <xs:attribute type="st" name="codeSystemName" use="optional">
        - <xs:annotation>
            <xs:documentation> A common name of the coding system. </xs:documentation>
        </xs:annotation>
    </xs:attribute>
    </xs:restriction>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>
</xs:element>
<xs:element type="IVL_TS" name="effectiveTime" minOccurs="0"/>
<xs:element type="POCD_MT000040.Performer1" name="performer" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
</xs:sequence>
<xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
<xs:attribute type="ActClassRoot" name="classCode" use="optional" default="ACT"/>
<xs:attribute type="ActMood" name="moodCode" fixed="EVN" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.Specimen">
    - <xs:sequence>
        <xs:element type="CS" name="realmCode" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
        <xs:element type="POCD_MT000040.InfrastructureRoot.typeId" name="typeId" minOccurs="0"/>
        <xs:element type="II" name="templateId" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
        <xs:element type="POCD_MT000040.SpecimenRole" name="specimenRole"/>
    </xs:sequence>
    <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
    <xs:attribute type="ParticipationType" name="typeCode" fixed="SPC" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.SpecimenRole">
    - <xs:sequence>
        <xs:element type="CS" name="realmCode" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
        <xs:element type="POCD_MT000040.InfrastructureRoot.typeId" name="typeId" minOccurs="0"/>
        <xs:element type="II" name="templateId" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
        <xs:element type="II" name="id" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
        <xs:element type="POCD_MT000040.PlayingEntity" name="specimenPlayingEntity" minOccurs="0"/>
    </xs:sequence>
    <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
    <xs:attribute type="RoleClassSpecimen" name="classCode" fixed="SPEC" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.StructuredBody">
    - <xs:sequence>
        <xs:element type="POCD_MT000040.Component3" name="component" maxOccurs="unbounded"/>
    </xs:sequence>
    <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
    <xs:attribute type="ActClass" name="classCode" fixed="DOCBODY" use="optional"/>
    <xs:attribute type="ActMood" name="moodCode" fixed="EVN" use="optional"/>
</xs:complexType>
</xs:schema>

```

特定健診・特定保健指導の電子的なデータ標準様式

4-1A 特定健診 決済情報ファイル
仕様説明書
Version 4

仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

目次

1.	はじめに	1
1.1	目的	1
1.2	参考資料	1
1.3	記載内容の優先度	1
2.	文書項目	2
3.	XML仕様	4
3.1	特定健診決済情報 (checkupClaim)	10
3.2	受診情報 (encounter)	10
3.3	受診者情報 (subjectPerson)	11
3.4	特定健診受診券情報 (checkupCard)	12
3.5	決済情報 (settlement)	15
3.6	代行機関の処理結果 (agencyAdjudicationResult)	18
3.7	保険者の処理結果 (insurerAdjudicationResult)	18
3.8	オブジェクト識別子 (oid)	18
4.	コード表	19
5.	OID仕様	22
6.	サンプルXML	23

仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

修正履歴

2008.04.03 v1.43 より以後の修正履歴

*本表中に記載の「既公表の正誤表」は本表のあとに掲載されている。

日付	版	修正内容
2008年4月3日	1.43	厚労省通知と連携して公表
2009年3月30日	2	<ul style="list-style-type: none"> ・3 XML仕様の説明で、最小多重度が0である場合のXML記述方法を補足説明。 ・3.3 表5 被保険証等記号文字列、被保険者証等番号文字列、カナ氏名文字列について説明を補足し、健診情報ファイルに格納される形式と同一であることを明示。 ・3.4 表6 chargeTypeHumanDryDock/maxInsuranceLimit および chargeTypeHumanDryDock/maxInsuranceLimit/amountの説明欄； 既公表の正誤表を反映。 ・3.4 表7 No.3.6.2.1 既公表の正誤表を反映。 ・3.5 表10 No.4.5.1 既公表の正誤表を反映。 ・末尾の補足説明として、健診情報ファイルとの整合性をとるための注意点を記載。
2017年3月31日	3	<p>■XML仕様上に関する修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3.4 特定健診受診券情報にセット券の説明を追加 ・特定健診情報／特定保健指導情報交換用共通 XML スキーマ(co08_V08.xsd)の「詳細な健診項目コード(別表8)」「保健指導実施時点コード(別表11)」「保健指導区分コード(別表12)」に新規コードを追加 ・4コード表の表21に「4：血清クレアチニン」を追加 ・補足資料の説明に血清クレアチニンを追加 <p>■XML仕様上に関係のない修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バージョンを「2」から「3」に修正 ・仕様書中の「心電図」「貧血」「眼底」を「心電図検査」「貧血検査」「眼底検査」に修正 ・その他既存誤記及び見栄えを修正
2020年3月31日	3.1	<p>オンライン資格確認等システムを活用した特定健診情報等の保険者間引継ぎ実施に伴い、加入者を特定するための被保険者証等枝番の項目追加と特定健診情報等の閲覧用ファイルの新規追加に伴う変更内容を反映させた。</p> <p>■XML仕様上に関する修正</p> <p><被保険者証等枝番の追加に伴う修正></p> <ol style="list-style-type: none"> 2. 文書項目 <ul style="list-style-type: none"> ・表1 項目一覧への該当項目追加 3.3 受診者情報 <ul style="list-style-type: none"> ・表5 XML仕様への該当項目説明追加 5. OID仕様 <ul style="list-style-type: none"> ・表23への該当項目追加 6. サンプルXML <ul style="list-style-type: none"> ・表24, 25への該当項目追加 ・XMLサンプルに該当要素の記述追加 ・特定健診情報／特定保健指導情報交換用共通 XML スキーマ(co08_V08.xsd)への該当項目追加反映 <p><閲覧用ファイル追加に伴う修正></p> <ul style="list-style-type: none"> - 他文書名変更に伴う参照名の変更

仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

		<p>4. コード表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表 14 実施区分コード (3:「匿名化済」を明記、5:新規追加、6~9:予備追加) ・表 17 種別コード (12:変更、14~20:予備追加) <p>6. サンプル XML</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診情報／特定保健指導情報交換用共通 XML スキーマ(co08_V08.xsd)への実施区分コードおよび種別コードの予備追加反映 ・各種日付の変更
2023年3月31日	4.0	<p>■XML仕様上に関する修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施区分コード、種別コードの名称変更に合わせて表 14、表 17 を修正 ・XML 名前空間を変更 (https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html) <p>■XML仕様上に関係のない修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本仕様書のファイル名を変更 ・バージョンを「3.1」から「4」に修正 ・1.1 目的の厚労省通知との対応関係に係る記載を削除 ・7. XML スキーマの記載を削除 ・各種サンプルの日付変更 ・その他既存誤記及び見栄え修正

仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

特定健診決済情報ファイル仕様説明書

1. はじめに

1.1 目的

本書は、特定健診データの電子的交換に必要なファイルのうち、特定健診決済情報ファイルの XML 仕様を定めたものである。

1.2 参考資料

下記は、この文書で参照している標準仕様及び研究報告書等の名称、バージョン、並びにその説明の一覧である。

[1] 厚生労働省、「標準的な健診・保健指導プログラム（改定版）」

[2] 厚生労働省、「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」

[3] HL7 Inc, HL7 Version 3 Normative Edition 2006, <http://www.hl7.org/>.

[4] XML Schema Part 2: Datatypes, W3C Recommendation, <http://www.w3.org/TR/xmlschema-2/>.

※[1]、[2]については、厚生労働省 HP 「特定健診・特定保健指導について」

(<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html>) に公表されている最新版を参照すること。

1.3 記載内容の優先度

この文書の記載内容と最新の厚生労働省通知との記述に相違がある場合には、最新の厚生労働省通知(<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000165280.html>)の記述を優先するものとする。

本文書と対をなして公表されている XML スキーマファイルでは、XML 要素や属性の出現多重度や選択性について、本文書での記載よりも緩い記述（制約条件が広い記述）になっていることがある。このような場合には、本文書に記載されている記述が優先するものとする。たとえば XML スキーマでは 1 回以上何度出現してもよいとなっている要素について、本文書では 1 回だけ必ず出現するものと記載しているケースでは、本文書に従うものとし、当該要素は 1 回だけ必ず出現しなければならない。同様にたとえば XML スキーマでは出現してもしなくても良い（出現がオプショナル）とされている属性や要素について、本文書では出現してもよいことが明示的に記載されていないケースでは、本文書に従うものとし、当該属性や当該要素は出現してはならない。

仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

2. 文書項目

特定健診の決済情報ファイルの項目を表1に示す。

表1 特定健診決済情報ファイル項目一覧

No	ファイルの記録内容	フィールド名称	記録内容
1	受診情報	実施区分	特定健診:「1」を記録
2	受診者情報	特定健診機関番号	特定健診機関番号を記録
3		保険者番号	特定健診の受診者が加入している保険者の保険者番号を記録
4		被保険者証等記号	特定健診の受診者の被保険者証等記号を記録
5		被保険者証等番号	特定健診の受診者の被保険者証等番号を記録
6		被保険者証等枝番	特定健診の受診者の被保険者証等枝番を記録
7		氏名	特定健診の受診者氏名を記録
8		生年月日	特定健診の受診者の年月日(西暦)を記録
9		男女区分	特定健診の受診者の性別を記録
10		郵便番号	受診券裏面に記入された受診者の郵便番号を記録
11		住所	受診券裏面に記入された受診者の住所を記録
12		受診券情報	受診券整理番号
13	有効期限		受診券の有効期限(年月日(西暦))を記録
14	窓口負担(基本的な健診)		基本的な健診項目に係る窓口負担の種別を記録
15			受診券に記載された負担額(率)又は保険者負担上限額を記録
16	窓口負担(詳細な健診)		詳細な健診項目に係る窓口負担の種別を記録
17			受診券に記載された負担額(率)又は保険者負担上限額を記録
18	窓口負担(追加健診)		追加健診に係る窓口負担の種別を記録
19			受診券に記載された負担額(率)又は保険者負担上限額を記録
20	窓口負担(人間ドック)		人間ドックに係る窓口負担の種別を記録
21			受診券に記載された負担額(率)を記録
22			人間ドックに係る窓口負担の種別が保険者負担上限額の場合に「4:保険者負担上限額」を記録
23		受診券に記載された保険者負担上限額を記録	
24	決済情報	請求区分	請求区分の種別を記録
25		委託料単価(個別健診・集団健診)区分	委託料単価の種別を記録
26		単価(基本的な健診)	基本的な健診項目の単価を記録
27		単価(詳細な健診)	詳細な健診項目のコードを記録
28			詳細な健診項目の単価を記録
29		単価(追加健診又は人間ドック)	追加健診項目のコード(JLAC10・17 桁コード)を記録(人間ドックの場合は記録しない)
30			追加健診又は人間ドックの単価を記録
31		窓口負担金額(基本的な健診)	基本的な健診項目に係る窓口負担金額を記録
32		窓口負担金額(詳細な健診)	詳細な健診項目に係る窓口負担金額を記録
33		窓口負担金額(追加健診又は人間ドック)	追加健診又は人間ドックに係る窓口負担金額を記録
34	単価(合計)	単価の合計金額を記録	
35	窓口負担金額(合計)	特定健診の受診者が窓口で負担した合計金額を記録	
36	他の検診による負担金額	集合契約において、他の法令に基づく検診(生活機能評価等)を共同実施した場合の、他の検診側で負担する金額を記録	
37	請求金額	当該受診者に係る保険者への請求金額を記録	
38	代行機関の処理結果	種別	データ種別を記録
39		記録年月日	記録年月日(西暦)を記録
40		返戻理由	代行機関による返戻理由コードを記録
41			代行機関による返戻理由等(詳細)を記録
42	保険者の処理結果	種別	データ種別を記録

仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

No	ファイルの記録内容	フィールド名称	記録内容
43		記録年月日	記録年月日(西暦)を記録
44		過誤返戻理由	保険者による過誤返戻理由コードを記録
45			保険者による過誤返戻理由等(詳細)を記録

仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

3. XML 仕様

XML 設計における基本方針として、できる限り単純な XML とするが、日付や識別子などのデータ型のモデルは、HL7 CDA R2 形式で記述される特定健診情報/特定保健指導情報ファイルとの整合性を考慮した。また、内容の妥当性の確認のために属性値と内容モデルとの共起制約のチェックが必要になるといった、XML スキーマだけでは単純に記述できないような制約は可能な限り用いないことを方針とした。

本規格は、特定健診以外の他の健診の決済情報を電子的に交換する場合にも使用することができる。その場合、提出先機関に対して実施した健診事業毎に本ファイルを作成する。詳細については、「特定健診・特定保健指導のデータファイル送付用ファイルアーカイブ仕様説明書」を参照のこと。

本書では、XML 仕様を表 2 に示す表形式で記述する。

「要素名」で示される行は、その表に示される XML 要素名である。この要素の子要素または属性を表中の各行に示す。このとき、灰色に網掛けした行は XML 要素を表し、網掛けされていない行は、属性またはテキスト内容を表す。

「要素/属性」列は、各行が示す項目が XML 要素の場合要素名を、属性の場合は属性名を表す。属性名の前には「@」を付与する。テキスト内容の場合は「テキスト内容」を示す。

「型」列は、「要素」「属性」「テキスト」の 3 種類の値をとり、それぞれ、その行が表す内容が、XML 要素、属性、テキスト内容であることを示す。

多重度は、指定された要素または属性の出現数の最小値と最大値とを「..」の両端に示す形で表現する。最大値に制限がない場合は「*」（アスタリスク）で示す。例えば、下表 2 の場合、interactionType 要素は、XML 中に 0 または 1 つのみ出現し、sender 要素は、1 つ以上複数個出現することを意味する。なお、多重度は、その項目の上位の項目が出現する場合の多重度となる。例えば下の例では、interactionType 要素の多重度が「0..1」で、その下位項目である code 属性の多重度が「1..1」であるということは、上位項目である interactionType 要素自体は省略することが可能であるが、interactionType 要素が出現する場合には、その下位項目である code 属性も必ず出現することを意味している。

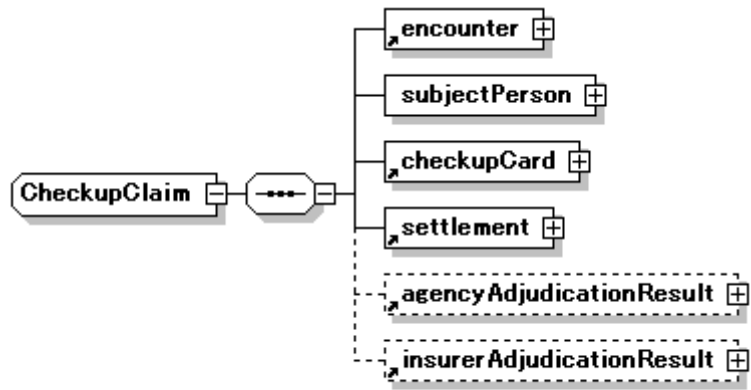
最小多重度が 0 である項目は、その要素または属性が存在しない場合があることを示す。もし記述すべき値がない（または記述すべき値が空文字列）場合には、その要素自体または属性自体を省略しなければならない。要素または属性を出現させて値は空文字列にすることは許可されない。

ここで掲げる表と図は XML タグ仕様の読み方を示すために記載した架空のものであり、本仕様とは無関係のものとして見る必要がある。

表 2 本書における XML 仕様の表記例

要素名		index		
No	要素 / 属性	型	多重度	説明
1.1	interactionType	要素	0..1	種別
1.1.1	@code	属性	1..1	表 2 のコード値
1.2	sender	要素	1..*	送付元機関
1.2.1	id	要素	1..1	送付元機関番号（以下のいずれかを値にとる） 特定健診機関番号・特定保健指導機関番号：半角数字 10 桁 代行機関番号：半角数字 8 桁 保険者番号：半角数字 8 桁以内
1.2.1.1	@root	属性	1..1	機関番号を識別するオブジェクト識別子
1.2.1.2	@extension	属性	1..1	機関番号文字列

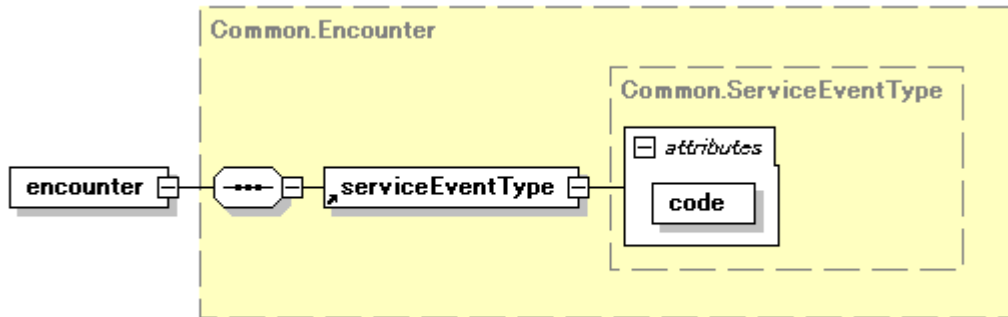
本書で定義する XML スキーマ(cc08_V08.xsd)の構造を図 1 に示す。



Generated by XmlSpy

www.altova.com

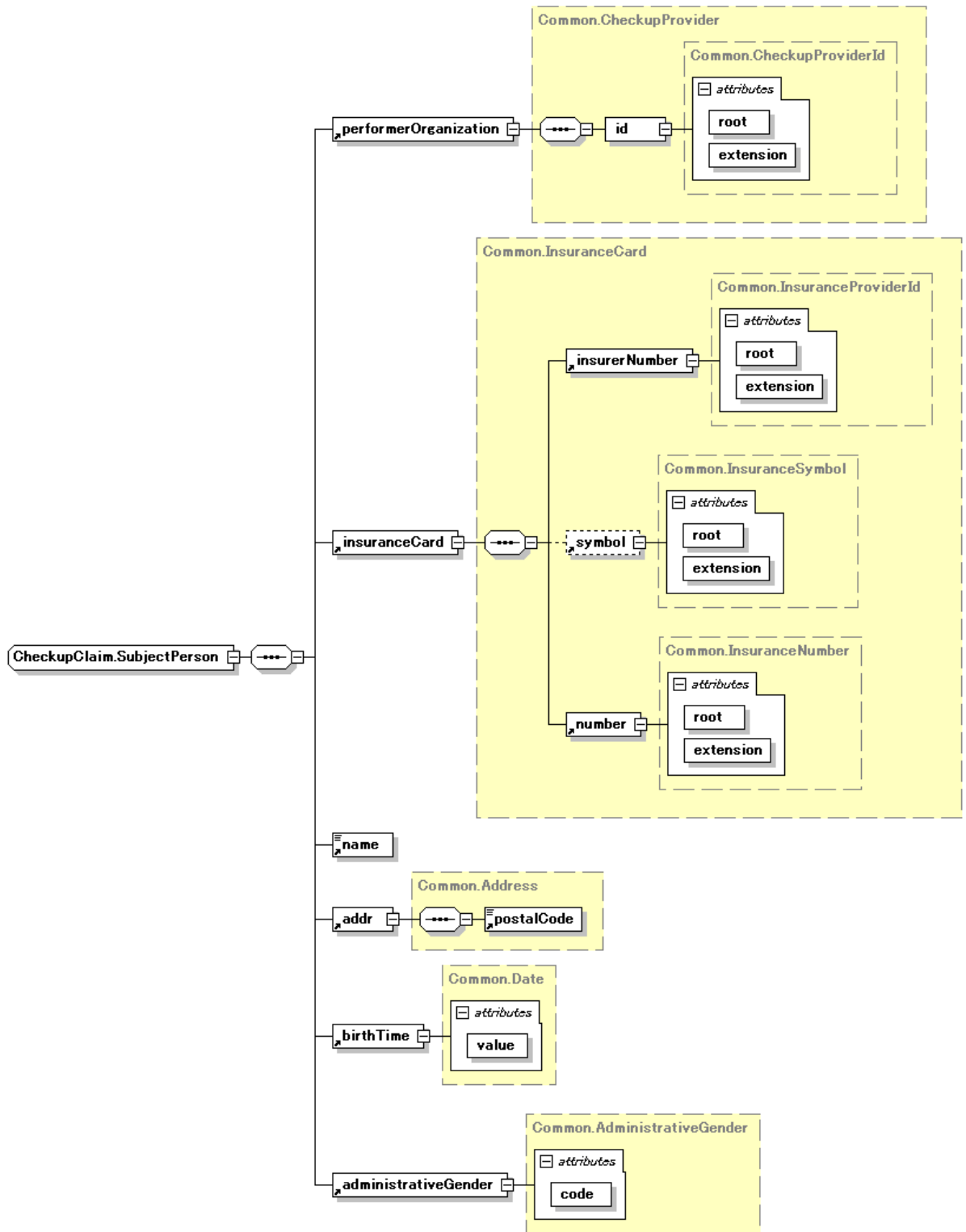
図 1 XML スキーマの構造 (全体構造)



Generated by XmlSpy

www.altova.com

図 2 XML スキーマの構造 (受診情報)



Generated by XmlSpy

www.altova.com

図 3 XML スキーマの構造 (受診者情報)

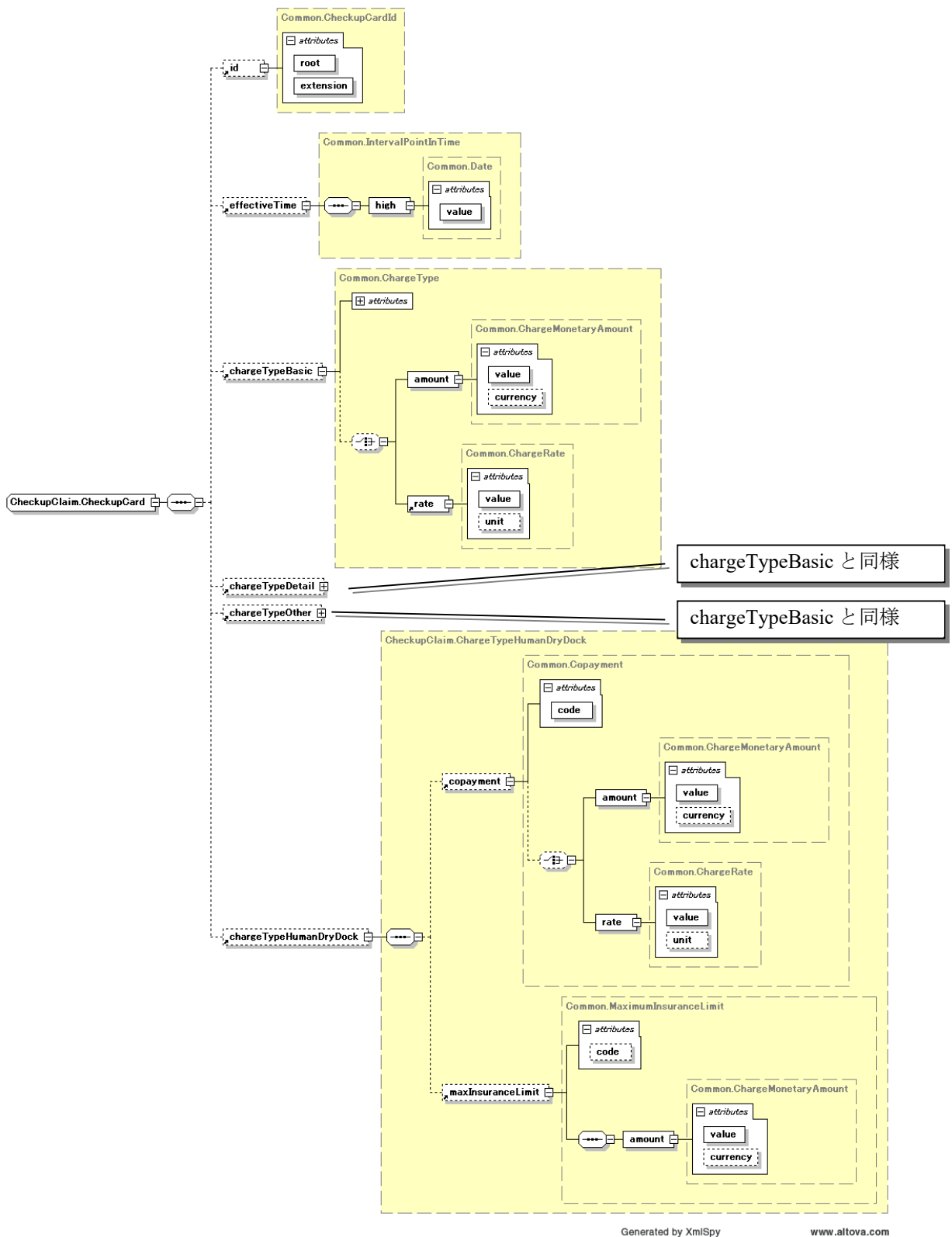


図 4 XML スキーマの構造 (受診券情報)

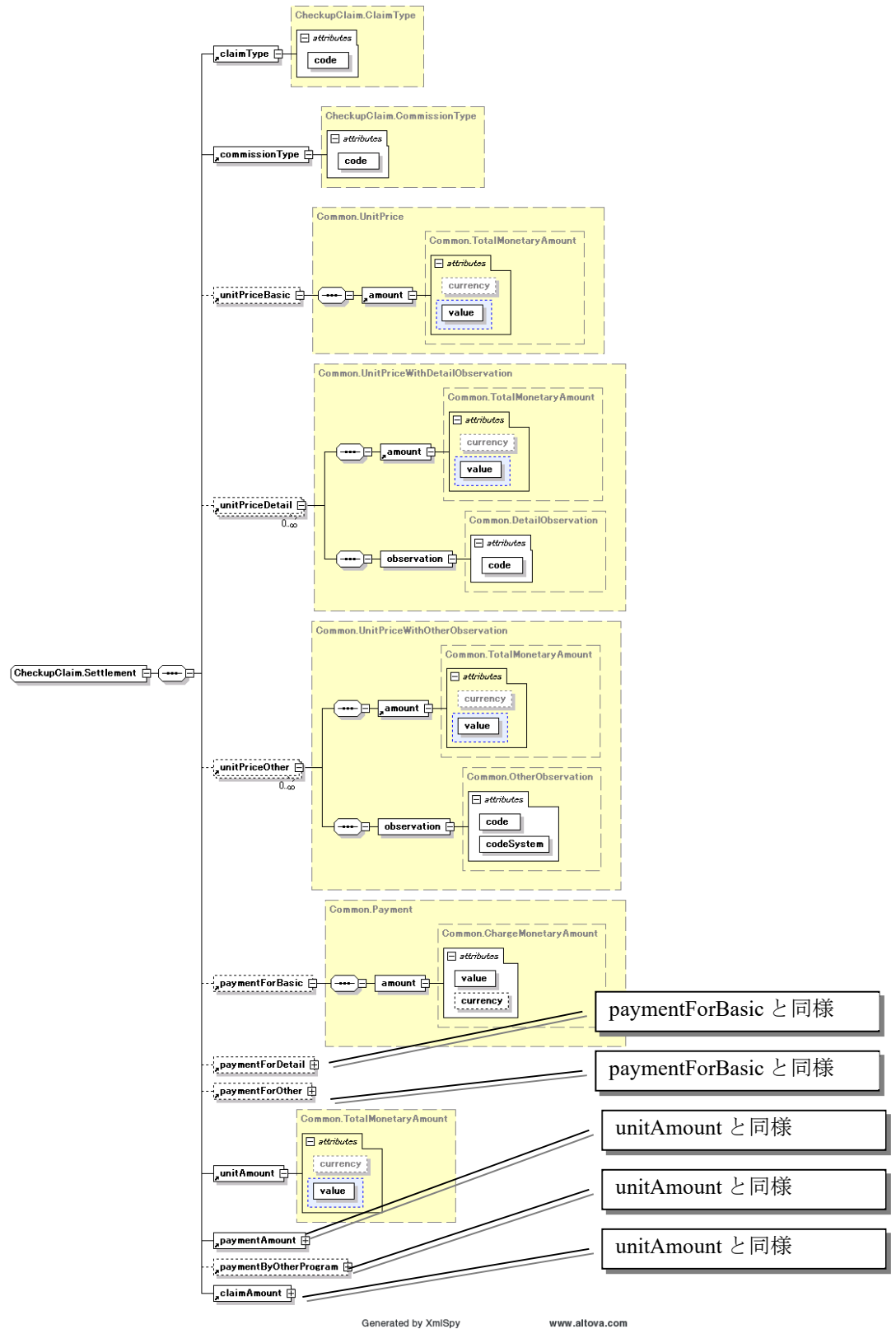


図 5 XML スキーマの構造 (決済情報)

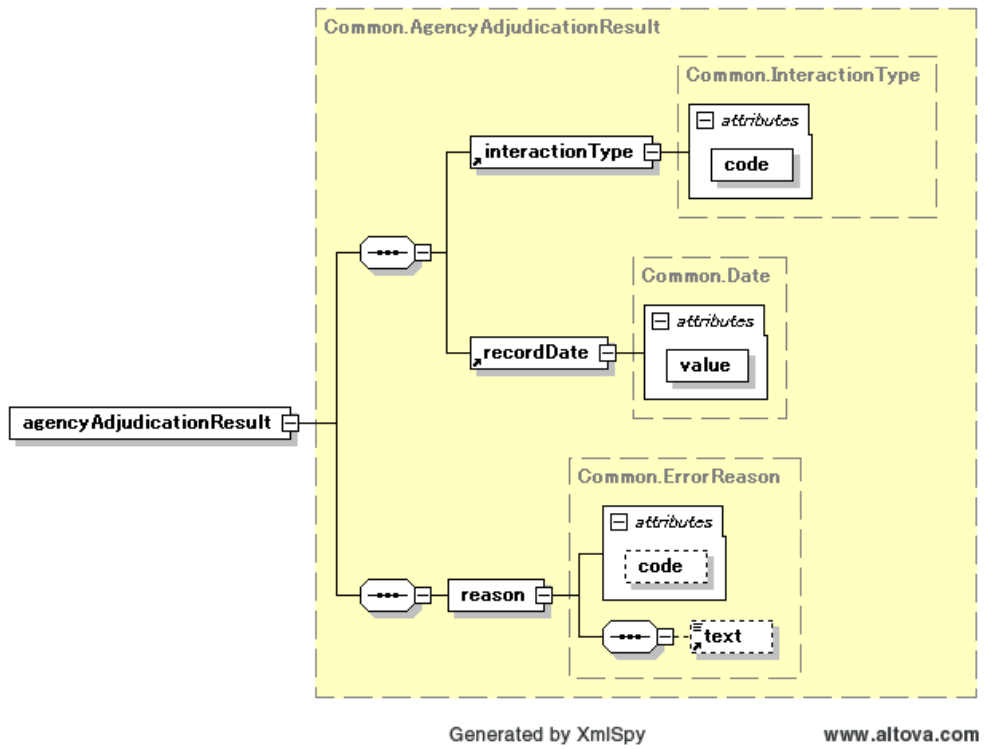


図 6 XML スキーマの構造（代行機関の処理結果情報）

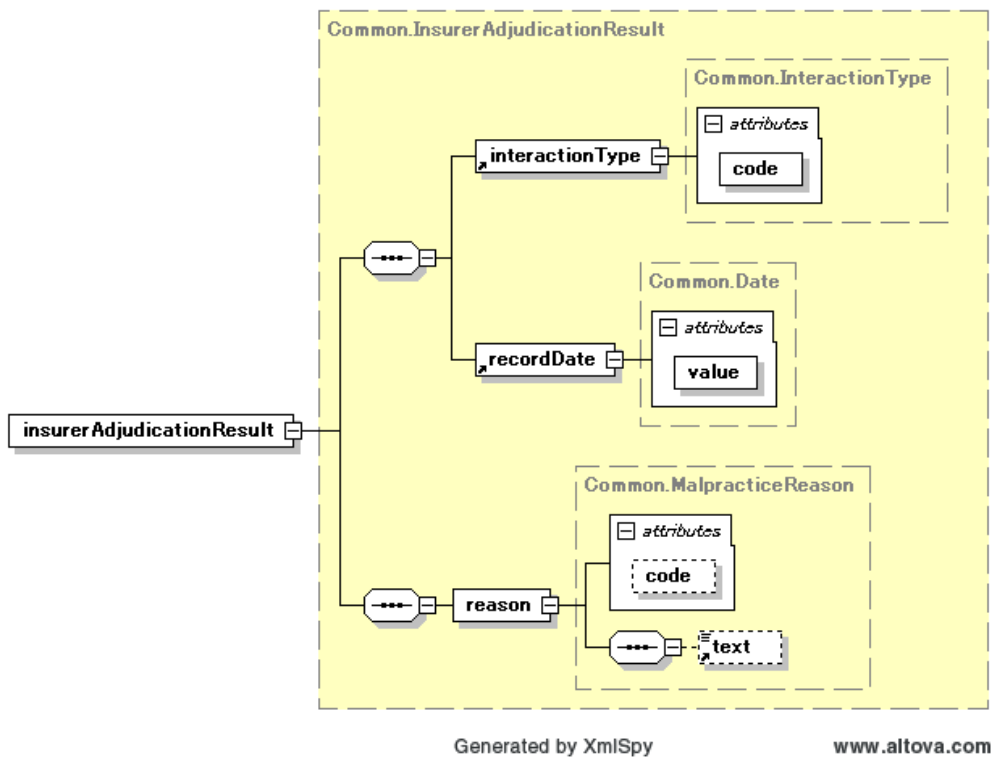


図 7 XML スキーマの構造（保険者の処理結果情報）

仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

3.1 特定健診決済情報 (checkupClaim)

特定健診決済情報ファイルのルート要素。受診券情報は、受診券が発行されない個別契約の場合であっても、窓口負担情報を記録するために必須とする。代行機関等の処理結果、及び、保険者の処理結果は、返戻データの場合にのみ出現する。

表 3 特定健診決済情報 XML 仕様

型名		checkupClaim		
No	要素 / 属性	型	多重度	説明
1	encounter	要素	1..1	受診情報 (3.2 節参照)
2	subjectPerson	要素	1..1	受診者情報 (3.3 節参照)
3	checkupCard	要素	1..1	特定健診受診券情報 (3.4 節参照)
4	settlement	要素	1..1	決済情報 (3.5 節参照)
5	agencyAdjudicationResult	要素	0..1	代行機関等の処理結果 (3.6 節参照)
6	insurerAdjudicationResult	要素	0..1	保険者の処理結果 (3.7 節参照)

3.2 受診情報 (encounter)

特定健診受診情報を表す要素。実施区分は必須要素であり、実施区分コードより特定健診情報「1: 特定健診情報」を指定する。

また、本規格は、特定健診の結果だけではなく、事業者健診や健康増進法に基づくがん検診といった、他の健診の結果を、事業者や市町村に送付する際にも使用することができる。その場合の実施区分には「4:他の健診結果の受領分」を指定する。

表 4 受診情報 XML 仕様

型名		encounter		
No	要素 / 属性	型	多重度	説明
1.1	serviceEventType	要素	1..1	実施区分。
1.1.1	@code	属性	1..1	実施区分コード (表 14)

仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

3.3 受診者情報 (subjectPerson)

特定健診受診者情報を表す要素。被保険者証等記号以外のすべての要素、及び、属性は必須であり、多重度は「1..1」となる。

表 5 受診者情報 XML 仕様

型名		subject		
No	要素 / 属性	型	多重度	説明
2.1	performerOrganization	要素	1..1	特定健診機関情報。
2.1.1	id	要素	1..1	健診機関番号。
2.1.1.1	@root	属性	1..1	健診機関番号を識別するオブジェクト識別子。「1.2.392.200119.6.102」。
2.1.1.2	@extension	属性	1..1	機関番号文字列。半角数字 10 桁。
2.2	insuranceCard	要素	1..1	被保険者証情報。
2.2.1	insurerNumber	要素	1..1	保険者番号。
2.2.1.1	@root	属性	1..1	保険者番号を識別するオブジェクト識別子。「1.2.392.200119.6.101」。
2.2.1.2	@extension	属性	1..1	保険者番号文字列。半角数字 8 桁。8 桁に満たない場合は先頭をゼロ埋めして 8 桁とする。
2.2.2	symbol	要素	0..1	被保険者証等記号。被保険者証等記号がない場合には省略。
2.2.2.1	@root	属性	1..1	被保険者証等記号を識別するオブジェクト識別子。「1.2.392.200119.6.204」
2.2.2.2	@extension	属性	1..1	被保険者証等記号文字列。全角または半角 20 文字まで。健診情報ファイルに格納される形式と同一条件であること。
2.2.3	number	要素	1..1	被保険者証等番号。
2.2.3.1	@root	属性	1..1	被保険者証等番号を識別するオブジェクト識別子。「1.2.392.200119.6.205」
2.2.3.2	@extension	属性	1..1	被保険者証等番号文字列。全角または半角の数字 20 文字まで。健診情報ファイルに格納される形式と同一であること。
2.2.4	branchCode	要素	0..1	被保険者証等枝番。
2.2.4.1	@root	属性	1..1	被保険者証等枝番を識別するオブジェクト識別子。「1.2.392.200119.6.211」
2.2.4.2	@extension	属性	1..1	被保険者証等枝番文字列。数字 2 桁固定。健診情報ファイルに格納される形式と同一であること。健診情報ファイルに存在しない場合（被保険者証等枝番が採番されていない、または不明な場合）には、本要素は出現させない。
2.3	name	要素	1..1	受診者カナ氏名。
2.3.1	テキスト内容	属性	1..1	カナ氏名文字列。全角カタカナ 20 文字まで。健診情報ファイルに格納される形式と同一であること。
2.4	addr	要素	1..1	受診者住所。
2.4.1	postalCode	要素	1..1	受診者郵便番号。
2.4.1.1	テキスト内容	属性	1..1	郵便番号文字列。正規表現：「[0-9]{3}-[0-9]{4}」。
2.4.1.2	テキスト内容	属性	1..1	住所文字列。全角 40 文字まで。
2.5	birthTime	要素	1..1	受診者生年月日。
2.5.1	@value	属性	1..1	生年月日（西暦）。YYYYMMDD 形式。
2.6	administrativeGender	要素	1..1	受診者男女区分。
2.6.1	@code	属性	1..1	男女区分コード（表 15）

仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

3.4 特定健診受診券情報 (checkupCard)

特定健診受診券情報を表す要素。受診券が発行されない個別契約の場合であっても、窓口負担情報を記録するために必ず出現する。受診券整理番号と受診券の有効期限は、受診券が使用される場合のみ出現する。

窓口負担情報を表す、chargeTypeBasic 要素、chargeTypeDetail 要素、chargeTypeOther 要素、chargeTypeHumanDryDock 要素は、請求区分コードの値によって、どの要素が出現するかが決定する。また、これらの要素は、対応する窓口負担コードの値によって、取りうる子要素が異なる。これらの制約は表 6 に整理される。表中の「◎」は、請求区分コードが各列の値をとる場合に、その要素が必須であることを示す。一方「○」は、請求区分コードが各列の値をとる場合に、その要素が条件によって必須となることを示し、その出現条件は「その他の出現条件」列に示される。また、「×」は請求区分が各列の値をとる場合、その要素が出現してはならないことを示す。これらの制約は、XML スキーマでは検証されないため注意する。

平成 30 年度以降、特定健診当日、または 1 週間以内に特定保健指導の初回面接を実施できるセット券（特定健康診査＋特定保健指導）の場合、受診券の種別番号には「5」が設定される。

表 6 特定健診受診券情報 XML 要素出現条件

XML 要素	請求区分コード					その他の出現条件
	1	2	3	4	5	
chargeTypeBasic	◎	◎	◎	◎	×	—
chargeTypeBasic/amount	○	○	○	○	×	chargeTypeBasic/@code が「2」または「4」の場合のみ出現し必須
chargeTypeBasic/rate	○	○	○	○	×	chargeTypeBasic/@code が「3」の場合のみ出現し必須
chargeTypeDetail	×	◎	×	◎	×	—
chargeTypeDetail/amount	×	○	×	○	×	chargeTypeDetail/@code が「2」または「4」の場合のみ出現し必須
chargeTypeDetail/rate	×	○	×	○	×	chargeTypeDetail/@code が「3」の場合のみ出現し必須
chargeTypeOther	×	×	◎	◎	×	—
chargeTypeOther/amount	×	×	○	○	×	chargeTypeOther/@code が「2」または「4」の場合のみ出現し必須
chargeTypeOther/rate	×	×	○	○	×	chargeTypeOther/@code が「3」の場合のみ出現し必須
chargeTypeHumanDryDock	×	×	×	×	◎	—
chargeTypeHumanDryDock/copayment	×	×	×	×	○	人間ドックに関する窓口負担の種別が設定されている場合のみ出現し必須。 copayment と maxInsuranceLimit は、どちらか一方が必ず出現しなければならない、共に出現する場合は、copayment/@code が「2」「3」の場合に限る
chargeTypeHumanDryDock/copayment/amount	×	×	×	×	○	chargeTypeHumanDryDock/copayment/@code が「2」の場合のみ出現し必須
chargeTypeHumanDryDock/copayment/rate	×	×	×	×	○	chargeTypeHumanDryDock/copayment/@code が「3」の場合のみ出現し必須
chargeTypeHumanDryDock/maxInsuranceLimit	×	×	×	×	○	人間ドックに関する窓口負担に保険者負担上限額が設定されている場合のみ出現し必須。
chargeTypeHumanDryDock/maxInsuranceLimit/amount	×	×	×	×	○	copayment と maxInsuranceLimit は、どちらか一方が必ず出現しなければならない、共に出現する場合は、copayment/@code が「2」「3」の場合に限る。

負担金額を表す amount 要素の value 属性、及び、負担率を表す rate 要素の value 属性は、半角数字 6 桁固定であり、6 桁に満たない数値はゼロ埋めする。

仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

表 7 特定健診受診券情報 XML 仕様

型名		checkupCard		
No	要素 / 属性	型	多重度	説明
3.1	id	要素	0..1	受診券整理番号。受診券が使用される場合のみ出現。
3.1.1	@root	属性	1..1	受診券整理番号を識別するオブジェクト識別子。「1.2.392.200119.6.209」
3.1.2	@extension	属性	1..1	受診券整理番号文字列。半角数字 11 桁固定。
3.2	effectiveTime	要素	0..1	受診券有効期限。受診券が使用される場合のみ出現。
3.2.1	high	要素	1..1	
3.2.1.1	@value	属性	1..1	有効期限の年月日（西暦）。YYYYMMDD 形式。
3.3	chargeTypeBasic	要素	0..1	窓口負担（基本的な健診）。請求区分コードが「1」～「4」の場合にのみ出現し必須。
3.3.1	@code	属性	1..1	基本的な健診項目の窓口負担コード（表 16）。
3.3.2	amount	要素	0..1	負担金額。3.3.1（窓口負担（基本的な健診））が「2」または「4」の場合にのみ出現し必須。「2」の場合、受診者の負担額、「4」の場合、保険者の負担上限額。
3.3.2.1	@value	属性	1..1	金額値。半角数字 6 桁固定。6 桁に満たない場合はゼロ埋めする。
3.3.2.2	@currency	属性	0..1	「JPY」固定。省略可。
3.3.3	rate	要素	0..1	負担率（%）。3.3.1（窓口負担（基本的な健診））が「3」の場合にのみ出現し必須。
3.3.3.1	@value	属性	1..1	負担率（%）。半角数字 6 桁固定。1%を「001000」と表記する。6 桁に満たない場合はゼロ埋めする。
3.3.3.2	@unit	属性	0..1	「%」固定。省略可。
3.4	chargeTypeDetail	要素	0..1	窓口負担（詳細な健診）。請求区分コードが「2」または「4」の場合にのみ出現し必須。
3.4.1	@code	属性	1..1	詳細な健診項目の窓口負担コード（表 16）。
3.4.2	amount	要素	0..1	3.4.1（窓口負担（詳細な健診））が「2」または「4」の場合にのみ出現し必須。「2」の場合、受診者の負担額、「4」の場合、保険者の負担上限額。
3.4.2.1	@value	属性	1..1	金額値。半角数字 6 桁固定。6 桁に満たない場合はゼロ埋めする。
3.4.2.2	@currency	属性	0..1	「JPY」固定。省略可。
3.4.3	rate	要素	0..1	負担率（%）。3.4.1（窓口負担（詳細な健診））が「3」の場合にのみ出現し必須。
3.4.3.1	@value	属性	1..1	負担率（%）。半角数字 6 桁固定。1%を「001000」と表記する。6 桁に満たない場合はゼロ埋めする。
3.4.3.2	@unit	属性	0..1	「%」固定。省略可。
3.5	chargeTypeOther	要素	0..1	窓口負担（追加健診）。請求区分コードが「3」または「4」の場合にのみ出現し必須。
3.5.1	@code	属性	1..1	追加健診の窓口負担コード（表 16）。
3.5.2	amount	要素	0..1	3.5.1（窓口負担（追加健診））が「2」または

仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

				「4」の場合にのみ出現し必須。「2」の場合、受診者の負担額、「4」の場合、保険者の負担上限額。
3.5.2.1	@value	属性	1..1	金額値。半角数字 6 桁固定。6 桁に満たない場合はゼロ埋めする。
3.5.2.2	@currency	属性	0..1	「JPY」固定。省略可。
3.5.3	rate	要素	0..1	負担率（%）。 3.5.1（窓口負担（追加健診））が「3」の場合にのみ出現し必須。
3.5.3.1	@value	属性	1..1	負担率（%）。半角数字 6 桁固定。1%を「001000」と表記する。6 桁に満たない場合はゼロ埋めする。
3.5.3.2	@unit	属性	0..1	「%」固定。省略可。
3.6	chargeTypeHumanDryDock	要素	0..1	窓口負担（人間ドック）。 請求区分が「5」の場合にのみ出現し必須。
3.6.1	copayment	要素	0..1	人間ドックに係る受診者の負担金額または負担率。人間ドックに係る受診者の窓口負担コードが「1」～「3」の場合にのみ出現し必須。
3.6.1.1	@code	属性	1..1	人間ドックの窓口負担コード（表 16）。
3.6.1.2	amount	要素	0..1	負担金額。3.6.1.1（人間ドックに係る窓口負担種別）が「2」の場合にのみ出現し必須。
3.6.1.2.1	@value	属性	1..1	金額値。半角数字 6 桁固定。6 桁に満たない場合はゼロ埋めする。
3.6.1.2.2	@currency	属性	0..1	「JPY」固定。省略可。
3.6.1.3	rate	要素	0..1	3.6.1.1（人間ドックに係る窓口負担種別）が「3」の場合にのみ出現し必須。
3.6.1.3.1	@value	属性	1..1	負担率（%）。半角数字 6 桁固定。1%を「001000」と表記する。6 桁に満たない場合はゼロ埋めする。
3.6.1.3.2	@unit	属性	0..1	「%」固定。省略可。
3.6.2	maxInsuranceLimit	要素	0..1	保険者負担上限額。
3.6.2.1	@code	属性	0..1	人間ドックに係る窓口負担に保険者負担上限額が設定されている場合「4」を常に出力。
3.6.2.2	amount	要素	1..1	保険者負担上限額。
3.6.2.2.1	@value	属性	1..1	金額値。半角数字 6 桁固定。6 桁に満たない場合はゼロ埋めする。
3.6.2.2.2	@currency	属性	0..1	「JPY」固定。省略可。

仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

3.5 決済情報 (settlement)

決済情報を表す要素。単価を表す unitPriceBasic 要素、unitPriceDetail 要素、unitPriceOther 要素、及び、窓口負担金額を表す paymentForBasic 要素、paymentForDetail 要素、paymentForOther 要素は、請求区分コードの値により、XML インスタンス中に出現する要素が決定する。表 8 に請求区分コードと各要素の出現条件を示す。表中の「◎」は、請求区分コードが各列の値をとる場合に、その要素が必須であることを示す。一方「×」は、請求区分コードが各列の値をとる場合に、その要素が出現してはならないことを示す。これらの制約は、XML スキーマでは検証されないことに注意する。

表 8 決済情報 XML 要素出現条件

XML 要素	請求区分コード				
	1	2	3	4	5
unitPriceBasic	◎	◎	◎	◎	×
unitPriceBasic/amount	◎	◎	◎	◎	×
unitPriceDetail	×	◎	×	◎	×
unitPriceDetail/amount	×	◎	×	◎	×
unitPriceDetail/observation	×	◎	×	◎	×
unitPriceOther	×	×	◎	◎	◎
unitPriceOther/amount	×	×	◎	◎	◎
unitPriceOther/observation	×	×	◎	◎	×
paymentForBasic	◎	◎	◎	◎	×
paymentForDetail	×	◎	×	◎	×
paymentForOther	×	×	◎	◎	◎

各単価の金額値を表す amount 要素の value 属性の値は、9 桁以内の整数で記述し、ゼロ埋めは行わない。

また、本規格は、特定健診の結果だけではなく、事業者健診や健康増進法に基づくがん検診といった、他の健診の結果を、事業者や市町村に送付する際にも使用することができる。その場合の請求区分コードの設定値を表 9 に示す。

表 9 他の健診結果を送付する場合の請求区分コード

	特定健診機関→事業者 ¹	特定健診機関→市町村衛生部門	特定健診機関→市町村一般衛生部門
請求区分コード (表 20)	「1:基本的な健診」: 法定項目のみ実施した場合 「3:基本的な健診+追加健診項目」: 法定項目以外に追加健診項目も実施した場合 ²	「1:基本的な健診」: 法定項目のみ実施した場合 「3:基本的な健診+追加健診項目」: 法定項目以外に追加健診項目も実施した場合 ³	「5:人間ドック」を指定。 委託料単価や窓口負担金額を、「人間ドック」の場合と同様に指定する。

¹ 学校保健安全法の対象となる学校の設置者も含む

² 医師の判断により実施された項目 (学校検診の胸部エックス線検査等) は、「追加健診項目」として扱う

³ 一定の条件を満たす場合に実施された項目 (貧血検査、アルブミン等) は、「追加健診項目」として扱う

仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

表 10 決済情報 XML 仕様

型名		settlement		
No	要素 / 属性	型	多重度	説明
4.1	claimType	要素	1..1	請求区分コード
4.1.1	@code	属性	1..1	請求区分コード (表 20)
4.2	commissionType	要素	1..1	委託料単価 (個別健診・集団健診) 区分コード
4.2.1	@code	属性	1..1	委託料単価区分コード (表 22)
4.3	unitPriceBasic	要素	0..1	単価 (基本的な健診)。 4.1.1 (請求区分コード) が「1」～「4」の場合にのみ出現し必須。
4.3.1	amount	要素	1..1	基本的な健診の単価金額。
4.3.1.1	@value	属性	1..1	金額値。半角数字 9 桁以内。
4.3.1.2	@currency	属性	0..1	「JPY」固定。省略可。
4.4	unitPriceDetail	要素	0..*	単価 (詳細な健診)。 4.1.1 (請求区分コード) が「2」または「4」の場合にのみ出現し必須。
4.4.1	amount	要素	1..1	詳細な健診の単価金額。
4.4.1.1	@value	属性	1..1	金額値。半角数字 9 桁以内。
4.4.1.2	@currency	属性	0..1	「JPY」固定。省略可。
4.4.2	observation	要素	1..1	詳細な健診項目のコード。
4.4.2.1	@code	属性	1..1	詳細な健診項目コードのコード値。(表 21)
4.5	unitPriceOther	要素	0..*	単価 (その他の健診)。 4.1.1 (請求区分コード) が「3」～「5」の場合に出現し必須。
4.5.1	amount	要素	1..1	追加健診項目の単価金額。
4.5.1.1	@value	属性	1..1	金額値。半角数字 9 桁以内。
4.5.1.2	@currency	属性	0..1	「JPY」固定。省略可。
4.5.2	observation	要素	0..1	追加健診項目のコード。 4.1.1 (請求区分コード) が「3」～「4」の場合にのみ出現し必須 (人間ドックの場合は記録しない)。
4.5.2.1	@code	属性	1..1	追加健診項目コードのコード値 (JLAC10 17 桁コード)。
4.5.2.2	@codeSystem	属性	1..1	コード体系を識別する OID。 「1.2.392.200119.6.1005」
4.6	paymentForBasic	要素	0..1	基本的な健診項目に係る窓口負担金額。 4.1.1 (請求区分コード) が「1」～「4」の場合にのみ出現し必須。
4.6.1	amount	要素	1..1	窓口負担金額。
4.6.1.1	@value	属性	1..1	金額値。半角数字 6 桁固定で記録。6 桁に満たない場合はゼロ埋めする。
4.6.1.2	@currency	属性	0..1	「JPY」固定。省略可。
4.7	paymentForDetail	要素	0..1	詳細な健診項目に係る窓口負担金額。 4.1.1 (請求区分コード) が「2」または「4」の場合にのみ出現し必須。
4.7.1	amount	要素	1..1	窓口負担金額。
4.7.1.1	@value	属性	1..1	金額値。半角数字 6 桁固定で記録。6 桁に満たない場合はゼロ埋めする。
4.7.1.2	@currency	属性	0..1	「JPY」固定。省略可。
4.8	paymentForOther	要素	0..1	追加健診又は人間ドックに係る窓口負担金額。 4.1.1 (請求区分コード) が「3」～「5」の場合にのみ出現し必須。
4.8.1	amount	要素	1..1	窓口負担金額。
4.8.1.1	@value	属性	1..1	金額値。半角数字 6 桁固定で記録。6 桁に満たない場合はゼロ埋めする。
4.8.1.2	@currency	属性	0..1	「JPY」固定。省略可。

仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

4.9	unitAmount	要素	1..1	単価合計金額。
4.9.1	@value	属性	1..1	単価合計金額を半角数字9桁以内で記述。
4.9.2	@currency	属性	0..1	「JPY」固定。省略可。
4.10	paymentAmount	要素	1..1	窓口負担金額。
4.10.1	@value	属性	1..1	窓口負担金額を半角数字9桁以内で記述。
4.10.2	@currency	属性	0..1	「JPY」固定。省略可。
4.11	paymentByOtherProgram	要素	0..1	集合契約において、他の法令に基づく検診（生活機能評価等）を共同実施した場合の、他の検診側で負担する金額を記録。共同実施をしていない場合、及び、他の検診側での負担が発生しない場合は省略可。
4.11.1	@value	属性	1..1	他の検診側で負担する金額を半角数字9桁以内で記述。
4.11.2	@currency	属性	0..1	「JPY」固定。省略可。
4.12	claimAmount	要素	1..1	保険者への請求金額。 単価合計金額(4.9) - 窓口負担金額(4.10) - 他の検診による負担金額(4.11)
4.12.1	@value	属性	1..1	保険者への請求金額。半角数字9桁以内。
4.12.2	@currency	属性	0..1	「JPY」固定。省略可。

仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

3.6 代行機関の処理結果 (agencyAdjudicationResult)

代行機関の処理結果を記述。返戻データのみに出現する。

表 11 代行機関の処理結果 XML 仕様

型名		agencyAdjudicationResult		
No	要素 / 属性	型	多重度	説明
5.1	interactionType	要素	1..1	データ種別。
5.1.1	@code	属性	1..1	種別コード (表 17)
5.2	recordDate	要素	1..1	記録年月日 (西暦)。
5.2.1	@value	属性	1..1	記録年月日文字列。YYYYMMDD 形式。
5.3	reason	要素	1..1	代行機関による返戻理由。
5.3.1	@code	属性	1..1	返戻理由コード (18)
5.3.2	text	要素	0..1	代行機関による返戻理由等 (詳細)。
5.3.2.1	テキスト内容	属性	1..1	返戻理由 (詳細)。全角 100 文字以内。

3.7 保険者の処理結果 (insurerAdjudicationResult)

保険者の処理結果を記述。返戻データのみに出現する。

表 12 保険者の処理結果 XML 仕様

型名		insurerAdjudicationResult		
No	要素 / 属性	型	多重度	説明
6.1	interactionType	要素	1..1	データ種別。
6.1.1	@code	属性	1..1	種別コード (表 17)
6.2	recordDate	要素	1..1	記録年月日 (西暦)。
6.2.1	@value	属性	1..1	記録年月日文字列。YYYYMMDD 形式。
6.3	reason	要素	1..1	保険者による過誤返戻理由。
6.3.1	@code	属性	1..1	過誤返戻理由コード (表 19)
6.3.2	text	要素	0..1	保険者による過誤返戻理由等 (詳細)。
6.3.2.1	テキスト内容	属性	1..1	過誤返戻理由 (詳細)。全角 100 文字以内。

3.8 オブジェクト識別子 (oid)

オブジェクト識別子情報(OID : Object Identifier)を表す oid 型は、以下の単純型で規定される。本仕様で使用する OID の一覧は、5 節 表 23 に示す。

表 13 オブジェクト識別子 XML 仕様

型名		oid	
base	型	説明	
xs:string	xs:pattern	正規表現 : [0-2](¥.(0 [1-9][0-9]*)*)*	

仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

4. コード表

本 XML で使用するコード表を以下に示す。

表 14 実施区分コード

コード名	コード	内容	備考
実施区分 コード	1	特定健診情報	
	2	特定保健指導情報	
	3	国への実績報告(匿名化済)	保険者での設定は不要
	4	他の健診結果の受領分	事業者健診の結果を受領した場合
	5	国への実績報告(匿名化前)	
	6	予備	
	7	予備	
	8	予備	
	9	予備	

表 15 男女区分コード

コード名	コード	内容	備考
男女区分 コード	1	男	
	2	女	

表 16 窓口負担コード

コード名	コード	内容	備考
窓口負担 コード	1	受診者・利用者は負担なし	
	2	受診者・利用者は定額負担	単位：円
	3	受診者・利用者は定率負担	単位：%
	4	保険者の負担上限額	単位：円

仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

表 17 種別コード

コード名	コード	内容	備考
種別コード	1	特定健診機関又は特定保健指導機関から代行機関	請求
	2	代行機関から特定健診機関又は特定保健指導機関	返戻
	3	代行機関から保険者	請求
	4	保険者から代行機関（未決済データの場合）	返戻依頼
	5	保険者から代行機関（決済済データの場合）	過誤請求
	6	特定健診機関又は特定保健指導機関から保険者	代行機関を介しない場合
	7	保険者から特定健診機関又は特定保健指導機関	
	8	保険者から保険者	
	9	その他	
	10	保険者から国	実績報告
	11	代行機関から保険者へ確認依頼	確認依頼
	12	閲覧用	閲覧用特定健診結果
	13	予備	関係機関からの要望により設定
	14	予備	(検討中)
	15	予備	
	16	予備	
	17	予備	
	18	予備	
	19	予備	
	20	予備	

仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

18 返戻理由コード

コード名	コード	内容	備考
返戻理由 コード	01	データの記録形式不備	
	02	データの記録もれ	
	03	健診結果データ異常	
	04	契約対象外	
	05	受診券・利用券の整理番号不備	
	06	有効期限外	
	07	窓口負担金額不備	
	08	健診・指導機関からの取下げ依頼による	
	09	その他	具体的内容を返戻理由 2 に記録

表19 過誤返戻理由コード

コード名	コード	内容	備考
過誤返戻 理由コード	01	被保険者証の記号・番号の誤り	
	02	受診券・利用券の整理番号の誤り	
	03	受診者・利用者氏名の誤り	
	04	該当者なし	
	05	保険者番号と記号の不一致	資格喪失日・証回収日を過誤返戻理由 2 に記録
	06	資格喪失後の受診	複数回健診受診等を含む
	07	重複請求	
	08	健診・指導機関からの取下げ依頼による	
	09	その他	具体的内容を返戻理由 2 に記録

表 20 請求区分コード

コード名	コード	内容	備考
請求区分 コード	1	基本的な健診	
	2	基本的な健診＋詳細な健診	
	3	基本的な健診＋追加健診項目	
	4	基本的な健診＋詳細な健診＋追加健診項目	
	5	人間ドック	

表21 詳細な健診項目コード

コード名	コード	内容	備考
詳細な健診項目 コード	1	貧血検査	
	2	心電図検査	
	3	眼底検査	
	4	血清クレアチニン検査	

表 22 委託料単価区分コード

コード名	コード	内容	備考
委託料単価（個別健診・ 集団健診）区分コード	1	個別健診	
	2	集団健診	

仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

5. OID 仕様

本 XML で使用する OID の一覧を示す。

表 23 OID 一覧

OID	説明	備考
1. 2. 392. 200119. 6. 101	保険者番号	
1. 2. 392. 200119. 6. 102	特定健診機関番号／特定保健指導機関番号	
1. 2. 392. 200119. 6. 103	代行機関番号	
1. 2. 392. 200119. 6. 204	被保険者証等記号	
1. 2. 392. 200119. 6. 205	被保険者証等番号	
1. 2. 392. 200119. 6. 211	被保険者証等枝番	
1. 2. 392. 200119. 6. 209	受診券番号	
1. 2. 392. 200119. 6. 1005	健診項目コード	

仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

6. サンプル XML

特定健診決済情報ファイルの XML の例として、以下に 2 つの例を示す。

例 1：特定健診（基本的な健診＋詳細な健診＋追加健診）

表 24 サンプル XML の内容（例 1：特定健診（基本的な健診＋詳細な健診＋追加健診））

記録内容	項目名称	値
受診情報	実施区分	1（特定健診情報）
受診者情報	特定健診機関番号	健診機関番号 1234567890
	保険者番号	保険者番号 1234
	被保険者証等記号	あいう
	被保険者証等番号	11223344
	被保険者証等枝番	01
	氏名	ケンシントロウ
	生年月日	1960 年 5 月 1 日
	男女区分	1（男）
受診券情報	郵便番号	123-0001
	住所	東京都千代田区霞が関 1-1-1
	受診券整理番号	24145678901
	有効期限	令和 6 年 7 月 31 日
	窓口負担（基本的な健診）負担区分	1（受診者・利用者は負担なし）
	窓口負担（詳細な健診）負担区分	2（受診者・利用者は定額負担）
	窓口負担（詳細な健診）負担金額	1,000 円
	窓口負担（追加健診）負担区分	3（受診者・利用者は定率負担）
決済情報	窓口負担（追加健診）負担率	50%
	請求区分	4（基本健診＋詳細な健診＋追加健診項目）
	委託料単価区分	2（集団健診）
	単価（基本的な健診）	3,000 円
	単価（詳細な健診） 貧血検査（詳細な健診項目コード：1）	1,000 円
	単価（詳細な健診） 心電図検査（詳細な健診項目コード：2）	1,200 円
	単価（追加健診又は人間ドック） 血液型検査（詳細な健診項目コード： 12345678901234567）	1,400 円
	窓口負担金額（基本的な健診）	0 円
	窓口負担金額（詳細な健診）	1,000 円
	窓口負担金額（追加健診又は人間ドック）	700 円
	単価（合計）	6,600 円
	窓口負担金額（合計）	1,700 円
	他の検診による負担金額	2,000 円
	請求金額	2,900 円
代行機関の 処理結果	種別	2（代行機関から特定健診機関又は特定 保健指導機関）
	記録年月日	令和 6 年 6 月 10 日
	返戻理由	01
保険者の処 理結果	種別	4（保険者から代行機関）
	記録年月日	令和 6 年 7 月 5 日
	過誤返戻理由	06
	返戻理由 2	資格喪失日：令和 6 年 4 月 30 日

仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<checkupClaim xmlns="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html"
xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html ../XSD/cc08_V08.xsd">
  <!-- 受診情報 -->
  <encounter>
    <!-- 実施区分 -->
    <serviceEventType code="1"/>
  </encounter>
  <!-- 受診者情報 -->
  <subjectPerson>
    <!-- 特定健診機関番号（特定健診機関番号：「1234567890」の場合） -->
    <performerOrganization>
      <id root="1.2.392.200119.6.102" extension="1234567890"/>
    </performerOrganization>
    <!-- 被保険者証情報 -->
    <insuranceCard>
      <!-- 保険者番号（保険者番号：「1234」の場合） -->
      <insurerNumber root="1.2.392.200119.6.101" extension="00001234"/>
      <!-- 被保険者記号（被保険者記号：「あいう」の場合） -->
      <symbol root="1.2.392.200119.6.204" extension="あいう"/>
      <!-- 被保険者番号（被保険者番号：「11223344」の場合） -->
      <number root="1.2.392.200119.6.205" extension="11223344"/>
      <!-- 被保険者枝番（被保険者枝番：「01」の場合） -->
      <branchCode root="1.2.392.200119.6.211" extension="01"/>
    </insuranceCard>
    <!-- 氏名（ケンシタロウ） -->
    <name>ケンシタロウ</name>
    <!-- 住所（郵便番号123-0001 東京都千代田区霞が関1-1-1） -->
    <addr>
      <postalCode>123-0001</postalCode>東京都千代田区霞が関1-1-1</addr>
    <!-- 生年月日（1960年5月1日） -->
    <birthTime value="19600501"/>
    <!-- 性別コード（1：男） -->
    <administrativeGender code="1"/>
  </subjectPerson>
  <!-- 特定健診受診券情報 -->
  <checkupCard>
    <!-- 特定健診受診券整理番号（特定健診受診券整理番号：「24145678901」の場合） -->
    <id root="1.2.392.200119.6.209" extension="24145678901"/>
    <!-- 有効期間（有効期限：令和6年7月31日の場合） -->
    <effectiveTime>
      <high value="20240731"/>
    </effectiveTime>
    <!-- 窓口負担（基本的な健診）（負担区分：「受診者は負担なし」の場合） -->
    <chargeTypeBasic code="1"/>
    <!-- 窓口負担（詳細な健診）（負担区分：「受診者は定額負担」の場合） -->
    <chargeTypeDetail code="2">
      <!-- 負担金額（1,000円の場合） -->
      <amount value="001000" currency="JPY"/>
    </chargeTypeDetail>
    <!-- 窓口負担（追加健診）（負担区分：「受診者は定率負担」の場合） -->
    <chargeTypeOther code="3">
      <!-- 負担率（50%の場合） -->
      <rate value="050000" unit=""/>
    </chargeTypeOther>
  </checkupCard>

```

```
</chargeTypeOther>
</checkupCard>
<!-- 決済情報 -->
<settlement>
  <!-- 請求区分コード（4:基本的な健診+詳細な健診+追加健診項目の場合） -->
  <claimType code="4"/>
  <!-- 委託料単価（個別健診・集団健診）区分（2:集団健診の場合） -->
  <commissionType code="2"/>
  <!-- 単価（基本的な健診） -->
  <unitPriceBasic>
    <!-- 単価金額（3,000円の場合） -->
    <amount value="3000" currency="JPY"/>
  </unitPriceBasic>
  <!-- 単価（詳細な健診） -->
  <unitPriceDetail>
    <!-- 単価金額（貧血検査（詳細な健診項目コード:1）の単価が1,000円の場合） -->
    <amount value="1000" currency="JPY"/>
    <observation code="1"/>
  </unitPriceDetail>
  <unitPriceDetail>
    <!-- 単価金額（心電図（詳細な健診項目コード:2）の単価が1,200円の場合） -->
    <amount value="1200" currency="JPY"/>
    <observation code="2"/>
  </unitPriceDetail>
  <!-- 単価（追加健診又は人間ドック） -->
  <unitPriceOther>
    <!-- 単価金額（健診項目コード 12345678901234567、単価金額 1,400円の場合） -->
    <amount value="1400" currency="JPY"/>
    <observation code="12345678901234567" codeSystem="1.2.392.200119.6.1005"/>
  </unitPriceOther>
  <!-- 窓口負担金額(基本的な健診) 負担金額 0円の場合 -->
  <paymentForBasic>
    <amount value="000000" currency="JPY"/>
  </paymentForBasic>
  <!-- 窓口負担金額（詳細な健診） 負担金額1,000円の場合 -->
  <paymentForDetail>
    <amount value="001000" currency="JPY"/>
  </paymentForDetail>
  <!-- 窓口負担金額（追加健診又は人間ドック） 負担金額700円の場合 -->
  <paymentForOther>
    <amount value="000700" currency="JPY"/>
  </paymentForOther>
  <!-- 単価（合計） 6,600円の場合 -->
  <unitAmount value="6600" currency="JPY"/>
  <!-- 窓口支払金額（支払金額が1,700円の場合） -->
  <paymentAmount value="1700" currency="JPY"/>
  <!-- 他の検診による負担金額（負担金額が2,000円の場合） -->
  <paymentByOtherProgram value="2000" currency="JPY"/>
  <!-- 請求金額（請求金額が2,900円の場合） -->
  <claimAmount value="2900" currency="JPY"/>
</settlement>
<!-- 代行機関の処理結果 -->
<agencyAdjudicationResult>
  <!-- 種別（2：代行機関から特定健診機関又は特定保健指導機関） -->
  <interactionType code="2"/>
  <!-- 記録年月日（令和6年6月10日の場合） -->
  <recordDate value="20240610"/>
</agencyAdjudicationResult>
</agencyAdjudicationResult>
```

仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

```

<!-- 返戻理由（返戻コード：01の場合） -->
<reason code="01"/>
</agencyAdjudicationResult>
<!-- 保険者の処理結果 -->
<insurerAdjudicationResult>
  <!-- 種別（4：保険者から代行機関） -->
  <interactionType code="4"/>
  <!-- 記録年月日（令和6年7月5日の場合） -->
  <recordDate value="20240705"/>
  <!-- 過誤返戻理由（過誤返戻コード：06の場合） -->
  <reason code="06">
    <!-- 過誤返戻理由詳細 -->
    <text>資格喪失日：令和6年4月30日</text>
  </reason>
</insurerAdjudicationResult>
</checkupClaim>

```

例2：人間ドック

表 25 サンプル XML の内容（例2：人間ドック）

記録内容	項目名称	値
受診情報	実施区分	1（特定健診情報）
受診者情報	特定健診機関番号	健診機関番号 1234567890
	保険者番号	保険者番号 1234
	被保険者証等記号	あいう
	被保険者証等番号	11223344
	被保険者証等枝番	01
	氏名	ケンシンタロウ
	生年月日	1960年5月1日
	男女区分	1（男）
	郵便番号	123-0001
	住所	東京都千代田区霞が関1-1-1
受診券情報	受診券整理番号	24145678901
	有効期限	令和6年7月31日
	窓口負担（人間ドック）負担区分	3（受診者・利用者は定率負担）
	窓口負担（人間ドック）負担率	10%
決済情報	窓口負担（人間ドック）保険者負担上限額	15,000円
	請求区分	5（人間ドック）
	委託料単価区分	1（個別健診）
	単価（追加健診又は人間ドック）	21,000円
	窓口負担金額（追加健診又は人間ドック）	6,000円
	単価（合計）	21,000円
	窓口負担金額（合計）	6,000円
	請求金額	15,000円

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<checkupClaim xmlns="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html"
xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html ../XSD/cc08_V08.xsd">
  <!-- 受診情報 -->
  <encounter>
    <!-- 実施区分 -->
    <serviceEventType code="1"/>
  </encounter>
  <!-- 受診者情報 -->
  <subjectPerson>
    <!-- 特定健診機関番号 (特定健診機関番号 : 「1234567890」 の場合) -->
    <performerOrganization>
      <id root="1.2.392.200119.6.102" extension="1234567890"/>
    </performerOrganization>
    <!-- 被保険者証情報 -->
    <insuranceCard>
      <!-- 保険者番号 (保険者番号 : 「1234」 の場合) -->
      <insurerNumber root="1.2.392.200119.6.101" extension="00001234"/>
      <!-- 被保険者記号 (被保険者記号 : 「あいう」 の場合) -->
      <symbol root="1.2.392.200119.6.204" extension="あいう"/>
      <!-- 被保険者番号 (被保険者番号 : 「11223344」 の場合) -->
      <number root="1.2.392.200119.6.205" extension="11223344"/>
      <!-- 被保険者枝番 (被保険者枝番 : 「01」 の場合) -->
      <branchCode root="1.2.392.200119.6.211" extension="01"/>
    </insuranceCard>
    <!-- 氏名 (ケンシントロウ) -->
    <name>ケンシントロウ</name>
    <!-- 住所 (郵便番号123-0001 東京都千代田区霞が関1-1-1) -->
    <addr>
      <postalCode>123-0001</postalCode>東京都千代田区霞が関1-1-1</addr>
    <!-- 生年月日 (1960年5月1日) -->
    <birthTime value="19600501"/>
    <!-- 性別コード (1 : 男) -->
    <administrativeGender code="1"/>
  </subjectPerson>
  <!-- 特定健診受診券情報 -->
  <checkupCard>
    <!-- 特定健診受診券整理番号 (特定健診受診券整理番号 : 「24145678901」 の場合) -->
    <id root="1.2.392.200119.6.209" extension="24145678901"/>
    <!-- 有効期間 (有効期限 : 令和6年7月31日の場合) -->
    <effectiveTime>
      <high value="20240731"/>
    </effectiveTime>
    <!-- 窓口負担 (人間ドック) -->
    <chargeTypeHumanDryDock>
      <copayment code="3">
        <!-- 窓口負担率 (10%の場合) -->
        <rate value="010000" unit="%"/>
      </copayment>
      <maxInsuranceLimit code="4">
        <!-- 保険者負担上限額 (15000円の場合) -->
        <amount value="015000" currency="JPY"/>
      </maxInsuranceLimit>
    </chargeTypeHumanDryDock>
  </checkupCard>
  <!-- 決済情報 -->
```

```
<settlement>
  <!-- 請求区分コード (5:人間ドック の場合) -->
  <claimType code="5"/>
  <!-- 委託料単価 (個別健診・集団健診) 区分 (1:個別健診の場合) -->
  <commissionType code="1"/>
  <!-- 単価 (追加健診又は人間ドック) -->
  <unitPriceOther>
    <!-- 単価金額 (一括) 21,000円の場合 -->
    <amount value="21000" currency="JPY"/>
  </unitPriceOther>
  <!-- 窓口負担金額 (追加健診又は人間ドック) 負担金額 6,000円の場合
  ¥21,000 > ¥15,000 となるため -->
  <paymentForOther>
    <amount value="006000" currency="JPY"/>
  </paymentForOther>
  <!-- 単価 (合計) 21,000円の場合 -->
  <unitAmount value="21000" currency="JPY"/>
  <!-- 窓口支払金額 (支払金額が6,000円の場合) -->
  <paymentAmount value="6000" currency="JPY"/>
  <!-- 請求金額 (請求金額が15,000円の場合) -->
  <claimAmount value="15000" currency="JPY"/>
</settlement>
</checkupClaim>
```

仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

補足資料

決済情報ファイルに格納される情報は、それと対を成す健診情報ファイルに格納される情報と整合性がとれていなければならない。特に次の点について注意が必要である。

1. 健診情報ファイルの追加項目セクションに格納されているすべての項目（「医師の氏名」に関する項目を除く）について、決済情報ファイルにそれらの単価およびコードが追加健診項目として格納されなければならない。たとえば、「医師の診断（判断）」に関する項目や「X線フィルム番号」や「撮影日付」などの各項目についても、決済情報ファイルにそれらの単価（通常 0 円）およびコードが追加健診項目として格納されなければならない。

国民健康保険システムの「費用決済を伴わない特定健診結果データ」の場合は、決済情報にある「委託料単価区分コード」が必要となるため、決済情報は必須である。

2. 心電図検査、貧血検査、眼底検査、血清クレアチニン検査が実施された場合には、それが特定健診制度における「詳細な項目」、「追加項目」のいずれの実施形態であっても必ず健診情報ファイルの特定健診セクションに結果が格納される。

しかし決済情報ファイルにおいては、それが「詳細な項目」として実施されたか、「追加項目」として実施されたかによって次に説明するように格納方法が異なるので、注意が必要である。

「詳細な項目」（すなわちいわゆる 2 階建て部分）として実施された場合（この場合には健診情報ファイルにおいてその検査の実施理由及び検査の対象者（貧血検査以外）が必ず格納されている必要がある）には、決済情報ファイルの詳細な項目情報として単価およびそのコードが格納される必要がある。

また、「追加項目」として実施された場合（この場合には健診情報ファイルにおいてその検査の実施理由が格納されていない必要がある）には、決済情報ファイルの追加項目情報として単価およびそのコードが格納される必要がある。この場合 1 と同様に、健診情報ファイルに格納されている該当する追加検査項目の結果項目の数と、決済情報ファイルの追加項目情報として格納されている単価・コード繰り返し数とは一致していなければならない、（たとえば眼底検査結果として 2 つの分類にもとづいて 2 検査結果が格納されている場合には、決済情報ファイルの追加項目情報としても単価・コードは 2 組格納されていないといけない）。

仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

Ver.4

本説明文書は、厚生労働省保険局医療介護連携政策課医療費適正化対策推進室により修正されました。また、「第4期特定健診・特定保健指導の見直しに関する検討会」の下に設置された「システム改修に関するワーキンググループ」の作業班メンバーや、ここに記載していない多くの方々の献身的な貢献により検討された成果に基づいています。

システム改修に関するワーキンググループ作業班


```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xs:schema attributeFormDefault="unqualified" elementFormDefault="qualified"
targetNamespace="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html"
xmlns:xs="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
xmlns="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html">
  <xs:include schemaLocation="co08_V08.xsd"/>
  <!-- Element Definition -->
  <xs:element type="CheckupClaim" name="checkupClaim"/>
  <xs:element type="Common.Encounter" name="encounter"/>
  <xs:element type="CheckupClaim.CheckupCard" name="checkupCard"/>
  <xs:element type="Common.CheckupCardId" name="id"/>
  <xs:element type="Common.IntervalPointInTime" name="effectiveTime"/>
  <xs:element type="Common.Date" name="high"/>
  <xs:element type="Common.CheckupProvider" name="performerOrganization"/>
  <xs:element type="Common.PersonName" name="name"/>
  <xs:element type="Common.Address" name="addr"/>
  <xs:element type="Common.AdministrativeGender" name="administrativeGender"/>
  <xs:element type="Common.ChargeType" name="chargeTypeBasic"/>
  <xs:element type="Common.ChargeType" name="chargeTypeDetail"/>
  <xs:element type="Common.ChargeType" name="chargeTypeOther"/>
  <xs:element type="Common.Copayment" name="copayment"/>
  <xs:element type="Common.MaximumInsuranceLimit" name="maxInsuranceLimit"/>
  <xs:element type="CheckupClaim.ChargeTypeHumanDryDock"
    name="chargeTypeHumanDryDock"/>
  <xs:element type="CheckupClaim.Settlement" name="settlement"/>
  <xs:element type="CheckupClaim.ClaimType" name="claimType"/>
  <xs:element type="CheckupClaim.CommissionType" name="commissionType"/>
  <xs:element type="Common.UnitPrice" name="unitPriceBasic"/>
  <xs:element type="Common.UnitPriceWithDetailObservation" name="unitPriceDetail"/>
  <xs:element type="Common.UnitPriceWithOtherObservation" name="unitPriceOther"/>
  <xs:element type="Common.Payment" name="paymentForBasic"/>
  <xs:element type="Common.Payment" name="paymentForDetail"/>
  <xs:element type="Common.Payment" name="paymentForOther"/>
  <xs:element type="Common.TotalMonetaryAmount" name="unitAmount"/>
  <xs:element type="Common.TotalMonetaryAmount" name="paymentAmount"/>
  <xs:element type="Common.TotalMonetaryAmount" name="paymentByOtherProgram"/>
  <xs:element type="Common.TotalMonetaryAmount" name="claimAmount"/>
  <!-- ComplexType Definition -->
  - <xs:complexType name="CheckupClaim">
    - <xs:sequence>
      <xs:element ref="encounter"/>
      <xs:element type="CheckupClaim.SubjectPerson" name="subjectPerson"/>
      <xs:element ref="checkupCard"/>
      <xs:element ref="settlement"/>
      <xs:element ref="agencyAdjudicationResult" minOccurs="0"/>
      <xs:element ref="insurerAdjudicationResult" minOccurs="0"/>
    </xs:sequence>
  </xs:complexType>
  - <xs:complexType name="CheckupClaim.CheckupCard">
    - <xs:sequence>
      <xs:element ref="id" minOccurs="0"/>
      <xs:element ref="effectiveTime" minOccurs="0"/>
      <xs:element ref="chargeTypeBasic" minOccurs="0"/>

```

```

        <xs:element ref="chargeTypeDetail" minOccurs="0"/>
        <xs:element ref="chargeTypeOther" minOccurs="0"/>
        <xs:element ref="chargeTypeHumanDryDock" minOccurs="0"/>
    </xs:sequence>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="CheckupClaim.ChargeTypeHumanDryDock">
    - <xs:sequence>
        <xs:element ref="copayment" minOccurs="0"/>
        <xs:element ref="maxInsuranceLimit" minOccurs="0"/>
    </xs:sequence>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="CheckupClaim.SubjectPerson">
    - <xs:sequence>
        <xs:element ref="performerOrganization"/>
        <xs:element ref="insuranceCard"/>
        <xs:element ref="name"/>
        <xs:element ref="addr"/>
        <xs:element ref="birthTime"/>
        <xs:element ref="administrativeGender"/>
    </xs:sequence>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="CheckupClaim.Settlement">
    - <xs:sequence>
        <xs:element ref="claimType"/>
        <xs:element ref="commissionType"/>
        <xs:element ref="unitPriceBasic" minOccurs="0"/>
        <xs:element ref="unitPriceDetail" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/>
        <xs:element ref="unitPriceOther" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/>
        <xs:element ref="paymentForBasic" minOccurs="0"/>
        <xs:element ref="paymentForDetail" minOccurs="0"/>
        <xs:element ref="paymentForOther" minOccurs="0"/>
        <xs:element ref="unitAmount"/>
        <xs:element ref="paymentAmount"/>
        <xs:element ref="paymentByOtherProgram" minOccurs="0"/>
        <xs:element ref="claimAmount"/>
    </xs:sequence>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="CheckupClaim.ClaimType">
    <xs:attribute type="Code.ClaimType" name="code" use="required"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="CheckupClaim.CommissionType">
    <xs:attribute type="Code.CommissionType" name="code" use="required"/>
</xs:complexType>
</xs:schema>

```

特定健診・特定保健指導の電子的なデータ標準様式

5-1A 特定保健指導情報ファイル
(健診・保健指導機関等→医療保険者)
仕様説明書
Version 4

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

目次

1. はじめに	1
1.1 目的.....	1
1.2 参考資料.....	1
2. 概要	2
2.1 本文書の位置付け.....	2
2.2 記載内容の優先度.....	2
2.3 標準フォーマットの基本的な方針.....	3
2.3.1 1保健指導1ファイル.....	3
2.3.2 本標準フォーマットが対象とする保健指導情報.....	3
2.3.3 HL7 CDA規格との関係.....	3
2.3.4 本仕様書の読み方.....	3
3. 特定保健指導情報ファイル仕様	6
3.1 全体構成の概要.....	6
3.2 ヘッダ部.....	7
3.2.1 名前空間.....	7
3.2.2 CDA 管理情報.....	8
3.2.3 保健指導管理情報.....	8
3.3 ボディ部.....	24
3.3.1 CDA セクションおよび保健指導項目の出現について.....	26
3.3.2 指導共通情報セクション.....	28
3.3.3 指導初回①情報セクション.....	32
3.3.4 指導初回情報セクション.....	39
3.3.5 指導集計情報セクション.....	43
3.3.6 継続支援情報セクション.....	49
3.3.7 中間評価情報セクションおよび最終評価情報セクション.....	53
3.3.8 指導機関情報セクション.....	57
3.4 報告すべき項目とXML要素との対応.....	61
4. OID表	61

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

修正履歴

2008.04.03 V1.22 より以後の修正履歴

日付	版	修正内容
2008.04.03	V1.22	それまでのV1.223をV1.22として厚労省通知と連携して公表。内容修正なし。
2012.10.10	V2	<p>■XML仕様上に関する修正</p> <p>本仕様書の適用範囲を追記。</p> <p><資格区分の追加></p> <p>本仕様変更は、特定健康診査・特定保健指導利用者の被保険者・被扶養者の別を明らかにするために設定するものである。本仕様変更は支払基金への実績報告ファイルのみに適用されるものである。国民健康保険においては一意に定まるため、提出を必須としない。</p> <p>仕様書上の修正・追加箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> • 3.2.3.1 利用者情報 <p><利用券情報の必須化></p> <p>本仕様変更は、利用券を発行せず特定保健指導を実施する場合、特定健康診査と特定保健指導を対応付ける情報がファイル仕様上に存在ため、どの年度の特定健康診査に基づく特定保健指導であるかが不明確となる問題点が存在する。特定保健指導の基となる特定健康診査の実施年度を明らかにするために、保険者から支払基金への実績報告時に、利用券情報を必須化し、利用券整理番号の先頭2桁で基となる特定健康診査の年度を識別できるように変更する。</p> <p>保険者が特定保健指導実施機関に特定保健指導情報ファイルに格納すべき利用券整理番号を指定することができる。また、保険者において支払基金への実績報告時に利用券整理番号の振り直しを実施することもできる。</p> <p>仕様書上の修正・追加箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> • 3.2.3.4 受診券・利用券情報と保険者情報 <p><積極的支援における支援Bの任意化></p> <p>積極的支援において、支援Bの実施を任意とする。</p> <p>仕様書上の修正・追加箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> • 3.3.4.1 セクション部仕様 • 3.3.5.1 セクション部仕様 • 3.3.5.2 支援Aまたは支援Bエントリ仕様

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

		<p>■XML仕様上に関係のない修正</p> <p>※累積された誤記指摘を修正。 ※仕様上の曖昧さを解消するため、および理解を助けるための説明、参考資料を追加。</p> <p>1.1 不要な説明を削除。 2.1 説明を適正化。説明を補足。 2.2 説明を補足。 2.3.4 健診情報ファイル仕様説明書を参照することを前提として記載を省略していたが、読みやすくするため、同書から転載。 3.2.1 同上。 3.2.2 同上。 3.2.3 同上、および保健指導に関係のない記載を削除。サンプルを明示。 表2 9 participantの記述を修正。欄外に注を追加。 表4 厚労省資料の名称を適正化。 表4 6.3.2健診情報整理番号2を公式に使うことになった場合に使用すべきOIDの誤記を修正。 表4 6.5～6.10 全角半角の使用方法の記述の曖昧さを排除。 表30 中間評価と支援Aの関係について、欄外に注を追加。 表32 11.9.1 の説明を補足。 3.4 2 委託先保健指導機関の情報について、説明を補足。 3.4 3 「3ヶ月後の評価ができない場合の確認回数」の取り扱いについて を新規に説明追加。 3.3.6 前項への参照説明を補足。 表26-1 表外に項目多重度に関する説明を補足。</p> <p>※ 参考資料として、初回報告および最終報告のサンプルを追加。 ※ 表8以降の既公表済みの正誤表の反映。</p>
2017.03.31	V3	<p>■XML仕様上に関係する修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3.1 全体構成の内容の図に指導初回①情報セクションを追加 ・3.2.3 保健指導管理情報の No3.1 に報告区分コード「25」の説明を追加 ・3.2.3.1 利用者情報の表4の健診情報整理番号1, 2の説明を修正、健診情報整理番号3, 4, 5を追加 ・3.2.3.2 ファイル作成機関の情報に報告区分コード「25」を追加 ・3.2.3.4 受診券・利用券情報と保険者情報の説明にセット券の説明を追加 ・3.2.3.4 受診券・利用券情報の表9-1の No9.4.1, 9.6.1 にセット券の説明を追加 ・3.2.3.5 保健指導実施情報の表11の10.3.1に初回面接

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

		<p>の実施日付は初回面接を分割して行っている場合、初回面接②の実施日付であることを追加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕様書中の「6 ヶ月評価」を「3 ヶ月評価」に修正 ・3.3 ボディ部の説明及び表 12 に指導初回①情報セクションを追加 ・3.3.1 保健指導区分と CDA セクションの関係の表 14-1 に指導初回①情報および初回未完了時の欄を追加 ・仕様書中の保健指導情報（個票）項目番号を新規に振りなおした番号に修正 ・3.3.2 指導初回①情報セクションを追加 ・指導初回①情報セクション、指導初回セクション、支援継続セクション、中間評価セクション、最終評価セクションにそれぞれテキストデータ情報の説明を追加 ・仕様書中の「委託先機関情報」を「指導機関情報」に修正 ・3.4 報告すべき項目と XML 要素との対応の「委託先保健指導機関の情報について」を「保健指導機関の情報について」に修正。 <p>また、支援 A および支援 B のみでなく初回面接、中間評価、実績評価においても指導機関情報を出力し、保険者直営実施の場合においても必ず情報が出現する旨を追記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3.3.7 指導機関情報セクションを追加 ・3.4 報告すべき項目と XML 要素の表 33 に項目を追加 <p>■XML 仕様上に関係のない修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バージョンを「2」から「3」に修正 ・仕様書の適用範囲を平成 30 年 4 月 1 日以降に実施される特定健康診査に基づく特定保健指導に修正 ・その他既存誤記修正
2020. 03. 31	V3. 1	<p><本仕様の適用範囲> オンライン資格確認等システムを活用した特定健診情報等の保険者間引継ぎ実施に伴い、加入者を特定するための被保険者証等枝番の項目追加に伴う変更内容を反映させた。</p> <p>■XML 仕様上に関係する修正</p> <p><被保険者証等枝番の追加に伴う修正></p> <p>3.2.3.1 利用者情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表 3 項目一覧へ該当項目追加 ・表 4 XML 仕様へ該当項目の説明追加 <p>■XML 仕様上に関係のない修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バージョンを「3」から「3.1」に修正 ・仕様書の適用範囲を令和 2 年度の法定報告に修正 ・各種サンプル XML の日付変更 ・その他既存誤記及び見栄え修正
2023. 03. 31	V4	<p>■XML 仕様上に関係する修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援 A、B を廃止し、支援としたことに伴う説明修正

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

		<ul style="list-style-type: none"> ・モデル実施廃止による記載削除 ・保健指導開始後服薬判明による初回未完了、途中終了の記載を修正（表 14-1 保健指導区分とセクションの関係の注釈） ・初回面接実施に「2：1 週間以内（当日は除く）」の選択肢を追加したことに伴う記載修正 ・表 15「保健指導区分とセクションの関係」の保健指導情報(個票)項目番号を最新版に合わせて修正。保健指導計画情報エントリに 1339～1345 の行を追加。注 2、注 6 の説明を修正。 ・「健診実施日(確認用)」の項目追加に伴い表 19 のサンプル修正 ・3.3.3.1 セクション部仕様に健診後早期の初回面接（項目コード 1022000016）は指導初回①情報セクションに出現させてはいけない旨を記載 ・表 24「初回面接実施情報エントリの XML 仕様(表 21 に対する補足のみ)」を追加 ・継続支援項目の項目コードおよび名称の変更に伴う表 27 のサンプル修正 <p>■XML 仕様上に関係のない修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本仕様書のファイル名を変更 ・バージョンを「3.1」から「4」に修正 ・特定保健指導項目の情報を「XML 用特定保健指導項目情報」に整理することに伴い、項目表の記載削除 ・2.1 本文書の位置付け等の厚労省通知との対応関係に係る記載を削除 ・「3.4 報告すべき項目と XML 要素との対応」にて、「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」の内容と重複する記載を削除 ・本資料内の表番号の付番整理 ・その他既存誤記及び見栄え修正
--	--	---

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

本仕様書の適用範囲

本仕様説明書 (Version4) は、令和6年度分の法定報告 (令和7年 11 月 1 日までに実施する法定報告) に係る特定保健指導情報ファイルから適用される。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

特定保健指導情報ファイル仕様説明書

1. はじめに

1.1 目的

本文書の目的は、2008年度から実施されている特定保健指導において、電子的なデータ標準様式に基づいて「特定保健指導」に関する実施情報を保健指導機関が医療保険者に報告する際に使用する仕様について詳細に説明することである。

保健指導機関は、本仕様に準拠したデータを作成し、報告を行わねばならない。

1.2 参考資料

下記の表は、この文書で参照している標準仕様及び研究報告書等の名称、バージョン、並びにその説明の一覧である。

本文書での仕様等の引用名称	バージョン	説明
厚生労働省 特定健診プログラム改定版	※	「標準的な健診・保健指導プログラム」
厚生労働省 特定健診プログラム手引書	※	「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」
特定健診情報ファイル仕様説明書 本文書中で「健診仕様書」として引用している。	※	「3-1A 特定健診情報ファイル（健診・保健指導機関等→医療保険者）仕様説明書」。本文書と対になる文書で、特定健診情報ファイル仕様について解説した文書。
XML用保健指導項目情報		保健指導報告に関する「XML用保健指導項目コード表」
HL7 Version 3	Normative 2005	HL7 Version 3 の 2005 年度 規範版パッケージ。CDA Release 2.0 の規格書が含まれる。
日本 HL7 協会 診療情報提供書	1.0	日本 HL7 協会が策定した、CDA R2 規格をベースとして診療情報提供書の規格。 http://www.hl7.jp/intro/std/HL7J-CDA-001.pdf
HL7 CRS	final draft	米国 HL7 協会が策定中の診療文書に関する実装ガイド。 Implementation Guide for CDA Release 2 – Level 1 and 2 – Care Record Summary (US realm), HL7, Inc., Final Text, June 8, 2006
XML	1.1	eXtensible Markup Language http://www.w3.org/TR/2006/REC-xml11-20060816/
XPath	1.0	http://www.w3.org/TR/xpath
電子レセプト仕様書		「電子レセプトの作成手引き（医科）」社会保険診療報酬支払基金レセプト電算処理システム電子レセプト作成手引き http://www.ssk.or.jp/seikyushiharai/rezept/iryokikan/iryokikan_02.files/jiki_i01.pdf

※厚生労働省 HP 「特定健診・特定保健指導について」

(<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html>) に公表されている最新版を参照すること

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

2. 概要

2.1 本文書の位置付け

本文書は、2008年度から実施されている特定保健指導の実施情報を、保健指導機関が保険者または代行機関に対して電子的に提出（報告）する際に使用する、電子的なデータ標準様式（以下では特定保健指導標準フォーマット、または単に標準フォーマットと記載する）を定義するものである。本書で定義される特定保健指導情報の仕様は、別の文書で定義される健診標準フォーマットの基本的な考え方と共通部分の仕様は同一であり、そちらの文書を一部参照する形で説明されている。従って、本文書を読むに先立って必ず「特定健診情報ファイル仕様説明書」（以下、健診仕様書）を読むことが強く推奨される。

標準フォーマットはXML規格にもとづいている。XML規格はデータ中に<aaa> ... </aaa>のようなタグと呼ばれるマークを埋め込むことにより、データの意味付けと構造に関する情報をデータと一緒に送信できるようにした言語規格で、インターネット上でのデータのやり取りや、コンピュータシステム間でのデータ交換、データベースからのデータの読み書きの際など広範に使用されるようになっている。XML規格をある目的で使用する場合には、どのようなデータにどのようなタグをつけるか、またデータ同士をどのように階層化するかについて、その目的ごとに取り決める必要があり、その取り決めに関する規則はXMLスキーマと呼ばれる方式で記述されたファイルで記述する。DTDと呼ばれる方式で記述する方法もあるが、最近はXMLスキーマによる記述のほうが増えている。

本標準フォーマットは、XMLスキーマで詳細が定義されており、ホームページに公開されている¹。DTD形式による定義は提供されていない。本書はそのXMLスキーマの説明書としての位置付けであると同時に、XMLスキーマでは記述しつくせない細かい制約事項を記載している。従って、本書は別途公開されている対応するXMLスキーマファイルと併せて使用するものであり、それぞれ単独では意味をなさない。

2.2 記載内容の優先度

この文書の記載内容と最新の厚生労働省通知の記述に相違がある場合には、最新の厚生労働省通知(<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000165280.html>)の記述を優先するものとする。本文書と対をなして公表されているXMLスキーマファイルでは、XML要素や属性の出現多重度や選択性について、本文書での記載よりも緩い記述（制約条件が広い記述）になっていることがある。このような場合には、本文書に記載されている記述が優先するものとする。たとえばXMLスキーマでは1回以上何度出現してもよいとなっている要素について、本文書では1回だけ必ず出現するものと記載しているケースでは、本文書に従うものとし、当該要素は1回だけ必ず出現しなければならない。同様にたとえばXMLスキーマでは出現してもしなくても良い（出現がオプション）とされている属性や要素について、本文書では出現してもよいことが明示的に記載されていないケースでは、本文書に従うものとし、当該属性や当該要素は出現してはならない。

¹<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html>

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

2.3 標準フォーマットの基本的な方針

2.3.1 1 報告 1 ファイル

本標準フォーマットは、1人の保健指導利用者（以下、利用者）に対してなされた一連の保健指導の実施情報を、報告が義務付けられた報告単位（1報告）ごとに1つのXML形式で格納し、1個の電子ファイル（WindowsやUNIXなどのコンピュータオペレーティングシステムでひとつの電子ファイルとして扱われるファイル単位）とするものである。1報告にとって必要となるヘッダー情報（保健指導機関に関する情報や日付、利用者を識別するための情報など）が含まれている。

1人の利用者の1報告ごとに1電子ファイルとし、複数報告もしくは複数利用者の実施情報はその数だけの電子ファイルを別々に生成する方針をとっている。従って、1電子ファイルに、複数報告もしくは複数利用者の実施情報を格納することはできない。

2.3.2 本標準フォーマットが対象とする保健指導情報

本標準フォーマットは、2008年度から実施される特定保健指導の実施情報を格納することを目的としている。すなわち、保健指導情報項目と、保健指導機関・利用者・保険者等に関する識別情報を含んでいる。

2.3.3 HL7 CDA規格との関係

本標準フォーマットは、HL7 CDA Release 2（以下CDA R2）規格²に完全準拠するものとし、本標準フォーマット仕様は、HL7 CDA規格で定義されるXMLスキーマに対して特定保健指導固有のさらなる制約を課すことで実現されている。

2.3.4 本仕様書の読み方

本仕様書では、XMLタグ仕様は、健診仕様書と同一の方法で説明している。以下では念のため、健診仕様書の当該部分を引用しておく。

==引用開始==

本仕様書では、XMLタグ仕様を以下のような表形式で示す。ここで掲げる表と図はXMLタグ仕様の読み方を示すために記載した架空のものであり、本仕様とは無関係のものとして見る必要がある。

XML-No	XPath	説明	多重度	選択性
3.2.1	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		0..*	O
3.2.1.1	code	セクションコード。	1..1	M
3.2.1.1.1	@code	セクションコードのニーモニック。	1..1	M
3.2.1.1.2	@codeSystem	セクションコードのコード体系を識別するOID。	1..1	M
3.2.1.1.3	@codeSystemVersion	セクションコードのコード体系バージョン。	0..1	O
3.2.1.2	title	セクションタイトル。	1..1	M
3.2.1.2.1	text()	セクションタイトルを示す文字列。	1..1	M

「XPath」の列に示される”/ClinicalDocument”から開始される文字列は、XMLのルート要素から、この表で示されるXML要素までのパスをXPathにより記述したものである。例えば上の表中のXPath “/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section”は、以下のXMLの青枠で囲まれた

² ANSI/HL7 CDA R2-2005 4/21/2005 版

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

section 要素の仕様を記述していることを示す。

```

<ClinicalDocument>
  <component>
    <structuredBody>
      <component>
        <section>
          <code code="ABCDE" codeSystem="123.456.7890.1" />
          <title>検体検査等</title>
        </section>
        ...
      </component>
    </structuredBody>
  </component>
</ClinicalDocument>

```

表中には XPath で示される要素の子要素を、表の各行に順に記述する。このとき、code や title などインデントされずに灰色の網掛けで表現される項目は、それが XML 要素であることを意味する。一方、@code や @codeSystem のようにインデントされ @ をつけて示される項目は、それが XML 属性であることを意味する。text() と示される項目は、XML テキスト内容を表す。

「多重度」は、指定された項目の出現数の最小値と最大値を「..」の両端に示す形で表現する。最大値に制限が無い場合は、「*」（アスタリスク）によって表現される。例えば、上の例で、section 要素に付けられた「0..*」という多重度は、指定された section 要素が XML 中に 0 個以上複数出現し、その出現数の最大値には制限がないことを示す。一方 title 要素は、section 要素が出現する際には必ず 1 つ出現することを示す。

最小多重度が 0 である項目は、その要素または属性が存在しない場合があることを示す。もし記述すべき値がない（または記述すべき値が空文字列）場合には、その要素自体または属性自体を省略しなければならない。要素または属性を出現させて値は空文字列にすることは許可されない。

「選択性（オプショナリティ）」は、M（Mandatory）または O（Optional）または X（出現してはならない）のいずれかの値で表現される。

M は、必須値であり、その要素または属性は必ず 1 個以上出現し、かつ空文字列でない値が必ず格納されなければならない。

O はオプショナル項目（任意出現項目）であり、記述すべき値が存在しない場合やある条件下では、省略する項目である。また、記述すべき値がない（または記述すべき値が空文字列）場合には、その要素自体または属性自体を省略しなければならない。要素または属性を出現させて値は空文字列にすることは許可されない。M が指定されている要素の多重度の最小値は必ず 1 以上となる。

表中で XML 要素の階層の上位にある項目に対して下位に位置する項目の多重度や選択性を指定する場合、下位の項目の多重度および選択性は、上位の項目が出現する場合での制約を記述する。例えば、上の例で、section 要素の選択性が O（Optional）であるのに、その下位の code 要素の選択性が M（Mandatory）であるのは、section 要素が存在する状況での code 要素の選択性を示しており、section 要素が存在するときには code 要素が必ず出現しなければならないことを意味する。

上記の表で最初の列 XML-NO は、本仕様書内で引用に便利なようにつけた番号で、すべての表を通じた一意の通し番号になっており、XML 仕様 No として引用される。

説明文中に最大バイト数の記載がある場合には、特に条件記載がない限り半角文字を 1 バイト、全角文字（シフト J I S 系文字における 2 バイト文字）を 2 バイトに換算した場合の文字列バイト長を指すものとする。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

==引用終了==

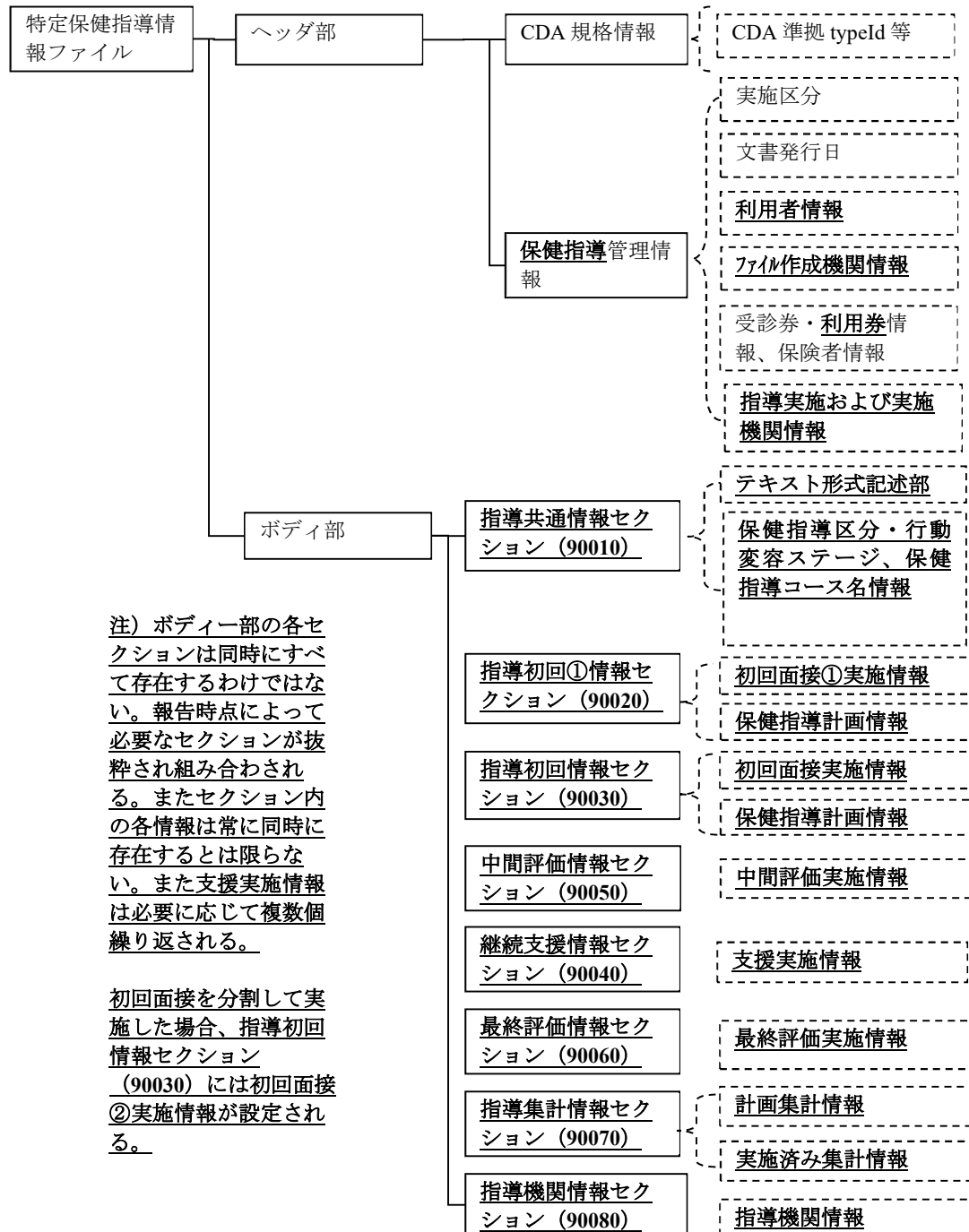
特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

3. 特定保健指導情報ファイル仕様

※図表中で健診仕様書との相違の主要部分は太字下線で示している。

3.1 全体構成の概要

本標準フォーマットにもとづく XML ファイルは、ヘッダ部とボディ部からなる（下図）。



注) ボディー部の各セクションは同時にすべて存在するわけではない。報告時点によって必要なセクションが抜粋され組み合わせられる。またセクション内の各情報は常に同時に存在するとは限らない。また支援実施情報は必要に応じて複数個繰り返される。

初回面接を分割して実施した場合、指導初回情報セクション (90030) には初回面接②実施情報が設定される。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

ヘッダ部には、CDA 規格上必要となるメッセージ種別など CDA 規格情報、記録されているイベント（健診、指導など）に関する実施区分や文書発行日（特定保健指導情報ファイルの作成日）情報、作成者情報すなわち**保健指導機関情報**、記録対象者（利用者）情報、**利用券情報**や保険者情報などの保健指導管理情報から構成される。

ボディ部には、**指導計画や指導実施に関する情報**が、一部は人間可読なテキスト形式で記述されるとともに、コンピュータ処理を可能とするための形式で構造化されて記述される。

3.2 ヘッダ部

3.2.1 名前空間

健診仕様書の当該部分と基本的には同一である。当該部分を、健診仕様書と異なる部分に下線を引いて、以下に引用する。

==引用開始==

本仕様書で定義される XML インスタンスの名前空間は「urn:hl7-org:v3」とし、これをデフォルト名前空間として指定する。

また、本仕様書で定義される XML インスタンスでは、「http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance」という URI で識別される XML スキーマインスタンスの名前空間を使用する。

本仕様のスキーマファイルは「hg08_V08.xsd」というファイル名のファイルにより別途提供される。ここでこのファイル名中の V08 は version 番号であり、今後スキーマファイルに大きな変更が加わる場合にはそれに伴って変更される可能性がある。下記は XML インスタンスの実例であり、本仕様に基づくすべての XML インスタンスは、スキーマファイル名の version 番号部分を除きこの部分を変更してはならない。

補足説明 1：本仕様でファイルを生成する側は、文字コードは UTF-8 を使用するものとする。

補足説明 2：UTF-8 文字コードのファイルをコンピュータプログラムにより生成する場合に、ファイルの冒頭の（通常のテキスト表示では見えない最初の）3 バイトに Byte Order Mark

（BOM）と呼ばれる 3 バイト EF BB BF (16 進)をつけるスタイルと、つけないスタイルの両方が世の中に存在する。本仕様でファイルを生成する側は、この BOM と呼ばれる 3 バイトを付与しないものとする。ソフトウェア開発者は、自分の使用する XML ファイル生成機能が自動的に BOM を付与するソフトかどうかを調べ、自動付与するスタイルのソフトウェアの場合には、生成されたファイルの第 1 バイト目からの先頭 3 バイトを削除することが必要である。どちらのソフトウェアであるかを調査するためには、テキスト表示ソフトでは通常表示されないので、冒頭の数バイトをプログラムで BOM を確認することが必要である。

一方、本仕様で生成されたファイルを受信する側では、生成側が誤って BOM を付けたファイルを生成している可能性を想定し、BOM の有無にかかわらず正しく処理できるようにすることが必要である。

補足説明 3：スキーマファイル名の version 番号部分は V08 で統一する。下記の例で示すように、hg08_V08.xsdとするものとする。今後スキーマファイルが一部修正された場合においても、リリースされたスキーマファイル名を下図のようにバージョン番号部分を V08 に名前を変更して使用するものとする。なお、将来の制度の改訂などにより、部分修正に留まらない大きな変更が加えられた場合には、これによらない場合がある。

なお、オペレーティングシステムによる違いの影響を排除するため、スキーマファイル名、その相対パス名の英大文字小文字の違いを意識するものとし、以下の通りとする。

スキーマファイル名を含む相対パス名： ../XSD/hg08_V08.xsd

注：ピリオド 2 個で始まっていることから分かるように、スキーマファイルが格納されるフォルダ XSD は、本 XML ファイルが格納されるフォルダ（ディレクトリ）の兄弟フォルダである。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<ClinicalDocument xmlns="urn:hl7-org:v3"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="urn:hl7-org:v3 ../XSD/hg08_V08.xsd">
  ...
</ClinicalDocument>
```

==引用終了==

3.2.2 CDA 管理情報

健診仕様書の当該部分と同一である。当該部分を以下に引用する。

==引用開始==

特定健診情報ファイルのトップレベルの XML 要素である ClinicalDocument の最初の 2 つの要素は、HL7CDA に準拠する上で必要な情報であり、表 1 に示される 2 要素が含まれる。

表 1 ヘッダ部の CDA 管理情報

No	XPath	説明	厚労省公表資料との対応	多重度	選択性
0	/ClinicalDocument			1..1	M
1	typeId	タイプ ID。準拠している CDA R2 仕様を識別する。		1..1	M
1.1	@root	HL7 に登録されている成果物の名前空間 OID となる「2.16.840.1.113883.1.3」を設定。		1..1	M
1.2	@extension	CDA R2 仕様のバージョンを一意に識別する成果物識別子である「POCD_HD000040」を設定。		1..1	M
2	id	生成されたファイルをユニークに識別する ID。		1..1	M
2.1	@nullFlavor	未使用としヌル値を意味する“NI”を設定。		1..1	M

==引用終了==

3.2.3 保健指導管理情報

CDA 管理情報の 2 つの要素につづく要素は、保健指導管理情報であり、表 2 に示される項目からなる。

表 2 ヘッダ部の保健指導管理情報

No	XPath	説明	厚労省公表資料との対応	多重度	選択性
0	/ClinicalDocument			1..1	M
3	code	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 報告区分を表すコードを設定。		1..1	M
3.1	@code	下記の 21、22、23、24、25 のいずれかを設定する。 <u>21: 特定保健指導情報開始時(保健指導実施時点コードの 1 に相当)、</u> <u>22: 特定保健指導情報実績評価時(集合契約の場合の最終決済時、通知別表 11 のコード 2 に相当)、</u>	1 桁目は通知別表 3 実施区分コード、2 桁目は通知別表 1 1 を反映した独自のコード表である。	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

		<p>23: 特定保健指導情報途中終了時(利用停止等、保健指導実施時点コードの3に相当)</p> <p>24: 特定保健指導情報その他(保健指導実施時点コードの4に相当)</p> <p>25: 特定保健指導情報初回未完了(保健指導実施時点コードの5に相当)</p> <p>送信側がXMLファイルを作成する時には、実施区分コード 1 桁をこの報告区分の10の位に設定し、実施時点コード 1 桁をこの報告区分の1の位に設定することにより 2 桁の報告区分としてこの属性(code)に設定することとなる。</p> <p>受信側がXMLファイルを受信して使用する場合には、この報告区分 2 桁のうち10の位の1桁をとりだし、それを通知別表3の実施区分 1 桁として取得し使用することとなる。また、この報告区分 2 桁のうちの1の位の1桁を取り出し、それを保健指導実施時点コード 1 桁として取得し使用することとなる。</p>		
3.2	@codeSystem	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 コードのコード体系を識別する OID。 「1.2.392.200119.6.1001」を設定。	1..1	M
3.3	@displayName	使用しない。	0..1	O
4	effectiveTime	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 本ファイルのオフィシャルなファイル作成日(実際のファイル作成日と異なることもあり)。この日付をもって本データを提出したこととして取り扱う日。	1..1	M
4.1	@value	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 「YYYYMMDD」。	1..1	M
5	confidentialityCode	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 守秘レベルコード。HL7 ポキャブラリドメイン Confidentiality の値を使用。	1..1	M
5.1	@code	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 守秘レベルコード。通常時の守秘レベルを表す「N」を設定。	1..1	M
5.2	@codeSystem	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 XML ファイルサイズを小さくするため当面使用しない。使用する場合には守秘レベルコードのコード体系を識別する OID。 「2.16.840.1.113883.5.25」固定。	0..1	O
6	recordTarget	利用者情報。構造を含め詳細は、3.2.3.1 節に記載。	1..1	M
7	author	本ファイルを作成し提出する保健指導機関の情報(通常は送付元に相当する)。構造を含め詳細は、0 節に記載。	1..1	M
8	custodian	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 本ファイル作成管理責任機関情報。本仕様では使用しないが HL7CDA 規格上必須である	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

		め、3.2.3.3 節のように記述するものとする。		
9	participant	利用者の受診券と利用券 に関する情報および所属する保険者に関する情報。被保険者番号に関する情報はここではなく、recordTarget に記述される。詳細は、3.2.3.4 節に記載。	0.2	O (欄外注)
10	documentationOf	保健指導実施情報 。詳細は、3.2.3.5 節に記載。	1.1	M

注：健診および保健指導がそれぞれ個別契約で実施され受診券も利用券も存在しない場合には本要素は1回も出現しない。受診券情報のみ存在、または利用券情報のみ存在する場合には本要素は1回だけ出現し、受診券情報と利用券情報の両方が存在する場合には本要素は2回出現する。

注：国民健康保険においては必須となっている。

ヘッダ部の XML サンプルを以下に示す。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<ClinicalDocument xmlns="urn:hl7-org:v3"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="urn:hl7-org:v3 ../XSD/hg08_V08.xsd">
  <typeId root="2.16.840.1.113883.1.3" extension="POCD_HD00040" />
  <id nullFlavor="NI"/>
  <!--報告区分 21=特定保健指導の初回報告-->
  <code code="21" codeSystem="1.2.392.200119.6.1001"
    displayName="特定保健指導情報" />
  <!-- 文書発行日 (西暦: 2024年7月1日) -->
  <effectiveTime value="20240701" />
  <confidentialityCode code="N" />
  <!-- 利用者情報 -->
  <recordTarget>...</recordTarget>
  <!-- ファイル作成機関情報 -->
  <author>...</author>
  <!-- ファイル作成管理責任機関情報 -->
  <custodian>...</custodian>
  <!-- 受診券と利用券情報 -->
  <participant typeCode="HLD">...</participant>
  <participant typeCode="HLD">...</participant>
  <!-- 指導初回実施情報 -->
  <documentationOf>...</documentationOf>
    <component>...</component>
    ...
</ClinicalDocument>
```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

3.2.3.1 利用者情報

ClinicalDocument の子要素である **recordTarget** 要素で**利用者**情報を記述する。健診データ項目一覧表のうち、表 3 に示す項目がこの要素で表現される。

表 3 利用者情報に含まれる項目

No	項目名	XML 仕様 No	XPath
	保険者番号	6.8.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/id/@extension
	被保険者証等記号	6.9.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/id/@extension
	被保険者証等番号	6.10.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/id/@extension
	被保険者証等枝番	6.11.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/id/@extension
	利用者 の郵便番号	6.13.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/addr/postalCode/text()
	利用者 のカナ氏名	6.15.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/patient/name/text()
	利用者 の性別	6.16.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/patient/administrativeGenderCode/@code
	利用者 の生年月日	6.17.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/patient/birthTime/@value

保健指導情報では利用者の住所はないことに注意。

利用者情報の XML 仕様の詳細を表 4 に示す。

表 4 利用者情報 XML 情報

No	XPath	説明	多重度	選択性
6	/ClinicalDocument/recordTarget		1..1	M
6.1	patientRole	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 利用者情報。	1..1	M
6.2	patientRole/id	整理用番号1 保険者より国へ報告する際に利用するものであり、健診機関からの出力データには出現させない。	0..0	×
6.2.1	@extension	「整理用番号1」に対応する文字列。保険者より国へ報告する際に利用するものであり、健診機関からの出力データには出現させない。	1..1	M
6.2.2	@root	整理用番号1の OID。「1.2.392.200119.6.202」を設定。保険者より国へ報告する際に利用するものであり、健診機関からの出力データには出現させない。	1..1	M
6.3	patientRole/id	整理用番号2 保険者より国へ報告する際に利用するものであり、健診機関からの出力データには出現させない。	0..0	×
6.3.1	@extension	「整理用番号2」に対応する文字列。保険者より国へ報告する際に利用するものであり、健診機関からの出力データには出現させない。	1..1	M
6.3.2	@root	整理用番号2の OID として「1.2.392.200119.6.203」を設定。保険者より国へ報告する際に利用するものであり、健診機関からの出力データには出現させない。	1..1	M
6.4	patientRole/id	整理用番号3。保険者より国へ報告する際に利用するものであり、健診機関からの出力データには出現させない。	0..0	×
6.4.1	@extension	「整理用番号3」に対応する文字列。保険者より国へ報告する際に利用するものであり、健診機関からの出力データには出現させない。	1..1	M
6.4.2	@root	整理用番号3の OID。「1.2.392.200119.6.900」を設定。保険者より国へ報告する際に利用するものであり、健	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

		診機関からの出力データには出現させない。		
6.5	patientRole/id	整理用番号4。保険者より国へ報告する際に利用するものであり、健診機関からの出力データには出現させない。	0.0	×
6.5.1	@extension	「整理用番号4」に対応する文字列。保険者より国へ報告する際に利用するものであり、健診機関からの出力データには出現させない。	1..1	M
6.5.2	@root	整理用番号4の OID。「1.2.392.200119.6.18010」を設定。保険者より国へ報告する際に利用するものであり、健診機関からの出力データには出現させない。	1..1	M
6.6	patientRole/id	整理用番号5。保険者より国へ報告する際に利用するものであり、健診機関からの出力データには出現させない。	0.0	×
6.6.1	@extension	「整理用番号5」に対応する文字列。保険者より国へ報告する際に利用するものであり、健診機関からの出力データには出現させない。	1..1	M
6.6.2	@root	整理用番号5の OID。「1.2.392.200119.6.18020」を設定。保険者より国へ報告する際に利用するものであり、健診機関からの出力データには出現させない。	1..1	M
6.7	patientRole/id	資格区分 保険者より国へ報告する際に利用するものであり、健診機関からの出力データには出現させない	0.0	×
6.7.1	@extension	「資格区分」文字列。数字1桁固定長とする。	1..1	M
6.7.2	@root	資格区分の OID。「1.2.392.200119.6.206」を設定。	1..1	M
6.8	patientRole/id	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 保険者番号	1..1	M
6.8.1	@extension	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 「保険者番号」文字列。数字 8 桁固定長とする。8桁に満たない場合には先頭のゼロをつけて8桁とする。	1..1	M
6.8.2	@root	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 保険者番号の OID。「1.2.392.200119.6.101」を設定。	1..1	M
6.9	patientRole/id	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 被保険者証等記号 被保険者証等記号が存在しない場合には、本要素は出現させない。 ただし、送信先保険者のシステムによっては「一」の1文字(シフトJISコード 849F、ひらがなで「けいせん」と入力して仮名漢字変換される罫線記号)を設定するものとして本要素を出力する必要がある場合があるので、送信先保険者システムに確認をとること。	0..1	O
6.9.1	@extension	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 「被保険者証等記号」に対応する文字列。全角だけからなる文字列または半角だけからなる文字列のどちらかとする。英数字だけの場合には 1 バイト系(半角)文字だけから構成するか、または全角文字だけから構成する。記号または仮名漢字を含む場合には英数字を含めすべて全角文字だけから構成するものとする。 最大 40 バイト。	1..1	M
6.9.2	@root	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 被保険者証等記号の OID。「1.2.392.200119.6.204」を設定。	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

6.10	patientRole/id	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 被保険者証等番号	1..1	M
6.10.1	@extension	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 「被保険者証等番号」に対応する文字列。全角だけからなる文字列または半角だけからなる文字列のどちらかとする。英数字だけの場合には 1 バイト系(半角)文字だけから構成するか、または全角文字だけから構成する。記号または仮名漢字を含む場合には英数字を含めすべて全角文字だけから構成するものとする。	1..1	M
6.10.2	@root	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 被保険者証等番号の OID。「1.2.392.200119.6.205」を設定。	1..1	M
6.11	patientRole/id	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 被保険者証等枝番	0..1	O
6.11.1	@extension	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 「被保険者証等枝番」に対応する文字列。数字 2 桁固定。	1..1	M
6.11.2	@root	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 被保険者証等枝番の OID。「1.2.392.200119.6.211」を設定。	1..1	M
6.12	patientRole/addr/	健診仕様と異なり郵便番号のみ。 利用者住所情報のうち郵便番号情報だけを格納する要素となる。	1..1	M
6.13	patientRole/addr/postalCode	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 利用者の郵便番号	1..1	M
6.13.1	text()	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 「利用者郵便番号」に対応する半角文字列。書式は、「###-####」([0-9][3]-[0-9][4]。ハイフンを含む)。8 バイト固定。	1..1	M
6.14	patientRole/patient	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 利用者個人情報	1..1	M
6.15	patientRole/patient/name	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 利用者の氏名	1..1	M
6.15.1	text()	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 「利用者カナ氏名」に対応する全角文字列で空白を含まない。姓と名の間にも空白をあげないこと。最大 40 バイト。	1..1	M
6.16	patientRole/patient/administrativeGenderCode	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 「利用者の性別」コード。	1..1	M
6.16.1	@code	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 利用者の性別コードのニーモニック。男=「1」、女=「2」。	1..1	M
6.16.2	@codeSystem	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 利用者の性別コードのコード体系を識別する OID。「1.2.392.200119.6.1104」を設定。	0..1	O
6.17	patientRole/patient/birthTime	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 利用者の生年月日。	1..1	M
6.17.1	@value	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 「利用者の生年月日」。書式は数字半角文字列で「YYYYMMDD」。	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

XML サンプルは省略する。

3.2.3.2 ファイル作成機関の情報

健診仕様書の当該部分と同一仕様。

特定保健指導情報のファイル作成機関であり、特定保健指導報告の場合すなわち XML 仕様 No.3.1 (/ClinicalDocument/code/@code) が「21」～「25」の場合には保健指導を保険者から委託されて実施した保健指導機関、保険者自身、または保健指導を実施した健診機関や医療機関である。保健指導を実施した健診機関に関する情報は、author 要素で記述されるのではなく、documentationOf 要素中で記述される。表 5 に示す項目がこの要素で表現され、このうちファイル作成機関番号とファイル作成機関名称は必須で、通常は特定保健指導情報の交換用基本情報ファイル中に記載されている送付元機関と同一機関の情報である。

表 5 ファイル作成機関情報に含まれる項目

項目名	XML 仕様 No	XPath
ファイル作成機関番号	7.5.1	/ClinicalDocument/author/assignedAuthor/representedOrganization/id/@extension
ファイル作成機関名称	7.6.1	/ClinicalDocument/author/assignedAuthor/representedOrganization/name/text()
ファイル作成機関電話番号	7.7.1	/ClinicalDocument/author/assignedAuthor/representedOrganization/telecom/@value
ファイル作成機関住所	7.8.1	/ClinicalDocument/author/assignedAuthor/representedOrganization/addr/text()
ファイル作成機関郵便番号	7.9.1	/ClinicalDocument/author/assignedAuthor/representedOrganization/addr/postalCode/text()

特定保健指導情報ファイル作成機関情報の XML 仕様を表 6 に示す。

表 6 作成機関情報 XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
7	/ClinicalDocument/author		1..1	M
7.1	time	<u>健診仕様書の当該部分と同一仕様。</u> 文書作成日。このファイルの実際の作成日。XML 仕様 No.4 の effectiveTime と通常は同一の値であるが、3 月 31 日付けの報告 (effectiveTime) のファイルを、3 月 29 日に作成(本項目)したことを記録したい場合には、両者を異なる値とすることは可能。	1..1	M
7.1.1	@value	<u>健診仕様書の当該部分と同一仕様。</u> 書式は「YYYYMMDD」	1..1	M
7.2	assignedAuthor	<u>健診仕様書の当該部分と同一仕様。</u> ファイル作成機関情報	1..1	M
7.3	assignedAuthor/id	<u>健診仕様書の当該部分と同一仕様。</u> ファイル作成機関識別子	1..1	M
7.3.1	@nullFlavor	<u>健診仕様書の当該部分と同一仕様。</u> HL7 ポキャブラリドメイン NullFlavor より「NI」を設定。	1..1	M
7.4	assignedAuthor/representedOrganization	<u>健診仕様書の当該部分と同一仕様。</u> ファイル作成機関	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

7.5	assignedAuthor/ representedOrganization/id	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 ファイル作成機関の番号	1..1	M
7.5.1	@extension	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 「ファイル作成機関番号」に対応する文字列。数字 10 桁固定。	1..1	M
7.5.2	@root	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 ファイル作成機関のための OID を設定。 保健指導機関: 「1.2.392.200119.6.102」	1..1	M
7.6	assignedAuthor/ representedOrganization/name	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 ファイル作成機関の名称。	1..1	M
7.6.1	text()	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 「ファイル作成機関名称」文字列。	1..1	M
7.7	assignedAuthor/ representedOrganization/telecom	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 ファイル作成機関の連絡先情報。	0..1	O
7.7.1	@value	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 電話番号。「tel:」で始まる文字列で数字だけとし、ハイフンやカッコなど区切り文字を含まない。 例: "tel:0312345678"	1..1	M
7.8	assignedAuthor/ representedOrganization/addr	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 ファイル作成機関の所在地情報。	0..1	O
7.8.1	text()	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 「ファイル作成機関住所」に対応する住所を全角文字列で記録。郵便番号を含まず、空白を含めない。	1..1	M
7.9	assignedAuthor/ representedOrganization/addr/ postalCode	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 ファイル作成機関の所在地郵便番号情報。	0..1	O
7.9.1	text()	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 「ファイル作成機関郵便番号」に対応する半角文字列。書式は、「###-####」([0-9]{3}-[0-9]{4})。ハイフンを含む。	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

3.2.3.3 ファイル作成管理責任機関情報

健診仕様書の当該部分と同一仕様。

特定保健指導情報の送信のためには特に必要としない情報であるが、HL7CDA 規格上は報告書管理責任機関情報として必須要素であるため表7のように記述する。

表7 ファイル作成管理責任機関情報 XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
8	/ClinicalDocument/custodian		1..1	M
8.1	assignedCustodian	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 ファイル作成管理責任機関情報	1..1	M
8.2	assignedCustodian/ representedCustodianOrganization	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 ファイル作成管理責任機関	1..1	M
8.3	assignedCustodian/ representedCustodianOrganization/id	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 ファイル作成管理責任機関の機関番号	1..1	M
8.3.1	@nullFlavor	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 "NI"を設定する。	1..1	M

3.2.3.4 受診券・利用券情報と保険者情報

受診券の情報に加えて、利用券の情報が記述される。そのため、
/ClinicalDocument/participant が2回繰り返される。受診券情報か利用券情報かの区別は、
/ClinicalDocument/participant/functionCode/@code で識別される。
特定健診仕様には存在していた受診券情報の利用期限は存在せず、利用券情報には期限が存在することに注意。

特定健診当日、または1週間以内に特定保健指導の初回面接を実施できるセット券（特定健康診査＋特定保健指導）の場合、受診券の種別番号には「5」が設定される。

また、特定健診当日に初回面接を実施した場合、利用券情報の利用券整理番号および有効期限には、受診券の整理番号（種別番号「5」）および有効期限を設定するため、注意する。

利用者が健診実施時に属した保険者の情報および、その保険者が発行した受診券および利用券に関する情報を表現する。エラー! 参照元が見つかりません。に示す項目が含まれる。なお、保険者番号については、recordTarget (XML仕様 No: 6) の中で記述される保険者番号と同一でなければならない。万一、値が異なる場合には、recordTarget (XML仕様 No: 6) の中で記述される保険者番号のほうが正しいものとして処理される。

表8 受診券情報と保険者情報へのマッピング項目

項目名	XML仕様 No	XPath
受診券整理番号	9.6.1	/ClinicalDocument/participant[functionCode/@code="1"]/associatedEntity/ id/@extension
受診券を発行した保険者番号	9.8.1	/ClinicalDocument/participant [functionCode/@code="1"]/associatedEntity/scopingOrganization/ id/@extension
利用券有効期限	9.4.1	/ClinicalDocument/participant [functionCode/@code="2"]/time/high/@value
利用券整理番号	9.6.1	/ClinicalDocument/participant

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

		[functionCode/@code="2"]/associatedEntity/id/@extension
利用券を発行した保険者番号	9.8.1	/ClinicalDocument/participant [functionCode/@code="2"]/associatedEntity/scopingOrganization/id/@extension

受診券・利用券情報と保険者情報の XML 仕様を表 9 および表 10 に示す。

表 9 受診券情報と保険者情報の XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
9	/ClinicalDocument/participant[1]	受診券情報	0..1 (欄外注)	O (欄外注)
9.1	@typeCode	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 HL7 ボキャブラリドメイン ParticipationType から所有者を示す「HLD」を設定。	1..1	M
9.2	functionCode	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 受診券の情報であることを示す情報	1..1	M
9.2.1	@code	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 受診券券面種別コードを示す「1」を設定。	1..1	M
9.2.2	@codeSystem	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 受診券・利用券の券面種別コードのための OID。「1.2.392.200119.6.208」を設定。	1..1	M
9.5	associatedEntity	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 受診券と発行者の識別情報。	1..1	M
9.5.1	@classCode	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 HL7 ボキャブラリドメイン RoleClass から「IDENT」を設定。	1..1	M
9.6	associatedEntity/id	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 受診券整理番号	1..1	M
9.6.1	@extension	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 「受診券整理番号」に対応する文字列。数字 11 桁固定	1..1	M
9.6.2	@root	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 受診券整理番号のための OID。 「1.2.392.200119.6.209.nnnnnnnnn」を設定。 ここで nnnnnnnnn は XML 仕様 No.9.8.1 に記述される保険者番号 8 桁の先頭に 1をつけて 9 桁とした番号 。OID 表も参照のこと。	1..1	M
9.7	associatedEntity/scopingOrganization	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 受診券を発行した保険者の保険者情報。	1..1	M
9.8	associatedEntity/scopingOrganization/id	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 受診券を発行した保険者の保険者番号。	1..1	M
9.8.1	@extension	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 「(受診券を発行した)保険者番号」。 recordTarget (XML 仕様 No. 6) の中で記述される保険者番号と同一でなければならない。	1..1	M
9.8.2	@root	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 保険者番号の OID。「1.2.392.200119.6.101」を設定。	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

表 10 利用券情報と保険者情報の XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
9	/ClinicalDocument/participant[2]	利用券情報 本情報は、保険者から国への報告の際に必須化された。 このため利用券を用いなくて特定保健指導を実施した場合においても、保険者が利用券整理番号や有効期限の出力を求めてくることがある。 その場合、保険者が指示した値を設定し報告すること。	0..1 (欄外注)	O (欄外注)
9.1	@typeCode	受診券情報の当該部分と同一仕様。 HL7 ボキャブラリドメイン ParticipationType から所有者を示す「HLD」を設定。	1..1	M
9.2	functionCode	受診券情報の当該部分と同一仕様。 利用券の情報であることを示す情報	1..1	M
9.2.1	@code	受診券情報の当該部分と同一仕様で設定する値は異なる。 利用券券面種別コードを示す「2」を設定。	1..1	M
9.2.2	@codeSystem	受診券情報の当該部分と同一仕様。 受診券・利用券の券面種別コードのためのOID。「1.2.392.200119.6.208」を設定。	1..1	M
9.3	time	利用券の有効期間	1..1	M
9.4	time/high	有効期間の終了日すなわち有効期限。終了日を含む。	1..1	M
9.4.1	@value	「利用券有効期限」、書式は“YYYYMMDD”。 利用券を発行せず特定保健指導を行う場合であって、保険者が値を指示しない場合、便宜上、特定保健指導の基になった特定健診の実施年度の3月31日に設定する。 特定健診当日に初回面接を実施した場合、受診券の有効期限を設定。	1..1	M
9.5	associatedEntity	受診券情報の当該部分と同一仕様。 利用券と発行者の識別情報。	1..1	M
9.5.1	@classCode	受診券情報の当該部分と同一仕様。 HL7 ボキャブラリドメイン RoleClass から「IDENT」を設定。	1..1	M
9.6	associatedEntity/id	受診券情報の当該部分と同一仕様。 利用券整理番号	1..1	M
9.6.1	@extension	受診券情報の当該部分と同一仕様。 「利用券整理番号」に対応する文字列。数字11桁固定 特定健診当日または1週間以内に初回面接を実施した場合、受診券の整理番号(種別番号:5)を設定。	1..1	M
9.6.2	@root	受診券情報の当該部分と同一仕様で、設定する値は異なる。 利用券整理番号のためのOIDで、受診券のそれとは異なる。 「1.2.392.200119.6.210.nnnnnnnnn」を設定。 ここでnnnnnnnnnはXML仕様No.9.8.1に記載される保険者番号8桁の先頭に1をつけて9桁とした番号。OID表も参照のこと。	1..1	M
9.7	associatedEntity/scopingOrganization	受診券情報の当該部分と同一仕様。	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

		<u>利用券</u> を発行した保険者の保険者情報。		
9.8	associatedEntity/scopingOrganization/id	<u>受診券情報の当該部分と同一仕様。</u> <u>利用券</u> を発行した保険者の保険者番号。	1..1	M
9.8.1	@extension	<u>受診券情報の当該部分と同一仕様。</u> 「 <u>（利用券）を発行した）保険者番号</u> 」。 recordTarget (XML 仕様 No. 6)の中で記述される保険者番号と同一でなければならない。 <u>また、受診券を発行した保険者番号と同一でなければならない。</u>	1..1	M
9.8.2	@root	<u>受診券情報の当該部分と同一仕様。</u> 保険者番号の OID。「1.2.392.200119.6.101」を設定。	1..1	M

注：受診券は健診が個別契約で実施された場合には存在しない場合がある。利用券は保健指導が個別契約で実施される場合には存在しない場合がある。それぞれ集合契約による場合には存在する。

受診券・利用券情報と保険者情報の XML サンプルを以下に示す。

```
<ClinicalDocument>
...
<!-- 受診券の情報-->
<participant typeCode="HLD">
<functionCode code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.208" />
  <associatedEntity classCode="IDENT">
    <!-- 受診券番号 11223344551 -->
    <id extension="11223344551" root="1.2.392.200119.6.209.131130685" />

    <!-- 保険者情報 -->
    <scopingOrganization>
      <!-- 保険者番号 31130685 -->
      <id extension="31130685" root="1.2.392.200119.6.101" />
    </scopingOrganization>
  </associatedEntity>
</participant>

<!-- 利用券の情報-->
<participant typeCode="HLD">
<functionCode code="2" codeSystem="1.2.392.200119.6.208" />
<time>
  <!-- highは利用券の有効期限（その日を含む）-->
  <high value="20250331" />
</time>

  <associatedEntity classCode="IDENT">
    <!-- 利用券番号 11223344551 -->
    <id extension="11223344551" root="1.2.392.200119.6.210.131130685" />

    <!-- 保険者情報 -->
    <scopingOrganization>
      <!-- 保険者番号 31130685 -->
      <id extension="31130685" root="1.2.392.200119.6.101" />
    </scopingOrganization>
  </associatedEntity>
</participant>
...
</ClinicalDocument>
```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

3.2.3.5 保健指導実施情報

健診仕様書の健診実施情報部分と同一仕様。

保健指導の実施に関する基本情報を表現する。表 11 に示す項目が含まれる。

表 11 保健指導実施に関する基本情報に含まれる項目

項目名	XML 仕様 No	XPath
保健指導実施時のプログラム種別	10.2.1	/ClinicalDocument/documentaionOf/serviceEvent/code/@code
保健指導実施年月日	10.3.1	/ClinicalDocument/documentaionOf/serviceEvent/effectiveTime/@value
保健指導実施機関番号	10.8.1	/ClinicalDocument/documentaionOf/serviceEvent/performer/assignedEntity/representedOrganization/id/@extension
保健指導実施機関名称	10.9.1	/ClinicalDocument/documentaionOf/serviceEvent/performer/assignedEntity/representedOrganization/name/text()
保健指導実施機関電話番号	10.10.1	/ClinicalDocument/documentaionOf/serviceEvent/performer/assignedEntity/representedOrganization/telecom/@value
保健指導実施機関住所	10.11.1	/ClinicalDocument/documentaionOf/serviceEvent/performer/assignedEntity/representedOrganization/addr/text()
保健指導実施機関郵便番号	10.12.1	/ClinicalDocument/documentaionOf/serviceEvent/performer/assignedEntity/representedOrganization/addr/postalCode/text()

保健指導実施情報の XML 仕様を表 12 に示す。

表 12 保健指導実施情報 XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
10	/ClinicalDocument/documentationOf		1..1	M
10.1	serviceEvent	保健指導実施情報。	1..1	M
10.2	serviceEvent/code	プログラムサービスコード。 ヘッダー部の保健指導管理情報における code (XML 仕様 No.3) は本ファイルを作成し提出する事由区分の意味で使用するのに対して、この健診プログラムサービスコードは、保健指導実施時にどのような区分として実施されたかを示す。	1..1	M
10.2.1	@code	<u>特定保健指導として実施された場合、「100」を設定。</u>	1..1	M
10.2.2	@codeSystem	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 コード体系を識別する OID。 「1.2.392.200119.6.1002」を設定。	1..1	M
10.2.3	@displayName	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 コードの表示名。「特定保健指導」を設定。省略可能。	0..1	O
10.3	serviceEvent/effectiveTime	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 保健指導の実施日。	1..1	M
10.3.1	@value	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 「保健指導実施年月日」に対応する文字列。	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

		書式は「YYYYMMDD」。 初回報告時は初回面接の実施日付(初回面接を分割実施している場合、初回面接②の実施日付、個別契約等により初回面接①を実施した時点で報告する場合は、初回面接①の実施日付)、 中間報告時は中間評価の実施日付、 最終報告(実績報告)および国への実績報告用では、最終報告の実施日付をそれぞれ格納する。 なお、契約により継続支援期間の途中で実績報告を行う場合には、その時点で最も直近の指導実施日を設定することが望ましい。		
10.4	serviceEvent/performer	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 保健指導プログラムサービスの実施者情報	1..1	M
10.4.1	@typecode	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 HL7 ポキャブラリドメイン より「PRF」を設定。	1..1	M
10.5	serviceEvent/performer/assignedEntity	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 保健指導実施機関情報	1..1	M
10.6	serviceEvent/performer/assignedEntity/id	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 保健指導実施機関識別子	1..1	M
10.6.1	@nullFlavor	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 HL7 ポキャブラリドメイン NullFlavor より「NI」を設定。	1..1	M
10.7	serviceEvent/performer/assignedEntity/representedOrganization	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 保健指導実施機関	1..1	M
10.8	serviceEvent/performer/assignedEntity/representedOrganization/id	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 保健指導実施機関の番号	1..1	M
10.8.1	@extension	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 「保健指導実施機関番号」に対応する文字列。数字 10 桁固定。 初回面接の報告時の場合は、初回面接を行った実施機関の情報を記録する。(初回面接を分割している場合は、初回面接②を行った実施機関の情報、個別契約等により初回面接①を実施した時点で報告する場合は、初回面接①を行った実施機関の情報) 継続支援の状況報告時は継続支援を行った実施機関の情報を記録する。 実績評価の報告時の場合は、行動計画の実績評価を行った実施機関の情報を記録する。 途中終了の報告時は、途中終了と判断した実施機関(初回面接を行った実施機関等)の情報を記録する。(初回面接を分割実施している場合も同様(初回面接②を行った実施機関等)) 初回未完了時の場合は、初回未完了と判断	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

		した実施機関(初回面接①を行った実施機関等)の情報を記録する。		
10.8.2	@root	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 保健指導実施機関のための OID を設定。 保健指導機関:「1.2.392.200119.6.102」	1..1	M
10.9	serviceEvent/performer/assignedEntity/representedOrganization/name	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 保健指導実施機関の名称。	1..1	M
10.9.1	text()	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 「保健指導実施機関名称」文字列。	1..1	M
10.10	serviceEvent/performer/assignedEntity/representedOrganization/telecom	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 保健指導実施機関の連絡先情報。	1..1	M
10.10.1	@value	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 電話番号。「tel:」で始まる文字列で数字だけとし、ハイフンやカッコなど区切り文字を含まない。例:"tel:0312345678"	1..1	M
10.11	serviceEvent/performer/assignedEntity/representedOrganization/addr	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 保健指導実施機関の所在地情報。	1..1	M
10.11.1	text()	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 「保健指導実施機関住所」に対応する住所を2バイト系だけからなる文字列で記録。郵便番号を含まず、空白を含めない。	1..1	M
10.12	serviceEvent/performer/assignedEntity/representedOrganization/addr/postalCode	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 保健指導実施機関の所在地郵便番号情報。	1..1	M
10.12.1	text()	健診仕様書の当該部分と同一仕様。 「保健指導実施機関郵便番号」に対応する半角文字列。書式は、「###-####」([0-9]{3}-[0-9]{4})。ハイフンを含む。	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

3.3 ボディ部

ボディ部には、特定保健指導の報告で定められた実施情報（計画情報を含む）が含まれ、指導共通情報、指導初回①情報、指導初回情報、継続支援情報、中間評価情報、最終評価情報、指導集計情報の各セクションにわけて記録する。

各セクションは、そのセクションの内容を人が解釈することを目的として構造化テキストとして記述する説明ブロック（Narrative Block）と、セクション内容を機械可読なデータとして記述するエントリ記述ブロック（Entry）から構成される。

説明ブロックは、**section** 要素内の **text** 要素に HTML に類似するタグを使って記述されるが、**text** 要素にすべての項目の結果を記述するとそれだけでファイルサイズが非常に大きくなること、および必要ならエントリ記述ブロック中のデータから説明ブロックデータを機械的に生成可能であること、の2つの理由により、本仕様では **text** 要素には 指導共通情報セクションにおいてのみ 限定された少数の項目だけを記述するものとし、その他のセクションでは値を持たない空 text エレメントとする。

一方、エントリ記述ブロックは、**section** 要素の子要素となる **entry** 要素の繰り返しで記述する。**section** 要素は、セクションの種別を示すセクションコードを表す **code** 要素を、子要素として含まなければならない。各セクションのセクションコードを表 13 に示す。

セクションコード体系の OID は「1.2.392.200119.6.1010」である。

表 13 保健指導データ CDA セクションの種類とコード

セクションコード	セクション名	説明
90010	<u>指導共通情報セクション</u>	保健指導区分・行動変容ステージ、保健指導コース名情報
90020	<u>指導初回①情報セクション</u>	初回面接①実施情報 保健指導計画情報
90030	<u>指導初回情報セクション</u>	初回面接実施情報※ 保健指導計画情報
90040	<u>継続支援情報セクション</u>	支援の実施情報
90050	<u>中間評価情報セクション</u>	中間評価情報
90060	<u>最終評価情報セクション</u>	最終評価情報（3ヶ月評価情報）
90070	<u>指導集計情報セクション</u>	計画集計情報 実施済み集計情報
90080	<u>指導機関情報セクション</u>	指導機関情報

※ 初回面接を分割して実施した場合、初回面接②実施情報が設定される

ボディ部の XML 仕様を表 14 に示す。

表 14 ボディ部の XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11	/ClinicalDocument/component		1..1	M
11.1	structuredBody	構造化ボディ。	1..1	M
11.2	structuredBody/component	セクションへの包含関係情報。3.3.1 節で認識するように1個以上の要素が存在する。	1..*	M
11.3	structuredBody/component/section	セクション情報。詳細は 3.3.2～3.3.8 節。	1..1	M

以下に CDA ボディの XML サンプルを示す。各セクションの詳細は、3.3.2 節から 3.3.6 節にそれぞれ示す。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

```
<ClinicalDocument>
...
<!-- 健診情報、保健指導情報-->
<component>
  <structuredBody>
    <component>
      <section>
        <!-- 指導共通情報セクション-->
      </section>
    </component>

    <component>
      <section>
        <!-- 指導初回情報セクション -->
      </section>
    </component>
  </structuredBody>
</component>
</ClinicalDocument>
```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

3.3.1 CDA セクションおよび保健指導項目の出現について

3.3.1.1 保健指導報告区分と CDA セクションの関係

保健指導の報告時点の違いにより下記のようなセクションが組み合わされて使用される。それと対応する報告区分との関係は表 15 のようになる。

表 15 保健指導区分とセクションの関係

使用セクション(セクションコード)	格納される情報エントリ	保健指導情報(個票)項目番号	1 回目報告・請求時	継続支援の状況報告時(中間評未実施時点)※欄外注	中間評価実施時※欄外注	2 回目報告時・請求時(3ヶ月評価実施時)	国への実績報告時
			報告区分コード=21 ※欄外注6	報告区分コード=24 ※欄外注2	報告区分コード=24	報告区分コード=22	報告区分コード=30
指導共通情報(90010)	保健指導区分・行動変容ステージ、保健指導コース名情報	1101~1107	必須 ただし保健指導コース名情報(1103)は委託時のみ必須。	任意(1 回目報告時と変更ある場合には必須となることがある)	任意(前回報告時と変更ある場合には必須となることがある)	任意	別途、国への実績報告に関する仕様書を参照のこと。
指導初回①情報(90020)※欄外注3	初回面接①実施情報	1301~1306	必須	任意	任意	任意	
	保健指導計画情報	1331~1345	任意	任意	任意	任意	
指導初回情報(90030)	初回面接(分割実施以外)実施情報※欄外注4	1301~1306	必須	任意	任意	任意	
	初回面接②実施情報※欄外注3	1301~1306	必須	任意	任意	任意	
	保健指導計画情報	1331~38	委託時は必須。それ以外では継続的支援予定期間(1331)のみ必須 ※欄外注5	任意	任意	任意	
1339~1345		必須 ※欄外注7	任意	任意	任意		
中間評価情報(90050)	中間評価情報	1501~1516	なし	なし	必須	任意	
継続支援情報(90040)	支援情報	1411~1446	なし	契約によるが趣旨からすれば必須	契約による	委託時は必須(積極的支援の場合)	
最終評価	実績評価情報	1601~1616	なし	なし	なし	必須	

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

情報 (90060)	報					
指導集計 情報 (90070)	計画上の集 計情報	1701~1713	必須 ※欄外注7	契約による	契約による	任意
	実施上の集 計情報	1731~1745	なし	なし	なし	必須
指導機関 情報 (90080)	指導機関情 報	1811~1814	任意	任意	任意	任意

報告区分コードは/ClinicalDocument/code/@code (XML仕様 No. 3.1)と対応する。

表中の「任意」は、不要であるが、個別の取り決めにより存在させることは、本仕様上は可能である、の意味。

表中の「契約による」は、個別の契約で報告を義務付けられれば報告することがあり得る、の意味。「初回面接①」、「初回面接②」は、初回面接を健診当日と後日の2回に分割した場合のそれぞれの情報の意味

※注 1：個別契約等によりこの時点での報告をすることとなっている場合。

※注 2：被保険者資格喪失による利用停止・脱落・保健指導開始後服薬判明等により途中終了時報告となる場合には報告区分コード=23となる。

※注 3：初回面接を分割実施している場合のみ出現する。

※注 4：初回面接を分割実施していない場合のみ出現する。

※注 5：指導初回①情報セクションと指導初回情報セクションとの多重出現可。

※注 6：初回面接を分割実施しており、初回面接①実施後、初回面接②実施前に被保険者資格喪失による利用停止・脱落・保健指導開始前服薬判明等により初回未完了となる場合には報告区分コード=25となる。初回面接②実施後は報告区分コード=21とする。

※注 7：報告区分コード=25の場合、任意

3.3.1.2 保健指導区分と保健指導項目の関係

保健指導区分の違いによる保健指導項目の出現方法は、「XML用特定保健指導項目情報」に従う。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

3.3.2 指導共通情報セクション

※3. 3. 2節以降では、原則として健診仕様書とすべて異なるため、健診仕様書との相違部分を太字または下線などの方法で示してない。

3.3.2.1 セクション部仕様

指導共通情報セクションは、「XML用特定保健指導項目情報」の「指導共通情報」エントリにおける保健指導区分（項目コード 1020000001）、行動変容ステージ（項目コード 1020000002）、保健指導コース名（項目コード 1020000003）、健診実施年月日(確認用)（項目コード 1020000004）、および保健指導後服薬 1～3（項目コード 1020000005～1020000007）の 7項目を格納するセクションである。人が解釈するための説明ブロックと、各項目に対応する機械可読表現である 1 個の **entry** 要素を含む。セクションコードには CDA セクションコードのうち「**90010**」を指定する。

指導共通情報セクションの XML 仕様を表 16 に示す。

表 16 指導共通情報セクション XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.3	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		1..1	M
11.4	code	指導共通情報データ CDA セクションコード。	1..1	M
11.4.1	@code	セクションコード「 90010 」を設定。	1..1	M
11.4.2	@codeSystem	セクションコードのコード体系を示す OID。「 1.2.392.200119.6.1010 」を設定。	1..1	M
11.4.3	@displayName	セクションコードの表示名。「 指導共通情報セクション 」を設定。	0..1	O
11.6	text	セクションのテキスト記述。	1..1	M
11.6.1	text()	セクションのテキスト記述。詳細は 3.3.2.2 節。	1..1	M
11.7	entry	指導共通情報セクションの機械可読表現。詳細は 3.3.2.3 節。	1..1	M

指導共通情報セクションの XML サンプルを以下に示す。

```

<section>
  <code code="90010" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
    displayName="指導共通情報セクション"/>
  <text>
    <!-- 指導共通情報セクション テキスト記述 (3.3.2.2 節) -->
  </text>
  <!-- 指導共通情報セクション 機械可読記述 (1 つの entry) -->
  <entry>
    ...
  </entry>
</section>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

3.3.2.2 テキスト部（説明ブロック）仕様

指導共通情報セクションの内容を人が解釈するための情報を記述する説明ブロックには、**list** 要素および **item** 要素を使用して、検査項目とその結果値を表現する。各健診項目に対して、1 つの **item** 要素が対応する。**item** 要素のテキスト内容の書式は、

「**項目名 値（表示用テキスト）**」（項目名と値の間の空白は半角スペース）とする。

また、なんらかの理由により値を設定できない場合は、「項目名」だけとする。

ファイルサイズをコンパクトにするため、説明ブロックに記述する項目は表 17 に掲げた項目だけに限定するものとする。また、これらについても任意である。まったく記述しなくてもよいがその場合でも **text** 要素は必須である。

表 17 指導共通情報項目説明ブロック仕様

No	項目名	値(表示用テキスト)
1001	保健指導区分	「積極的支援」「動機付け支援」「動機付け支援相当」
1002	行動変容ステージ	「意志なし」「意志あり(6か月以内)」「意志あり(近いうち)」「取組済み(6ヶ月未満)」「取組済み(6ヶ月以上)」
1003	保健指導コース名	コースの名前をあらわす文字列

表 18 指導共通情報セクション説明ブロック XML 仕様

XML-No	XPath	説明	多重度	選択性
11.6	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/text		1..1	M
11.6.1	list	説明ブロック 項目リスト	0..1	O
11.6.2	list/item	項目	1..*	M
11.6.2.1	text()	項目名と項目内容を表すテキスト。書式は「 項目名 値(表示用テキスト) 」(項目名と値の間の空白は半角スペース)	1..1	M

text 記述する例

```

<section>
  <code code="90010" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
  displayName="指導共通情報セクション" />
  <text>
    <list>
      <item>保健指導区分 積極的支援</item>
      <item>行動変容ステージ 意志あり(6か月以内)</item>
      <item>保健指導コース名 すこやか個別指導コース</item>
    </list>
  </text>
  ...
</section>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

3.3.2.3 エントリ部仕様

指導共通情報セクションに含まれる項目は「XML用特定保健指導項目情報」の「指導共通情報」エントリを参照すること。

指導共通情報セクションのXML仕様を表19に示す。

表19 指導共通情報セクションのXML仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.7	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry		1..1	M
11.8	act	実施情報または計画情報	1..1	M
11.8.1	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClass から、意図して実施される行為を示す「ACT」を設定。	1..1	M
11.8.2	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActMood から、実施結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.9	act/code	act ブロックのコード	1..1	M
11.9.1	@nullFlavor	「NA」を設定。「NI」でないことに注意。	1..1	M

上記に引き続き、以下の entryRelationship ブロックを「XML用特定保健指導項目情報」の「指導共通情報」エントリの計1~4項目分だけ繰り返す。報告しない項目の entryRelationship ブロックは出現しない。

	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry/act/		1..1	M
11.10	entryRelationship	保健指導実施項目の1項目分のブロック情報	1..4	M
11.10.1	@typeCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActRelationship より一連グループを構成する個々の結果を表現するために、「COMP」を設定。	1..1	M
11.11	entryRelationship/observation	個々の実施項目情報	1..1	M
11.11.1	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClass から、観察行為を示す「OBS」を設定。	1..1	M
11.11.2	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActMood から、結果情報を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.12	entryRelationship/observation/code	保健指導項目コード情報	1..1	M
11.12.1	@code	保健指導項目コード	1..1	M
11.12.2	@codeSystem	保健指導項目コード OID。 デフォルト値=1.2.392.200119.6.1006 の場合には省略する。	0..1	O
11.12.3	@displayName	保健指導コード名。ファイルサイズを小さくしたい場合には省略する。	0..1	O
11.13	entryRelationship/observation/value	保健指導情報項目の値	1..1	M
11.13.1	@xsitype	「XML用特定保健指導項目情報」のXML用データ型を設定。 コード値の場合:「CD」 健診実施年月日(確認用)の場合は、文字列型「ST」を設定する。	1..1	M
11.13.5	@code	報告すべき結果コード値を設定。	0..1	O
11.13.6	@codeSystem	「XML用特定保健指導項目情報」のコード表 OID の値を設定。	0..1	O

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

11.13.7	text()	健診実施年月日(確認用)の値 YYYYMMDD	0..1	0
---------	--------	-------------------------	------	---

指導共通情報セクションのXMLサンプルを以下に示す。

```

<component>
  <section>
    <code code="90010" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="指導共通情報セクション"/>
    <text>
      <list>
        <item>支援レベル 積極的支援</item>
        <item>行動変容ステージ 意志あり(6か月以内)</item>
        <item>保健指導コース名 個別指導コース</item>
      </list>
    </text>
    <entry>
      <act classCode="ACT" moodCode="EVN">
        <code nullFlavor="NA"/>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 保健指導区分 -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="1020000001"/>
            <value xsi:type="CD" code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.3001"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 行動変容ステージ (初回面接時) -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="1020000002"/>
            <value xsi:type="CD" code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.3002"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 保健指導コース名 -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="1020000003"/>
            <value xsi:type="ST">個別指導コース</value>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 健診実施年月日(確認用) -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="1020000004"/>
            <value xsi:type="ST">20240922</value>
          </observation>
        </entryRelationship>
      </act>
    </entry>
  </section>
</component>

```


特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

3.3.3 指導初回①情報セクション

※ 平成30年度より指導初回①情報セクションが追加となっているため注意

3.3.3.1 セクション部仕様

指導初回①情報セクションは、初回面接を分割実施している場合のみ出現する。初回面接①実施時の項目は「XML用特定保健指導項目情報」の「初回面接実施情報」エントリと「保健指導計画情報」エントリを参照すること（ただし、健診後早期の初回面接（項目コード1022000016）は指導初回①情報セクションに出現させてはいけない）。人が解釈するための説明ブロックはtext要素として存在するが値を持たない。entry要素を含む。セクションコードにはCDAセクションコードのうち「90020」を指定する。

指導初回①情報セクションのXML仕様を表20に示す。

表20 指導初回①情報セクションXML仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.3	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		1..1	M
11.4	code	指導初回情報データ CDA セクションコード。	1..1	M
11.4.1	@code	セクションコード「90020」を設定。	1..1	M
11.4.2	@codeSystem	セクションコードのコード体系を示す OID。「1.2.392.200119.6.1010」を設定。	1..1	M
11.4.3	@displayName	セクションコードの表示名。「指導初回①情報セクション」を設定。	0..1	O
11.6	text	セクションのテキスト記述。	1..1	M
11.6.1	text()	存在しない。	1..1	M
11.7	entry[1]	初回面接実施情報を格納する entry	1..1	M
11.7(繰り返し)	entry[2]	保健指導計画情報を格納する entry	0..1	O

指導初回①情報セクションのXMLサンプルを以下に示す。

```

<section>
  <code code="90020" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
    displayName="指導初回①情報セクション"/>
  <text />

  <!-- 初回面接実施情報-->
  <entry>
    ...
  </entry>

  <!-- 保健指導計画情報-->
  <entry>
    ...
  </entry>
</section>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

3.3.3.2 初回面接①実施情報エントリ仕様

指導初回①情報セクションに含まれるエントリは初回面接①実施情報エントリと保健指導計画情報エントリの2つである。

また、保健指導計画情報エントリは省略可となる。初回面接を分割実施しない場合には、指導初回①情報セクション自体が存在しないことになる。

初回面接①実施情報エントリの XML 仕様を表 21 に示す。

表 21 初回面接①実施情報エントリの XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.7	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry		1..1	M
11.8	act	実施情報または計画情報	1..1	M
11.8.1	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass から、意図して実施される行為を示す「ACT」を設定。	1..1	M
11.8.2	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン AntMood から、実施結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.9	act/code	初回面接の支援形態	1..1	M
11.9.1	@code	初回面接の支援形態(項目番号 1302)のコード値の中から「1:個別支援(対面)」「2:個別支援(遠隔)」「3:グループ支援(対面)」「4:グループ支援(遠隔)」のいずれかを設定。 なお、初回面接を分割実施している場合の初回面接②に限り、「5:電話」及び「6:電子メール等」も設定可能。	1..1	M
11.9.2	@codeSystem	初回面接時の支援形態のOID 1.2.392.200119.6.24010	1..1	M
11.14	act/effectiveTime	実施日付情報	1..1	M
11.14.1	@value	初回面接の実施日(項目番号 1301)の値 YYYYMMDD	1..1	M
11.15	act/performer	初回面接を実施した人に関する情報	1..1	M
11.16	act/performer/assignedEntity	初回面接を実施した者	1..1	M
11.16.1	id/@nullFlavor	「NI」を設定。「NA」でないことに注意。	1..1	M
11.16.2	code/@code	実施者(項目番号 1305)のコード(医師=1など)	1..1	M
11.16.3	code/@codeSystem	実施者コードのOID 1.2.392.200119.6.3020	1..1	M
11.17	act/performer/assignedEntity/representedOrganization	保健指導機関情報(保険者直営の場合にも記載する) ※1	1..1	M
11.17.1	id/@extension	保健指導機関番号	1..1	M
11.17.2	id/@root	OID「1.2.392.200119.6.102」	1..1	M
11.17.3	name/text()	保健指導機関の名称	1..1	M
11.10	act/entryRelationship	保健指導実施項目の1項目分のブロック情報	1..2	M
11.10.1	@typeCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActRelationship より一連グループを構成する個々の結果を表現するために、「COMP」を設定。	1..1	M
11.11	act/entryRelationship/observation	個々の項目情報	1..1	M
11.11.1	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass から、観察行為を示す「OBS」を設定。	1..1	M
11.11.2	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン AntMood から、結果情報を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.12	act/entryRelationship/observation/code	保健指導項目コード情報	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

11.12.1	@code	保健指導項目コードを設定する。 初回面接実施時間の場合、項目コード「1022000013」を設定。	1..1	M
11.12.2	@codeSystem	保健指導項目コード OID。 デフォルト値 = 1.2.392.200119.6.1006 の場合には省略する。	0..1	O
11.18	act/entryRelationship/observation/effectiveTime	保健指導の実施時刻および時間に関する情報	1..1	M
11.19	act/entryRelationship/observation/effectiveTime/width	保健指導の実施時間に関する情報	1..1	M
11.19.1	@value	保健指導の実施時間(長さ)	1..1	M
11.19.2	@unit	上記の時間の単位。 分の場合には「min」を設定する。	1..1	M
11.12 (再掲)	act/entryRelationship/observation/code	保健指導項目コード情報	0..1	O
11.12.1	@code	保健指導項目コードを設定する。 初回面接情報の場合、項目コード「1022000090」を設定。	1..1	M
11.12.2	@codeSystem	保健指導項目コード OID。 デフォルト値 = 1.2.392.200119.6.1006 の場合には省略する。	0..1	O
11.20	act/entryRelationship/observation/value	保健指導項目の値	0..1	O
11.20.1	@xsi:type	初回面接情報の場合、「ST」を設定	1..1	M
11.20.2	@text()	文字列を設定。(最大 256 文字)	1..1	M

※1 初回面接①実施情報エントリ及び、初回面接実施情報エントリの保健指導機関情報は「3.2.3.5 保健指導実施情報」と同一の実施機関であっても原則出現させる必要がある。ただし、同一の場合は省略することも可能であるため、省略する際の取扱やチェック仕様等については各団体のウェブサイト等で確認すること。(省略可能とする団体は多重度：0..1、選択性：Oに読み替えること)

以上の仕様にもとづき、初回面接①実施情報のエントリのサンプルを以下に示す。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

```

<component>
  <section>
    <code code="90020" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="指導初回①情報セク
シオン"/>
    <text/>
    <entry>
      <!-- 初回面接実施情報 -->
      <act classCode="ACT" moodCode="EVN">
        <!-- 初回面接の支援形態:1=個別支援（対面）（項目コード:1022000012） -->
        <code code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.24010"/>
        <!-- 初回面接の実施日付（項目コード:1022000011） -->
        <effectiveTime value="20240720"/>
        <performer>
          <assignedEntity>
            <id nullFlavor="NI"/>
            <!-- 初回面接の実施者のコード:1=医師（項目コード:1022000015） -->
            <code code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.3020"/>
            <!-- 保健指導機関情報 -->
            <representedOrganization>
              <!-- 保健指導機関番号 -->
              <id extension="1042000081" root="1.2.392. . . . ."/>
              <!-- 保健指導機関名 -->
              <name>東京保健指導センター</name>
            </representedOrganization>
          </assignedEntity>
        </performer>

        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <!-- 初回面接の実施時間（項目コード:1022000013） -->
            <code code="1022000013"/>
            <effectiveTime>
              <width value="30" unit="min"/>
            </effectiveTime>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <!-- 初回面接情報（項目コード:1022000090） -->
            <code code="1022000090"/>
            <value xsi:type="ST">初回面接①時のテキストデータ</value>
          </observation>
        </entryRelationship>
      </act>
    </entry>
  </section>
</component>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

3.3.3.3 保健指導計画情報エントリ仕様

指導初回①情報セクションに含まれるエントリの2つめは保健指導計画情報エントリである。以下の説明ではこのエントリに格納される保健指導項目の種類に対応して格納の仕方が変わることがあるため、必要に応じて別に提供される「XML用保健指導項目情報」を参照すること。本エントリは任意である。

保健指導計画情報エントリのXML仕様を表22に示す（行Noは再掲）。

表22 保健指導計画情報エントリのXML仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.7	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry		0..1	O
11.8	act	実施情報または計画情報	1..1	M
11.8.1	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass から、意図して実施される行為を示す「ACT」を設定。	1..1	M
11.8.2	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン AntMood から、計画を示す「INT」を設定。本エントリが計画情報であるという理由による。	1..1	M
11.9	act/code	保健指導計画のアクブロック	1..1	M
11.9.1	@nullFlavor	「NA」を設定。「NI」でないことに注意。	1..1	M

上記につづいて、保健指導計画に関する項目について下記の表23（行Noは再掲）のact/entryRelationshipの繰り返しを記述する。

なお表23において赤字で記載するように、個々の項目によって設定する値は異なり、具体的な設定すべき値は別に<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html> から提供される「XML用保健指導項目情報」を参照する必要がある。

表23 保健指導計画情報エントリのXML仕様（つづき）

11.10	act/entryRelationship	保健指導実施項目の1項目分のブロック情報	1..8	M
11.10.1	@typeCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActRelationship より一連グループを構成する個々の結果を表現するために、「COMP」を設定。	1..1	M
11.11	act/entryRelationship/observation	個々の項目情報	1..1	M
11.11.1	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass から、観察行為を示す「OBS」を設定。	1..1	M
11.11.2	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン AntMood から、計画を示す「INT」または「GOL」を設定。項目によりどちらを設定すべきかは、「XML用保健指導項目情報」を参照すること。	1..1	M
11.12	act/entryRelationship/observation/code	保健指導項目コード情報	1..1	M
11.12.1	@code	保健指導項目コード	1..1	M
11.12.2	@codeSystem	保健指導項目コード OID デフォルト値=1.2.392.200119.6.1006 の場合には省略する。	0..1	O
11.13	act/entryRelationship/observation/value	保健指導情報項目の値	1..1	M
11.13.1	@xsi:type	「XML用保健指導項目情報」のXML用データ型を設定。 コード値の場合:「CD」 文字列の場合:「ST」 数値型の場合:「PQ」	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

		整数型の場合:「INT」		
11.13.5	@code	コード型「CD」の場合に出現し、コード値を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	0
11.13.6	@codeSystem	コード型「CD」の場合に出現し、「XML 用保健指導項目情報」のOIDを設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	0
11.13.7	text()	文字列型「ST」の場合に出現し、文字列値を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	0
11.13.2	@valule	数値型「PQ」または整数型「INT」の場合に出現し、数値を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	0
11.13.3	@unit	数値型「PQ」または整数型「INT」の場合で単位の記述を必要とする場合に出現し、「XML 用保健指導項目情報」のXML用単位文字列を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	0

以上の仕様にもとづき、保健指導計画情報のエントリのサンプルを以下に示す。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

```

<component>
  <section>
    <code code="90020" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="指導初回①情報セク
シヨン"/>
    <text/>
    <entry>
      <!-- 初回面接実施情報 -->
      :
    </entry>
    <entry>
      <!-- 保健指導計画情報 -->
      <act classCode="ACT" moodCode="INT">
        <code nullFlavor="NA"/>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 継続的支援予定期間 -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="INT">
            <code code="1021000020"/>
            <value xsi:type="PQ" value="6" unit="wk"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 目標腹囲 -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="GOL">
            <code code="1021000031"/>
            <value xsi:type="PQ" value="80.0" unit="cm"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 目標体重 -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="GOL">
            <code code="1021000032"/>
            <value xsi:type="PQ" value="75.0" unit="kg"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 計画上の腹囲・体重の改善 -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="INT">
            <code code="1021001053"/>
            <value xsi:type="CD" code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.24090/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 計画上の生活習慣の改善(食習慣) -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="INT">
            <code code="1021001054"/>
            <value xsi:type="CD" code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.24100 />
          </observation>
        </entryRelationship>
      </act>
      :
    </entry>
  </section>
</component>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

3.3.4 指導初回情報セクション

3.3.4.1 セクション部仕様

指導初回情報セクションは、初回面接を分割実施している場合は「初回面接②実施情報」を報告する際、初回面接を分割実施していない場合は「初回面接実施情報」を報告する際に表現される。項目は「XML用特定保健指導項目情報」の「初回面接実施情報」エントリと「保健指導計画情報」エントリを参照すること。健診後早期の初回面接（項目コード 1022000016）は本セクションに設定すること。人が解釈するための説明ブロックは text 要素として存在するが値を持たない。entry 要素を含む。セクションコードには CDA セクションコードのうち「90030」を指定する。

指導初回情報セクションの XML 仕様はセクションコード(表 20 No11.4.1)およびセクションコードの表示名(表 20 No11.4.3)を除いて、表 20 と同一仕様。（指導初回情報セクションの場合、セクションコードは「90030」、セクションコードの表示名は「指導初回情報セクション」）

指導共通情報セクションの XML サンプルを以下に示す。

```
<section>
  <code code="90030" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
    displayName="指導初回情報セクション"/>
  <text />

  <!-- 初回面接実施情報-->
  <entry>
    ...
  </entry>

  <!-- 保健指導計画情報-->
  <entry>
    ...
  </entry>
</section>
```

3.3.4.2 初回面接実施情報エントリ仕様

指導初回情報セクションに含まれるエントリは初回面接実施情報エントリと保健指導計画情報エントリの2つである。積極的支援以外では、初回面接実施情報エントリだけからなる場合がある。どちらのエントリも必要のない場合には、指導初回情報セクション自体が存在しないことになる。

初回面接実施情報エントリの XML 仕様は、初回面接の支援形態におけるコード値(※)、および保健指導項目コード情報（表 21 No11.12）に健診後早期の初回面接の項目が追加されることを除いて、表 21 と同一仕様。

※初回面接の支援形態(表 21 No11.9.1)におけるコード値は以下のとおり設定する

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

- ・ 初回面接を分割して実施している場合
「1：個別支援（対面）」～「6：電子メール等」のいずれかを設定する
- ・ 初回面接を分割して実施していない場合
「1：個別支援（対面）」～「4：グループ支援（遠隔）」のいずれかを設定する

表 24 初回面接実施情報エントリの XML 仕様（表 21 に対する補足のみ）

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.7	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry		1..1	M
11.12	act/entryRelationship/observation/code	保健指導項目コード情報	0..1	O
11.12.1	@code	保健指導項目コードを設定する。 健診後早期の初回面接の場合、項目コード「1022000016」を設定。	1..1	M
11.12.2	@codeSystem	保健指導項目コード OID。 デフォルト値 = 1.2.392.200119.6.1006 の場合には省略する。	0..1	O
11.20	act/entryRelationship/observation/value	保健指導項目の値	0..1	O
11.20.1	@xsi:type	健診後早期の初回面接の場合、「CD」を設定	1..1	M
11.20.2	@code	健診後早期の初回面接（項目番号 1303）コード値の中から「0:実施なし」「1:当日」「2:1週間以内(当日は除く)」のいずれかを設定。	1..1	M
11.20.3	@codeSystem	保健指導項目コード OID。 健診後早期の初回面接の場合、「1.2.392.200119.6.24070」を設定。	1..1	M

以上の仕様にもとづき、初回面接実施情報のエントリのサンプルを以下に示す。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

```

<component>
  <section>
    <code code="90030" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="指導初回情報セクシ
    ョン"/>
    <text/>
    <entry>
      <!-- 初回面接実施情報 -->
      <act classCode="ACT" moodCode="EVN">
        <!-- 初回面接の支援形態:1=個別支援（対面）（項目コード:1022000012） -->
        <code code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.18140"/>
        <!-- 初回面接の実施日付（項目コード:1022000011） -->
        <effectiveTime value="20240720"/>
        <performer>
          <assignedEntity>
            <id nullFlavor="NI"/>
            <!-- 初回面接の実施者のコード:1=医師（項目コード:1022000015） -->
            <code code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.3020"/>
            <!-- 保健指導機関情報 -->
            <representedOrganization>
              <!-- 保健指導機関番号 -->
              <id extension="1122334455" root="1.2.392. . . . ."/>
              <!-- 保健指導機関名 -->
              <name>東京保健指導センター</name>
            </representedOrganization>
          </assignedEntity>
        </performer>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <!-- 初回面接の実施時間（項目コード:1022000013） -->
            <code code="1022000013"/>
            <effectiveTime>
              <width value="30" unit="min"/>
            </effectiveTime>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <!-- 初回面接情報（項目コード:1022000090） -->
            <code code="1022000090"/>
            <value xsi:type="ST">初回面接時のテキストデータ</value>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <!-- 健診後早期の初回面接（項目コード:1022000016） -->
            <code code="1022000016"/>
            <value xsi:type="CD" code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.24070">
          </entryRelationship>
      </act>
    </entry>
  </section>
</component>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

3.3.4.3 保健指導計画情報エントリ仕様

指導初回情報セクションに含まれるエントリの2つめは保健指導計画情報エントリである。本エントリは積極的支援以外の場合には出現しないことがある。積極的支援の場合は2回目の請求時（セクション自体が出現しない）を除き、本エントリは必ず出現する。（初回面接を分割実施した場合は、「エラー! 参照元が見つかりません。」に従い出現させること）
保健指導計画情報エントリのXML仕様は表 22、表 23 と同一。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

3.3.5 指導集計情報セクション

3.3.5.1 セクション部仕様

※ 実施していない形態については、出現させなくても良い。

指導集計情報セクションは、計画段階での集計的な情報および実績報告時の集計的な情報をそれぞれ異なるエントリで記述し、そのどちらか一方または両方のエントリを格納するセクションである。初回報告時（初回報告時点については表 15 参照）および3ヶ月後実績報告時、最終的な国への報告時にこのセクションは使用される。説明ブロックは text 要素として存在するが値を持たない。セクションコードには CDA セクションコードのうち「90070」を指定する。項目は「XML 用特定保健指導項目情報」の「計画上の集計情報」エントリと「実施上の集計情報」エントリを参照すること。

指導集計情報セクションの XML 仕様を表 25 に示す。基本的な構造は指導初回情報セクションと同一であり、セクションコードと表示名が異なることと、エントリの数が異なることである。

表 25 指導集計情報セクション XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.3	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		1..1	M
11.4	code	CDA セクションコード。	1..1	M
11.4.1	@code	セクションコード「90070」を設定。	1..1	M
11.4.2	@codeSystem	セクションコードのコード体系を示す OID。「1.2.392.200119.6.1010」を設定。	1..1	M
11.4.3	@displayName	セクションコードの表示名。「指導集計情報セクション」を設定。	0..1	O
11.6	text	セクションのテキスト記述。	1..1	M
11.6.1	text()	存在しない。	1..1	M
11.7	entry[1]	計画段階の集計情報を格納する entry	0..1	O
11.7(繰り返し)	entry[2]	実施上の集計情報を格納する entry	0..1	O

指導共通情報セクションの XML サンプルを以下に示す。

```
<section>
  <code code="90070" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
    displayName="指導集計情報セクション"/>
  <text />

  <!-- 計画上の集計情報-->
  <entry>
    ...
  </entry>

  <!-- 実施上の集計情報-->
  <entry>
    ...
  </entry>
</section>
```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

3.3.5.2 計画上の集計情報エントリおよび実施上の集計情報エントリの仕様

指導集計情報セクションは報告時点や契約により、計画上の集計情報エントリと実施上の（実施済みの）集計情報エントリの2つのうちのどちらか一方または両方格納する。両者の基本構造は同一であり、異なる点は格納すべき報告項目が「XML用特定保健指導項目情報」の「計画上の集計情報」エントリと「実施上の集計情報」エントリで示すように一部項目が異なるのみである。計画上と実施上のエントリの区別は表26のXML仕様No. 11.8.2で示される moodCode、および同表XML仕様No. 11.14.2で示される moodCodeが、計画上の集計情報の場合には計画を意味する「INT」であるのに対して、実施上の集計情報の場合には結果を意味する「EVN」となることである。

以下の説明ではこのエントリに格納される報告項目の種類に対応して格納の仕方が変わることがあるため、必要に応じて別に提供される「XML用保健指導項目情報」を参照すること。

集計情報エントリのXML仕様を表26に示す（行Noは再掲）。

表26 集計情報エントリのXML仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.7	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry		1..2	M
11.8	act	実施情報または計画情報	1..1	M
11.8.1	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass から、意図して実施される行為を示す「ACT」を設定。	1..1	M
11.8.2	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActMood から、 計画上の集計情報の場合には計画を示す「INT」を設定。 実施上の集計情報の場合には結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.9	act/code	アクトブロック	1..1	M
11.9.1	@nullFlavor	「NA」を設定。「NI」でないことに注意。	1..1	M

上記につづいて、集計情報に関する報告項目について下記の表27（行Noは再掲）の act/entryRelationship の繰り返して記述する。

なお表27において、個々の項目によって設定する値は異なり、具体的な設定すべき値は別に <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html> から提供される「XML用保健指導項目情報」を参照する必要がある。

表27 集計情報エントリのXML仕様（つづき）

11.10	act/entryRelationship	保健指導情報項目の1項目分のブロック情報	1..18 *注	M
11.10.1	@typeCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActRelationship より一連グループを構成する個々の結果を表現するために、「COMP」を設定。	1..1	M
11.11	act/entryRelationship/observation	個々の項目情報	1..1	M
11.11.1	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass から、観察行為を示す「OBS」を設定。	1..1	M
11.11.2	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActMood から、 計画上の集計情報の場合には計画を示す「INT」を設定。 実施上の集計情報の場合には結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.12	act/entryRelationship/observation/code	保健指導情報項目コード情報	1..1	M
11.12.1	@code	保健指導項目コード	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

11.12.2	@codeSystem	保健指導項目コード OID デフォルト値=1.2.392.200119.6.1006 の場合には省略する。	0..1	O
11.13	act/entryRelationship/observation/value	保健指導情報項目の値	1..1	M
11.13.1	@xsi:type	「XML用保健指導項目情報」のXML用データ型を設定。 回数値の場合:「INT」 時間値または数値の場合:「PQ」となっている。	1..1	M
11.13.5	@code	コード型「CD」の場合に出現し、コード値を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O
11.13.6	@codeSystem	コード型「CD」の場合に出現し、コード表のOID。「XML用保健指導項目情報」のOIDを設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O
11.13.7	text()	文字列型「ST」の場合に出現し、文字列値を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O
11.13.2	@value	数値型「PQ」または整数型「INT」の場合に出現し、数値を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O
11.13.3	@unit	数値型「PQ」の場合で単位の記述を必要とする場合に出現し、「XML用保健指導項目情報」のXML用単位文字列を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O

注：11.10 act/entryRelationship の多重度は、出力すべき報告項目が以下の表のようになることと対応して変わる。

1) 動機付け支援では、指導集計情報セクションは出現しない。

2) 積極的支援、動機付け支援相当では、以下のとおり。

- ・初回報告時は、「XML用特定保健指導項目情報」の「計画上の集計情報」エントリの1701～1713の全てを必ずしも出力させる必要はなく、支援している項目のみを出力させる。
なお、支援していない項目についても0（回、分等）を出力させてもよい。
ただし、必須項目を実施していない場合は0（ゼロ）を出力することとする。

- ・最終報告（3ヵ月後）及び途中終了時報告は、「XML用特定保健指導項目情報」の「実施上の集計情報」エントリの1731～1745のすべてを必ずしも出現させる必要はなく、支援している項目のみを出力させる。

なお、支援していない項目についても、0（回、分等）を出力させてもよい。

ただし、必須項目を実施していない場合は0（ゼロ）を出力することとする。

以上の仕様にもとづき、集計情報エントリのサンプルを以下に示す。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

```

<component>
  <section>
    <code code="90070" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="指導集計情報セクショ
ン"/>
    <text/>
    <entry>
      <!-- 計画段階の集計情報 -->
      <act classCode="ACT" moodCode="INT">
        <code nullFlavor="NA"/>
        <!--act/codeを設定-->
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 計画上の継続的な支援の実施回数（個別支援(対面)） -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="INT">
            <code code="1041010010"/>
            <value xsi:type="INT" value="1"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 計画上の継続的な支援の合計実施時間（個別支援(対面)） -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="INT">
            <code code="1041020010"/>
            <value xsi:type="PQ" value="10" unit="min"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 計画上の継続的な支援の実施回数(グループ支援(遠隔))-->
          <observation classCode="OBS" moodCode="INT">
            <code code="1041010040"/>
            <value xsi:type="INT" value="1"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 計画上の継続的な支援の合計実施時間(グループ支援(遠隔))-->
          <observation classCode="OBS" moodCode="INT">
            <code code="1041020040"/>
            <value xsi:type="PQ" value="40" unit="min"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
      </act>
    </entry>
  </section>
</component>

```


特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

実施結果の集計情報セクションのサンプルの抜粋は以下のとおりである。
 実施上の継続的な支援の終了日も他のデータ項目と同様にvalue要素で記述する。

```

<component>
  <section>
    <code code="90070" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
      displayName="指導集計情報セクション"/>
    <text/>
    <entry>
      <act classCode="ACT" moodCode="EVN">
        <code nullFlavor="NA" />
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 継続的な支援の実施回数(個別支援(対面) 1回)-->
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="1042010010" />
            <value xsi:type="INT" value="1" />
          </observation>
        </entryRelationship>

        :
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 禁煙の指導回数 1回 -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="1042800118" />
            <value xsi:type="INT" value="1" />
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 実施上の継続的な支援の終了日 -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="1042000022" />
            <value xsi:type="ST">20250120</value>
          </observation>
        </entryRelationship>

      </act>
    </entry>
  </section>
</component>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

3.3.6 継続支援情報セクション

3.3.6.1 セクション部仕様

継続支援情報セクションは、1回の支援を1つのエントリで記述しそれを繰り返して格納することにより、報告時点までに実施された継続支援の情報を格納する。ひとつのエントリには「XML用特定保健指導項目情報」の「継続支援情報」エントリの項目情報が表現される。

継続支援情報セクションのXML仕様を表28に示す。

表 28 継続支援セクションXML仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.3	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		1..1	M
11.4	code	継続支援 CDA セクションコード。	1..1	M
11.4.1	@code	セクションコード「90040」を設定。	1..1	M
11.4.2	@codeSystem	セクションコードのコード体系を示す OID。「1.2.392.200119.6.1010」を設定。	1..1	M
11.4.3	@displayName	セクションコードの表示名。「継続支援情報セクション」を設定。	0..1	O
11.6	text	セクションのテキスト記述。	1..1	M
11.6.1	text()	存在しない。	1..1	M
11.7	entry[1..]	支援に関する実施情報を格納する entry	1..*	M

継続支援情報セクションのXMLサンプルを以下に示す。

```

<section>
  <code code="90040" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
    displayName="継続支援情報セクション"/>
  <text />

  <!-- 支援の記述-->
  <entry>
    ...
  </entry>
  :くりかえし
</section>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

3.3.6.2 支援情報エントリ仕様

継続支援情報セクションに含まれるエントリは支援情報エントリ 1 個以上である。

継続支援情報の支援情報エントリの XML 仕様を表 29 (XML 仕様 NO は一部再掲) に示す。

表 29 継続支援情報エントリの XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.7	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry		1..*	M
11.8	act	継続支援の実施情報	1..1	M
11.8.1	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClass から、意図して実施される行為を示す「ACT」を設定。	1..1	M
11.8.2	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン AntMood から、実施結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.9	act/code	支援形態	1..1	M
11.9.1	@code	支援形態のコード値(厚労省通知別表13)	1..1	M
11.9.2	@codeSystem	支援形態のOID 1.2.392.200119.6.24010	1..1	M
11.14	act/effectiveTime	実施日付情報	1..1	M
11.14.1	@value	支援の実施日の値 YYYYMMDD	1..1	M
11.15	act/performer	支援を実施した人に関する情報	1..1	M
11.16	act/performer/assignedEntity	支援実施者	1..1	M
11.16.1	id/@nullFlavor	「NI」を設定。「NA」ではない。	1..1	M
11.16.2	code/@code	実施者のコード(医師=1など)	1..1	M
11.16.3	code/@codeSystem	実施者コードのOID 1.2.392.200119.6.3020	1..1	M
11.19	act/performer/assignedEntity/representedOrganization	保健指導機関情報(保険者直営の場合にも記載する)	0..1	O
11.19.1	id/@extension	保健指導機関番号	1..1	M
11.19.2	id/@root	OID「1.2.392.200119.6.102」	1..1	M
11.19.4	name/text()	保健指導機関の名称	1..1	M
11.10	act/entryRelationship	保健指導実施項目の 1 項目分のブロック情報	1..3	M
11.10.1	@typeCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActRelationship より一連グループを構成する個々の結果を表現するために、「COMP」を設定。	1..1	M
11.11	act/entryRelationship/observation	個々の項目情報	1..1	M
11.11.1	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClass から、観察行為を示す「OBS」を設定。	1..1	M
11.11.2	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン AntMood から、結果情報を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.12	act/entryRelationship/observation/code	支援実施時間項目コード情報	1..1	M
11.12.1	@code	保健指導項目コード表から以下のコードを設定する。 支援実施時間の項目コード「1032300013」	1..1	M
11.12.2	@codeSystem	保健指導項目コード OID。 デフォルト値=1.2.392.200119.6.1006 の場合には省略する。	0..1	O

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

11.17	act/entryRelationship/observation/effectiveTime	支援の実施時刻および時間に関する情報	1..1	M
11.18	act/entryRelationship/observation/effectiveTime/width	支援の実施時間に関する情報	1..1	M
11.18.1	@value	保健指導の実施時間(長さ)を設定。	1..1	M
11.18.2	@unit	上記の時間の単位。分の場合には「min」を設定する。支援形態が電子メールの場合には便宜上、0分を設定する。	1..1	M
11.12(再掲)	act/entryRelationship/observation/code	支援実施ポイント項目コード情報	1..1	M
11.12.1	@code	保健指導項目コード表から以下のコードを設定する。支援実施ポイントの項目コード「1032300014」	1..1	M
11.12.2	@codeSystem	保健指導項目コード OID。 デフォルト値=1.2.392.200119.6.1006 の場合には省略する。	0..1	O
11.13	act/entryRelationship/observation/value	支援実施ポイント項目の値	1..1	M
11.13.1	@xsi:type	データタイプとして整数型「INT」を設定。	1..1	M
11.13.2	@value	ポイント数値を設定。数値の算出については「XML 用特定保健指導項目情報」を参照。	1..1	M
11.12(再掲)	act/entryRelationship/observation/code	支援情報	0..1	O
11.12.1	@code	保健指導項目コード表から以下のコードを設定する。支援実施情報の項目コード「1032300090」	1..1	M
11.12.2	@codeSystem	保健指導項目コード OID。 デフォルト値=1.2.392.200119.6.1006 の場合には省略する。	0..1	O
11.13	act/entryRelationship/observation/value	支援情報のテキストデータ	0..1	O
11.13.1	@xsi:type	「ST」を設定。	1..1	M
11.13.2	text()	文字列を設定。(最大 256 文字)	1..1	M

以上の仕様にもとづき、の支援情報エントリのサンプルを以下に示す。

実際にはこのような entry を実施した回数だけ繰り返すことになる。

電子メールのように実施時間が事実上存在しない場合には、実施時間の情報として0分を格納する。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

```

<entry>
  <!-- 支援実施情報 -->
  <act classCode="ACT" moodCode="EVN">
    <!-- 支援実施形態コード (別表 1 3)個別支援 -->
    <code code="2" codeSystem="1.2.392.200119.6.24010 "/>
    <!-- 支援実施日付 (項目コード: 1032300011) -->
    <effectiveTime value="20240801"/>
    <performer>
      <assignedEntity>
        <id nullFlavor="NI"/>
        <!-- 支援実施者のコード: 1 = 医師 -->
        <code code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.3020"/>
        <representedOrganization>
          <!-- 保健指導機関番号 -->
          <id extension="1122334455" root="1.2.392.200119.6.102"/>
          <!-- 保健指導機関名称 -->
          <name>東京保健指導センターA</name>
        </representedOrganization>
      </assignedEntity>
    </performer>
    <entryRelationship typeCode="COMP">
      <!-- 支援実施時間(項目コード:1032300013 -->
      <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
        <code code="1032300013"/>
        <effectiveTime>
          <width value="15" unit="min"/>
        </effectiveTime>
      </observation>
    </entryRelationship>
    <entryRelationship typeCode="COMP">
      <!-- 支援実施ポイント -->
      <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
        <code code="1032300014"/>
        <value xsi:type="INT" value="70"/>
      </observation>
    </entryRelationship>
    <entryRelationship typeCode="COMP">
      <!-- 支援情報 -->
      <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
        <code code="1032300090"/>
        <value xsi:type="ST">支援情報テキストデータ</value>
      </observation>
    </entryRelationship>
  </act>
</entry>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

3.3.7 中間評価情報セクションおよび最終評価情報セクション

3.3.7.1 セクション部仕様

中間評価情報セクションと最終評価情報セクション（両方をあわせて以下では評価情報セクションと記す）は、保健指導評価を行った結果情報を格納するものである。各々ひとつのエントリで構成され、「XML用特定保健指導項目情報」の「中間評価情報」エントリ、「実績評価情報」エントリの項目情報が表現される。人が解釈するための説明ブロックは text 要素として存在するが値を持たない。1 個だけの entry 要素を含み、セクションコードには CDA セクションコードのうち、中間評価情報セクションでは「90050」、最終評価情報セクションでは「90060」を指定する。

「実績評価ができない場合の確認回数」および途中脱落報告時の最終評価情報の取り扱いについては、後述 3.4 3. 「実績評価ができない場合の確認回数」の取り扱いについて参照のこと。

注：「中間評価」と「支援」の関係について

中間評価については支援に併せて行うことになっているが、その際には、「実施日付」「支援形態」「実施時間」「実施ポイント」「実施者」の情報は、中間評価情報として報告するものとし、継続支援情報と重複して報告しないこと。

評価情報セクションの XML 仕様を表 30 に示す。

表 30 評価情報セクション XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.3	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		1..1	M
11.4	code	評価情報データ CDA セクションコード。	1..1	M
11.4.1	@code	中間評価情報セクションでは「90050」、最終評価情報セクションでは「90060」を設定。	1..1	M
11.4.2	@codeSystem	セクションコードのコード体系を示す OID。「1.2.392.200119.6.1010」を設定。	1..1	M
11.4.3	@displayName	セクションコードの表示名。「中間評価情報セクション」または「最終評価情報セクション」を設定。	0..1	O
11.6	text	セクションのテキスト記述。	1..1	M
11.6.1	text()	存在しない。	1..1	M
11.7	entry	評価情報を格納する entry	1..1	M

中間評価情報セクションの XML サンプルを以下に示す。

```
<section>
  <code code="90050" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
    displayName="中間評価情報セクション"/>
  <text />

  <!-- 中間評価の記述-->
  <entry>
    ...
  </entry>
</section>
```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

3.3.7.2 中間評価情報エントリまたは最終評価情報仕様

それぞれの評価情報セクションに含まれるエントリは対応する中間評価情報エントリまたは最終評価情報エントリのどちらか1個だけである。中間評価情報エントリと最終評価情報エントリとの違いは格納すべき項目が一部異なることだけであり、その構造は同一である。

評価情報エントリのXML仕様を表31（XML仕様NOは一部再掲）に示す。

表31 中間評価情報エントリまたは最終評価情報エントリのXML仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.7	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry		1..1	M
11.8	act	評価情報	1..1	M
11.8.1	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass から、意図して実施される行為を示す「ACT」を設定。	1..1	M
11.8.2	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン AntMood から、実施結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.9	act/code	評価の実施形態または確認方法	1..1	M
11.9.1	@code	評価実施形態のコード値。 1: 個別支援(対面)、2: 個別支援(遠隔)、3: グループ支援(対面)、4: グループ支援(遠隔)、5: 電話、6: 電子メール等	1..1	M
11.9.2	@codeSystem	評価実施形態のOIDを設定する。 1.2.392.200119.6.24010	1..1	M
11.14	act/effectiveTime	評価の実施日付	1..1	M
11.14.1	@value	評価実施日の値 YYYYMMDD	1..1	M
11.15	act/performer	評価実施した人に関する情報	1..1	M
11.16	act/performer/assignedEntity	評価の実施者	1..1	M
11.16.1	id/@nullFlavor	「NI」を設定。「NA」ではない。	1..1	M
11.16.2	code/@code	評価実施者のコード(医師=1など)	1..1	M
11.16.3	code/@codeSystem	評価実施者コードのOID 1.2.392.200119.6.3020	1..1	M
11.19	act/performer/assignedEntity/representedOrganization	評価実施機関情報	0..1	O
11.19.1	id/@extension	保健指導機関番号	1..1	M
11.19.2	id/@root	OID「1.2.392.200119.6.102」	1..1	M
11.19.4	name/text()	保健指導機関の名称	1..1	M

上記について、評価情報に関する報告項目のうち表31で記述された「評価の支援形態又は確認方法」「評価の実施日付」「評価の実施者」以外の項目について、下記の表32（行Noは再掲）のact/entryRelationshipの繰り返しにより記述する。
なお個々の項目によって設定する値は異なり、具体的な設定すべき値は「XML用保健指導項目情報」を参照する必要がある。

表32 評価情報エントリのXML仕様（つづき）

11.10	act/entryRelationship	評価情報項目の1項目分のブロック情報	1..13	M
11.10.1	@typeCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActRelationship より一連グループを構成する個々の結果を表現するために、「COMP」を設定。	1..1	M
11.11	act/entryRelationship/ob	個々の項目情報	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

	servation			
11.11.1	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass から、観察行為を示す「OBS」を設定。	1..1	M
11.11.2	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActMood から、結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.12	act/entryRelationship/observation/code	項目コード情報	1..1	M
11.12.1	@code	保健指導項目コード	1..1	M
11.12.2	@codeSystem	保健指導項目コード OID デフォルト値 = 1.2.392.200119.6.1006 の場合には省略する。	0..1	O
11.17	act/entryRelationship/observation/effectiveTime	中間評価の実施時間に関する情報 (11.13 保健指導情報項目の値が記述されるときには、本項目は存在しない)	0..1	O
11.18	act/entryRelationship/observation/effectiveTime/width	中間評価の実施時間に関する情報	1..1	M
11.18.1	@value	中間評価の実施時間(長さ)	1..1	M
11.18.2	@unit	上記の時間の単位。 分の場合には「min」を設定する。	1..1	M
11.13	act/entryRelationship/observation/value	保健指導情報項目の値 (11.7 実施時間が記述されるときには、本項目は存在しない)	0..1	O
11.13.1	@xsi:type	「XML 用保健指導項目情報」の XML 用データ型を設定。 回数値の場合:「INT」 時間値または数値の場合:「PQ」 文字列の場合:「ST」となっている。	1..1	M
11.13.5	@code	コード型「CD」の場合に出現し、コード値を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O
11.13.6	@codeSystem	コード型「CD」の場合に出現し、コード表のOID。「XML 用保健指導項目情報」のOIDを設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O
11.13.7	text()	文字列型「ST」の場合に出現し、文字列値を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O
11.13.2	@value	数値型「PQ」または整数型「INT」の場合に出現し、数値を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O
11.13.3	@unit	数値型「PQ」の場合で単位の記述を必要とする場合に出現し、「XML 用保健指導項目情報」の XML 用単位文字列を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

以上の仕様にもとづき、中間評価情報のエントリのサンプルを以下に示す。

```

<component>
  <section>
    <code code="90050" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="中間評価情報セクション"/>
    <text />
    <!-- 中間評価 -->
    <entry>
      <!-- 中間評価実施情報 -->
      <act classCode="ACT" moodCode="EVN">
        <!-- 中間評価の支援形態(項目コード:1032000012) -->
        <code code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.24010"/>
        <!-- 中間評価の実施日付 : 2024年10月20日(項目コード:1032000011) -->
        <effectiveTime value="20241020"/>
        <performer>
          <assignedEntity>
            <id nullFlavor="NI"/>
            <!-- 中間評価の実施者(項目コード:1032000015) -->
            <code code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.3020"/>
          </assignedEntity>
        </performer>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 中間評価の実施時間(項目コード:1032000013) -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="1032000013"/>
            <effectiveTime>
              <width value="10" unit="min"/>
            </effectiveTime>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          :
          <entryRelationship typeCode="COMP">
            <!-- 中間評価時の腹囲 -->
            <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
              <code code="1032001031"/>
              <value xsi:type="PQ" value="80.0" unit="cm"/>
            </observation>
          </entryRelationship>
          :
          <entryRelationship typeCode="COMP">
            <!-- 中間評価時の生活習慣の改善(食習慣) -->
            <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
              <code code="1032001042"/>
              <value xsi:type="CD" code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.24100"/>
            </observation>
          </entryRelationship>
          :
        </act>
      </entry>
    </section>
  </component>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

3.3.8 指導機関情報セクション

3.3.8.1 セクション部仕様

特定保健指導においては、指導機関情報を各セクション（指導初回①情報セクション、指導初回情報セクション、継続支援情報セクション、中間評価セクション、最終評価セクション）に設定するが、一連の特定保健指導を同一機関で実施した場合等、必要に応じて本セクションを作成し、保険者へ報告することも可能とする。

項目は「XML用特定保健指導項目情報」の「実施機関情報」エントリを参照すること。

※本セクションは提出先の保険者ごとに取扱が異なるため、本セクションを出現する際の取扱やチェック仕様等については各団体のウェブサイト等で確認すること

指導機関情報セクションのXML仕様を表33に示す。

表33 指導機関情報セクションXML仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.3	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		0..1	O
11.4	code	指導機関情報 CDA セクションコード。	1..1	M
11.4.1	@code	セクションコード「90080」を設定。	1..1	M
11.4.2	@codeSystem	セクションコードのコード体系を示す OID。「1.2.392.200119.6.1010」を設定。	1..1	M
11.4.3	@displayName	セクションコードの表示名。「指導機関情報セクション」を設定。	0..1	O
11.6	text	セクションのテキスト記述。	1..1	M
11.6.1	text()	値が存在しない	0	X
11.7	entry[1..]	実施情報を格納する指導機関情報エントリ	1..*	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

指導機関情報セクションの XML サンプルを以下に示す。

```

<section>
  <code code="90080" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
    displayName="指導機関情報セクション"/>
  <text />

  <!--指導機関情報の記述 -->
  <entry>
    ...
  </entry>
  :くりかえし
  <!--指導機関情報の記述 -->
  <entry>
    ...
  </entry>
  :くりかえし
</section>

```

3.3.8.2 指導機関情報エントリ仕様

指導機関情報セクションに含まれる指導機関情報エントリは、異なる保健指導機関番号、主対応内容、実施内容の組み合わせごとに1個出現する。同一の保健指導機関番号、主対応内容、実施内容の組み合わせで指導機関情報エントリが複数出現してはならない。

同エントリの XML 仕様を表 34 (XML 仕様 NO は一部再掲) に示す。

表 34 指導機関情報エントリの XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.7	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry		0..*	O
11.8	act	保健指導機関での実施情報	1..1	M
11.8.1	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClass から、意図して実施される行為を示す「ACT」を設定。	1..1	M
11.8.2	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン AntMood から、実施結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.9	act/code	支援形態(主対応内容を設定)	1..1	M
11.9.1	@code	支援形態のコード値 1:個別支援(対面)、2:個別支援(遠隔)、3:グループ支援(対面)、4:グループ支援(遠隔)、5:電話、6:電子メール等	1..1	M
11.9.2	@codeSystem	対応内容区分のOID 1.2.392.200119.6.24010	1..1	M
11.14	act/effectiveTime	支援の実施日 要素が出現しない	0	X
11.15	act/performer	支援を実施した人に関する情報	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

11.16	act/performer/assignedEntity	支援実施者	1..1	M
11.16.1	id/@nullFlavor	「NI」を設定。「NA」ではない。	1..1	M
11.16.2	code/@code	属性が出現しない	0	X
11.16.3	code/@codeSystem	属性が出現しない	0	X
11.19	act/performer/assignedEntity/representedOrganization	指導機関情報	1..1	M
11.19.1	id/@extension	保健指導機関番号 保健指導機関番号がない場合には 属性 extension は出現しない。	0..1	O
11.19.2	id/@root	OID「1.2.392.200119.6.102」 保健指導機関番号がない場合には 属性 root は出現しない。	0..1	O
11.19.3	id/@nullFlavor	保健指導機関番号がない場合にのみ 属性 nullFlavor が出現し、属性値として「NI」を設定。「NA」ではない。	0..1	O
11.19.4	name/text()	保健指導機関の名称	1..1	M
11.10	act/entryRelationship	保健指導実施項目の 1 項目分のブロック情報	1..1	M
11.10.1	@typeCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActRelationship より一連グループを構成する個々の結果を表現するために、「COMP」を設定。	1..1	M
11.11	act/entryRelationship/observation	個々の項目情報	1..1	M
11.11.1	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClass から、観察行為を示す「OBS」を設定。	1..1	M
11.11.2	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActMood から、結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.12	act/entryRelationship/observation/code	項目コード情報	1..1	M
11.12.1	@code	保健指導項目コード	1..1	M
11.12.2	@codeSystem	保健指導項目コード OID 「1.2.392.200119.6.1006」を設定するか、または属性自体を省略する。	0..1	O
11.13	act/entryRelationship/observation/value	保健指導情報項目の値	1..1	M
11.13.1	@xsi:type	XML 用保健指導項目情報の XML 用データ型を設定。	1..1	M
11.13.5	@code	実施内容のコード値 1: 初回面接(分割実施以外)、2: 初回面接①、3: 初回面接②、4: 中間評価、5: 継続的支援、6: 実績評価	1..1	M
11.13.6	@codeSystem	「実施内容」のOID「1.2.392.200119.6.18150」を設定	1..1	M

以上の仕様にもとづき、指導機関情報エントリのサンプルを以下に示す。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

```

<entry>
  <!-- 指導機関情報（指導機関 1） -->
  <act classCode="ACT" moodCode="EVN">
    <!-- 主対応内容コード：個別支援(遠隔)-->
    <code code="2" codeSystem="1.2.392.200119.6.24010"/>
    <performer>
      <assignedEntity>
        <id nullFlavor="NI"/>
        <representedOrganization>
          <!-- 指導機関番号 -->
          <id extension="1122334455" root="1.2.392.200119.6.102"/>
          <!-- 指導機関名称 -->
          <name>東京保健指導センターA</name>
        </representedOrganization>
      </assignedEntity>
    </performer>
    <entryRelationship typeCode="COMP">
      <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
        <code code="1042000086"/>
        <value code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.18150" xsi:type="CD"/>
      </observation>
    </entryRelationship>
  </act>
</entry>
<entry>
  <!-- 指導機関情報（指導機関 2） -->
  <act classCode="ACT" moodCode="EVN">
    <!-- 主対応内容コード：電話 -->
    <code code="5" codeSystem="1.2.392.200119.6.24010"/>
    <performer>
      <assignedEntity>
        <id nullFlavor="NI"/>
        <representedOrganization>
          <!-- 指導機関番号はない -->
          <id nullFlavor="NI"/>
          <!-- 指導機関名称 -->
          <name>神宮保健指導センター B</name>
        </representedOrganization>
      </assignedEntity>
    </performer>
    <entryRelationship typeCode="COMP">
      <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
        <code code="1042000086"/>
        <value code="2" codeSystem="1.2.392.200119.6.18150" xsi:type="CD"/>
      </observation>
    </entryRelationship>
  </act>
</entry>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

3.4 報告すべき項目と XML 要素との対応

これまでの説明で、「XML 用特定保健指導項目情報」に記載されているすべての項目はいずれかのセクションのエントリ内で記述されているが、以下の点に留意することが必要である。

1. 実際の継続支援の記述回数について

番号 1411～1446 の支援に関する情報はこの表では 4 回を想定して作成されているが、実施には 1 回から 4 回を超える場合までさまざまである。報告時に作成される XML ファイルでは、最大 4 回までとするのではなく、実際に実施した回数だけ繰り返すことになる。

2. 保健指導機関の情報について

番号 1811～1814 の保健指導機関に関する情報が、実施内容ごとに繰り返されている。ここでいう保健指導機関に関する情報とは、保険者が初回面接（初回面接①、初回面接②含む）、中間評価、支援、実績評価の実施情報（保険者直営実施含む）において、その実施先に関する情報ということになる。

この情報は本 XML 仕様では、各情報セクション／各情報エントリで記述される各実施情報の中で保健指導機関情報および支援形態のところに格納されている。

これらを本ファイル受信者が寄せ集めることにより取得できる情報であるので、番号 1811～1814 に対応する専用の XML 要素は用意していない。

なお、支援において番号 1813 の「主対応内容」の主とは、同一機関で実施した支援業務形態のコード

（1：個別支援(対面)、2：個別支援(遠隔)、3：グループ支援(対面)、4：グループ支援(遠隔)、5：電話、6：電子メール等）のうち、コードの値が最小であるような支援形態（すなわち、同一機関で 1：個別支援(対面)、3：グループ支援(対面)の両方を実施した場合には、コードの小さい 1：個別支援(対面)が主対応内容となる）とみなしてよい。

3. 「実績評価ができない場合の確認回数」の取り扱いについて

「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」3-5-1、および「保険者が社会保険診療報酬支払基金に提出する特定健康診査等の実施状況に関する結果について」第 3 の三の 5 の(2)を参照。

以上のことに留意してファイルを作成する必要がある。ただし、保険者ごとに取扱が異なるため、チェック仕様については各団体のウェブサイトを確認すること。

4. OID 表

本文書中で記載されている各種コードのコード体系コード (OID) は、別表 OID 一覧表を参照すること。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル 仕様説明書	2023.03.31

Ver.4

本説明文書は、厚生労働省保険局医療介護連携政策課医療費適正化対策推進室により修正されました。また、「第4期特定健診・特定保健指導の見直しに関する検討会」の下に設置された「システム改修に関するワーキンググループ」の作業班メンバーや、ここに記載していない多くの方々の献身的な貢献により検討された成果に基づいています。

システム改修に関するワーキンググループ作業班

特定健診・特定保健指導の電子的なデータ標準様式

5-1B 特定保健指導情報ファイル
(医療保険者→国)
仕様説明書
Version 4

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

目次

1. はじめに	1
1.1 目的.....	1
1.2 参考資料.....	1
2. 概要	3
2.1 本文書の位置付け.....	3
本文書と既存の仕様説明書との相違点.....	3
2.2 記載内容の優先度.....	4
2.3 標準フォーマットの基本的な方針.....	4
2.3.1 1保健指導1ファイル.....	4
2.3.2 本標準フォーマットが対象とする保健指導情報.....	4
2.3.3 HL7 CDA規格との関係.....	4
3. 特定保健指導情報ファイル仕様	5
3.1 全体構成の概要.....	5
3.2 ヘッダ部.....	6
3.2.1 名前空間.....	6
3.2.2 CDA管理情報.....	7
3.2.3 保健指導管理情報.....	7
3.3 ボディ部.....	13
3.3.1 保健指導報告区分とCDAセクションの関係.....	15
3.3.2 指導共通情報セクション.....	16
3.3.3 指導初回①情報セクション.....	20
3.3.4 指導初回情報セクション.....	25
3.3.5 指導集計情報セクション.....	29
3.3.6 最終評価情報セクション.....	35
3.3.7 指導機関情報セクション.....	39
4. OID表	45

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

修正履歴

日付	版	修正内容
2008.07.10	V1.0	初版
2009.03.30	V2	<p>■XML仕様上に関する修正</p> <p>本仕様書の適用範囲を追記。</p> <p><利用券情報の必須化></p> <p>本仕様変更は、利用券を発行せず特定保健指導を実施する場合、特定健康診査と特定保健指導を対応付ける情報がファイル仕様上に存在ため、どの年度の特定健康診査に基づく特定保健指導であるかが不明確となる問題点が存在する。特定保健指導の基となる特定健康診査の実施年度を明らかにするために、保険者から支払基金への実績報告時に、利用券情報を必須化し、利用券整理番号の先頭2桁で基となる特定健康診査の年度を識別できるように変更する。</p> <p>保険者が特定保健指導実施機関に特定保健指導情報ファイルに格納すべき利用券整理番号を指定することができる。また、保険者において支払基金への実績報告時に利用券整理番号の振り直しを実施することもできる。</p> <p style="text-align: center;">仕様書上の修正・追加箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> • 3.2.3.4 受診券・利用券情報 <p><積極的支援における支援Bの任意化></p> <p>積極的支援において、支援Bの実施を任意とする。</p> <p style="text-align: center;">仕様書上の修正・追加箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> • 3.3.4.1 セクション部仕様 <p>■XML仕様上に関係のない修正</p> <p>※特定保健指導情報ファイル仕様書（医療保険者への提出用）におけるV2への改訂にあわせた改訂。 ※仕様に変更はないが上記仕様書のバージョン番号をあわせるためバージョン2に番号を更新。</p>
2017.03.31	V3	<p>■XML仕様上に関する修正</p> <ul style="list-style-type: none"> • 3.1 全体構成の内容の図に指導初回①情報セクションを追加 • 仕様書中の「支援レベル」を「保健指導区分」に修正 • 3.2.3 保健指導管理情報のNo3.1に報告区分コード「25」の説明を追加 • 3.2.3.4 受診券・利用券情報にセット券の説明を追加 • 3.2.3.4 受診券・利用券情報の表9-1のNo9.6.1に動機付け支援相当の場合「4」を設定する旨、及び初回面接を特定健診と同日に実施している場合の注釈を追加 • 3.3 ボディ部の説明及び表12に指導初回①情報セクションを追加 • 仕様書中の「6ヵ月評価」を「3ヵ月評価」に修正 • 3.3.1 保健指導区分とCDAセクションの関係の表14に指導初回①情報および初回未完了時の欄を追加 • 仕様書中の保健指導情報（個票）項目番号を新規に振りなおした番号に修正

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

		<ul style="list-style-type: none"> 仕様書中の保健指導区分に「動機付け支援相当」「モデル実施」を追加 3.3.3 指導初回①情報セクションを追加 「3.3.6 委託先機関情報セクション」から「3.3.7 指導機関情報セクション」に変更 また、支援 A および支援 B のみでなく初回面接、中間評価、実績評価においても指導機関情報を出力し、保険者直営実施の場合においても必ず情報が出現する旨を追記 指導機関情報の出力項目に実施内容を追加。保健指導機関番号および保健指導機関名から「委託先」の文言を削除。 <p>■XML 仕様上に関係のない修正</p> <ul style="list-style-type: none"> バージョンを「2」から「3」に修正 仕様書の適用範囲を平成 30 年 4 月 1 日以降に実施される特定健康診査に基づく特定保健指導に修正 章構成を変更（最終評価情報セクションを 3.3.6 章、指導機関情報セクション 3.3.7 章に変更） その他既存誤記及び見栄え修正
2020.03.31	V3.1	<p><本仕様書の適用範囲> オンライン資格確認等システムを活用した特定健診情報等の保険者間引継ぎ実施に伴い、本文書を保険者から支払基金への実績報告用にのみ使用することとし、報告項目の見直し結果を反映させた。</p> <p>■XML 仕様上に関係する修正 <実績報告の顕名化および項目の見直しに伴う修正></p> <ul style="list-style-type: none"> 3.2.3.4 受診券・利用券情報 <ul style="list-style-type: none"> 表 9「9.6.1 @extention」に記録する受診券整理番号を必須項目から省略可能項目に変更 3.2.3.5 保健指導実施情報 <ul style="list-style-type: none"> 健診実施情報の仕様との相違点として出現させない項目を記載 <p>■XML 仕様上に関係のない修正</p> <ul style="list-style-type: none"> バージョンを「3」から「3.1」に修正 仕様書の適用範囲を令和 2 年度の法定報告に修正 各種サンプル XML の日付変更 その他既存誤記及び見栄え修正
2023.03.31	V4	<p>■XML 仕様上に関係する修正</p> <ul style="list-style-type: none"> 支援 A、B を廃止し、支援としたことに伴う説明修正 モデル実施廃止による記載削除 初回面接実施に「2：1 週間以内（当日は除く）」の選択肢を追加したことに伴う記載修正 保健指導開始後服薬判明による初回未完了、途中終了の記載を修正（表 14-1 保健指導区分とセクションの関係の注釈） <p>■XML 仕様上に関係のない修正</p> <ul style="list-style-type: none"> 本仕様書のファイル名を変更 バージョンを「3.1」から「4」に修正 特定保健指導項目の情報を「XML 用特定保健指導項目情報」に整理することに伴い、項目表の記載削除 2.1 本文書の位置付け等の厚労省通知との対応関係に係る記載を削除 本資料内の表番号の付番整理

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

		・その他既存誤記及び見栄え修正
--	--	-----------------

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

本仕様書の適用範囲

本仕様説明書（Version4）は、令和6年度分の法定報告（令和7年11月1日までに実施する法定報告）に係る特定保健指導情報ファイルから適用される。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

特定保健指導情報ファイル(医療保険者→国) 仕様説明書

1. はじめに

1.1 目的

本文書の目的は、2008年度から実施されている特定保健指導において、電子的なデータ標準様式に基づいて「特定保健指導」に関する実施情報を医療保険者が国に報告する際に使用する仕様について詳細に説明することである。

保険者は、本仕様に準拠したデータを作成し、報告を行わねばならない。

1.2 参考資料

下記の表は、この文書で参照している標準仕様及び研究報告書等の名称、バージョン、並びにその説明の一覧である。

表1 参考資料

本文書での仕様等の引用名称	バージョン	説明
厚生労働省特定健診プログラム改定版	※	「標準的な健診・保健指導プログラム」
厚生労働省特定健診プログラム手引書	※	「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」
健診実績報告仕様書	2	本文書と対になる文書で、特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様について解説した文書。
XML用保健指導項目情報		保健指導報告に関する「XML用保健指導項目コード表」
HL7 Version 3	Normative 2005	HL7 Version 3 の 2005 年度 規範版パッケージ。CDA Release 2.0 の規格書が含まれる。
日本 HL7 協会診療情報提供書	1.0	日本 HL7 協会が策定した、CDA R2 規格をベースとした診療情報提供書の規格。 http://www.hl7.jp/intro/std/HL7J-CDA-001.pdf
HL7 CRS	final draft	米国 HL7 協会が策定中の診療文書に関する実装ガイド。 Implementation Guide for CDA Release 2 – Level 1 and 2 – Care Record Summary (US realm), HL7, Inc., Final Text, June 8, 2006
XML	1.1	Extensible Markup Language http://www.w3.org/TR/2006/REC-xml11-20060816/
XPath	1.0	http://www.w3.org/TR/xpath
電子レセプト仕様書		「電子レセプトの作成手引き（医科）」社会保険診療報酬支払基金レセプト電算処理システム電子レセプト作成手引き http://www.ssk.or.jp/seikyushiharai/rezept/iryokikan/iryokikan_02.files/jiki_i01.pdf

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

※厚生労働省 HP 「特定健診・特定保健指導について」

(<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html>) に公表されている最新版を参照すること。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

2. 概要

2.1 本文書の位置付け

本文書は、2008年度から実施されている特定保健指導の実施情報を、医療保険者が国に対して電子的に提出（報告）する際に使用する、電子的なデータ標準様式（以下では特定保健指導標準フォーマット、または単に標準フォーマットと記載する）を定義するものである。

本文書で定義される特定保健指導情報の仕様は、「特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書」（以下、「健診実績報告仕様書」と記載する）の文書で定義される健診標準フォーマットの基本的な考え方と共通部分の仕様は同一であり、そちらの文書を参照する形で説明されており、本文書では保健指導に固有の部分についてのみ説明している。従って、本文書を読むに先立つて必ず「健診実績報告仕様書」を読む必要がある。

本文書と既存の仕様説明書との相違点

本文書で説明される標準フォーマットは、すでに公表されている健診機関から保険者に特定保健指導の結果情報を報告するための仕様と基本的には同一である。

仕様上の異なる部分は、本通知では提出不要となった特定保健指導情報項目についてその仕様の削除、および報告項目が異なるための仕様変更である。仕様の削除の中には、これまで必須または任意に存在してよいとされていた情報が、存在してはいけない情報となった場合が含まれることに注意が必要である。

また本文書として「特定保健指導情報ファイル（健診・保健指導機関等→医療保険者）仕様説明書」と異なる部分は、1）上記の仕様上の異なる部分を反映させている点、2）実績報告としての位置づけから明らかに説明が不要となる部分の削除、3）実績報告として必要となった情報に対応する仕様変更の3点である。なお、1）に関する削除箇所にはそれがわかるように当該箇所での注釈等を記載している場合がある。

なお、本文書に対応するXMLスキーマファイルは、「特定保健指導情報ファイル（健診・保健指導機関等→医療保険者）仕様説明書」とともに公開されているXMLスキーマファイルと完全に同一であるため重複して公表をせず、後者を参照するものとする。提出不要となった特定保健指導情報項目を本仕様で削除したにもかかわらず、対応するXMLスキーマファイルに変更の必要がない理由は、これらの削除項目に対応する要素または属性はあらかじめ省略可能と定義されていたからである。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

2.2 記載内容の優先度

この文書の記載内容と最新の厚生労働省通知との記述に相違がある場合には、最新の厚生労働省通知(<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000165280.html>)の記述を優先するものとする。

本文書と対をなして公表されている XML スキーマファイルでは、XML 要素や属性の出現多重度や選択性について、本文書での記載よりも緩い記述（制約条件が広い記述）になっていることがある。このような場合には、本文書に記載されている記述が優先するものとする。たとえば XML スキーマでは 1 回以上何度出現してもよいとなっている要素について、本文書では 1 回だけ必ず出現するものと記載しているケースでは、本文書に従うものとし、当該要素は 1 回だけ必ず出現しなければならない。同様にたとえば XML スキーマでは出現してもしなくてもよい（出現がオプショナル）とされている属性や要素について、本文書では出現してもよいことが明示的に記載されていないケースでは、本文書に従うものとし、当該属性や当該要素は出現してはならない。

2.3 標準フォーマットの基本的な方針

2.3.1 1 報告 1 ファイル

本標準フォーマットは、1 人の保健指導利用者（以下、利用者）に対してなされた一連の保健指導の実施情報を、報告が義務付けられた報告単位（1 報告）ごとに 1 つの XML 形式で格納し、1 個の電子ファイル（Windows や UNIX などのコンピュータオペレーティングシステムでひとつの電子ファイルとして扱われるファイル単位）とするものである。1 報告にとって必要となるヘッダー情報（保健指導機関に関する情報や日付、利用者を識別するための情報など）が含まれている。

1 人の利用者の 1 報告ごとに 1 電子ファイルとし、複数報告もしくは複数利用者の実施情報はその数だけの電子ファイルを別々に生成する方針をとっている。従って、1 電子ファイルに、複数報告もしくは複数利用者の実施情報を格納することはできない。

2.3.2 本標準フォーマットが対象とする保健指導情報

本標準フォーマットは、2008 年度から実施される特定保健指導の実施情報を格納することを目的としている。

2.3.3 HL7 CDA 規格との関係

本標準フォーマットは、HL7 CDA Release 2（以下 CDA R2）規格¹に完全準拠するものとし、本標準フォーマット仕様は、HL7 CDA 規格で定義される XML スキーマに対して特定保健指導固有のさらなる制約を課すことで実現されている。

本仕様書では、XML タグ仕様は、健診仕様書と同一の方法で説明している。

¹ ANSI/HL7 CDA R2-2005 4/21/2005 版

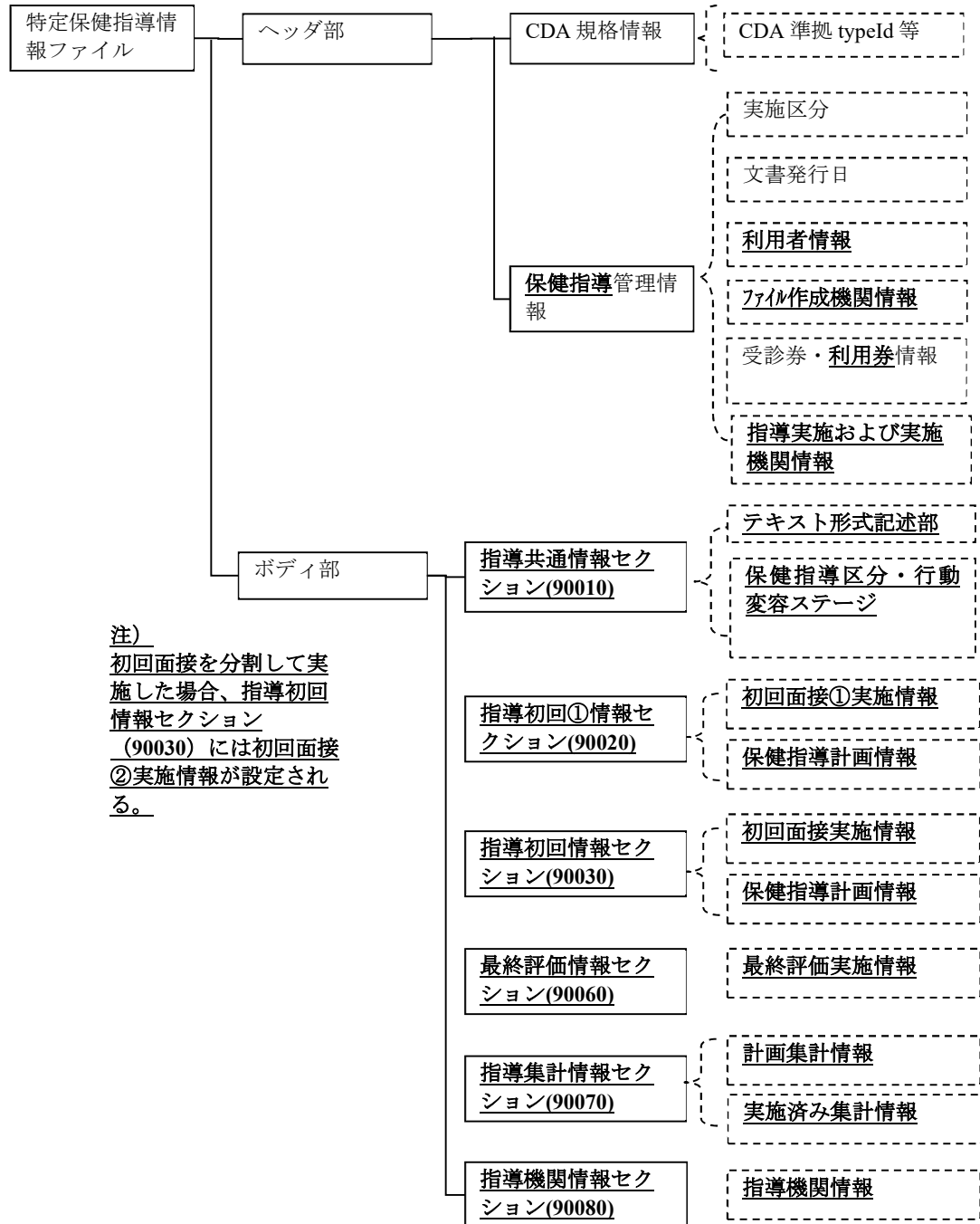
特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3. 特定保健指導情報ファイル仕様

※図表中で「健診実績報告仕様書」との相違の主要部分は太字下線で示している。

3.1 全体構成の概要

本標準フォーマットにもとづく XML ファイルは、ヘッダ部とボディ部からなる（下図）。



ヘッダ部には、CDA 規格上必要となるメッセージ種別など CDA 規格情報、記録されているイベント（健診、指導など）に関する実施区分や文書発行日（特定保健指導情報ファイルの作成日）

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

情報、作成者情報、記録対象者（利用者）情報、**利用券情報**などの保健指導管理情報から構成される。

ボディ部には、**指導計画や指導実施に関する情報**が、一部は人間可読なテキスト形式で記述されるとともに、コンピュータ処理を可能とするための形式で構造化されて記述される。

3.2 ヘッダ部

3.2.1 名前空間

健診実績報告仕様書の当該部分と以下の部分を除き同一である。

当該部分を、健診実績報告仕様書と異なる部分に下線を引いて、以下に引用する。

==引用開始==

本仕様書で定義される XML インスタンスの名前空間は「urn:hl7-org:v3」とし、これをデフォルト名前空間として指定する。

また、本仕様書で定義される XML インスタンスでは、「http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance」という URI で識別される XML スキーマインスタンスの名前空間を使用する。

本仕様書のスキーマファイルは「hg08_V08.xsd」というファイル名のファイルにより別途提供される。ここでこのファイル名中の V08 は version 番号であり、今後スキーマファイルに大きな変更が加わる場合にはそれに伴って変更される可能性がある。下記は XML インスタンスの実例であり、本仕様に基づくすべての XML インスタンスは、スキーマファイル名の version 番号部分を除きこの部分を変更してはならない。

補足説明 1：本仕様でファイルを生成する側は、文字コードは UTF-8 を使用するものとする。

補足説明 2：UTF-8 文字コードのファイルをコンピュータプログラムにより生成する場合に、ファイルの冒頭の（通常のテキスト表示では見えない最初の）3 バイトに Byte Order Mark

（BOM）と呼ばれる 3 バイト EF BB BF (16 進)をつけるスタイルと、つけないスタイルの両方が世の中に存在する。本仕様でファイルを生成する側は、この BOM と呼ばれる 3 バイトを付与しないものとする。ソフトウェア開発者は、自分の使用する XML ファイル生成機能が自動的に BOM を付与するソフトかどうかを調べ、自動付与するスタイルのソフトウェアの場合には、生成されたファイルの第 1 バイト目からの先頭 3 バイトを削除することが必要である。どちらのソフトウェアであるかを調査するためには、テキスト表示ソフトでは通常表示されないので、冒頭の数バイトをプログラムで確認するなりして確認することが必要である。

一方、本仕様で生成されたファイルを受信する側では、生成側が誤って BOM を付けたファイルを生成している可能性を想定し、BOM の有無にかかわらず正しく処理できるようにすることが必要である。

補足説明 3：スキーマファイル名の version 番号部分は V08 で統一する。下記の例で示すように、hg08_V08.xsd とするものとする。今後スキーマファイルが一部修正された場合においても、リリースされたスキーマファイル名を下図のようにバージョン番号部分を V08 に名前を変更して使用するものとする。なお、将来の制度の改訂などにより、部分修正に留まらない大きな変更が加えられた場合には、これによらない場合がある。

なお、オペレーティングシステムによる違いの影響を排除するため、スキーマファイル名、その相対パス名の英大文字小文字の違いを意識するものとし、以下の通りとする。

スキーマファイル名を含む相対パス名： ../XSD/hg08_V08.xsd

注：ピリオド 2 個で始まっていることから分かるように、スキーマファイルが格納さ

れるフォルダ XSD は、本 XML ファイルが格納されるフォルダ（ディレクトリ）の兄弟フォルダである。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<ClinicalDocument xmlns="urn:hl7-org:v3"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="urn:hl7-org:v3 ../XSD/hg08_V08.xsd">
  ...
</ClinicalDocument>
```

==引用終了==

3.2.2 CDA 管理情報

健診実績報告仕様書の当該部分と同一である。

3.2.3 保健指導管理情報

CDA 管理情報の 2 つの要素につづく要素は、保健指導管理情報であり、表 2 に示される項目からなる。

表 2 ヘッダ部の保健指導管理情報

No	XPath	説明	厚労省公表資料との対応	多重度	選択性
0	/ClinicalDocument			1..1	M
3	code	報告区分を表すコードを設定。		1..1	M
3.1	@code	<u>10の桁は実施区分、1の桁は実施時点の各コードである。すなわち</u> <u>22:すべて完了して国に保健指導実績を報告する場合</u> <u>23:特定保健指導途中終了確定時に国に保健指導実績を報告する場合</u>	<u>10の桁は実施区分、1の桁は実施時点の各コード</u>	1..1	M
3.2	@codeSystem	健診実績報告仕様書の当該部分と同一仕様。 コードのコード体系を識別する OID。 「1.2.392.200119.6.1001」を設定。		1..1	M
3.3	@displayName	使用しない		0..1	O
4	effectiveTime	健診実績報告仕様書の当該部分と同一仕様。 本ファイルのオフィシャルなファイル作成日(実際のファイル作成日と異なることもあり)。この日付をもって本データを提出したこととして取り扱う日。		1..1	M
4.1	@value	健診実績報告仕様書の当該部分と同一仕様。 「YYYYMMDD」。		1..1	M
5	confidentialityCode	健診実績報告仕様書の当該部分と同一仕様。 守秘レベルコード。HL7 ボキャブラリドメイン Confidentiality の値を使用。		1..1	M
5.1	@code	健診実績報告仕様書の当該部分と同一仕様。 守秘レベルコードのニーモニック。通常時の守秘レベルを表す「N」を設定。		1..1	M
5.2	@codeSystem	健診実績報告仕様書の当該部分と同一仕様。		0..1	O

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

		XML ファイルサイズを小さくするため当面使用しない。使用するには守秘レベルコードのコード体系を識別する OID。「2.16.840.1.113883.5.25」固定。			
6	recordTarget	健診実績報告仕様書の当該部分と同一仕様。 <u>利用者情報</u> 。構造を含め詳細は、3.2.3.1 節に記載。		1..1	M
7	author	健診実績報告仕様書の当該部分と同一仕様。 本ファイルを作成し提出する保険者側の情報（通常は送付元に相当する。構造を含め詳細は、3.2.3.2 節に記載。		1..1	M
8	custodian	健診実績報告仕様書の当該部分と同一仕様。 本ファイル作成管理責任機関情報。本仕様では使用しないが HL7CDA 規格上必須であるため、0 節のように記述するものとする。		1..1	M
9	participant	<u>利用者の受診券と利用券</u> に関する情報。詳細は、3.2.3.4 節に記載。		0..2	O
10	documentationOf	<u>保健指導実施情報</u> 。詳細は、3.2.3.5 節に記載。		1..1	M

ヘッダ部のサンプルは省略する。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.2.3.1 利用者情報

健診実績報告仕様書の当該部分と以下の点を除き同一仕様。

- ・「受診者」を「利用者」に読み替える。
- ・住所情報(patientRole/addr) を出現させない。

3.2.3.2 ファイル作成機関の情報

健診実績報告仕様書の当該部分と以下の点を除き同一仕様。

- ・「健診」を「保健指導」に読み替える。

3.2.3.3 ファイル作成管理責任機関情報

健診実績報告仕様書の当該部分と同一仕様。

3.2.3.4 受診券・利用券情報

利用券整理番号と受診券整理番号の情報が記述される。そのため、/ClinicalDocument/participant 要素が最大 2 回繰り返される。

受診券情報か利用券情報かの区別は、/ClinicalDocument/participant/functionCode/@code で識別される。要素の出現順序ではない。受診券整理番号を空欄としたい場合にはそれを記述するための本要素

/ClinicalDocument/participant は出現しない。

利用券整理番号は、利用券を発券しないで特定保健指導を実施した場合にも、以下のとおり記載する。したがって/ClinicalDocument /participant 要素の出現は、利用券整理番号だけ記述する場合には出現回数は 1 となる。

特定健診当日から 1 週間後まで（健診実施日を 0 日として 7 日後まで。例えば月曜日に特定健診を受診した場合は、健診当日から次の月曜日まで）に特定保健指導の初回面接を実施できるセット券（特定健康診査＋特定保健指導）の場合、受診券の種別番号には「5」が設定される。また、特定健診当日に初回面接を実施した場合、利用券情報の利用券整理番号には、受診券の整理番号（種別番号「5」）を設定するため、注意する。

表 8 受診券情報へのマッピング項目

項目名	XML 仕様 No	XPath
受診券整理番号	9.6.1	/ClinicalDocument/participant[functionCode/@code="1"] /associatedEntity/ id/@extension
利用券整理番号	9.6.1	/ClinicalDocument/participant[functionCode/@code="2"] /associatedEntity/ id/@extension

利用券情報の XML 仕様は、健診実績報告仕様書の当該部分と以下の点を除き同一であるが再掲する。

- ・「/ClinicalDocument/participant」を「/ClinicalDocument/participant[functionCode/@code="1"]」とする。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

表9 受診券情報のXML仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
9	participant[functionCode/@code="1"]		0..1	O
9.1	@typeCode	HL7 ボキャブラリドメイン ParticipationType から所有者を示す「HLD」を設定。	1..1	M
9.2	functionCode	受診券の情報であることを示す情報	1..1	M
9.2.1	@code	受診券券面種別コードを示す「1」を設定。	1..1	M
9.2.2	@codeSystem	受診券・利用券の券面種別コードのためのOID。「1.2.392.200119.6.208」を設定。	1..1	M
9.3	time	受診券の有効期間 要素が出現しない	0	X
9.5	associatedEntity	受診券と発行者の識別情報。	1..1	M
9.5.1	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン RoleClass から「IDENT」を設定。	1..1	M
9.6	associatedEntity/id	受診券整理番号	1..1	M
9.6.1	@extension	「 受診券整理番号 」に対応する文字列。数字11桁固定。	0..1	O
9.6.2	@root	本来は受診券整理番号のためのOIDを設定する属性であるが、本仕様では省略する（属性を出現させない）。 保健指導機関情報から受領するファイルにはOIDが設定されており、そのOIDには受診券を発行した保険者番号が含まれているため、OIDを削除することが必要である。 属性が出現しない	0	X
9.7	associatedEntity/scopingOrganization	受診券を発行した保険者の保険者情報 要素が出現しない	0	X

利用券情報のXML仕様は、表9の受診券情報と以下の点を除き同一であるが再掲する。

- ・「受診券」を「利用券」に読み替える（下記表10では置き換え済み）。
- ・「券面種別コード」が1ではなく2となる。
- ・「健診」を「保健指導」に読み替える（下記表10では置き換え済み）。
- ・「/ClinicalDocument/ participant[functionCode/@code="1"]」を「/ClinicalDocument/ participant[functionCode/@code="2"]」とする。

表10 利用券情報のXML仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
9	participant[functionCode/@code="2"] 利用券整理番号は、利用券を発券しないで特定保健指導を実施した場合にも必ず出現させること		1..1	M
9.1	@typeCode	HL7 ボキャブラリドメイン ParticipationType から所有者を示す「HLD」を設定。	1..1	M
9.2	functionCode	利用券の情報であることを示す情報	1..1	M
9.2.1	@code	利用券券面種別コードを示す「2」を設定。	1..1	M
9.2.2	@codeSystem	受診券・利用券の券面種別コードのためのOID。「1.2.392.200119.6.208」を設定。	1..1	M
9.3	time	利用券の有効期間 要素が出現しない	0	X
9.5	associatedEntity	利用券と発行者の識別情報。	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

9.5.1	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン RoleClass から「IDENT」を設定。	1..1	M
9.6	associatedEntity/id	利用券整理番号	1..1	M
9.6.1	@extension	<p>「利用券整理番号」に対応する文字列。数字 11 桁固定。</p> <p>年度(西暦下 2 桁*1)+種別(1 桁*2*4)+識別番号 (8 桁*3)</p> <p>*1 特定保健指導の基になった特定健診の実施年度を記載する。</p> <p>*2 保健指導に利用券を交付している場合で、積極的支援の場合は「2」、動機付け支援の場合は「3」、動機付け支援相当の場合は「4」を記載する。また、特定健診当日から 1 週間後まで（健診実施日を 0 日として 7 日後まで。例えば月曜日に特定健診を受診した場合は、健診当日から次の月曜日まで）に特定保健指導の初回面接を実施した場合、受診券の整理番号（種別番号「5」）を記載する。</p> <p>*3 保健指導に利用券を交付していない場合は、8 桁を全て「0」として記載する。</p> <p>*4 保健指導に利用券を交付していない場合で、積極的支援の場合は「2」、動機付け支援の場合は「3」、「動機付け支援相当」の場合は「4」を記載する。</p>	1..1	M
9.6.2	@root	<p>本来は利用券整理番号のための OID を設定する属性であるが、本仕様では省略する。</p> <p>属性が出現しない</p> <p>保健指導機関情報から受領するファイルには OID が設定されており、その OID には利用券を発行した保険者番号が含まれているため、OID を削除することが必要である。</p>	0	X
9.7	associatedEntity/scopingOrganization	<p>利用券を発行した保険者の保険者情報</p> <p>要素が出現しない</p>	0	X

受診券と利用券情報の XML サンプルを以下に示す。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

```

<ClinicalDocument>
...
<participant typeCode="HLD">
<functionCode code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.208" />
  <associatedEntity classCode="IDENT">
<!-- 受診券整理番号 -->
<id extension="11123344551" />
  </associatedEntity>
</participant>

<participant typeCode="HLD">
<functionCode code="2" codeSystem="1.2.392.200119.6.208" />
  <associatedEntity classCode="IDENT">
<!-- 利用券整理番号 -->
<id extension="11323344552" />
  </associatedEntity>
</participant>
...
</ClinicalDocument>

```

3.2.3.5 保健指導実施情報

健診実績報告仕様書の当該部分と以下の点を除き同一仕様。

- ・「健診」を「保健指導」に読み替える。
- ・「受診者」を「利用者」に読み替える。
- ・「実施日」もしくは「実施年月日」は保健指導の実施年月日として国への実績報告書に記述すべき日付を厚生労働省通知に従い設定する。
- ・プログラムサービスコードとして
「/ClinicalDocument/documentationOf/serviceEvent/code/@code」には「100」を設定する。
- ・保健指導実施機関には、行動計画の実績評価を行った実施機関の情報を記録する。
※途中終了の場合は、初回面接を行った実施機関の情報とする。
- ・保健指導実施情報に含まれる項目の内、以下の項目は出現させない。
 - 1) 保健指導実施機関電話番号 (XML仕様 No:10.10.1)
 - 2) 保健指導実施機関住所 (XML仕様 No:10.11.1)
 - 3) 保健指導実施機関郵便番号 (XML仕様 No:10.12.1)

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.3 ボディ部

※3. 3節以降では、原則として健診実績報告仕様書とすべて異なるため、相違部分を太字または下線などの方法で示してない。

ボディ部には、特定保健指導の報告で定められた実施情報（計画情報を含む）が含まれ、指導共通情報、指導初回①情報、指導初回情報、最終評価情報、指導集計情報、指導機関情報セクションの各セクションにわけて記録する。

各セクションは、そのセクションの内容を人が解釈することを目的として構造化テキストとして記述する説明ブロック（Narrative Block）と、セクション内容を機械可読なデータとして記述するエン트리（Entry）記述ブロックから構成される。

説明ブロックは、section 要素内の text 要素に HTML に類似するタグを使って記述されるが、text 要素にすべての項目の結果を記述するとそれだけでファイルサイズが非常に大きくなること、および必要ならエン트리記述ブロック中のデータから説明ブロックデータを機械的に生成可能であること、の2つの理由により、本仕様では text 要素には指導共通情報セクションにおいてのみ限定された少数の項目だけを記述するものとし、その他のセクションでは値を持たない空 text エレメントとする。

一方、エン트리記述ブロックは、section 要素の子要素となる entry 要素の繰り返しで記述する。section 要素は、セクションの種別を示すセクションコードを表す code 要素を、子要素として含まなければならない。各セクションのセクションコードを表 13 に示す。

セクションコード体系の OID は「1.2.392.200119.6.1010」である。

表 13 保健指導データ CDA セクションの種類とコード

セクションコード	セクション名	説明
90010	指導共通情報セクション	保健指導区分・行動変容ステージ
90020	指導初回①情報セクション	初回面接①実施情報 継続的支援予定期間
90030	指導初回情報セクション	初回面接実施情報※ 継続的支援予定期間
90060	最終評価情報セクション	最終評価情報（実績評価情報）
90070	指導集計情報セクション	計画上の集計情報 実施済み集計情報
90080	指導機関情報セクション	指導機関情報

※ 初回面接を分割して実施した場合、初回面接②実施情報が設定される

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

ボディ部の XML 仕様を表 14 に示す。

表 14 ボディ部の XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11	/ClinicalDocument/component		1..1	M
11.1	structuredBody	構造化ボディ。	1..1	M
11.2	structuredBody/component	セクションへの包含関係情報。3.3.1 節で認識するように 1 個以上の要素が存在する。	1..*	M
11.3	structuredBody/component/section	セクション情報。詳細は 3.3.2～3.3.7 節。	1..1	M

以下にボディ部の XML サンプルを示す。各セクションの詳細は、3.3.2 節から 3.3.7 節にそれぞれ示す。

```

<ClinicalDocument>
  ...
  <!-- 健診情報、保健指導情報-->
  <component>
    <structuredBody>
      <component>
        <section>
          <!-- 指導共通情報セクション-->
        </section>
      </component>

      <component>
        <section>
          <!-- 指導初回情報セクション -->
        </section>
      </component>

      :

    </structuredBody>
  </component>
</ClinicalDocument>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.3.1 保健指導報告区分と CDA セクションの関係

保健指導の報告時点の違いにより下記のようなセクションが組み合わされて使用される。それと対応する報告区分等との関係は表 15 のようになる。

本表はセクションの必須か任意かを示すものであり、そのセクションに格納される個々の項目が必須か任意かについては、厚労省通知に従うこと。

表 15 保健指導区分とセクションの関係

使用されるセクション(セクションコード)	番号	完了報告時 動機付け支援	完了報告時 積極的支援※1	途中終了確定時 動機付け支援	途中終了確定時 積極的支援※1
		報告区分 コード=22	報告区分 コード=22	報告区分 コード=23	報告区分 コード=23
指導共通情報(90010)	1101~1107	必須	必須	必須	必須
指導初回①情報(90020)	1301~1306	初回分割を行った場合は必須	初回分割を行った場合は必須	初回分割を行った場合は必須	初回分割を行った場合は必須
	1331~1345				
指導初回情報(90030)	1301~1306	必須	必須	必須	必須
	1331~1345				
最終評価情報(90060)	1601~1616	必須	必須	不要	不要
指導集計情報(90070)	1701~1713	不要※3	必須※2	不要※3	必須※2
	1731~1745	不要※3	必須※2	不要※3	必須※4
指導機関情報(90080)	1811~(1884)	必須	必須	必須	必須

※1 動機付け支援相当を含む

※2 動機付け支援相当の場合は任意

※3 動機付け支援だが、契約により継続的な支援の実施及び保険者への報告が求められている場合(積極的支援に準じた継続的支援を実施する場合は)、報告しても差し支えない(あえて情報を削除する作業を行う必要はない)。

※4 継続的な支援を全く実施しなかった場合は出現不要

(補足) 初回面接①後に資格喪失による利用停止・脱落等による途中終了時報告となる場合、保険者へ報告区分コード=25で報告を行うが初回未完了の扱いのため、実績報告の報告対象外となることから実績報告において報告区分コード=25は使用しない。

なお、XMLファイル内でのセクションの出現順序は任意である。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.3.2 指導共通情報セクション

3.3.2.1 セクション部仕様

※ 本セクションは常に存在する。

指導共通情報セクションは、「XML 用特定保健指導項目情報」の「指導共通情報」エントリにおける保健指導区分（項目コード 1020000001）、行動変容ステージ（項目コード 1020000002）、健診実施年月日（確認用）（項目コード 1020000004）、および保健指導後服薬 1～3（項目コード 1020000005～1020000007）の 6 項目を格納するセクションである。人が解釈するための説明ブロックと、各項目に対応する機械可読表現である 1 個の **entry** 要素を含む。セクションコードには CDA セクションコードのうち「**90010**」を指定する。

指導共通情報セクションの XML 仕様を表 16 に示す。

表 16 指導共通情報セクション XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.3	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		1..1	M
11.4	code	指導共通情報データ CDA セクションコード。	1..1	M
11.4.1	@code	セクションコード「 90010 」を設定。	1..1	M
11.4.2	@codeSystem	セクションコードのコード体系を示す OID。「 1.2.392.200119.6.1010 」を設定。	1..1	M
11.4.3	@displayName	セクションコードの表示名。「 指導共通情報セクション 」を設定。	0..1	O
11.6	text	セクションのテキスト記述。	1..1	M
11.6.1	text()	セクションのテキスト記述。詳細は 3.3.2.2 節。	1..1	M
11.7	entry	指導共通情報セクションの機械可読表現。詳細は 3.3.2.3 節。	1..1	M

指導共通情報セクションの XML サンプルを以下に示す。

```

<section>
  <code code="90010" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
    displayName="指導共通情報セクション"/>
  <text>
    <!-- 指導共通情報セクション テキスト記述 (3.3.2.2 節) -->
  </text>
  <!-- 指導共通情報セクション 機械可読記述 (1つの entry) -->
  <entry>
    ...
  </entry>
</section>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.3.2.2 テキスト部（説明ブロック）仕様

指導共通情報セクションの内容を人が解釈するための情報を記述する説明ブロックには、**list** 要素および **item** 要素を使用して、項目とその値を表現する。各項目に対して、1つの **item** 要素が対応する。**item** 要素のテキスト内容の書式は、

「**項目名 値（表示用テキスト）**」（項目名と値の間の空白は半角スペース）

とする。

またなんらかの理由により値を設定できない場合は、「項目名」だけとする。

ファイルサイズをコンパクトにするため、説明ブロックに記述する項目は表 17 に掲げた項目だけに限定するものとする。またこれらについても任意である。まったく記述しなくてもよいがその場合でも text 要素は必須である。

表 17 指導共通情報項目説明ブロック仕様

No	項目名	値(表示用テキスト)
1101	保健指導区分	「積極的支援」、「動機付け支援」「動機付け支援相当」
1102	行動変容ステージ	「意志なし」「意志あり(6か月以内)」「意志あり(近いうち)」「取組済み(6ヶ月未満)」「取組済み(6ヶ月以上)」

表 18 指導共通情報セクション説明ブロック XML 仕様

XML-No	XPath	説明	多重度	選択性
11.6	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/text		1..1	M
11.6.1	list	説明ブロック 項目リスト	0..1	O
11.6.2	list/item	項目	1..2	M
11.6.2.1	text()	項目名と項目内容を表すテキスト。書式は「 項目名 値(表示用テキスト) 」(項目名と値の間の空白は半角スペース)	1..1	M

text 記述する例

```
<section>
  <code code="90010" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
  displayName="指導共通情報セクション" />
  <text>
    <list>
      <item>保健指導区分 積極的支援</item>
      <item>行動変容ステージ 意志あり(6か月以内)</item>
    </list>
  </text>
  ...
</section>
```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.3.2.3 エントリ部仕様

指導共通情報セクションに含まれる項目は「XML用特定保健指導項目情報」の「指導共通情報」エントリを参照すること。

※保健指導機関から保険者が受領するファイルには、「保健指導コース名」（項目コード 1020000003）が付与されている場合があるので、これを削除すること。また、「健診実施年月日(確認用)」（項目コード 1020000004）は記載が無い場合や誤りの可能性があるため、保険者が必要に応じて保管・修正すること。

指導共通情報セクションのXML仕様を表19に示す。

表19 指導共通情報セクションのXML仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.7	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry		1..1	M
11.8	act	実施情報または計画情報	1..1	M
11.8.1	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass から、意図して実施される行為を示す「ACT」を設定。	1..1	M
11.8.2	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActMood から、実施結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.9	act/code	act ブロックのコード	1..1	M
11.9.1	@nullFlavor	「NA」を設定。「NI」でないことに注意。	1..1	M

上記に引き続き、以下の entryRelationship ブロックを「XML用特定保健指導項目情報」の「指導共通情報」エントリの計2～6項目分だけ繰り返す。報告しない項目の entryRelationship ブロックは出現しない。

No	XPath	説明	多重度	選択性
	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry/act/		1..1	M
11.10	entryRelationship	保健指導実施項目の1項目分のブロック情報	2..6	M
11.10.1	@typeCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActRelationship より一連グループを構成する個々の結果を表現するために、「COMP」を設定。	1..1	M
11.11	entryRelationship/observation	個々の実施項目情報	1..1	M
11.11.1	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass から、観察行為を示す「OBS」を設定。	1..1	M
11.11.2	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActMood から、結果情報を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.12	entryRelationship/observation/code	保健指導項目コード情報	1..1	M
11.12.1	@code	保健指導項目コード	1..1	M
11.12.2	@codeSystem	保健指導項目コード OID。「1.2.392.200119.6.1006」を記述するか、または属性自体を省略する。	0..1	O
11.12.3	@displayName	保健指導項目名。または属性自体を省略する。	0..1	O
11.13	entryRelationship/observation/value	保健指導情報項目の値	1..1	M
11.13.1	@xsi:type	「XML用特定保健指導項目情報」のXMLデータ型を設定。コード値の場合は「CD」を設定。健診実施年月日(確認用)の場合は、文字列型「ST」を設定する。	1..1	M
11.13.5	@code	報告すべき結果コード値を設定。	0..1	O

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

11.13.6	@codeSystem	「XML 用特定保健指導項目情報」の「コード表 OID の値を設定。	0..1	0
11.13.7	text()	健診実施年月日(確認用)の値 YYYYMMDD	0..1	0

指導共通情報セクションのXMLサンプルを以下に示す。

```

<component>
  <section>
    <code code="90010" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="指導共通情報セクション"/>
    <text>
      <list>
        <item>保健指導区分 積極的支援</item>
        <item>行動変容ステージ 意志あり(6か月以内)</item>
      </list>
    </text>
    <entry>
      <act classCode="ACT" moodCode="EVN">
        <code nullFlavor="NA"/>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 保健指導区分 -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="1020000001"/>
            <value xsi:type="CD" code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.1112"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!--行動変容ステージ（初回面接時）-->
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="1020000002"/>
            <value xsi:type="CD" code="2" codeSystem="1.2.392.200119.6.3002"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!--健診実施年月日(確認用)-->
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="1020000004"/>
            <value xsi:type="ST">20240922</value>保険者が補完・修正すること
          </observation>
        </entryRelationship>
        <!--以下は保健指導後に服薬が判明した場合のみの例-->
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!--保健指導後 服薬1（血圧）-->
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="1020000005"/>
            <value xsi:type="CD" code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.24030"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
      </act>
    </entry>
  </section>
</component>

```


特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.3.3 指導初回①情報セクション

3.3.3.1 セクション部仕様

※ 平成30年度より指導初回①情報セクションが追加となっているため注意

指導初回①情報セクションは、初回面接を分割実施している場合のみ出現する。初回面接①実施時の項目は「XML用特定保健指導項目情報」の「初回面接実施情報」エントリと「保健指導計画情報」エントリを参照すること（ただし、健診後早期の初回面接（項目コード1022000016）は指導初回①情報セクションに出現させてはいけない）。人が解釈するための説明ブロックはtext要素として存在するが値を持たない。entry要素を含む。セクションコードにはCDAセクションコードのうち「90020」を指定する。

指導初回①情報セクションのXML仕様を表20に示す。

表20 指導初回①情報セクションXML仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.3	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		1..1	M
11.4	code	指導初回情報データCDAセクションコード。	1..1	M
11.4.1	@code	セクションコード「90020」を設定。	1..1	M
11.4.2	@codeSystem	セクションコードのコード体系を示すOID。「1.2.392.200119.6.1010」を設定。	1..1	M
11.4.3	@displayName	セクションコードの表示名。「指導初回①情報セクション」を設定。	0..1	O
11.6	text	セクションのテキスト記述。	1..1	M
11.6.1	text()	存在しない。	1..1	M
11.7	entry[1]	初回面接実施情報を格納するentry	1..1	M
11.7(繰り返し)	entry[2]	保健指導計画情報を格納するentry 積極的支援時には必須。	0..1	O

指導初回①情報セクションのXMLサンプルを以下に示す。

```
<section>
  <code code="90020" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
    displayName="指導初回①情報セクション"/>
  <text />

  <!-- 初回面接実施情報-->
  <entry>
    ...
  </entry>

  <!-- 保健指導計画情報-->
  <entry>
    ...
  </entry>
</section>
```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.3.3.2 初回面接①実施情報エントリ仕様

指導初回①情報セクションに含まれるエントリは初回面接①実施情報エントリと保健指導計画情報エントリの2つである。

また、保健指導計画情報エントリは省略可となる。初回面接を分割実施しない場合には、指導初回①情報セクション自体が存在しないことになる。

※保健指導機関から保険者が受領するファイルには、「初回面接情報」（項目コード 1022000090）が付与されている場合があるので、これを削除すること。

初回面接①実施情報エントリのXML仕様を表21に示す。

表21 初回面接①実施情報エントリのXML仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.7	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry		1..1	M
11.8	act	実施情報または計画情報	1..1	M
11.8.1	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClass から、意図して実施される行為を示す「ACT」を設定。	1..1	M
11.8.2	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン AntMood から、実施結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.9	act/code	初回面接の支援形態	1..1	M
11.9.1	@code	初回面接の支援形態（項目番号 1302）のコード値の中から「1:個別支援（対面）」「2:個別支援（遠隔）」「3:グループ支援（対面）」「4:グループ支援（遠隔）」のいずれかを設定。 なお、初回面接を分割実施している場合の初回面接②に限り、「5:電話」及び「6:電子メール」も設定可能。	1..1	M
11.9.2	@codeSystem	初回面接時の支援形態のOID 1.2.392.200119.6.24010	1..1	M
11.14	act/effectiveTime	実施日付情報	1..1	M
11.14.1	@value	初回面接の実施日（項目番号 1301）の値 YYYYMMDD	1..1	M
11.15	act/performer	初回面接を実施した人に関する情報	1..1	M
11.16	act/performer/assignedEntity	初回面接を実施した者	1..1	M
11.16.1	id/@nullFlavor	「NI」を設定。「NA」でないことに注意。	1..1	M
11.16.2	code/@code	実施者（項目番号 1305）のコード（医師=1など）	1..1	M
11.16.3	code/@codeSystem	実施者コードのOID 1.2.392.200119.6.3020	1..1	M
11.10	act/entryRelationship	保健指導実施項目の1項目分のブロック情報	1..1	M
11.10.1	@typeCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActRelationship より一連グループを構成する個々の結果を表現するために、「COMP」を設定。	1..1	M
11.11	act/entryRelationship/observation	個々の項目情報	1..1	M
11.11.1	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClass から、観察行為を示す「OBS」を設定。	1..1	M
11.11.2	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン AntMood から、結果情報を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.12	act/entryRelationship/observation/code	保健指導項目コード情報	1..1	M
11.12.1	@code	保健指導項目コードを設定する。 ここでは、初回面接実施時間の項目コード「1022000013」を設定。	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

11.12.2	@codeSystem	保健指導項目コード OID。 デフォルト値=1.2.392.200119.6.1006 の場合には省略する。	0..1	O
11.17	act/entryRelationship/observation/effectiveTime	保健指導の実施時刻および時間に関する情報	1..1	M
11.18	act/entryRelationship/observation/effectiveTime/width	保健指導の実施時間に関する情報	1..1	M
11.18.1	@value	保健指導の実施時間(長さ)	1..1	M
11.18.2	@unit	上記の時間の単位。分の場合には「min」を設定する。	1..1	M

以上の仕様にもとづき、初回面接①実施情報のエントリのサンプルを以下に示す。

```

<component>
  <section>
    <code code="90020" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="指導初回①情報セクション" />
  </section>
  <text/>
  <entry>
    <!-- 初回面接①実施情報 -->
    <act classCode="ACT" moodCode="EVN">
      <!-- 初回面接の支援形態:1=個別支援（対面）（項目コード:1022000012） -->
      <code code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.24010" />
      <!-- 初回面接の実施日付（項目コード:1022000011） -->
      <effectiveTime value="20240720"/>
      <performer>
        <assignedEntity>
          <id nullFlavor="NI"/>
          <!-- 初回面接の実施者のコード:1=医師（項目コード:1022000015） -->
          <code code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.3020" />
        </assignedEntity>
      </performer>
      <entryRelationship typeCode="COMP">
        <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
          <!-- 初回面接の実施時間（項目コード:1022000013） -->
          <code code="1022000013" />
          <effectiveTime>
            <width value="30" unit="min"/>
          </effectiveTime>
        </observation>
      </entryRelationship>
    </act>
  </entry>
  :
</section>
</component>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.3.3.3 保健指導計画情報エントリ仕様

指導初回情報セクションに含まれるエントリの2つめは保健指導計画情報エントリである。指導初回①情報セクションにおいて、本エントリは任意である。

保健指導計画情報エントリのXML仕様を表22に示す（行Noは再掲）。

表22 保健指導計画情報エントリのXML仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.7	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry		0..1	O
11.8	act	保健指導計画情報	1..1	M
11.8.1	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClass から、意図して実施される行為を示す「ACT」を設定。	1..1	M
11.8.2	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン AntMood から、計画を示す「INT」を設定。本エントリが計画情報であるという理由による。	1..1	M
11.9	act/code	保健指導計画のアクトブロック	1..1	M
11.9.1	@nullFlavor	「NA」を設定。「NI」でないことに注意。	1..1	M

上記につづいて、保健指導計画に関する項目について下記の表23（行Noは再掲）のact/entryRelationshipにより記述する。

表23 保健指導計画情報エントリのXML仕様（つづき）

11.10	act/entryRelationship	保健指導実施項目の1項目分のブロック情報	1..1	M
11.10.1	@typeCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActRelationship より一連グループを構成する個々の結果を表現するために、「COMP」を設定。	1..1	M
11.11	act/entryRelationship/observation	個々の項目情報	1..1	M
11.11.1	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClass から、観察行為を示す「OBS」を設定。	1..1	M
11.11.2	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン AntMood から、計画を示す「INT」を設定。	1..1	M
11.12	act/entryRelationship/observation/code	保健指導項目コード情報	1..1	M
11.12.1	@code	保健指導項目コード	1..1	M
11.12.2	@codeSystem	保健指導項目コード OID 「1.2.392.200119.6.1006」を設定するか、または属性自体を省略する。	0..1	O
11.13	act/entryRelationship/observation/value	保健指導項目の値	1..1	M
11.13.1	@xsi:type	「XML用保健指導項目情報」のXML用データ型を設定。 コード値の場合:「CD」 文字列の場合:「ST」 数値型の場合:「PQ」 整数型の場合:「INT」	1..1	M
11.13.5	@code	コード型「CD」の場合に出現し、コード値を設定。その他の型の場合には出現しない。	0..1	O
11.13.6	@codeSystem	コード型「CD」の場合に出現し、「XML用保健指導項目情	0..1	O

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

		報」のOIDを設定。 その他の型の場合には出現しない。		
11.13.7	text()	文字列型「ST」の場合に出現し、文字列値を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	0
11.13.2	@value	数値型「PQ」または整数型「INT」の場合に出現し、数値を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	0
11.13.3	@unit	数値型「PQ」または整数型「INT」の場合で単位の記述を必要とする場合に出現し、「XML 用保健指導項目情報」のXML 用単位文字列を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	0

以上の仕様にもとづき、保健指導計画情報のエントリのサンプルを以下に示す。

```

<component>
  <section>
    <code code="90020" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="指導初回①情報セク
シヨン"/>
    <text/>
    <entry>
      <!-- 初回面接①実施情報 -->
      :
    </entry>
    <entry>
      <!-- 保健指導計画情報 -->
      <act classCode="ACT" moodCode="INT">
        <code nullFlavor="NA"/>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 継続的支援予定期間 -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="INT">
            <code code="1021000020"/>
            <value xsi:type="PQ" value="6" unit="wk"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
      </act>
    </entry>
  </section>
</component>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.3.4 指導初回情報セクション

3.3.4.1 セクション部仕様

指導初回情報セクションは、初回面接を分割実施している場合は「初回面接②実施情報」を報告する際、初回面接を分割実施していない場合は「初回面接実施情報」を報告する際に表現される。項目は「XML用特定保健指導項目情報」の「初回面接実施情報」エントリと「保健指導計画情報」エントリを参照すること。健診後早期の初回面接（項目コード1022000016）は本セクションに設定すること。人が解釈するための説明ブロックはtext要素として存在するが値を持たない。entry要素を含む。セクションコードにはCDAセクションコードのうち「90030」を指定する。

指導初回情報セクションのXML仕様はセクションコードおよびセクションコードの表示名を除いて、表20と同一仕様。（指導初回情報セクションの場合、セクションコード(表20 No11.4.1)は「90030」、セクションコードの表示名(表20 No11.4.3)は「指導初回情報セクション」)

指導初回情報セクションのXMLサンプルを以下に示す。

```
<section>
  <code code="90030" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
    displayName="指導初回情報セクション"/>
  <text />

  <!-- 初回面接実施情報-->
  <entry>
    ...
  </entry>

  <!-- 保健指導計画情報-->
  <entry>
    ...
  </entry>
</section>
```

3.3.4.2 初回面接実施情報エントリ仕様

指導初回情報セクションに含まれるエントリは初回面接実施情報エントリと保健指導計画情報エントリの2つである。動機付け支援では、初回面接実施情報エントリだけからなる。
※保健指導機関から保険者が受領するファイルには、「初回面接情報」（項目コード1022000090）が付与されている場合があるので、これを削除すること。

初回面接実施情報エントリのXML仕様は、初回面接の支援形態におけるコード値※を除いて、表21と同一仕様。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

- ※初回面接の支援形態(表 21 No11.9.1)におけるコード値は以下のとおり設定する
- ・初回面接を分割して実施している場合
「1：個別支援（対面）」～「6：電子メール等」のいずれかを設定する
 - ・初回面接を分割して実施していない場合
「1：個別支援（対面）」～「4：グループ支援（遠隔）」のいずれかを設定する

以上の仕様にもとづき、初回面接実施情報のエントリのサンプルを以下に示す。

```

<component>
  <section>
    <code code="90030" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="指導初回情報セクション"/>
    <text/>
    <entry>
      <!-- 初回面接実施情報 -->
      <act classCode="ACT" moodCode="EVN">
        <!-- 初回面接の支援形態:1=個別支援(対面) (項目コード:1022000012) -->
        <code code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.24080"/>
        <!-- 初回面接の実施日付 (項目コード:1022000011) -->
        <effectiveTime value="20240720"/>
        <performer>
          <assignedEntity>
            <id nullFlavor="NI"/>
            <!-- 初回面接の実施者のコード:1=医師 (項目コード:1022000015) -->
            <code code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.3020"/>
          </assignedEntity>
        </performer>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <!-- 初回面接の実施時間(項目コード:1022000013) -->
            <code code="1022000013"/>
            <effectiveTime>
              <width value="30" unit="min"/>
            </effectiveTime>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <!-- 健診後早期の初回面接(項目コード:1022000016) -->
            <code code="1022000016"/>
            <value xsi:type="CD" code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.24070"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
      </act>
    </entry>
  </section>
</component>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.3.4.3 保健指導計画情報エントリ仕様

指導初回情報セクションに含まれるエントリの2つめは保健指導計画情報エントリである。このエントリは動機付け支援以外の場合に出現し、積極的支援の場合には必須である。なお、動機付け支援相当の場合は、情報を入手した場合のみ出現させる。

保健指導計画情報エントリのXML仕様は表 22 と同一。

以上の仕様にもとづき、保健指導計画情報のエントリのサンプルを以下に示す。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

```

<component>
  <section>
    <code code="90030" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="指導初回情報セクシ
    ヨン"/>
    <text/>
    <entry>
      <!-- 初回面接実施情報 -->
      :
    </entry>
    <entry>
      <!-- 保健指導計画情報 -->
      <act classCode="ACT" moodCode="INT">
        <code nullFlavor="NA"/>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 継続的支援予定期間 -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="INT">
            <code code="1021000020"/>
            <value xsi:type="PQ" value="6" unit="wk"/>
          </observation>
          <entryRelationship typeCode="COMP">
            <!-- 計画上の腹囲・体重の改善 -->
            <observation classCode="OBS" moodCode="INT">
              <code code="1021001053"/>
              <value xsi:type="CD" code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.24090/>
            </observation>
          </entryRelationship>
          <entryRelationship typeCode="COMP">
            <!-- 計画上の生活習慣の改善(食習慣) -->
            <observation classCode="OBS" moodCode="INT">
              <code code="1021001054"/>
              <value xsi:type="CD" code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.24100/>
            </observation>
          </entryRelationship>
          :
        </act>
      </entry>
    </section>
  </component>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.3.5 指導集計情報セクション

3.3.5.1 セクション部仕様

- ※ 動機付け支援では本セクションは出現しない。
- ※ 積極的支援では必ず出現する。
 なお、動機付け支援相当の場合、情報を入手した場合に報告対象となることから本セクションは任意とする
- ※ 保健指導機関から保険者が受領するファイルの当該セクションのまま加工は不要である。
- ※ 実施していない形態については、出現させなくても良い。

指導集計情報セクションは、計画段階での集計的な情報および実績報告時の集計的な情報をそれぞれ異なるエントリで記述する。

積極的支援では、本セクションが必ず出現し、計画上の集計情報に関するエントリと実施上の集計情報のエントリの2つが必ず出現する。

各エントリの説明ブロックは text 要素として存在するが値を持たない。本セクションコードには CDA セクションコードのうち「90070」を指定する。

項目は「XML 用特定保健指導項目情報」の「計画上の集計情報」エントリと「実施上の集計情報」エントリを参照すること。

指導集計情報セクションの XML 仕様を表 25 に示す。

表 25 指導集計情報セクション XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.3	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		0..1	O
11.4	code	CDA セクションコード。	1..1	M
11.4.1	@code	セクションコード「90070」を設定。	1..1	M
11.4.2	@codeSystem	セクションコードのコード体系を示す OID。「1.2.392.200119.6.1010」を設定。	1..1	M
11.4.3	@displayName	セクションコードの表示名。「指導集計情報セクション」を設定。	0..1	O
11.6	text	セクションのテキスト記述。	1..1	M
11.6.1	text()	値が存在しない	0	X
11.7	entry[1]	計画段階の集計情報を格納する entry	1..1	M
11.7(繰り返し)	entry[2]	実施上の集計情報を格納する entry	1..1	M

指導集計情報セクションの XML サンプルを以下に示す。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

```
<section>
  <code code="90070" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
    displayName="指導集計情報セクション"/>
  <text />

  <!-- 計画上の集計情報-->
  <entry>
    ...
  </entry>

  <!-- 実施上の集計情報-->
  <entry>
    ...
  </entry>
</section>
```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.3.5.2 計画上の集計情報エントリおよび実施上の集計情報エントリの仕様

計画上の集計情報エントリと実施上の（実施済みの）集計情報エントリの両方を格納する。両者の基本構造は同一であり、異なる点は1）格納すべき報告項目が「XML用特定保健指導項目情報」の「計画上の集計情報」エントリと「実施上の集計情報」エントリで示すように一部項目が異なること、2）計画と実施のエントリの区別が表26のXML仕様No.11.8.2で示されるmoodCode、および同表XML仕様No.11.14.2で示されるmoodCodeが、計画上の集計情報の場合には計画を意味する「INT」であるのに対して、実施上の集計情報の場合には結果を意味する「EVN」となることにより記述されることである。

以下の説明ではこのエントリに格納される報告項目の種類に対応して格納の仕方が変わることがあるため、必要に応じて別に提供される「XML用保健指導項目情報」を参照すること。

集計情報エントリのXML仕様を表26に示す（行Noは再掲）。

表26 集計情報エントリのXML仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.7	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry		2..2	M
11.8	act	実施情報または計画情報	1..1	M
11.8.1	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass から、意図して実施される行為を示す「ACT」を設定。	1..1	M
11.8.2	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActMood から、 計画上の集計情報の場合には計画を示す「INT」を設定。 実施上の集計情報の場合には結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.9	act/code	アクトブロック	1..1	M
11.9.1	@nullFlavor	「NA」を設定。「NI」でないことに注意。	1..1	M

上記につづいて、集計情報に関する報告項目について下記の表27（行Noは再掲）の

act/entryRelationship の繰り返しで記述する。

なお表27において赤字で記載するように、個々の項目によって設定する値は異なり、具体的な設定すべき値は別に <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html> から提供される「XML用保健指導項目情報」を参照する必要がある。

表27 集計情報エントリのXML仕様（つづき）

11.10	act/entryRelationship	保健指導情報項目の1項目分のブロック情報	1..18	M
11.10.1	@typeCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActRelationship より一連グループを構成する個々の結果を表現するために、「COMP」を設定。	1..1	M
11.11	act/entryRelationship/observation	個々の項目情報	1..1	M
11.11.1	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass から、観察行為を示す「OBS」を設定。	1..1	M
11.11.2	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActMood から、 計画上の集計情報の場合には計画を示す「INT」を設定。 実施上の集計情報の場合には結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.12	act/entryRelationship/observation/code	保健指導情報項目コード情報	1..1	M
11.12.1	@code	保健指導項目コード	1..1	M
11.12.2	@codeSystem	保健指導項目コード OID 「1.2.392.200119.6.1006」を設定するか、または属性自体を省略する。	0..1	O

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

11.13	act/entryRelationship/observation/value	保健指導情報項目の値	1..1	M
11.13.1	@xsi:type	「XML用保健指導項目情報」のXML用データ型を設定。 回数値の場合:「INT」 時間値または数値の場合:「PQ」 支援の終了日は、文字列型「ST」とする。	1..1	M
11.13.5	@code	属性が出現しない	0	X
11.13.6	@codeSystem	属性が出現しない	0	X
11.13.7	text()	文字列型「ST」の場合に出現し、文字列値を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O
11.13.2	@value	数値型「PQ」または整数型「INT」の場合に出現し、数値を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O
11.13.3	@unit	数値型「PQ」の場合で単位の記述を必要とする場合に出現し、「XML用保健指導項目情報」のXML用単位文字列を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O

以上の仕様にもとづき、集計情報エントリのXMLサンプルを以下に示す。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

```

<component>
  <section>
    <code code="90070" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="指導集計情報セクション"/>
    <text/>
    <entry>
      <!-- 計画段階の集計情報 -->
      <act classCode="ACT" moodCode="INT">
        <code nullFlavor="NA"/>
        <!--act/codeを設定-->
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 計画上の継続的な支援の実施回数（個別支援(対面) -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="INT">
            <code code="1041010010"/>
            <value xsi:type="INT" value="1"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 計画上の継続的な支援の合計実施時間（個別支援(対面) -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="INT">
            <code code="1041020010"/>
            <value xsi:type="PQ" value="10" unit="min"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 計画上の継続的な支援の実施回数(グループ支援(遠隔)) -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="INT">
            <code code="1041010040"/>
            <value xsi:type="INT" value="1"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!-- 計画上の継続的な支援の合計実施時間(グループ支援(遠隔)) -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="INT">
            <code code="1041020040"/>
            <value xsi:type="PQ" value="10" unit="min"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
      :
    </act>
  </entry>
  :
  次ページのサンプルに続く

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

前記サンプルに続く、実施結果の集計情報セクションのサンプルの抜粋は以下のとおりである。実施上の継続的な支援の終了日も他のデータ項目と同様にvalue要素で記述する。

```

:
<entry>
  <!-- 実施上の集計情報 -->
  <act classCode="ACT" moodCode="EVN">
    <code nullFlavor="NA" />
    <entryRelationship typeCode="COMP">
      <!-- 継続的な支援の実施回数(個別支援(対面)) 1回 -->
      <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
        <code code="1042010010" />
        <value xsi:type="INT" value="1" />
      </observation>
    </entryRelationship>
    <entryRelationship typeCode="COMP">
      <!-- 継続的なポイント(プロセス評価の合計) 140ポイント -->
      <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
        <code code="1042010070" />
        <value xsi:type="INT" value="140" />
      </observation>
    </entryRelationship>
    <entryRelationship typeCode="COMP">
      <!-- 禁煙の指導回数 1回 -->
      <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
        <code code="1042800118" />
        <value xsi:type="INT" value="1" />
      </observation>
    </entryRelationship>
    <entryRelationship typeCode="COMP">
      <!-- 実施上の継続的な支援の終了日 -->
      <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
        <code code="1042000022" />
        <value xsi:type="ST">20250120</value>
      </observation>
    </entryRelationship>
  </act>
</entry>
</section>
</component>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.3.6 最終評価情報セクション

3.3.6.1 セクション部仕様

※本仕様では中間評価情報セクションは存在しない。
 ※保健指導機関から保険者が受領するファイルの当該セクションのまま加工は不要である。

最終評価情報セクションは、特定保健指導の実績評価を実施（または実施しようとした）情報を格納するものであり、ひとつのエントリで構成される。

本セクション内の人が解釈するための説明ブロックは text 要素として存在するが値を持たない。セクションコードには CDA セクションコードのうち、最終評価情報セクション「90060」を指定する。項目は「XML 用特定保健指導項目情報」の「実績評価情報」エントリを参照すること。

最終評価情報セクションの XML 仕様を表 30 に示す。

表 30 評価情報セクション XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.3	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		0..1	O
11.4	code	最終評価情報データ CDA セクションコード。	1..1	M
11.4.1	@code	最終評価情報セクションでは「90060」を設定。	1..1	M
11.4.2	@codeSystem	セクションコードのコード体系を示す OID。「1.2.392.200119.6.1010」を設定。	1..1	M
11.4.3	@displayName	セクションコードの表示名。「最終評価情報セクション」を設定。	0..1	O
11.6	text	セクションのテキスト記述。	1..1	M
11.6.1	text()	値が存在しない	0	X
11.7	entry	最終評価情報を格納する entry	1..1	M

最終評価情報セクションの XML サンプルを以下に示す。

```
<section>
  <code code="90060" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
    displayName="最終評価情報セクション"/>
  <text />

  <!-- 最終評価の記述-->
  <entry>
    ...
  </entry>
</section>
```

3.3.6.2 最終評価情報エントリ仕様

最終評価情報セクションに含まれるエントリは最終評価情報エントリのひとつだけである。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

最終評価情報エントリの XML 仕様を表 31（XML 仕様 NO は一部再掲）に示す。
 ※保健指導機関から保険者が受領するファイルには、「実績評価情報」（項目コード 1042001090）が付与されている場合があるので、これを削除すること。

表 31 最終評価情報エントリの XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.7	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry		1..1	M
11.8	act	最終評価情報	1..1	M
11.8.1	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClass から、意図して実施される行為を示す「ACT」を設定。	1..1	M
11.8.2	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン AntMood から、実施結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.9	act/code	実績評価の支援形態または確認方法	1..1	M
11.9.1	@code	「XML 用特定保健指導項目情報」の項目番号 1602 を格納する。 1: 個別支援(対面)、2: 個別支援(遠隔)、3: グループ支援(対面)、4: グループ支援(遠隔)、5: 電話、6: 電子メール等のいずれかひとつのコード値を設定。	1..1	M
11.9.2	@codeSystem	OID「1.2.392.200119.6.24010」を設定する。	1..1	M
11.14	act/effectiveTime	実績評価の実施日付	1..1	M
11.14.1	@value	実績評価実施日の値 YYYYMMDD	1..1	M
11.15	act/performer	実績評価の実施者に関する情報	1..1	M
11.16	act/performer/assignedEntity	実績評価の実施者	1..1	M
11.16.1	id/@nullFlavor	「NI」を設定。「NA」ではない。	1..1	M
11.16.2	code/@code	「XML 用特定保健指導項目情報」の項目番号 1603 を格納する。 実績評価の実施者のコード 「1: 医師、2: 保健師、3: 管理栄養士、4: その他」のいずれかひとつのコード値を設定。	1..1	M
11.16.3	code/@codeSystem	実績評価の実施者のコードのOID 1.2.392.200119.6.3020	1..1	M
11.19	act/performer/assignedEntity/representedOrganization	評価実施機関情報	0..1	O
11.19.1	id/@extension	実施機関番号	1..1	M
11.19.2	id/@root	OID「1.2.392.200119.6.102」	1..1	M
11.19.4	name/text()	実施機関の名称	1..1	M

上記について、実績評価情報に関する報告項目のうち「XML 用保健指導項目情報」の番号 1604～1615 の 11 項目について下記の表 31（行 No は再掲）の act/entryRelationship の繰り返しにより記述する。番号 1601～1603 の 3 項目（実績評価の実施日付、実績評価の支援形態又は確認方法、実績評価の実施者）については、表 31 の各要素等により格納されている。また、番号 1607, 1608（実績評価時の収縮期血圧、実績評価時の拡張期血圧）の 2 項目は情報を入手した場合には格納することとなっている。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

なお表 31 において赤字で記載するように、個々の項目によって設定する値は異なり、具体的な設定すべき値は別に <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html> から提供される「XML 用保健指導項目情報」を参照する必要がある。

表 31 評価情報エントリの XML 仕様（つづき）

11.10	act/entryRelationship	評価情報項目の 1 項目分のブロック情報	5.8	M
11.10.1	@typeCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActRelationship より一連グループを構成する個々の結果を表現するために、「COMP」を設定。	1..1	M
11.11	act/entryRelationship/observation	個々の項目情報	1..1	M
11.11.1	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClass から、観察行為を示す「OBS」を設定。	1..1	M
11.11.2	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActMood から、結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.12	act/entryRelationship/observation/code	項目コード情報	1..1	M
11.12.1	@code	保健指導項目コード	1..1	M
11.12.2	@codeSystem	保健指導項目コード OID 「1.2.392.200119.6.1006」を設定するか、または属性自体を省略する。	0..1	O
11.13	act/entryRelationship/observation/value	保健指導情報項目の値	1..1	M
11.13.1	@xsi:type	XML 用保健指導項目情報の XML 用データ型を設定。 回数値の場合:「INT」 時間値または数値の場合:「PQ」	1..1	M
11.13.5	@code	コード型「CD」の場合に出現し、報告すべきコード値を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O
11.13.6	@codeSystem	コード型「CD」の場合に出現し、コード表のOID。XML 用保健指導項目情報のOIDを設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O
11.13.2	@value	数値型「PQ」または整数型「INT」の場合に出現し、数値を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O
11.13.3	@unit	数値型「PQ」の場合で単位の記述を必要とする場合に出現し、XML 用保健指導項目情報の XML 用単位文字列を設定。 その他の型の場合には出現しない。	0..1	O

以上の仕様にもとづき、最終評価情報のエントリのサンプルを以下に示す。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

```

<component>
  <section>
    <code code="90060" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="最終評価情報セクション"/>
    <text />
    <!--最終評価-->
    <entry>
      <!-- 最終評価実施情報 -->
      <act classCode="ACT" moodCode="EVN">
        <!--実績評価の支援形態 -->
        <code code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.24010"/>
        <!--実績評価の実施日付：2024年10月20日-->
        <effectiveTime value="20241020"/>
        <performer>
          <assignedEntity>
            <id nullFlavor="NI"/>
            <!--実績評価の実施者(項目コード:1032000015) -->
            <code code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.3020"/>
          </assignedEntity>
        </performer>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!--実績評価時の腹囲 -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="1032001031"/>
            <value xsi:type="PQ" value="80.0" unit="cm"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!--実績評価時の体重 -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="1032001032"/>
            <value xsi:type="PQ" value="77.0" unit="kg"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        :
        <entryRelationship typeCode="COMP">
          <!--実績評価時の保健指導による生活習慣の改善(運動習慣) -->
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="1032001041"/>
            <value xsi:type="CD" code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.24100"/>
          </observation>
        </entryRelationship>
        :
      </act>
    </entry>
  </section>
</component>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.3.7 指導機関情報セクション

3.3.7.1 セクション部仕様

※ 保健指導を委託している場合、保健指導情報ファイル中の指導初回①情報セクション、指導初回情報セクション、継続支援情報セクション、中間評価セクション、最終評価セクションから保険者側で生成する。

※ 保険者直営実施の場合においても必ず存在する。

保健指導情報ファイルに出現する保健指導区分と各セクションの関係を下記に示す。

セクション(セクションコード)	動機付け支援	積極的支援	動機付け支援相当
指導初回①情報セクション(90020)	初回面接を分割実施した場合、必須	初回面接を分割実施した場合、必須	初回面接を分割実施した場合、必須
指導初回情報セクション(90030)	必須	必須	必須
継続支援情報セクション(90040)	任意	必須	任意
中間評価セクション(90050)	任意	任意	任意
最終評価セクション(90060)	出現する	出現する	出現する

指導機関情報セクションでは、初回面接（初回面接①、初回面接②含む）、中間評価、継続支援、実績評価を実施した特定保健指導機関（直営の場合を含む）に関する情報、支援形態（主対応内容）、実施内容を、ひとつの実施機関について一つの指導機関情報エントリで記述する。

実施内容が継続支援の場合において、ひとつの実施機関が、複数の異なる支援形態（1：個別支援(対面)、2：個別支援(遠隔)、3：グループ支援(対面)、4：グループ支援(遠隔)、5：電話、6：電子メール等）を実施した場合は、この支援形態コードが最も小さい（若い）支援形態を主たる支援形態として採用することとし、その他の支援形態は格納しない。

たとえば、指導機関Aが1：個別支援(対面)、3：グループ支援(対面)の両方を実施した場合には、実施機関は「指導機関A」、支援形態（主対応内容）は「1：個別支援(対面)」とみなして記述する。

異なる複数の機関により継続的な支援（中間評価を実施した継続的な支援を含む）が実施された場合には、異なる指導機関の数だけ委託先情報エントリが繰り返される。

繰り返しの最大回数に制限を設けないこととし、実施した機関数分の情報を出力する。

ひとつの指導機関情報エントリには「XML用特定保健指導項目情報」の「実施機関情報」エントリの項目情報が表現される。

本セクション内の人が解釈するための説明ブロックは text 要素として存在するが値を持たない。セクションコードには CDA セクションコードのうち「90080」を指定する。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

指導機関情報セクションの XML 仕様を表 33 に示す。

表 33 指導機関情報セクション XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.3	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		1..1	M
11.4	code	指導機関情報 CDA セクションコード。	1..1	M
11.4.1	@code	セクションコード「90080」を設定。	1..1	M
11.4.2	@codeSystem	セクションコードのコード体系を示す OID。 「1.2.392.200119.6.1010」を設定。	1..1	M
11.4.3	@displayName	セクションコードの表示名。「委託先情報セクション」を設定。	0..1	O
11.6	text	セクションのテキスト記述。	1..1	M
11.6.1	text()	値が存在しない	0	X
11.7	entry[1..]	実施情報を格納する指導機関情報エントリ	1..*	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

指導機関情報セクションの XML サンプルを以下に示す。

```
<section>
  <code code="90080" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010"
    displayName="指導機関情報セクション"/>
  <text />

  <!--指導機関情報の記述 -->
  <entry>
    ...
  </entry>
  : くりかえし
  <!--指導機関情報の記述 -->
  <entry>
    ...
  </entry>
  : くりかえし
</section>
```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

3.3.7.2 指導機関情報エントリ仕様

指導機関情報セクションに含まれる指導機関情報エントリは、異なる実施機関と実施内容の組み合わせごとに1個出現する。同一の実施機関と実施内容の組み合わせで指導機関情報エントリが複数出現してはならない。

同エントリのXML仕様を表34（XML仕様NOは一部再掲）に示す。

表 34 指導機関情報エントリのXML仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
11.7	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry		1..*	M
11.8	act	保健指導機関での実施情報	1..1	M
11.8.1	@classCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActClass から、意図して実施される行為を示す「ACT」を設定。	1..1	M
11.8.2	@moodCode	HL7 ボキャブラリドメイン AntMood から、実施結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.9	act/code	支援形態(主対応内容を設定)	1..1	M
11.9.1	@code	支援形態のコード値 1:個別支援(対面)、2:個別支援(遠隔)、3:グループ支援(対面)、4:グループ支援(遠隔)、5:電話、6:電子メール等	1..1	M
11.9.2	@codeSystem	対応内容区分のOID 1.2.392.200119.6.24010	1..1	M
11.14	act/effectiveTime	支援の実施日 要素が出現しない	0	X
11.15	act/performer	支援を実施した人に関する情報	1..1	M
11.16	act/performer/assignedEntity	支援実施者(指導機関情報のみを設定)	1..1	M
11.16.1	id/@nullFlavor	「NI」を設定。「NA」ではない。	1..1	M
11.16.2	code/@code	属性が出現しない	0	X
11.16.3	code/@codeSystem	属性が出現しない	0	X
11.19	act/performer/assignedEntity/representedOrganization	指導機関情報	1..1	M
11.19.1	id/@extension	実施機関番号 実施機関番号がない場合には 属性 extension は出現しない。	0..1	O
11.19.2	id/@root	OID「1.2.392.200119.6.102」 実施機関番号がない場合には 属性 root は出現しない。	0..1	O
11.19.3	id/@nullFlavor	実施機関番号がない場合にのみ 属性 nullFlavor が出現し、属性値として「NI」を設定。「NA」ではない。	0..1	O
11.19.4	name/text()	指導実施機関の名称	1..1	M
11.10	act/entryRelationship	指導機関情報項目(実施内容を設定)	1..1	M
11.10.1	@typeCode	HL7 ボキャブラリドメイン ActRelationship より一連グループを構成する個々の結果を表現するために、「COMP」を設定。	1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

11.11	act/entryRelationship/observation	個々の項目情報	1..1	M
11.11.1	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActClass から、観察行為を示す「OBS」を設定。	1..1	M
11.11.2	@moodCode	HL7 ポキャブラリドメイン ActMood から、結果を示す「EVN」を設定。	1..1	M
11.12	act/entryRelationship/observation/code	項目コード情報	1..1	M
11.12.1	@code	保健指導項目コード「1042000086」を設定	1..1	M
11.12.2	@codeSystem	保健指導項目コード OID 「1.2.392.200119.6.1006」を設定するか、または属性自体を省略する。	0..1	O
11.13	act/entryRelationship/observation/value	保健指導情報項目の値	1..1	M
11.13.1	@xsi:type	XML 用保健指導項目情報の XML 用データ型を設定。	1..1	M
11.13.5	@code	実施内容のコード値 1: 初回面接（分割実施以外）、2: 初回面接①、3: 初回面接②、4: 中間評価、5: 継続的支援、6: 実績評価	1..1	M
11.13.6	@codeSystem	「実施内容」のOID「1.2.392.200119.6.18150」を設定	1..1	M

以上の仕様にもとづき、指導機関情報エントリのサンプルを以下に示す。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

```

<entry>
  <!-- 指導機関情報（指導機関 1） -->
  <act classCode="ACT" moodCode="EVN">
    <!-- 主対応内容コード：グループ支援(対面)-->
    <code code="3" codeSystem="1.2.392.200119.6.24010"/>
    <performer>
      <assignedEntity>
        <id nullFlavor="NI"/>
        <representedOrganization>
          <!-- 指導機関番号 -->
          <id extension="1122334455" root="1.2.392.200119.6.102"/>
          <!-- 指導機関名称 -->
          <name>東京保健指導センターA</name>
        </representedOrganization>
      </assignedEntity>
    </performer>
    <!-- 実施内容：初回面接（分割実施以外） -->
    <entryRelationship typeCode="COMP">
      <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
        <code code="1042000086"/>
        <value code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.18150" xsi:type="CD"/>
      </observation>
    </entryRelationship>
  </act>
</entry>
<entry>
  <!-- 指導機関情報（指導機関 2） -->
  <act classCode="ACT" moodCode="EVN">
    <!-- 主対応内容コード：電話 -->
    <code code="5" codeSystem="1.2.392.200119.6.24010"/>
    <performer>
      <assignedEntity>
        <id nullFlavor="NI"/>
        <representedOrganization>
          <!-- 指導機関番号はない -->
          <id nullFlavor="NI"/>
          <!-- 指導機関名称 -->
          <name>神宮保健指導センター B</name>
        </representedOrganization>
      </assignedEntity>
    </performer>
    <!-- 実施内容：実績評価 -->
    <entryRelationship typeCode="COMP">
      <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
        <code code="1042000086"/>
        <value code="6" codeSystem="1.2.392.200119.6.18150" xsi:type="CD"/>
      </observation>
    </entryRelationship>
  </act>
</entry>

```

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

4. OID 表

本文書中で記載されている各種コードのコード体系コード（OID）は、別表 OID 一覧表を参照すること。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 4
特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書	2023.03.31

Ver.4

本説明文書は、厚生労働省保険局医療介護連携政策課医療費適正化対策推進室により修正されました。また、「第4期特定健診・特定保健指導の見直しに関する検討会」の下に設置された「システム改修に関するワーキンググループ」の作業班メンバーや、ここに記載していない多くの方々の献身的な貢献により検討された成果に基づいています。

システム改修に関するワーキンググループ作業班

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<!-- edited with XMLSpy v2007 sp2 (http://www.altova.com) by HOSHIMOTO Hiroyuki (The University of Tokyo) -->
<xs:schema elementFormDefault="qualified" targetNamespace="urn:hl7-org:v3" xmlns:xs="http://www.w3.org/2001/XMLSchema" xmlns="urn:hl7-org:v3" xmlns:mif="urn:hl7-org:v3/mif">
  <!-- Edited by HOSHIMOTO Hiroyuki, The University of Tokyo Hospital -->
  <!-- Version 20061025 be-ta -->
  <!-- このスキーマは、HL7v3-CDAR2のPOCD_MT000040.xsdから、必要な要素を残し、いくつかの属性に値の制約を加えたものです。 -->
  <!-- ***** -->
  * XML schema for message type POCD_MT000040. * Generated by XMLITS version 2.0 * * Copyright (c) 2002, 2003, 2004, 2005 Health
  Level Seven. All rights reserved. * Redistribution and use in source and binary forms, with or without * modification, are permitted provided that
  the following conditions * are met: * 1. Redistributions of source code must retain the above copyright * notice, this list of conditions and the
  following disclaimer. * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright * notice, this list of conditions and the following
  disclaimer in the * documentation and/or other materials provided with the distribution. * 3. All advertising materials mentioning features or use
  of this software * must display the following acknowledgement: * This product includes software developed by Health Level Seven. * THIS
  SOFTWARE IS PROVIDED BY HEALTH LEVEL SEVEN, INC. AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND * ANY EXPRESS OR IMPLIED
  WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE * IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR
  A PARTICULAR PURPOSE * ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE * FOR
  ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL * DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT
  LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS * OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS
  INTERRUPTION) * HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT * LIABILITY,
  OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY * OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN
  IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF * SUCH DAMAGE. *
  *****
  -->
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>Generated using schema builder version 2.0. Stylesheets: RoseTreeToMIFStaticModel.xsl version: 1.1 StaticMifToXsd.xsl
    version 2.0</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  <xs:include schemaLocation="./coreschemas/datatypes_hcgv08.xsd"/>
  <xs:include schemaLocation="./coreschemas/voc_hcgv08.xsd"/>
  <xs:include schemaLocation="./coreschemas/narrativeBlock_hcgv08.xsd"/>
  <!-- CDA本体の入り口 -->
  <xs:element type="POCD_MT000040.ClinicalDocument" name="ClinicalDocument"/>
  <!-- 以下は、POCD_MT000040の抜粋＋ローカルの制約 -->
  - <xs:complexType name="POCD_MT000040.InfrastructureRoot.typeId">
    - <xs:complexContent>
      - <xs:restriction base="II">
        <xs:attribute type="uid" name="root" fixed="2.16.840.1.113883.1.3" use="required"/>
        <xs:attribute type="st" name="extension" use="required"/>
      </xs:restriction>
    </xs:complexContent>
  </xs:complexType>
  - <xs:complexType name="POCD_MT000040.Act">
    - <xs:sequence>
      <xs:element type="CS" name="realmCode" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
      <xs:element type="POCD_MT000040.InfrastructureRoot.typeId" name="typeId" minOccurs="0"/>
      <xs:element type="II" name="templateId" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
      <xs:element type="II" name="id" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
      <xs:element type="CD" name="code"/>
      <xs:element type="ED" name="text" minOccurs="0"/>
      <xs:element type="CS" name="statusCode" minOccurs="0"/>
      <xs:element type="IVL_TS" name="effectiveTime" minOccurs="0"/>
      <xs:element type="CE" name="priorityCode" minOccurs="0"/>
      <xs:element type="CS" name="languageCode" minOccurs="0"/>
      <xs:element type="POCD_MT000040.Specimen" name="specimen" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
      <xs:element type="POCD_MT000040.Performer2" name="performer" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
      <xs:element type="POCD_MT000040.Author" name="author" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
      <xs:element type="POCD_MT000040.Participant2" name="participant" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
      <xs:element type="POCD_MT000040.EntryRelationship" name="entryRelationship" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    </xs:sequence>
    <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
    <xs:attribute type="x_ActClassDocumentEntryAct" name="classCode" use="required"/>
    <xs:attribute type="x_DocumentActMood" name="moodCode" use="required"/>
    <xs:attribute type="bl" name="negationInd" use="optional"/>
  </xs:complexType>
  - <xs:complexType name="POCD_MT000040.AssignedAuthor">
    - <xs:sequence>
      <xs:element type="II" name="id" maxOccurs="unbounded"/>
      <xs:element type="CE" name="code" minOccurs="0"/>
      <xs:element type="TEL" name="telecom" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    - <xs:choice>
      <xs:element type="POCD_MT000040.Person" name="assignedPerson" minOccurs="0"/>
      <xs:element type="POCD_MT000040.AuthoringDevice" name="assignedAuthoringDevice" minOccurs="0"/>
    </xs:choice>
    <xs:element type="POCD_MT000040.Organization" name="representedOrganization" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="RoleClassAssignedEntity" name="classCode" fixed="ASSIGNED" use="optional"/>
  </xs:complexType>
  - <xs:complexType name="POCD_MT000040.AssignedCustodian">
    - <xs:sequence>

```

```

        <xs:element type="POCD_MT000040.CustodianOrganization" name="representedCustodianOrganization"/>
    </xs:sequence>
    <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
    <xs:attribute type="RoleClassAssignedEntity" name="classCode" fixed="ASSIGNED" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.AssignedEntity">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="II" name="id" maxOccurs="unbounded"/>
    <xs:element type="CE" name="code" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="TEL" name="telecom" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.Person" name="assignedPerson" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.Organization" name="representedOrganization" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="RoleClassAssignedEntity" name="classCode" fixed="ASSIGNED" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.AssociatedEntity">
  - <xs:sequence>
    - <xs:element name="id" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0">
      - <xs:complexType>
        <xs:attribute type="st" name="extension" use="optional"/>
        - <xs:attribute name="root" use="optional">
          - <xs:simpleType>
            - <xs:restriction base="uid">
              <xs:pattern value="1.2.392.200119.6.209.1[0-9]{1,8}|1.2.392.200119.6.210.1[0-9]{1,8}"/>
            </xs:restriction>
          </xs:simpleType>
        </xs:attribute>
      </xs:complexType>
    </xs:element>
    <xs:element type="CE" name="code" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="TEL" name="telecom" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.Person" name="associatedPerson" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.Organization" name="scopingOrganization" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="RoleClassAssociative" name="classCode" use="required"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.Author">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="TS" name="time"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.AssignedAuthor" name="assignedAuthor"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="ParticipationType" name="typeCode" fixed="AUT" use="optional"/>
  <xs:attribute type="ContextControl" name="contextControlCode" fixed="OP" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.AuthoringDevice">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="CE" name="code" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="SC" name="softwareName" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="EntityClassDevice" name="classCode" fixed="DEV" use="optional"/>
  <xs:attribute type="EntityDeterminer" name="determinerCode" fixed="INSTANCE" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.ClinicalDocument">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="CS" name="realmCode" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.InfrastructureRoot.typeId" name="typeId"/>
    <xs:element type="II" name="templateId" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="II" name="id"/>
    - <xs:element name="code" minOccurs="0">
      - <xs:complexType>
        - <xs:complexContent>
          - <xs:restriction base="CD">
            <xs:attribute type="cs" name="code" use="required"/>
            <xs:attribute type="uid" name="codeSystem" fixed="1.2.392.200119.6.1001" use="optional"/>
          </xs:restriction>
        </xs:complexContent>
      </xs:complexType>
    </xs:element>
    <xs:element type="ST" name="title" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="TS" name="effectiveTime"/>
    <xs:element type="CE" name="confidentialityCode"/>
    - <xs:element name="languageCode" minOccurs="0">
      - <xs:complexType>
        - <xs:complexContent>
          - <xs:restriction base="CS">
            <xs:attribute type="cs" name="code" use="optional" default="ja-JP"/>
          </xs:restriction>
        </xs:complexContent>
      </xs:complexType>
    </xs:element>
  </xs:sequence>

```

```

        </xs:complexContent>
      </xs:complexType>
    </xs:element>
    <xs:element type="POCD_MT000040.RecordTarget" name="recordTarget" maxOccurs="unbounded"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.Author" name="author" maxOccurs="unbounded"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.DataEnterer" name="dataEnterer" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.Custodian" name="custodian"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.InformationRecipient" name="informationRecipient" maxOccurs="unbounded"
      minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.Participant1" name="participant" maxOccurs="2" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.DocumentationOf" name="documentationOf" maxOccurs="unbounded"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.Component2" name="component"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="ActClassClinicalDocument" name="classCode" fixed="DOCCLIN" use="optional"/>
  <xs:attribute type="ActMood" name="moodCode" fixed="EVN" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.Component2">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="POCD_MT000040.StructuredBody" name="structuredBody"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="ActRelationshipHasComponent" name="typeCode" fixed="COMP" use="optional"/>
  <xs:attribute type="bl" name="contextConductionInd" fixed="true" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.Component3">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="POCD_MT000040.Section" name="section"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="ActRelationshipHasComponent" name="typeCode" fixed="COMP" use="optional"/>
  <xs:attribute type="bl" name="contextConductionInd" fixed="true" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.Component4">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="INT" name="sequenceNumber" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="BL" name="seperatableInd" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.Observation" name="observation"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="ActRelationshipHasComponent" name="typeCode" fixed="COMP" use="optional"/>
  <xs:attribute type="bl" name="contextConductionInd" fixed="true" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.Custodian">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="POCD_MT000040.AssignedCustodian" name="assignedCustodian"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="ParticipationType" name="typeCode" fixed="CST" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.CustodianOrganization">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="II" name="id" maxOccurs="unbounded"/>
    <xs:element type="ON" name="name" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="TEL" name="telecom" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="AD" name="addr" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="EntityClassOrganization" name="classCode" fixed="ORG" use="optional"/>
  <xs:attribute type="EntityDeterminer" name="determinerCode" fixed="INSTANCE" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.DataEnterer">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="TS" name="time" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.AssignedEntity" name="assignedEntity"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="ParticipationType" name="typeCode" fixed="ENT" use="optional"/>
  <xs:attribute type="ContextControl" name="contextControlCode" fixed="OP" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.DocumentationOf">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="POCD_MT000040.ServiceEvent" name="serviceEvent"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="ActRelationshipType" name="typeCode" fixed="DOC" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.Entity">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="CS" name="realmCode" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.InfrastructureRoot.typeId" name="typeId" minOccurs="0"/>

```

```

        <xs:element type="II" name="templateId" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
        <xs:element type="II" name="id" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
        <xs:element type="CE" name="code" minOccurs="0"/>
        <xs:element type="ED" name="desc" minOccurs="0"/>
    </xs:sequence>
    <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
    <xs:attribute type="EntityClassRoot" name="classCode" use="optional" default="ENT"/>
    <xs:attribute type="EntityDeterminer" name="determinerCode" fixed="INSTANCE" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.Entry">
  - <xs:sequence>
    - <xs:choice>
      <xs:element type="POCD_MT000040.Act" name="act"/>
      <xs:element type="POCD_MT000040.Observation" name="observation"/>
      <xs:element type="POCD_MT000040.Organizer" name="organizer"/>
    </xs:choice>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="x_ActRelationshipEntry" name="typeCode" use="optional" default="COMP"/>
  <xs:attribute type="bl" name="contextConductionInd" fixed="true" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.EntryRelationship">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="INT" name="sequenceNumber" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="BL" name="seperatableInd" minOccurs="0"/>
    - <xs:choice>
      <xs:element type="POCD_MT000040.Act" name="act"/>
      <xs:element type="POCD_MT000040.Observation" name="observation"/>
      <xs:element type="POCD_MT000040.Organizer" name="organizer"/>
    </xs:choice>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="x_ActRelationshipEntryRelationship" name="typeCode" use="required"/>
  <xs:attribute type="bl" name="inversionInd" use="optional"/>
  <xs:attribute type="bl" name="contextConductionInd" use="optional" default="true"/>
  <xs:attribute type="bl" name="negationInd" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.InformationRecipient">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="POCD_MT000040.IntendedRecipient" name="intendedRecipient"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="x_InformationRecipient" name="typeCode" use="optional" default="PRCP"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.IntendedRecipient">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="II" name="id" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="AD" name="addr" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="TEL" name="telecom" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.Person" name="informationRecipient" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.Organization" name="receivedOrganization" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="x_InformationRecipientRole" name="classCode" use="optional" default="ASSIGNED"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.Observation">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="II" name="id" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    - <xs:element name="code">
      - <xs:complexType>
        - <xs:complexContent>
          - <xs:restriction base="CD">
            <xs:attribute type="cs" name="code" use="required"/>
            <xs:attribute type="uid" name="codeSystem" use="optional" default="1.2.392.200119.6.1006"/>
          </xs:restriction>
        </xs:complexContent>
      </xs:complexType>
    </xs:element>
    <xs:element type="ED" name="text" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="CS" name="statusCode" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="IVL_TS" name="effectiveTime" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="ANY" name="value" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="CE" name="interpretationCode" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="CE" name="methodCode" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="CD" name="targetSiteCode" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.Specimen" name="specimen" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.Performer2" name="performer" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.Author" name="author" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.Participant2" name="participant" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.EntryRelationship" name="entryRelationship" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.ReferenceRange" name="referenceRange" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>

```

```

</xs:sequence>
<xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
<xs:attribute type="ActClassObservation" name="classCode" use="required"/>
<xs:attribute type="x_ActMoodDocumentObservation" name="moodCode" use="required"/>
<xs:attribute type="bl" name="negationInd" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.ObservationRange">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="CD" name="code" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="ED" name="text" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="ANY" name="value" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="CE" name="interpretationCode" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="ActClassObservation" name="classCode" use="optional" default="OBS"/>
  <xs:attribute type="ActMood" name="moodCode" fixed="EVN.CRT" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.Organization">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="II" name="id" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="ON" name="name" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="TEL" name="telecom" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="AD" name="addr" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="EntityClassOrganization" name="classCode" fixed="ORG" use="optional"/>
  <xs:attribute type="EntityDeterminer" name="determiner" fixed="INSTANCE" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.Organizer">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="CS" name="realmCode" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.InfrastructureRoot.typeId" name="typeId" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="II" name="templateId" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="II" name="id" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="CD" name="code" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="CS" name="statusCode"/>
    <xs:element type="IVL_TS" name="effectiveTime" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.Specimen" name="specimen" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.Performer2" name="performer" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.Author" name="author" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.Participant2" name="participant" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.Component4" name="component" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="x_ActClassDocumentEntryOrganizer" name="classCode" use="required"/>
  <xs:attribute type="ActMood" name="moodCode" use="required"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.ParentDocument">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="CS" name="realmCode" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.InfrastructureRoot.typeId" name="typeId" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="II" name="templateId" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="II" name="id" maxOccurs="unbounded"/>
    <xs:element type="CD" name="code" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="ED" name="text" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="II" name="setId" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="INT" name="versionNumber" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="ActClassClinicalDocument" name="classCode" fixed="DOCCLIN" use="optional"/>
  <xs:attribute type="ActMood" name="moodCode" fixed="EVN" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.Participant1">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="CE" name="functionCode" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="IVL_TS" name="time" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.AssociatedEntity" name="associatedEntity"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="ParticipationType" name="typeCode" use="required"/>
  <xs:attribute type="ContextControl" name="contextControlCode" fixed="OP" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.Participant2">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="CS" name="realmCode" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.InfrastructureRoot.typeId" name="typeId" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="II" name="templateId" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="IVL_TS" name="time" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="CE" name="awarenessCode" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.ParticipantRole" name="participantRole"/>
  </xs:sequence>

```



```

    <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
    <xs:attribute type="ParticipationType" name="typeCode" use="required"/>
    <xs:attribute type="ContextControl" name="contextControlCode" fixed="OP" use="optional"/>
  </xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.ParticipantRole">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="CS" name="realmCode" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.InfrastructureRoot.typeId" name="typeId" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="II" name="templateId" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="II" name="id" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="CE" name="code" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="AD" name="addr" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="TEL" name="telecom" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
  - <xs:choice>
    <xs:element type="POCD_MT000040.PlayingEntity" name="playingEntity" minOccurs="0"/>
  </xs:choice>
    <xs:element type="POCD_MT000040.Entity" name="scopingEntity" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="RoleClassRoot" name="classCode" use="optional" default="ROL"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.Patient">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="PN" name="name" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="CE" name="administrativeGenderCode" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="TS" name="birthTime" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="EntityClass" name="classCode" fixed="PSN" use="optional"/>
  <xs:attribute type="EntityDeterminer" name="determinerCode" fixed="INSTANCE" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.PatientRole">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="II" name="id" maxOccurs="unbounded"/>
    <xs:element type="AD" name="addr" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="TEL" name="telecom" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.Patient" name="patient" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.Organization" name="providerOrganization" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="RoleClass" name="classCode" fixed="PAT" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.Performer1">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="CS" name="realmCode" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.InfrastructureRoot.typeId" name="typeId" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="II" name="templateId" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="CE" name="functionCode" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="IVL_TS" name="time" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.AssignedEntity" name="assignedEntity"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="x_ServiceEventPerformer" name="typeCode" use="required"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.Performer2">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="CS" name="realmCode" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.InfrastructureRoot.typeId" name="typeId" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="II" name="templateId" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="IVL_TS" name="time" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="CE" name="modeCode" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.AssignedEntity" name="assignedEntity"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="ParticipationPhysicalPerformer" name="typeCode" fixed="PRF" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.Person">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="PN" name="name" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="EntityClass" name="classCode" fixed="PSN" use="optional"/>
  <xs:attribute type="EntityDeterminer" name="determinerCode" fixed="INSTANCE" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.PlayingEntity">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="CS" name="realmCode" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.InfrastructureRoot.typeId" name="typeId" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="II" name="templateId" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="CE" name="code" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="PQ" name="quantity" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>

```

```

        <xs:element type="PN" name="name" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
        <xs:element type="ED" name="desc" minOccurs="0"/>
    </xs:sequence>
    <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
    <xs:attribute type="EntityClassRoot" name="classCode" use="optional" default="ENT"/>
    <xs:attribute type="EntityDeterminer" name="determinerCode" fixed="INSTANCE" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.RecordTarget">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="POCD_MT000040.PatientRole" name="patientRole"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="ParticipationType" name="typeCode" fixed="RCT" use="optional"/>
  <xs:attribute type="ContextControl" name="contextControlCode" fixed="OP" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.ReferenceRange">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="POCD_MT000040.ObservationRange" name="observationRange"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="ActRelationshipType" name="typeCode" fixed="REFV" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.Section">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="II" name="id" minOccurs="0"/>
    - <xs:element name="code">
      - <xs:complexType>
        - <xs:complexContent>
          - <xs:restriction base="CD">
            <xs:attribute type="cs" name="code" use="required"/>
            <xs:attribute type="uid" name="codeSystem" use="optional" default="1.2.392.200119.6.1010"/>
          </xs:restriction>
        </xs:complexContent>
      </xs:complexType>
    </xs:element>
    <xs:element type="ST" name="title" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="StrucDoc.Text" name="text" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.Author" name="author" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.Entry" name="entry" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="xs:ID" name="ID"/>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="ActClass" name="classCode" fixed="DOCSECT" use="optional"/>
  <xs:attribute type="ActMood" name="moodCode" fixed="EVN" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.ServiceEvent">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="II" name="id" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    - <xs:element name="code" minOccurs="0">
      - <xs:complexType>
        - <xs:complexContent>
          - <xs:restriction base="CE">
            - <xs:sequence>
              <xs:element type="ED" name="originalText" maxOccurs="0" minOccurs="0"/>
              <xs:element type="CR" name="qualifier" maxOccurs="0" minOccurs="0"/>
              <xs:element type="CD" name="translation" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
            </xs:sequence>
            <xs:attribute type="cs" name="code" use="required"/>
            <xs:attribute type="uid" name="codeSystem" fixed="1.2.392.200119.6.1002" use="optional"/>
            <xs:attribute type="st" name="codeSystemName" use="optional"/>
          </xs:restriction>
        </xs:complexContent>
      </xs:complexType>
    </xs:element>
    <xs:element type="IVL_TS" name="effectiveTime" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.Performer1" name="performer" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="ActClassRoot" name="classCode" use="optional" default="ACT"/>
  <xs:attribute type="ActMood" name="moodCode" fixed="EVN" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.Specimen">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="CS" name="realmCode" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.InfrastructureRoot.typeId" name="typeId" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="II" name="templateId" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.SpecimenRole" name="specimenRole"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="ParticipationType" name="typeCode" fixed="SPC" use="optional"/>
</xs:complexType>

```

```

- <xs:complexType name="POCD_MT000040.SpecimenRole">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="CS" name="realmCode" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.InfrastructureRoot.typeId" name="typeId" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="II" name="templateId" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="II" name="id" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"/>
    <xs:element type="POCD_MT000040.PlayingEntity" name="specimenPlayingEntity" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="RoleClassSpecimen" name="classCode" fixed="SPEC" use="optional"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="POCD_MT000040.StructuredBody">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="POCD_MT000040.Component3" name="component" maxOccurs="unbounded"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="NullFlavor" name="nullFlavor" use="optional"/>
  <xs:attribute type="ActClass" name="classCode" fixed="DOCBODY" use="optional"/>
  <xs:attribute type="ActMood" name="moodCode" fixed="EVN" use="optional"/>
</xs:complexType>
</xs:schema>

```

特定健診・特定保健指導の電子的なデータ標準様式

6-1A 特定保健指導 決済情報ファイル

仕様説明書

Version 4

仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

目次

1.	はじめに	1
1.1	目的	1
1.2	参考資料	1
1.3	記載内容の優先度	1
2.	文書項目	2
3.	XML 定義	3
3.1	特定保健指導決済情報 (healthGuidanceClaim)	9
3.2	利用情報 (encounter)	9
3.3	利用者情報 (subjectPerson)	9
3.4	特定保健指導利用券情報 (healthGuidanceCard)	10
3.5	決済情報 (settlement)	12
3.6	代行機関の処理結果 (agencyAdjudicationResult)	14
3.7	保険者の処理結果 (insurerAdjudicationResult)	14
3.8	オブジェクト識別子 (oid)	14
4.	コード表	15
5.	OID 仕様	17
6.	サンプル XML	18

仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

修正履歴

2008.04.03 V1.32 より以後の修正履歴

日付	版	修正内容
2008年4月3日	1.32	厚労省通知と連携
2009年3月30日	2	<p>※累積された誤記指摘を修正。 ※仕様上の曖昧さを解消するため、および理解を助けるための説明を追加。 ※XML仕様上の変更はない。</p> <p>1.1 説明を適正化。 1.3 説明を補足。 3 説明を補足。 表5 2.2 insurerCard→insuranceCard (既発表済みの正誤表の反映) 表6 healthGuidanceCard/maxInsuranceLimit の説明の修正 (既発表済みの正誤表の反映) ならびにそれに連動した 3.4 本文および表6の修正。 表7 3.4、3.5 説明の修正 (前項に連動した修正)</p>
2017年3月31日	3	<ul style="list-style-type: none"> ・仕様書中の「支援レベル」を「保健指導区分」に修正 ・3.2 利用情報の説明に「動機付け支援相当」「モデル実施」の説明を追加 ・3.4 特定保健指導利用券情報の説明および表7の3.1.2,3.3にセット券の説明を追加 ・4 コード表の表12に「5: 初回未完了」を追加 ・4 コード表の表13に「3: 動機付け支援相当」「4: モデル実施」を追加 ・特定健診情報/特定保健指導情報交換用共通 XML スキーマ(co08_V08.xsd)の「詳細な健診項目コード(別表8)」「保健指導実施時点コード(別表11)」「保健指導区分コード(別表12)」に新規コードを追加 ・1.2 参考資料の資料名を修正
2020年3月31日	3.1	<p>オンライン資格確認等システムを活用した特定健診情報等の保険者間引継ぎ実施に伴い、加入者を特定するための被保険者証等枝番の項目追加と特定健診情報等の閲覧用ファイルの新規追加に伴う変更内容を反映させた。</p> <p>■XML仕様上に関する修正 <被保険者証等枝番の追加に伴う修正></p> <p>2. 文書項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表1 項目一覧へ該当項目追加 <p>3. XML 定義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図3XML スキーマ構造へ該当項目追加 <p>3.3 利用者情報(subjectPerson)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表5 XML仕様へ該当項目の説明追加 <p>5. OID仕様</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表21 一覧への該当項目追加 <p>6. サンプルXML</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表22 への該当項目追加 ・XML サンプルに該当要素の記述追加 <p>7. XML スキーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導決済情報ファイル XML スキーマ

仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

		<p>(gc08_V08.xsd)への該当項目追加反映</p> <p><閲覧用ファイル追加に伴う修正></p> <p>4. コード表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表 14 実施区分コード (3:「匿名化済」を明記、5:新規追加、6~9:予備追加) ・表 17 種別コード (12:変更、14~20:予備追加) <p>7. XML スキーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導決済情報ファイル XML スキーマ (gc08_V08.xsd)への実施区分コードおよび種別コードの予備追加反映 <p>■XML 仕様上に関係のない修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バージョンを「3」から「3.1」に修正 ・各種サンプル XML の日付変更
2023年3月31日	4.0	<p>■XML 仕様上に関係する修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル実施の区分を削除 ・初回面接の早期実施が当日のみならず1週間以内に実施した場合も分割実施が認められたことによる表現の修正 ・実施区分コード、種別コードの名称変更に合わせて表 14、表 17 を修正 ・XML 名前空間を変更 (https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html) <p>■XML 仕様上に関係のない修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本仕様書のファイル名を変更 ・バージョンを「3.1」から「4」に修正 ・1.1 目的の厚労省通知との対応関係に係る記載を削除 ・7. XML スキーマの記載を削除 ・その他既存誤記及び見栄え修正

仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

特定保健指導決済情報ファイル仕様説明書

1. はじめに

1.1 目的

本書は、特定保健指導決済情報ファイルの XML 仕様を定めたものである。

1.2 参考資料

下記は、この文書で参照している標準仕様及び研究報告書等の名称、バージョン、並びにその説明の一覧である。

[1] 厚生労働省、「標準的な健診・保健指導プログラム（改定版）」

[2] 厚生労働省、「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」

[3] HL7 Inc, HL7 Version 3 Normative Edition 2006, <http://www.hl7.org/>.

[4] XML Schema Part 2: Datatypes, W3C Recommendation, <http://www.w3.org/TR/xmlschema-2/>.

※[1]、[2]については、厚生労働省HP「特定健診・特定保健指導について」

(<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html>) に公表されている最新版を参照すること。

1.3 記載内容の優先度

この文書の記載内容と最新の厚生労働省文書との記述に相違がある場合には、最新の厚生労働省通知(<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000165280.html>)との記述を優先するものとする。本文書と対をなして公表されている XML スキーマファイルでは、XML 要素や属性の出現多重度や選択性について、本文書での記載よりも緩い記述（制約条件が広い記述）になっていることがある。このような場合には、本文書に記載されている記述が優先するものとする。たとえば XML スキーマでは 1 回以上何度出現してもよいとなっている要素について、本文書では 1 回だけ必ず出現するものと記載しているケースでは、本文書に従うものとし、当該要素は 1 回だけ必ず出現しなければならない。同様にたとえば XML スキーマでは出現してもしなくても良い（出現がオプショナル）とされている属性や要素について、本文書では出現してもよいことが明示的に記載されていないケースでは、本文書に従うものとし、当該属性や当該要素は出現してはならない。

仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

2. 文書項目

特定保健指導の決済情報ファイルの項目を表1に示す。

表1 特定保健指導決済情報ファイル項目一覧

No	ファイルの記録内容	フィールド名称	記録内容
1	利用情報	実施区分	特定保健指導:「2」を記録
2		保健指導区分	「動機付け支援」「積極的支援」「動機付け支援相当」の別を記録
3		実施時点	特定保健指導の開始時・実績評価時等の別を記録
4	利用者情報	特定保健指導機関番号	特定保健指導機関番号を記録
5		保険者番号	特定保健指導の利用者が加入している保険者の保険者番号を記録
6		被保険者証等記号	特定保健指導の利用者の被保険者証等記号を記録
7		被保険者証等番号	特定保健指導の利用者の被保険者証等番号を記録
8		被保険者証等枝番	特定保健指導の利用者の被保険者証等枝番を記録
9		氏名	特定保健指導の利用者氏名を記録
10		生年月日	特定保健指導の利用者の年月日(西暦)を記録
11		男女区分	特定保健指導の利用者の性別を記録
12		郵便番号	特定保健指導の利用者の郵便番号を記録
13		利用券情報	利用券整理番号
14	特定健診受診券整理番号		保険者が記載した利用券の特定健診受診券整理番号を記録
15	有効期限		利用券の有効期限(年月日(西暦))を記録
16	窓口負担		窓口負担の種別(1~3)を記録
17			利用券に記載された負担額(率)を記録
18			窓口負担の種別(4:保険者負担上限額)を記録
19			利用券に記載された保険者負担上限額を記録
20	決済情報	単価	特定保健指導の単価を記録
21		支払割合	契約書に定められている請求時点の支払割合(%)を記録
22		実施済みポイント数	積極的支援の場合に実施済みのポイント数を記録
23		計画上のポイント数	計画上の継続的な支援のポイント数(合計)を記録
24		算定金額	保険者への請求金額と請求時点の利用者の窓口負担金額を記録
25		窓口負担金額	窓口負担徴収の状況を記録
26			特定保健指導の利用者が窓口で負担した金額を記録
27			請求金額
28	代行機関の処理結果	種別	データ種別を記録
29		記録年月日	記録年月日(西暦)を記録
30		返戻理由	代行機関による返戻理由コードを記録
31			代行機関による返戻理由等(詳細)を記録
32	保険者の処理結果	種別	データ種別を記録
33		記録年月日	記録年月日(西暦)を記録
34		過誤返戻理由	保険者による過誤返戻理由コードを記録
35			保険者による過誤返戻理由等(詳細)を記録

仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

3. XML 定義

XML 設計における基本方針として、できる限り単純な XML とするが、日付や識別子などのデータ型のモデルは、HL7 CDA R2 形式で記述される特定健診情報/特定保健指導情報ファイルとの整合性を考慮した。また、内容の妥当性の確認のために属性値と内容モデルとの共起制約のチェックが必要になるといった、XML スキーマだけでは単純に記述できないような制約は可能な限り用いないことを方針とした。

本書では、XML 仕様を表 2 に示す表形式で記述する。

「要素名」で示される行は、その表に示される XML 要素名である。この要素の子要素または属性を表中の各行に示す。このとき、灰色に網掛けした行は XML 要素を表し、網掛けされていない行は、属性またはテキスト内容を表す。

「要素/属性」列は、各行が示す項目が XML 要素の場合要素名を、属性の場合は属性名を表す。属性名の前には「@」を付与する。テキスト内容の場合は「テキスト内容」を示す。

「型」列は、「要素」「属性」「テキスト」の 3 種類の値をとり、それぞれ、その行が表す内容が、XML 要素、属性、テキスト内容であることを示す。

多重度は、指定された要素または属性の出現数の最小値と最大値とを「..」の両端に示す形で表現する。最大値に制限がない場合は「*」（アスタリスク）で示す。例えば、下表 2 の場合、interactionType 要素は、XML 中に 0 または 1 つのみ出現し、sender 要素は、1 つ以上複数個出現することを意味する。なお、多重度は、その項目の上位の項目が出現する場合の多重度となる。例えば下の例では、interactionType 要素の多重度が「0..1」で、その下位項目である code 属性の多重度が「1..1」であるということは、上位項目である interactionType 要素自体は省略することが可能であるが、interactionType 要素が出現する場合には、その下位項目である code 属性も必ず出現することを意味している。

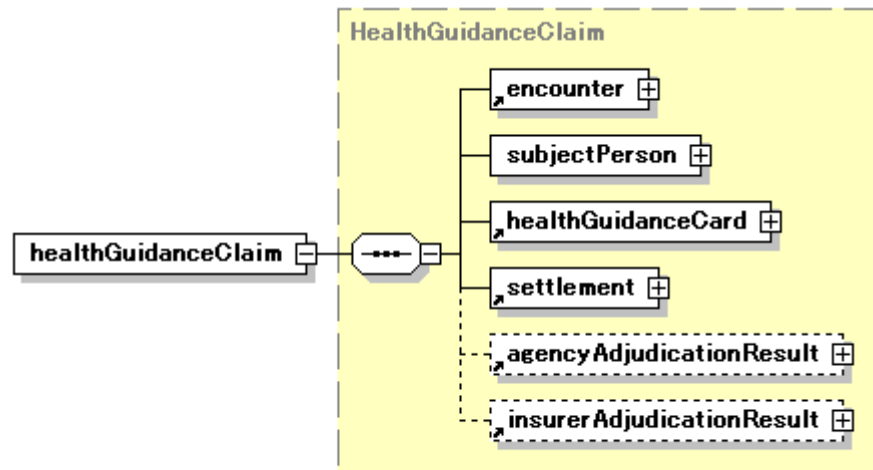
最小多重度が 0 である項目は、その要素または属性が存在しない場合があることを示す。もし記述すべき値がない（または記述すべき値が空文字列）場合には、その要素自体または属性自体を省略しなければならない。要素または属性を出現させて値は空文字列にすることは許可されない。

ここで掲げる表は XML タグ仕様の読み方を示すために記載した架空のものであり、本仕様とは無関係のものとして見る必要がある。

表 2 本書における XML 仕様の表記例

要素名		index		
No	要素 / 属性	型	多重度	説明
1.1	interactionType	要素	0..1	種別
1.1.1	@code	属性	1..1	表 2 のコード値
1.2	sender	要素	1..*	送付元機関
1.2.1	id	要素	1..1	送付元機関番号（以下のいずれかを値にとる） 特定健診機関番号・特定保健指導機関番号：半角数字 10 桁 代行機関番号：半角数字 8 桁 保険者番号：半角数字 8 桁以内
1.2.1.1	@root	属性	1..1	機関番号を識別するオブジェクト識別子
1.2.1.2	@extension	属性	1..1	機関番号文字列

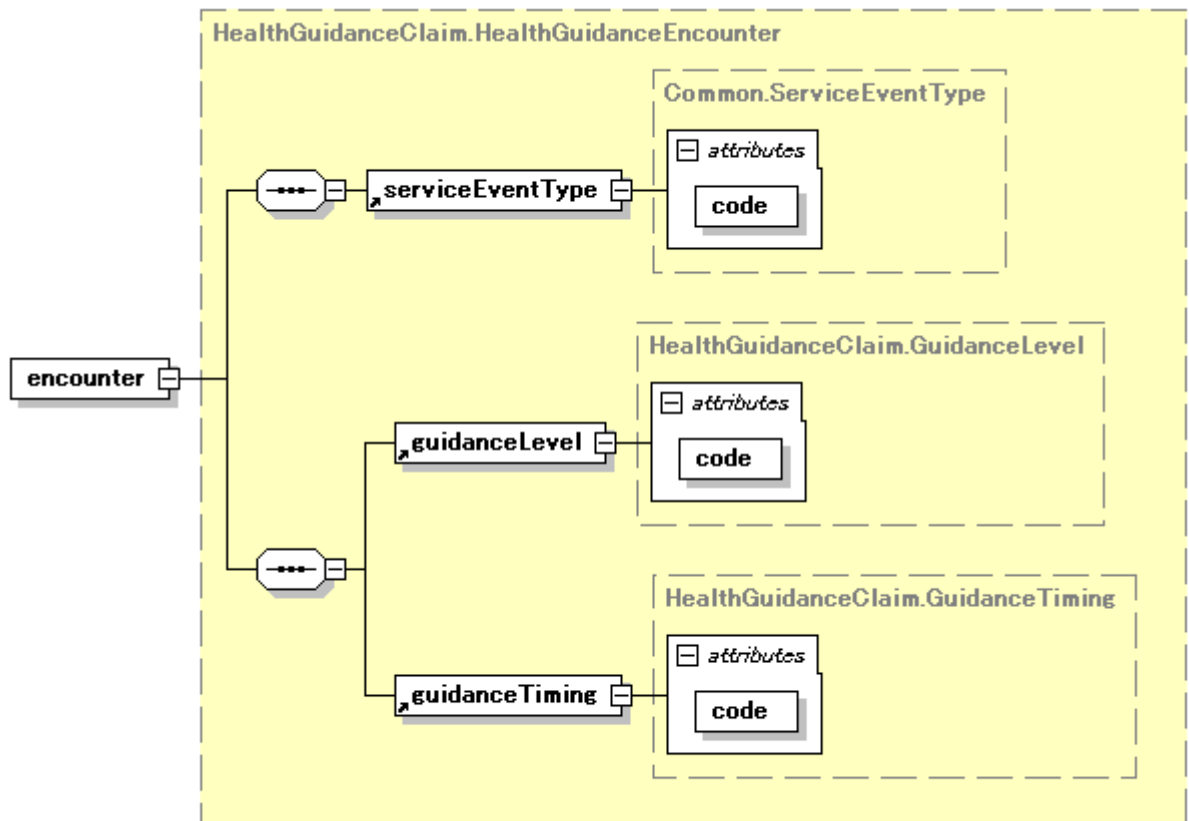
本書で定義する XML スキーマ(gc08_V08.xsd)の構造を図 1 に示す。



Generated by XmlSpy

www.altova.com

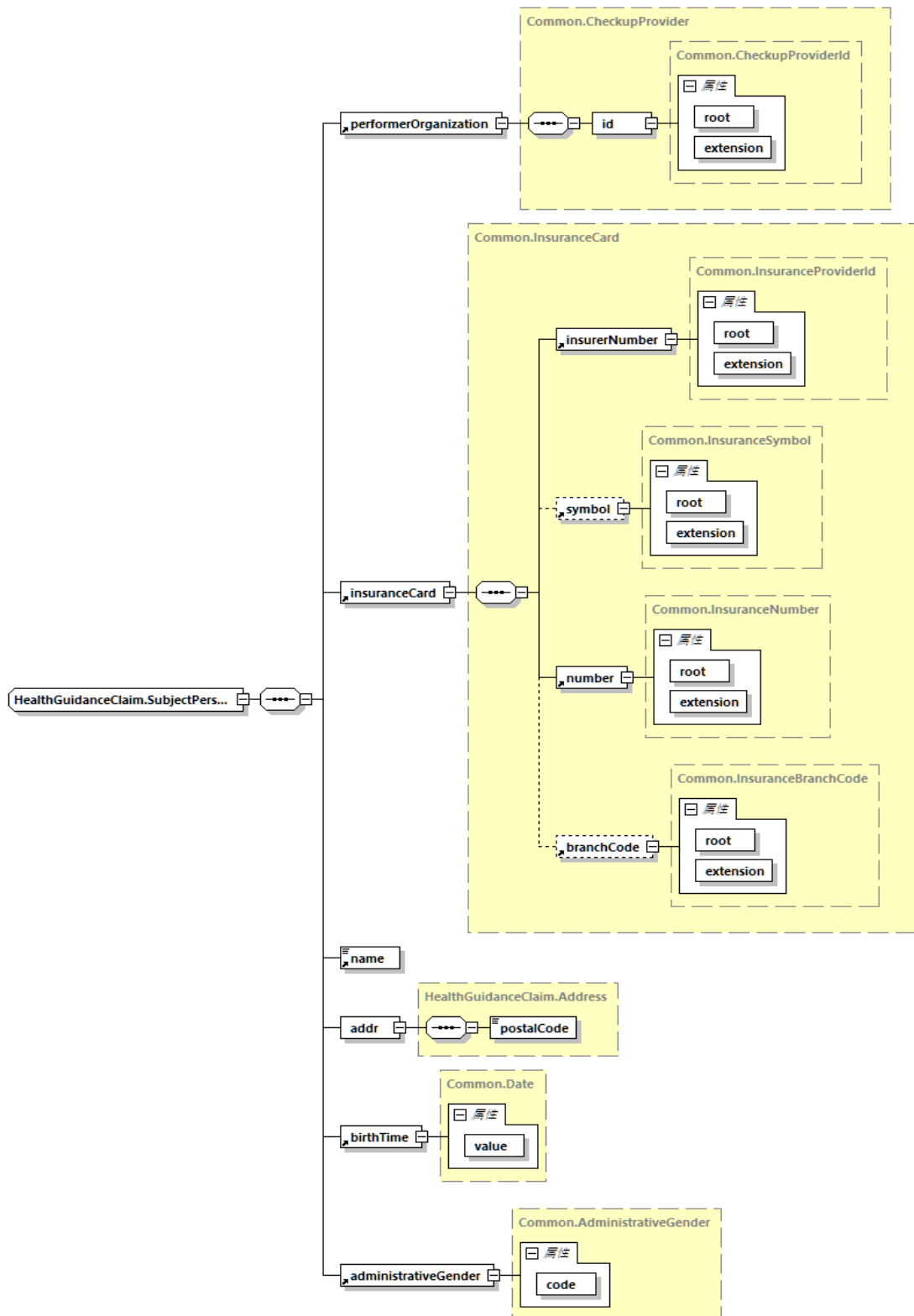
図 1 XML スキーマの構造 (全体)



Generated by XmlSpy

www.altova.com

図 2 XML スキーマの構造 (利用情報)



Generated by XMLSpy

www.altova.com

図 3 XML スキーマの構造 (利用者情報)

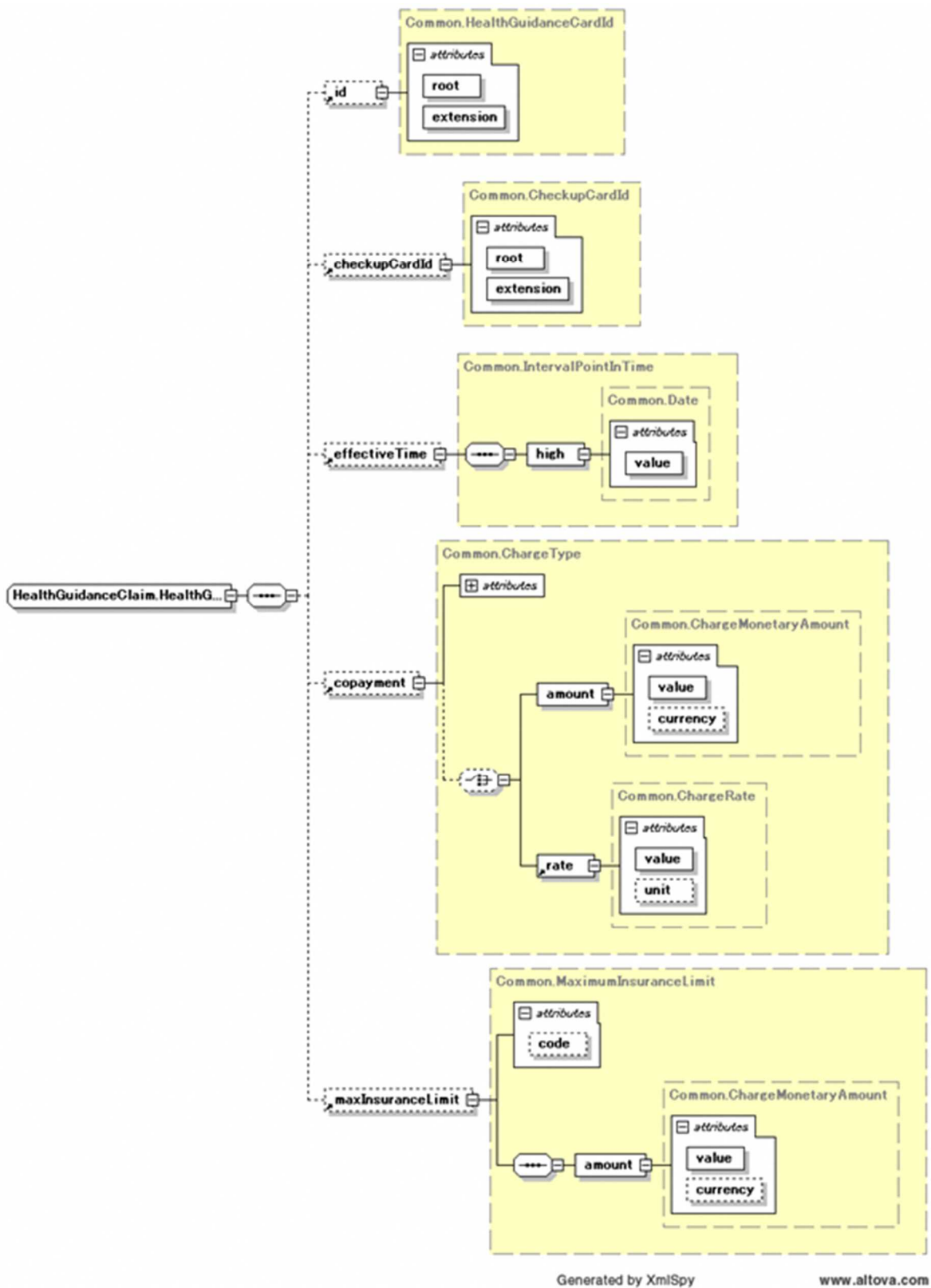


図 4 XML スキーマの構造 (特定保健指導利用券情報)

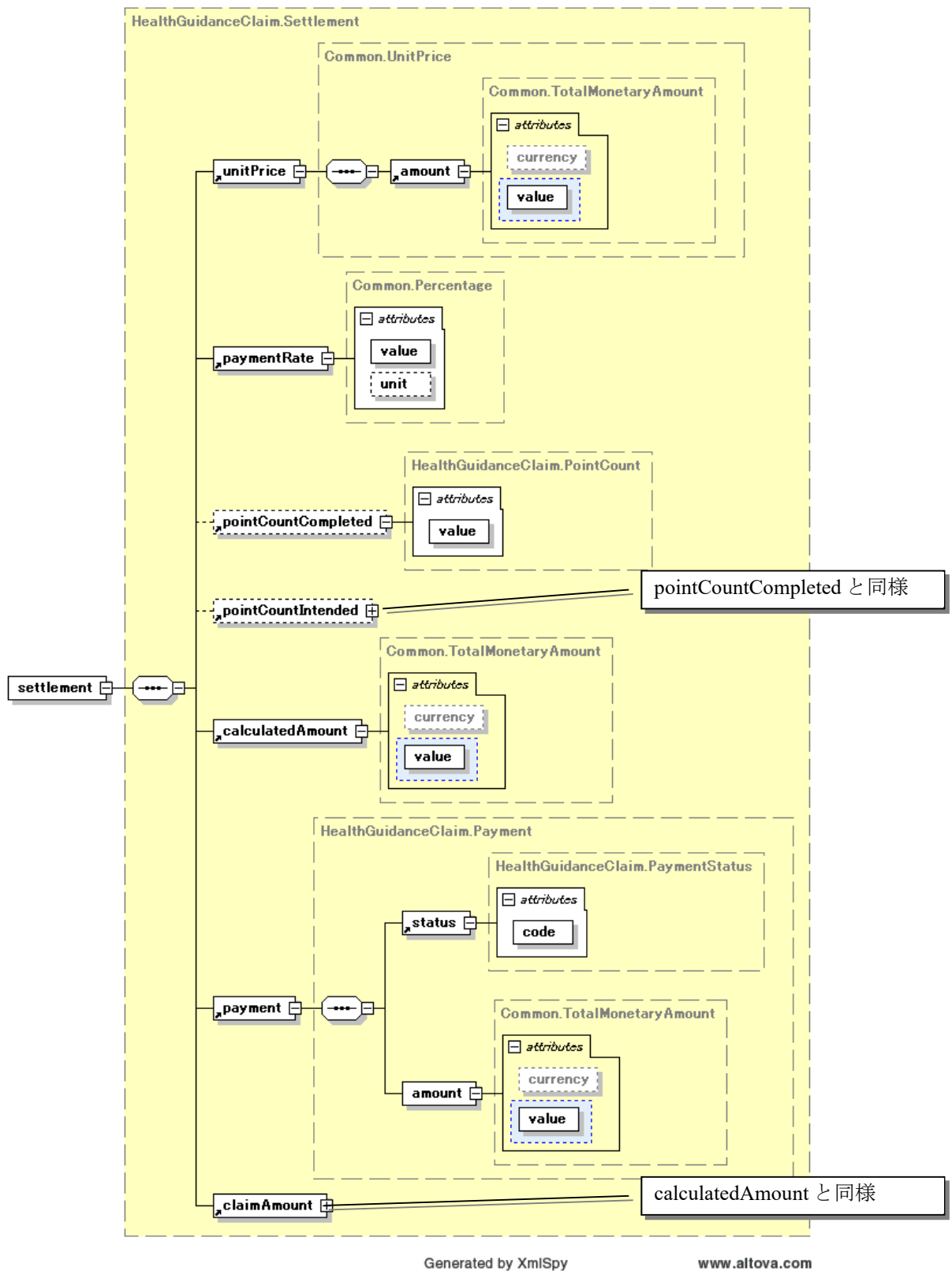


図 5 XML スキーマの構造 (決済情報)

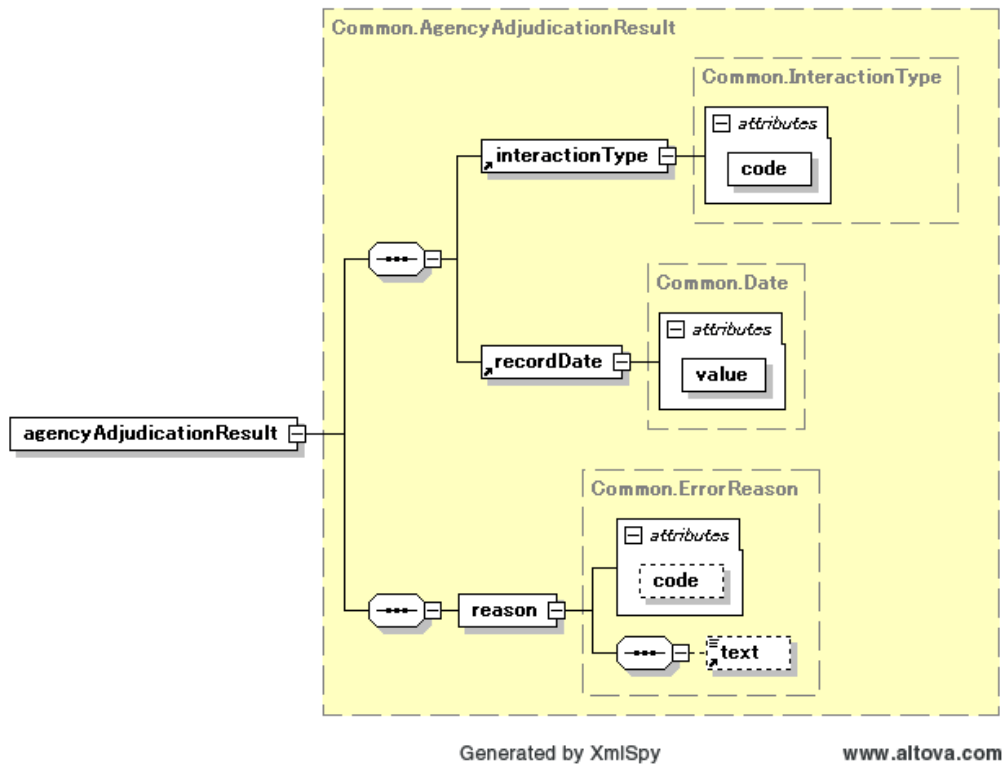


図 6 XML スキーマの構造（代行機関の処理結果情報）

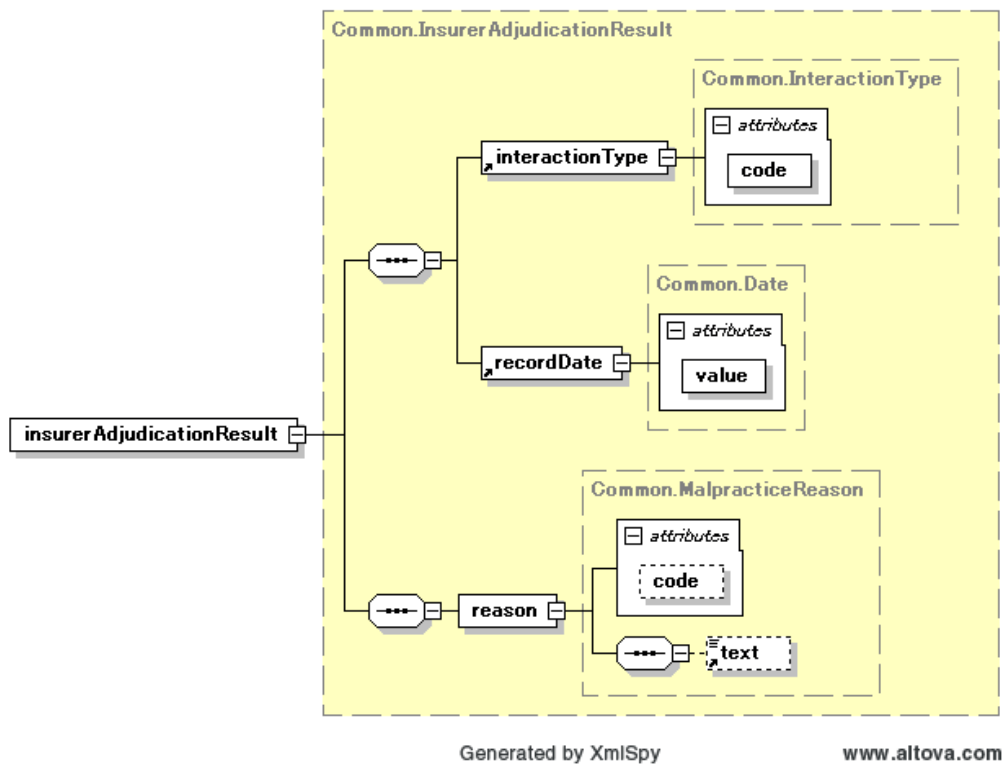


図 7 XML スキーマの構造（保険者の処理結果情報）

仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

3.1 特定保健指導決済情報 (healthGuidanceClaim)

特定保健指導決済情報ファイルのルート要素。利用券情報は、利用券が発行されない個別契約の場合であっても、窓口負担情報を記録するために必須とする。代行機関等の処理結果、及び、保険者の処理結果は、返戻データの場合にのみ出現する。

表 3 特定保健指導決済情報 XML 仕様

型名		checkupClaim		
No	要素 / 属性	型	多重度	説明
1	encounter	要素	1..1	利用情報 (3.2 節参照)
2	subjectPerson	要素	1..1	利用者情報 (3.3 節参照)
3	healthGuidanceCard	要素	1..1	特定保健指導利用券情報 (3.4 節参照)
4	settlement	要素	1..1	決済情報 (3.5 節参照)
5	agencyAdjudicationResult	要素	0..1	代行機関等の処理結果 (3.6 節参照)
6	insurerAdjudicationResult	要素	0..1	保険者の処理結果 (3.7 節参照)

3.2 利用情報 (encounter)

特定保健指導利用情報を表す要素。実施区分は必須要素であり、実施区分コードより特定保健指導情報「2」を指定する。

平成 30 年度以降、保健指導区分コードには、2 年連続して積極的支援に該当した者への 2 年目の特定保健指導の弾力化を目的とした「3：動機付け支援相当」が追加となっている。

表 4 利用情報 XML 仕様

型名		subject		
No	要素 / 属性	型	多重度	説明
1.1	serviceEventType	要素	1..1	実施区分。
1.1.1	@code	属性	1..1	実施区分コード (表 14)
1.2	guidanceLevel	要素	1..1	保健指導区分。
1.2.1	@code	属性	1..1	保健指導区分コード (表 13)
1.3	guidanceTiming	要素	1..1	実施時点。
1.3.1	@code	属性	1..1	保健指導実施時点コード (表 12)

3.3 利用者情報 (subjectPerson)

特定保健指導利用者情報を表す要素。被保険者証等記号、被保険者証等枝番以外のすべての要素、及び、属性は必須であり、多重度は「1..1」となる。

表 5 利用者情報 XML 仕様

型名		subject		
No	要素 / 属性	型	多重度	説明
2.1	performerOrganization	要素	1..1	特定保健指導機関情報。
2.1.1	id	要素	1..1	保健指導機関番号。
2.1.1.1	@root	属性	1..1	保健指導機関番号を識別するオブジェクト識別子。「1.2.392.200119.6.102」。
2.1.1.2	@extension	属性	1..1	機関番号文字列。半角数字 10 桁。
2.2	insuranceCard	要素	1..1	被保険者証情報。
2.2.1	insurerNumber	要素	1..1	保険者番号。
2.2.1.1	@root	属性	1..1	保険者番号を識別するオブジェクト識別子。「1.2.392.200119.6.101」。
2.2.1.2	@extension	属性	1..1	保険者番号文字列。半角数字 8 桁。8 桁に満たない場合は先頭をゼロ埋めして 8 桁とする。

仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

2.2.2	symbol	要素	0..1	被保険者証等記号。被保険者証等記号がない場合には省略。
2.2.2.1	@root	属性	1..1	被保険者証等記号を識別するオブジェクト識別子。「1.2.392.200119.6.204」
2.2.2.2	@extension	属性	1..1	被保険者証等記号文字列。漢字または英数 20 文字まで。
2.2.3	number	要素	1..1	被保険者証等番号。
2.2.3.1	@root	属性	1..1	被保険者証等番号を識別するオブジェクト識別子。「1.2.392.200119.6.205」
2.2.3.2	@extension	属性	1..1	被保険者証等番号文字列。漢字または英数 20 文字まで。
2.2.3	branchCode	要素	0..1	被保険者証等枝番。
2.2.3.1	@root	属性	1..1	被保険者証等枝番を識別するオブジェクト識別子。「1.2.392.200119.6.211」
2.2.3.2	@extension	属性	1..1	被保険者証等枝番文字列。数字 2 桁固定。保健指導情報ファイルに格納される形式と同一であること。保健指導情報ファイルに存在しない場合（被保険者証等枝番が採番されていない、または不明な場合）には、本要素は出現させない。
2.3	name	要素	1..1	利用者カナ氏名。
2.3.1	テキスト内容	属性	1..1	カナ氏名文字列。全角カタカナ 20 文字まで。
2.4	addr	要素	1..1	利用者郵便番号。
2.4.1	postalCode	要素	1..1	利用者郵便番号。
2.4.1.1	テキスト内容	属性	1..1	郵便番号文字列。正規表現：「[0-9]{3}-[0-9]{4}」。
2.5	birthTime	要素	1..1	利用者生年月日。
2.5.1	@value	属性	1..1	生年月日。YYYYMMDD 形式。
2.6	administrativeGender	要素	1..1	利用者男女区分。
2.6.1	@code	属性	1..1	男女区分コード（表 15）

3.4 特定保健指導利用券情報 (healthGuidanceCard)

特定保健指導利用券情報を表す要素。利用券が発行されない個別契約の場合であっても、窓口負担情報を記録するために必ず出現する。利用券整理番号と利用券の有効期限は、利用券が使用される場合にのみ出現する。受診券整理番号は、受診券が使用された場合にのみ出現する。

特定健診当日から 1 週間後までに特定保健指導の初回面接を実施できるセット券（特定健康診査＋特定保健指導）の場合、受診券の種別番号には「5」が設定される。

また、特定健診当日から 1 週間後までに初回面接を実施した場合、利用券情報の利用券整理番号および有効期限には、受診券の整理番号（種別番号「5」）および有効期限を設定するため、注意する。

窓口負担情報を表す copayment 要素は、窓口負担コードの値によって取りうる子要素が異なる。また、copayment 要素と maxInsuranceLimit 要素は、どちらも多重度は「0..1」であるが、いずれか 1 つが必ず出現しなければならない。さらに、窓口負担コードが「2.利用者は定額負担」および「3.利用者は定率負担」の場合に限り、copayment 要素と maxInsuranceLimit 要素の両方が出現できる。これらは表 6 のように整理できる。表内の「◎」は、窓口負担コードが各列の値をとるときに、その要素が必須であることを示す。一方「○」は、窓口負担コードが各列の値をとるときに、要素が出現してもよいことを示す。「×」は、窓口負担コードが各列の値をとるときに、その要素が出現してはならないことを示す。これらの制約は XML スキーマでは検証されないため注意する。

仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

表 6 特定保健指導利用券情報 XML 要素出現条件

XML 要素	窓口負担コード				その他の出現条件
	1	2	3	4	
healthGuidanceCard/ copayment	◎	◎	◎	○	窓口負担の種別「1」～「3」が設定されている場合のみ出現し必須 copayment と maxInsuranceLimit は、どちらか一方が必ず出現しなければならない、共に出現する場合は、copayment/@code が「2」「3」の場合に限る
healthGuidanceCard/ copayment/amount	×	◎	×	○	healthGuidanceCard/copayment/@code が「2」の場合のみ出現し必須
healthGuidanceCard/ copayment/rate	×	×	◎	○	healthGuidanceCard/copayment/@code が「3」の場合のみ出現し必須
healthGuidanceCard/ maxInsuranceLimit	×	○	○	◎	保険者負担上限額が設定されている場合のみ出現し必須 copayment と maxInsuranceLimit は、どちらか一方が必ず出現しなければならない、共に出現する場合は、copayment/@code が「2」「3」の場合に限る
healthGuidanceCard/ maxInsuranceLimit/ amount	×	○	○	◎	

負担金額を表す amount 要素の value 属性、及び、負担率を表す rate 要素の value 属性は、半角数字 6 桁固定であり 6 桁に満たない数値はゼロ埋めする。

表 7 特定保健指導利用券情報 XML 仕様

型名		healthGuidanceCard		
No	要素 / 属性	型	多重度	説明
3.1	id	要素	0..1	利用券整理番号。
3.1.1	@root	属性	1..1	利用券整理番号を識別するオブジェクト識別子。 「1.2.392.200119.6.210」
3.1.2	@extension	属性	1..1	利用券整理番号文字列。 特定健診当日から 1 週間後までに初回面接を実施した場合、受診券の整理番号(種別番号:5)を設定。 半角数字 11 桁固定。
3.2	checkupCardId	要素	0..1	受診券整理番号。
3.2.1	@root	属性	1..1	受診券整理番号を識別するオブジェクト識別子。 「1.2.392.200119.6.209」
3.2.2	@extension	属性	1..1	受診券整理番号文字列。半角数字 11 桁固定。
3.3	effectiveTime	要素	0..1	利用券有効期限。 特定健診当日から 1 週間後までに初回面接を実施した場合、受診券の有効期限を設定。
3.3.1	high	要素	1..1	
3.3.1.1	@value	属性	1..1	有効期限の年月日(西暦)。YYYYMMDD 形式。
3.4	copayment	要素	0..1	窓口負担。 3.4(窓口負担)または 3.5(窓口負担(保険者負担上限額))のいずれか 1 つが必ず出現しなければならない。 3.4.1(窓口負担の種別)が「2」「3」の場合のみ、3.4 と 3.5 の両方が出現できる。
3.4.1	@code	属性	1..1	窓口負担コード(表 16)のうち 1~3 のいずれか。
3.4.2	amount	要素	0..1	負担金額。 3.4.1(窓口負担の種別)が「2」の場合にのみ出現し必須。
3.4.2.1	@value	属性	1..1	金額値。半角数字 6 桁固定。6 桁に満たない場合はゼロ埋めする。
3.4.2.2	@currency	属性	0..1	「JPY」固定。省略可。
3.4.3	rate	要素	0..1	負担率(%)。

仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

				3.4.1 (窓口負担の種別) が「3」の場合にのみ出現し必須。
3.4.3.1	@value	属性	1..1	負担率 (%)。半角数字 6 桁固定。1%を「001000」と表記する。6 桁に満たない場合はゼロ埋めする。
3.4.3.2	@unit	属性	0..1	「%」固定。省略可。
3.5	maxInsuranceLimit	要素	0..1	窓口負担 (4 : 保険者負担上限額)。 3.4 (窓口負担) または 3.5 (窓口負担 (保険者負担上限額)) のいずれか 1 つが必ず出現しなければならない。 3.4.1 (窓口負担の種別) が「2」「3」の場合のみ、3.4 と 3.5 の両方が出現できる。
3.5.1	@code	属性	0..1	窓口負担コード (表 16) のうち「4」。省略可能。
3.5.2	amount	要素	1..1	保険者負担上限額。
3.5.2.1	@value	属性	1..1	金額値。半角数字 6 桁固定。6 桁に満たない場合はゼロ埋めする。
3.5.2.2	@currency	属性	0..1	「JPY」固定。省略可。

3.5 決済情報 (settlement)

決済情報。実施済みポイント数を表す pointCountCompleted は、保健指導区分が「1 : 積極的支援」かつ、保健指導実施時点コードが「2 : 実績評価時」または「3 : 途中終了時」の場合に必須となり、value 属性は 4 桁以内の整数で記録する。計画上のポイント数を表す pointCountIntended 要素は、保健指導区分が「1 : 積極的支援」かつ、保健指導実施時点コードが「3 : 途中終了時」の場合に必須であり、value 属性は 4 桁以内の整数で記録する。また、単価の金額値を表す amount 要素の value 属性の値は 9 桁以内の整数で、ゼロ埋めは行わない。

表 8 決済情報 XML 仕様

型名		Settlement		
No	要素 / 属性	型	多重度	説明
4.1	unitPrice	要素	1..1	単価。
4.1.1	amount	要素	1..1	単価金額。
4.1.1.1	@value	属性	1..1	金額値。半角数字 9 桁以内。
4.1.1.2	@currency	属性	0..1	「JPY」固定。省略可。
4.2	paymentRate	要素	1..1	支払割合
4.2.1	@value	属性	1..1	契約書に定められている請求時点の支払割合を半角数字 3 桁以内で記述。
4.2.2	@unit	属性	0..1	「%」固定。省略可。
4.3	pointCountCompleted	要素	0..1	実施済みポイント数。 1.2.1 (保健指導区分) が「1 : 積極的支援」かつ、 1.3.1 (保健指導実施時点コード) が「2 : 実績評価時」または「3 : 途中終了時」の場合に必ず出現。 「4 : その他」の場合には必要に応じて使用可。
4.3.1	@value	属性	1..1	ポイント数を半角数字 4 桁以内で記述。
4.4	pointCountIntended	要素	0..1	計画上のポイント数。 1.2.1 (保健指導区分) が「1 : 積極的支援」かつ、 1.3.1 (保健指導実施時点コード) が「3 : 途中終了時」の場合に必ず出現。「4 : その他」の場合には必要に応じて使用可。
4.4.1	@value	属性	1..1	ポイント数を半角数字 4 桁以内で記述。
4.5	calculatedAmount	要素	1..1	算定金額。
4.5.1	@value	属性	1..1	保険者への請求金額と利用者の窓口負担金額の合計金額を半角数字 9 桁以内で記述。
4.5.2	@currency	属性	0..1	「JPY」固定。省略可。
4.6	payment	要素	1..1	窓口負担金額。 前回請求時から今回請求時までの間に発生した窓口負

仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

				担金額を記録。
4.6.1	status	要素	1..1	窓口負担徴収の状況を記録
4.6.1.1	@code	属性	1..1	窓口負担徴収コード(表 20)
4.6.2	amount	要素	1..1	窓口負担金額。
4.6.2.1	@value	属性	1..1	窓口負担金額を半角数字9桁以内で記述。 窓口負担金額を初回に全額徴収した場合の実績評価時の請求のように、窓口負担金額が発生しない場合も0円として記録する。
4.6.2.2	@currency	属性	0..1	「JPY」固定。省略可。
4.7	claimAmount	要素	1..1	保険者への請求金額。
4.7.1	@value	属性	1..1	保険者への請求金額。半角数字9桁以内。
4.7.2	@currency	属性	0..1	「JPY」固定。省略可。

仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

3.6 代行機関の処理結果 (agencyAdjudicationResult)

代行機関の処理結果を記述。返戻データのみに出現する。

表 9 代行機関の処理結果 XML 仕様

型名		agencyAdjudicationResult		
No	要素 / 属性	型	多重度	説明
5.1	interactionType	要素	1..1	データ種別。
5.1.1	@code	属性	1..1	種別コード (表 17)
5.2	recordDate	要素	1..1	記録年月日 (西暦)。
5.2.1	@value	属性	1..1	記録年月日文字列。YYYYMMDD 形式。
5.3	reason	要素	1..1	代行機関による返戻理由。
5.3.1	@code	属性	1..1	返戻理由コード (表 18)
5.3.2	text	要素	0..1	代行機関による返戻理由等 (詳細)。
5.3.2.1	テキスト内容	属性	1..1	返戻理由 (詳細)。全角 100 文字以内。

3.7 保険者の処理結果 (insurerAdjudicationResult)

保険者の処理結果を記述。返戻データのみに出現する。

表 10 保険者の処理結果 XML 仕様

型名		insurerAdjudicationResult		
No	要素 / 属性	型	多重度	説明
6.1	interactionType	要素	1..1	データ種別。
6.1.1	@code	属性	1..1	種別コード (表 17)
6.2	recordDate	要素	1..1	記録年月日 (西暦)。
6.2.1	@value	属性	1..1	記録年月日文字列。YYYYMMDD 形式。
6.3	reason	要素	1..1	保険者による過誤返戻理由。
6.3.1	@code	属性	1..1	過誤返戻理由コード (表 19)
6.3.2	text	要素	0..1	保険者による過誤返戻理由等 (詳細)。
6.3.2.1	テキスト内容	属性	1..1	過誤返戻理由 (詳細)。全角 100 文字以内。

3.8 オブジェクト識別子 (oid)

オブジェクト識別子情報(OID : Object Identifier)を表す oid 型は、以下の単純型で規定される。本仕様で使用する OID の一覧は、5 節 表 21 に示す。

表 11 オブジェクト識別子 XML 仕様

型名		oid	
base	型	説明	
xs:string	xs:pattern	正規表現 : [0-2](¥.(0 [1-9][0-9]*))*	

仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

4. コード表

本 XML で使用するコード表を以下に示す。

表 12 保健指導実施時点コード

コード名	コード	内容	備考
保健指導 実施時点 コード	1	開始時	
	2	実績評価時	
	3	途中終了時	
	4	その他	
	5	初回未完了	

表 13 保健指導区分コード

コード名	コード	内容	備考
保健指導 区分コード	1	積極的支援	
	2	動機付け支援	
	3	動機付け支援相当	

表 14 実施区分コード

コード名	コード	内容	備考
実施区分 コード	1	特定健診情報	
	2	特定保健指導情報	
	3	国への実績報告(匿名化済)	保険者での設定は不要
	4	他の健診結果の受領分	事業者健診の結果を受領した場合
	5	国への実績報告(匿名化前)	
	6	予備	
	7	予備	
	8	予備	
	9	予備	

表 15 男女区分コード

コード名	コード	内容	備考
男女区分 コード	1	男	
	2	女	

表 16 窓口負担コード

コード名	コード	内容	備考
窓口負担 コード	1	受診者・利用者は負担なし	
	2	受診者・利用者は定額負担	単位：円
	3	受診者・利用者は定率負担	単位：%
	4	保険者の負担上限額	単位：円

仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

表 17 種別コード

コード名	コード	内容	備考
種別コード	1	特定健診機関又は特定保健指導機関から代行機関	請求
	2	代行機関から特定健診機関又は特定保健指導機関	返戻
	3	代行機関から保険者	請求
	4	保険者から代行機関（未決済データの場合）	返戻依頼
	5	保険者から代行機関（決済済データの場合）	過誤請求
	6	特定健診機関又は特定保健指導機関から保険者	代行機関を介しない場合
	7	保険者から特定健診機関又は特定保健指導機関	
	8	保険者から保険者	
	9	その他	
	10	保険者から国	実績報告
	11	代行機関から保険者へ確認依頼	確認依頼
	12	閲覧用	閲覧用特定健診結果
	13	予備	関係機関からの要望により設定
	14	予備	(検討中)
	15	予備	
	16	予備	
	17	予備	
	18	予備	
	19	予備	
	20	予備	

表 18 返戻理由コード

コード名	コード	内容	備考
返戻理由コード	01	データの記録形式不備	
	02	データの記録もれ	
	03	健診結果データ異常	
	04	契約対象外	
	05	受診券・利用券の整理番号不備	
	06	有効期限外	
	07	窓口負担金額不備	
	08	健診・指導機関からの取下げ依頼による	
	09	その他	具体的内容を返戻理由 2 に記録

表 19 過誤返戻理由コード

コード名	コード	内容	備考
過誤返戻理由コード	01	被保険者証の記号・番号の誤り	
	02	受診券・利用券の整理番号の誤り	
	03	受診者・利用者氏名の誤り	
	04	該当者なし	
	05	保険者番号と記号の不一致	資格喪失日・証回収日を過誤返戻理由 2 に記録
	06	資格喪失後の受診	複数回健診受診等を含む
	07	重複請求	
	08	健診・指導機関からの取下げ依頼による	
	09	その他	具体的内容を返戻理由 2 に記録

仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

表 20 窓口負担徴収コード

コード名	コード	内容	備考
窓口負担徴収 コード	1	初回指導時全額徴収した場合	
	2	1 以外の場合	

5. OID 仕様

本 XML で使用する OID の一覧を示す。

表 21 OID 一覧

OID	説明	備考
1. 2. 392. 200119. 6. 101	保険者番号	
1. 2. 392. 200119. 6. 102	特定健診機関番号／特定保健指導機関番号	
1. 2. 392. 200119. 6. 103	代行機関番号	
1. 2. 392. 200119. 6. 204	被保険者証等記号	
1. 2. 392. 200119. 6. 205	被保険者証等番号	
1. 2. 392. 200119. 6. 211	被保険者証等枝番	
1. 2. 392. 200119. 6. 209	受診券整理番号	
1. 2. 392. 200119. 6. 210	利用券整理番号	

仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

6. サンプル XML

特定保健指導決済情報ファイルのXMLの例として、下記の内容を示すXMLを以下に示す。

表 22 サンプル XML の内容

記録内容	項目名称	値
受診情報	実施区分	2 (特定保健指導情報)
	保健指導区分	1 (積極的支援)
	実施時点	2 (実績評価時)
利用者情報	特定保健指導機関番号	保健指導機関番号 1234567890
	保険者番号	保険者番号 1234
	被保険者証等記号	あいう
	被保険者証等番号	11223344
	被保険者証等枝番	01
	氏名	ケンシンタロウ
	生年月日	1960年5月1日
	男女区分	1 (男)
利用券情報	郵便番号	123-0001
	利用券整理番号	21200001234
	特定健診受診券整理番号	21100001234
	有効期限	令和6年3月31日
	窓口負担 負担区分	3 (利用者は定率負担)
	窓口負担 負担割合	25%
	窓口負担 負担区分	4 (保険者負担上限額)
	窓口負担 負担金額	15,000円
決済情報	単価	20,000円
	支払割合	50%
	実施済みポイント数	200ポイント
	算定金額	7,500円
	窓口負担徴収状況	1 (初回指導時全額徴収した場合)
	窓口負担金額	0円
	請求金額	7,500円
	代行機関の 処理結果	種別
記録年月日		令和6年11月10日
返戻理由		01
保険者の処 理結果	種別	4 (保険者から代行機関)
	記録年月日	令和6年12月10日
	過誤返戻理由	06
	返戻理由 2	資格喪失日: 令和6年9月30日

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<healthGuidanceClaim xmlns="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html"
xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html ../XSD/gc08_V08
.xsd">
  <!-- 利用情報 -->
  <encounter>
    <!-- 実施区分 -->
    <serviceEventType code="2"/>
    <!-- 保健指導区分 -->
    <guidanceLevel code="1"/>
    <!-- 実施時点 -->
    <guidanceTiming code="2"/>
  </encounter>
  <!-- 利用者情報 -->
  <subjectPerson>
    <!-- 特定保健指導機関番号（特定保健指導機関番号：「1234567890」の場合） -->
    <performerOrganization>
      <id root="1.2.392.200119.6.102" extension="1234567890"/>
    </performerOrganization>
    <!-- 被保険者証情報 -->
    <insuranceCard>
      <!-- 保険者番号（保険者番号：「1234」の場合） -->
      <insurerNumber root="1.2.392.200119.6.101" extension="00001234"/>
      <!-- 被保険者記号（被保険者記号：「あいう」の場合） -->
      <symbol root="1.2.392.200119.6.204" extension="あいう"/>
      <!-- 被保険者番号（被保険者番号：「11223344」の場合） -->
      <number root="1.2.392.200119.6.205" extension="11223344"/>
      <!-- 被保険者番号（被保険者枝番：「01」の場合） -->
      <branchCode root="1.2.392.200119.6.211" extension="01"/>
    </insuranceCard>
    <!-- 氏名（ケンシントロウ） -->
    <name>ケンシントロウ</name>
    <!-- 郵便番号（123-0001の場合） -->
    <addr>
      <postalCode>123-0001</postalCode>
    </addr>
    <!-- 生年月日（1960年5月1日） -->
    <birthTime value="19600501"/>
    <!-- 性別コード（1：男） -->
    <administrativeGender code="1"/>
  </subjectPerson>
  <!-- 特定保健指導利用券情報 -->
  <healthGuidanceCard>
    <!-- 特定保健指導利用券整理番号（特定健診利用券整理番号：「24200001234」の場合） -->
    <id root="1.2.392.200119.6.210" extension="24200001234"/>
    <!-- 特定健診受診券整理番号（特定健診受診券整理番号：「24100001234」の場合） -->
    <checkupCardId root="1.2.392.200119.6.209" extension="24100001234"/>
    <!-- 有効期間（令和6年3月31日の場合） -->
    <effectiveTime>
      <high value="20240331"/>
    </effectiveTime>
  </healthGuidanceCard>
</healthGuidanceClaim>
```

```
</effectiveTime>
<!-- 窓口負担（負担区分：「利用者が定率負担」の場合） -->
<copayment code="3">
  <!-- 窓口負担割合（25%の場合） -->
  <rate value="025000" unit=""/>
</copayment>
<!-- 窓口負担（負担区分：「保険者負担上限額」の場合） -->
<maxInsuranceLimit code="4">
  <!-- 保険者の窓口負担上限額（15,000円の場合） -->
  <amount value="015000" currency="JPY"/>
</maxInsuranceLimit>
</healthGuidanceCard>
<!-- 決済情報 -->
<settlement>
  <!-- 単価 -->
  <unitPrice>
    <!-- 単価金額（20,000円の場合） -->
    <amount value="20000" currency="JPY"/>
  </unitPrice>
  <!-- 支払割合（50%の場合） -->
  <paymentRate value="50" unit=""/>
  <!-- 実施済みポイント数（200ポイントの場合） -->
  <pointCountCompleted value="200"/>
  <!-- 算定金額（算定金額が7,500円の場合） -->
  <calculatedAmount value="7500" currency="JPY"/>
  <!-- 窓口負担金額 -->
  <payment>
    <!-- 窓口負担徴収コード 1:初回指導時全額徴収した場合 -->
    <status code="1"/>
    <!-- 窓口負担金額 0円の場合 -->
    <amount value="0" currency="JPY"/>
  </payment>
  <!-- 請求金額（請求金額が7,500円の場合） -->
  <claimAmount value="7500" currency="JPY"/>
</settlement>
<!-- 代行機関の処理結果 -->
<agencyAdjudicationResult>
  <!-- 種別（2：代行機関から特定健診機関または特定保健指導機関） -->
  <interactionType code="2"/>
  <!-- 記録年月日（令和6年11月10日の場合） -->
  <recordDate value="20241110"/>
  <!-- 返戻理由（返戻コード：01の場合） -->
  <reason code="01"/>
</agencyAdjudicationResult>
<!-- 保険者の処理結果 -->
<insurerAdjudicationResult>
  <!-- 種別（4：保険者から代行機関） -->
  <interactionType code="4"/>
  <!-- 記録年月日（令和6年12月10日の場合） -->
  <recordDate value="20241210"/>
  <!-- 過誤返戻理由（過誤返戻コード：06の場合） -->
```

仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

```
<reason code="06">
  <!-- 過誤返戻理由詳細 -->
  <text>資格喪失日：令和6年9月30日</text>
</reason>
</insurerAdjudicationResult>
</healthGuidanceClaim>
```

仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

Ver.4

本説明文書は、厚生労働省保険局医療介護連携政策課医療費適正化対策推進室により修正されました。また、「第4期特定健診・特定保健指導の見直しに関する検討会」の下に設置された「システム改修に関するワーキンググループ」の作業班メンバーや、ここに記載していない多くの方々の献身的な貢献により検討された成果に基づいています。

システム改修に関するワーキンググループ作業班

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xs:schema attributeFormDefault="unqualified" elementFormDefault="qualified"
targetNamespace="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html"
xmlns:xs="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
xmlns="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html">
  <xs:include schemaLocation="co08_V08.xsd"/>
  <!-- Element Definition -->
  <xs:element type="HealthGuidanceClaim" name="healthGuidanceClaim"/>
  <xs:element type="HealthGuidanceClaim.HealthGuidanceEncounter" name="encounter"/>
  <xs:element type="HealthGuidanceClaim.GuidanceLevel" name="guidanceLevel"/>
  <xs:element type="HealthGuidanceClaim.GuidanceTiming" name="guidanceTiming"/>
  <xs:element type="Common.CheckupProvider" name="performerOrganization"/>
  <xs:element type="Common.PersonName" name="name"/>
  <xs:element type="Common.AdministrativeGender" name="administrativeGender"/>
  <xs:element type="HealthGuidanceClaim.HealthGuidanceCard"
    name="healthGuidanceCard"/>
  <xs:element type="Common.HealthGuidanceCardId" name="id"/>
  <xs:element type="Common.CheckupCardId" name="checkupCardId"/>
  <xs:element type="Common.IntervalPointInTime" name="effectiveTime"/>
  <xs:element type="Common.Date" name="high"/>
  <xs:element type="Common.ChargeType" name="copayment"/>
  <xs:element type="Common.MaximumInsuranceLimit" name="maxInsuranceLimit"/>
  <xs:element type="HealthGuidanceClaim.Settlement" name="settlement"/>
  <xs:element type="Common.UnitPrice" name="unitPrice"/>
  <xs:element type="Common.Percentage" name="paymentRate"/>
  <xs:element type="HealthGuidanceClaim.PointCount" name="pointCountCompleted"/>
  <xs:element type="HealthGuidanceClaim.PointCount" name="pointCountIntended"/>
  <xs:element type="Common.TotalMonetaryAmount" name="calculatedAmount"/>
  <xs:element type="HealthGuidanceClaim.Payment" name="payment"/>
  <xs:element type="HealthGuidanceClaim.PaymentStatus" name="status"/>
  <xs:element type="Common.TotalMonetaryAmount" name="claimAmount"/>
  <!-- ComplexType Definition -->
  - <xs:complexType name="HealthGuidanceClaim">
    - <xs:sequence>
      <xs:element ref="encounter"/>
      <xs:element type="HealthGuidanceClaim.SubjectPerson"
        name="subjectPerson"/>
      <xs:element ref="healthGuidanceCard"/>
      <xs:element ref="settlement"/>
      <xs:element ref="agencyAdjudicationResult" minOccurs="0"/>
      <xs:element ref="insurerAdjudicationResult" minOccurs="0"/>
    </xs:sequence>
  </xs:complexType>
  - <xs:complexType name="HealthGuidanceClaim.HealthGuidanceEncounter">
    - <xs:complexContent>
      - <xs:extension base="Common.Encounter">
        - <xs:sequence>
          <xs:element ref="guidanceLevel"/>
          <xs:element ref="guidanceTiming"/>
        </xs:sequence>
      </xs:extension>
    </xs:complexContent>
  </xs:complexType>

```

- <xs:complexType name="HealthGuidanceClaim.GuidanceLevel">
 <xs:attribute type="Code.HealthGuidanceLevel" name="code" use="required"/>
 </xs:complexType>
- <xs:complexType name="HealthGuidanceClaim.GuidanceTiming">
 <xs:attribute type="Code.HealthGuidanceTiming" name="code" use="required"/>
 </xs:complexType>
- <xs:complexType name="HealthGuidanceClaim.SubjectPerson">
 - <xs:sequence>
 <xs:element ref="performerOrganization"/>
 <xs:element ref="insuranceCard"/>
 <xs:element ref="name"/>
 <xs:element type="HealthGuidanceClaim.Address" name="addr"/>
 <xs:element ref="birthTime"/>
 <xs:element ref="administrativeGender"/>
 </xs:sequence>
 </xs:complexType>
- <xs:complexType name="HealthGuidanceClaim.Address">
 - <xs:sequence>
 <xs:element type="Common.PostalCode" name="postalCode"/>
 </xs:sequence>
 </xs:complexType>
- <xs:complexType name="HealthGuidanceClaim.HealthGuidanceCard">
 - <xs:sequence>
 <xs:element ref="id" minOccurs="0"/>
 <xs:element ref="checkupCardId" minOccurs="0"/>
 <xs:element ref="effectiveTime" minOccurs="0"/>
 <xs:element ref="copayment" minOccurs="0"/>
 <xs:element ref="maxInsuranceLimit" minOccurs="0"/>
 </xs:sequence>
 </xs:complexType>
- <xs:complexType name="HealthGuidanceClaim.PointCount">
 <xs:attribute type="pointCount" name="value" use="required"/>
 </xs:complexType>
- <xs:complexType name="HealthGuidanceClaim.Settlement">
 - <xs:sequence>
 <xs:element ref="unitPrice"/>
 <xs:element ref="paymentRate"/>
 <xs:element ref="pointCountCompleted" minOccurs="0"/>
 <xs:element ref="pointCountIntended" minOccurs="0"/>
 <xs:element ref="calculatedAmount"/>
 <xs:element ref="payment"/>
 <xs:element ref="claimAmount"/>
 </xs:sequence>
 </xs:complexType>
- <xs:complexType name="HealthGuidanceClaim.Payment">
 - <xs:sequence>
 <xs:element ref="status"/>
 <xs:element type="Common.TotalMonetaryAmount" name="amount"/>
 </xs:sequence>
 </xs:complexType>
- <xs:complexType name="HealthGuidanceClaim.PaymentStatus">
 <xs:attribute type="Code.HealthGuidancePaymentStatus" name="code" use="required"/>
 </xs:complexType>

```
</xs:complexType>  
</xs:schema>
```

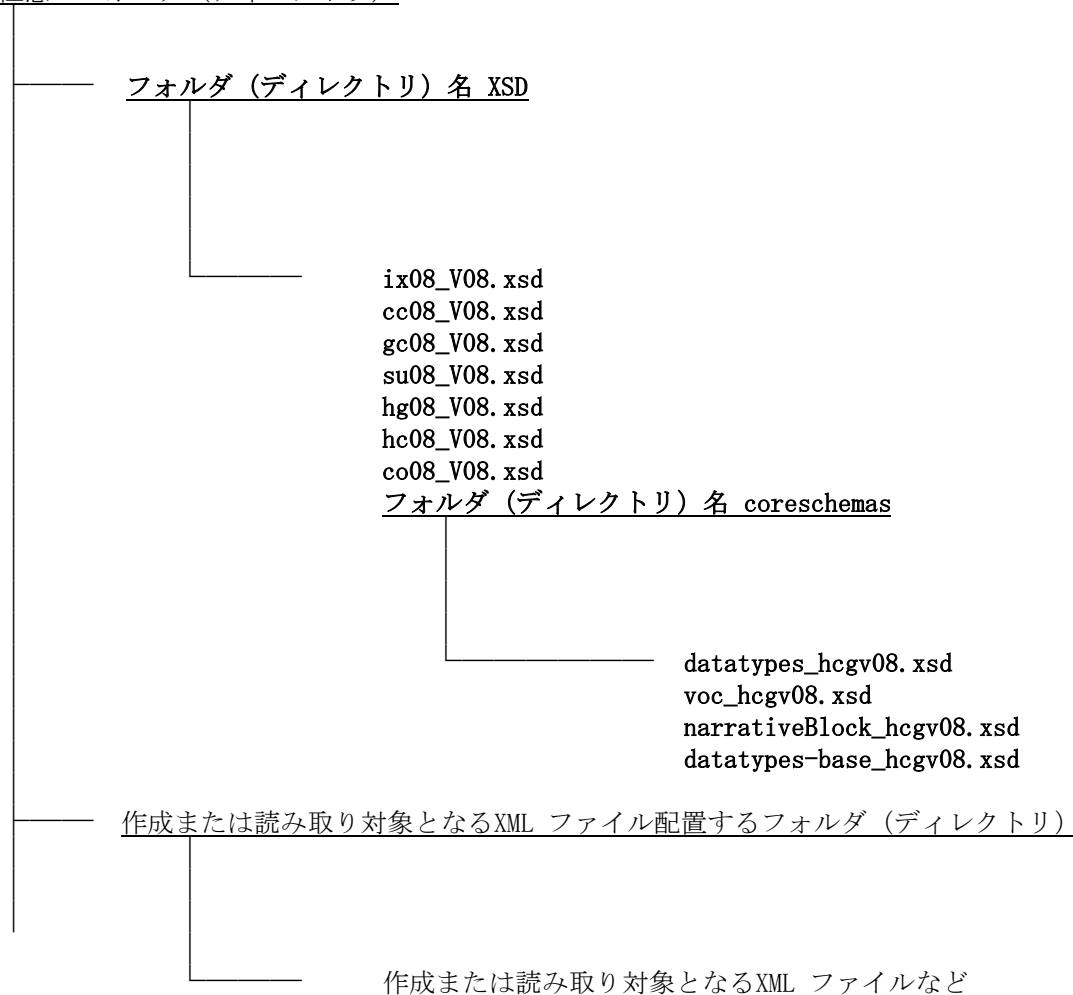

特定健診・特定保健指導の電子的なデータ標準様式

7-1A特定健診・特定保健指導 XML スキーマ説明書 (健診・保健指導機関等→医療保険者)

提供されるXML スキーマは各ファイル名を変更せず、以下のようにXSD という名前のフォルダ (ディレクトリ) の中に配置することが必要である。この際、datatypes_hcgv08.xsd, voc_hcgv08.xsd, narrativeBlock_hcgv08.xsd, datatypes-base_hcgv08.xsd の4つのファイルは下記のようにさらに coreschemas という名前のフォルダ (ディレクトリ) を作成しその中に配置することが前提として作成されている。

なおdatatypes_hcgv08.xsd、voc_hcgv08.xsd、narrativeBlock_hcgv08.xsd、datatypes-base_hcgv08.xsd の4つのファイルは、米国HL7で公開されているHL7 CDA 標準規格用の共通XML スキーマを一部修正して転載している。

任意のフォルダ (ディレクトリ)



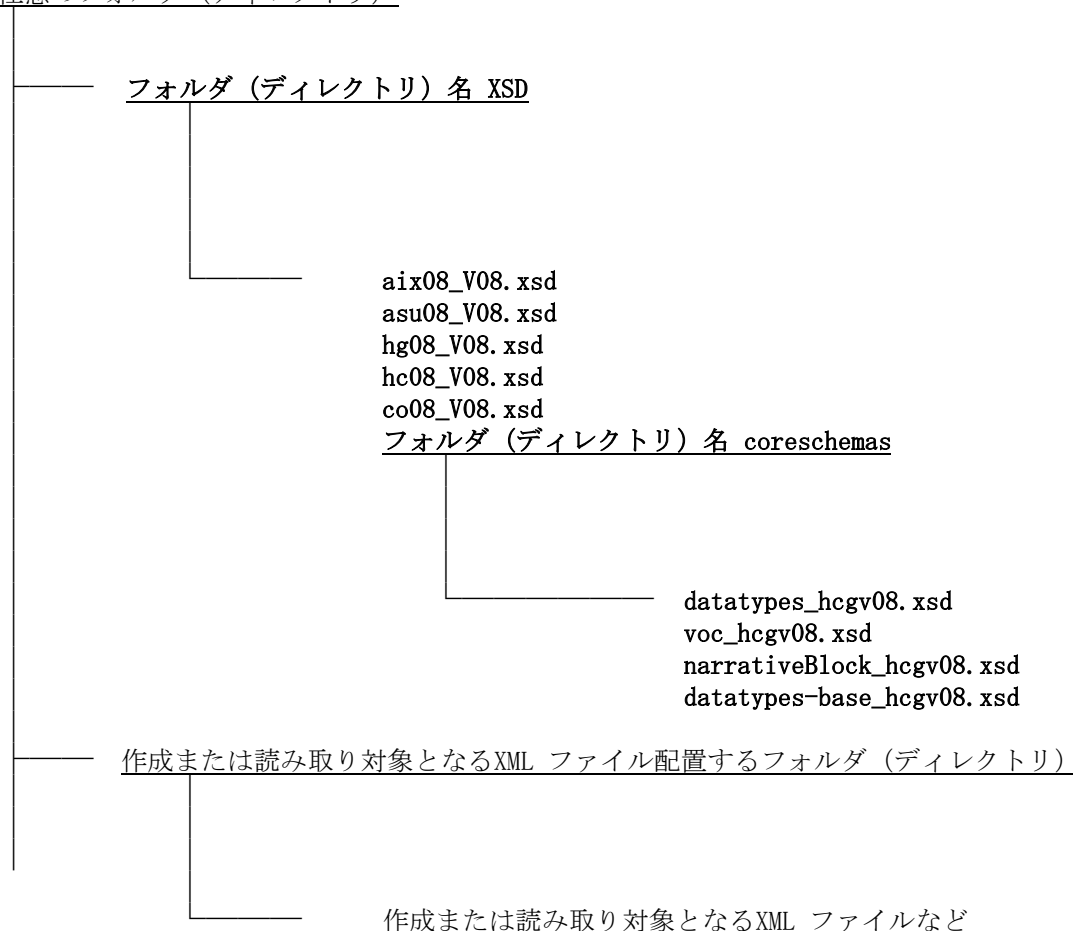
特定健診・特定保健指導の電子的なデータ標準様式

7-1B特定健診・特定保健指導 XML スキーマ説明書 (医療保険者→国)

提供されるXML スキーマは各ファイル名を変更せず、以下のようにXSD という名前のフォルダ (ディレクトリ) の中に配置することが必要である。この際、datatypes_hcgv08.xsd, voc_hcgv08.xsd, narrativeBlock_hcgv08.xsd, datatypes-base_hcgv08.xsd の4つのファイルは下記のようにさらに coreschemas という名前のフォルダ (ディレクトリ) を作成しその中に配置することが前提として作成されている。

なおdatatypes_hcgv08.xsd、voc_hcgv08.xsd、narrativeBlock_hcgv08.xsd、datatypes-base_hcgv08.xsd の4つのファイルは、米国HL7で公開されているHL7 CDA 標準規格用の共通XML スキーマを一部修正して転載している。

任意のフォルダ (ディレクトリ)



```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xs:schema attributeFormDefault="unqualified" elementFormDefault="qualified"
targetNamespace="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html"
xmlns:xs="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
xmlns="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html">
  <!-- Element Definition -->
  <xs:element type="Common.Date" name="birthTime"/>
  <xs:element type="Common.AgencyAdjudicationResult"
    name="agencyAdjudicationResult"/>
  <xs:element type="Common.InsurerAdjudicationResult"
    name="insurerAdjudicationResult"/>
  <xs:element type="Common.InsuranceCard" name="insuranceCard"/>
  <xs:element type="Common.InsuranceProviderId" name="insurerNumber"/>
  <xs:element type="Common.InsuranceSymbol" name="symbol"/>
  <xs:element type="Common.InsuranceNumber" name="number"/>
  <xs:element type="Common.InsuranceBranchCode" name="branchCode"/>
  <xs:element type="Common.PostalCode" name="postalCode"/>
  <xs:element type="Common.InteractionType" name="interactionType"/>
  <xs:element type="Common.Date" name="recordDate"/>
  <xs:element type="reasonText" name="text"/>
  <xs:element type="Common.TotalMonetaryAmount" name="amount"/>
  <xs:element type="Common.ChargeRate" name="rate"/>
  <xs:element type="Common.ServiceEventType" name="serviceEventType"/>
  <!-- Common Complex Type Definition -->
  <!-- 種別 -->
  - <xs:complexType name="Common.InteractionType">
    <xs:attribute type="Code.InteractionType" name="code" use="required"/>
  </xs:complexType>
  <!-- 実施区分 -->
  - <xs:complexType name="Common.ServiceEventType">
    <xs:attribute type="Code.ServiceEventType" name="code" use="required"/>
  </xs:complexType>
  <!-- 被保険者証情報 -->
  - <xs:complexType name="Common.InsuranceCard">
    - <xs:sequence>
      <xs:element ref="insurerNumber"/>
      <xs:element ref="symbol" minOccurs="0"/>
      <xs:element ref="number"/>
      <xs:element ref="branchCode" minOccurs="0"/>
    </xs:sequence>
  </xs:complexType>
  <!-- 日付(YYYYMMDD形式) -->
  - <xs:complexType name="Common.Date">
    <xs:attribute type="date" name="value" use="required"/>
  </xs:complexType>
  <!-- 窓口負担情報 -->
  - <xs:complexType name="Common.ChargeType">
    - <xs:choice minOccurs="0">
      <xs:element type="Common.ChargeMonetaryAmount" name="amount"/>
      <xs:element ref="rate"/>
    </xs:choice>
    <xs:attribute type="Code.ChargeType" name="code" use="required"/>
  </xs:complexType>

```

```

    <!-- 自己負担情報 -->
- <xs:complexType name="Common.Copayment">
  - <xs:choice minOccurs="0">
    <xs:element type="Common.ChargeMonetaryAmount" name="amount"/>
    <xs:element type="Common.ChargeRate" name="rate"/>
  </xs:choice>
  <xs:attribute type="Code.ChargeTypeForCopayment" name="code" use="required"/>
</xs:complexType>
  <!-- 窓口負担情報(保険者負担上限額) -->
- <xs:complexType name="Common.MaximumInsuranceLimit">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="Common.ChargeMonetaryAmount" name="amount"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute type="Code.ChargeTypeForMaximumInsuranceLimit" name="code"
    fixed="4"/>
</xs:complexType>
  <!-- 割合 -->
- <xs:complexType name="Common.Percentage">
  <xs:attribute type="percentage" name="value" use="required"/>
  <xs:attribute type="Code.Unit" name="unit" default="%"/>
</xs:complexType>
  <!-- 負担率情報 -->
- <xs:complexType name="Common.ChargeRate">
  <xs:attribute type="chargeRate" name="value" use="required"/>
  <xs:attribute type="Code.Unit" name="unit" default="%"/>
</xs:complexType>
  <!-- 住所情報 -->
- <xs:complexType name="Common.Address" mixed="true">
  - <xs:sequence>
    <xs:element ref="postalCode"/>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>
  <!-- 郵便番号 -->
- <xs:simpleType name="Common.PostalCode">
  - <xs:restriction base="xs:string">
    <xs:pattern value="[0-9]{3}-[0-9]{4}"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
  <!-- 受診情報 -->
- <xs:complexType name="Common.Encounter">
  - <xs:sequence>
    <xs:element ref="serviceEventType"/>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>
  <!-- 健診機関・保健指導機関情報 -->
- <xs:complexType name="Common.CheckupProvider">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="Common.CheckupProviderId" name="id"/>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>
  <!-- 識別子情報 -->
- <xs:complexType name="Common.InstanceIdentifier">
  <xs:attribute type="oid" name="root" use="required"/>

```

```

        <xs:attribute type="xs:string" name="extension" use="required"/>
    </xs:complexType>
    <!-- 被保険者証記号 -->
- <xs:complexType name="Common.InsuranceSymbol">
    <xs:attribute type="insuranceSymbolOid" name="root" use="required"/>
    <xs:attribute type="extensionForInsuranceNumberOrInsuranceSymbol"
        name="extension" use="required"/>
</xs:complexType>
    <!-- 被保険者証番号 -->
- <xs:complexType name="Common.InsuranceNumber">
    <xs:attribute type="insuranceNumberOid" name="root" use="required"/>
    <xs:attribute type="extensionForInsuranceNumberOrInsuranceSymbol"
        name="extension" use="required"/>
</xs:complexType>
    <!-- 被保険者証枝番 -->
- <xs:complexType name="Common.InsuranceBranchCode">
    <xs:attribute type="insuranceBranchCodeOid" name="root" use="required"/>
    <xs:attribute type="extensionForInsuranceBranchCode" name="extension"
        use="required"/>
</xs:complexType>
    <!-- 保険者番号 -->
- <xs:complexType name="Common.InsuranceProviderId">
    <xs:attribute type="insuranceProviderOid" name="root" use="required"/>
    <xs:attribute type="insuranceProviderId" name="extension" use="required"/>
</xs:complexType>
    <!-- 健診機関・保健指導機関番号 -->
- <xs:complexType name="Common.CheckupProviderId">
    <xs:attribute type="checkupProviderOid" name="root" use="required"/>
    <xs:attribute type="checkupProviderId" name="extension" use="required"/>
</xs:complexType>
    <!-- 受診券番号 -->
- <xs:complexType name="Common.CheckupCardId">
    <xs:attribute type="checkupCardOid" name="root" use="required"/>
    <xs:attribute type="consultationCardId" name="extension" use="required"/>
</xs:complexType>
    <!-- 利用券番号 -->
- <xs:complexType name="Common.HealthGuidanceCardId">
    <xs:attribute type="healthGuidanceCardOid" name="root" use="required"/>
    <xs:attribute type="consultationCardId" name="extension" use="required"/>
</xs:complexType>
    <!-- 金額 -->
- <xs:complexType name="Common.MonetaryAmount">
    <xs:attribute type="xs:integer" name="value" use="required"/>
    <xs:attribute type="Code.Currency" name="currency" default="JPY"/>
</xs:complexType>
    <!-- 総額(9桁以内) -->
- <xs:complexType name="Common.TotalMonetaryAmount">
    - <xs:complexContent>
        - <xs:restriction base="Common.MonetaryAmount">
            <xs:attribute type="totalMonetaryAmount" name="value" use="required"/>
        </xs:restriction>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>

```

```

    <!-- 窓口負担金額 -->
- <xs:complexType name="Common.Payment">
  - <xs:sequence>
    <xs:element type="Common.ChargeMonetaryAmount" name="amount"/>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>
  <!-- 負担費用(6桁) -->
- <xs:complexType name="Common.ChargeMonetaryAmount">
  <xs:attribute type="chargeMonetaryAmount" name="value" use="required"/>
  <xs:attribute type="Code.Currency" name="currency" default="JPY"/>
</xs:complexType>
  <!-- コード化値 -->
- <xs:complexType name="Common.CodedValue">
  <xs:attribute type="codedSimpleValue" name="code" use="required"/>
  <xs:attribute type="oid" name="codeSystem" use="required"/>
</xs:complexType>
  <!-- 男女区分 -->
- <xs:complexType name="Common.AdministrativeGender">
  <xs:attribute type="Code.AdministrativeGender" name="code" use="required"/>
</xs:complexType>
  <!-- 受診者・利用者氏名 -->
  <xs:complexType name="Common.PersonName" mixed="true"/>
  <!-- 処理結果 -->
- <xs:complexType name="Common.AdjudicationResultBase" abstract="true">
  - <xs:sequence>
    <xs:element ref="interactionType"/>
    <xs:element ref="recordDate"/>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>
  <!-- 保険者処理結果 -->
- <xs:complexType name="Common.InsurerAdjudicationResult">
  - <xs:complexContent>
    - <xs:extension base="Common.AdjudicationResultBase">
      - <xs:sequence>
        <xs:element type="Common.MalpracticeReason" name="reason"/>
      </xs:sequence>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
  <!-- 代行機関処理結果 -->
- <xs:complexType name="Common.AgencyAdjudicationResult">
  - <xs:complexContent>
    - <xs:extension base="Common.AdjudicationResultBase">
      - <xs:sequence>
        <xs:element type="Common.ErrorReason" name="reason"/>
      </xs:sequence>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
  <!-- 返戻理由 -->
- <xs:complexType name="Common.ErrorReason">
  - <xs:sequence>
    <xs:element ref="text" minOccurs="0"/>

```

```

        </xs:sequence>
        <xs:attribute type="Code.ErrorCode" name="code"/>
    </xs:complexType>
    <!-- 過誤返戻理由 -->
- <xs:complexType name="Common.MalpracticeReason">
    - <xs:sequence>
        <xs:element ref="text" minOccurs="0"/>
    </xs:sequence>
    <xs:attribute type="Code.MalpracticeCode" name="code"/>
</xs:complexType>
<!-- 期間情報 -->
- <xs:complexType name="Common.IntervalPointInTime">
    - <xs:sequence>
        <xs:element type="Common.Date" name="high"/>
    </xs:sequence>
</xs:complexType>
<!-- 単価情報 -->
- <xs:complexType name="Common.UnitPrice">
    - <xs:sequence>
        <xs:element ref="amount"/>
    </xs:sequence>
</xs:complexType>
<!-- 健診項目別単価情報(詳細な健診) -->
- <xs:complexType name="Common.UnitPriceWithDetailObservation">
    - <xs:complexContent>
        - <xs:extension base="Common.UnitPrice">
            - <xs:sequence>
                <xs:element type="Common.DetailObservation" name="observation"/>
            </xs:sequence>
        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<!-- 健診項目別単価情報(追加健診) -->
- <xs:complexType name="Common.UnitPriceWithOtherObservation">
    - <xs:complexContent>
        - <xs:extension base="Common.UnitPrice">
            - <xs:sequence>
                <xs:element type="Common.OtherObservation" name="observation"
                    minOccurs="0"/>
            </xs:sequence>
        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<!-- 健診項目(詳細な健診) -->
- <xs:complexType name="Common.DetailObservation">
    <xs:attribute type="Code.DetailObservationCode" name="code" use="required"/>
</xs:complexType>
<!-- 健診項目(追加健診) -->
- <xs:complexType name="Common.OtherObservation">
    <xs:attribute type="codedSimpleValue" name="code" use="required"/>
    <xs:attribute type="observationCodeSystemOid" name="codeSystem"
        use="required"/>
</xs:complexType>

```

```

    <!-- Common SimpleType Definition -->
- <xs:simpleType name="codedSimpleValue">
  - <xs:restriction base="xs:token">
    <xs:pattern value="[^\s]+"\>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
  <!-- OID -->
- <xs:simpleType name="oid">
  - <xs:restriction base="xs:string">
    <xs:pattern value="[0-2](\.(0|[1-9][0-9]*)*)*\>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
  <!-- 日付(YYYYMMDD形式) -->
- <xs:simpleType name="date">
  - <xs:restriction base="xs:string">
    <xs:pattern value="([1-9][0-9][0-9][0-9])(0|[1-9])(1|[0-2])([0-2][0-9])|(3[01])"\>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
  <!-- 特定健診機関番号、特定保健指導機関番号 -->
- <xs:simpleType name="checkupProviderId">
  - <xs:restriction base="xs:string">
    <xs:pattern value="[0-9]{10}"\>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
  <!-- 保険者番号 -->
- <xs:simpleType name="insuranceProviderId">
  - <xs:restriction base="xs:string">
    <xs:pattern value="[0-9]{0,8}"\>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
  <!-- 代行機関番号 -->
- <xs:simpleType name="agencyProviderId">
  - <xs:restriction base="xs:string">
    <xs:pattern value="[0-9]{8}"\>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
  <!-- 特定健診機関番号、特定保健指導機関番号、代行機関番号、保険者番号 -->
- <xs:simpleType name="senderId">
  <xs:union memberTypes="checkupProviderId insuranceProviderId
    agencyProviderId"/>
</xs:simpleType>
  <!-- 特定健診機関番号、特定保健指導機関番号、代行機関番号、保険者番号 -->
- <xs:simpleType name="receiverId">
  <xs:union memberTypes="checkupProviderId insuranceProviderId
    agencyProviderId"/>
</xs:simpleType>
  <!-- 送信機関OID -->
- <xs:simpleType name="senderOid">
  <xs:union memberTypes="checkupProviderOid insuranceProviderOid
    agencyProviderOid"/>
</xs:simpleType>
  <!-- 受信機関OID -->
- <xs:simpleType name="receiverOid">

```



```

        <xs:union memberTypes="checkupProviderOid insuranceProviderOid
            agencyProviderOid localGovernmentOid"/>
    </xs:simpleType>
    <!-- 健診・保健指導機関番号OID -->
- <xs:simpleType name="checkupProviderOid">
    - <xs:restriction base="oid">
        <xs:enumeration value="1.2.392.200119.6.102"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
    <!-- 保険者番号OID -->
- <xs:simpleType name="insuranceProviderOid">
    - <xs:restriction base="oid">
        <xs:enumeration value="1.2.392.200119.6.101"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
    <!-- 代行機関番号OID -->
- <xs:simpleType name="agencyProviderOid">
    - <xs:restriction base="oid">
        <xs:enumeration value="1.2.392.200119.6.103"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
    <!-- 地方公共団体コードOID -->
- <xs:simpleType name="localGovernmentOid">
    - <xs:restriction base="oid">
        <xs:enumeration value="1.2.392.200119.6.105"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
    <!-- 被保険者証記号等OID -->
- <xs:simpleType name="insuranceSymbolOid">
    - <xs:restriction base="oid">
        <xs:enumeration value="1.2.392.200119.6.204"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
    <!-- 被保険者証番号等OID -->
- <xs:simpleType name="insuranceNumberOid">
    - <xs:restriction base="oid">
        <xs:enumeration value="1.2.392.200119.6.205"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
    <!-- 被保険者証枝番等OID -->
- <xs:simpleType name="insuranceBranchCodeOid">
    - <xs:restriction base="oid">
        <xs:enumeration value="1.2.392.200119.6.211"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
    <!-- 受診券整理番号OID -->
- <xs:simpleType name="checkupCardOid">
    - <xs:restriction base="oid">
        <xs:enumeration value="1.2.392.200119.6.209"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
    <!-- 利用券整理番号OID -->
- <xs:simpleType name="healthGuidanceCardOid">

```

```

- <xs:restriction base="oid">
  <xs:enumeration value="1.2.392.200119.6.210"/>
</xs:restriction>
</xs:simpleType>
<!-- 健診項目コード体系OID -->
- <xs:simpleType name="observationCodeSystemOid">
  - <xs:restriction base="oid">
    <xs:enumeration value="1.2.392.200119.6.1005"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
<!-- 受診券番号、利用券番号 -->
- <xs:simpleType name="consultationCardId">
  - <xs:restriction base="xs:string">
    <xs:pattern value="[0-9]{11}"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
<!-- 総計(6桁以内) -->
- <xs:simpleType name="totalCount">
  - <xs:restriction base="xs:integer">
    <xs:minInclusive value="0"/>
    <xs:maxInclusive value="999999"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
<!-- 総合計(8桁以内) -->
- <xs:simpleType name="grandTotalCount">
  - <xs:restriction base="xs:integer">
    <xs:minInclusive value="0"/>
    <xs:maxInclusive value="99999999"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
<!-- ポイント数(4桁以内) -->
- <xs:simpleType name="pointCount">
  - <xs:restriction base="xs:integer">
    <xs:minInclusive value="0"/>
    <xs:maxInclusive value="9999"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
<!-- 窓口負担金額(6桁) -->
- <xs:simpleType name="chargeMonetaryAmount">
  - <xs:restriction base="xs:string">
    <xs:pattern value="[0-9]{6}"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
<!-- 合計金額(9桁以内) -->
- <xs:simpleType name="totalMonetaryAmount">
  - <xs:restriction base="xs:integer">
    <xs:minInclusive value="0"/>
    <xs:maxInclusive value="999999999"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
<!-- 被保険者記号・番号(20文字以内) -->
- <xs:simpleType name="extensionForInsuranceNumberOrInsuranceSymbol">
  - <xs:restriction base="xs:string">

```

```

        <xs:maxLength value="20"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
    <!-- 被保険者枝番(2文字) -->
- <xs:simpleType name="extensionForInsuranceBranchCode">
    - <xs:restriction base="xs:string">
        <xs:pattern value="[0-9]{2}"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
    <!-- 理由テキスト(100文字以内) -->
- <xs:simpleType name="reasonText">
    - <xs:restriction base="xs:string">
        <xs:maxLength value="100"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
    <!-- 窓口負担率(6桁) -->
- <xs:simpleType name="chargeRate">
    - <xs:restriction base="xs:string">
        <xs:pattern value="[0-9]{6}"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
    <!-- 割合(3桁) -->
- <xs:simpleType name="percentage">
    - <xs:restriction base="xs:integer">
        <xs:minInclusive value="0"/>
        <xs:maxInclusive value="100"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
    <!-- Coded Value Deifinition -->
    <!-- 種別コード(別表1) -->
- <xs:simpleType name="Code.InteractionType">
    - <xs:restriction base="codedSimpleValue">
        <xs:enumeration value="1"/>
        <xs:enumeration value="2"/>
        <xs:enumeration value="3"/>
        <xs:enumeration value="4"/>
        <xs:enumeration value="5"/>
        <xs:enumeration value="6"/>
        <xs:enumeration value="7"/>
        <xs:enumeration value="8"/>
        <xs:enumeration value="9"/>
        <xs:enumeration value="10"/>
        <xs:enumeration value="11"/>
        <xs:enumeration value="12"/>
        <xs:enumeration value="13"/>
        <xs:enumeration value="14"/>
        <xs:enumeration value="15"/>
        <xs:enumeration value="16"/>
        <xs:enumeration value="17"/>
        <xs:enumeration value="18"/>
        <xs:enumeration value="19"/>
        <xs:enumeration value="20"/>
    </xs:restriction>

```

```

</xs:simpleType>
  <!-- 実施区分コード(別表3) -->
- <xs:simpleType name="Code.ServiceEventType">
  - <xs:restriction base="codedSimpleValue">
    <xs:enumeration value="1"/>
    <xs:enumeration value="2"/>
    <xs:enumeration value="3"/>
    <xs:enumeration value="4"/>
    <xs:enumeration value="5"/>
    <xs:enumeration value="6"/>
    <xs:enumeration value="7"/>
    <xs:enumeration value="8"/>
    <xs:enumeration value="9"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
  <!-- 男女区分コード(別表4) -->
- <xs:simpleType name="Code.AdministrativeGender">
  - <xs:restriction base="codedSimpleValue">
    <xs:enumeration value="1"/>
    <xs:enumeration value="2"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
  <!-- 窓口負担コード(別表6) -->
- <xs:simpleType name="Code.ChargeType">
  - <xs:restriction base="codedSimpleValue">
    <xs:enumeration value="1"/>
    <xs:enumeration value="2"/>
    <xs:enumeration value="3"/>
    <xs:enumeration value="4"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
  <!-- 窓口負担コード 自己負担のみ(別表6) -->
- <xs:simpleType name="Code.ChargeTypeForCopayment">
  - <xs:restriction base="codedSimpleValue">
    <xs:enumeration value="1"/>
    <xs:enumeration value="2"/>
    <xs:enumeration value="3"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
  <!-- 窓口負担コード 保険者負担上限額のみ(別表6) -->
- <xs:simpleType name="Code.ChargeTypeForMaximumInsuranceLimit">
  - <xs:restriction base="codedSimpleValue">
    <xs:enumeration value="4"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
  <!-- 請求区分コード(別表7) -->
- <xs:simpleType name="Code.ClaimType">
  - <xs:restriction base="codedSimpleValue">
    <xs:enumeration value="1"/>
    <xs:enumeration value="2"/>
    <xs:enumeration value="3"/>
    <xs:enumeration value="4"/>
    <xs:enumeration value="5"/>
  </xs:restriction>

```

```

    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
    <!-- 詳細な健診項目コード(別表8) -->
- <xs:simpleType name="Code.DetailObservationCode">
  - <xs:restriction base="codedSimpleValue">
    <xs:enumeration value="1"/>
    <xs:enumeration value="2"/>
    <xs:enumeration value="3"/>
    <xs:enumeration value="4"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
    <!-- 返戻理由コード(別表9) -->
- <xs:simpleType name="Code.ErrorCode">
  - <xs:restriction base="codedSimpleValue">
    <xs:enumeration value="01"/>
    <xs:enumeration value="02"/>
    <xs:enumeration value="03"/>
    <xs:enumeration value="04"/>
    <xs:enumeration value="05"/>
    <xs:enumeration value="06"/>
    <xs:enumeration value="07"/>
    <xs:enumeration value="08"/>
    <xs:enumeration value="09"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
    <!-- 過誤返戻理由コード(別表10) -->
- <xs:simpleType name="Code.MalpracticeCode">
  - <xs:restriction base="codedSimpleValue">
    <xs:enumeration value="01"/>
    <xs:enumeration value="02"/>
    <xs:enumeration value="03"/>
    <xs:enumeration value="04"/>
    <xs:enumeration value="05"/>
    <xs:enumeration value="06"/>
    <xs:enumeration value="07"/>
    <xs:enumeration value="08"/>
    <xs:enumeration value="09"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
    <!-- 保健指導実施時点コード(別表11) -->
- <xs:simpleType name="Code.HealthGuidanceTiming">
  - <xs:restriction base="codedSimpleValue">
    <xs:enumeration value="1"/>
    <xs:enumeration value="2"/>
    <xs:enumeration value="3"/>
    <xs:enumeration value="4"/>
    <xs:enumeration value="5"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
    <!-- 保健指導区分コード(別表12) -->
- <xs:simpleType name="Code.HealthGuidanceLevel">
  - <xs:restriction base="codedSimpleValue">
    <xs:enumeration value="1"/>

```

```

        <xs:enumeration value="2"/>
        <xs:enumeration value="3"/>
        <xs:enumeration value="4"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
    <!-- 窓口負担徴収コード(別表14) -->
- <xs:simpleType name="Code.HealthGuidancePaymentStatus">
    - <xs:restriction base="codedSimpleValue">
        <xs:enumeration value="1"/>
        <xs:enumeration value="2"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
    <!-- 委託料単価区分(別表15) -->
- <xs:simpleType name="Code.CommissionType">
    - <xs:restriction base="codedSimpleValue">
        <xs:enumeration value="1"/>
        <xs:enumeration value="2"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
    <!-- 通貨コード -->
- <xs:simpleType name="Code.Currency">
    - <xs:restriction base="codedSimpleValue">
        <xs:enumeration value="JPY"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
    <!-- 単位コード -->
- <xs:simpleType name="Code.Unit">
    - <xs:restriction base="codedSimpleValue">
        <xs:enumeration value="%"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
</xs:schema>

```

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<!-- $Id: datatypes.xsd,v 1.1 2006/05/23 23:03:14 wbeeler Exp $ -->
<!-- This schema is generated from a Generic Schema Definition (GSD) by gsd2xsl. Do not edit this
file. -->
<xs:schema targetNamespace="urn:hl7-org:v3" xmlns="urn:hl7-org:v3"
elementFormDefault="qualified" xmlns:xs="http://www.w3.org/2001/XMLSchema">
- <xs:annotation>
  <xs:documentation> Copyright (c) 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006 Health Level
    Seven. All rights reserved. Redistribution and use in source and binary forms, with or
    without modification, are permitted provided that the following conditions are met: 1.
    Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of
    conditions and the following disclaimer. 2. Redistributions in binary form must
    reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following
    disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
    3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display
    the following acknowledgement: This product includes software developed by Health
    Level Seven. THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND
    CONTRIBUTORS ``AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES,
    INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF
    MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE
    DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE
    LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL,
    EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT
    LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
    LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
    HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN
    CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR
    OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS
    SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
    Generated by $Id: datatypes.xsd,v 1.1 2006/05/23 23:03:14 wbeeler Exp $
  </xs:documentation>
</xs:annotation>
<xs:include schemaLocation="datatypes-base_hcgv08.xsd"/>
  <!-- Instantiated templates -->
- <xs:complexType name="PIVL_TS">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> Note: because this type is defined as an extension of SXCM_T,
      all of the attributes and elements accepted for T are also accepted by this
      definition. However, they are NOT allowed by the normative description of this
      type. Unfortunately, we cannot write a general purpose schematron constraints to
      provide that extra validation, thus applications must be aware that instance
      (fragments) that pass validation with this might might still not be legal.
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:complexContent>
    - <xs:extension base="SXCM_TS">
      - <xs:sequence>
        - <xs:element name="phase" type="IVL_TS" maxOccurs="1"
          minOccurs="0">
          - <xs:annotation>
            <xs:documentation> A prototype of the repeating interval
              specifying the duration of each occurrence and anchors the

```

```

        periodic interval sequence at a certain point in time.
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
</xs:element>
- <xs:element name="period" type="PQ" maxOccurs="1" minOccurs="0">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation> A time duration specifying a reciprocal
            measure of the frequency at which the periodic interval
            repeats. </xs:documentation>
    </xs:annotation>
</xs:element>
</xs:sequence>
- <xs:attribute name="alignment" type="CalendarCycle" use="optional">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation> Specifies if and how the repetitions are aligned to
            the cycles of the underlying calendar (e.g., to distinguish every 30
            days from "the 5th of every month".) A non-aligned periodic
            interval recurs independently from the calendar. An aligned
            periodic interval is synchronized with the calendar.
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
</xs:attribute>
- <xs:attribute name="institutionSpecified" type="bl" use="optional"
    default="false">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation> Indicates whether the exact timing is up to the
            party executing the schedule (e.g., to distinguish "every 8 hours"
            from "3 times a day".) </xs:documentation>
    </xs:annotation>
</xs:attribute>
</xs:extension>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="EIVL_TS">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation> Note: because this type is defined as an extension of SXCM_T,
            all of the attributes and elements accepted for T are also accepted by this
            definition. However, they are NOT allowed by the normative description of this
            type. Unfortunately, we cannot write a general purpose schematron constraints
            to provide that extra validation, thus applications must be aware that instance
            (fragments) that pass validation with this might still not be legal.
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:complexContent>
        - <xs:extension base="SXCM_TS">
            - <xs:sequence>
                - <xs:element name="event" type="EIVL.event" maxOccurs="1"
                    minOccurs="0">
                    - <xs:annotation>
                        <xs:documentation> A code for a common (periodical) activity of
                            daily living based on which the event related periodic
                            interval is specified. </xs:documentation>
                    </xs:annotation>

```



```

</xs:element>
- <xs:element name="offset" type="IVL_PQ" maxOccurs="1"
  minOccurs="0">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> An interval of elapsed time (duration, not
      absolute point in time) that marks the offsets for the
      beginning, width and end of the event-related periodic
      interval measured from the time each such event actually
      occurred. </xs:documentation>
    </xs:annotation>
  </xs:element>
</xs:sequence>
</xs:extension>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="IVL_PQ">
  - <xs:complexContent>
    - <xs:extension base="SXCM_PQ">
      - <xs:choice minOccurs="0">
        - <xs:sequence>
          - <xs:element name="low" type="IVXB_PQ" maxOccurs="1"
            minOccurs="1">
            - <xs:annotation>
              <xs:documentation> The low limit of the interval.
              </xs:documentation>
            </xs:annotation>
          </xs:element>
          - <xs:choice minOccurs="0">
            - <xs:element name="width" type="PQ" maxOccurs="1"
              minOccurs="0">
              - <xs:annotation>
                <xs:documentation> The difference between high and
                  low boundary. The purpose of distinguishing a
                  width property is to handle all cases of incomplete
                  information symmetrically. In any interval
                  representation only two of the three properties
                  high, low, and width need to be stated and the third
                  can be derived. </xs:documentation>
                </xs:annotation>
              </xs:element>
            - <xs:element name="high" type="IVXB_PQ" maxOccurs="1"
              minOccurs="0">
              - <xs:annotation>
                <xs:documentation> The high limit of the interval.
                </xs:documentation>
              </xs:annotation>
            </xs:element>
          </xs:choice>
        </xs:sequence>
      - <xs:element name="high" type="IVXB_PQ" maxOccurs="1"
        minOccurs="1">
        - <xs:annotation>
          <xs:documentation/>

```

```

        </xs:annotation>
    </xs:element>
- <xs:sequence>
    - <xs:element name="width" type="PQ" maxOccurs="1"
      minOccurs="1">
        - <xs:annotation>
            <xs:documentation> The difference between high and low
              boundary. The purpose of distinguishing a width
              property is to handle all cases of incomplete
              information symmetrically. In any interval
              representation only two of the three properties high,
              low, and width need to be stated and the third can be
              derived. </xs:documentation>
        </xs:annotation>
    </xs:element>
- <xs:element name="high" type="IVXB_PQ" maxOccurs="1"
  minOccurs="0">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation> The high limit of the interval.
    </xs:documentation>
    </xs:annotation>
  </xs:element>
</xs:sequence>
- <xs:sequence>
    - <xs:element name="center" type="PQ" maxOccurs="1"
      minOccurs="1">
        - <xs:annotation>
            <xs:documentation> The arithmetic mean of the interval
              (low plus high divided by 2). The purpose of
              distinguishing the center as a semantic property is for
              conversions of intervals from and to point values.
            </xs:documentation>
        </xs:annotation>
    </xs:element>
- <xs:element name="width" type="PQ" maxOccurs="1"
  minOccurs="0">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation> The difference between high and low
          boundary. The purpose of distinguishing a width
          property is to handle all cases of incomplete
          information symmetrically. In any interval
          representation only two of the three properties high,
          low, and width need to be stated and the third can be
          derived. </xs:documentation>
    </xs:annotation>
  </xs:element>
</xs:sequence>
</xs:choice>
</xs:extension>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="SXCM_PQ">
    - <xs:complexContent>

```

- `<xs:extension base="PQ">`
 - `<xs:attribute name="operator" type="SetOperator" use="optional" default="I">`
 - `<xs:annotation>`
 - `<xs:documentation>` A code specifying whether the set component is included (union) or excluded (set-difference) from the set, or other set operations with the current set component and the set as constructed from the representation stream up to the current point. `</xs:documentation>`
 - `</xs:annotation>`
 - `</xs:attribute>`
 - `</xs:extension>`
- `</xs:complexType>`
- `<xs:complexType name="IVXB_PQ">`
 - `<xs:complexContent>`
 - `<xs:extension base="PQ">`
 - `<xs:attribute name="inclusive" type="bl" use="optional" default="true">`
 - `<xs:annotation>`
 - `<xs:documentation>` Specifies whether the limit is included in the interval (interval is closed) or excluded from the interval (interval is open). `</xs:documentation>`
 - `</xs:annotation>`
 - `</xs:attribute>`
 - `</xs:extension>`
 - `</xs:complexContent>`
 - `</xs:complexType>`
 - `<xs:complexType name="PPD_TS">`
 - `<xs:annotation>`
 - `<xs:appinfo>`
 - `<diff>PPD_PQ</diff>`
 - `</xs:appinfo>`
 - `</xs:annotation>`
 - `<xs:complexContent>`
 - `<xs:extension base="TS">`
 - `<xs:sequence>`
 - `<xs:element name="standardDeviation" type="PQ" maxOccurs="1" minOccurs="0">`
 - `<xs:annotation>`
 - `<xs:documentation>` The primary measure of variance/uncertainty of the value (the square root of the sum of the squares of the differences between all data points and the mean). The standard deviation is used to normalize the data for computing the distribution function. Applications that cannot deal with probability distributions can still get an idea about the confidence level by looking at the standard deviation. `</xs:documentation>`
 - `</xs:annotation>`
 - `</xs:element>`
 - `</xs:sequence>`
 - `<xs:attribute name="distributionType" type="ProbabilityDistributionType" use="optional">`
 - `<xs:annotation>`

```

    <xs:documentation> A code specifying the type of probability
        distribution. Possible values are as shown in the attached table.
        The NULL value (unknown) for the type code indicates that the
        probability distribution type is unknown. In that case, the standard
        deviation has the meaning of an informal guess.
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
</xs:attribute>
</xs:extension>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="PPD_PQ">
  - <xs:annotation>
    - <xs:appinfo>
      <diff>PPD_PQ</diff>
    </xs:appinfo>
  </xs:annotation>
  - <xs:complexContent>
    - <xs:extension base="PQ">
      - <xs:sequence>
        - <xs:element name="standardDeviation" type="PQ" maxOccurs="1"
            minOccurs="0">
          - <xs:annotation>
            <xs:documentation> The primary measure of variance/uncertainty
                of the value (the square root of the sum of the squares of the
                differences between all data points and the mean). The
                standard deviation is used to normalize the data for
                computing the distribution function. Applications that cannot
                deal with probability distributions can still get an idea about
                the confidence level by looking at the standard deviation.
            </xs:documentation>
          </xs:annotation>
        </xs:element>
      </xs:sequence>
    - <xs:attribute name="distributionType" type="ProbabilityDistributionType"
        use="optional">
      - <xs:annotation>
        <xs:documentation> A code specifying the type of probability
            distribution. Possible values are as shown in the attached table.
            The NULL value (unknown) for the type code indicates that the
            probability distribution type is unknown. In that case, the standard
            deviation has the meaning of an informal guess.
        </xs:documentation>
      </xs:annotation>
    </xs:attribute>
  </xs:extension>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="PIVL_PPD_TS">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> Note: because this type is defined as an extension of SXCM_T,
        all of the attributes and elements accepted for T are also accepted by this
        definition. However, they are NOT allowed by the normative description of this

```

type. Unfortunately, we cannot write a general purpose schematron constraints to provide that extra validation, thus applications must be aware that instance (fragments) that pass validation with this might still not be legal.

```

</xs:documentation>
</xs:annotation>
- <xs:complexContent>
  - <xs:extension base="SXCM_PPD_TS">
    - <xs:sequence>
      - <xs:element name="phase" type="IVL_PPD_TS" maxOccurs="1"
        minOccurs="0">
        - <xs:annotation>
          <xs:documentation> A prototype of the repeating interval
            specifying the duration of each occurrence and anchors the
            periodic interval sequence at a certain point in time.
          </xs:documentation>
        </xs:annotation>
      </xs:element>
      - <xs:element name="period" type="PPD_PQ" maxOccurs="1"
        minOccurs="0">
        - <xs:annotation>
          <xs:documentation> A time duration specifying a reciprocal
            measure of the frequency at which the periodic interval
            repeats. </xs:documentation>
        </xs:annotation>
      </xs:element>
    </xs:sequence>
    - <xs:attribute name="alignment" type="CalendarCycle" use="optional">
      - <xs:annotation>
        <xs:documentation> Specifies if and how the repetitions are aligned to
          the cycles of the underlying calendar (e.g., to distinguish every 30
          days from "the 5th of every month".) A non-aligned periodic
          interval recurs independently from the calendar. An aligned
          periodic interval is synchronized with the calendar.
        </xs:documentation>
      </xs:annotation>
    </xs:attribute>
    - <xs:attribute name="institutionSpecified" type="bl" use="optional"
      default="false">
      - <xs:annotation>
        <xs:documentation> Indicates whether the exact timing is up to the
          party executing the schedule (e.g., to distinguish "every 8 hours"
          from "3 times a day".) </xs:documentation>
      </xs:annotation>
    </xs:attribute>
  </xs:extension>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="SXCM_PPD_TS">
  - <xs:complexContent>
    - <xs:extension base="PPD_TS">
      - <xs:attribute name="operator" type="SetOperator" use="optional"
        default="I">
        - <xs:annotation>

```

```

    <xs:documentation> A code specifying whether the set component is
      included (union) or excluded (set-difference) from the set, or
      other set operations with the current set component and the set as
      constructed from the representation stream up to the current point.
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
</xs:attribute>
</xs:extension>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="IVL_PPD_TS">
  - <xs:complexContent>
    - <xs:extension base="SXCM_PPD_TS">
      - <xs:choice minOccurs="0">
        - <xs:sequence>
          - <xs:element name="low" type="IVXB_PPD_TS" maxOccurs="1"
            minOccurs="1">
            - <xs:annotation>
              <xs:documentation> The low limit of the interval.
            </xs:documentation>
            </xs:annotation>
          </xs:element>
          - <xs:choice minOccurs="0">
            - <xs:element name="width" type="PPD_PQ" maxOccurs="1"
              minOccurs="0">
              - <xs:annotation>
                <xs:documentation> The difference between high and
                  low boundary. The purpose of distinguishing a
                  width property is to handle all cases of incomplete
                  information symmetrically. In any interval
                  representation only two of the three properties
                  high, low, and width need to be stated and the third
                  can be derived. </xs:documentation>
              </xs:annotation>
            </xs:element>
            - <xs:element name="high" type="IVXB_PPD_TS"
              maxOccurs="1" minOccurs="0">
              - <xs:annotation>
                <xs:documentation> The high limit of the interval.
              </xs:documentation>
            </xs:annotation>
          </xs:element>
        </xs:choice>
      </xs:sequence>
      - <xs:element name="high" type="IVXB_PPD_TS" maxOccurs="1"
        minOccurs="1">
        - <xs:annotation>
          <xs:documentation/>
        </xs:annotation>
      </xs:element>
      - <xs:sequence>
        - <xs:element name="width" type="PPD_PQ" maxOccurs="1"
          minOccurs="1">

```

```

- <xs:annotation>
  <xs:documentation> The difference between high and low
    boundary. The purpose of distinguishing a width
    property is to handle all cases of incomplete
    information symmetrically. In any interval
    representation only two of the three properties high,
    low, and width need to be stated and the third can be
    derived. </xs:documentation>
  </xs:annotation>
</xs:element>
- <xs:element name="high" type="IVXB_PPD_TS" maxOccurs="1"
  minOccurs="0">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> The high limit of the interval.
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
</xs:element>
</xs:sequence>
- <xs:sequence>
  - <xs:element name="center" type="PPD_TS" maxOccurs="1"
    minOccurs="1">
    - <xs:annotation>
      <xs:documentation> The arithmetic mean of the interval
        (low plus high divided by 2). The purpose of
        distinguishing the center as a semantic property is for
        conversions of intervals from and to point values.
      </xs:documentation>
    </xs:annotation>
  </xs:element>
  - <xs:element name="width" type="PPD_PQ" maxOccurs="1"
    minOccurs="0">
    - <xs:annotation>
      <xs:documentation> The difference between high and low
        boundary. The purpose of distinguishing a width
        property is to handle all cases of incomplete
        information symmetrically. In any interval
        representation only two of the three properties high,
        low, and width need to be stated and the third can be
        derived. </xs:documentation>
    </xs:annotation>
  </xs:element>
</xs:sequence>
</xs:choice>
</xs:extension>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="IVXB_PPD_TS">
  - <xs:complexContent>
    - <xs:extension base="PPD_TS">
      - <xs:attribute name="inclusive" type="bl" use="optional" default="true">
        - <xs:annotation>

```

```

        <xs:documentation> Specifies whether the limit is included in the
            interval (interval is closed) or excluded from the interval (interval
            is open). </xs:documentation>
    </xs:annotation>
</xs:attribute>
</xs:extension>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="EIVL_PPD_TS">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation> Note: because this type is defined as an extension of SXCM_T,
            all of the attributes and elements accepted for T are also accepted by this
            definition. However, they are NOT allowed by the normative description of this
            type. Unfortunately, we cannot write a general purpose schematron constraints to
            provide that extra validation, thus applications must be aware that instance
            (fragments) that pass validation with this might still not be legal.
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:complexContent>
        - <xs:extension base="SXCM_PPD_TS">
            - <xs:sequence>
                - <xs:element name="event" type="EIVL.event" maxOccurs="1"
                    minOccurs="0">
                    - <xs:annotation>
                        <xs:documentation> A code for a common (periodical) activity of
                            daily living based on which the event related periodic
                            interval is specified. </xs:documentation>
                    </xs:annotation>
                </xs:element>
                - <xs:element name="offset" type="IVL_PPD_PQ" maxOccurs="1"
                    minOccurs="0">
                    - <xs:annotation>
                        <xs:documentation> An interval of elapsed time (duration, not
                            absolute point in time) that marks the offsets for the
                            beginning, width and end of the event-related periodic
                            interval measured from the time each such event actually
                            occurred. </xs:documentation>
                    </xs:annotation>
                </xs:element>
            </xs:sequence>
        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="IVL_PPD_PQ">
    - <xs:complexContent>
        - <xs:extension base="SXCM_PPD_PQ">
            - <xs:choice minOccurs="0">
                - <xs:sequence>
                    - <xs:element name="low" type="IVXB_PPD_PQ" maxOccurs="1"
                        minOccurs="1">
                        - <xs:annotation>
                            <xs:documentation> The low limit of the interval.
                        </xs:documentation>
                    </xs:element>
                </xs:sequence>
            </xs:choice>
        </xs:extension>
    </xs:complexContent>
</xs:complexType>

```



```

        </xs:annotation>
    </xs:element>
    - <xs:choice minOccurs="0">
        - <xs:element name="width" type="PPD_PQ" maxOccurs="1"
            minOccurs="0">
            - <xs:annotation>
                <xs:documentation> The difference between high and
                    low boundary. The purpose of distinguishing a
                    width property is to handle all cases of incomplete
                    information symmetrically. In any interval
                    representation only two of the three properties
                    high, low, and width need to be stated and the third
                    can be derived. </xs:documentation>
            </xs:annotation>
        </xs:element>
        - <xs:element name="high" type="IVXB_PPD_PQ"
            maxOccurs="1" minOccurs="0">
            - <xs:annotation>
                <xs:documentation> The high limit of the interval.
            </xs:documentation>
            </xs:annotation>
        </xs:element>
    </xs:choice>
</xs:sequence>
- <xs:element name="high" type="IVXB_PPD_PQ" maxOccurs="1"
minOccurs="1">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation/>
    </xs:annotation>
</xs:element>
- <xs:sequence>
    - <xs:element name="width" type="PPD_PQ" maxOccurs="1"
        minOccurs="1">
        - <xs:annotation>
            <xs:documentation> The difference between high and low
                boundary. The purpose of distinguishing a width
                property is to handle all cases of incomplete
                information symmetrically. In any interval
                representation only two of the three properties high,
                low, and width need to be stated and the third can be
                derived. </xs:documentation>
        </xs:annotation>
    </xs:element>
    - <xs:element name="high" type="IVXB_PPD_PQ" maxOccurs="1"
        minOccurs="0">
        - <xs:annotation>
            <xs:documentation> The high limit of the interval.
        </xs:documentation>
        </xs:annotation>
    </xs:element>
</xs:sequence>
- <xs:sequence>
    -

```

```

<xs:element name="center" type="PPD_PQ" maxOccurs="1"
minOccurs="1">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> The arithmetic mean of the interval
      (low plus high divided by 2). The purpose of
      distinguishing the center as a semantic property is for
      conversions of intervals from and to point values.
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
</xs:element>
- <xs:element name="width" type="PPD_PQ" maxOccurs="1"
minOccurs="0">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> The difference between high and low
      boundary. The purpose of distinguishing a width
      property is to handle all cases of incomplete
      information symmetrically. In any interval
      representation only two of the three properties high,
      low, and width need to be stated and the third can be
      derived. </xs:documentation>
  </xs:annotation>
</xs:element>
</xs:sequence>
</xs:choice>
</xs:extension>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="SXCM_PPD_PQ">
  - <xs:complexContent>
    - <xs:extension base="PPD_PQ">
      - <xs:attribute name="operator" type="SetOperator" use="optional"
        default="I">
        - <xs:annotation>
          <xs:documentation> A code specifying whether the set component is
            included (union) or excluded (set-difference) from the set, or
            other set operations with the current set component and the set as
            constructed from the representation stream up to the current point.
          </xs:documentation>
        </xs:annotation>
      </xs:attribute>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="IVXB_PPD_PQ">
  - <xs:complexContent>
    - <xs:extension base="PPD_PQ">
      - <xs:attribute name="inclusive" type="bl" use="optional" default="true">
        - <xs:annotation>
          <xs:documentation> Specifies whether the limit is included in the
            interval (interval is closed) or excluded from the interval (interval
            is open). </xs:documentation>
        </xs:annotation>
      </xs:attribute>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>

```

```

        </xs:extension>
      </xs:complexContent>
    </xs:complexType>
  - <xs:complexType name="SXPR_TS">
    - <xs:complexContent>
      - <xs:extension base="SXCM_TS">
        - <xs:sequence>
          - <xs:element name="comp" type="SXCM_TS" maxOccurs="unbounded"
            minOccurs="2">
            - <xs:annotation>
              <xs:documentation/>
            </xs:annotation>
          </xs:element>
        </xs:sequence>
      </xs:extension>
    </xs:complexContent>
  </xs:complexType>
- <xs:complexType name="SXCM_CD">
  - <xs:complexContent>
    - <xs:extension base="CD">
      - <xs:attribute name="operator" type="SetOperator" use="optional"
        default="I">
      - <xs:annotation>
        <xs:documentation> A code specifying whether the set component is
          included (union) or excluded (set-difference) from the set, or
          other set operations with the current set component and the set as
          constructed from the representation stream up to the current point.
        </xs:documentation>
      </xs:annotation>
    </xs:attribute>
  </xs:extension>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="SXCM_MO">
  - <xs:complexContent>
    - <xs:extension base="MO">
      - <xs:attribute name="operator" type="SetOperator" use="optional"
        default="I">
      - <xs:annotation>
        <xs:documentation> A code specifying whether the set component is
          included (union) or excluded (set-difference) from the set, or
          other set operations with the current set component and the set as
          constructed from the representation stream up to the current point.
        </xs:documentation>
      </xs:annotation>
    </xs:attribute>
  </xs:extension>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="SXCM_INT">
  - <xs:complexContent>
    - <xs:extension base="INT">
      -
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>

```

```

<xs:attribute name="operator" type="SetOperator" use="optional"
default="I">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> A code specifying whether the set component is
      included (union) or excluded (set-difference) from the set, or
      other set operations with the current set component and the set as
      constructed from the representation stream up to the current point.
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
</xs:attribute>
</xs:extension>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="SXCM_REAL">
  - <xs:complexContent>
    - <xs:extension base="REAL">
      - <xs:attribute name="operator" type="SetOperator" use="optional"
        default="I">
        - <xs:annotation>
          <xs:documentation> A code specifying whether the set component is
            included (union) or excluded (set-difference) from the set, or
            other set operations with the current set component and the set as
            constructed from the representation stream up to the current point.
          </xs:documentation>
        </xs:annotation>
      </xs:attribute>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="IVL_INT">
  - <xs:complexContent>
    - <xs:extension base="SXCM_INT">
      - <xs:choice minOccurs="0">
        - <xs:sequence>
          - <xs:element name="low" type="IVXB_INT" maxOccurs="1"
            minOccurs="1">
            - <xs:annotation>
              <xs:documentation> The low limit of the interval.
            </xs:documentation>
          </xs:annotation>
        </xs:element>
        - <xs:choice minOccurs="0">
          - <xs:element name="width" type="INT" maxOccurs="1"
            minOccurs="0">
            - <xs:annotation>
              <xs:documentation> The difference between high and
                low boundary. The purpose of distinguishing a
                width property is to handle all cases of incomplete
                information symmetrically. In any interval
                representation only two of the three properties
                high, low, and width need to be stated and the third
                can be derived. </xs:documentation>
            </xs:annotation>
          </xs:element>
        </xs:choice>
      </xs:sequence>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>

```

```

</xs:element>
- <xs:element name="high" type="IVXB_INT" maxOccurs="1"
  minOccurs="0">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> The high limit of the interval.
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
</xs:element>
</xs:choice>
</xs:sequence>
- <xs:element name="high" type="IVXB_INT" maxOccurs="1"
  minOccurs="1">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation/>
  </xs:annotation>
</xs:element>
- <xs:sequence>
  - <xs:element name="width" type="INT" maxOccurs="1"
    minOccurs="1">
    - <xs:annotation>
      <xs:documentation> The difference between high and low
        boundary. The purpose of distinguishing a width
        property is to handle all cases of incomplete
        information symmetrically. In any interval
        representation only two of the three properties high,
        low, and width need to be stated and the third can be
        derived. </xs:documentation>
    </xs:annotation>
  </xs:element>
  - <xs:element name="high" type="IVXB_INT" maxOccurs="1"
    minOccurs="0">
    - <xs:annotation>
      <xs:documentation> The high limit of the interval.
      </xs:documentation>
    </xs:annotation>
  </xs:element>
</xs:sequence>
- <xs:sequence>
  - <xs:element name="center" type="INT" maxOccurs="1"
    minOccurs="1">
    - <xs:annotation>
      <xs:documentation> The arithmetic mean of the interval
        (low plus high divided by 2). The purpose of
        distinguishing the center as a semantic property is for
        conversions of intervals from and to point values.
      </xs:documentation>
    </xs:annotation>
  </xs:element>
  - <xs:element name="width" type="INT" maxOccurs="1"
    minOccurs="0">
    - <xs:annotation>
      <xs:documentation> The difference between high and low
        boundary. The purpose of distinguishing a width

```

property is to handle all cases of incomplete information symmetrically. In any interval representation only two of the three properties high, low, and width need to be stated and the third can be derived. </xs:documentation>

```

    </xs:annotation>
  </xs:element>
</xs:sequence>
</xs:choice>
</xs:extension>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="IVXB_INT">
  - <xs:complexContent>
    - <xs:extension base="INT">
      - <xs:attribute name="inclusive" type="bl" use="optional" default="true">
        - <xs:annotation>
          <xs:documentation> Specifies whether the limit is included in the
            interval (interval is closed) or excluded from the interval (interval
            is open). </xs:documentation>
        </xs:annotation>
      </xs:attribute>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="IVL_REAL">
  - <xs:complexContent>
    - <xs:extension base="SXCM_REAL">
      - <xs:choice minOccurs="0">
        - <xs:sequence>
          - <xs:element name="low" type="IVXB_REAL" maxOccurs="1"
            minOccurs="1">
            - <xs:annotation>
              <xs:documentation> The low limit of the interval.
            </xs:documentation>
          </xs:annotation>
        </xs:element>
        - <xs:choice minOccurs="0">
          - <xs:element name="width" type="REAL" maxOccurs="1"
            minOccurs="0">
            - <xs:annotation>
              <xs:documentation> The difference between high and
                low boundary. The purpose of distinguishing a
                width property is to handle all cases of incomplete
                information symmetrically. In any interval
                representation only two of the three properties
                high, low, and width need to be stated and the third
                can be derived. </xs:documentation>
            </xs:annotation>
          </xs:element>
          - <xs:element name="high" type="IVXB_REAL" maxOccurs="1"
            minOccurs="0">
            - <xs:annotation>

```

```

        <xs:documentation> The high limit of the interval.
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
</xs:element>
</xs:choice>
</xs:sequence>
- <xs:element name="high" type="IVXB_REAL" maxOccurs="1"
  minOccurs="1">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation/>
  </xs:annotation>
</xs:element>
- <xs:sequence>
  - <xs:element name="width" type="REAL" maxOccurs="1"
    minOccurs="1">
    - <xs:annotation>
      <xs:documentation> The difference between high and low
        boundary. The purpose of distinguishing a width
        property is to handle all cases of incomplete
        information symmetrically. In any interval
        representation only two of the three properties high,
        low, and width need to be stated and the third can be
        derived. </xs:documentation>
    </xs:annotation>
  </xs:element>
  - <xs:element name="high" type="IVXB_REAL" maxOccurs="1"
    minOccurs="0">
    - <xs:annotation>
      <xs:documentation> The high limit of the interval.
      </xs:documentation>
    </xs:annotation>
  </xs:element>
</xs:sequence>
- <xs:sequence>
  - <xs:element name="center" type="REAL" maxOccurs="1"
    minOccurs="1">
    - <xs:annotation>
      <xs:documentation> The arithmetic mean of the interval
        (low plus high divided by 2). The purpose of
        distinguishing the center as a semantic property is for
        conversions of intervals from and to point values.
      </xs:documentation>
    </xs:annotation>
  </xs:element>
  - <xs:element name="width" type="REAL" maxOccurs="1"
    minOccurs="0">
    - <xs:annotation>
      <xs:documentation> The difference between high and low
        boundary. The purpose of distinguishing a width
        property is to handle all cases of incomplete
        information symmetrically. In any interval
        representation only two of the three properties high,

```

```

low, and width need to be stated and the third can be
derived. </xs:documentation>
</xs:annotation>
</xs:element>
</xs:sequence>
</xs:choice>
</xs:extension>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="IVXB_REAL">
  - <xs:complexContent>
    - <xs:extension base="REAL">
      - <xs:attribute name="inclusive" type="bl" use="optional" default="true">
        - <xs:annotation>
          <xs:documentation> Specifies whether the limit is included in the
            interval (interval is closed) or excluded from the interval (interval
            is open). </xs:documentation>
          </xs:annotation>
        </xs:attribute>
      </xs:extension>
    </xs:complexContent>
  </xs:complexType>
- <xs:complexType name="IVL_MO">
  - <xs:complexContent>
    - <xs:extension base="SXCM_MO">
      - <xs:choice minOccurs="0">
        - <xs:sequence>
          - <xs:element name="low" type="IVXB_MO" maxOccurs="1"
            minOccurs="1">
            - <xs:annotation>
              <xs:documentation> The low limit of the interval.
              </xs:documentation>
            </xs:annotation>
          </xs:element>
          - <xs:choice minOccurs="0">
            - <xs:element name="width" type="MO" maxOccurs="1"
              minOccurs="0">
              - <xs:annotation>
                <xs:documentation> The difference between high and
                  low boundary. The purpose of distinguishing a
                  width property is to handle all cases of incomplete
                  information symmetrically. In any interval
                  representation only two of the three properties
                  high, low, and width need to be stated and the third
                  can be derived. </xs:documentation>
                </xs:annotation>
              </xs:element>
            - <xs:element name="high" type="IVXB_MO" maxOccurs="1"
              minOccurs="0">
              - <xs:annotation>
                <xs:documentation> The high limit of the interval.
                </xs:documentation>
              </xs:annotation>
            </xs:choice>
          </xs:sequence>
        </xs:choice>
      </xs:extension>
    </xs:complexContent>
  </xs:complexType>

```



```

        </xs:element>
      </xs:choice>
    </xs:sequence>
  - <xs:element name="high" type="IVXB_MO" maxOccurs="1"
    minOccurs="1">
    - <xs:annotation>
      <xs:documentation/>
    </xs:annotation>
  </xs:element>
  - <xs:sequence>
    - <xs:element name="width" type="MO" maxOccurs="1"
      minOccurs="1">
      - <xs:annotation>
        <xs:documentation> The difference between high and low
          boundary. The purpose of distinguishing a width
          property is to handle all cases of incomplete
          information symmetrically. In any interval
          representation only two of the three properties high,
          low, and width need to be stated and the third can be
          derived. </xs:documentation>
      </xs:annotation>
    </xs:element>
  - <xs:element name="high" type="IVXB_MO" maxOccurs="1"
    minOccurs="0">
    - <xs:annotation>
      <xs:documentation> The high limit of the interval.
    </xs:documentation>
    </xs:annotation>
  </xs:element>
</xs:sequence>
- <xs:sequence>
  - <xs:element name="center" type="MO" maxOccurs="1"
    minOccurs="1">
    - <xs:annotation>
      <xs:documentation> The arithmetic mean of the interval
        (low plus high divided by 2). The purpose of
        distinguishing the center as a semantic property is for
        conversions of intervals from and to point values.
      </xs:documentation>
    </xs:annotation>
  </xs:element>
  - <xs:element name="width" type="MO" maxOccurs="1"
    minOccurs="0">
    - <xs:annotation>
      <xs:documentation> The difference between high and low
        boundary. The purpose of distinguishing a width
        property is to handle all cases of incomplete
        information symmetrically. In any interval
        representation only two of the three properties high,
        low, and width need to be stated and the third can be
        derived. </xs:documentation>
    </xs:annotation>
  </xs:element>

```

```

        </xs:sequence>
      </xs:choice>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="IVXB_MO">
  - <xs:complexContent>
    - <xs:extension base="MO">
      - <xs:attribute name="inclusive" type="bl" use="optional" default="true">
        - <xs:annotation>
          <xs:documentation> Specifies whether the limit is included in the
            interval (interval is closed) or excluded from the interval (interval
            is open). </xs:documentation>
        </xs:annotation>
      </xs:attribute>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="HXIT_PQ">
  - <xs:complexContent>
    - <xs:extension base="PQ">
      - <xs:sequence>
        - <xs:element name="validTime" type="IVL_TS" maxOccurs="1"
          minOccurs="0">
          - <xs:annotation>
            <xs:documentation> The time interval during which the given
              information was, is, or is expected to be valid. The interval
              can be open or closed, as well as infinite or undefined on
              either side. </xs:documentation>
          </xs:annotation>
        </xs:element>
      </xs:sequence>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="HXIT_CE">
  - <xs:complexContent>
    - <xs:extension base="CE">
      - <xs:sequence>
        - <xs:element name="validTime" type="IVL_TS" maxOccurs="1"
          minOccurs="0">
          - <xs:annotation>
            <xs:documentation> The time interval during which the given
              information was, is, or is expected to be valid. The interval
              can be open or closed, as well as infinite or undefined on
              either side. </xs:documentation>
          </xs:annotation>
        </xs:element>
      </xs:sequence>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="BXIT_CD">

```

```

- <xs:complexContent>
  - <xs:extension base="CD">
    - <xs:attribute name="qty" type="int" use="optional" default="1">
      - <xs:annotation>
        <xs:documentation> The quantity in which the bag item occurs in its
          containing bag. </xs:documentation>
        </xs:annotation>
      </xs:attribute>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="BXIT_IVL_PQ">
  - <xs:complexContent>
    - <xs:extension base="IVL_PQ">
      - <xs:attribute name="qty" type="int" use="optional" default="1">
        - <xs:annotation>
          <xs:documentation> The quantity in which the bag item occurs in its
            containing bag. </xs:documentation>
          </xs:annotation>
        </xs:attribute>
      </xs:extension>
    </xs:complexContent>
  </xs:complexType>
- <xs:complexType name="SLIST_PQ">
  - <xs:complexContent>
    - <xs:extension base="ANY">
      - <xs:sequence>
        - <xs:element name="origin" type="PQ" maxOccurs="1" minOccurs="1">
          - <xs:annotation>
            <xs:documentation> The origin of the list item value scale, i.e.,
              the physical quantity that a zero-digit in the sequence would
              represent. </xs:documentation>
            </xs:annotation>
          </xs:element>
        - <xs:element name="scale" type="PQ" maxOccurs="1" minOccurs="1">
          - <xs:annotation>
            <xs:documentation> A ratio-scale quantity that is factored out of
              the digit sequence. </xs:documentation>
            </xs:annotation>
          </xs:element>
        - <xs:element name="digits" type="list_int" maxOccurs="1"
          minOccurs="1">
          - <xs:annotation>
            <xs:documentation> A sequence of raw digits for the sample
              values. This is typically the raw output of an A/D converter.
            </xs:documentation>
            </xs:annotation>
          </xs:element>
        </xs:sequence>
      </xs:extension>
    </xs:complexContent>
  </xs:complexType>
- <xs:simpleType name="list_int">

```

```

    <xs:list itemType="int"/>
  </xs:simpleType>
- <xs:complexType name="SLIST_TS">
  - <xs:complexContent>
    - <xs:extension base="ANY">
      - <xs:sequence>
        - <xs:element name="origin" type="TS" maxOccurs="1" minOccurs="1">
          - <xs:annotation>
            <xs:documentation> The origin of the list item value scale, i.e.,
              the physical quantity that a zero-digit in the sequence would
              represent. </xs:documentation>
          </xs:annotation>
        </xs:element>
        - <xs:element name="scale" type="PQ" maxOccurs="1" minOccurs="1">
          - <xs:annotation>
            <xs:documentation> A ratio-scale quantity that is factored out of
              the digit sequence. </xs:documentation>
          </xs:annotation>
        </xs:element>
        - <xs:element name="digits" type="list_int" maxOccurs="1"
          minOccurs="1">
          - <xs:annotation>
            <xs:documentation> A sequence of raw digits for the sample
              values. This is typically the raw output of an A/D converter.
            </xs:documentation>
          </xs:annotation>
        </xs:element>
      </xs:sequence>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="GLIST_TS">
  - <xs:complexContent>
    - <xs:extension base="ANY">
      - <xs:sequence>
        - <xs:element name="head" type="TS" maxOccurs="1" minOccurs="1">
          - <xs:annotation>
            <xs:documentation> This is the start-value of the generated list.
          </xs:documentation>
          </xs:annotation>
        </xs:element>
        - <xs:element name="increment" type="PQ" maxOccurs="1"
          minOccurs="1">
          - <xs:annotation>
            <xs:documentation> The difference between one value and its
              previous different value. For example, to generate the
              sequence (1; 4; 7; 10; 13; ...) the increment is 3; likewise to
              generate the sequence (1; 1; 4; 4; 7; 7; 10; 10; 13; 13; ...) the
              increment is also 3. </xs:documentation>
          </xs:annotation>
        </xs:element>
      </xs:sequence>
    - <xs:attribute name="period" type="int" use="optional">

```

- `<xs:annotation>`
 - `<xs:documentation>` If non-NULL, specifies that the sequence alternates, i.e., after this many increments, the sequence item values roll over to start from the initial sequence item value. For example, the sequence (1; 2; 3; 1; 2; 3; 1; 2; 3; ...) has period 3; also the sequence (1; 1; 2; 2; 3; 3; 1; 1; 2; 2; 3; 3; ...) has period 3 too. `</xs:documentation>`
 - `</xs:annotation>`
- `</xs:attribute>`
- `<xs:attribute name="denominator" type="int" use="optional">`
 - `<xs:annotation>`
 - `<xs:documentation>` The integer by which the index for the sequence is divided, effectively the number of times the sequence generates the same sequence item value before incrementing to the next sequence item value. For example, to generate the sequence (1; 1; 1; 2; 2; 2; 3; 3; 3; ...) the denominator is 3. `</xs:documentation>`
 - `</xs:annotation>`
 - `</xs:attribute>`
- `</xs:extension>`
- `</xs:complexContent>`
- `</xs:complexType>`
- `<xs:complexType name="GLIST_PQ">`
 - `<xs:complexContent>`
 - `<xs:extension base="ANY">`
 - `<xs:sequence>`
 - `<xs:element name="head" type="PQ" maxOccurs="1" minOccurs="1">`
 - `<xs:annotation>`
 - `<xs:documentation>` This is the start-value of the generated list. `</xs:documentation>`
 - `</xs:annotation>`
 - `</xs:element>`
 - `<xs:element name="increment" type="PQ" maxOccurs="1" minOccurs="1">`
 - `<xs:annotation>`
 - `<xs:documentation>` The difference between one value and its previous different value. For example, to generate the sequence (1; 4; 7; 10; 13; ...) the increment is 3; likewise to generate the sequence (1; 1; 4; 4; 7; 7; 10; 10; 13; 13; ...) the increment is also 3. `</xs:documentation>`
 - `</xs:annotation>`
 - `</xs:element>`
 - `</xs:sequence>`
 - `<xs:attribute name="period" type="int" use="optional">`
 - `<xs:annotation>`
 - `<xs:documentation>` If non-NULL, specifies that the sequence alternates, i.e., after this many increments, the sequence item values roll over to start from the initial sequence item value. For example, the sequence (1; 2; 3; 1; 2; 3; 1; 2; 3; ...) has period 3; also the sequence (1; 1; 2; 2; 3; 3; 1; 1; 2; 2; 3; 3; ...) has period 3 too. `</xs:documentation>`
 - `</xs:annotation>`
 - `</xs:attribute>`
 - `<xs:attribute name="denominator" type="int" use="optional">`

```

- <xs:annotation>
  <xs:documentation> The integer by which the index for the sequence
    is divided, effectively the number of times the sequence generates
    the same sequence item value before incrementing to the next
    sequence item value. For example, to generate the sequence (1; 1;
    1; 2; 2; 2; 3; 3; 3; ...) the denominator is 3. </xs:documentation>
  </xs:annotation>
</xs:attribute>
</xs:extension>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="RTO_PQ_PQ">
  - <xs:annotation>
    - <xs:appinfo>
      <diff>RTO_PQ_PQ</diff>
    </xs:appinfo>
  </xs:annotation>
  - <xs:complexContent>
    - <xs:extension base="QTY">
      - <xs:sequence>
        - <xs:element name="numerator" type="PQ">
          - <xs:annotation>
            <xs:documentation> The quantity that is being divided in the
              ratio. The default is the integer number 1 (one).
            </xs:documentation>
          </xs:annotation>
        </xs:element>
        - <xs:element name="denominator" type="PQ">
          - <xs:annotation>
            <xs:documentation> The quantity that divides the numerator in
              the ratio. The default is the integer number 1 (one). The
              denominator must not be zero. </xs:documentation>
          </xs:annotation>
        </xs:element>
      </xs:sequence>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="RTO_MO_PQ">
  - <xs:annotation>
    - <xs:appinfo>
      <diff>RTO_MO_PQ</diff>
    </xs:appinfo>
  </xs:annotation>
  - <xs:complexContent>
    - <xs:extension base="QTY">
      - <xs:sequence>
        - <xs:element name="numerator" type="MO">
          - <xs:annotation>
            <xs:documentation> The quantity that is being divided in the
              ratio. The default is the integer number 1 (one).
            </xs:documentation>
          </xs:annotation>
        </xs:element>
      </xs:sequence>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>

```

```

    </xs:element>
  - <xs:element name="denominator" type="PQ">
    - <xs:annotation>
      <xs:documentation> The quantity that divides the numerator in
        the ratio. The default is the integer number 1 (one). The
        denominator must not be zero. </xs:documentation>
    </xs:annotation>
  </xs:element>
</xs:sequence>
</xs:extension>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="UVP_TS">
  - <xs:complexContent>
    - <xs:extension base="TS">
      - <xs:attribute name="probability" type="probability" use="optional">
        - <xs:annotation>
          <xs:documentation> The probability assigned to the value, a decimal
            number between 0 (very uncertain) and 1 (certain).
          </xs:documentation>
        </xs:annotation>
      </xs:attribute>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
</xs:schema>

```

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xs:schema targetNamespace="urn:hl7-org:v3"
xmlns:xs="http://www.w3.org/2001/XMLSchema" xmlns="urn:hl7-org:v3">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> $Id: Vocabulary.xml,v 1.1 2006/05/23 23:03:14 wbeeler Exp $
      RoseTree XML to Schema: $Id: VocabXMLtoXSD.xsl,v 1.1 2006/05/23 23:05:37
      wbeeler Exp $</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  <xs:include schemaLocation="datatypes_hcgv08.xsd"/>
  - <xs:simpleType name="Classes">
    <xs:restriction base="cs"/>
  </xs:simpleType>
  - <xs:simpleType name="ABCcodes">
    - <xs:annotation>
      <xs:documentation>vocSet: E0 (C-0-E0-cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    <xs:restriction base="cs"/>
  </xs:simpleType>
  - <xs:simpleType name="AcknowledgementCondition">
    - <xs:annotation>
      <xs:documentation>vocSet: T155 (C-0-T155-cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
      <xs:enumeration value="AL"/>
      <xs:enumeration value="ER"/>
      <xs:enumeration value="NE"/>
    </xs:restriction>
  </xs:simpleType>
  - <xs:simpleType name="AcknowledgementDetailCode">
    - <xs:annotation>
      <xs:documentation>vocSet: T19638 (C-0-T19638-cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:union memberTypes="AcknowledgementDetailNotSupportedCode
      AcknowledgementDetailSyntaxErrorCode">
      - <xs:simpleType>
        - <xs:restriction base="cs">
          <xs:enumeration value="RTUDEST"/>
          <xs:enumeration value="RTEDEST"/>
          <xs:enumeration value="RTWDEST"/>
          <xs:enumeration value="NOSTORE"/>
        </xs:restriction>
      </xs:simpleType>
    </xs:union>
  </xs:simpleType>
  - <xs:simpleType name="AcknowledgementDetailNotSupportedCode">
    - <xs:annotation>
      <xs:documentation>abstDomain: A19640 (C-0-T19638-A19640-cpt)
    </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
      <xs:enumeration value="NS260"/>
      <xs:enumeration value="NS261"/>
      <xs:enumeration value="NS200"/>
    </xs:restriction>
  </xs:simpleType>

```



```

        <xs:enumeration value="NS250"/>
        <xs:enumeration value="NS202"/>
        <xs:enumeration value="NS203"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="AcknowledgementDetailSyntaxErrorCode">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A19639 (C-0-T19638-A19639-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="SYN102"/>
        <xs:enumeration value="SYN104"/>
        <xs:enumeration value="SYN110"/>
        <xs:enumeration value="SYN112"/>
        <xs:enumeration value="SYN100"/>
        <xs:enumeration value="SYN101"/>
        <xs:enumeration value="SYN103"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="AcknowledgementDetailType">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>vocSet: T19358 (C-0-T19358-cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="E"/>
        <xs:enumeration value="I"/>
        <xs:enumeration value="W"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="AcknowledgementMessageCode">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>vocSet: D21 (C-0-D21-cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="AcknowledgementType">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>vocSet: T8 (C-0-T8-cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="CA"/>
        <xs:enumeration value="CE"/>
        <xs:enumeration value="CR"/>
        <xs:enumeration value="AA"/>
        <xs:enumeration value="AE"/>
        <xs:enumeration value="AR"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="AcknowledgmentMessageType">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>vocSet: D22 (C-0-D22-cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>

```

```

    <xs:restriction base="cs"/>
  </xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActClass">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>vocSet: T11527 (C-0-T11527-cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  <xs:union memberTypes="ActClassRoot"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActClassRoot">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>specDomain: S13856 (C-0-T11527-S13856-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:union memberTypes="ActClassContainer ActClassContract ActClassControlAct
ActClassObservation ActClassProcedure ActClassStorage ActClassSupply
x_ActClassDocumentEntryAct x_ActClassDocumentEntryOrganizer
x_LabProcessClassCodes">
  - <xs:simpleType>
    - <xs:restriction base="cs">
      <xs:enumeration value="ACT"/>
      <xs:enumeration value="SUBST"/>
      <xs:enumeration value="VERIF"/>
      <xs:enumeration value="ACSN"/>
      <xs:enumeration value="ACCM"/>
      <xs:enumeration value="ACCT"/>
      <xs:enumeration value="PCPR"/>
      <xs:enumeration value="CTTEVENT"/>
      <xs:enumeration value="CONS"/>
      <xs:enumeration value="CONTREG"/>
      <xs:enumeration value="DISPACT"/>
      <xs:enumeration value="ENC"/>
      <xs:enumeration value="ADJUD"/>
      <xs:enumeration value="XACT"/>
      <xs:enumeration value="INC"/>
      <xs:enumeration value="INFRM"/>
      <xs:enumeration value="INVE"/>
      <xs:enumeration value="MPROT"/>
      <xs:enumeration value="REG"/>
      <xs:enumeration value="REV"/>
      <xs:enumeration value="SPCTRT"/>
      <xs:enumeration value="SBADM"/>
      <xs:enumeration value="TRNS"/>
      <xs:enumeration value="LIST"/>
    </xs:restriction>
  </xs:simpleType>
</xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActClassContainer">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19445 (C-0-T11527-S13856-A19445-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  -

```

```

<xs:union memberTypes="ActClassComposition ActClassEntry ActClassExtract
ActClassOrganizer">
  - <xs:simpleType>
    - <xs:restriction base="cs">
      <xs:enumeration value="FOLDER"/>
    </xs:restriction>
  </xs:simpleType>
</xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActClassComposition">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>specDomain: S20083 (C-0-T11527-S13856-A19445-S20083-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:union memberTypes="ActClassDocument">
    - <xs:simpleType>
      - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="COMPOSITION"/>
      </xs:restriction>
    </xs:simpleType>
  </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActClassDocument">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>specDomain: S18938 (C-0-T11527-S13856-A19445-S20083-
    S18938-cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:union memberTypes="ActClassClinicalDocument">
    - <xs:simpleType>
      - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="DOC"/>
      </xs:restriction>
    </xs:simpleType>
  </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActClassClinicalDocument">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>specDomain: S13948 (C-0-T11527-S13856-A19445-S20083-
    S18938-S13948-cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="DOCCLIN"/>
    <xs:enumeration value="CDALVLONE"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActClassEntry">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>specDomain: S20087 (C-0-T11527-S13856-A19445-S20087-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="ENTRY"/>
    <xs:enumeration value="CLUSTER"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>

```

```

        <xs:enumeration value="BATTERY"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActClassExtract">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>specDomain: S20080 (C-0-T11527-S13856-A19445-S20080-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="EXTRACT"/>
        <xs:enumeration value="EHR"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActClassOrganizer">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>specDomain: S20084 (C-0-T11527-S13856-A19445-S20084-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="ORGANIZER"/>
        <xs:enumeration value="CATEGORY"/>
        <xs:enumeration value="DOCBODY"/>
        <xs:enumeration value="DOCSECT"/>
        <xs:enumeration value="TOPIC"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActClassContract">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>specDomain: S14002 (C-0-T11527-S13856-S14002-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:union memberTypes="ActClassFinancialContract">
        - <xs:simpleType>
            - <xs:restriction base="cs">
                <xs:enumeration value="CNTRCT"/>
            </xs:restriction>
        </xs:simpleType>
    </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActClassFinancialContract">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>specDomain: S14003 (C-0-T11527-S13856-S14002-S14003-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="FCNTRCT"/>
        <xs:enumeration value="COV"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActClassControlAct">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>specDomain: S11534 (C-0-T11527-S13856-S11534-cpt)
        </xs:documentation>

```

```

    </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="CACT"/>
    <xs:enumeration value="ACTN"/>
    <xs:enumeration value="INFO"/>
    <xs:enumeration value="STC"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActClassObservation">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>specDomain: S11529 (C-0-T11527-S13856-S11529-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:union memberTypes="ActClassCondition ActClassObservationSeries
  ActClassROI">
    - <xs:simpleType>
      - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="OBS"/>
        <xs:enumeration value="CNOD"/>
        <xs:enumeration value="CLNTRL"/>
        <xs:enumeration value="ALRT"/>
        <xs:enumeration value="DGIMG"/>
        <xs:enumeration value="INVSTG"/>
        <xs:enumeration value="SPCOBS"/>
      </xs:restriction>
    </xs:simpleType>
  </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActClassCondition">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>specDomain: S18862 (C-0-T11527-S13856-S11529-S18862-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:union memberTypes="ActClassPublicHealthCase">
    - <xs:simpleType>
      - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="COND"/>
      </xs:restriction>
    </xs:simpleType>
  </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActClassPublicHealthCase">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>specDomain: S11530 (C-0-T11527-S13856-S11529-S18862-
    S11530-cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="CASE"/>
    <xs:enumeration value="OUTB"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActClassObservationSeries">
  - <xs:annotation>

```

```

        <xs:documentation>specDomain: S18875 (C-0-T11527-S13856-S11529-S18875-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="OBSSER"/>
        <xs:enumeration value="OBSCOR"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActClassROI">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A17893 (C-0-T11527-S13856-S11529-A17893-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="ROIBND"/>
        <xs:enumeration value="ROIOVL"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActClassProcedure">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>specDomain: S11532 (C-0-T11527-S13856-S11532-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:union memberTypes="ActClassSpecimenCollection">
        - <xs:simpleType>
            - <xs:restriction base="cs">
                <xs:enumeration value="PROC"/>
            </xs:restriction>
        </xs:simpleType>
    </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActClassSpecimenCollection">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>specDomain: S21457 (C-0-T11527-S13856-S11532-S21457-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="SPECCOLLECT"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActClassStorage">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>specDomain: S21456 (C-0-T11527-S13856-S21456-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="STORE"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActClassSupply">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>specDomain: S11535 (C-0-T11527-S13856-S11535-cpt)
        </xs:documentation>

```

```

    </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="SPLY"/>
    <xs:enumeration value="DIET"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="x_ActClassDocumentEntryAct">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19599 (C-0-T11527-S13856-A19599-cpt)
  </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="ACCM"/>
    <xs:enumeration value="ACT"/>
    <xs:enumeration value="PCPR"/>
    <xs:enumeration value="CTTEVENT"/>
    <xs:enumeration value="CONS"/>
    <xs:enumeration value="INC"/>
    <xs:enumeration value="INFRM"/>
    <xs:enumeration value="REG"/>
    <xs:enumeration value="SPCTRT"/>
    <xs:enumeration value="TRNS"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="x_ActClassDocumentEntryOrganizer">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19598 (C-0-T11527-S13856-A19598-cpt)
  </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="CLUSTER"/>
    <xs:enumeration value="BATTERY"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="x_LabProcessClassCodes">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19657 (C-0-T11527-S13856-A19657-cpt)
  </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="ACSN"/>
    <xs:enumeration value="CONTREG"/>
    <xs:enumeration value="PROC"/>
    <xs:enumeration value="SPCTRT"/>
    <xs:enumeration value="TRNS"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActionCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>vocSet: T13953 (C-0-T13953-cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  <xs:union memberTypes="ActClaimAttachmentCode
    ActCognitiveProfessionalServiceCode ActInformationCategoryCode

```

**ActInjuryCode ActInvoicePaymentCode ActTransportationModeCode
ExternallyDefinedActCodes HL7DefinedActCodes ObservationType
x_LabProcessCodes"/>**

```

</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActClaimAttachmentCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19672 (C-0-T13953-A19672-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActCognitiveProfessionalServiceCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19706 (C-0-T13953-A19706-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActInformationCategoryCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19752 (C-0-T13953-A19752-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="ALLGCAT"/>
    <xs:enumeration value="COBSCAT"/>
    <xs:enumeration value="DEMOCAT"/>
    <xs:enumeration value="DICAT"/>
    <xs:enumeration value="IMMUCAT"/>
    <xs:enumeration value="LABCAT"/>
    <xs:enumeration value="MEDCCAT"/>
    <xs:enumeration value="RXCAT"/>
    <xs:enumeration value="PSVCCAT"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActInvoicePaymentCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19673 (C-0-T13953-A19673-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="BONUS"/>
    <xs:enumeration value="CFWD"/>
    <xs:enumeration value="EPYMT"/>
    <xs:enumeration value="EDU"/>
    <xs:enumeration value="GARN"/>
    <xs:enumeration value="PINV"/>
    <xs:enumeration value="PPRD"/>
    <xs:enumeration value="PROA"/>
    <xs:enumeration value="RECOV"/>
    <xs:enumeration value="RETRO"/>
    <xs:enumeration value="INVOICE"/>
    <xs:enumeration value="TRAN"/>
  </xs:restriction>

```



```

    </xs:restriction>
  </xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActTransportationModeCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19732 (C-0-T13953-A19732-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:union memberTypes="ActPatientTransportationModeCode">
    - <xs:simpleType>
      <xs:restriction base="cs"/>
    </xs:simpleType>
  </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="Ambulance">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>specDomain: S21547 (C-0-T13953-A19732-A19733-S21547-
    cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="AMBT"/>
    <xs:enumeration value="AMBAIR"/>
    <xs:enumeration value="AMBGRND"/>
    <xs:enumeration value="AMBHELO"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ExternallyDefinedActCodes">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A16493 (C-0-T13953-A16493-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:union memberTypes="DocumentSectionType DocumentType">
    - <xs:simpleType>
      <xs:restriction base="cs"/>
    </xs:simpleType>
  </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="DocumentSectionType">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A10871 (C-0-T13953-A16493-A10871-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="DocumentType">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A10870 (C-0-T13953-A16493-A10870-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:union memberTypes="ActMedicationDocumentCode">
    - <xs:simpleType>
      <xs:restriction base="cs"/>
    </xs:simpleType>
  </xs:union>

```

```

</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActMedicationDocumentCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19723 (C-0-T13953-A16493-A10870-A19723-
      cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    <xs:restriction base="cs"/>
  </xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="HL7DefinedActCodes">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A13954 (C-0-T13953-A13954-cpt)
    </xs:documentation>
    </xs:annotation>
  - <xs:union memberTypes="ActAccountCode ActAdjudicationCode
    ActAdjudicationGroupCode ActAdjudicationInformationCode
    ActAdjudicationResultActionCode ActBillableTreatmentPlanCode
    ActBillingArrangementCode ActBoundedROIcode ActContainerRegistrationCode
    ActControlVariable ActCoverageConfirmationCode ActCoverageLimitCode
    ActDetectedIssueCode ActDetectedIssueManagementCode ActDietCode
    ActDisciplinaryActionCode ActEncounterAccommodationCode ActEncounterCode
    ActFinancialTransactionCode ActIncidentCode ActInsurancePolicyCode
    ActInvoiceElementCode ActInvoiceElementSummaryCode ActInvoiceOverrideCode
    ActListCode ActMonitoringProtocolCode ActOrderCode ActPaymentCode
    ActPharmacySupplyType ActPrivilegeCategorization ActProcedureCode
    ActProductAcquisitionCode ActSpecObsCode ActSpecimenTreatmentCode
    ActSubstanceAdminSubstitutionCode ActSubstanceAdministrationCode
    CanadianActProcedureCode HL7TriggerEventCode ROIOverlayShape
    x_ActFinancialProductAcquisitionCode">
    - <xs:simpleType>
      - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="_ActClaimAttachmentCode"/>
        <xs:enumeration value="_ActRegistryCode"/>
      </xs:restriction>
    </xs:simpleType>
  </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActAccountCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A14809 (C-0-T13953-A13954-A14809-cpt)
    </xs:documentation>
    </xs:annotation>
  - <xs:union memberTypes="CreditCard">
    - <xs:simpleType>
      - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="CASH"/>
        <xs:enumeration value="ACCTRECEIVABLE"/>
        <xs:enumeration value="PBILLACCT"/>
      </xs:restriction>
    </xs:simpleType>
  </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="CreditCard">
  - <xs:annotation>

```

```

    <xs:documentation>abstDomain: A14811 (C-0-T13953-A13954-A14809-A14811-
      cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
- <xs:restriction base="cs">
  <xs:enumeration value="AE"/>
  <xs:enumeration value="DN"/>
  <xs:enumeration value="DV"/>
  <xs:enumeration value="MC"/>
  <xs:enumeration value="V"/>
</xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActAdjudicationCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A17616 (C-0-T13953-A13954-A17616-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:union memberTypes="AdjudicatedWithAdjustments">
    - <xs:simpleType>
      - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="AR"/>
        <xs:enumeration value="AS"/>
      </xs:restriction>
    </xs:simpleType>
  </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="AdjudicatedWithAdjustments">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>specDomain: S19347 (C-0-T13953-A13954-A17616-S19347-
      cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="AA"/>
    <xs:enumeration value="ANF"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActAdjudicationGroupCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A17968 (C-0-T13953-A13954-A17968-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="CONT"/>
    <xs:enumeration value="DAY"/>
    <xs:enumeration value="LOC"/>
    <xs:enumeration value="MONTH"/>
    <xs:enumeration value="PERIOD"/>
    <xs:enumeration value="PROV"/>
    <xs:enumeration value="WEEK"/>
    <xs:enumeration value="YEAR"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActAdjudicationInformationCode">
  - <xs:annotation>

```

```

        <xs:documentation>abstDomain: A19383 (C-0-T13953-A13954-A19383-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActAdjudicationResultActionCode">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A17472 (C-0-T13953-A13954-A17472-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="DISPLAY"/>
        <xs:enumeration value="FORM"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActBillableTreatmentPlanCode">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A19440 (C-0-T13953-A13954-A19440-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActBillingArrangementCode">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A17478 (C-0-T13953-A13954-A17478-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="BLK"/>
        <xs:enumeration value="CAP"/>
        <xs:enumeration value="CONTF"/>
        <xs:enumeration value="FFS"/>
        <xs:enumeration value="FINBILL"/>
        <xs:enumeration value="ROST"/>
        <xs:enumeration value="SESS"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActBoundedROICode">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A17896 (C-0-T13953-A13954-A17896-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="ROIFS"/>
        <xs:enumeration value="ROIPS"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActContainerRegistrationCode">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A14058 (C-0-T13953-A13954-A14058-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">

```

```

        <xs:enumeration value="X"/>
        <xs:enumeration value="ID"/>
        <xs:enumeration value="IP"/>
        <xs:enumeration value="O"/>
        <xs:enumeration value="L"/>
        <xs:enumeration value="M"/>
        <xs:enumeration value="R"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActControlVariable">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A16857 (C-0-T13953-A13954-A16857-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:union memberTypes="ECGControlVariable">
    - <xs:simpleType>
      - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="AUTO"/>
        <xs:enumeration value="ENDC"/>
        <xs:enumeration value="REFLEX"/>
      </xs:restriction>
    </xs:simpleType>
  </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ECGControlVariable">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19331 (C-0-T13953-A13954-A16857-A19331-
    cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:union memberTypes="ECGControlVariableMDC">
    - <xs:simpleType>
      <xs:restriction base="cs"/>
    </xs:simpleType>
  </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ECGControlVariableMDC">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19336 (C-0-T13953-A13954-A16857-A19331-
    A19336-cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActCoverageConfirmationCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A17487 (C-0-T13953-A13954-A17487-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:union memberTypes="ActCoverageAuthorizationConfirmationCode
  ActCoverageEligibilityConfirmationCode">
    - <xs:simpleType>
      <xs:restriction base="cs"/>
    </xs:simpleType>
  </xs:union>

```

```

</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActCoverageAuthorizationConfirmationCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A17491 (C-0-T13953-A13954-A17487-A17491-
      cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="AUTH"/>
    <xs:enumeration value="NAUTH"/>
    </xs:restriction>
  </xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActCoverageEligibilityConfirmationCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A17488 (C-0-T13953-A13954-A17487-A17488-
      cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="ELG"/>
    <xs:enumeration value="NELG"/>
    </xs:restriction>
  </xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActCoverageLimitCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A17496 (C-0-T13953-A13954-A17496-cpt)
      </xs:documentation>
    </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="NETAMT"/>
    <xs:enumeration value="UNITPRICE"/>
    <xs:enumeration value="UNITQTY"/>
    </xs:restriction>
  </xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActDetectedIssueCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A16124 (C-0-T13953-A13954-A16124-cpt)
      </xs:documentation>
    </xs:annotation>
  - <xs:union memberTypes="ActAdministrativeDetectedIssueCode
    ActFinancialDetectedIssueCode ActSuppliedItemDetectedIssueCode
    ClinicalActionDetectedIssueCode">
    - <xs:simpleType>
      <xs:restriction base="cs"/>
    </xs:simpleType>
  </xs:union>
  </xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActAdministrativeDetectedIssueCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19429 (C-0-T13953-A13954-A16124-A19429-
      cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
  - <xs:union memberTypes="ActAdministrativeAuthorizationDetectedIssueCode
    ActAdministrativeRuleDetectedIssueCode">
    - <xs:simpleType>

```

```

        <xs:restriction base="cs"/>
      </xs:simpleType>
    </xs:union>
  </xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActAdministrativeAuthorizationDetectedIssueCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19620 (C-0-T13953-A13954-A16124-A19429-
      A19620-cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="NAT"/>
    </xs:restriction>
  </xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActAdministrativeRuleDetectedIssueCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19621 (C-0-T13953-A13954-A16124-A19429-
      A19621-cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="KEY205"/>
    <xs:enumeration value="KEY204"/>
    </xs:restriction>
  </xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActFinancialDetectedIssueCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19428 (C-0-T13953-A13954-A16124-A19428-
      cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    <xs:restriction base="cs"/>
  </xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActSuppliedItemDetectedIssueCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A16656 (C-0-T13953-A13954-A16124-A16656-
      cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
  - <xs:union memberTypes="AdministrationDetectedIssueCode
    SupplyDetectedIssueCode">
    - <xs:simpleType>
      <xs:restriction base="cs"/>
    </xs:simpleType>
  </xs:union>
  </xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="AdministrationDetectedIssueCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A16657 (C-0-T13953-A13954-A16124-A16656-
      A16657-cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
  - <xs:union memberTypes="AppropriatenessDetectedIssueCode
    ComplianceDetectedIssueCode DosageProblemDetectedIssueCode
    DrugActionDetectedIssueCode TimingDetectedIssueCode">
    - <xs:simpleType>
      <xs:restriction base="cs"/>
    </xs:simpleType>

```

```

    </xs:union>
  </xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="AppropriatenessDetectedIssueCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A16658 (C-0-T13953-A13954-A16124-A16656-
      A16657-A16658-cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
  - <xs:union memberTypes="InteractionDetectedIssueCode
    ObservationDetectedIssueCode">
    - <xs:simpleType>
      <xs:restriction base="cs"/>
    </xs:simpleType>
  </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="InteractionDetectedIssueCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A16659 (C-0-T13953-A13954-A16124-A16656-
      A16657-A16658-A16659-cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
  - <xs:union memberTypes="TherapeuticProductDetectedIssueCode">
    - <xs:simpleType>
      - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="FOOD"/>
      </xs:restriction>
    </xs:simpleType>
  </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="TherapeuticProductDetectedIssueCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>specDomain: S17807 (C-0-T13953-A13954-A16124-A16656-
      A16657-A16658-A16659-S17807-cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="TPROD"/>
    <xs:enumeration value="DRG"/>
    <xs:enumeration value="NHP"/>
    <xs:enumeration value="NONRX"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ObservationDetectedIssueCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>specDomain: S16664 (C-0-T13953-A13954-A16124-A16656-
      A16657-A16658-S16664-cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
  - <xs:union memberTypes="AgeDetectedIssueCode ConditionDetectedIssueCode
    ReactionDetectedIssueCode RelatedReactionDetectedIssueCode">
    - <xs:simpleType>
      - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="OBSA"/>
        <xs:enumeration value="GEND"/>
        <xs:enumeration value="GEN"/>
        <xs:enumeration value="LAB"/>
      </xs:restriction>

```



```

        </xs:simpleType>
    </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="AgeDetectedIssueCode">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>specDomain: S16669 (C-0-T13953-A13954-A16124-A16656-
            A16657-A16658-S16664-S16669-cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="AGE"/>
        <xs:enumeration value="DOSEHINDA"/>
        <xs:enumeration value="DOSELINDA"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ConditionDetectedIssueCode">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>specDomain: S16665 (C-0-T13953-A13954-A16124-A16656-
            A16657-A16658-S16664-S16665-cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:union memberTypes="HeightSurfaceAreaAlert WeightAlert">
        - <xs:simpleType>
            - <xs:restriction base="cs">
                <xs:enumeration value="COND"/>
                <xs:enumeration value="LACT"/>
                <xs:enumeration value="PREG"/>
            </xs:restriction>
        </xs:simpleType>
    </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="HeightSurfaceAreaAlert">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A17795 (C-0-T13953-A13954-A16124-A16656-
            A16657-A16658-S16664-S16665-A17795-cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="DOSEHINDSA"/>
        <xs:enumeration value="DOSELINDSA"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="WeightAlert">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A17794 (C-0-T13953-A13954-A16124-A16656-
            A16657-A16658-S16664-S16665-A17794-cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="DOSEHINDW"/>
        <xs:enumeration value="DOSELINDW"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ReactionDetectedIssueCode">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>specDomain: S16672 (C-0-T13953-A13954-A16124-A16656-
            A16657-A16658-S16664-S16672-cpt)</xs:documentation>

```

```

    </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="REACT"/>
    <xs:enumeration value="ALGY"/>
    <xs:enumeration value="INT"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="RelatedReactionDetectedIssueCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>specDomain: S16676 (C-0-T13953-A13954-A16124-A16656-
      A16657-A16658-S16664-S16676-cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="RREACT"/>
    <xs:enumeration value="RALG"/>
    <xs:enumeration value="RINT"/>
    <xs:enumeration value="RAR"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ComplianceDetectedIssueCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>specDomain: S16687 (C-0-T13953-A13954-A16124-A16656-
      A16657-S16687-cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="COMPLY"/>
    <xs:enumeration value="DUPTHPY"/>
    <xs:enumeration value="PLYDOC"/>
    <xs:enumeration value="PLYPHRM"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="DosageProblemDetectedIssueCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>specDomain: S16680 (C-0-T13953-A13954-A16124-A16656-
      A16657-S16680-cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:union memberTypes="DoseDurationDetectedIssueCode
    DoseHighDetectedIssueCode DoseIntervalDetectedIssueCode
    DoseLowDetectedIssueCode">
    - <xs:simpleType>
      - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="DOSE"/>
      </xs:restriction>
    </xs:simpleType>
  </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="DoseDurationDetectedIssueCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>specDomain: S16684 (C-0-T13953-A13954-A16124-A16656-
      A16657-S16680-S16684-cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:union memberTypes="DoseDurationHighDetectedIssueCode
    DoseDurationLowDetectedIssueCode">

```

```

- <xs:simpleType>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="DOSEDUR"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
</xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="DoseDurationHighDetectedIssueCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>specDomain: S16686 (C-0-T13953-A13954-A16124-A16656-
      A16657-S16680-S16684-S16686-cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="DOSEDURH"/>
    <xs:enumeration value="DOSEDURHIND"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="DoseDurationLowDetectedIssueCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>specDomain: S16685 (C-0-T13953-A13954-A16124-A16656-
      A16657-S16680-S16684-S16685-cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="DOSEDURL"/>
    <xs:enumeration value="DOSEDURLIND"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="DoseHighDetectedIssueCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>specDomain: S16681 (C-0-T13953-A13954-A16124-A16656-
      A16657-S16680-S16681-cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="DOSEH"/>
    <xs:enumeration value="DOSEHINDA"/>
    <xs:enumeration value="DOSEHINDSA"/>
    <xs:enumeration value="DOSEHIND"/>
    <xs:enumeration value="DOSEHINDW"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="DoseIntervalDetectedIssueCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>specDomain: S16683 (C-0-T13953-A13954-A16124-A16656-
      A16657-S16680-S16683-cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="DOSEIVL"/>
    <xs:enumeration value="DOSEIVLIND"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="DoseLowDetectedIssueCode">
  - <xs:annotation>

```

```

    <xs:documentation>specDomain: S16682 (C-0-T13953-A13954-A16124-A16656-
      A16657-S16680-S16682-cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="DOSEL"/>
    <xs:enumeration value="DOSELINDA"/>
    <xs:enumeration value="DOSELINDSA"/>
    <xs:enumeration value="DOSELIND"/>
    <xs:enumeration value="DOSELINDW"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="DrugActionDetectedIssueCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A17815 (C-0-T13953-A13954-A16124-A16656-
      A16657-A17815-cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="TimingDetectedIssueCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A17816 (C-0-T13953-A13954-A16124-A16656-
      A16657-A17816-cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="ENDLATE"/>
    <xs:enumeration value="STRTLATE"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="SupplyDetectedIssueCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A16691 (C-0-T13953-A13954-A16124-A16656-
      A16691-cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="TOOLATE"/>
    <xs:enumeration value="TOOSOON"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ClinicalActionDetectedIssueCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A17814 (C-0-T13953-A13954-A16124-A17814-
      cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActDetectedIssueManagementCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A16695 (C-0-T13953-A13954-A16695-cpt)
  </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:union memberTypes="ActAdministrativeDetectedIssueManagementCode
    ActFinancialDetectedIssueManagementCode OtherActionTakenManagementCode
    SupplyAppropriateManagementCode TherapyAppropriateManagementCode">

```

```

- <xs:simpleType>
  <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
</xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActAdministrativeDetectedIssueManagementCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19431 (C-0-T13953-A13954-A16695-A19431-
      cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:union memberTypes="AuthorizationIssueManagementCode">
    - <xs:simpleType>
      <xs:restriction base="cs"/>
    </xs:simpleType>
  </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="AuthorizationIssueManagementCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19619 (C-0-T13953-A13954-A16695-A19431-
      A19619-cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="EMAUTH"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActFinancialDetectedIssueManagementCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19430 (C-0-T13953-A13954-A16695-A19430-
      cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="OtherActionTakenManagementCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>specDomain: S16703 (C-0-T13953-A13954-A16695-S16703-
      cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="8"/>
    <xs:enumeration value="11"/>
    <xs:enumeration value="9"/>
    <xs:enumeration value="10"/>
    <xs:enumeration value="13"/>
    <xs:enumeration value="12"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="SupplyAppropriateManagementCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>specDomain: S16709 (C-0-T13953-A13954-A16695-S16709-
      cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="14"/>

```

```

        <xs:enumeration value="18"/>
        <xs:enumeration value="15"/>
        <xs:enumeration value="16"/>
        <xs:enumeration value="17"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="TherapyAppropriateManagementCode">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>specDomain: S16696 (C-0-T13953-A13954-A16695-S16696-
            cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:union memberTypes="ConsultedPrescriberManagementCode">
        - <xs:simpleType>
            - <xs:restriction base="cs">
                <xs:enumeration value="1"/>
                <xs:enumeration value="2"/>
                <xs:enumeration value="4"/>
                <xs:enumeration value="19"/>
                <xs:enumeration value="7"/>
                <xs:enumeration value="3"/>
            </xs:restriction>
        </xs:simpleType>
    </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ConsultedPrescriberManagementCode">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>specDomain: S16700 (C-0-T13953-A13954-A16695-S16696-
            S16700-cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="5"/>
        <xs:enumeration value="6"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActDietCode">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A10376 (C-0-T13953-A13954-A10376-cpt)
    </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="BR"/>
        <xs:enumeration value="DM"/>
        <xs:enumeration value="FAST"/>
        <xs:enumeration value="GF"/>
        <xs:enumeration value="LQ"/>
        <xs:enumeration value="LF"/>
        <xs:enumeration value="LP"/>
        <xs:enumeration value="LS"/>
        <xs:enumeration value="VLI"/>
        <xs:enumeration value="NF"/>
        <xs:enumeration value="N"/>
        <xs:enumeration value="PAR"/>
        <xs:enumeration value="PAF"/>
    </xs:restriction>

```

```

        <xs:enumeration value="RD"/>
        <xs:enumeration value="SCH"/>
        <xs:enumeration value="T"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActDisciplinaryActionCode">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A19642 (C-0-T13953-A13954-A19642-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActEncounterCode">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A13955 (C-0-T13953-A13954-A13955-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:union memberTypes="ActInpatientEncounterCode ActMedicalServiceCode">
        - <xs:simpleType>
            - <xs:restriction base="cs">
                <xs:enumeration value="AMB"/>
                <xs:enumeration value="EMER"/>
                <xs:enumeration value="FLD"/>
                <xs:enumeration value="HH"/>
                <xs:enumeration value="SS"/>
                <xs:enumeration value="VR"/>
            </xs:restriction>
        </xs:simpleType>
    </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActInpatientEncounterCode">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>specDomain: S16847 (C-0-T13953-A13954-A13955-S16847-
        cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="IMP"/>
        <xs:enumeration value="ACUTE"/>
        <xs:enumeration value="NONAC"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActMedicalServiceCode">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A17449 (C-0-T13953-A13954-A13955-A17449-
        cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="ALC"/>
        <xs:enumeration value="CARD"/>
        <xs:enumeration value="CHR"/>
        <xs:enumeration value="DNTL"/>
        <xs:enumeration value="DRGRHB"/>
        <xs:enumeration value="GENRL"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>

```

```

        <xs:enumeration value="MED"/>
        <xs:enumeration value="OBS"/>
        <xs:enumeration value="ONC"/>
        <xs:enumeration value="PALL"/>
        <xs:enumeration value="PED"/>
        <xs:enumeration value="PHAR"/>
        <xs:enumeration value="PHYRHB"/>
        <xs:enumeration value="PSYCH"/>
        <xs:enumeration value="SURG"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActFinancialTransactionCode">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A14804 (C-0-T13953-A13954-A14804-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="CHRG"/>
        <xs:enumeration value="REV"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActIncidentCode">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A16508 (C-0-T13953-A13954-A16508-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="MVA"/>
        <xs:enumeration value="SCHOOL"/>
        <xs:enumeration value="SPT"/>
        <xs:enumeration value="WPA"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActInsurancePolicyCode">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A19350 (C-0-T13953-A13954-A19350-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="AUTOPOL"/>
        <xs:enumeration value="EHCPOL"/>
        <xs:enumeration value="HSAPOL"/>
        <xs:enumeration value="PUBLICPOL"/>
        <xs:enumeration value="WCBPOL"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActInvoiceElementCode">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A19397 (C-0-T13953-A13954-A19397-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:union memberTypes="ActInvoiceAdjudicationPaymentCode
        ActInvoiceDetailCode ActInvoiceGroupCode">

```



```

- <xs:simpleType>
  <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
</xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActInvoiceAdjudicationPaymentCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19412 (C-0-T13953-A13954-A19397-A19412-
      cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:union memberTypes="ActInvoiceAdjudicationPaymentGroupCode
    ActInvoiceAdjudicationPaymentSummaryCode">
    - <xs:simpleType>
      <xs:restriction base="cs"/>
    </xs:simpleType>
  </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActInvoiceAdjudicationPaymentGroupCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19414 (C-0-T13953-A13954-A19397-A19412-
      A19414-cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActInvoiceAdjudicationPaymentSummaryCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19413 (C-0-T13953-A13954-A19397-A19412-
      A19413-cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="CONT"/>
    <xs:enumeration value="DAY"/>
    <xs:enumeration value="INVTYPE"/>
    <xs:enumeration value="LOC"/>
    <xs:enumeration value="MONTH"/>
    <xs:enumeration value="PAYEE"/>
    <xs:enumeration value="PAYOR"/>
    <xs:enumeration value="PERIOD"/>
    <xs:enumeration value="PROV"/>
    <xs:enumeration value="SENDAPP"/>
    <xs:enumeration value="WEEK"/>
    <xs:enumeration value="YEAR"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActInvoiceDetailCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19401 (C-0-T13953-A13954-A19397-A19401-
      cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:union memberTypes="ActInvoiceDetailClinicalProductCode
    ActInvoiceDetailClinicalServiceCode ActInvoiceDetailDrugProductCode
    ActInvoiceDetailGenericCode ActInvoiceDetailPreferredAccommodationCode
    CanadianActInvoiceDetailClinicalProductCode

```

```

CanadianActInvoiceDetailClinicalServiceCode x_ActInvoiceDetailPharmacyCode
x_ActInvoiceDetailPreferredAccommodationCode">
  - <xs:simpleType>
    <xs:restriction base="cs"/>
  </xs:simpleType>
</xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="CanadianActInvoiceDetailClinicalProductCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19432 (C-0-T13953-A13954-A19397-A19401-
      A19432-cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="CanadianActInvoiceDetailClinicalServiceCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19434 (C-0-T13953-A13954-A19397-A19401-
      A19434-cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="x_ActInvoiceDetailPharmacyCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19415 (C-0-T13953-A13954-A19397-A19401-
      A19415-cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:union memberTypes="ActInvoiceDetailClinicalProductCode
    ActInvoiceDetailClinicalServiceCode ActInvoiceDetailDrugProductCode
    ActInvoiceDetailGenericCode">
    - <xs:simpleType>
      <xs:restriction base="cs"/>
    </xs:simpleType>
  </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActInvoiceDetailClinicalProductCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19404 (C-0-T13953-A13954-A19397-A19401-
      A19415-A19404-cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActInvoiceDetailClinicalServiceCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19405 (C-0-T13953-A13954-A19397-A19401-
      A19415-A19405-cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActInvoiceDetailDrugProductCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19402 (C-0-T13953-A13954-A19397-A19401-
      A19415-A19402-cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>

```

```

    <xs:restriction base="cs"/>
  </xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActInvoiceDetailGenericCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19407 (C-0-T13953-A13954-A19397-A19401-
      A19415-A19407-cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:union memberTypes="ActInvoiceDetailGenericAdjudicatorCode
    ActInvoiceDetailGenericModifierCode ActInvoiceDetailGenericProviderCode
    ActInvoiceDetailTaxCode">
    - <xs:simpleType>
      <xs:restriction base="cs"/>
    </xs:simpleType>
  </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActInvoiceDetailGenericAdjudicatorCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19411 (C-0-T13953-A13954-A19397-A19401-
      A19415-A19407-A19411-cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="DEDUCTIBLE"/>
    <xs:enumeration value="COPAYMENT"/>
    <xs:enumeration value="PAY"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActInvoiceDetailGenericModifierCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19410 (C-0-T13953-A13954-A19397-A19401-
      A19415-A19407-A19410-cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="ISOL"/>
    <xs:enumeration value="AFTHRS"/>
    <xs:enumeration value="OOO"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActInvoiceDetailGenericProviderCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19408 (C-0-T13953-A13954-A19397-A19401-
      A19415-A19407-A19408-cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="CANCAPT"/>
    <xs:enumeration value="DSC"/>
    <xs:enumeration value="ESA"/>
    <xs:enumeration value="FFSTOP"/>
    <xs:enumeration value="FNLFEE"/>
    <xs:enumeration value="FRSTFEE"/>
    <xs:enumeration value="MARKUP"/>
    <xs:enumeration value="MISSAPT"/>
    <xs:enumeration value="PERMBNS"/>
    <xs:enumeration value="PERFEE"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>

```

```

        <xs:enumeration value="RESTOCK"/>
        <xs:enumeration value="TRAVEL"/>
        <xs:enumeration value="URGENT"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActInvoiceDetailTaxCode">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A19409 (C-0-T13953-A13954-A19397-A19401-
            A19415-A19407-A19409-cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="FST"/>
        <xs:enumeration value="HST"/>
        <xs:enumeration value="PST"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="x_ActInvoiceDetailPreferredAccommodationCode">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A19416 (C-0-T13953-A13954-A19397-A19401-
            A19416-cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:union memberTypes="ActInvoiceDetailPreferredAccommodationCode">
        - <xs:simpleType>
            <xs:restriction base="cs"/>
        </xs:simpleType>
    </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActInvoiceDetailPreferredAccommodationCode">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A19406 (C-0-T13953-A13954-A19397-A19401-
            A19416-A19406-cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:union memberTypes="ActEncounterAccommodationCode">
        - <xs:simpleType>
            <xs:restriction base="cs"/>
        </xs:simpleType>
    </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActEncounterAccommodationCode">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A16130 (C-0-T13953-A13954-A19397-A19401-
            A19416-A19406-A16130-cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="I"/>
        <xs:enumeration value="P"/>
        <xs:enumeration value="SP"/>
        <xs:enumeration value="S"/>
        <xs:enumeration value="W"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActInvoiceGroupCode">
    - <xs:annotation>

```

```

        <xs:documentation>abstDomain: A19398 (C-0-T13953-A13954-A19397-A19398-
            cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:union memberTypes="ActInvoiceInterGroupCode ActInvoiceRootGroupCode">
        - <xs:simpleType>
            <xs:restriction base="cs"/>
        </xs:simpleType>
    </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActInvoiceInterGroupCode">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A19400 (C-0-T13953-A13954-A19397-A19398-
            A19400-cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="CPNDDRGING"/>
        <xs:enumeration value="CPNDINDING"/>
        <xs:enumeration value="CPNDSUPING"/>
        <xs:enumeration value="DRUGING"/>
        <xs:enumeration value="FRAMEING"/>
        <xs:enumeration value="LENSING"/>
        <xs:enumeration value="PRDING"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActInvoiceRootGroupCode">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A19399 (C-0-T13953-A13954-A19397-A19398-
            A19399-cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="RXCINV"/>
        <xs:enumeration value="RXDINV"/>
        <xs:enumeration value="CPINV"/>
        <xs:enumeration value="CSPINV"/>
        <xs:enumeration value="CSINV"/>
        <xs:enumeration value="FININV"/>
        <xs:enumeration value="OHSINV"/>
        <xs:enumeration value="PAINV"/>
        <xs:enumeration value="SBFINV"/>
        <xs:enumeration value="VRXINV"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActInvoiceElementSummaryCode">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A17522 (C-0-T13953-A13954-A17522-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:union memberTypes="InvoiceElementAdjudicated InvoiceElementPaid
        InvoiceElementSubmitted">
        - <xs:simpleType>
            <xs:restriction base="cs"/>
        </xs:simpleType>
    </xs:union>

```

```

</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="InvoiceElementAdjudicated">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A17530 (C-0-T13953-A13954-A17522-A17530-
      cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="ADNPPPELAT"/>
    <xs:enumeration value="ADNPPPELCT"/>
    <xs:enumeration value="ADNPPPMNAT"/>
    <xs:enumeration value="ADNPPPMNCT"/>
    <xs:enumeration value="ADNPSPELAT"/>
    <xs:enumeration value="ADNPSPELCT"/>
    <xs:enumeration value="ADNPSPMNAT"/>
    <xs:enumeration value="ADNPSPMNCT"/>
    <xs:enumeration value="ADNFPPPELAT"/>
    <xs:enumeration value="ADNFPPPELCT"/>
    <xs:enumeration value="ADNFPPPMNAT"/>
    <xs:enumeration value="ADNFPPPMNCT"/>
    <xs:enumeration value="ADNFSPELAT"/>
    <xs:enumeration value="ADNFSPELCT"/>
    <xs:enumeration value="ADNFSPMNAT"/>
    <xs:enumeration value="ADNFSPMNCT"/>
    <xs:enumeration value="ADPPPELAT"/>
    <xs:enumeration value="ADPPPELCT"/>
    <xs:enumeration value="ADPPPPMNAT"/>
    <xs:enumeration value="ADPPPPMNCT"/>
    <xs:enumeration value="ADPPSPELAT"/>
    <xs:enumeration value="ADPPSPELCT"/>
    <xs:enumeration value="ADPPSPMNAT"/>
    <xs:enumeration value="ADPPSPMNCT"/>
    <xs:enumeration value="ADRFPPPELAT"/>
    <xs:enumeration value="ADRFPPPELCT"/>
    <xs:enumeration value="ADRFPPPMNAT"/>
    <xs:enumeration value="ADRFPPPMNCT"/>
    <xs:enumeration value="ADRFSPELAT"/>
    <xs:enumeration value="ADRFSPELCT"/>
    <xs:enumeration value="ADRFSPMNAT"/>
    <xs:enumeration value="ADRFSPMNCT"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="InvoiceElementPaid">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A17563 (C-0-T13953-A13954-A17522-A17563-
      cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="PDNPPPELAT"/>
    <xs:enumeration value="PDNPPPELCT"/>
    <xs:enumeration value="PDNPPPMNAT"/>
    <xs:enumeration value="PDNPPPMNCT"/>
    <xs:enumeration value="PDNPSPELAT"/>
    <xs:enumeration value="PDNPSPELCT"/>

```

```

    <xs:enumeration value="PDNPSPMNAT"/>
    <xs:enumeration value="PDNPSPMNCT"/>
    <xs:enumeration value="PDNFPPPELAT"/>
    <xs:enumeration value="PDNFPPPELCT"/>
    <xs:enumeration value="PDNFPPMNAT"/>
    <xs:enumeration value="PDNFPPMNCT"/>
    <xs:enumeration value="PDNFSPELAT"/>
    <xs:enumeration value="PDNFSPELCT"/>
    <xs:enumeration value="PDNFSPMNAT"/>
    <xs:enumeration value="PDNFSPMNCT"/>
    <xs:enumeration value="PDPPPPPELAT"/>
    <xs:enumeration value="PDPPPPPELCT"/>
    <xs:enumeration value="PDPPPPMNAT"/>
    <xs:enumeration value="PDPPPPMNCT"/>
    <xs:enumeration value="PDPPSPELAT"/>
    <xs:enumeration value="PDPPSPELCT"/>
    <xs:enumeration value="PDPPSPMNAT"/>
    <xs:enumeration value="PDPPSPMNCT"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="InvoiceElementSubmitted">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A17523 (C-0-T13953-A13954-A17522-A17523-
      cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="SBBLELAT"/>
    <xs:enumeration value="SBBLELCT"/>
    <xs:enumeration value="SBNFELCT"/>
    <xs:enumeration value="SBNFELAT"/>
    <xs:enumeration value="SBPDELAT"/>
    <xs:enumeration value="SBPDELCT"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActInvoiceOverrideCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A17590 (C-0-T13953-A13954-A17590-cpt)
  </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="COVGE"/>
    <xs:enumeration value="PYRDELAY"/>
    <xs:enumeration value="EFORM"/>
    <xs:enumeration value="FAX"/>
    <xs:enumeration value="GFTH"/>
    <xs:enumeration value="LATE"/>
    <xs:enumeration value="MANUAL"/>
    <xs:enumeration value="ORTHO"/>
    <xs:enumeration value="OOJ"/>
    <xs:enumeration value="PAPER"/>
    <xs:enumeration value="PIE"/>
    <xs:enumeration value="REFNR"/>
    <xs:enumeration value="REPSERV"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>

```

```

        <xs:enumeration value="UNRELAT"/>
        <xs:enumeration value="VERBAUTH"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActListCode">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A19364 (C-0-T13953-A13954-A19364-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:union memberTypes="ActMedicationList ActObservationList
    ActTherapyDurationWorkingListCode">
        - <xs:simpleType>
            <xs:restriction base="cs"/>
        </xs:simpleType>
    </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActMedicationList">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>specDomain: S19976 (C-0-T13953-A13954-A19364-S19976-
        cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="MEDLIST"/>
        <xs:enumeration value="CURMEDLIST"/>
        <xs:enumeration value="DISCMEDLIST"/>
        <xs:enumeration value="HISTMEDLIST"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActObservationList">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A19370 (C-0-T13953-A13954-A19364-A19370-
        cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:union memberTypes="ActConditionList">
        - <xs:simpleType>
            - <xs:restriction base="cs">
                <xs:enumeration value="CARELIST"/>
                <xs:enumeration value="GOALLIST"/>
            </xs:restriction>
        </xs:simpleType>
    </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActConditionList">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>specDomain: S21322 (C-0-T13953-A13954-A19364-A19370-
        S21322-cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="CONDLIST"/>
        <xs:enumeration value="INTOLIST"/>
        <xs:enumeration value="PROBLIST"/>
        <xs:enumeration value="RISKLIST"/>
    </xs:restriction>

```



```

</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActMonitoringProtocolCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A16231 (C-0-T13953-A13954-A16231-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:union memberTypes="ControlledSubstanceMonitoringProtocol">
    - <xs:simpleType>
      <xs:restriction base="cs"/>
    </xs:simpleType>
  </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ControlledSubstanceMonitoringProtocol">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>specDomain: S16232 (C-0-T13953-A13954-A16231-S16232-
    cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:union memberTypes="DEADrugSchedule">
    - <xs:simpleType>
      - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="CTLSUB"/>
      </xs:restriction>
    </xs:simpleType>
  </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="DEADrugSchedule">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19254 (C-0-T13953-A13954-A16231-S16232-
    A19254-cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActOrderCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19586 (C-0-T13953-A13954-A19586-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActPaymentCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A17610 (C-0-T13953-A13954-A17610-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="ACH"/>
    <xs:enumeration value="CHK"/>
    <xs:enumeration value="DDP"/>
    <xs:enumeration value="NON"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActPharmacySupplyType">
  - <xs:annotation>

```

```

    <xs:documentation>abstDomain: A16208 (C-0-T13953-A13954-A16208-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
- <xs:union memberTypes="EmergencyPharmacySupplyType
  FirstFillPharmacySupplyType RefillPharmacySupplyType">
  - <xs:simpleType>
    - <xs:restriction base="cs">
      <xs:enumeration value="FS"/>
      <xs:enumeration value="MS"/>
    </xs:restriction>
  </xs:simpleType>
</xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="EmergencyPharmacySupplyType">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>specDomain: S16220 (C-0-T13953-A13954-A16208-S16220-
      cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="EM"/>
    <xs:enumeration value="SO"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="FirstFillPharmacySupplyType">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>specDomain: S16209 (C-0-T13953-A13954-A16208-S16209-
      cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="FF"/>
    <xs:enumeration value="DF"/>
    <xs:enumeration value="FFC"/>
    <xs:enumeration value="FFP"/>
    <xs:enumeration value="TF"/>
    <xs:enumeration value="UD"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="RefillPharmacySupplyType">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>specDomain: S16215 (C-0-T13953-A13954-A16208-S16215-
      cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="RF"/>
    <xs:enumeration value="DF"/>
    <xs:enumeration value="RFF"/>
    <xs:enumeration value="RFC"/>
    <xs:enumeration value="RFP"/>
    <xs:enumeration value="TB"/>
    <xs:enumeration value="UD"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActPrivilegeCategorization">

```

```

- <xs:annotation>
  <xs:documentation>abstDomain: A19725 (C-0-T13953-A13954-A19725-cpt)
  </xs:documentation>
</xs:annotation>
<xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActProductAcquisitionCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A17958 (C-0-T13953-A13954-A17958-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:union memberTypes="Loan Transfer">
    - <xs:simpleType>
      <xs:restriction base="cs"/>
    </xs:simpleType>
  </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="Loan">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>specDomain: S17961 (C-0-T13953-A13954-A17958-S17961-
    cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="LOAN"/>
    <xs:enumeration value="RENT"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="Transfer">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>specDomain: S17959 (C-0-T13953-A13954-A17958-S17959-
    cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="TRANSFER"/>
    <xs:enumeration value="SALE"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActSpecObsCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A13957 (C-0-T13953-A13954-A13957-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:union memberTypes="ActSpecObsDilutionCode ActSpecObsInterferenceCode
  ActSpecObsVolumeCode">
    - <xs:simpleType>
      - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="ARTBLD"/>
        <xs:enumeration value="EVNFCTS"/>
      </xs:restriction>
    </xs:simpleType>
  </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActSpecObsDilutionCode">

```

```

- <xs:annotation>
  <xs:documentation>specDomain: S14352 (C-0-T13953-A13954-A13957-S14352-
    cpt)</xs:documentation>
</xs:annotation>
- <xs:restriction base="cs">
  <xs:enumeration value="DILUTION"/>
  <xs:enumeration value="AUTO-HIGH"/>
  <xs:enumeration value="AUTO-LOW"/>
  <xs:enumeration value="PRE"/>
  <xs:enumeration value="RERUN"/>
</xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActSpecObsInterferenceCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>specDomain: S14382 (C-0-T13953-A13954-A13957-S14382-
      cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="INTFR"/>
    <xs:enumeration value="FIBRIN"/>
    <xs:enumeration value="HEMOLYSIS"/>
    <xs:enumeration value="ICTERUS"/>
    <xs:enumeration value="LIPEMIA"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActSpecObsVolumeCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>specDomain: S14369 (C-0-T13953-A13954-A13957-S14369-
      cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="VOLUME"/>
    <xs:enumeration value="AVAILABLE"/>
    <xs:enumeration value="CONSUMPTION"/>
    <xs:enumeration value="CURRENT"/>
    <xs:enumeration value="INITIAL"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActSpecimenTreatmentCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A14040 (C-0-T13953-A13954-A14040-cpt)
      </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="ACID"/>
    <xs:enumeration value="ALK"/>
    <xs:enumeration value="DEFB"/>
    <xs:enumeration value="FILT"/>
    <xs:enumeration value="LDLP"/>
    <xs:enumeration value="NEUT"/>
    <xs:enumeration value="RECA"/>
    <xs:enumeration value="UFIL"/>
  </xs:restriction>

```

```

</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActSubstanceAdminSubstitutionCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A16621 (C-0-T13953-A13954-A16621-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:union memberTypes="SubstanceAdminGenericSubstitution">
    - <xs:simpleType>
      - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="F"/>
        <xs:enumeration value="N"/>
      </xs:restriction>
    </xs:simpleType>
  </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="SubstanceAdminGenericSubstitution">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>specDomain: S16623 (C-0-T13953-A13954-A16621-S16623-
    cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="G"/>
    <xs:enumeration value="TE"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActSubstanceAdministrationCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19708 (C-0-T13953-A13954-A19708-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:union memberTypes="ActSubstanceAdministrationImmunizationCode
  x_MedicationOrImmunization">
    - <xs:simpleType>
      - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="DRUG"/>
      </xs:restriction>
    </xs:simpleType>
  </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActSubstanceAdministrationImmunizationCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>specDomain: S21519 (C-0-T13953-A13954-A19708-S21519-
    cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="IMMUNIZ"/>
    <xs:enumeration value="BOOSTER"/>
    <xs:enumeration value="INITIMMUNIZ"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="x_MedicationOrImmunization">
  - <xs:annotation>

```

```

        <xs:documentation>abstDomain: A19745 (C-0-T13953-A13954-A19708-A19745-
            cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
- <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="DRUG"/>
    <xs:enumeration value="IMMUNIZ"/>
</xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="CanadianActProcedureCode">
- <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19433 (C-0-T13953-A13954-A19433-cpt)
    </xs:documentation>
</xs:annotation>
    <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="HL7TriggerEventCode">
- <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19427 (C-0-T13953-A13954-A19427-cpt)
    </xs:documentation>
</xs:annotation>
    <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ROIOverlayShape">
- <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A16117 (C-0-T13953-A13954-A16117-cpt)
    </xs:documentation>
</xs:annotation>
- <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="CIRCLE"/>
    <xs:enumeration value="ELLIPSE"/>
    <xs:enumeration value="POINT"/>
    <xs:enumeration value="POLY"/>
</xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="x_ActFinancialProductAcquisitionCode">
- <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A17963 (C-0-T13953-A13954-A17963-cpt)
    </xs:documentation>
</xs:annotation>
- <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="RENT"/>
    <xs:enumeration value="SALE"/>
</xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ObservationType">
- <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A16226 (C-0-T13953-A16226-cpt)
    </xs:documentation>
</xs:annotation>
- <xs:union memberTypes="ActPrivilegeCategorizationType AnnotationType
    CommonClinicalObservationType DiagnosticImageCode
    IndividualCaseSafetyReportType LogicalObservationIdentifierNamesAndCodes
    MedicationObservationType ObservationActContextAgeType

```

```

ObservationAllergyTestType ObservationDiagnosisTypes
ObservationIndicationType ObservationIntoleranceType
ObservationIssueTriggerCodedObservationType
ObservationIssueTriggerMeasuredObservationType ObservationSequenceType
ObservationSeriesType PatientCharacteristicObservationType
PrescriptionObservationType SimpleMeasurableClinicalObservationType">
  - <xs:simpleType>
    - <xs:restriction base="cs">
      <xs:enumeration value="ADVERSE_REACTION"/>
      <xs:enumeration value="_FDALabelData"/>
      <xs:enumeration value="SEV"/>
    </xs:restriction>
  </xs:simpleType>
</xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActPrivilegeCategorizationType">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19750 (C-0-T13953-A16226-A19750-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="AnnotationType">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19329 (C-0-T13953-A16226-A19329-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:union memberTypes="ECGAnnotationType">
    - <xs:simpleType>
      <xs:restriction base="cs"/>
    </xs:simpleType>
  </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ECGAnnotationType">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19330 (C-0-T13953-A16226-A19329-A19330-
    cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:union memberTypes="ECGAnnotationTypeMDC">
    - <xs:simpleType>
      <xs:restriction base="cs"/>
    </xs:simpleType>
  </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ECGAnnotationTypeMDC">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19335 (C-0-T13953-A16226-A19329-A19330-
    A19335-cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="CommonClinicalObservationType">
  - <xs:annotation>

```

```

        <xs:documentation>abstDomain: A19715 (C-0-T13953-A16226-A19715-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="DiagnosticImageCode">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A19737 (C-0-T13953-A16226-A19737-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="IndividualCaseSafetyReportType">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A19622 (C-0-T13953-A16226-A19622-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="LogicalObservationIdentifierNamesAndCodes">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A16492 (C-0-T13953-A16226-A16492-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ObservationActContextAgeType">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A19757 (C-0-T13953-A16226-A19757-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:union memberTypes="LOINCObservationActContextAgeType">
        - <xs:simpleType>
            <xs:restriction base="cs"/>
        </xs:simpleType>
    </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="LOINCObservationActContextAgeType">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A19758 (C-0-T13953-A16226-A19757-A19758-
            cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="30972-4"/>
        <xs:enumeration value="29553-5"/>
        <xs:enumeration value="30525-0"/>
        <xs:enumeration value="21611-9"/>
        <xs:enumeration value="21612-7"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ObservationAllergyTestType">
    - <xs:annotation>

```



```

        <xs:documentation>abstDomain: A19695 (C-0-T13953-A16226-A19695-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ObservationDiagnosisTypes">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>specDomain: S20927 (C-0-T13953-A16226-S20927-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="DX"/>
        <xs:enumeration value="ADMDX"/>
        <xs:enumeration value="DISDX"/>
        <xs:enumeration value="INTDX"/>
        <xs:enumeration value="NOI"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ObservationIndicationType">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A19728 (C-0-T13953-A16226-A19728-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ObservationIntoleranceType">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>specDomain: S21498 (C-0-T13953-A16226-S21498-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:union memberTypes="ObservationAllergyType ObservationDrugIntoleranceType
ObservationEnvironmentalIntoleranceType ObservationFoodIntoleranceType
ObservationNonAllergyIntoleranceType">
        - <xs:simpleType>
            - <xs:restriction base="cs">
                <xs:enumeration value="OINT"/>
            </xs:restriction>
        </xs:simpleType>
    </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ObservationAllergyType">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>specDomain: S21499 (C-0-T13953-A16226-S21498-S21499-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="ALG"/>
        <xs:enumeration value="DALG"/>
        <xs:enumeration value="EALG"/>
        <xs:enumeration value="FALG"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ObservationDrugIntoleranceType">

```

- <xs:annotation>
 - <xs:documentation>specDomain: S21501 (C-0-T13953-A16226-S21498-S21501-cpt)
 - </xs:documentation>
- </xs:annotation>
- <xs:restriction base="cs">
 - <xs:enumeration value="DINT"/>
 - <xs:enumeration value="DALG"/>
 - <xs:enumeration value="DNAINT"/>
- </xs:restriction>
- </xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ObservationEnvironmentalIntoleranceType">
 - <xs:annotation>
 - <xs:documentation>specDomain: S21503 (C-0-T13953-A16226-S21498-S21503-cpt)
 - </xs:documentation>
 - </xs:annotation>
 - <xs:restriction base="cs">
 - <xs:enumeration value="EINT"/>
 - <xs:enumeration value="EALG"/>
 - <xs:enumeration value="ENAINT"/>
 - </xs:restriction>
- </xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ObservationFoodIntoleranceType">
 - <xs:annotation>
 - <xs:documentation>specDomain: S21502 (C-0-T13953-A16226-S21498-S21502-cpt)
 - </xs:documentation>
 - </xs:annotation>
 - <xs:restriction base="cs">
 - <xs:enumeration value="FINT"/>
 - <xs:enumeration value="FALG"/>
 - <xs:enumeration value="FNAINT"/>
 - </xs:restriction>
- </xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ObservationNonAllergyIntoleranceType">
 - <xs:annotation>
 - <xs:documentation>specDomain: S21500 (C-0-T13953-A16226-S21498-S21500-cpt)
 - </xs:documentation>
 - </xs:annotation>
 - <xs:restriction base="cs">
 - <xs:enumeration value="NAINT"/>
 - <xs:enumeration value="DNAINT"/>
 - <xs:enumeration value="ENAINT"/>
 - <xs:enumeration value="FNAINT"/>
 - </xs:restriction>
- </xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ObservationIssueTriggerCodedObservationType">
 - <xs:annotation>
 - <xs:documentation>abstDomain: A19712 (C-0-T13953-A16226-A19712-cpt)
 - </xs:documentation>
 - </xs:annotation>
 - <xs:restriction base="cs"/>
- </xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ObservationIssueTriggerMeasuredObservationType">
 - <xs:annotation>

```

        <xs:documentation>abstDomain: A19713 (C-0-T13953-A16226-A19713-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ObservationSequenceType">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A19325 (C-0-T13953-A16226-A19325-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:union memberTypes="ECGObservationSequenceType">
        - <xs:simpleType>
            - <xs:restriction base="cs">
                <xs:enumeration value="TIME_ABSOLUTE"/>
                <xs:enumeration value="TIME_RELATIVE"/>
            </xs:restriction>
        </xs:simpleType>
    </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ECGObservationSequenceType">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A19328 (C-0-T13953-A16226-A19325-A19328-
        cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:union memberTypes="ECGLeadTypeMDC">
        - <xs:simpleType>
            <xs:restriction base="cs"/>
        </xs:simpleType>
    </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ECGLeadTypeMDC">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A19334 (C-0-T13953-A16226-A19325-A19328-
        A19334-cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ObservationSeriesType">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A19321 (C-0-T13953-A16226-A19321-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:union memberTypes="ECGObservationSeriesType">
        - <xs:simpleType>
            <xs:restriction base="cs"/>
        </xs:simpleType>
    </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ECGObservationSeriesType">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A19322 (C-0-T13953-A16226-A19321-A19322-
        cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>

```

```

- <xs:restriction base="cs">
  <xs:enumeration value="REPRESENTATIVE_BEAT"/>
  <xs:enumeration value="RHYTHM"/>
</xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="PatientCharacteristicObservationType">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19714 (C-0-T13953-A16226-A19714-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="PrescriptionObservationType">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19616 (C-0-T13953-A16226-A19616-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="SimpleMeasurableClinicalObservationType">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19711 (C-0-T13953-A16226-A19711-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="x_LabProcessCodes">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19656 (C-0-T13953-A19656-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:union memberTypes="ActInfoPersistCode ActObservationVerificationCode
    ActSpecimenAccessionCode ActSpecimenLabelCode ActSpecimenManifestCode
    ActSpecimenTransportCode">
    - <xs:simpleType>
      <xs:restriction base="cs"/>
    </xs:simpleType>
  </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActInfoPersistCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19659 (C-0-T13953-A19656-A19659-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActObservationVerificationCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19658 (C-0-T13953-A19656-A19658-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>

```

- <xs:simpleType name="ActSpecimenAccessionCode">
 - <xs:annotation>
 - <xs:documentation>abstDomain: A19662 (C-0-T13953-A19656-A19662-cpt)
 - </xs:annotation>
 - <xs:restriction base="cs"/>
- </xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActSpecimenLabelCode">
 - <xs:annotation>
 - <xs:documentation>abstDomain: A19660 (C-0-T13953-A19656-A19660-cpt)
 - </xs:annotation>
 - <xs:restriction base="cs"/>
- </xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActSpecimenManifestCode">
 - <xs:annotation>
 - <xs:documentation>abstDomain: A19661 (C-0-T13953-A19656-A19661-cpt)
 - </xs:annotation>
 - <xs:restriction base="cs"/>
- </xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActSpecimenTransportCode">
 - <xs:annotation>
 - <xs:documentation>abstDomain: A19663 (C-0-T13953-A19656-A19663-cpt)
 - </xs:annotation>
 - <xs:restriction base="cs"/>
- </xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActInjuryCode">
 - <xs:annotation>
 - <xs:documentation>vocSet: T19348 (C-0-T19348-cpt)</xs:documentation>
 - </xs:annotation>
 - <xs:restriction base="cs"/>
- </xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActInvoiceElementModifier">
 - <xs:annotation>
 - <xs:documentation>vocSet: T17704 (C-0-T17704-cpt)</xs:documentation>
 - </xs:annotation>
 - <xs:restriction base="cs">
 - <xs:enumeration value="EFORM"/>
 - <xs:enumeration value="FAX"/>
 - <xs:enumeration value="LINV"/>
 - <xs:enumeration value="PAPER"/>
 - </xs:restriction>
- </xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActMood">
 - <xs:annotation>
 - <xs:documentation>vocSet: T10196 (C-0-T10196-cpt)</xs:documentation>
 - </xs:annotation>
 - <xs:union memberTypes="ActMoodCompletionTrack ActMoodPredicate
 x_ActMoodDefEvn x_ActMoodDefEvnRqoPrmsPrp
 x_ActMoodDocumentObservation x_ActMoodEvnOrdPrmsPrp
 x_ActMoodIntentEvent x_ActMoodOrdPrms x_ActMoodOrdPrmsEvn

```

    x_ActMoodPermPermrq x_ActMoodRqoPrpAptArg
    x_ClinicalStatementActMood x_ClinicalStatementEncounterMood
    x_ClinicalStatementObservationMood x_ClinicalStatementProcedureMood
    x_ClinicalStatementSubstanceMood x_ClinicalStatementSupplyMood
    x_DocumentActMood x_DocumentEncounterMood
    x_DocumentProcedureMood x_DocumentSubstanceMood"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActMoodCompletionTrack">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A10197 (C-0-T10196-A10197-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:union memberTypes="ActMoodIntent">
    - <xs:simpleType>
      - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="DEF"/>
        <xs:enumeration value="EVN"/>
      </xs:restriction>
    </xs:simpleType>
  </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActMoodPredicate">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A10202 (C-0-T10196-A10202-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="GOL"/>
    <xs:enumeration value="EVN.CRT"/>
    <xs:enumeration value="EXPEC"/>
    <xs:enumeration value="OPT"/>
    <xs:enumeration value="PERM"/>
    <xs:enumeration value="PERMRQ"/>
    <xs:enumeration value="RSK"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="x_ActMoodDefEvn">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19375 (C-0-T10196-A19375-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="DEF"/>
    <xs:enumeration value="EVN"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="x_ActMoodDefEvnRqoPrmsPrp">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19371 (C-0-T10196-A19371-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="DEF"/>

```

```

        <xs:enumeration value="EVN"/>
        <xs:enumeration value="PRMS"/>
        <xs:enumeration value="PRP"/>
        <xs:enumeration value="RQO"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="x_ActMoodDocumentObservation">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A18943 (C-0-T10196-A18943-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="GOL"/>
        <xs:enumeration value="DEF"/>
        <xs:enumeration value="EVN"/>
        <xs:enumeration value="INT"/>
        <xs:enumeration value="PRMS"/>
        <xs:enumeration value="PRP"/>
        <xs:enumeration value="RQO"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="x_ActMoodEvnOrdPrmsPrp">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A18965 (C-0-T10196-A18965-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="EVN"/>
        <xs:enumeration value="PRMS"/>
        <xs:enumeration value="PRP"/>
        <xs:enumeration value="RQO"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="x_ActMoodIntentEvent">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A16742 (C-0-T10196-A16742-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:union memberTypes="ActMoodIntent">
        - <xs:simpleType>
            - <xs:restriction base="cs">
                <xs:enumeration value="EVN"/>
            </xs:restriction>
        </xs:simpleType>
    </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActMoodIntent">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>specDomain: S10199 (C-0-T10196-A16742-S10199-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:union memberTypes="ActMoodProposal">
        - <xs:simpleType>

```

```

- <xs:restriction base="cs">
  <xs:enumeration value="INT"/>
  <xs:enumeration value="APT"/>
  <xs:enumeration value="ARQ"/>
  <xs:enumeration value="PRMS"/>
  <xs:enumeration value="RQO"/>
</xs:restriction>
</xs:simpleType>
</xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActMoodProposal">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>specDomain: S16726 (C-0-T10196-A16742-S10199-S16726-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="PRP"/>
    <xs:enumeration value="RMD"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="x_ActMoodOrdPrms">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A16735 (C-0-T10196-A16735-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="PRMS"/>
    <xs:enumeration value="RQO"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="x_ActMoodOrdPrmsEvn">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A16730 (C-0-T10196-A16730-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="EVN"/>
    <xs:enumeration value="PRMS"/>
    <xs:enumeration value="RQO"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="x_ActMoodPermPermrq">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19689 (C-0-T10196-A19689-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="PERM"/>
    <xs:enumeration value="PERMRQ"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="x_ActMoodRqoPrpAptArq">
  - <xs:annotation>

```



```

        <xs:documentation>abstDomain: A19372 (C-0-T10196-A19372-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="APT"/>
        <xs:enumeration value="ARQ"/>
        <xs:enumeration value="PRP"/>
        <xs:enumeration value="RQO"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="x_ClinicalStatementActMood">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A19649 (C-0-T10196-A19649-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="APT"/>
        <xs:enumeration value="ARQ"/>
        <xs:enumeration value="DEF"/>
        <xs:enumeration value="EVN"/>
        <xs:enumeration value="INT"/>
        <xs:enumeration value="PRMS"/>
        <xs:enumeration value="PRP"/>
        <xs:enumeration value="RQO"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="x_ClinicalStatementEncounterMood">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A19648 (C-0-T10196-A19648-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="APT"/>
        <xs:enumeration value="ARQ"/>
        <xs:enumeration value="EVN"/>
        <xs:enumeration value="INT"/>
        <xs:enumeration value="PRMS"/>
        <xs:enumeration value="PRP"/>
        <xs:enumeration value="RQO"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="x_ClinicalStatementObservationMood">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A19644 (C-0-T10196-A19644-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="GOL"/>
        <xs:enumeration value="APT"/>
        <xs:enumeration value="ARQ"/>
        <xs:enumeration value="DEF"/>
        <xs:enumeration value="EVN"/>
        <xs:enumeration value="INT"/>

```

```

        <xs:enumeration value="PRMS"/>
        <xs:enumeration value="PRP"/>
        <xs:enumeration value="RQO"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="x_ClinicalStatementProcedureMood">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A19647 (C-0-T10196-A19647-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="APT"/>
        <xs:enumeration value="ARQ"/>
        <xs:enumeration value="DEF"/>
        <xs:enumeration value="EVN"/>
        <xs:enumeration value="INT"/>
        <xs:enumeration value="PRMS"/>
        <xs:enumeration value="PRP"/>
        <xs:enumeration value="RQO"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="x_ClinicalStatementSubstanceMood">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A19645 (C-0-T10196-A19645-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="EVN"/>
        <xs:enumeration value="INT"/>
        <xs:enumeration value="PRMS"/>
        <xs:enumeration value="PRP"/>
        <xs:enumeration value="RQO"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="x_ClinicalStatementSupplyMood">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A19646 (C-0-T10196-A19646-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="EVN"/>
        <xs:enumeration value="INT"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="x_DocumentActMood">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A19458 (C-0-T10196-A19458-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="APT"/>
        <xs:enumeration value="ARQ"/>
        <xs:enumeration value="DEF"/>

```

```

        <xs:enumeration value="EVN"/>
        <xs:enumeration value="INT"/>
        <xs:enumeration value="PRMS"/>
        <xs:enumeration value="PRP"/>
        <xs:enumeration value="RQO"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="x_DocumentEncounterMood">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A19459 (C-0-T10196-A19459-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="APT"/>
        <xs:enumeration value="ARQ"/>
        <xs:enumeration value="EVN"/>
        <xs:enumeration value="INT"/>
        <xs:enumeration value="PRMS"/>
        <xs:enumeration value="PRP"/>
        <xs:enumeration value="RQO"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="x_DocumentProcedureMood">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A19460 (C-0-T10196-A19460-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="APT"/>
        <xs:enumeration value="ARQ"/>
        <xs:enumeration value="DEF"/>
        <xs:enumeration value="EVN"/>
        <xs:enumeration value="INT"/>
        <xs:enumeration value="PRMS"/>
        <xs:enumeration value="PRP"/>
        <xs:enumeration value="RQO"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="x_DocumentSubstanceMood">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A19461 (C-0-T10196-A19461-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="EVN"/>
        <xs:enumeration value="INT"/>
        <xs:enumeration value="PRMS"/>
        <xs:enumeration value="PRP"/>
        <xs:enumeration value="RQO"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActPatientTransportationModeCode">
    - <xs:annotation>

```

```

        <xs:documentation>vocSet: D23 (C-0-D23-cpt)</xs:documentation>
      </xs:annotation>
      <xs:restriction base="cs"/>
    </xs:simpleType>
  - <xs:simpleType name="ActPaymentReason">
    - <xs:annotation>
      <xs:documentation>vocSet: D24 (C-0-D24-cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    <xs:restriction base="cs"/>
  </xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActPriority">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>vocSet: T16866 (C-0-T16866-cpt)</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:union memberTypes="ActPriorityCallback x_EncounterAdmissionUrgency">
    - <xs:simpleType>
      - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="A"/>
        <xs:enumeration value="PRN"/>
        <xs:enumeration value="CR"/>
        <xs:enumeration value="EL"/>
        <xs:enumeration value="EM"/>
        <xs:enumeration value="P"/>
        <xs:enumeration value="R"/>
        <xs:enumeration value="RR"/>
        <xs:enumeration value="S"/>
        <xs:enumeration value="T"/>
        <xs:enumeration value="UR"/>
        <xs:enumeration value="UD"/>
      </xs:restriction>
    </xs:simpleType>
  </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActPriorityCallback">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>specDomain: S16871 (C-0-T16866-S16871-cpt)
  </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="CS"/>
    <xs:enumeration value="CSP"/>
    <xs:enumeration value="CSR"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="x_EncounterAdmissionUrgency">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19457 (C-0-T16866-A19457-cpt)
  </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="EL"/>
    <xs:enumeration value="EM"/>
    <xs:enumeration value="R"/>

```

```

        <xs:enumeration value="UR"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActProcedureCode">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>vocSet: T19349 (C-0-T19349-cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActReason">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>vocSet: T14878 (C-0-T14878-cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:union memberTypes="ActAccommodationReason ActAdjudicationReason
ActBillableClinicalServiceReason ActIneligibilityReason ActNoImmunizationReason
ActSupplyFulfillmentRefusalReason ClinicalResearchReason ControlActReason
EligibilityActReasonCode NonPerformanceReasonCode
ReasonForNotEvaluatingDevice ReferralReasonCode SchedulingActReason
SubstanceAdminSubstitutionNotAllowedReason SubstanceAdminSubstitutionReason
TransferActReason x_ActEncounterReason">
        - <xs:simpleType>
            - <xs:restriction base="cs">
                <xs:enumeration value="MEDNEC"/>
                <xs:enumeration value="PAT"/>
            </xs:restriction>
        </xs:simpleType>
    </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActAccommodationReason">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A17425 (C-0-T14878-A17425-cpt)
    </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="ACCREQNA"/>
        <xs:enumeration value="FLRCNV"/>
        <xs:enumeration value="MEDNEC"/>
        <xs:enumeration value="PAT"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActAdjudicationReason">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A19385 (C-0-T14878-A19385-cpt)
    </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActBillableClinicalServiceReason">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A19388 (C-0-T14878-A19388-cpt)
    </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    <xs:restriction base="cs"/>

```

```

</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActIneligibilityReason">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19355 (C-0-T14878-A19355-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="COVSUS"/>
    <xs:enumeration value="DECSD"/>
    <xs:enumeration value="REGERR"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActNoImmunizationReason">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19717 (C-0-T14878-A19717-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActSupplyFulfillmentRefusalReason">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19718 (C-0-T14878-A19718-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ControlActReason">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19692 (C-0-T14878-A19692-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:union memberTypes="ControlActReasonConditionNullify">
    - <xs:simpleType>
      <xs:restriction base="cs"/>
    </xs:simpleType>
  </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ControlActReasonConditionNullify">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19693 (C-0-T14878-A19692-A19693-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="EligibilityActReasonCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19694 (C-0-T14878-A19694-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:union memberTypes="CoverageEligibilityReason">
    - <xs:simpleType>
      <xs:restriction base="cs"/>
    </xs:simpleType>
  </xs:union>
</xs:simpleType>

```

```

    </xs:union>
  </xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="NonPerformanceReasonCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19744 (C-0-T14878-A19744-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ReasonForNotEvaluatingDevice">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19636 (C-0-T14878-A19636-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ReferralReasonCode">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19743 (C-0-T14878-A19743-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="SchedulingActReason">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A14879 (C-0-T14878-A14879-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="MTG"/>
    <xs:enumeration value="MED"/>
    <xs:enumeration value="FIN"/>
    <xs:enumeration value="DEC"/>
    <xs:enumeration value="PAT"/>
    <xs:enumeration value="PHY"/>
    <xs:enumeration value="BLK"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="SubstanceAdminSubstitutionNotAllowedReason">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19719 (C-0-T14878-A19719-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="SubstanceAdminSubstitutionReason">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>abstDomain: A19377 (C-0-T14878-A19377-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="cs">
    <xs:enumeration value="CT"/>
    <xs:enumeration value="FP"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>

```

```

        <xs:enumeration value="OS"/>
        <xs:enumeration value="RR"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="TransferActReason">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A15983 (C-0-T14878-A15983-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="ER"/>
        <xs:enumeration value="RQ"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="x_ActEncounterReason">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A19456 (C-0-T14878-A19456-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="MEDNEC"/>
        <xs:enumeration value="PAT"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActRelationshipCheckpoint">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>vocSet: T10349 (C-0-T10349-cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="B"/>
        <xs:enumeration value="E"/>
        <xs:enumeration value="S"/>
        <xs:enumeration value="X"/>
        <xs:enumeration value="T"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActRelationshipJoin">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>vocSet: T10360 (C-0-T10360-cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="D"/>
        <xs:enumeration value="X"/>
        <xs:enumeration value="K"/>
        <xs:enumeration value="W"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActRelationshipRelatedOrder">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>vocSet: D25 (C-0-D25-cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    <xs:restriction base="cs"/>
</xs:simpleType>

```


- <xs:simpleType name="ActRelationshipSplit">
 - <xs:annotation>
 - <xs:documentation>vocSet: T10355 (C-0-T10355-cpt)</xs:documentation>
 - </xs:annotation>
 - <xs:restriction base="cs">
 - <xs:enumeration value="E1"/>
 - <xs:enumeration value="EW"/>
 - <xs:enumeration value="I1"/>
 - <xs:enumeration value="IW"/>
 - </xs:restriction>
- </xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActRelationshipSubset">
 - <xs:annotation>
 - <xs:documentation>vocSet: T19613 (C-0-T19613-cpt)</xs:documentation>
 - </xs:annotation>
 - <xs:union memberTypes="ExpectedSubset ParticipationSubset PastSubset">
 - <xs:simpleType>
 - <xs:restriction base="cs">
 - <xs:enumeration value="MAX"/>
 - <xs:enumeration value="MIN"/>
 - <xs:enumeration value="SUM"/>
 - </xs:restriction>
 - </xs:simpleType>
 - </xs:union>
- </xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ParticipationSubset">
 - <xs:annotation>
 - <xs:documentation>abstDomain: A19736 (C-0-T19613-A19736-cpt)
 - </xs:annotation>
 - <xs:union memberTypes="ExpectedSubset PastSubset">
 - <xs:simpleType>
 - <xs:restriction base="cs">
 - <xs:enumeration value="SUM"/>
 - </xs:restriction>
 - </xs:simpleType>
 - </xs:union>
- </xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ExpectedSubset">
 - <xs:annotation>
 - <xs:documentation>specDomain: S21368 (C-0-T19613-A19736-S21368-cpt)
 - </xs:annotation>
 - <xs:restriction base="cs">
 - <xs:enumeration value="FUTURE"/>
 - <xs:enumeration value="LAST"/>
 - <xs:enumeration value="NEXT"/>
 - <xs:enumeration value="FUTSUM"/>
 - </xs:restriction>
- </xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="PastSubset">
 - <xs:annotation>

```

        <xs:documentation>specDomain: S21367 (C-0-T19613-S21367-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="PAST"/>
        <xs:enumeration value="FIRST"/>
        <xs:enumeration value="RECENT"/>
        <xs:enumeration value="PREVSUM"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActRelationshipType">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>vocSet: T10317 (C-0-T10317-cpt)</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    <xs:union memberTypes="ActRelationshipConditional
        ActRelationshipHasComponent ActRelationshipOutcome
        ActRelationshipPertains ActRelationshipSequel x_ActRelationshipDocument
        x_ActRelationshipEntry x_ActRelationshipEntryRelationship
        x_ActRelationshipExternalReference x_ActRelationshipPatientTransport
        x_ActRelationshipPertinentInfo x_SUCC_REPL_PREV"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActRelationshipConditional">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>abstDomain: A18977 (C-0-T10317-A18977-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:union memberTypes="ActRelationshipReason">
        - <xs:simpleType>
            - <xs:restriction base="cs">
                <xs:enumeration value="CIND"/>
                <xs:enumeration value="PRCN"/>
                <xs:enumeration value="TRIG"/>
            </xs:restriction>
        </xs:simpleType>
    </xs:union>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActRelationshipReason">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>specDomain: S10321 (C-0-T10317-A18977-S10321-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="RSON"/>
        <xs:enumeration value="MITGT"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActRelationshipHasComponent">
    - <xs:annotation>
        <xs:documentation>specDomain: S10318 (C-0-T10317-S10318-cpt)
        </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="cs">
        <xs:enumeration value="COMP"/>

```

```

    <xs:enumeration value="ARR"/>
    <xs:enumeration value="DEP"/>
    <xs:enumeration value="CTRLV"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ActRelationshipOutcome">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation>specDomain: S10324 (C-0-T10317-S10324-cpt)
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:union memberTypes="ActRelationshipObjective">
    - <xs:simpleType>
      </xs:simpleType>
    </xs:union>
  </xs:simpleType>
  abstDomain: A19617 (C-0-T10317-S10324-A19617-cpt)
  specDomain: S10329 (C-0-T10317-S10329-cpt)
  abstDomain: A14900 (C-0-T10317-S10329-A14900-cpt)
  abstDomain: A19610 (C-0-T10317-S10329-A14900-A19610-cpt)
  abstDomain: A19609 (C-0-T10317-S10329-A14900-A19609-cpt)
  specDomain: S10330 (C-0-T10317-S10329-S10330-cpt)
  abstDomain: A19587 (C-0-T10317-S10329-A19587-cpt)
  specDomain: S10337 (C-0-T10317-S10337-cpt)
  specDomain: S18660 (C-0-T10317-S10337-S18660-cpt)
  specDomain: S10342 (C-0-T10317-S10337-S10342-cpt)
  specDomain: S10338 (C-0-T10317-S10337-S10338-cpt)
  abstDomain: A11610 (C-0-T10317-A11610-cpt)
  abstDomain: A19446 (C-0-T10317-A19446-cpt)
  abstDomain: A19447 (C-0-T10317-A19447-cpt)
  abstDomain: A19000 (C-0-T10317-A19000-cpt)
  abstDomain: A19005 (C-0-T10317-A19005-cpt)
  abstDomain: A19562 (C-0-T10317-A19562-cpt)
  abstDomain: A19753 (C-0-T10317-A19753-cpt)
  vocSet: T16537 (C-0-T16537-cpt)
  abstDomain: A16539 (C-0-T16537-A16539-cpt)
  abstDomain: A19439 (C-0-T16537-A16538-A19439-cpt)
  abstDomain: A19346 (C-0-T16537-A16538-A19346-cpt)
  abstDomain: A19345 (C-0-T16537-A16538-A19346-A19345-cpt)
  abstDomain: A19342 (C-0-T16537-A16538-A19346-A19342-cpt)
  abstDomain: A19344 (C-0-T16537-A16538-A19346-A19344-cpt)
  abstDomain: A19343 (C-0-T16537-A16538-A19346-A19343-cpt)
  abstDomain: A19724 (C-0-T16537-A16538-A19724-cpt)
  abstDomain: A19438 (C-0-T16537-A16538-A19438-cpt)
  vocSet: T15933 (C-0-T15933-cpt)
  specDomain: S15936 (C-0-T15933-S15936-cpt)
  abstDomain: A16916 (C-0-T15933-A16916-cpt)
  vocSet: D26 (C-0-D26-cpt)
  vocSet: T16899 (C-0-T16899-cpt)
  vocSet: T10642 (C-0-T10642-cpt)
  specDomain: S10651 (C-0-T10642-S10651-cpt)
  specDomain: S17887 (C-0-T10642-S17887-cpt)
  specDomain: S14822 (C-0-T10642-S14822-cpt)
  specDomain: S10649 (C-0-T10642-S14822-S10649-cpt)

```

specDomain: S10648 (C-0-T10642-S14822-S10648-cpt)
vocSet: T1 (C-0-T1-cpt)
vocSet: T18130 (C-0-T18130-cpt)
abstDomain: A18131 (C-0-T18130-A18131-cpt)
abstDomain: A18132 (C-0-T18130-A18131-A18132-cpt)
abstDomain: A18142 (C-0-T18130-A18131-A18132-A18142-cpt)
abstDomain: A18143 (C-0-T18130-A18131-A18132-A18142-A18143-cpt)
abstDomain: A18135 (C-0-T18130-A18131-A18132-A18135-cpt)
abstDomain: A18136 (C-0-T18130-A18131-A18132-A18135-A18136-cpt)
abstDomain: A18171 (C-0-T18130-A18131-A18132-A18171-cpt)
abstDomain: A18174 (C-0-T18130-A18131-A18132-A18171-A18174-cpt)
abstDomain: A18184 (C-0-T18130-A18131-A18132-A18171-A18184-cpt)
abstDomain: A18156 (C-0-T18130-A18131-A18132-A18156-cpt)
abstDomain: A18164 (C-0-T18130-A18131-A18132-A18164-cpt)
abstDomain: A18189 (C-0-T18130-A18131-A18189-cpt)
abstDomain: A18223 (C-0-T18130-A18223-cpt)
abstDomain: A18224 (C-0-T18130-A18223-A18224-cpt)
abstDomain: A18233 (C-0-T18130-A18223-A18233-cpt)
abstDomain: A18238 (C-0-T18130-A18238-cpt)
abstDomain: A18191 (C-0-T18130-A18191-cpt)
abstDomain: A18221 (C-0-T18130-A18191-A18221-cpt)
abstDomain: A18192 (C-0-T18130-A18191-A18192-cpt)
abstDomain: A18210 (C-0-T18130-A18191-A18192-A18210-cpt)
abstDomain: A18193 (C-0-T18130-A18191-A18192-A18193-cpt)
abstDomain: A18241 (C-0-T18130-A18241-cpt)
abstDomain: A18274 (C-0-T18130-A18241-A18274-cpt)
abstDomain: A18275 (C-0-T18130-A18241-A18274-A18275-cpt)
abstDomain: A18291 (C-0-T18130-A18241-A18274-A18275-A18291-cpt)
abstDomain: A18292 (C-0-T18130-A18241-A18274-A18275-A18291-A18292-cpt)
abstDomain: A18276 (C-0-T18130-A18241-A18274-A18275-A18276-cpt)
abstDomain: A18282 (C-0-T18130-A18241-A18274-A18275-A18282-cpt)
abstDomain: A18248 (C-0-T18130-A18241-A18248-cpt)
abstDomain: A18253 (C-0-T18130-A18241-A18253-cpt)
abstDomain: A18244 (C-0-T18130-A18241-A18244-cpt)
abstDomain: A18306 (C-0-T18130-A18306-cpt)
abstDomain: A18307 (C-0-T18130-A18306-A18307-cpt)
abstDomain: A18319 (C-0-T18130-A18319-cpt)
abstDomain: A18327 (C-0-T18130-A18327-cpt)
abstDomain: A18331 (C-0-T18130-A18327-A18331-cpt)
abstDomain: A18338 (C-0-T18130-A18338-cpt)
abstDomain: A18342 (C-0-T18130-A18338-A18342-cpt)
abstDomain: A18339 (C-0-T18130-A18338-A18339-cpt)
abstDomain: A18352 (C-0-T18130-A18352-cpt)
abstDomain: A18356 (C-0-T18130-A18352-A18356-cpt)
abstDomain: A18358 (C-0-T18130-A18352-A18356-A18358-cpt)
abstDomain: A18399 (C-0-T18130-A18352-A18356-A18358-A18399-cpt)
abstDomain: A18407 (C-0-T18130-A18352-A18356-A18358-A18399-A18407-cpt)
abstDomain: A18400 (C-0-T18130-A18352-A18356-A18358-A18399-A18400-cpt)
abstDomain: A18365 (C-0-T18130-A18352-A18356-A18358-A18365-cpt)

abstDomain: A18366 (C-0-T18130-A18352-A18356-A18358-A18365-A18366-cpt)
abstDomain: A18379 (C-0-T18130-A18352-A18356-A18358-A18365-A18379-cpt)
abstDomain: A18371 (C-0-T18130-A18352-A18356-A18358-A18365-A18371-cpt)
abstDomain: A18374 (C-0-T18130-A18352-A18356-A18358-A18365-A18371-A18374-cpt)
abstDomain: A18386 (C-0-T18130-A18352-A18356-A18358-A18386-cpt)
abstDomain: A18391 (C-0-T18130-A18352-A18356-A18358-A18386-A18391-cpt)
abstDomain: A18387 (C-0-T18130-A18352-A18356-A18358-A18386-A18387-cpt)
abstDomain: A18359 (C-0-T18130-A18352-A18356-A18358-A18359-cpt)
abstDomain: A18413 (C-0-T18130-A18413-cpt)
abstDomain: A18414 (C-0-T18130-A18413-A18414-cpt)
abstDomain: A18415 (C-0-T18130-A18413-A18414-A18415-cpt)
abstDomain: A18421 (C-0-T18130-A18413-A18421-cpt)
abstDomain: A18435 (C-0-T18130-A18413-A18435-cpt)
abstDomain: A18498 (C-0-T18130-A18413-A18498-cpt)
abstDomain: A18500 (C-0-T18130-A18413-A18498-A18500-cpt)
abstDomain: A18424 (C-0-T18130-A18413-A18424-cpt)
abstDomain: A18425 (C-0-T18130-A18413-A18424-A18425-cpt)
abstDomain: A18511 (C-0-T18130-A18413-A18511-cpt)
abstDomain: A18458 (C-0-T18130-A18413-A18458-cpt)
abstDomain: A18459 (C-0-T18130-A18413-A18458-A18459-cpt)
abstDomain: A18463 (C-0-T18130-A18413-A18458-A18459-A18463-cpt)
abstDomain: A18460 (C-0-T18130-A18413-A18458-A18459-A18460-cpt)
abstDomain: A18431 (C-0-T18130-A18413-A18431-cpt)
abstDomain: A18479 (C-0-T18130-A18413-A18479-cpt)
abstDomain: A18518 (C-0-T18130-A18518-cpt)
abstDomain: A18523 (C-0-T18130-A18523-cpt)
abstDomain: A18524 (C-0-T18130-A18523-A18524-cpt)
abstDomain: A18540 (C-0-T18130-A18523-A18540-cpt)
abstDomain: A18533 (C-0-T18130-A18523-A18533-cpt)
abstDomain: A18552 (C-0-T18130-A18552-cpt)
abstDomain: A18553 (C-0-T18130-A18552-A18553-cpt)
abstDomain: A18562 (C-0-T18130-A18552-A18553-A18562-cpt)
abstDomain: A18593 (C-0-T18130-A18552-A18553-A18562-A18593-cpt)
abstDomain: A18563 (C-0-T18130-A18552-A18553-A18562-A18563-cpt)
abstDomain: A18580 (C-0-T18130-A18552-A18553-A18562-A18580-cpt)
abstDomain: A18554 (C-0-T18130-A18552-A18553-A18554-cpt)
abstDomain: A18605 (C-0-T18130-A18605-cpt)
abstDomain: A18606 (C-0-T18130-A18605-A18606-cpt)
abstDomain: A18611 (C-0-T18130-A18605-A18606-A18611-cpt)
abstDomain: A18617 (C-0-T18130-A18605-A18606-A18617-cpt)
abstDomain: A18607 (C-0-T18130-A18605-A18606-A18607-cpt)
abstDomain: A18621 (C-0-T18130-A18605-A18621-cpt)
abstDomain: A18624 (C-0-T18130-A18605-A18621-A18624-cpt)
abstDomain: A18622 (C-0-T18130-A18605-A18621-A18622-cpt)
abstDomain: A18636 (C-0-T18130-A18605-A18636-cpt)
abstDomain: A18637 (C-0-T18130-A18605-A18636-A18637-cpt)
abstDomain: A18629 (C-0-T18130-A18605-A18629-cpt)

abstDomain: A18640 (C-0-T18130-A18640-cpt)
abstDomain: A18641 (C-0-T18130-A18640-A18641-cpt)
abstDomain: A18646 (C-0-T18130-A18646-cpt)
vocSet: D27 (C-0-D27-cpt)
vocSet: D28 (C-0-D28-cpt)
vocSet: D29 (C-0-D29-cpt)
vocSet: E2 (C-0-E2-cpt)
vocSet: E1 (C-0-E1-cpt)
vocSet: T17422 (C-0-T17422-cpt)
vocSet: T10684 (C-0-T10684-cpt)
abstDomain: A10701 (C-0-T10684-A10701-cpt)
abstDomain: A10685 (C-0-T10684-A10685-cpt)
abstDomain: A10758 (C-0-T10684-A10685-A10758-cpt)
vocSet: T10682 (C-0-T10682-cpt)
vocSet: D30 (C-0-D30-cpt)
vocSet: D31 (C-0-D31-cpt)
vocSet: D32 (C-0-D32-cpt)
vocSet: T14853 (C-0-T14853-cpt)
vocSet: D33 (C-0-D33-cpt)
vocSet: D34 (C-0-D34-cpt)
vocSet: D35 (C-0-D35-cpt)
vocSet: T396 (C-0-T396-cpt)
vocSet: T19359 (C-0-T19359-cpt)
vocSet: T19250 (C-0-T19250-cpt)
vocSet: T16031 (C-0-T16031-cpt)
vocSet: T10620 (C-0-T10620-cpt)
vocSet: T19363 (C-0-T19363-cpt)
vocSet: T11033 (C-0-T11033-cpt)
vocSet: T19361 (C-0-T19361-cpt)
vocSet: T19360 (C-0-T19360-cpt)
vocSet: T10228 (C-0-T10228-cpt)
abstDomain: A10229 (C-0-T10228-A10229-cpt)
abstDomain: A10240 (C-0-T10228-A10240-cpt)
abstDomain: A10236 (C-0-T10228-A10236-cpt)
abstDomain: A16926 (C-0-T10228-A16926-cpt)
abstDomain: A19738 (C-0-T10228-A19738-cpt)
vocSet: T14049 (C-0-T14049-cpt)
abstDomain: A16184 (C-0-T14049-A16184-cpt)
vocSet: T14054 (C-0-T14054-cpt)
vocSet: T16478 (C-0-T16478-cpt)
abstDomain: A18934 (C-0-T16478-A18934-cpt)
abstDomain: A18937 (C-0-T16478-A18937-cpt)
abstDomain: A18935 (C-0-T16478-A18935-cpt)
abstDomain: A18936 (C-0-T16478-A18936-cpt)
vocSet: T171 (C-0-T171-cpt)
vocSet: D36 (C-0-D36-cpt)
vocSet: T17388 (C-0-T17388-cpt)
vocSet: T10774 (C-0-T10774-cpt)
abstDomain: A10775 (C-0-T10774-A10775-cpt)
specDomain: S10845 (C-0-T10774-A10775-S10845-cpt)
specDomain: S10846 (C-0-T10774-A10775-S10845-S10846-cpt)
specDomain: S10848 (C-0-T10774-A10775-S10845-S10848-cpt)
specDomain: S10831 (C-0-T10774-A10775-S10831-cpt)

specDomain: S10832 (C-0-T10774-A10775-S10831-S10832-cpt)
specDomain: S10833 (C-0-T10774-A10775-S10831-S10833-cpt)
specDomain: S10776 (C-0-T10774-A10775-S10776-cpt)
specDomain: S10780 (C-0-T10774-A10775-S10780-cpt)
specDomain: S10782 (C-0-T10774-A10775-S10780-S10782-cpt)
specDomain: S10783 (C-0-T10774-A10775-S10780-S10783-cpt)
specDomain: S10784 (C-0-T10774-A10775-S10780-S10784-cpt)
specDomain: S10781 (C-0-T10774-A10775-S10781-cpt)
specDomain: S10850 (C-0-T10774-A10775-S10850-cpt)
specDomain: S10851 (C-0-T10774-A10775-S10850-S10851-cpt)
specDomain: S10785 (C-0-T10774-A10775-S10785-cpt)
specDomain: S10834 (C-0-T10774-A10775-S10834-cpt)
specDomain: S10835 (C-0-T10774-A10775-S10834-S10835-cpt)
specDomain: S10839 (C-0-T10774-A10775-S10834-S10839-cpt)
specDomain: S10841 (C-0-T10774-A10775-S10834-S10841-cpt)
specDomain: S10807 (C-0-T10774-A10775-S10834-S10841-S10807-cpt)
specDomain: S10844 (C-0-T10774-A10775-S10834-S10841-S10807-S10844-cpt)
specDomain: S10808 (C-0-T10774-A10775-S10834-S10841-S10807-S10808-cpt)
specDomain: S10843 (C-0-T10774-A10775-S10834-S10841-S10807-S10843-cpt)
specDomain: S10837 (C-0-T10774-A10775-S10834-S10837-cpt)
specDomain: S10786 (C-0-T10774-A10775-S10786-cpt)
abstDomain: A10794 (C-0-T10774-A10775-A10794-cpt)
specDomain: S10795 (C-0-T10774-A10775-A10794-S10795-cpt)
specDomain: S10798 (C-0-T10774-A10775-A10794-S10798-cpt)
specDomain: S10864 (C-0-T10774-A10775-A10794-S10864-cpt)
specDomain: S10797 (C-0-T10774-A10775-A10794-S10797-cpt)
specDomain: S10866 (C-0-T10774-A10775-A10794-S10797-S10866-cpt)
specDomain: S10799 (C-0-T10774-A10775-A10794-S10799-cpt)
specDomain: S10800 (C-0-T10774-A10775-A10794-S10800-cpt)
specDomain: S10796 (C-0-T10774-A10775-A10794-S10796-cpt)
specDomain: S10865 (C-0-T10774-A10775-A10794-S10796-S10865-cpt)
specDomain: S10821 (C-0-T10774-A10775-S10821-cpt)
specDomain: S10822 (C-0-T10774-A10775-S10821-S10822-cpt)
specDomain: S10777 (C-0-T10774-A10775-S10821-S10822-S10777-cpt)
specDomain: S10778 (C-0-T10774-A10775-S10821-S10822-S10777-S10778-cpt)
specDomain: S10779 (C-0-T10774-A10775-S10821-S10822-S10777-S10778-S10779-cpt)
specDomain: S10792 (C-0-T10774-A10775-S10821-S10822-S10777-S10778-S10779-S10792-cpt)
specDomain: S10793 (C-0-T10774-A10775-S10821-S10822-S10777-S10778-S10779-S10793-cpt)
specDomain: S10790 (C-0-T10774-A10775-S10821-S10822-S10777-S10778-S10779-S10790-cpt)
specDomain: S10823 (C-0-T10774-A10775-S10821-S10823-cpt)
specDomain: S10824 (C-0-T10774-A10775-S10821-S10823-S10824-cpt)
specDomain: S10825 (C-0-T10774-A10775-S10821-S10823-S10824-S10825-cpt)
specDomain: S10826 (C-0-T10774-A10775-S10821-S10823-S10824-S10825-S10826-cpt)

specDomain: S10827 (C-0-T10774-A10775-S10821-S10823-S10824-S10825-S10826-S10827-cpt)
specDomain: S10828 (C-0-T10774-A10775-S10821-S10823-S10824-S10825-S10826-S10827-S10828-cpt)
specDomain: S10789 (C-0-T10774-A10775-S10821-S10823-S10824-S10825-S10826-S10827-S10828-S10789-cpt)
specDomain: S10829 (C-0-T10774-A10775-S10821-S10823-S10824-S10825-S10826-S10827-S10829-cpt)
specDomain: S10791 (C-0-T10774-A10775-S10821-S10823-S10824-S10825-S10826-S10827-S10829-S10791-cpt)
specDomain: S10801 (C-0-T10774-A10775-S10801-cpt)
specDomain: S10809 (C-0-T10774-A10775-S10801-S10809-cpt)
specDomain: S10803 (C-0-T10774-A10775-S10801-S10802-S10803-cpt)
specDomain: S10804 (C-0-T10774-A10775-S10801-S10802-S10804-cpt)
specDomain: S10805 (C-0-T10774-A10775-S10801-S10802-S10805-cpt)
specDomain: S10816 (C-0-T10774-A10775-S10801-S10802-S10816-cpt)
specDomain: S10867 (C-0-T10774-A10775-S10801-S10867-cpt)
specDomain: S10819 (C-0-T10774-A10775-S10801-S10869-S10819-cpt)
specDomain: S10818 (C-0-T10774-A10775-S10801-S10818-cpt)
specDomain: S10868 (C-0-T10774-A10775-S10801-S10868-cpt)
specDomain: S10810 (C-0-T10774-A10775-S10801-S10810-cpt)
specDomain: S10811 (C-0-T10774-A10775-S10801-S10810-S10811-cpt)
specDomain: S10812 (C-0-T10774-A10775-S10801-S10810-S10811-S10812-cpt)
specDomain: S10813 (C-0-T10774-A10775-S10801-S10810-S10811-S10812-S10813-cpt)
specDomain: S10816 (C-0-T10774-A10775-S10801-S10816-cpt)
specDomain: S10862 (C-0-T10774-A10775-S10801-S10816-S10862-cpt)
specDomain: S10819 (C-0-T10774-A10775-S10801-S10819-cpt)
specDomain: S10863 (C-0-T10774-A10775-S10801-S10819-S10863-cpt)
specDomain: S10814 (C-0-T10774-A10775-S10801-S10814-cpt)
specDomain: S10815 (C-0-T10774-A10775-S10801-S10814-S10815-cpt)
specDomain: S10853 (C-0-T10774-A10775-S10853-cpt)
specDomain: S10854 (C-0-T10774-A10775-S10853-S10854-cpt)
specDomain: S10856 (C-0-T10774-A10775-S10856-cpt)
specDomain: S10857 (C-0-T10774-A10775-S10856-S10857-cpt)
specDomain: S10859 (C-0-T10774-A10775-S10856-S10859-cpt)
specDomain: S10788 (C-0-T10774-A10775-S10788-cpt)
specDomain: S10787 (C-0-T10774-A10775-S10788-S10787-cpt)
vocSet: T14066 (C-0-T14066-cpt)
vocSet: T15931 (C-0-T15931-cpt)
vocSet: T271 (C-0-T271-cpt)
vocSet: T275 (C-0-T275-cpt)
specDomain: S10584 (C-0-T275-S10584-cpt)
vocSet: T11040 (C-0-T11040-cpt)
specDomain: S11042 (C-0-T11040-S11042-cpt)
specDomain: S11044 (C-0-T11040-S11044-cpt)
specDomain: S11045 (C-0-T11040-S11045-cpt)
specDomain: S11043 (C-0-T11040-S11043-cpt)
vocSet: T19175 (C-0-T19175-cpt)
vocSet: D37 (C-0-D37-cpt)
vocSet: D38 (C-0-D38-cpt)
vocSet: T16036 (C-0-T16036-cpt)

abstDomain: A19691 (C-0-T16036-A19691-cpt)
vocSet: D39 (C-0-D39-cpt)
vocSet: T15930 (C-0-T15930-cpt)
vocSet: T12231 (C-0-T12231-cpt)
vocSet: D40 (C-0-D40-cpt)
vocSet: T12234 (C-0-T12234-cpt)
vocSet: T19453 (C-0-T19453-cpt)
vocSet: T19454 (C-0-T19454-cpt)
vocSet: T12242 (C-0-T12242-cpt)
vocSet: T10882 (C-0-T10882-cpt)
specDomain: S13922 (C-0-T10882-S13922-cpt)
specDomain: S10884 (C-0-T10882-S13922-S10884-cpt)
specDomain: S11621 (C-0-T10882-S13922-S10884-S11621-cpt)
specDomain: S10883 (C-0-T10882-S13922-S10883-cpt)
specDomain: S13934 (C-0-T10882-S13922-S10883-S13934-cpt)
specDomain: S11622 (C-0-T10882-S13922-S10883-S13934-S11622-cpt)
specDomain: S11623 (C-0-T10882-S13922-S10883-S13934-S11623-cpt)
specDomain: S10892 (C-0-T10882-S13922-S10892-cpt)
abstDomain: A19462 (C-0-T10882-A19462-cpt)
abstDomain: A19463 (C-0-T10882-A19463-cpt)
specDomain: S10889 (C-0-T10882-A19463-S10889-cpt)
specDomain: S10890 (C-0-T10882-A19463-S10889-S10890-cpt)
vocSet: T16040 (C-0-T16040-cpt)
abstDomain: A16041 (C-0-T16040-A16041-cpt)
abstDomain: A19435 (C-0-T16040-A16041-A19435-cpt)
abstDomain: A16143 (C-0-T16040-A16041-A16143-cpt)
specDomain: S16144 (C-0-T16040-A16041-A16143-S16144-cpt)
specDomain: S16170 (C-0-T16040-A16041-A16143-S16144-S16170-cpt)
specDomain: S16145 (C-0-T16040-A16041-A16143-S16144-S16145-cpt)
abstDomain: A16147 (C-0-T16040-A16041-A16143-S16144-A16147-cpt)
abstDomain: A16152 (C-0-T16040-A16041-A16143-S16144-A16152-cpt)
specDomain: S16171 (C-0-T16040-A16041-A16143-S16144-A16152-S16171-cpt)
abstDomain: A16176 (C-0-T16040-A16041-A16143-S16144-A16152-A16176-cpt)
abstDomain: A16153 (C-0-T16040-A16041-A16143-S16144-A16152-A16153-cpt)
specDomain: S16155 (C-0-T16040-A16041-A16143-S16144-A16152-A16153-S16155-cpt)
specDomain: S16159 (C-0-T16040-A16041-A16143-S16144-A16152-A16153-S16155-S16159-cpt)
abstDomain: A19623 (C-0-T16040-A16041-A19623-cpt)
abstDomain: A19699 (C-0-T16040-A16041-A19698-A19699-cpt)
abstDomain: A16042 (C-0-T16040-A16041-A16042-cpt)
abstDomain: A16188 (C-0-T16040-A16041-A16188-cpt)
abstDomain: A16200 (C-0-T16040-A16041-A16188-A16200-cpt)
specDomain: S16201 (C-0-T16040-A16041-A16188-A16200-S16201-cpt)
abstDomain: A16189 (C-0-T16040-A16041-A16188-A16189-cpt)
specDomain: S16196 (C-0-T16040-A16041-A16188-A16189-S16196-cpt)
abstDomain: A16191 (C-0-T16040-A16041-A16188-A16189-A16191-cpt)
abstDomain: A19357 (C-0-T16040-A16041-A19357-cpt)
abstDomain: A19394 (C-0-T16040-A16041-A19357-A19394-cpt)
abstDomain: A19464 (C-0-T16040-A16041-A19464-cpt)

abstDomain: A19608 (C-0-T16040-A19608-cpt)
abstDomain: A19624 (C-0-T16040-A19608-A19624-cpt)
abstDomain: A19749 (C-0-T16040-A19608-A19749-cpt)
abstDomain: A16100 (C-0-T16040-A16100-cpt)
abstDomain: A19675 (C-0-T16040-A16100-A19675-cpt)
abstDomain: A19652 (C-0-T16040-A19652-cpt)
abstDomain: A19667 (C-0-T16040-A19667-cpt)
abstDomain: A19668 (C-0-T16040-A19667-A19668-cpt)
abstDomain: A16530 (C-0-T16040-A19667-A19668-A16530-cpt)
abstDomain: A16205 (C-0-T16040-A19667-A19668-A16530-A16205-cpt)
abstDomain: A19721 (C-0-T16040-A19667-A19668-A16530-A16205-A19721-cpt)
abstDomain: A16206 (C-0-T16040-A19667-A19668-A16530-A16205-A16206-cpt)
abstDomain: A19618 (C-0-T16040-A19667-A19668-A16530-A16205-A16206-A19618-cpt)
specDomain: S21458 (C-0-T16040-A19667-A19668-S21458-cpt)
vocSet: T10878 (C-0-T10878-cpt)
specDomain: S10879 (C-0-T10878-S10879-cpt)
abstDomain: A19670 (C-0-T10878-A19670-cpt)
vocSet: T13988 (C-0-T13988-cpt)
vocSet: T15888 (C-0-T15888-cpt)
abstDomain: A15889 (C-0-T15888-A15889-cpt)
abstDomain: A10659 (C-0-T15888-A10659-cpt)
abstDomain: A10666 (C-0-T15888-A10659-A10666-cpt)
abstDomain: A10660 (C-0-T15888-A10659-A10660-cpt)
abstDomain: A10671 (C-0-T15888-A10659-A10671-cpt)
vocSet: T15880 (C-0-T15880-cpt)
abstDomain: A15881 (C-0-T15880-A15881-cpt)
abstDomain: A10653 (C-0-T15880-A10653-cpt)
vocSet: T15913 (C-0-T15913-cpt)
specDomain: S10176 (C-0-T15913-S10176-cpt)
abstDomain: A15914 (C-0-T15913-A15914-cpt)
specDomain: S21363 (C-0-T15913-A200-S21363-cpt)
specDomain: S21321 (C-0-T15913-A200-S21321-cpt)
vocSet: T10405 (C-0-T10405-cpt)
specDomain: S10407 (C-0-T10405-S10407-cpt)
specDomain: S10412 (C-0-T10405-S10412-cpt)
vocSet: T16005 (C-0-T16005-cpt)
specDomain: S16006 (C-0-T16005-S16006-cpt)
vocSet: T10896 (C-0-T10896-cpt)
vocSet: T15836 (C-0-T15836-cpt)
specDomain: S15837 (C-0-T15836-S15837-cpt)
specDomain: S15854 (C-0-T15836-S15837-S15854-cpt)
specDomain: S15848 (C-0-T15836-S15837-S15848-cpt)
specDomain: S15863 (C-0-T15836-S15837-S15863-cpt)
specDomain: S15838 (C-0-T15836-S15837-S15838-cpt)
vocSet: D41 (C-0-D41-cpt)
vocSet: T10720 (C-0-T10720-cpt)
specDomain: S10725 (C-0-T10720-S10725-cpt)
abstDomain: A10726 (C-0-T10720-S10725-A10726-cpt)
specDomain: S10733 (C-0-T10720-S10725-S10733-cpt)
vocSet: T11523 (C-0-T11523-cpt)

vocSet: T10034 (C-0-T10034-cpt)
vocSet: T10010 (C-0-T10010-cpt)
abstDomain: A10012 (C-0-T10010-A10012-cpt)
specDomain: S10015 (C-0-T10010-A10012-S10015-cpt)
vocSet: T10083 (C-0-T10083-cpt)
vocSet: T19449 (C-0-T19449-cpt)
vocSet: T19373 (C-0-T19373-cpt)
vocSet: T10018 (C-0-T10018-cpt)
abstDomain: A10024 (C-0-T10018-A10024-cpt)
vocSet: E5 (C-0-E5-cpt)
vocSet: T13129 (C-0-T13129-cpt)
abstDomain: A13130 (C-0-T13129-A13130-cpt)
abstDomain: A13174 (C-0-T13129-A13130-A13174-cpt)
specDomain: S13175 (C-0-T13129-A13130-A13174-S13175-cpt)
abstDomain: A13131 (C-0-T13129-A13130-A13131-cpt)
specDomain: S13132 (C-0-T13129-A13130-A13131-S13132-cpt)
abstDomain: A13147 (C-0-T13129-A13130-A13131-A13147-cpt)
specDomain: S13149 (C-0-T13129-A13130-A13131-S13149-cpt)
specDomain: S13152 (C-0-T13129-A13130-A13131-S13152-cpt)
specDomain: S13171 (C-0-T13129-A13130-A13131-S13171-cpt)
abstDomain: A16460 (C-0-T13129-A13130-A16460-cpt)
specDomain: S13188 (C-0-T13129-A13130-A16460-S13188-cpt)
abstDomain: A13195 (C-0-T13129-A13130-A16460-S13188-A13195-cpt)
abstDomain: A13197 (C-0-T13129-A13130-A13197-cpt)
abstDomain: A13198 (C-0-T13129-A13130-A13197-A13198-cpt)
specDomain: S13205 (C-0-T13129-A13130-A13197-S13205-cpt)
specDomain: S13201 (C-0-T13129-A13130-A13197-S13201-cpt)
abstDomain: A13207 (C-0-T13129-A13130-A13207-cpt)
abstDomain: A13211 (C-0-T13129-A13130-A13211-cpt)
abstDomain: A13219 (C-0-T13129-A13130-A13211-A13219-cpt)
specDomain: S13212 (C-0-T13129-A13130-A13211-S13212-cpt)
abstDomain: A13229 (C-0-T13129-A13130-A13229-cpt)
specDomain: S13232 (C-0-T13129-A13130-A13229-S13232-cpt)
specDomain: S13134 (C-0-T13129-A13130-S13134-cpt)
abstDomain: A13134 (C-0-T13129-A13130-S13134-A13134-cpt)
abstDomain: A13578 (C-0-T13129-A13130-A13578-cpt)
abstDomain: A13579 (C-0-T13129-A13130-A13578-A13579-cpt)
abstDomain: A13136 (C-0-T13129-A13130-A13136-cpt)
abstDomain: A13139 (C-0-T13129-A13130-A13136-A13139-cpt)
abstDomain: A13347 (C-0-T13129-A13130-A13136-A13347-cpt)
abstDomain: A13352 (C-0-T13129-A13130-A13136-A13352-cpt)
abstDomain: A13644 (C-0-T13129-A13130-A13644-cpt)
abstDomain: A13660 (C-0-T13129-A13130-A13644-A13660-cpt)
abstDomain: A13669 (C-0-T13129-A13130-A13644-A13669-cpt)
abstDomain: A13703 (C-0-T13129-A13130-A13644-A13703-cpt)
abstDomain: A13673 (C-0-T13129-A13130-A13644-A13673-cpt)
abstDomain: A13705 (C-0-T13129-A13130-A13644-A13705-cpt)
abstDomain: A13688 (C-0-T13129-A13130-A13644-A13688-cpt)
abstDomain: A13711 (C-0-T13129-A13130-A13644-A13711-cpt)
abstDomain: A13645 (C-0-T13129-A13130-A13644-A13645-cpt)
abstDomain: A13354 (C-0-T13129-A13130-A13354-cpt)
specDomain: S13355 (C-0-T13129-A13130-A13354-S13355-cpt)
abstDomain: A13361 (C-0-T13129-A13130-A13354-A13361-cpt)

abstDomain: A13363 (C-0-T13129-A13130-A13363-cpt)
specDomain: S13364 (C-0-T13129-A13130-A13363-S13364-cpt)
specDomain: S13402 (C-0-T13129-A13130-A13363-S13402-cpt)
specDomain: S13422 (C-0-T13129-A13130-A13363-S13422-cpt)
abstDomain: A13425 (C-0-T13129-A13130-A13425-cpt)
specDomain: S13426 (C-0-T13129-A13130-A13425-S13426-cpt)
abstDomain: A13582 (C-0-T13129-A13130-A13582-cpt)
specDomain: S13584 (C-0-T13129-A13130-A13582-S13584-cpt)
abstDomain: A13592 (C-0-T13129-A13130-A13592-cpt)
specDomain: S13598 (C-0-T13129-A13130-A13592-S13598-cpt)
specDomain: S13609 (C-0-T13129-A13130-A13592-S13609-cpt)
specDomain: S13625 (C-0-T13129-A13130-A13592-S13625-cpt)
abstDomain: A13631 (C-0-T13129-A13130-A13592-A13631-cpt)
specDomain: S13629 (C-0-T13129-A13130-A13592-S13629-cpt)
abstDomain: A13634 (C-0-T13129-A13130-A13634-cpt)
specDomain: S13635 (C-0-T13129-A13130-A13634-S13635-cpt)
abstDomain: A13637 (C-0-T13129-A13130-A13634-S13635-A13637-cpt)
abstDomain: A13700 (C-0-T13129-A13130-A13634-S13635-A13637-A13700-
cpt)
abstDomain: A13640 (C-0-T13129-A13130-A13634-A13640-cpt)
abstDomain: A13715 (C-0-T13129-A13715-cpt)
abstDomain: A13716 (C-0-T13129-A13715-A13716-cpt)
abstDomain: A13717 (C-0-T13129-A13715-A13716-A13717-cpt)
abstDomain: A13725 (C-0-T13129-A13715-A13725-cpt)
abstDomain: A13726 (C-0-T13129-A13715-A13725-A13726-cpt)
abstDomain: A13808 (C-0-T13129-A13715-A13808-cpt)
abstDomain: A13812 (C-0-T13129-A13715-A13812-cpt)
abstDomain: A13833 (C-0-T13129-A13715-A13833-cpt)
specDomain: S13835 (C-0-T13129-A13715-A13833-S13835-cpt)
abstDomain: A13849 (C-0-T13129-A13715-A13849-cpt)
abstDomain: A13850 (C-0-T13129-A13715-A13849-A13850-cpt)
vocSet: T11017 (C-0-T11017-cpt)
vocSet: D42 (C-0-D42-cpt)
vocSet: T11526 (C-0-T11526-cpt)
vocSet: E6 (C-0-E6-cpt)
vocSet: E3 (C-0-E3-cpt)
vocSet: E18 (C-0-E18-cpt)
vocSet: E8 (C-0-E8-cpt)
vocSet: D43 (C-0-D43-cpt)
vocSet: T16039 (C-0-T16039-cpt)
vocSet: T17385 (C-0-T17385-cpt)
vocSet: D44 (C-0-D44-cpt)
vocSet: D45 (C-0-D45-cpt)
vocSet: E9 (C-0-E9-cpt)
vocSet: T12249 (C-0-T12249-cpt)
vocSet: T12199 (C-0-T12199-cpt)
vocSet: D46 (C-0-D46-cpt)
vocSet: T220 (C-0-T220-cpt)
specDomain: S10189 (C-0-T220-S10189-cpt)
vocSet: T10975 (C-0-T10975-cpt)
vocSet: T10893 (C-0-T10893-cpt)
vocSet: E7 (C-0-E7-cpt)
vocSet: T10045 (C-0-T10045-cpt)

vocSet: T10029 (C-0-T10029-cpt)
vocSet: E10 (C-0-E10-cpt)
vocSet: T15992 (C-0-T15992-cpt)
specDomain: S15993 (C-0-T15992-S15993-cpt)
vocSet: D47 (C-0-D47-cpt)
vocSet: T11052 (C-0-T11052-cpt)
vocSet: T12212 (C-0-T12212-cpt)
abstDomain: A15929 (C-0-T12212-A15929-cpt)
vocSet: T19651 (C-0-T19651-cpt)
abstDomain: A14411 (C-0-T19651-A14411-cpt)
abstDomain: A14570 (C-0-T19651-A14411-A14570-cpt)
abstDomain: A14412 (C-0-T19651-A14411-A14412-cpt)
abstDomain: A14568 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14568-cpt)
abstDomain: A14545 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14545-cpt)
specDomain: S14551 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14545-S14551-cpt)
specDomain: S14546 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14545-S14546-cpt)
specDomain: S14549 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14545-S14546-S14549-cpt)
abstDomain: A14559 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14559-cpt)
specDomain: S14560 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14559-S14560-cpt)
abstDomain: A14413 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14413-cpt)
specDomain: S14414 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14413-S14414-cpt)
specDomain: S14417 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14413-S14417-cpt)
specDomain: S14419 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14413-S14419-cpt)
specDomain: S14420 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14413-S14419-S14420-cpt)
specDomain: S14427 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14413-S14419-S14427-cpt)
specDomain: S14431 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14413-S14419-S14431-cpt)
specDomain: S14437 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14413-S14419-S14437-cpt)
abstDomain: A14463 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14463-cpt)
specDomain: S14466 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14463-S14466-cpt)
specDomain: S14473 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14463-S14466-S14473-cpt)
specDomain: S14464 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14463-S14464-cpt)
specDomain: S14475 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14463-S14475-cpt)
specDomain: S14482 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14463-S14475-S14482-cpt)
abstDomain: A14441 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14441-cpt)
specDomain: S14442 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14441-S14442-cpt)
specDomain: S14449 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14441-S14442-S14449-cpt)
specDomain: S14451 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14441-S14451-cpt)
specDomain: S14454 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14441-S14454-cpt)
specDomain: S14457 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14441-S14454-S14457-cpt)
specDomain: S14458 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14441-S14454-S14457-S14458-cpt)
abstDomain: A14484 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14484-cpt)
specDomain: S14485 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14484-S14485-cpt)

specDomain: S14486 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14484-S14485-S14486-cpt)
specDomain: S14497 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14484-S14497-cpt)
specDomain: S14499 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14484-S14499-cpt)
specDomain: S14500 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14484-S14499-S14500-cpt)
specDomain: S14506 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14484-S14506-cpt)
specDomain: S14507 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14484-S14506-S14507-cpt)
specDomain: S14508 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14484-S14506-S14507-S14508-cpt)
specDomain: S14509 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14484-S14506-S14507-S14508-S14509-cpt)
specDomain: S14511 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14484-S14506-S14507-S14508-S14511-cpt)
specDomain: S14515 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14484-S14506-S14515-cpt)
specDomain: S14516 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14484-S14506-S14515-S14516-cpt)
specDomain: S14518 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14484-S14506-S14515-S14516-S14518-cpt)
specDomain: S14524 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14484-S14506-S14515-S14516-S14524-cpt)
specDomain: S14526 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14484-S14506-S14515-S14516-S14526-cpt)
specDomain: S14534 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14484-S14534-cpt)
specDomain: S14535 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14484-S14534-S14535-cpt)
specDomain: S14538 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14484-S14538-cpt)
specDomain: S14542 (C-0-T19651-A14411-A14412-A14484-S14542-cpt)
vocSet: T10444 (C-0-T10444-cpt)
vocSet: T10076 (C-0-T10076-cpt)
vocSet: T10069 (C-0-T10069-cpt)
vocSet: T10063 (C-0-T10063-cpt)
vocSet: T14824 (C-0-T14824-cpt)
abstDomain: A14832 (C-0-T14824-A14832-cpt)
abstDomain: A14835 (C-0-T14824-A14835-cpt)
abstDomain: A14839 (C-0-T14824-A14839-cpt)
abstDomain: A14848 (C-0-T14824-A14848-cpt)
abstDomain: A14850 (C-0-T14824-A14850-cpt)
abstDomain: A14825 (C-0-T14824-A14825-cpt)
abstDomain: A14845 (C-0-T14824-A14845-cpt)
vocSet: D48 (C-0-D48-cpt)
vocSet: T357 (C-0-T357-cpt)
vocSet: T19581 (C-0-T19581-cpt)
vocSet: T395 (C-0-T395-cpt)
vocSet: E13 (C-0-E13-cpt)
vocSet: E11 (C-0-E11-cpt)
vocSet: E14 (C-0-E14-cpt)
vocSet: E12 (C-0-E12-cpt)
vocSet: T10609 (C-0-T10609-cpt)
specDomain: S10610 (C-0-T10609-S10610-cpt)
specDomain: S10616 (C-0-T10609-S10610-S10616-cpt)

specDomain: S10612 (C-0-T10609-S10610-S10612-cpt)
specDomain: S10614 (C-0-T10609-S10610-S10612-S10614-cpt)
vocSet: T78 (C-0-T78-cpt)
abstDomain: A10214 (C-0-T78-A10214-cpt)
abstDomain: A10225 (C-0-T78-A10225-cpt)
abstDomain: A10206 (C-0-T78-A10206-cpt)
specDomain: S10208 (C-0-T78-A10206-S10208-cpt)
specDomain: S10211 (C-0-T78-A10206-S10208-S10211-cpt)
specDomain: S10210 (C-0-T78-A10206-S10208-S10210-cpt)
specDomain: S10209 (C-0-T78-A10206-S10208-S10209-cpt)
abstDomain: A19759 (C-0-T78-A19759-cpt)
specDomain: S21634 (C-0-T78-A19759-S21634-cpt)
abstDomain: A10219 (C-0-T78-A10219-cpt)
vocSet: T14079 (C-0-T14079-cpt)
abstDomain: A19378 (C-0-T14079-A19378-cpt)
specDomain: S19992 (C-0-T14079-A19378-S19992-cpt)
specDomain: S21445 (C-0-T14079-S21445-cpt)
specDomain: S21449 (C-0-T14079-S21449-cpt)
specDomain: S21454 (C-0-T14079-S21454-cpt)
abstDomain: A19380 (C-0-T14079-A19380-cpt)
vocSet: T16614 (C-0-T16614-cpt)
abstDomain: A19696 (C-0-T16614-A19696-cpt)
abstDomain: A19332 (C-0-T16614-A19332-cpt)
abstDomain: A19333 (C-0-T16614-A19332-A19333-cpt)
abstDomain: A19337 (C-0-T16614-A19332-A19333-A19337-cpt)
abstDomain: A19341 (C-0-T16614-A19332-A19333-A19341-cpt)
abstDomain: A19340 (C-0-T16614-A19332-A19333-A19340-cpt)
abstDomain: A19339 (C-0-T16614-A19332-A19333-A19339-cpt)
abstDomain: A19338 (C-0-T16614-A19332-A19333-A19338-cpt)
abstDomain: A19436 (C-0-T16614-A19436-cpt)
abstDomain: A19437 (C-0-T16614-A19437-cpt)
abstDomain: A19729 (C-0-T16614-A19729-cpt)
abstDomain: A16615 (C-0-T16614-A19729-A16615-cpt)
abstDomain: A19730 (C-0-T16614-A19729-A19730-cpt)
abstDomain: A19625 (C-0-T16614-A19625-cpt)
abstDomain: A19626 (C-0-T16614-A19625-A19626-cpt)
abstDomain: A19633 (C-0-T16614-A19625-A19633-cpt)
abstDomain: A19634 (C-0-T16614-A19625-A19634-cpt)
abstDomain: A19632 (C-0-T16614-A19625-A19632-cpt)
abstDomain: A19629 (C-0-T16614-A19625-A19629-cpt)
abstDomain: A19628 (C-0-T16614-A19625-A19628-cpt)
abstDomain: A19635 (C-0-T16614-A19625-A19635-cpt)
abstDomain: A19627 (C-0-T16614-A19625-A19627-cpt)
abstDomain: A19631 (C-0-T16614-A19625-A19631-cpt)
abstDomain: A19630 (C-0-T16614-A19625-A19630-cpt)
abstDomain: A19390 (C-0-T16614-A19390-cpt)
abstDomain: A19697 (C-0-T16614-A19697-cpt)
abstDomain: A19716 (C-0-T16614-A19716-cpt)
abstDomain: A18120 (C-0-T16614-A18120-cpt)
abstDomain: A16643 (C-0-T16614-A16643-cpt)
vocSet: T19298 (C-0-T19298-cpt)
vocSet: T204 (C-0-T204-cpt)
vocSet: D49 (C-0-D49-cpt)

vocSet: E16 (C-0-E16-cpt)
vocSet: T10759 (C-0-T10759-cpt)
specDomain: S10763 (C-0-T10759-S10763-cpt)
specDomain: S10762 (C-0-T10759-S10762-cpt)
specDomain: S10761 (C-0-T10759-S10761-cpt)
specDomain: S10766 (C-0-T10759-S10761-S10766-cpt)
specDomain: S10764 (C-0-T10759-S10761-S10764-cpt)
specDomain: S10765 (C-0-T10759-S10761-S10765-cpt)
specDomain: S10760 (C-0-T10759-S10760-cpt)
specDomain: S10767 (C-0-T10759-S10760-S10767-cpt)
specDomain: S10768 (C-0-T10759-S10760-S10768-cpt)
specDomain: S10771 (C-0-T10759-S10760-S10771-cpt)
specDomain: S10772 (C-0-T10759-S10760-S10772-cpt)
specDomain: S10769 (C-0-T10759-S10760-S10769-cpt)
specDomain: S10770 (C-0-T10759-S10760-S10770-cpt)
vocSet: T10267 (C-0-T10267-cpt)
vocSet: T16543 (C-0-T16543-cpt)
specDomain: S16554 (C-0-T16543-S16554-cpt)
specDomain: S16544 (C-0-T16543-S16544-cpt)
specDomain: S16549 (C-0-T16543-S16549-cpt)
abstDomain: A19739 (C-0-T16543-A19739-cpt)
vocSet: T10282 (C-0-T10282-cpt)
vocSet: T10901 (C-0-T10901-cpt)
specDomain: S21573 (C-0-T10901-S21573-cpt)
abstDomain: A10247 (C-0-T10901-S21573-A10247-cpt)
specDomain: S19032 (C-0-T10901-S21573-S19032-cpt)
abstDomain: A10251 (C-0-T10901-S21573-A10251-cpt)
specDomain: S21463 (C-0-T10901-S21573-A10251-S21463-cpt)
specDomain: S10263 (C-0-T10901-S21573-S10263-cpt)
specDomain: S10248 (C-0-T10901-S21573-S10248-cpt)
specDomain: S10286 (C-0-T10901-S21573-S10286-cpt)
specDomain: S10298 (C-0-T10901-S21573-S10286-S10298-cpt)
specDomain: S10287 (C-0-T10901-S21573-S10286-S10287-cpt)
specDomain: S10302 (C-0-T10901-S21573-S10302-cpt)
specDomain: S10259 (C-0-T10901-S21573-S10259-cpt)
abstDomain: A19600 (C-0-T10901-S21573-A19600-cpt)
abstDomain: A16764 (C-0-T10901-S21573-A16764-cpt)
abstDomain: A19366 (C-0-T10901-S21573-A19366-cpt)
abstDomain: A19080 (C-0-T10901-S21573-A19080-cpt)
abstDomain: A19588 (C-0-T10901-S21573-A19588-cpt)
abstDomain: A19589 (C-0-T10901-S21573-A19589-cpt)
abstDomain: A19083 (C-0-T10901-S21573-A19083-cpt)
abstDomain: A19601 (C-0-T10901-S21573-A19601-cpt)
vocSet: T19265 (C-0-T19265-cpt)
vocSet: T14908 (C-0-T14908-cpt)
vocSet: I15 (C-0-I15-cpt)
vocSet: T295 (C-0-T295-cpt)
specDomain: S10186 (C-0-T295-S10186-cpt)
vocSet: T10637 (C-0-T10637-cpt)
abstDomain: A17860 (C-0-T10637-A17860-cpt)
vocSet: T10747 (C-0-T10747-cpt)
vocSet: T16541 (C-0-T16541-cpt)
vocSet: T103 (C-0-T103-cpt)

vocSet: T207 (C-0-T207-cpt)
vocSet: T19465 (C-0-T19465-cpt)
specDomain: S20669 (C-0-T19465-S20669-cpt)
specDomain: S20096 (C-0-T19465-S20096-cpt)
specDomain: S20097 (C-0-T19465-S20096-S20097-cpt)
specDomain: S20100 (C-0-T19465-S20096-S20100-cpt)
specDomain: S20106 (C-0-T19465-S20096-S20106-cpt)
specDomain: S20112 (C-0-T19465-S20096-S20112-cpt)
specDomain: S20118 (C-0-T19465-S20096-S20118-cpt)
specDomain: S20126 (C-0-T19465-S20096-S20126-cpt)
specDomain: S20149 (C-0-T19465-S20096-S20149-cpt)
specDomain: S20159 (C-0-T19465-S20096-S20159-cpt)
specDomain: S20163 (C-0-T19465-S20096-S20163-cpt)
specDomain: S20172 (C-0-T19465-S20096-S20172-cpt)
specDomain: S20179 (C-0-T19465-S20096-S20179-cpt)
specDomain: S20186 (C-0-T19465-S20096-S20186-cpt)
specDomain: S20189 (C-0-T19465-S20096-S20189-cpt)
specDomain: S20204 (C-0-T19465-S20096-S20204-cpt)
specDomain: S20223 (C-0-T19465-S20096-S20223-cpt)
specDomain: S20228 (C-0-T19465-S20096-S20228-cpt)
specDomain: S20231 (C-0-T19465-S20096-S20231-cpt)
specDomain: S20239 (C-0-T19465-S20096-S20239-cpt)
specDomain: S20253 (C-0-T19465-S20096-S20253-cpt)
specDomain: S20264 (C-0-T19465-S20096-S20264-cpt)
specDomain: S20678 (C-0-T19465-S20678-cpt)
specDomain: S20679 (C-0-T19465-S20678-S20679-cpt)
specDomain: S20275 (C-0-T19465-S20275-cpt)
specDomain: S20276 (C-0-T19465-S20275-S20276-cpt)
specDomain: S20283 (C-0-T19465-S20275-S20283-cpt)
specDomain: S20285 (C-0-T19465-S20275-S20285-cpt)
specDomain: S20305 (C-0-T19465-S20275-S20305-cpt)
specDomain: S20308 (C-0-T19465-S20308-cpt)
specDomain: S20309 (C-0-T19465-S20308-S20309-cpt)
specDomain: S20318 (C-0-T19465-S20318-cpt)
specDomain: S20322 (C-0-T19465-S20318-S20322-cpt)
specDomain: S20334 (C-0-T19465-S20334-cpt)
specDomain: S20337 (C-0-T19465-S20334-S20337-cpt)
specDomain: S20341 (C-0-T19465-S20334-S20341-cpt)
specDomain: S20343 (C-0-T19465-S20343-cpt)
specDomain: S20348 (C-0-T19465-S20348-cpt)
specDomain: S20349 (C-0-T19465-S20348-S20349-cpt)
specDomain: S20356 (C-0-T19465-S20348-S20356-cpt)
specDomain: S20800 (C-0-T19465-S20800-cpt)
specDomain: S20728 (C-0-T19465-S20728-cpt)
specDomain: S20733 (C-0-T19465-S20733-cpt)
specDomain: S20735 (C-0-T19465-S20733-S20735-cpt)
specDomain: S20737 (C-0-T19465-S20733-S20737-cpt)
specDomain: S20741 (C-0-T19465-S20733-S20741-cpt)
specDomain: S20746 (C-0-T19465-S20733-S20746-cpt)
specDomain: S20749 (C-0-T19465-S20749-cpt)
specDomain: S20753 (C-0-T19465-S20753-cpt)
specDomain: S20366 (C-0-T19465-S20366-cpt)
specDomain: S20370 (C-0-T19465-S20366-S20370-cpt)

specDomain: S20425 (C-0-T19465-S20425-cpt)
specDomain: S20432 (C-0-T19465-S20425-S20432-cpt)
specDomain: S20758 (C-0-T19465-S20758-cpt)
specDomain: S20820 (C-0-T19465-S20758-S20820-cpt)
specDomain: S20761 (C-0-T19465-S20758-S20761-cpt)
specDomain: S20765 (C-0-T19465-S20758-S20765-cpt)
specDomain: S20434 (C-0-T19465-S20434-cpt)
specDomain: S20436 (C-0-T19465-S20434-S20436-cpt)
specDomain: S20448 (C-0-T19465-S20434-S20448-cpt)
specDomain: S20453 (C-0-T19465-S20434-S20448-S20453-cpt)
specDomain: S20455 (C-0-T19465-S20455-cpt)
specDomain: S20456 (C-0-T19465-S20455-S20456-cpt)
specDomain: S20463 (C-0-T19465-S20463-cpt)
specDomain: S20465 (C-0-T19465-S20463-S20465-cpt)
specDomain: S20501 (C-0-T19465-S20463-S20501-cpt)
specDomain: S20519 (C-0-T19465-S20463-S20501-S20519-cpt)
specDomain: S20522 (C-0-T19465-S20522-cpt)
specDomain: S20524 (C-0-T19465-S20522-S20524-cpt)
specDomain: S20766 (C-0-T19465-S20766-cpt)
specDomain: S20769 (C-0-T19465-S20766-S20769-cpt)
specDomain: S20532 (C-0-T19465-S20532-cpt)
specDomain: S20538 (C-0-T19465-S20532-S20538-cpt)
specDomain: S20548 (C-0-T19465-S20532-S20548-cpt)
specDomain: S20563 (C-0-T19465-S20532-S20563-cpt)
specDomain: S20567 (C-0-T19465-S20532-S20567-cpt)
specDomain: S20581 (C-0-T19465-S20532-S20581-cpt)
specDomain: S20595 (C-0-T19465-S20532-S20595-cpt)
specDomain: S20770 (C-0-T19465-S20770-cpt)
specDomain: S20771 (C-0-T19465-S20770-S20771-cpt)
specDomain: S20598 (C-0-T19465-S20598-cpt)
specDomain: S20599 (C-0-T19465-S20598-S20599-cpt)
specDomain: S20604 (C-0-T19465-S20598-S20604-cpt)
specDomain: S20772 (C-0-T19465-S20772-cpt)
specDomain: S20774 (C-0-T19465-S20772-S20774-cpt)
specDomain: S20608 (C-0-T19465-S20608-cpt)
specDomain: S20609 (C-0-T19465-S20608-S20609-cpt)
specDomain: S20623 (C-0-T19465-S20608-S20623-cpt)
specDomain: S20627 (C-0-T19465-S20608-S20627-cpt)
specDomain: S20631 (C-0-T19465-S20608-S20631-cpt)
specDomain: S20644 (C-0-T19465-S20608-S20644-cpt)
specDomain: S20657 (C-0-T19465-S20608-S20657-cpt)
specDomain: S20659 (C-0-T19465-S20608-S20659-cpt)
specDomain: S20665 (C-0-T19465-S20608-S20665-cpt)
specDomain: S20788 (C-0-T19465-S20788-cpt)
specDomain: S20789 (C-0-T19465-S20788-S20789-cpt)
vocSet: T19726 (C-0-T19726-cpt)
abstDomain: A19727 (C-0-T19726-A19727-cpt)
vocSet: T91 (C-0-T91-cpt)
vocSet: T126 (C-0-T126-cpt)
vocSet: D51 (C-0-D51-cpt)
vocSet: T208 (C-0-T208-cpt)
vocSet: T18899 (C-0-T18899-cpt)
vocSet: E17 (C-0-E17-cpt)

vocSet: E19 (C-0-E19-cpt)
vocSet: E20 (C-0-E20-cpt)
vocSet: T14914 (C-0-T14914-cpt)
specDomain: S15743 (C-0-T14914-S15743-cpt)
specDomain: S15768 (C-0-T14914-S15768-cpt)
specDomain: S15771 (C-0-T14914-S15768-S15771-cpt)
specDomain: S15787 (C-0-T14914-S15787-cpt)
specDomain: S15808 (C-0-T14914-S15787-S15808-cpt)
specDomain: S15794 (C-0-T14914-S15787-S15794-cpt)
specDomain: S15788 (C-0-T14914-S15787-S15788-cpt)
specDomain: S14915 (C-0-T14914-S14915-cpt)
specDomain: S15470 (C-0-T14914-S14915-S15470-cpt)
specDomain: S15471 (C-0-T14914-S14915-S15470-S15471-cpt)
specDomain: S15472 (C-0-T14914-S14915-S15470-S15471-S15472-cpt)
specDomain: S15543 (C-0-T14914-S14915-S15470-S15471-S15543-cpt)
specDomain: S15544 (C-0-T14914-S14915-S15470-S15471-S15543-S15544-cpt)
specDomain: S15567 (C-0-T14914-S14915-S15470-S15471-S15543-S15567-cpt)
specDomain: S15690 (C-0-T14914-S14915-S15470-S15690-cpt)
specDomain: S15691 (C-0-T14914-S14915-S15470-S15690-S15691-cpt)
specDomain: S16466 (C-0-T14914-S14915-S15470-S15690-S16466-cpt)
specDomain: S15705 (C-0-T14914-S14915-S15470-S15690-S15705-cpt)
specDomain: S15711 (C-0-T14914-S14915-S15470-S15690-S15711-cpt)
specDomain: S15722 (C-0-T14914-S14915-S15470-S15690-S15722-cpt)
specDomain: S15569 (C-0-T14914-S14915-S15470-S15569-cpt)
specDomain: S15571 (C-0-T14914-S14915-S15470-S15569-S15571-cpt)
specDomain: S15617 (C-0-T14914-S14915-S15470-S15569-S15617-cpt)
specDomain: S15621 (C-0-T14914-S14915-S15470-S15569-S15621-cpt)
specDomain: S14916 (C-0-T14914-S14915-S14916-cpt)
specDomain: S14972 (C-0-T14914-S14915-S14916-S14972-cpt)
specDomain: S14919 (C-0-T14914-S14915-S14916-S14919-cpt)
specDomain: S14929 (C-0-T14914-S14915-S14916-S14929-cpt)
specDomain: S14935 (C-0-T14914-S14915-S14916-S14935-cpt)
specDomain: S14941 (C-0-T14914-S14915-S14916-S14941-cpt)
specDomain: S14943 (C-0-T14914-S14915-S14916-S14943-cpt)
specDomain: S14951 (C-0-T14914-S14915-S14916-S14951-cpt)
specDomain: S14975 (C-0-T14914-S14915-S14916-S14975-cpt)
specDomain: S14979 (C-0-T14914-S14915-S14916-S14979-cpt)
specDomain: S14991 (C-0-T14914-S14915-S14916-S14991-cpt)
specDomain: S14995 (C-0-T14914-S14915-S14916-S14995-cpt)
specDomain: S14999 (C-0-T14914-S14915-S14916-S14999-cpt)
specDomain: S15007 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15007-cpt)
specDomain: S15033 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15033-cpt)
specDomain: S15036 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15036-cpt)
specDomain: S15042 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15042-cpt)
specDomain: S15049 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15049-cpt)
specDomain: S15055 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15055-cpt)
specDomain: S15059 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15059-cpt)
specDomain: S15074 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15074-cpt)
specDomain: S15076 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15076-cpt)
specDomain: S15083 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15083-cpt)
specDomain: S15093 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15093-cpt)

specDomain: S15116 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15116-cpt)
specDomain: S15120 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15120-cpt)
specDomain: S15126 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15126-cpt)
specDomain: S15129 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15129-cpt)
specDomain: S15144 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15144-cpt)
specDomain: S15147 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15147-cpt)
specDomain: S15149 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15149-cpt)
specDomain: S15157 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15157-cpt)
specDomain: S15162 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15162-cpt)
specDomain: S15172 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15172-cpt)
specDomain: S15180 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15180-cpt)
specDomain: S15185 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15185-cpt)
specDomain: S15194 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15194-cpt)
specDomain: S15200 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15200-cpt)
specDomain: S15215 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15215-cpt)
specDomain: S15219 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15219-cpt)
specDomain: S15242 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15242-cpt)
specDomain: S15245 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15245-cpt)
specDomain: S15248 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15248-cpt)
specDomain: S15250 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15250-cpt)
specDomain: S15252 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15252-cpt)
specDomain: S15257 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15257-cpt)
specDomain: S15266 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15266-cpt)
specDomain: S15269 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15269-cpt)
specDomain: S15278 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15278-cpt)
specDomain: S15306 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15306-cpt)
specDomain: S15333 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15333-cpt)
specDomain: S15342 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15342-cpt)
specDomain: S15348 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15348-cpt)
specDomain: S15351 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15351-cpt)
specDomain: S15356 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15356-cpt)
specDomain: S15371 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15371-cpt)
specDomain: S15376 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15376-cpt)
specDomain: S15414 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15414-cpt)
specDomain: S15423 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15423-cpt)
specDomain: S15425 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15425-cpt)
specDomain: S15431 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15431-cpt)
specDomain: S15436 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15436-cpt)
specDomain: S15442 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15442-cpt)
specDomain: S15460 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15460-cpt)
specDomain: S15468 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15468-cpt)
specDomain: S14965 (C-0-T14914-S14915-S14916-S14965-cpt)
specDomain: S15447 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15447-cpt)
specDomain: S15451 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15451-cpt)
specDomain: S15455 (C-0-T14914-S14915-S14916-S15455-cpt)
specDomain: S15814 (C-0-T14914-S15814-cpt)
specDomain: S15834 (C-0-T14914-S15814-S15834-cpt)
specDomain: S15815 (C-0-T14914-S15814-S15815-cpt)
specDomain: S15824 (C-0-T14914-S15814-S15824-cpt)
vocSet: D52 (C-0-D52-cpt)
vocSet: D53 (C-0-D53-cpt)
vocSet: T209 (C-0-T209-cpt)
vocSet: T10365 (C-0-T10365-cpt)

vocSet: T19185 (C-0-T19185-cpt)
vocSet: T14761 (C-0-T14761-cpt)
vocSet: T394 (C-0-T394-cpt)
vocSet: T19650 (C-0-T19650-cpt)
vocSet: T11555 (C-0-T11555-cpt)
specDomain: S13940 (C-0-T11555-S13940-cpt)
abstDomain: A19313 (C-0-T11555-S13940-A19313-cpt)
abstDomain: A19316 (C-0-T11555-S13940-A19313-A19316-cpt)
abstDomain: A10416 (C-0-T11555-S13940-A19313-A19316-A10416-cpt)
specDomain: S14006 (C-0-T11555-S13940-A19313-A19316-A10416-S14006-cpt)
specDomain: S11595 (C-0-T11555-S13940-A19313-A19316-A10416-S14006-S11595-cpt)
specDomain: S12205 (C-0-T11555-S13940-A19313-A19316-A10416-S14006-S11595-S12205-cpt)
specDomain: S11569 (C-0-T11555-S13940-A19313-A19316-A10416-S11569-cpt)
specDomain: S21464 (C-0-T11555-S13940-A19313-A19316-A10416-S21464-cpt)
abstDomain: A19105 (C-0-T11555-S13940-A19313-A19105-cpt)
specDomain: S10418 (C-0-T11555-S13940-A19313-A19105-S10418-cpt)
specDomain: S11580 (C-0-T11555-S13940-A19313-A19105-S11580-cpt)
specDomain: S16927 (C-0-T11555-S13940-A19313-A19105-S16927-cpt)
abstDomain: A10428 (C-0-T11555-S13940-A10428-cpt)
specDomain: S10441 (C-0-T11555-S13940-A10428-S10441-cpt)
abstDomain: A10429 (C-0-T11555-S13940-A10429-cpt)
specDomain: S10430 (C-0-T11555-S13940-A10429-S10430-cpt)
specDomain: S19089 (C-0-T11555-S13940-A10429-S10430-S19089-cpt)
specDomain: S16815 (C-0-T11555-S13940-A10429-S16815-cpt)
specDomain: S11591 (C-0-T11555-S13940-A10429-S11591-cpt)
abstDomain: A19352 (C-0-T11555-S13940-A19352-cpt)
abstDomain: A19367 (C-0-T11555-S13940-A19367-cpt)
abstDomain: A19368 (C-0-T11555-S13940-A19368-cpt)
abstDomain: A16772 (C-0-T11555-S13940-A16772-cpt)
abstDomain: A19382 (C-0-T11555-S13940-A19382-cpt)
abstDomain: A14008 (C-0-T11555-S13940-A14008-cpt)
abstDomain: A14013 (C-0-T11555-S13940-A14013-cpt)
abstDomain: A16930 (C-0-T11555-S13940-A16930-cpt)
specDomain: S16773 (C-0-T11555-S13940-A16930-S16773-cpt)
abstDomain: A19395 (C-0-T11555-S13940-A19395-cpt)
vocSet: T12206 (C-0-T12206-cpt)
abstDomain: A19678 (C-0-T12206-A19678-cpt)
abstDomain: A19690 (C-0-T12206-A19690-cpt)
abstDomain: A19679 (C-0-T12206-A19679-cpt)
abstDomain: A19748 (C-0-T12206-A19679-A19748-cpt)
abstDomain: A16501 (C-0-T12206-A16501-cpt)
abstDomain: A19680 (C-0-T12206-A19680-cpt)
abstDomain: A15920 (C-0-T12206-A15920-cpt)
abstDomain: A17622 (C-0-T12206-A15920-A17622-cpt)
abstDomain: A18877 (C-0-T12206-A18877-cpt)
specDomain: S21318 (C-0-T12206-A18877-S21318-cpt)
abstDomain: A19637 (C-0-T12206-A19637-cpt)
abstDomain: A19681 (C-0-T12206-A19681-cpt)

abstDomain: A19682 (C-0-T12206-A19682-cpt)
abstDomain: A19683 (C-0-T12206-A19683-cpt)
abstDomain: A16368 (C-0-T12206-A16368-cpt)
abstDomain: A19720 (C-0-T12206-A19720-cpt)
abstDomain: A15925 (C-0-T12206-A15925-cpt)
abstDomain: A19263 (C-0-T12206-A19263-cpt)
abstDomain: A19684 (C-0-T12206-A19684-cpt)
abstDomain: A19563 (C-0-T12206-A19563-cpt)
specDomain: S16360 (C-0-T12206-A19563-S17926-S16360-cpt)
specDomain: S11564 (C-0-T12206-A19563-S17926-S16360-S11564-cpt)
specDomain: S11563 (C-0-T12206-A19563-S17926-S16360-S11563-cpt)
specDomain: S11565 (C-0-T12206-A19563-S17926-S16360-S11565-cpt)
specDomain: S17930 (C-0-T12206-A19563-S17926-S16360-S17930-cpt)
specDomain: S11562 (C-0-T12206-A19563-S17926-S16360-S11562-cpt)
specDomain: S19742 (C-0-T12206-A19563-S17926-S19742-cpt)
specDomain: S19745 (C-0-T12206-A19563-S17926-S19745-cpt)
specDomain: S16349 (C-0-T12206-A19563-S17926-S16349-cpt)
specDomain: S19739 (C-0-T12206-A19563-S17926-S19739-cpt)
specDomain: S19750 (C-0-T12206-A19563-S17926-S19750-cpt)
specDomain: S16346 (C-0-T12206-A19563-S17926-S16346-cpt)
specDomain: S19765 (C-0-T12206-A19563-S17926-S16346-S19764-S19765-cpt)
specDomain: S19770 (C-0-T12206-A19563-S17926-S16346-S19770-cpt)
specDomain: S19767 (C-0-T12206-A19563-S17926-S16346-S19767-cpt)
specDomain: S11567 (C-0-T12206-A19563-S17926-S11567-cpt)
specDomain: S19776 (C-0-T12206-A19563-S17926-S11567-S19776-cpt)
specDomain: S19773 (C-0-T12206-A19563-S17926-S11567-S19773-cpt)
specDomain: S19782 (C-0-T12206-A19563-S17926-S11567-S19782-cpt)
specDomain: S19779 (C-0-T12206-A19563-S17926-S11567-S19779-cpt)
specDomain: S19755 (C-0-T12206-A19563-S17926-S19755-cpt)
specDomain: S19742 (C-0-T12206-A19563-S17926-S19755-S19742-cpt)
abstDomain: A19685 (C-0-T12206-A19685-cpt)
abstDomain: A19417 (C-0-T12206-A19417-cpt)
abstDomain: A17660 (C-0-T12206-A17660-cpt)
abstDomain: A19450 (C-0-T12206-A17660-A19450-cpt)
abstDomain: A10588 (C-0-T12206-A17660-A19450-A10588-cpt)
specDomain: S10902 (C-0-T12206-A17660-A19450-A10588-S10902-cpt)
specDomain: S10903 (C-0-T12206-A17660-A19450-A10588-S10902-S10903-cpt)
specDomain: S10906 (C-0-T12206-A17660-A19450-A10588-S10902-S10906-cpt)
specDomain: S10908 (C-0-T12206-A17660-A19450-A10588-S10902-S10908-cpt)
specDomain: S10602 (C-0-T12206-A17660-A19450-A10588-S10602-cpt)
specDomain: S13792 (C-0-T12206-A17660-A19450-A10588-S10602-S13792-cpt)
specDomain: S13798 (C-0-T12206-A17660-A19450-A10588-S10602-S10603-S13798-cpt)
specDomain: S13799 (C-0-T12206-A17660-A19450-A10588-S10602-S13799-cpt)
specDomain: S10604 (C-0-T12206-A17660-A19450-A10588-S10602-S10604-cpt)
specDomain: S10596 (C-0-T12206-A17660-A19450-A10588-S10596-cpt)

specDomain: S10598 (C-0-T12206-A17660-A19450-A10588-S10596-S10598-cpt)
specDomain: S10599 (C-0-T12206-A17660-A19450-A10588-S10596-S10599-cpt)
specDomain: S10920 (C-0-T12206-A17660-A19450-A10588-S10596-S10920-cpt)
specDomain: S10916 (C-0-T12206-A17660-A19450-A10588-S10596-S10920-S10916-cpt)
specDomain: S10605 (C-0-T12206-A17660-A19450-A10588-S10605-cpt)
specDomain: S10589 (C-0-T12206-A17660-A19450-A10588-S10589-cpt)
specDomain: S10590 (C-0-T12206-A17660-A19450-A10588-S10589-S10590-cpt)
specDomain: S10931 (C-0-T12206-A17660-A19450-A10588-S10589-S10931-cpt)
specDomain: S10934 (C-0-T12206-A17660-A19450-A10588-S10589-S10934-cpt)
specDomain: S10936 (C-0-T12206-A17660-A19450-A10588-S10589-S10936-cpt)
specDomain: S10939 (C-0-T12206-A17660-A19450-A10588-S10589-S10939-cpt)
specDomain: S10947 (C-0-T12206-A17660-A19450-A10588-S10589-S10947-cpt)
specDomain: S10943 (C-0-T12206-A17660-A19450-A10588-S10589-S10943-cpt)
specDomain: S10949 (C-0-T12206-A17660-A19450-A10588-S10589-S10949-cpt)
specDomain: S10953 (C-0-T12206-A17660-A19450-A10588-S10589-S10953-cpt)
specDomain: S10593 (C-0-T12206-A17660-A19450-A10588-S10589-S10593-cpt)
specDomain: S10968 (C-0-T12206-A17660-A19450-A10588-S10589-S10968-cpt)
specDomain: S10607 (C-0-T12206-A17660-A19450-A10588-S10607-cpt)
abstDomain: A19452 (C-0-T12206-A17660-A19450-A19452-cpt)
specDomain: S18100 (C-0-T12206-A17660-A19450-A19452-S18100-cpt)
abstDomain: A19451 (C-0-T12206-A17660-A19451-cpt)
abstDomain: A16515 (C-0-T12206-A16515-cpt)
specDomain: S16521 (C-0-T12206-A16515-S16521-cpt)
abstDomain: A19381 (C-0-T12206-A19381-cpt)
abstDomain: A18105 (C-0-T12206-A18105-cpt)
vocSet: T11603 (C-0-T11603-cpt)
specDomain: S21429 (C-0-T11603-S21429-cpt)
vocSet: T15999 (C-0-T15999-cpt)
specDomain: S16000 (C-0-T15999-S16000-cpt)
vocSet: T14581 (C-0-T14581-cpt)
abstDomain: A16931 (C-0-T14581-A16931-cpt)
abstDomain: A14582 (C-0-T14581-A16931-A14582-cpt)
abstDomain: A14584 (C-0-T14581-A16931-A14584-cpt)
abstDomain: A14586 (C-0-T14581-A16931-A14586-cpt)
abstDomain: A14589 (C-0-T14581-A16931-A14589-cpt)
abstDomain: A17019 (C-0-T14581-A16931-A17019-cpt)
abstDomain: A14591 (C-0-T14581-A16931-A14591-cpt)
abstDomain: A14594 (C-0-T14581-A16931-A14594-cpt)

abstDomain: A14598 (C-0-T14581-A16931-A14598-cpt)
abstDomain: A16935 (C-0-T14581-A16931-A16935-cpt)
abstDomain: A14602 (C-0-T14581-A16931-A14602-cpt)
specDomain: S14609 (C-0-T14581-A16931-A14602-S14609-cpt)
abstDomain: A14615 (C-0-T14581-A16931-A14615-cpt)
specDomain: S14619 (C-0-T14581-A16931-A14615-S14619-cpt)
abstDomain: A14628 (C-0-T14581-A16931-A14628-cpt)
abstDomain: A14687 (C-0-T14581-A16931-A14687-cpt)
abstDomain: A14696 (C-0-T14581-A16931-A14696-cpt)
abstDomain: A16990 (C-0-T14581-A16931-A16990-cpt)
abstDomain: A14721 (C-0-T14581-A16931-A14721-cpt)
abstDomain: A16995 (C-0-T14581-A16931-A16995-cpt)
abstDomain: A16997 (C-0-T14581-A16931-A16997-cpt)
abstDomain: A14728 (C-0-T14581-A16931-A14728-cpt)
abstDomain: A14730 (C-0-T14581-A16931-A14730-cpt)
abstDomain: A17003 (C-0-T14581-A16931-A17003-cpt)
abstDomain: A14736 (C-0-T14581-A16931-A14736-cpt)
abstDomain: A17006 (C-0-T14581-A16931-A17006-cpt)
abstDomain: A14739 (C-0-T14581-A16931-A14739-cpt)
abstDomain: A17021 (C-0-T14581-A17021-cpt)
abstDomain: A17022 (C-0-T14581-A17021-A17022-cpt)
abstDomain: A17024 (C-0-T14581-A17021-A17024-cpt)
abstDomain: A17027 (C-0-T14581-A17021-A17027-cpt)
abstDomain: A17034 (C-0-T14581-A17021-A17034-cpt)
abstDomain: A17036 (C-0-T14581-A17021-A17036-cpt)
abstDomain: A17038 (C-0-T14581-A17021-A17038-cpt)
abstDomain: A17042 (C-0-T14581-A17021-A17042-cpt)
abstDomain: A17045 (C-0-T14581-A17021-A17045-cpt)
abstDomain: A17048 (C-0-T14581-A17021-A17048-cpt)
abstDomain: A17051 (C-0-T14581-A17021-A17051-cpt)
abstDomain: A17059 (C-0-T14581-A17021-A17059-cpt)
abstDomain: A17056 (C-0-T14581-A17021-A17056-cpt)
abstDomain: A17061 (C-0-T14581-A17021-A17061-cpt)
abstDomain: A17066 (C-0-T14581-A17021-A17066-cpt)
abstDomain: A17068 (C-0-T14581-A17021-A17068-cpt)
abstDomain: A17071 (C-0-T14581-A17021-A17071-cpt)
abstDomain: A17074 (C-0-T14581-A17021-A17074-cpt)
abstDomain: A17076 (C-0-T14581-A17021-A17076-cpt)
abstDomain: A17078 (C-0-T14581-A17021-A17078-cpt)
abstDomain: A17080 (C-0-T14581-A17021-A17080-cpt)
specDomain: S14639 (C-0-T14581-A17021-A17080-S14639-cpt)
abstDomain: A17085 (C-0-T14581-A17021-A17085-cpt)
abstDomain: A17087 (C-0-T14581-A17021-A17087-cpt)
abstDomain: A17089 (C-0-T14581-A17021-A17089-cpt)
abstDomain: A17091 (C-0-T14581-A17021-A17091-cpt)
specDomain: S14644 (C-0-T14581-A17021-A17091-S14644-cpt)
abstDomain: A17097 (C-0-T14581-A17021-A17097-cpt)
abstDomain: A17099 (C-0-T14581-A17021-A17099-cpt)
abstDomain: A17101 (C-0-T14581-A17021-A17101-cpt)
abstDomain: A17103 (C-0-T14581-A17021-A17103-cpt)
abstDomain: A17105 (C-0-T14581-A17021-A17105-cpt)
abstDomain: A17107 (C-0-T14581-A17021-A17107-cpt)
abstDomain: A17109 (C-0-T14581-A17021-A17109-cpt)

abstDomain: A17111 (C-0-T14581-A17021-A17111-cpt)
abstDomain: A17113 (C-0-T14581-A17021-A17113-cpt)
abstDomain: A17115 (C-0-T14581-A17021-A17115-cpt)
specDomain: S14650 (C-0-T14581-A17021-A17115-S14650-cpt)
abstDomain: A17119 (C-0-T14581-A17021-A17119-cpt)
abstDomain: A17123 (C-0-T14581-A17021-A17123-cpt)
abstDomain: A17126 (C-0-T14581-A17021-A17126-cpt)
abstDomain: A17128 (C-0-T14581-A17021-A17128-cpt)
abstDomain: A17130 (C-0-T14581-A17021-A17130-cpt)
abstDomain: A17133 (C-0-T14581-A17021-A17133-cpt)
abstDomain: A17135 (C-0-T14581-A17021-A17135-cpt)
abstDomain: A17137 (C-0-T14581-A17021-A17137-cpt)
abstDomain: A17139 (C-0-T14581-A17021-A17139-cpt)
abstDomain: A17142 (C-0-T14581-A17021-A17142-cpt)
abstDomain: A17146 (C-0-T14581-A17021-A17146-cpt)
abstDomain: A17149 (C-0-T14581-A17021-A17149-cpt)
abstDomain: A17153 (C-0-T14581-A17021-A17153-cpt)
abstDomain: A17156 (C-0-T14581-A17021-A17156-cpt)
abstDomain: A17158 (C-0-T14581-A17021-A17158-cpt)
abstDomain: A17160 (C-0-T14581-A17021-A17160-cpt)
specDomain: S14657 (C-0-T14581-A17021-A17160-S14657-cpt)
abstDomain: A17164 (C-0-T14581-A17021-A17164-cpt)
abstDomain: A17170 (C-0-T14581-A17021-A17170-cpt)
abstDomain: A17173 (C-0-T14581-A17021-A17173-cpt)
abstDomain: A17175 (C-0-T14581-A17021-A17175-cpt)
abstDomain: A17177 (C-0-T14581-A17021-A17177-cpt)
abstDomain: A17182 (C-0-T14581-A17021-A17182-cpt)
abstDomain: A17185 (C-0-T14581-A17021-A17185-cpt)
abstDomain: A17187 (C-0-T14581-A17021-A17187-cpt)
abstDomain: A17190 (C-0-T14581-A17021-A17190-cpt)
abstDomain: A17192 (C-0-T14581-A17021-A17192-cpt)
abstDomain: A17194 (C-0-T14581-A17021-A17194-cpt)
abstDomain: A17196 (C-0-T14581-A17021-A17196-cpt)
abstDomain: A17121 (C-0-T14581-A17021-A17121-cpt)
abstDomain: A17198 (C-0-T14581-A17021-A17198-cpt)
abstDomain: A17200 (C-0-T14581-A17021-A17200-cpt)
abstDomain: A17203 (C-0-T14581-A17021-A17203-cpt)
abstDomain: A17205 (C-0-T14581-A17021-A17205-cpt)
abstDomain: A17208 (C-0-T14581-A17021-A17208-cpt)
abstDomain: A17210 (C-0-T14581-A17021-A17210-cpt)
abstDomain: A17212 (C-0-T14581-A17021-A17212-cpt)
abstDomain: A17214 (C-0-T14581-A17021-A17214-cpt)
abstDomain: A17219 (C-0-T14581-A17021-A17219-cpt)
abstDomain: A17224 (C-0-T14581-A17021-A17224-cpt)
specDomain: S14670 (C-0-T14581-A17021-A17224-S14670-cpt)
abstDomain: A17235 (C-0-T14581-A17021-A17235-cpt)
abstDomain: A17237 (C-0-T14581-A17021-A17237-cpt)
abstDomain: A17239 (C-0-T14581-A17021-A17239-cpt)
abstDomain: A17241 (C-0-T14581-A17021-A17241-cpt)
abstDomain: A17245 (C-0-T14581-A17021-A17245-cpt)
abstDomain: A17247 (C-0-T14581-A17021-A17247-cpt)
abstDomain: A17250 (C-0-T14581-A17021-A17250-cpt)
abstDomain: A17252 (C-0-T14581-A17021-A17252-cpt)

abstDomain: A17254 (C-0-T14581-A17021-A17254-cpt)
abstDomain: A17256 (C-0-T14581-A17021-A17256-cpt)
specDomain: S14617 (C-0-T14581-A17021-A17256-S14617-cpt)
abstDomain: A17264 (C-0-T14581-A17021-A17264-cpt)
abstDomain: A17266 (C-0-T14581-A17021-A17266-cpt)
abstDomain: A17276 (C-0-T14581-A17021-A17276-cpt)
abstDomain: A17282 (C-0-T14581-A17021-A17282-cpt)
abstDomain: A17284 (C-0-T14581-A17021-A17284-cpt)
abstDomain: A17286 (C-0-T14581-A17021-A17286-cpt)
abstDomain: A17289 (C-0-T14581-A17021-A17289-cpt)
abstDomain: A17291 (C-0-T14581-A17021-A17291-cpt)
abstDomain: A17293 (C-0-T14581-A17021-A17293-cpt)
abstDomain: A17298 (C-0-T14581-A17021-A17298-cpt)
abstDomain: A17300 (C-0-T14581-A17021-A17300-cpt)
abstDomain: A17302 (C-0-T14581-A17021-A17302-cpt)
abstDomain: A17295 (C-0-T14581-A17021-A17295-cpt)
abstDomain: A17304 (C-0-T14581-A17021-A17304-cpt)
abstDomain: A17311 (C-0-T14581-A17021-A17311-cpt)
specDomain: S14715 (C-0-T14581-A17021-A17311-S14715-cpt)
abstDomain: A17319 (C-0-T14581-A17021-A17319-cpt)
specDomain: S14622 (C-0-T14581-A17021-A17319-S14622-cpt)
abstDomain: A17321 (C-0-T14581-A17021-A17321-cpt)
abstDomain: A17323 (C-0-T14581-A17021-A17323-cpt)
abstDomain: A17325 (C-0-T14581-A17021-A17325-cpt)
abstDomain: A17328 (C-0-T14581-A17021-A17328-cpt)
abstDomain: A17331 (C-0-T14581-A17021-A17331-cpt)
abstDomain: A17334 (C-0-T14581-A17021-A17334-cpt)
abstDomain: A17336 (C-0-T14581-A17021-A17336-cpt)
abstDomain: A17339 (C-0-T14581-A17021-A17339-cpt)
abstDomain: A17345 (C-0-T14581-A17021-A17345-cpt)
abstDomain: A17347 (C-0-T14581-A17021-A17347-cpt)
abstDomain: A17349 (C-0-T14581-A17021-A17349-cpt)
abstDomain: A17352 (C-0-T14581-A17021-A17352-cpt)
abstDomain: A17356 (C-0-T14581-A17021-A17356-cpt)
abstDomain: A17357 (C-0-T14581-A17021-A17357-cpt)
abstDomain: A17359 (C-0-T14581-A17021-A17359-cpt)
abstDomain: A17361 (C-0-T14581-A17021-A17361-cpt)
abstDomain: A17363 (C-0-T14581-A17021-A17363-cpt)
abstDomain: A17366 (C-0-T14581-A17021-A17366-cpt)
abstDomain: A17368 (C-0-T14581-A17021-A17368-cpt)
abstDomain: A17373 (C-0-T14581-A17021-A17373-cpt)
specDomain: S14725 (C-0-T14581-A17021-A17373-S14725-cpt)
abstDomain: A17378 (C-0-T14581-A17021-A17378-cpt)
abstDomain: A17380 (C-0-T14581-A17021-A17380-cpt)
abstDomain: A17384 (C-0-T14581-A17021-A17384-cpt)
vocSet: D56 (C-0-D56-cpt)
vocSet: T390 (C-0-T390-cpt)
vocSet: T17416 (C-0-T17416-cpt)
vocSet: D54 (C-0-D54-cpt)
vocSet: D55 (C-0-D55-cpt)
vocSet: T19602 (C-0-T19602-cpt)
abstDomain: A19603 (C-0-T19602-A19603-cpt)
abstDomain: A19605 (C-0-T19602-A19605-cpt)

abstDomain: A19606 (C-0-T19602-A19605-A19606-cpt)
abstDomain: A19607 (C-0-T19602-A19605-A19607-cpt)
abstDomain: A19604 (C-0-T19602-A19604-cpt)
vocSet: T17719 (C-0-T17719-cpt)
abstDomain: A17720 (C-0-T17719-A17720-cpt)
abstDomain: A19740 (C-0-T17719-A19740-cpt)
vocSet: T10981 (C-0-T10981-cpt)
vocSet: T11012 (C-0-T11012-cpt)
vocSet: T10987 (C-0-T10987-cpt)
vocSet: T10992 (C-0-T10992-cpt)
vocSet: T11002 (C-0-T11002-cpt)
vocSet: T10310 (C-0-T10310-cpt)
vocSet: T201 (C-0-T201-cpt)
abstDomain: A190 (C-0-T201-A190-cpt)
specDomain: S10628 (C-0-T201-A190-S10628-cpt)
specDomain: S10631 (C-0-T201-A190-S10631-cpt)
vocSet: T10706 (C-0-T10706-cpt)
vocSet: T11631 (C-0-T11631-cpt)
abstDomain: A11969 (C-0-T11631-A11969-cpt)
abstDomain: A12548 (C-0-T11631-A12548-cpt)
vocSet: T14866 (C-0-T14866-cpt)
abstDomain: A19741 (C-0-T14866-A19741-cpt)
abstDomain: A19742 (C-0-T14866-A19742-cpt)
vocSet: T12549 (C-0-T12549-cpt)
abstDomain: A12550 (C-0-T12549-A12550-cpt)
abstDomain: A12558 (C-0-T12549-A12558-cpt)
abstDomain: A12814 (C-0-T12549-A12814-cpt)
vocSet: T12839 (C-0-T12839-cpt)
abstDomain: A12840 (C-0-T12839-A12840-cpt)
abstDomain: A12848 (C-0-T12839-A12848-cpt)
abstDomain: A13104 (C-0-T12839-A13104-cpt)
vocSet: T227 (C-0-T227-cpt)
vocSet: T228 (C-0-T228-cpt)
vocSet: T11037 (C-0-T11037-cpt)
vocSet: T19362 (C-0-T19362-cpt)
vocSet: T19360-1 (C-0-T19360-1-cpt)
vocSet: D57 (C-0-D57-cpt)
vocSet: T11046 (C-0-T11046-cpt)
abstDomain: A11047 (C-0-T11046-A11047-cpt)
abstDomain: A11050 (C-0-T11046-A11050-cpt)

</xs:schema>

```

<?xml version="1.0" encoding="ASCII"?>
<!-- $Id: NarrativeBlock.xsd,v 1.1 2006/05/23 23:03:14 wbeeler Exp $ -->
<xs:schema elementFormDefault="qualified" targetNamespace="urn:hl7-org:v3" xmlns="urn:hl7-
org:v3" xmlns:xs="http://www.w3.org/2001/XMLSchema">
- <xs:complexType mixed="true" name="StrucDoc.Text">
- <xs:choice maxOccurs="unbounded" minOccurs="0">
  <xs:element name="content" type="StrucDoc.Content"/>
  <xs:element name="linkHtml" type="StrucDoc.LinkHtml"/>
  <xs:element name="sub" type="StrucDoc.Sub"/>
  <xs:element name="sup" type="StrucDoc.Sup"/>
  <xs:element name="br" type="StrucDoc.Br"/>
  <xs:element name="footnote" type="StrucDoc.Footnote"/>
  <xs:element name="footnoteRef" type="StrucDoc.FootnoteRef"/>
  <xs:element name="renderMultiMedia" type="StrucDoc.RenderMultiMedia"/>
  <xs:element name="paragraph" type="StrucDoc.Paragraph"/>
  <xs:element name="list" type="StrucDoc.List"/>
  <xs:element name="table" type="StrucDoc.Table"/>
</xs:choice>
  <xs:attribute name="ID" type="xs:ID"/>
  <xs:attribute name="language" type="xs:NMTOKEN"/>
  <xs:attribute name="styleCode" type="xs:NMTOKENS"/>
  <xs:attribute name="mediaType" type="xs:string" fixed="text/x-hl7-text+xml"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType mixed="true" name="StrucDoc.Title">
- <xs:choice maxOccurs="unbounded" minOccurs="0">
  <xs:element name="content" type="StrucDoc.TitleContent"/>
  <xs:element name="sub" type="StrucDoc.Sub"/>
  <xs:element name="sup" type="StrucDoc.Sup"/>
  <xs:element name="br" type="StrucDoc.Br"/>
  <xs:element name="footnote" type="StrucDoc.TitleFootnote"/>
  <xs:element name="footnoteRef" type="StrucDoc.FootnoteRef"/>
</xs:choice>
  <xs:attribute name="ID" type="xs:ID"/>
  <xs:attribute name="language" type="xs:NMTOKEN"/>
  <xs:attribute name="styleCode" type="xs:NMTOKENS"/>
  <xs:attribute name="mediaType" type="xs:string" fixed="text/x-hl7-title+xml"/>
</xs:complexType>
  <!-- DELETE THIS, we don't need to define a global element for text <xs:element
name="text" type="text"/> -->
  <xs:complexType name="StrucDoc.Br"/>
- <xs:complexType mixed="true" name="StrucDoc.Caption">
- <xs:choice maxOccurs="unbounded" minOccurs="0">
  <xs:element name="linkHtml" type="StrucDoc.LinkHtml"/>
  <xs:element name="sub" type="StrucDoc.Sub"/>
  <xs:element name="sup" type="StrucDoc.Sup"/>
  <xs:element name="footnote" type="StrucDoc.Footnote"/>
  <xs:element name="footnoteRef" type="StrucDoc.FootnoteRef"/>
</xs:choice>
  <xs:attribute name="ID" type="xs:ID"/>
  <xs:attribute name="language" type="xs:NMTOKEN"/>
  <xs:attribute name="styleCode" type="xs:NMTOKENS"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="StrucDoc.Col">

```

```

<xs:attribute name="ID" type="xs:ID"/>
<xs:attribute name="language" type="xs:NMTOKEN"/>
<xs:attribute name="styleCode" type="xs:NMTOKENS"/>
<xs:attribute name="span" type="xs:string" default="1"/>
<xs:attribute name="width" type="xs:string"/>
- <xs:attribute name="align">
  - <xs:simpleType>
    - <xs:restriction base="xs:NMTOKEN">
      <xs:enumeration value="left"/>
      <xs:enumeration value="center"/>
      <xs:enumeration value="right"/>
      <xs:enumeration value="justify"/>
      <xs:enumeration value="char"/>
    </xs:restriction>
  </xs:simpleType>
</xs:attribute>
<xs:attribute name="char" type="xs:string"/>
<xs:attribute name="charoff" type="xs:string"/>
- <xs:attribute name="valign">
  - <xs:simpleType>
    - <xs:restriction base="xs:NMTOKEN">
      <xs:enumeration value="top"/>
      <xs:enumeration value="middle"/>
      <xs:enumeration value="bottom"/>
      <xs:enumeration value="baseline"/>
    </xs:restriction>
  </xs:simpleType>
</xs:attribute>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="StrucDoc.Colgroup">
  - <xs:sequence maxOccurs="unbounded" minOccurs="0">
    <xs:element name="col" type="StrucDoc.Col"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute name="ID" type="xs:ID"/>
  <xs:attribute name="language" type="xs:NMTOKEN"/>
  <xs:attribute name="styleCode" type="xs:NMTOKENS"/>
  <xs:attribute name="span" type="xs:string" default="1"/>
  <xs:attribute name="width" type="xs:string"/>
  - <xs:attribute name="align">
    - <xs:simpleType>
      - <xs:restriction base="xs:NMTOKEN">
        <xs:enumeration value="left"/>
        <xs:enumeration value="center"/>
        <xs:enumeration value="right"/>
        <xs:enumeration value="justify"/>
        <xs:enumeration value="char"/>
      </xs:restriction>
    </xs:simpleType>
  </xs:attribute>
  <xs:attribute name="char" type="xs:string"/>
  <xs:attribute name="charoff" type="xs:string"/>
  - <xs:attribute name="valign">
    - <xs:simpleType>

```

```

- <xs:restriction base="xs:NMTOKEN">
  <xs:enumeration value="top"/>
  <xs:enumeration value="middle"/>
  <xs:enumeration value="bottom"/>
  <xs:enumeration value="baseline"/>
</xs:restriction>
</xs:simpleType>
</xs:attribute>
</xs:complexType>
- <xs:complexType mixed="true" name="StrucDoc.Content">
  - <xs:choice maxOccurs="unbounded" minOccurs="0">
    <xs:element name="content" type="StrucDoc.Content"/>
    <xs:element name="linkHtml" type="StrucDoc.LinkHtml"/>
    <xs:element name="sub" type="StrucDoc.Sub"/>
    <xs:element name="sup" type="StrucDoc.Sup"/>
    <xs:element name="br" type="StrucDoc.Br"/>
    <xs:element name="footnote" type="StrucDoc.Footnote"/>
    <xs:element name="footnoteRef" type="StrucDoc.FootnoteRef"/>
    <xs:element name="renderMultiMedia" type="StrucDoc.RenderMultiMedia"/>
  </xs:choice>
  <xs:attribute name="ID" type="xs:ID"/>
  <xs:attribute name="language" type="xs:NMTOKEN"/>
  <xs:attribute name="styleCode" type="xs:NMTOKENS"/>
  - <xs:attribute name="revised">
    - <xs:simpleType>
      - <xs:restriction base="xs:NMTOKEN">
        <xs:enumeration value="insert"/>
        <xs:enumeration value="delete"/>
      </xs:restriction>
    </xs:simpleType>
  </xs:attribute>
</xs:complexType>
- <xs:complexType mixed="true" name="StrucDoc.TitleContent">
  - <xs:choice maxOccurs="unbounded" minOccurs="0">
    <xs:element name="content" type="StrucDoc.TitleContent"/>
    <xs:element name="sub" type="StrucDoc.Sub"/>
    <xs:element name="sup" type="StrucDoc.Sup"/>
    <xs:element name="br" type="StrucDoc.Br"/>
    <xs:element name="footnote" type="StrucDoc.TitleFootnote"/>
    <xs:element name="footnoteRef" type="StrucDoc.FootnoteRef"/>
  </xs:choice>
  <xs:attribute name="ID" type="xs:ID"/>
  <xs:attribute name="language" type="xs:NMTOKEN"/>
  <xs:attribute name="styleCode" type="xs:NMTOKENS"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType mixed="true" name="StrucDoc.Footnote">
  - <xs:choice maxOccurs="unbounded" minOccurs="0">
    <xs:element name="content" type="StrucDoc.Content"/>
    <xs:element name="linkHtml" type="StrucDoc.LinkHtml"/>
    <xs:element name="sub" type="StrucDoc.Sub"/>
    <xs:element name="sup" type="StrucDoc.Sup"/>
    <xs:element name="br" type="StrucDoc.Br"/>
    <xs:element name="renderMultiMedia" type="StrucDoc.RenderMultiMedia"/>
  </xs:choice>

```

```

    <xs:element name="paragraph" type="StrucDoc.Paragraph"/>
    <xs:element name="list" type="StrucDoc.List"/>
    <xs:element name="table" type="StrucDoc.Table"/>
  </xs:choice>
  <xs:attribute name="ID" type="xs:ID"/>
  <xs:attribute name="language" type="xs:NMTOKEN"/>
  <xs:attribute name="styleCode" type="xs:NMTOKENS"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType mixed="true" name="StrucDoc.TitleFootnote">
  - <xs:choice maxOccurs="unbounded" minOccurs="0">
    <xs:element name="content" type="StrucDoc.TitleContent"/>
    <xs:element name="sub" type="StrucDoc.Sub"/>
    <xs:element name="sup" type="StrucDoc.Sup"/>
    <xs:element name="br" type="StrucDoc.Br"/>
  </xs:choice>
  <xs:attribute name="ID" type="xs:ID"/>
  <xs:attribute name="language" type="xs:NMTOKEN"/>
  <xs:attribute name="styleCode" type="xs:NMTOKENS"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="StrucDoc.FootnoteRef">
  <xs:attribute name="ID" type="xs:ID"/>
  <xs:attribute name="language" type="xs:NMTOKEN"/>
  <xs:attribute name="styleCode" type="xs:NMTOKENS"/>
  <xs:attribute name="IDREF" type="xs:IDREF" use="required"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType mixed="true" name="StrucDoc.Item">
  - <xs:sequence>
    <xs:element name="caption" minOccurs="0" type="StrucDoc.Caption"/>
    - <xs:choice maxOccurs="unbounded" minOccurs="0">
      <xs:element name="content" type="StrucDoc.Content"/>
      <xs:element name="linkHtml" type="StrucDoc.LinkHtml"/>
      <xs:element name="sub" type="StrucDoc.Sub"/>
      <xs:element name="sup" type="StrucDoc.Sup"/>
      <xs:element name="br" type="StrucDoc.Br"/>
      <xs:element name="footnote" type="StrucDoc.Footnote"/>
      <xs:element name="footnoteRef" type="StrucDoc.FootnoteRef"/>
      <xs:element name="renderMultiMedia"
        type="StrucDoc.RenderMultiMedia"/>
      <xs:element name="paragraph" type="StrucDoc.Paragraph"/>
      <xs:element name="list" type="StrucDoc.List"/>
      <xs:element name="table" type="StrucDoc.Table"/>
    </xs:choice>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute name="ID" type="xs:ID"/>
  <xs:attribute name="language" type="xs:NMTOKEN"/>
  <xs:attribute name="styleCode" type="xs:NMTOKENS"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType mixed="true" name="StrucDoc.LinkHtml">
  - <xs:choice maxOccurs="unbounded" minOccurs="0">
    <xs:element name="footnote" type="StrucDoc.Footnote"/>
    <xs:element name="footnoteRef" type="StrucDoc.FootnoteRef"/>
  </xs:choice>
  <xs:attribute name="name" type="xs:string"/>

```

```

    <xs:attribute name="href" type="xs:string"/>
    <xs:attribute name="rel" type="xs:string"/>
    <xs:attribute name="rev" type="xs:string"/>
    <xs:attribute name="title" type="xs:string"/>
    <xs:attribute name="ID" type="xs:ID"/>
    <xs:attribute name="language" type="xs:NMTOKEN"/>
    <xs:attribute name="styleCode" type="xs:NMTOKENS"/>
  </xs:complexType>
- <xs:complexType name="StrucDoc.List">
  - <xs:sequence>
    <xs:element name="caption" minOccurs="0" type="StrucDoc.Caption"/>
    <xs:element name="item" maxOccurs="unbounded" type="StrucDoc.Item"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute name="ID" type="xs:ID"/>
  <xs:attribute name="language" type="xs:NMTOKEN"/>
  <xs:attribute name="styleCode" type="xs:NMTOKENS"/>
  - <xs:attribute name="listType" default="unordered">
    - <xs:simpleType>
      - <xs:restriction base="xs:NMTOKEN">
        <xs:enumeration value="ordered"/>
        <xs:enumeration value="unordered"/>
      </xs:restriction>
    </xs:simpleType>
  </xs:attribute>
</xs:complexType>
- <xs:complexType mixed="true" name="StrucDoc.Paragraph">
  - <xs:sequence>
    <xs:element name="caption" minOccurs="0" type="StrucDoc.Caption"/>
    - <xs:choice maxOccurs="unbounded" minOccurs="0">
      <xs:element name="content" type="StrucDoc.Content"/>
      <xs:element name="linkHtml" type="StrucDoc.LinkHtml"/>
      <xs:element name="sub" type="StrucDoc.Sub"/>
      <xs:element name="sup" type="StrucDoc.Sup"/>
      <xs:element name="br" type="StrucDoc.Br"/>
      <xs:element name="footnote" type="StrucDoc.Footnote"/>
      <xs:element name="footnoteRef" type="StrucDoc.FootnoteRef"/>
      <xs:element name="renderMultiMedia"
        type="StrucDoc.RenderMultiMedia"/>
    </xs:choice>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute name="ID" type="xs:ID"/>
  <xs:attribute name="language" type="xs:NMTOKEN"/>
  <xs:attribute name="styleCode" type="xs:NMTOKENS"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="StrucDoc.RenderMultiMedia">
  - <xs:sequence>
    <xs:element name="caption" minOccurs="0" type="StrucDoc.Caption"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute name="referencedObject" type="xs:IDREFS" use="required"/>
  <xs:attribute name="ID" type="xs:ID"/>
  <xs:attribute name="language" type="xs:NMTOKEN"/>
  <xs:attribute name="styleCode" type="xs:NMTOKENS"/>
</xs:complexType>

```



```

<xs:complexType mixed="true" name="StrucDoc.Sub"/>
<xs:complexType mixed="true" name="StrucDoc.Sup"/>
- <xs:complexType name="StrucDoc.Table">
  - <xs:sequence>
    <xs:element name="caption" minOccurs="0" type="StrucDoc.Caption"/>
    - <xs:choice>
      <xs:element name="col" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"
        type="StrucDoc.Col"/>
      <xs:element name="colgroup" maxOccurs="unbounded" minOccurs="0"
        type="StrucDoc.Colgroup"/>
    </xs:choice>
    <xs:element name="thead" minOccurs="0" type="StrucDoc.Thead"/>
    <xs:element name="tfoot" minOccurs="0" type="StrucDoc.Tfoot"/>
    <xs:element name="tbody" maxOccurs="unbounded" type="StrucDoc.Tbody"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute name="ID" type="xs:ID"/>
  <xs:attribute name="language" type="xs:NMTOKEN"/>
  <xs:attribute name="styleCode" type="xs:NMTOKENS"/>
  <xs:attribute name="summary" type="xs:string"/>
  <xs:attribute name="width" type="xs:string"/>
  <xs:attribute name="border" type="xs:string"/>
  - <xs:attribute name="frame">
    - <xs:simpleType>
      - <xs:restriction base="xs:NMTOKEN">
        <xs:enumeration value="void"/>
        <xs:enumeration value="above"/>
        <xs:enumeration value="below"/>
        <xs:enumeration value="hsides"/>
        <xs:enumeration value="lhs"/>
        <xs:enumeration value="rhs"/>
        <xs:enumeration value="vsides"/>
        <xs:enumeration value="box"/>
        <xs:enumeration value="border"/>
      </xs:restriction>
    </xs:simpleType>
  </xs:attribute>
  - <xs:attribute name="rules">
    - <xs:simpleType>
      - <xs:restriction base="xs:NMTOKEN">
        <xs:enumeration value="none"/>
        <xs:enumeration value="groups"/>
        <xs:enumeration value="rows"/>
        <xs:enumeration value="cols"/>
        <xs:enumeration value="all"/>
      </xs:restriction>
    </xs:simpleType>
  </xs:attribute>
  <xs:attribute name="cellspacing" type="xs:string"/>
  <xs:attribute name="cellpadding" type="xs:string"/>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="StrucDoc.Tbody">
  - <xs:sequence maxOccurs="unbounded">
    <xs:element name="tr" type="StrucDoc.Tr"/>

```

```

</xs:sequence>
<xs:attribute name="ID" type="xs:ID"/>
<xs:attribute name="language" type="xs:NMTOKEN"/>
<xs:attribute name="styleCode" type="xs:NMTOKENS"/>
- <xs:attribute name="align">
  - <xs:simpleType>
    - <xs:restriction base="xs:NMTOKEN">
      <xs:enumeration value="left"/>
      <xs:enumeration value="center"/>
      <xs:enumeration value="right"/>
      <xs:enumeration value="justify"/>
      <xs:enumeration value="char"/>
    </xs:restriction>
  </xs:simpleType>
</xs:attribute>
<xs:attribute name="char" type="xs:string"/>
<xs:attribute name="charoff" type="xs:string"/>
- <xs:attribute name="valign">
  - <xs:simpleType>
    - <xs:restriction base="xs:NMTOKEN">
      <xs:enumeration value="top"/>
      <xs:enumeration value="middle"/>
      <xs:enumeration value="bottom"/>
      <xs:enumeration value="baseline"/>
    </xs:restriction>
  </xs:simpleType>
</xs:attribute>
</xs:complexType>
- <xs:complexType mixed="true" name="StrucDoc.Td">
  - <xs:choice maxOccurs="unbounded" minOccurs="0">
    <xs:element name="content" type="StrucDoc.Content"/>
    <xs:element name="linkHtml" type="StrucDoc.LinkHtml"/>
    <xs:element name="sub" type="StrucDoc.Sub"/>
    <xs:element name="sup" type="StrucDoc.Sup"/>
    <xs:element name="br" type="StrucDoc.Br"/>
    <xs:element name="footnote" type="StrucDoc.Footnote"/>
    <xs:element name="footnoteRef" type="StrucDoc.FootnoteRef"/>
    <xs:element name="renderMultiMedia" type="StrucDoc.RenderMultiMedia"/>
    <xs:element name="paragraph" type="StrucDoc.Paragraph"/>
    <xs:element name="list" type="StrucDoc.List"/>
  </xs:choice>
  <xs:attribute name="ID" type="xs:ID"/>
  <xs:attribute name="language" type="xs:NMTOKEN"/>
  <xs:attribute name="styleCode" type="xs:NMTOKENS"/>
  <xs:attribute name="abbr" type="xs:string"/>
  <xs:attribute name="axis" type="xs:string"/>
  <xs:attribute name="headers" type="xs:IDREFS"/>
- <xs:attribute name="scope">
  - <xs:simpleType>
    - <xs:restriction base="xs:NMTOKEN">
      <xs:enumeration value="row"/>
      <xs:enumeration value="col"/>
      <xs:enumeration value="rowgroup"/>
    </xs:restriction>
  </xs:simpleType>
</xs:attribute>
</xs:complexType>

```

```

        <xs:enumeration value="colgroup"/>
      </xs:restriction>
    </xs:simpleType>
  </xs:attribute>
  <xs:attribute name="rowspan" type="xs:string" default="1"/>
  <xs:attribute name="colspan" type="xs:string" default="1"/>
- <xs:attribute name="align">
  - <xs:simpleType>
    - <xs:restriction base="xs:NMTOKEN">
      <xs:enumeration value="left"/>
      <xs:enumeration value="center"/>
      <xs:enumeration value="right"/>
      <xs:enumeration value="justify"/>
      <xs:enumeration value="char"/>
    </xs:restriction>
  </xs:simpleType>
</xs:attribute>
  <xs:attribute name="char" type="xs:string"/>
  <xs:attribute name="charoff" type="xs:string"/>
- <xs:attribute name="valign">
  - <xs:simpleType>
    - <xs:restriction base="xs:NMTOKEN">
      <xs:enumeration value="top"/>
      <xs:enumeration value="middle"/>
      <xs:enumeration value="bottom"/>
      <xs:enumeration value="baseline"/>
    </xs:restriction>
  </xs:simpleType>
</xs:attribute>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="StrucDoc.Tfoot">
  - <xs:sequence maxOccurs="unbounded">
    <xs:element name="tr" type="StrucDoc.Tr"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute name="ID" type="xs:ID"/>
  <xs:attribute name="language" type="xs:NMTOKEN"/>
  <xs:attribute name="styleCode" type="xs:NMTOKENS"/>
- <xs:attribute name="align">
  - <xs:simpleType>
    - <xs:restriction base="xs:NMTOKEN">
      <xs:enumeration value="left"/>
      <xs:enumeration value="center"/>
      <xs:enumeration value="right"/>
      <xs:enumeration value="justify"/>
      <xs:enumeration value="char"/>
    </xs:restriction>
  </xs:simpleType>
</xs:attribute>
  <xs:attribute name="char" type="xs:string"/>
  <xs:attribute name="charoff" type="xs:string"/>
- <xs:attribute name="valign">
  - <xs:simpleType>
    - <xs:restriction base="xs:NMTOKEN">

```

```

        <xs:enumeration value="top"/>
        <xs:enumeration value="middle"/>
        <xs:enumeration value="bottom"/>
        <xs:enumeration value="baseline"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
</xs:attribute>
</xs:complexType>
- <xs:complexType mixed="true" name="StrucDoc.Th">
    - <xs:choice maxOccurs="unbounded" minOccurs="0">
        <xs:element name="content" type="StrucDoc.Content"/>
        <xs:element name="linkHtml" type="StrucDoc.LinkHtml"/>
        <xs:element name="sub" type="StrucDoc.Sub"/>
        <xs:element name="sup" type="StrucDoc.Sup"/>
        <xs:element name="br" type="StrucDoc.Br"/>
        <xs:element name="footnote" type="StrucDoc.Footnote"/>
        <xs:element name="footnoteRef" type="StrucDoc.FootnoteRef"/>
        <xs:element name="renderMultiMedia" type="StrucDoc.RenderMultiMedia"/>
    </xs:choice>
    <xs:attribute name="ID" type="xs:ID"/>
    <xs:attribute name="language" type="xs:NMTOKEN"/>
    <xs:attribute name="styleCode" type="xs:NMTOKENS"/>
    <xs:attribute name="abbr" type="xs:string"/>
    <xs:attribute name="axis" type="xs:string"/>
    <xs:attribute name="headers" type="xs:IDREFS"/>
    - <xs:attribute name="scope">
        - <xs:simpleType>
            - <xs:restriction base="xs:NMTOKEN">
                <xs:enumeration value="row"/>
                <xs:enumeration value="col"/>
                <xs:enumeration value="rowgroup"/>
                <xs:enumeration value="colgroup"/>
            </xs:restriction>
        </xs:simpleType>
    </xs:attribute>
    <xs:attribute name="rowspan" type="xs:string" default="1"/>
    <xs:attribute name="colspan" type="xs:string" default="1"/>
    - <xs:attribute name="align">
        - <xs:simpleType>
            - <xs:restriction base="xs:NMTOKEN">
                <xs:enumeration value="left"/>
                <xs:enumeration value="center"/>
                <xs:enumeration value="right"/>
                <xs:enumeration value="justify"/>
                <xs:enumeration value="char"/>
            </xs:restriction>
        </xs:simpleType>
    </xs:attribute>
    <xs:attribute name="char" type="xs:string"/>
    <xs:attribute name="charoff" type="xs:string"/>
    - <xs:attribute name="valign">
        - <xs:simpleType>
            - <xs:restriction base="xs:NMTOKEN">

```

```

        <xs:enumeration value="top"/>
        <xs:enumeration value="middle"/>
        <xs:enumeration value="bottom"/>
        <xs:enumeration value="baseline"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
</xs:attribute>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="StrucDoc.Thead">
  - <xs:sequence maxOccurs="unbounded">
    <xs:element name="tr" type="StrucDoc.Tr"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute name="ID" type="xs:ID"/>
  <xs:attribute name="language" type="xs:NMTOKEN"/>
  <xs:attribute name="styleCode" type="xs:NMTOKENS"/>
  - <xs:attribute name="align">
    - <xs:simpleType>
      - <xs:restriction base="xs:NMTOKEN">
        <xs:enumeration value="left"/>
        <xs:enumeration value="center"/>
        <xs:enumeration value="right"/>
        <xs:enumeration value="justify"/>
        <xs:enumeration value="char"/>
      </xs:restriction>
    </xs:simpleType>
  </xs:attribute>
  <xs:attribute name="char" type="xs:string"/>
  <xs:attribute name="charoff" type="xs:string"/>
  - <xs:attribute name="valign">
    - <xs:simpleType>
      - <xs:restriction base="xs:NMTOKEN">
        <xs:enumeration value="top"/>
        <xs:enumeration value="middle"/>
        <xs:enumeration value="bottom"/>
        <xs:enumeration value="baseline"/>
      </xs:restriction>
    </xs:simpleType>
  </xs:attribute>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="StrucDoc.Tr">
  - <xs:choice maxOccurs="unbounded">
    <xs:element name="th" type="StrucDoc.Th"/>
    <xs:element name="td" type="StrucDoc.Td"/>
  </xs:choice>
  <xs:attribute name="ID" type="xs:ID"/>
  <xs:attribute name="language" type="xs:NMTOKEN"/>
  <xs:attribute name="styleCode" type="xs:NMTOKENS"/>
  - <xs:attribute name="align">
    - <xs:simpleType>
      - <xs:restriction base="xs:NMTOKEN">
        <xs:enumeration value="left"/>
        <xs:enumeration value="center"/>
        <xs:enumeration value="right"/>

```

```
        <xs:enumeration value="justify"/>
        <xs:enumeration value="char"/>
    </xs:restriction>
</xs:simpleType>
</xs:attribute>
<xs:attribute name="char" type="xs:string"/>
<xs:attribute name="charoff" type="xs:string"/>
- <xs:attribute name="valign">
    - <xs:simpleType>
        - <xs:restriction base="xs:NMTOKEN">
            <xs:enumeration value="top"/>
            <xs:enumeration value="middle"/>
            <xs:enumeration value="bottom"/>
            <xs:enumeration value="baseline"/>
        </xs:restriction>
    </xs:simpleType>
</xs:attribute>
</xs:complexType>
</xs:schema>
```

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<!-- Copyright (c) 2001, 2002, 2003, 2004, 2005 Health Level Seven. All rights reserved. Redistribution and use
in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions
are met: 1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the
following disclaimer. 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of
conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the
distribution. 3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following
acknowledgement: This product includes software developed by Health Level Seven. THIS SOFTWARE IS
PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS ``AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED
WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF
MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO
EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT,
INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT
LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR
PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF
LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR
OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF
THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE. -->
<!-- This schema is generated from a Generic Schema Definition (GSD) by gsd2xsl. Do not edit this file. -->
<!-- 20080314 PQ型のunit属性のdefault値設定が不適切なものであるため、defaultの設定を削除。 -->
<xs:schema targetNamespace="urn:hl7-org:v3" xmlns="urn:hl7-org:v3" elementFormDefault="qualified"
xmlns:xs="http://www.w3.org/2001/XMLSchema" xmlns:sch="http://www.ascc.net/xml/schematron">
- <xs:annotation>
  <xs:documentation> Copyright (c) 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006 Health Level Seven. All rights
reserved. Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are
permitted provided that the following conditions are met: 1. Redistributions of source code must
retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer. 2.
Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions
and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the
distribution. 3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display
the following acknowledgement: This product includes software developed by Health Level
Seven. THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS ``AS
IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED
TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A
PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR
CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL,
EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,
PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR
PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY
OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING
NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS
SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE. Generated by
$Id: datatypes-base.xsd,v 1.1 2006/05/23 23:03:14 wbeeler Exp $</xs:documentation>
</xs:annotation>
  <xs:include schemaLocation="voc_hcgv08.xsd"/>
- <xs:annotation>
  <xs:documentation> $Id: datatypes-base.xsd,v 1.1 2006/05/23 23:03:14 wbeeler Exp $ Generated by
$Id: datatypes-base.xsd,v 1.1 2006/05/23 23:03:14 wbeeler Exp $</xs:documentation>
</xs:annotation>
- <xs:complexType abstract="true" name="ANY">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> Defines the basic properties of every data value. This is an abstract type,
meaning that no value can be just a data value without belonging to any concrete type. Every
concrete type is a specialization of this general abstract DataValue type. </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:attribute name="nullFlavor" use="optional" type="NullFlavor">
    - <xs:annotation>
      <xs:documentation> An exceptional value expressing missing information and possibly the
reason why the information is missing. </xs:documentation>
    </xs:annotation>
  </xs:attribute>
</xs:complexType>

```

```

        </xs:annotation>
      </xs:attribute>
    </xs:complexType>
  - <xs:simpleType name="bl">
    - <xs:annotation>
      <xs:documentation> The Boolean type stands for the values of two-valued logic. A Boolean value
        can be either true or false, or, as any other value may be NULL. </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:restriction base="xs:boolean">
      <xs:pattern value="true|false"/>
    </xs:restriction>
  </xs:simpleType>
  - <xs:complexType name="BL">
    - <xs:annotation>
      <xs:documentation> The Boolean type stands for the values of two-valued logic. A Boolean value
        can be either true or false, or, as any other value may be NULL. </xs:documentation>
    - <xs:appinfo>
      - <sch:pattern name="validate BL">
        - <sch:rule abstract="true" id="rule-BL">
          <sch:report test="(@nullFlavor or @value) and not(@nullFlavor and
            @value)"/>
        </sch:rule>
      </sch:pattern>
    </xs:appinfo>
    </xs:annotation>
    - <xs:complexContent>
      - <xs:extension base="ANY">
        <xs:attribute name="value" use="optional" type="bl"/>
      </xs:extension>
    </xs:complexContent>
  </xs:complexType>
  - <xs:simpleType name="bn">
    - <xs:annotation>
      <xs:documentation> The BooleanNonNull type is used where a Boolean cannot have a null value.
        A Boolean value can be either true or false. </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    <xs:restriction base="bl"/>
  </xs:simpleType>
  - <xs:complexType name="ANYNonNull">
    - <xs:annotation>
      <xs:documentation> The BooleanNonNull type is used where a Boolean cannot have a null value.
        A Boolean value can be either true or false. </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:complexContent>
      - <xs:restriction base="ANY">
        <xs:attribute name="nullFlavor" use="prohibited" type="NullFlavor"/>
      </xs:restriction>
    </xs:complexContent>
  </xs:complexType>
  - <xs:complexType name="BN">
    - <xs:annotation>
      <xs:documentation> The BooleanNonNull type is used where a Boolean cannot have a null value.
        A Boolean value can be either true or false. </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    - <xs:complexContent>
      - <xs:extension base="ANYNonNull">
        <xs:attribute name="value" use="optional" type="bn"/>
      </xs:extension>
    </xs:complexContent>

```



```

</xs:complexType>
- <xs:complexType abstract="true" name="BIN" mixed="true">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> Binary data is a raw block of bits. Binary data is a protected type that MUST
      not be used outside the data type specification. </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:complexContent mixed="true">
    - <xs:extension base="ANY">
      - <xs:attribute name="representation" use="optional" type="BinaryDataEncoding"
        default="TXT">
        - <xs:annotation>
          <xs:documentation> Specifies the representation of the binary data that is the
            content of the binary data value. </xs:documentation>
        </xs:annotation>
        </xs:attribute>
      </xs:extension>
    </xs:complexContent>
  </xs:complexType>
- <xs:simpleType name="bin">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> Binary data is a raw block of bits. Binary data is a protected type that MUST
      not be used outside the data type specification. </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    <xs:restriction base="xs:base64Binary"/>
  </xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="BinaryDataEncoding">
  - <xs:restriction base="xs:NMTOKEN">
    <xs:enumeration value="B64"/>
    <xs:enumeration value="TXT"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:complexType name="ED" mixed="true">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> Data that is primarily intended for human interpretation or for further
      machine processing is outside the scope of HL7. This includes unformatted or formatted
      written language, multimedia data, or structured information as defined by a different
      standard (e.g., XML-signatures.) Instead of the data itself, an ED may contain only a
      reference (see TEL.) Note that the ST data type is a specialization of when the is text/plain.
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:complexContent mixed="true">
    - <xs:extension base="BIN">
      - <xs:sequence>
        - <xs:element name="reference" type="TEL" minOccurs="0">
          - <xs:annotation>
            <xs:documentation> A telecommunication address (TEL), such as a URL for
              HTTP or FTP, which will resolve to precisely the same binary data that
              could as well have been provided as inline data. </xs:documentation>
          </xs:annotation>
        </xs:element>
        <xs:element name="thumbnail" type="thumbnail" minOccurs="0"/>
      </xs:sequence>
      - <xs:attribute name="mediaType" use="optional" type="cs" default="text/plain">
        - <xs:annotation>
          <xs:documentation> Identifies the type of the encapsulated data and identifies a
            method to interpret or render the data. </xs:documentation>
        </xs:annotation>
      </xs:attribute>
      - <xs:attribute name="language" use="optional" type="cs">

```

```

- <xs:annotation>
  <xs:documentation> For character based information the language property
    specifies the human language of the text. </xs:documentation>
</xs:annotation>
</xs:attribute>
- <xs:attribute name="compression" use="optional" type="CompressionAlgorithm">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> Indicates whether the raw byte data is compressed, and what
      compression algorithm was used. </xs:documentation>
  </xs:annotation>
</xs:attribute>
- <xs:attribute name="integrityCheck" use="optional" type="bin">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> The integrity check is a short binary value representing a
      cryptographically strong checksum that is calculated over the binary data. The
      purpose of this property, when communicated with a reference is for anyone to
      validate later whether the reference still resolved to the same data that the
      reference resolved to when the encapsulated data value with reference was
      created. </xs:documentation>
  </xs:annotation>
</xs:attribute>
- <xs:attribute name="integrityCheckAlgorithm" use="optional"
  type="IntegrityCheckAlgorithm" default="SHA-1">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> Specifies the algorithm used to compute the integrityCheck
      value. </xs:documentation>
  </xs:annotation>
</xs:attribute>
</xs:extension>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="thumbnail" mixed="true">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> A thumbnail is an abbreviated rendition of the full data. A thumbnail requires
      significantly fewer resources than the full data, while still maintaining some distinctive
      similarity with the full data. A thumbnail is typically used with by-reference encapsulated
      data. It allows a user to select data more efficiently before actually downloading through the
      reference. </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:complexContent mixed="true">
    - <xs:restriction base="ED">
      - <xs:sequence>
        <xs:element name="reference" type="TEL" minOccurs="0"/>
        <xs:element name="thumbnail" type="thumbnail" minOccurs="0" maxOccurs="0"/>
      </xs:sequence>
    </xs:restriction>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:simpleType name="st">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> The character string data type stands for text data, primarily intended for
      machine processing (e.g., sorting, querying, indexing, etc.) Used for names, symbols, and
      formal expressions. </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="xs:string">
    <xs:minLength value="1"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:complexType name="ST" mixed="true">

```

```

- <xs:annotation>
  <xs:documentation> The character string data type stands for text data, primarily intended for
    machine processing (e.g., sorting, querying, indexing, etc.) Used for names, symbols, and
    formal expressions. </xs:documentation>
- <xs:appinfo>
  - <sch:pattern name="validate ST">
    - <sch:rule abstract="true" id="rule-ST">
      - <sch:report test="(@nullFlavor or text()) and not(@nullFlavor and text())">
        <p xmlns:xlink="http://www.w3.org/TR/WD-xlink"
          xmlns:gsd="http://aurora.regenstrief.org/GenericXMLSchema">Text
          content is only allowed in non-NULL values.</p>
        </sch:report>
      </sch:rule>
    </sch:pattern>
  </xs:appinfo>
</xs:annotation>
- <xs:complexContent mixed="true">
  - <xs:restriction base="ED">
    - <xs:sequence>
      <xs:element name="reference" type="TEL" minOccurs="0" maxOccurs="0"/>
      <xs:element name="thumbnail" type="ED" minOccurs="0" maxOccurs="0"/>
    </xs:sequence>
    <xs:attribute name="representation" type="BinaryDataEncoding" fixed="TXT"/>
    <xs:attribute name="mediaType" type="cs" fixed="text/plain"/>
    <xs:attribute name="language" use="optional" type="cs"/>
    <xs:attribute name="compression" use="prohibited" type="CompressionAlgorithm"/>
    <xs:attribute name="integrityCheck" use="prohibited" type="bin"/>
    <xs:attribute name="integrityCheckAlgorithm" use="prohibited"
      type="IntegrityCheckAlgorithm"/>
  </xs:restriction>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:simpleType name="cs">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> Coded data in its simplest form, consists of a code. The code system and
      code system version is fixed by the context in which the value occurs. is used for coded
      attributes that have a single HL7-defined value set. </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="xs:token">
    <xs:pattern value="^[^s]+"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:complexType name="CD">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> A concept descriptor represents any kind of concept usually by giving a code
      defined in a code system. A concept descriptor can contain the original text or phrase that
      served as the basis of the coding and one or more translations into different coding systems.
      A concept descriptor can also contain qualifiers to describe, e.g., the concept of a "left foot"
      as a postcoordinated term built from the primary code "FOOT" and the qualifier "LEFT". In
      exceptional cases, the concept descriptor need not contain a code but only the original text
      describing that concept. </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:complexContent>
    - <xs:extension base="ANY">
      - <xs:sequence>
        - <xs:element name="originalText" type="ED" minOccurs="0">
          - <xs:annotation>
            <xs:documentation> The text or phrase used as the basis for the coding.
            </xs:documentation>
          </xs:annotation>

```

```

        </xs:annotation>
      </xs:element>
    - <xs:element name="qualifier" type="CR" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded">
      - <xs:annotation>
        <xs:documentation> Specifies additional codes that increase the specificity of
          the primary code. </xs:documentation>
      </xs:annotation>
    </xs:element>
    - <xs:element name="translation" type="CD" minOccurs="0"
      maxOccurs="unbounded">
      - <xs:annotation>
        <xs:documentation> A set of other concept descriptors that translate this
          concept descriptor into other code systems. </xs:documentation>
      </xs:annotation>
    </xs:element>
  </xs:sequence>
  - <xs:attribute name="code" use="optional" type="cs">
    - <xs:annotation>
      <xs:documentation> The plain code symbol defined by the code system. For
        example, "784.0" is the code symbol of the ICD-9 code "784.0" for headache.
      </xs:documentation>
    </xs:annotation>
  </xs:attribute>
  - <xs:attribute name="codeSystem" use="optional" type="uid">
    - <xs:annotation>
      <xs:documentation> Specifies the code system that defines the code.
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  </xs:attribute>
  - <xs:attribute name="codeSystemName" use="optional" type="st">
    - <xs:annotation>
      <xs:documentation> A common name of the coding system. </xs:documentation>
    </xs:annotation>
  </xs:attribute>
  - <xs:attribute name="codeSystemVersion" use="optional" type="st">
    - <xs:annotation>
      <xs:documentation> If applicable, a version descriptor defined specifically for the
        given code system. </xs:documentation>
    </xs:annotation>
  </xs:attribute>
  - <xs:attribute name="displayName" use="optional" type="st">
    - <xs:annotation>
      <xs:documentation> A name or title for the code, under which the sending system
        shows the code value to its users. </xs:documentation>
    </xs:annotation>
  </xs:attribute>
</xs:extension>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="CE">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> Coded data, consists of a coded value (CV) and, optionally, coded value(s)
      from other coding systems that identify the same concept. Used when alternative codes may
      exist. </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:complexContent>
    - <xs:restriction base="CD">
      - <xs:sequence>
        - <xs:element name="originalText" type="ED" minOccurs="0">

```

```

- <xs:annotation>
  <xs:documentation> The text or phrase used as the basis for the coding.
  </xs:documentation>
</xs:annotation>
</xs:element>
<xs:element name="qualifier" type="CR" minOccurs="0" maxOccurs="0"/>
- <xs:element name="translation" type="CD" minOccurs="0"
maxOccurs="unbounded">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> A set of other concept descriptors that translate this
    concept descriptor into other code systems. </xs:documentation>
  </xs:annotation>
</xs:element>
</xs:sequence>
- <xs:attribute name="code" use="optional" type="cs">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> The plain code symbol defined by the code system. For
    example, "784.0" is the code symbol of the ICD-9 code "784.0" for headache.
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
</xs:attribute>
- <xs:attribute name="codeSystem" use="optional" type="uid">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> Specifies the code system that defines the code.
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
</xs:attribute>
- <xs:attribute name="codeSystemName" use="optional" type="st">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> A common name of the coding system. </xs:documentation>
  </xs:annotation>
</xs:attribute>
- <xs:attribute name="codeSystemVersion" use="optional" type="st">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> If applicable, a version descriptor defined specifically for the
    given code system. </xs:documentation>
  </xs:annotation>
</xs:attribute>
- <xs:attribute name="displayName" use="optional" type="st">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> A name or title for the code, under which the sending system
    shows the code value to its users. </xs:documentation>
  </xs:annotation>
</xs:attribute>
</xs:restriction>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="CV">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> Coded data, consists of a code, display name, code system, and original text.
    Used when a single code value must be sent. </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:complexContent>
    - <xs:restriction base="CE">
      - <xs:sequence>
        - <xs:element name="originalText" type="ED" minOccurs="0">
          - <xs:annotation>
            <xs:documentation> The text or phrase used as the basis for the coding.
            </xs:documentation>

```

```

        </xs:annotation>
      </xs:element>
      <xs:element name="translation" type="CD" minOccurs="0" maxOccurs="0"/>
    </xs:sequence>
  - <xs:attribute name="code" use="optional" type="cs">
    - <xs:annotation>
      <xs:documentation> The plain code symbol defined by the code system. For
        example, "784.0" is the code symbol of the ICD-9 code "784.0" for headache.
      </xs:documentation>
    </xs:annotation>
  </xs:attribute>
  - <xs:attribute name="codeSystem" use="optional" type="uid">
    - <xs:annotation>
      <xs:documentation> Specifies the code system that defines the code.
    </xs:documentation>
    </xs:annotation>
  </xs:attribute>
  - <xs:attribute name="codeSystemName" use="optional" type="st">
    - <xs:annotation>
      <xs:documentation> A common name of the coding system. </xs:documentation>
    </xs:annotation>
  </xs:attribute>
  - <xs:attribute name="codeSystemVersion" use="optional" type="st">
    - <xs:annotation>
      <xs:documentation> If applicable, a version descriptor defined specifically for the
        given code system. </xs:documentation>
    </xs:annotation>
  </xs:attribute>
  - <xs:attribute name="displayName" use="optional" type="st">
    - <xs:annotation>
      <xs:documentation> A name or title for the code, under which the sending system
        shows the code value to its users. </xs:documentation>
    </xs:annotation>
  </xs:attribute>
</xs:restriction>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="CS">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> Coded data, consists of a code, display name, code system, and original text.
      Used when a single code value must be sent. </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:complexContent>
    - <xs:restriction base="CV">
      - <xs:attribute name="code" use="optional" type="cs">
        - <xs:annotation>
          <xs:documentation> The plain code symbol defined by the code system. For
            example, "784.0" is the code symbol of the ICD-9 code "784.0" for headache.
          </xs:documentation>
        </xs:annotation>
      </xs:attribute>
      <xs:attribute name="codeSystem" use="prohibited" type="uid"/>
      <xs:attribute name="codeSystemName" use="prohibited" type="st"/>
      <xs:attribute name="codeSystemVersion" use="prohibited" type="st"/>
      <xs:attribute name="displayName" use="prohibited" type="st"/>
    </xs:restriction>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="CO">

```

- `<xs:annotation>`
 - `<xs:documentation>` Coded data, where the domain from which the codeset comes is ordered. The Coded Ordinal data type adds semantics related to ordering so that models that make use of such domains may introduce model elements that involve statements about the order of the terms in a domain. `</xs:documentation>`
 - `</xs:annotation>`
 - `<xs:complexContent>`
 - `<xs:extension base="CV"/>`
 - `</xs:complexContent>`
 - `</xs:complexType>`
 - `<xs:complexType name="CR">`
 - `<xs:annotation>`
 - `<xs:documentation>` A concept qualifier code with optionally named role. Both qualifier role and value codes must be defined by the coding system. For example, if SNOMED RT defines a concept "leg", a role relation "has-laterality", and another concept "left", the concept role relation allows to add the qualifier "has-laterality: left" to a primary code "leg" to construct the meaning "left leg". `</xs:documentation>`
 - `<xs:appinfo>`
 - `<sch:pattern name="validate CR">`
 - `<sch:rule abstract="true" id="rule-CR">`
 - `<sch:report test="(value or @nullFlavor) and not(@nullFlavor and node())">`
 - `<p xmlns:xlink="http://www.w3.org/TR/WD-xlink" xmlns:gsd="http://aurora.regenstrief.org/GenericXMLSchema">` A value component is required or else the code role is NULL. `</p>`
 - `</sch:rule>`
 - `</sch:pattern>`
 - `</xs:appinfo>`
 - `</xs:annotation>`
- `<xs:complexContent>`
 - `<xs:extension base="ANY">`
 - `<xs:sequence>`
 - `<xs:element name="name" type="CV" minOccurs="0">`
 - `<xs:annotation>`
 - `<xs:documentation>` Specifies the manner in which the concept role value contributes to the meaning of a code phrase. For example, if SNOMED RT defines a concept "leg", a role relation "has-laterality", and another concept "left", the concept role relation allows to add the qualifier "has-laterality: left" to a primary code "leg" to construct the meaning "left leg". In this example "has-laterality" is . `</xs:documentation>`
 - `</xs:element>`
 - `<xs:element name="value" type="CD" minOccurs="0">`
 - `<xs:annotation>`
 - `<xs:documentation>` The concept that modifies the primary code of a code phrase through the role relation. For example, if SNOMED RT defines a concept "leg", a role relation "has-laterality", and another concept "left", the concept role relation allows adding the qualifier "has-laterality: left" to a primary code "leg" to construct the meaning "left leg". In this example "left" is . `</xs:documentation>`
 - `</xs:sequence>`
- `<xs:attribute name="inverted" use="optional" type="bn" default="false">`
 - `<xs:annotation>`
 - `<xs:documentation>` Indicates if the sense of the role name is inverted. This can be used in cases where the underlying code system defines inversion but does not provide reciprocal pairs of role names. By default, inverted is false. `</xs:documentation>`

```

        </xs:annotation>
      </xs:attribute>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="SC" mixed="true">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> An ST that optionally may have a code attached. The text must always be
      present if a code is present. The code is often a local code. </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:complexContent mixed="true">
    - <xs:extension base="ST">
      - <xs:attribute name="code" use="optional" type="cs">
        - <xs:annotation>
          <xs:documentation> The plain code symbol defined by the code system. For
            example, "784.0" is the code symbol of the ICD-9 code "784.0" for headache.
          </xs:documentation>
        </xs:annotation>
      </xs:attribute>
      - <xs:attribute name="codeSystem" use="optional" type="uid">
        - <xs:annotation>
          <xs:documentation> Specifies the code system that defines the code.
          </xs:documentation>
        </xs:annotation>
      </xs:attribute>
      - <xs:attribute name="codeSystemName" use="optional" type="st">
        - <xs:annotation>
          <xs:documentation> A common name of the coding system. </xs:documentation>
        </xs:annotation>
      </xs:attribute>
      - <xs:attribute name="codeSystemVersion" use="optional" type="st">
        - <xs:annotation>
          <xs:documentation> If applicable, a version descriptor defined specifically for the
            given code system. </xs:documentation>
        </xs:annotation>
      </xs:attribute>
      - <xs:attribute name="displayName" use="optional" type="st">
        - <xs:annotation>
          <xs:documentation> A name or title for the code, under which the sending system
            shows the code value to its users. </xs:documentation>
        </xs:annotation>
      </xs:attribute>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:simpleType name="uid">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> A unique identifier string is a character string which identifies an object in a
      globally unique and timeless manner. The allowable formats and values and procedures of
      this data type are strictly controlled by HL7. At this time, user-assigned identifiers may be
      certain character representations of ISO Object Identifiers () and DCE Universally Unique
      Identifiers (). HL7 also reserves the right to assign other forms of UIDs (, such as mnemonic
      identifiers for code systems. </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  <xs:union memberTypes="oid uid ruid"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="oid">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation/>

```



```

    </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="xs:string">
    <xs:pattern value="[0-2](\.(0|[1-9][0-9]*))*"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="uuid">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation/>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="xs:string">
    <xs:pattern value="[0-9a-zA-Z]{8}-[0-9a-zA-Z]{4}-[0-9a-zA-Z]{4}-[0-9a-zA-Z]{4}-[0-9a-zA-Z]{12}"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="ruid">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation/>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="xs:string">
    <xs:pattern value="[A-Za-z][A-Za-z0-9\-\]*/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:complexType name="II">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> An identifier that uniquely identifies a thing or object. Examples are object
    identifier for HL7 RIM objects, medical record number, order id, service catalog item id,
    Vehicle Identification Number (VIN), etc. Instance identifiers are defined based on ISO
    object identifiers. </xs:documentation>
  - <xs:appinfo>
    - <sch:pattern name="validate II">
      - <sch:rule abstract="true" id="rule-II">
        <sch:report test="(@root or @nullFlavor) and not(@root and @nullFlavor)">
          A root component is required or else the II value is NULL. </sch:report>
        </sch:rule>
      </sch:pattern>
    </xs:appinfo>
  </xs:annotation>
  - <xs:complexContent>
    - <xs:extension base="ANY">
      - <xs:attribute name="root" use="optional" type="uid">
        - <xs:annotation>
          <xs:documentation> A unique identifier that guarantees the global uniqueness of
          the instance identifier. The root alone may be the entire instance identifier.
          </xs:documentation>
        </xs:annotation>
      </xs:attribute>
      - <xs:attribute name="extension" use="optional" type="st">
        - <xs:annotation>
          <xs:documentation> A character string as a unique identifier within the scope of
          the identifier root. </xs:documentation>
        </xs:annotation>
      </xs:attribute>
      - <xs:attribute name="assigningAuthorityName" use="optional" type="st">
        - <xs:annotation>
          <xs:documentation> A human readable name or mnemonic for the assigning
          authority. This name may be provided solely for the convenience of unaided
          humans interpreting an value and can have no computational meaning. Note:
          no automated processing must depend on the assigning authority name to be
          present in any form. </xs:documentation>

```

```

        </xs:annotation>
      </xs:attribute>
    - <xs:attribute name="displayable" use="optional" type="boolean">
      - <xs:annotation>
        <xs:documentation> Specifies if the identifier is intended for human display and
          data entry (displayable = true) as opposed to pure machine interoperation
          (displayable = false). </xs:documentation>
      </xs:annotation>
    </xs:attribute>
  </xs:extension>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:simpleType name="url">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> A telecommunications address specified according to Internet standard RFC
      1738 [http://www.ietf.org/rfc/rfc1738.txt]. The URL specifies the protocol and the contact
      point defined by that protocol for the resource. Notable uses of the telecommunication
      address data type are for telephone and telefax numbers, e-mail addresses, Hypertext
      references, FTP references, etc. </xs:documentation>
    </xs:annotation>
    <xs:restriction base="xs:anyURI"/>
  </xs:simpleType>
- <xs:complexType abstract="true" name="URL">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> A telecommunications address specified according to Internet standard RFC
      1738 [http://www.ietf.org/rfc/rfc1738.txt]. The URL specifies the protocol and the contact
      point defined by that protocol for the resource. Notable uses of the telecommunication
      address data type are for telephone and telefax numbers, e-mail addresses, Hypertext
      references, FTP references, etc. </xs:documentation>
  - <xs:appinfo>
    - <sch:pattern name="validate URL">
      - <sch:rule abstract="true" id="rule-URL">
        <sch:report test="(@nullFlavor or @value) and not(@nullFlavor and
          @value)"/>
      </sch:rule>
    </sch:pattern>
  </xs:appinfo>
  </xs:annotation>
  - <xs:complexContent>
    - <xs:extension base="ANY">
      <xs:attribute name="value" use="optional" type="url"/>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:simpleType name="ts">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> A quantity specifying a point on the axis of natural time. A point in time is
      most often represented as a calendar expression. </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="xs:string">
    <xs:pattern value="[0-9]{1,8}|([0-9]{9,14}|[0-9]{14,14}\.[0-9]+)([+|-][0-9]{1,4})?"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:complexType name="TS">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> A quantity specifying a point on the axis of natural time. A point in time is
      most often represented as a calendar expression. </xs:documentation>
  - <xs:appinfo>
    <diff>PQ</diff>

```

```

    </xs:appinfo>
  </xs:annotation>
- <xs:complexContent>
  - <xs:extension base="QTY">
    <xs:attribute name="value" use="optional" type="ts"/>
  </xs:extension>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="TEL">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> A telephone number (voice or fax), e-mail address, or other locator for a
      resource (information or service) mediated by telecommunication equipment. The address is
      specified as a URL qualified by time specification and use codes that help in deciding which
      address to use for a given time and purpose. </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:complexContent>
    - <xs:extension base="URL">
      - <xs:sequence>
        - <xs:element name="useablePeriod" type="SXCM_TS" minOccurs="0"
          maxOccurs="unbounded">
          - <xs:annotation>
            <xs:documentation> Specifies the periods of time during which the
              telecommunication address can be used. For a telephone number, this can
              indicate the time of day in which the party can be reached on that
              telephone. For a web address, it may specify a time range in which the
              web content is promised to be available under the given address.
            </xs:documentation>
          </xs:annotation>
        </xs:element>
      </xs:sequence>
      - <xs:attribute name="use" use="optional" type="set_TelecommunicationAddressUse">
        - <xs:annotation>
          <xs:documentation> One or more codes advising a system or user which
            telecommunication address in a set of like addresses to select for a given
            telecommunication need. </xs:documentation>
        </xs:annotation>
      </xs:attribute>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="ADXP" mixed="true">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> A character string that may have a type-tag signifying its role in the address.
      Typical parts that exist in about every address are street, house number, or post box, postal
      code, city, country but other roles may be defined regionally, nationally, or on an enterprise
      level (e.g. in military addresses). Addresses are usually broken up into lines, which are
      indicated by special line-breaking delimiter elements (e.g., DEL). </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:complexContent mixed="true">
    - <xs:extension base="ST">
      - <xs:attribute name="partType" type="AddressPartType">
        - <xs:annotation>
          <xs:documentation> Specifies whether an address part names the street, city,
            country, postal code, post box, etc. If the type is NULL the address part is
            unclassified and would simply appear on an address label as is.
          </xs:documentation>
        </xs:annotation>
      </xs:attribute>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>

```

```

    </xs:complexContent>
  </xs:complexType>
- <xs:complexType name="adxp.delimiter" mixed="true">
  - <xs:complexContent mixed="true">
    - <xs:restriction base="ADXP">
      <xs:attribute name="partType" type="AddressPartType" fixed="DEL"/>
    </xs:restriction>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="adxp.country" mixed="true">
  - <xs:complexContent mixed="true">
    - <xs:restriction base="ADXP">
      <xs:attribute name="partType" type="AddressPartType" fixed="CNT"/>
    </xs:restriction>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="adxp.state" mixed="true">
  - <xs:complexContent mixed="true">
    - <xs:restriction base="ADXP">
      <xs:attribute name="partType" type="AddressPartType" fixed="STA"/>
    </xs:restriction>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="adxp.county" mixed="true">
  - <xs:complexContent mixed="true">
    - <xs:restriction base="ADXP">
      <xs:attribute name="partType" type="AddressPartType" fixed="CPA"/>
    </xs:restriction>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="adxp.city" mixed="true">
  - <xs:complexContent mixed="true">
    - <xs:restriction base="ADXP">
      <xs:attribute name="partType" type="AddressPartType" fixed="CTY"/>
    </xs:restriction>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="adxp.postalCode" mixed="true">
  - <xs:complexContent mixed="true">
    - <xs:restriction base="ADXP">
      <xs:attribute name="partType" type="AddressPartType" fixed="ZIP"/>
    </xs:restriction>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="adxp.streetAddressLine" mixed="true">
  - <xs:complexContent mixed="true">
    - <xs:restriction base="ADXP">
      <xs:attribute name="partType" type="AddressPartType" fixed="SAL"/>
    </xs:restriction>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="adxp.houseNumber" mixed="true">
  - <xs:complexContent mixed="true">
    - <xs:restriction base="ADXP">
      <xs:attribute name="partType" type="AddressPartType" fixed="BNR"/>
    </xs:restriction>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="adxp.houseNumberNumeric" mixed="true">

```

```

- <xs:complexContent mixed="true">
  - <xs:restriction base="ADXP">
    <xs:attribute name="partType" type="AddressPartType" fixed="BNN"/>
  </xs:restriction>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="adxp.direction" mixed="true">
  - <xs:complexContent mixed="true">
    - <xs:restriction base="ADXP">
      <xs:attribute name="partType" type="AddressPartType" fixed="DIR"/>
    </xs:restriction>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="adxp.streetName" mixed="true">
  - <xs:complexContent mixed="true">
    - <xs:restriction base="ADXP">
      <xs:attribute name="partType" type="AddressPartType" fixed="STR"/>
    </xs:restriction>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="adxp.streetNameBase" mixed="true">
  - <xs:complexContent mixed="true">
    - <xs:restriction base="ADXP">
      <xs:attribute name="partType" type="AddressPartType" fixed="STB"/>
    </xs:restriction>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
  <!-- jaxb implementors note: the jaxb code generator (v1.0.?) will fail to append "Type" to
  streetNameType so that there will be duplicate definitions in the java source for streetNameType. You
  will have to fix this manually. -->
- <xs:complexType name="adxp.streetNameType" mixed="true">
  - <xs:complexContent mixed="true">
    - <xs:restriction base="ADXP">
      <xs:attribute name="partType" type="AddressPartType" fixed="STTYP"/>
    </xs:restriction>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="adxp.additionalLocator" mixed="true">
  - <xs:complexContent mixed="true">
    - <xs:restriction base="ADXP">
      <xs:attribute name="partType" type="AddressPartType" fixed="ADL"/>
    </xs:restriction>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="adxp.unitID" mixed="true">
  - <xs:complexContent mixed="true">
    - <xs:restriction base="ADXP">
      <xs:attribute name="partType" type="AddressPartType" fixed="UNID"/>
    </xs:restriction>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="adxp.unitType" mixed="true">
  - <xs:complexContent mixed="true">
    - <xs:restriction base="ADXP">
      <xs:attribute name="partType" type="AddressPartType" fixed="UNIT"/>
    </xs:restriction>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="adxp.careOf" mixed="true">

```

```

- <xs:complexContent mixed="true">
  - <xs:restriction base="ADXP">
    <xs:attribute name="partType" type="AddressPartType" fixed="CAR"/>
  </xs:restriction>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="adxp.censusTract" mixed="true">
  - <xs:complexContent mixed="true">
    - <xs:restriction base="ADXP">
      <xs:attribute name="partType" type="AddressPartType" fixed="CEN"/>
    </xs:restriction>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="adxp.deliveryAddressLine" mixed="true">
  - <xs:complexContent mixed="true">
    - <xs:restriction base="ADXP">
      <xs:attribute name="partType" type="AddressPartType" fixed="DAL"/>
    </xs:restriction>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="adxp.deliveryInstallationType" mixed="true">
  - <xs:complexContent mixed="true">
    - <xs:restriction base="ADXP">
      <xs:attribute name="partType" type="AddressPartType" fixed="DINST"/>
    </xs:restriction>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="adxp.deliveryInstallationArea" mixed="true">
  - <xs:complexContent mixed="true">
    - <xs:restriction base="ADXP">
      <xs:attribute name="partType" type="AddressPartType" fixed="DINSTA"/>
    </xs:restriction>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="adxp.deliveryInstallationQualifier" mixed="true">
  - <xs:complexContent mixed="true">
    - <xs:restriction base="ADXP">
      <xs:attribute name="partType" type="AddressPartType" fixed="DINSTQ"/>
    </xs:restriction>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="adxp.deliveryMode" mixed="true">
  - <xs:complexContent mixed="true">
    - <xs:restriction base="ADXP">
      <xs:attribute name="partType" type="AddressPartType" fixed="DMOD"/>
    </xs:restriction>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="adxp.deliveryModeIdentifier" mixed="true">
  - <xs:complexContent mixed="true">
    - <xs:restriction base="ADXP">
      <xs:attribute name="partType" type="AddressPartType" fixed="DMODID"/>
    </xs:restriction>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="adxp.buildingNumberSuffix" mixed="true">
  - <xs:complexContent mixed="true">
    - <xs:restriction base="ADXP">
      <xs:attribute name="partType" type="AddressPartType" fixed="BNS"/>
    </xs:restriction>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>

```

```

        </xs:restriction>
      </xs:complexContent>
    </xs:complexType>
  </xs:complexType>
- <xs:complexType name="adxp.postBox" mixed="true">
  - <xs:complexContent mixed="true">
    - <xs:restriction base="ADXP">
      <xs:attribute name="partType" type="AddressPartType" fixed="POB"/>
    </xs:restriction>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="adxp.precinct" mixed="true">
  - <xs:complexContent mixed="true">
    - <xs:restriction base="ADXP">
      <xs:attribute name="partType" type="AddressPartType" fixed="PRE"/>
    </xs:restriction>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="AD" mixed="true">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> Mailing and home or office addresses. A sequence of address parts, such as
      street or post office Box, city, postal code, country, etc. </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:complexContent mixed="true">
    - <xs:extension base="ANY">
      - <xs:sequence>
        - <xs:choice minOccurs="0" maxOccurs="unbounded">
          <xs:element name="delimiter" type="adxp.delimiter"/>
          <xs:element name="country" type="adxp.country"/>
          <xs:element name="state" type="adxp.state"/>
          <xs:element name="county" type="adxp.county"/>
          <xs:element name="city" type="adxp.city"/>
          <xs:element name="postalCode" type="adxp.postalCode"/>
          <xs:element name="streetAddressLine" type="adxp.streetAddressLine"/>
          <xs:element name="houseNumber" type="adxp.houseNumber"/>
          <xs:element name="houseNumberNumeric"
            type="adxp.houseNumberNumeric"/>
          <xs:element name="direction" type="adxp.direction"/>
          <xs:element name="streetName" type="adxp.streetName"/>
          <xs:element name="streetNameBase" type="adxp.streetNameBase"/>
          <xs:element name="streetNameType" type="adxp.streetNameType"/>
          <xs:element name="additionalLocator" type="adxp.additionalLocator"/>
          <xs:element name="unitID" type="adxp.unitID"/>
          <xs:element name="unitType" type="adxp.unitType"/>
          <xs:element name="careOf" type="adxp.careOf"/>
          <xs:element name="censusTract" type="adxp.censusTract"/>
          <xs:element name="deliveryAddressLine" type="adxp.deliveryAddressLine"/>
          <xs:element name="deliveryInstallationType"
            type="adxp.deliveryInstallationType"/>
          <xs:element name="deliveryInstallationArea"
            type="adxp.deliveryInstallationArea"/>
          <xs:element name="deliveryInstallationQualifier"
            type="adxp.deliveryInstallationQualifier"/>
          <xs:element name="deliveryMode" type="adxp.deliveryMode"/>
          <xs:element name="deliveryModeIdentifier"
            type="adxp.deliveryModeIdentifier"/>
          <xs:element name="buildingNumberSuffix"
            type="adxp.buildingNumberSuffix"/>
          <xs:element name="postBox" type="adxp.postBox"/>
          <xs:element name="precinct" type="adxp.precinct"/>
        </xs:choice>
      </xs:sequence>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>

```

```

</xs:choice>
- <xs:element name="useablePeriod" type="SXCM_TS" minOccurs="0"
  maxOccurs="unbounded">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> A GTS specifying the periods of time during which the
      address can be used. This is used to specify different addresses for
      different times of the year or to refer to historical addresses.
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
</xs:element>
</xs:sequence>
- <xs:attribute name="use" use="optional" type="set_PostalAddressUse">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> A set of codes advising a system or user which address in a set
      of like addresses to select for a given purpose. </xs:documentation>
  </xs:annotation>
</xs:attribute>
- <xs:attribute name="isNotOrdered" use="optional" type="bl">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> A boolean value specifying whether the order of the address
      parts is known or not. While the address parts are always a Sequence, the
      order in which they are presented may or may not be known. Where this
      matters, can be used to convey this information. </xs:documentation>
  </xs:annotation>
</xs:attribute>
</xs:extension>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="ENXP" mixed="true">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> A character string token representing a part of a name. May have a type code
      signifying the role of the part in the whole entity name, and a qualifier code for more detail
      about the name part type. Typical name parts for person names are given names, and family
      names, titles, etc. </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:complexContent mixed="true">
    - <xs:extension base="ST">
      - <xs:attribute name="partType" type="EntityNamePartType">
        - <xs:annotation>
          <xs:documentation> Indicates whether the name part is a given name, family name,
            prefix, suffix, etc. </xs:documentation>
        </xs:annotation>
      </xs:attribute>
      - <xs:attribute name="qualifier" use="optional" type="set_EntityNamePartQualifier">
        - <xs:annotation>
          <xs:documentation> is a set of codes each of which specifies a certain subcategory
            of the name part in addition to the main name part type. For example, a given
            name may be flagged as a nickname, a family name may be a pseudonym or a
            name of public records. </xs:documentation>
        </xs:annotation>
      </xs:attribute>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="en.delimiter" mixed="true">
  - <xs:complexContent mixed="true">
    - <xs:restriction base="ENXP">
      <xs:attribute name="partType" type="EntityNamePartType" fixed="DEL"/>
    </xs:restriction>

```



```

    </xs:complexContent>
  </xs:complexType>
- <xs:complexType name="en.family" mixed="true">
  - <xs:complexContent mixed="true">
    - <xs:restriction base="ENXP">
      <xs:attribute name="partType" type="EntityNamePartType" fixed="FAM"/>
    </xs:restriction>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="en.given" mixed="true">
  - <xs:complexContent mixed="true">
    - <xs:restriction base="ENXP">
      <xs:attribute name="partType" type="EntityNamePartType" fixed="GIV"/>
    </xs:restriction>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="en.prefix" mixed="true">
  - <xs:complexContent mixed="true">
    - <xs:restriction base="ENXP">
      <xs:attribute name="partType" type="EntityNamePartType" fixed="PFX"/>
    </xs:restriction>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="en.suffix" mixed="true">
  - <xs:complexContent mixed="true">
    - <xs:restriction base="ENXP">
      <xs:attribute name="partType" type="EntityNamePartType" fixed="SFX"/>
    </xs:restriction>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="EN" mixed="true">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> A name for a person, organization, place or thing. A sequence of name parts,
    such as given name or family name, prefix, suffix, etc. Examples for entity name values are
    "Jim Bob Walton, Jr.", "Health Level Seven, Inc.", "Lake Tahoe", etc. An entity name may
    be as simple as a character string or may consist of several entity name parts, such as, "Jim",
    "Bob", "Walton", and "Jr.", "Health Level Seven" and "Inc.", "Lake" and "Tahoe".
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:complexContent mixed="true">
    - <xs:extension base="ANY">
      - <xs:sequence>
        - <xs:choice minOccurs="0" maxOccurs="unbounded">
          <xs:element name="delimiter" type="en.delimiter"/>
          <xs:element name="family" type="en.family"/>
          <xs:element name="given" type="en.given"/>
          <xs:element name="prefix" type="en.prefix"/>
          <xs:element name="suffix" type="en.suffix"/>
        </xs:choice>
        - <xs:element name="validTime" type="IVL_TS" minOccurs="0">
          - <xs:annotation>
            <xs:documentation> An interval of time specifying the time during which the
            name is or was used for the entity. This accomodates the fact that people
            change names for people, places and things. </xs:documentation>
          </xs:annotation>
        </xs:element>
      </xs:sequence>
    - <xs:attribute name="use" use="optional" type="set_EntityNameUse">
      - <xs:annotation>

```

```

    <xs:documentation> A set of codes advising a system or user which name in a set
    of like names to select for a given purpose. A name without specific use code
    might be a default name useful for any purpose, but a name with a specific use
    code would be preferred for that respective purpose. </xs:documentation>
  </xs:annotation>
</xs:attribute>
</xs:extension>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="PN" mixed="true">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> A name for a person. A sequence of name parts, such as given name or
    family name, prefix, suffix, etc. PN differs from EN because the qualifier type cannot include
    LS (Legal Status). </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:complexContent mixed="true">
    <xs:extension base="EN"/>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="ON" mixed="true">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> A name for an organization. A sequence of name parts. </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:complexContent mixed="true">
    - <xs:restriction base="EN">
      - <xs:sequence>
        - <xs:choice minOccurs="0" maxOccurs="unbounded">
          <xs:element name="delimiter" type="en.delimiter"/>
          <xs:element name="prefix" type="en.prefix"/>
          <xs:element name="suffix" type="en.suffix"/>
        </xs:choice>
        - <xs:element name="validTime" type="IVL_TS" minOccurs="0">
          - <xs:annotation>
            <xs:documentation> An interval of time specifying the time during which the
            name is or was used for the entity. This accomodates the fact that people
            change names for people, places and things. </xs:documentation>
          </xs:annotation>
        </xs:element>
      </xs:sequence>
    - <xs:attribute name="use" use="optional" type="set_EntityNameUse">
      - <xs:annotation>
        <xs:documentation> A set of codes advising a system or user which name in a set
        of like names to select for a given purpose. A name without specific use code
        might be a default name useful for any purpose, but a name with a specific use
        code would be preferred for that respective purpose. </xs:documentation>
      </xs:annotation>
    </xs:attribute>
  </xs:restriction>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="TN" mixed="true">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> A restriction of entity name that is effectively a simple string used for a
    simple name for things and places. </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:complexContent mixed="true">
    - <xs:restriction base="EN">
      - <xs:sequence>
        - <xs:element name="validTime" type="IVL_TS" minOccurs="0">

```

```

- <xs:annotation>
  <xs:documentation> An interval of time specifying the time during which the
    name is or was used for the entity. This accomodates the fact that people
    change names for people, places and things. </xs:documentation>
  </xs:annotation>
</xs:element>
</xs:sequence>
</xs:restriction>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType abstract="true" name="QTY">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> is an abstract generalization for all data types (1) whose value set has an
      order relation (less-or-equal) and (2) where difference is defined in all of the data type's
      totally ordered value subsets. The quantity type abstraction is needed in defining certain other
      types, such as the interval and the probability distribution. </xs:documentation>
  - <xs:appinfo>
    <diff>QTY</diff>
  </xs:appinfo>
  </xs:annotation>
  - <xs:complexContent>
    <xs:extension base="ANY"/>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:simpleType name="int">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> Integer numbers (-1,0,1,2, 100, 3398129, etc.) are precise numbers that are
      results of counting and enumerating. Integer numbers are discrete, the set of integers is
      infinite but countable. No arbitrary limit is imposed on the range of integer numbers. Two
      NULL flavors are defined for the positive and negative infinity. </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  <xs:restriction base="xs:integer"/>
</xs:simpleType>
- <xs:complexType name="INT">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> Integer numbers (-1,0,1,2, 100, 3398129, etc.) are precise numbers that are
      results of counting and enumerating. Integer numbers are discrete, the set of integers is
      infinite but countable. No arbitrary limit is imposed on the range of integer numbers. Two
      NULL flavors are defined for the positive and negative infinity. </xs:documentation>
  - <xs:appinfo>
    <diff>INT</diff>
    - <sch:pattern name="validate INT">
      - <sch:rule abstract="true" id="rule-INT">
        <sch:report test="(@value or @nullFlavor) and not(@value and
          @nullFlavor)"/>
      </sch:rule>
    </sch:pattern>
  </xs:appinfo>
  </xs:annotation>
  - <xs:complexContent>
    - <xs:extension base="QTY">
      <xs:attribute name="value" use="optional" type="int"/>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:simpleType name="real">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> Fractional numbers. Typically used whenever quantities are measured,
      estimated, or computed from other real numbers. The typical representation is decimal, where

```

the number of significant decimal digits is known as the precision. Real numbers are needed beyond integers whenever quantities of the real world are measured, estimated, or computed from other real numbers. The term "Real number" in this specification is used to mean that fractional values are covered without necessarily implying the full set of the mathematical real numbers. </xs:documentation>

```

</xs:annotation>
<xs:union memberTypes="xs:decimal xs:double"/>
</xs:simpleType>
- <xs:complexType name="REAL">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> Fractional numbers. Typically used whenever quantities are measured,
      estimated, or computed from other real numbers. The typical representation is decimal, where
      the number of significant decimal digits is known as the precision. Real numbers are needed
      beyond integers whenever quantities of the real world are measured, estimated, or computed
      from other real numbers. The term "Real number" in this specification is used to mean that
      fractional values are covered without necessarily implying the full set of the mathematical
      real numbers. </xs:documentation>
  - <xs:appinfo>
    <diff>REAL</diff>
    - <sch:pattern name="validate REAL">
      - <sch:rule abstract="true" id="rule-REAL">
        <sch:report test="(@nullFlavor or @value) and not(@nullFlavor and
          @value)"/>
      </sch:rule>
    </sch:pattern>
  </xs:appinfo>
</xs:annotation>
- <xs:complexContent>
  - <xs:extension base="QTY">
    <xs:attribute name="value" use="optional" type="real"/>
  </xs:extension>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="PQR">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> A representation of a physical quantity in a unit from any code system. Used
      to show alternative representation for a physical quantity. </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:complexContent>
    - <xs:extension base="CV">
      - <xs:attribute name="value" use="optional" type="real">
        - <xs:annotation>
          <xs:documentation> The magnitude of the measurement value in terms of the unit
            specified in the code. </xs:documentation>
        </xs:annotation>
      </xs:attribute>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="PQ">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> A dimensioned quantity expressing the result of a measurement act.
    </xs:documentation>
  - <xs:appinfo>
    <diff>PQ</diff>
  </xs:appinfo>
</xs:annotation>
- <xs:complexContent>
  - <xs:extension base="QTY">

```

```

- <xs:sequence>
  - <xs:element name="translation" type="PQR" minOccurs="0"
    maxOccurs="unbounded">
    - <xs:annotation>
      <xs:documentation> An alternative representation of the same physical
        quantity expressed in a different unit, of a different unit code system and
        possibly with a different value. </xs:documentation>
    </xs:annotation>
  </xs:element>
</xs:sequence>
- <xs:attribute name="value" use="optional" type="real">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> The magnitude of the quantity measured in terms of the unit.
    </xs:documentation>
  </xs:annotation>
</xs:attribute>
<!-- 20080314 unit default deleted -->
- <xs:attribute name="unit" use="optional" type="cs">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> The unit of measure specified in the Unified Code for Units of
      Measure (UCUM) [http://aurora.rg.iupui.edu/UCUM]. </xs:documentation>
  </xs:annotation>
</xs:attribute>
</xs:extension>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="MO">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> A monetary amount is a quantity expressing the amount of money in some
      currency. Currencies are the units in which monetary amounts are denominated in different
      economic regions. While the monetary amount is a single kind of quantity (money) the
      exchange rates between the different units are variable. This is the principle difference
      between physical quantity and monetary amounts, and the reason why currency units are not
      physical units. </xs:documentation>
  - <xs:appinfo>
    <diff>MO</diff>
    - <sch:pattern name="validate MO">
      - <sch:rule abstract="true" id="rule-MO">
        <sch:report test="not(@nullFlavor and (@value or @currency))"/>
      </sch:rule>
    </sch:pattern>
  </xs:appinfo>
</xs:annotation>
- <xs:complexContent>
  - <xs:extension base="QTY">
    - <xs:attribute name="value" use="optional" type="real">
      - <xs:annotation>
        <xs:documentation> The magnitude of the monetary amount in terms of the
          currency unit. </xs:documentation>
      </xs:annotation>
    </xs:attribute>
    - <xs:attribute name="currency" use="optional" type="cs">
      - <xs:annotation>
        <xs:documentation> The currency unit as defined in ISO 4217.
        </xs:documentation>
      </xs:annotation>
    </xs:attribute>
  </xs:extension>
</xs:complexContent>

```

```

</xs:complexType>
- <xs:complexType name="RTO">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> A quantity constructed as the quotient of a numerator quantity divided by a
    denominator quantity. Common factors in the numerator and denominator are not
    automatically cancelled out. supports titers (e.g., "1:128") and other quantities produced by
    laboratories that truly represent ratios. Ratios are not simply "structured numerics",
    particularly blood pressure measurements (e.g. "120/60") are not ratios. In many cases REAL
    should be used instead of . </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:complexContent>
    <xs:extension base="RTO_QTY_QTY"/>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:simpleType name="probability">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> The probability assigned to the value, a decimal number between 0 (very
    uncertain) and 1 (certain). </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:restriction base="xs:double">
    <xs:minInclusive value="0.0"/>
    <xs:maxInclusive value="1.0"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
- <xs:complexType name="EIVL.event">
  - <xs:annotation>
    <xs:documentation> A code for a common (periodical) activity of daily living based on which the
    event related periodic interval is specified. </xs:documentation>
  </xs:annotation>
  - <xs:complexContent>
    - <xs:restriction base="CE">
      <xs:attribute name="code" use="optional" type="TimingEvent"/>
      <xs:attribute name="codeSystem" type="uid" fixed="2.16.840.1.113883.5.139"/>
      <xs:attribute name="codeSystemName" type="st" fixed="TimingEvent"/>
    </xs:restriction>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<!-- Instantiated templates -->
- <xs:complexType name="SXCM_TS">
  - <xs:complexContent>
    - <xs:extension base="TS">
      - <xs:attribute name="operator" use="optional" type="SetOperator" default="I">
        - <xs:annotation>
          <xs:documentation> A code specifying whether the set component is included
          (union) or excluded (set-difference) from the set, or other set operations with
          the current set component and the set as constructed from the representation
          stream up to the current point. </xs:documentation>
        </xs:annotation>
      </xs:attribute>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:simpleType name="set_TelecommunicationAddressUse">
  <xs:list itemType="TelecommunicationAddressUse"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="set_PostalAddressUse">
  <xs:list itemType="PostalAddressUse"/>
</xs:simpleType>
- <xs:simpleType name="set_EntityNamePartQualifier">

```

```

    <xs:list itemType="EntityNamePartQualifier"/>
  </xs:simpleType>
- <xs:complexType name="IVL_TS">
  - <xs:complexContent>
    - <xs:extension base="SXCM_TS">
      - <xs:choice minOccurs="0">
        - <xs:sequence>
          - <xs:element name="low" type="IVXB_TS">
            - <xs:annotation>
              <xs:documentation> The low limit of the interval. </xs:documentation>
            </xs:annotation>
          </xs:element>
          - <xs:choice minOccurs="0">
            - <xs:element name="width" type="PQ" minOccurs="0">
              - <xs:annotation>
                <xs:documentation> The difference between high and low
                  boundary. The purpose of distinguishing a width property is to
                  handle all cases of incomplete information symmetrically. In
                  any interval representation only two of the three properties
                  high, low, and width need to be stated and the third can be
                  derived. </xs:documentation>
              </xs:annotation>
            </xs:element>
            - <xs:element name="high" type="IVXB_TS" minOccurs="0">
              - <xs:annotation>
                <xs:documentation> The high limit of the interval.
              </xs:documentation>
            </xs:annotation>
          </xs:choice>
        </xs:sequence>
        - <xs:element name="high" type="IVXB_TS">
          - <xs:annotation>
            <xs:documentation/>
          </xs:annotation>
        </xs:element>
        - <xs:sequence>
          - <xs:element name="width" type="PQ">
            - <xs:annotation>
              <xs:documentation> The difference between high and low boundary. The
                purpose of distinguishing a width property is to handle all cases of
                incomplete information symmetrically. In any interval
                representation only two of the three properties high, low, and width
                need to be stated and the third can be derived. </xs:documentation>
            </xs:annotation>
          </xs:element>
          - <xs:element name="high" type="IVXB_TS" minOccurs="0">
            - <xs:annotation>
              <xs:documentation> The high limit of the interval. </xs:documentation>
            </xs:annotation>
          </xs:element>
        </xs:sequence>
        - <xs:sequence>
          - <xs:element name="center" type="TS">
            - <xs:annotation>
              <xs:documentation> The arithmetic mean of the interval (low plus high
                divided by 2). The purpose of distinguishing the center as a semantic
                property is for conversions of intervals from and to point values.
              </xs:documentation>
            </xs:annotation>
          </xs:element>
        </xs:sequence>
      </xs:choice>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>

```

```

        </xs:annotation>
      </xs:element>
    - <xs:element name="width" type="PQ" minOccurs="0">
      - <xs:annotation>
        <xs:documentation> The difference between high and low boundary. The
          purpose of distinguishing a width property is to handle all cases of
          incomplete information symmetrically. In any interval
          representation only two of the three properties high, low, and width
          need to be stated and the third can be derived. </xs:documentation>
        </xs:annotation>
      </xs:element>
    </xs:sequence>
  </xs:choice>
</xs:extension>
</xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:complexType name="IVXB_TS">
  - <xs:complexContent>
    - <xs:extension base="TS">
      - <xs:attribute name="inclusive" use="optional" type="bl" default="true">
        - <xs:annotation>
          <xs:documentation> Specifies whether the limit is included in the interval (interval
            is closed) or excluded from the interval (interval is open).
          </xs:documentation>
        </xs:annotation>
      </xs:attribute>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
- <xs:simpleType name="set_EntityNameUse">
  <xs:list itemType="EntityNameUse"/>
</xs:simpleType>
- <xs:complexType name="RTO_QTY_QTY">
  - <xs:annotation>
    - <xs:appinfo>
      <diff>RTO_QTY_QTY</diff>
    </xs:appinfo>
  </xs:annotation>
  - <xs:complexContent>
    - <xs:extension base="QTY">
      - <xs:sequence>
        - <xs:element name="numerator" type="QTY">
          - <xs:annotation>
            <xs:documentation> The quantity that is being divided in the ratio. The
              default is the integer number 1 (one). </xs:documentation>
            </xs:annotation>
          </xs:element>
        - <xs:element name="denominator" type="QTY">
          - <xs:annotation>
            <xs:documentation> The quantity that divides the numerator in the ratio. The
              default is the integer number 1 (one). The denominator must not be zero.
            </xs:documentation>
            </xs:annotation>
          </xs:element>
        </xs:sequence>
      </xs:extension>
    </xs:complexContent>
  </xs:complexType>
</xs:schema>

```


特定健診・特定保健指導の電子的なデータ標準様式

8-1A 特定保健指導情報ファイル
(健診・保健指導機関等→医療保険者)
仕様説明書
Version 4.0

送付用ファイルアーカイブ仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

目次

1.	はじめに	1
1.1	目的	1
1.2	参考資料	1
2.	送付用ファイルアーカイブ仕様	1
2.1	フォルダ構成	1
2.1.1	ルートフォルダ	3
2.1.1.1	一般規則	3
2.1.1.2	健診機関から事業者への健診結果・決済情報提出時	4
2.1.1.3	事業者等から保険者への健診結果・決済情報提出時	4
2.1.2	データフォルダ	5
2.1.3	決済情報フォルダ	5
2.1.4	XMLスキーマフォルダ	6
2.2	ファイル命名規則	7
2.3	アーカイブ規則	8
2.4	各交換パターンにおけるファイル構成	8
3.	サンプル	9

送付用ファイルアーカイブ仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

修正履歴

2008.04.03 V1.51 より以後の修正履歴

日付	版	修正内容
2008年4月3日	1.51	厚労省通知と連携
2009年3月30日	2	<p>※仕様上の曖昧さを解消するため、および理解を助けるための説明を追加。</p> <p>※XML仕様上の変更はない。</p> <p>1.1 説明を適正化。</p> <p>2.4 表外の注に説明を補足。不要なフォルダは格納しないことを明記。また、国保に費用決済を伴わない特定健診結果データを提出する場合の注意を追記。</p>
2017年3月31日	3	<ul style="list-style-type: none"> ・他の仕様説明書と合わせてバージョンを「2」から「3」に修正 ・ファイル名「集計情報ファイル」を「決済情報集計ファイル」に修正 ・1.2 参考資料の資料名を修正 ・その他既存誤記修正
2020年3月31日	3.1	<p>オンライン資格確認等システムを活用した特定健診情報等の保険者間引継ぎ実施に伴い、特定健診情報等の閲覧用ファイルの新規追加に伴う変更内容を反映させた。</p> <p>■XML仕様上に関する修正 <閲覧ファイル追加に伴う修正></p> <p>2.1.1.3 事業者等から保険者への健診結果・決済情報提出時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表 5 実施区分コード (3:「匿名化済」を明記、5:新規追加、6~9:予備追加) <p>■XML仕様上に関する関係のない修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バージョンを「3」から「3.1」に修正 ・各種サンプル XML の日付変更
2023年3月31日	4	<p>■XML仕様上に関する修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施区分コードの名称変更に合わせて表 5 を修正 <p>■XML仕様上に関する関係のない修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本仕様書のファイル名を変更 ・バージョンを「3.1」から「4」に修正 ・1.1 目的の厚労省通知との対応関係に係る記載を削除 ・2.1.1.3 事業者等から保険者への健診結果あ 決済情報提出時の説明について、「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」の内容と重複する記載を削除 ・各種サンプルの年度変更 ・その他既存誤記及び見栄え修正

送付用ファイルアーカイブ仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

送付用ファイルアーカイブ仕様説明書

1. はじめに

1.1 目的

本書は、特定健診・特定保健指導データの電子的交換において、提出に必要な一連のファイルのフォルダ構成、及び、ファイル名の仕様を定めたものである。

本仕様は、以下の事項について規定する。

- ・ 特定健診・特定保健指導 送付用ファイルの格納体系及び配置体系
- ・ 特定健診・特定保健指導 送付用ファイルの圧縮形式

1.2 参考資料

下記は、この文書で参照している標準仕様及び研究報告書等の名称、バージョン、並びにその説明の一覧である。

- [1] 厚生労働省, 「標準的な健診・保健指導プログラム (改定版)」
- [2] 厚生労働省, 「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」
- [3] 総務省, 全国地方公共団体コード, <https://www.soumu.go.jp/denshijiti/code.html>

※[1]、[2]については、厚生労働省 HP 「特定健診・特定保健指導について」

(<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html>) に公表されている最新版を参照すること。

2. 送付用ファイルアーカイブ仕様

特定健診データ、及び、特定保健指導データの送付用ファイルアーカイブ仕様を示す。同一提出先に、特定健診データと特定保健指導データの両方を提出する場合でも、特定健診用と特定保健指導用のそれぞれ異なるアーカイブファイルを作成する。

この文書で「アーカイブ」とは、送付すべき複数の電子ファイルを一定の規則にもとづいて並べ (フォルダまたはディレクトリに配置し)、定められたルールにもとづいてファイル名やフォルダ名 (ディレクトリ名) を付与し、その上でそれらのファイルを1つのファイルに圧縮してまとめあげることを指している。

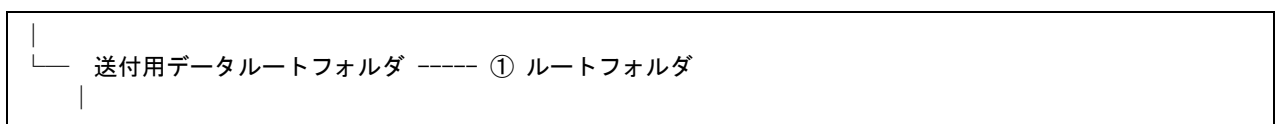
「ファイルアーカイブ」とは送付すべき複数の電子ファイルに対して上記の操作を実施することである。

「アーカイブファイル」とは上記の操作を実施した結果、作成される1つの送付用のファイル (圧縮ファイル) のことで、本仕様では圧縮方法に ZIP 圧縮形式を使用しているため、ひとつの ZIP ファイルを指す。

本規格は、事業者健診や健康増進法に基づくがん検診といった、特定健診以外の他の健診結果の送付時にも使用することができる。このとき、健診実施主体 (保険者や市町村衛生部門等) と健診機関との契約によって、1つの請求先に対して複数の健診事業の結果を提出することがありうる。その場合は、健診結果ファイル、決済情報ファイル、及び、それらを格納する送付用アーカイブファイルは、健診事業別にそれぞれ作成する。

2.1 フォルダ構成

特定健診データ、及び、特定保健指導データの送付用ファイルアーカイブのフォルダ構成を図1に示す。



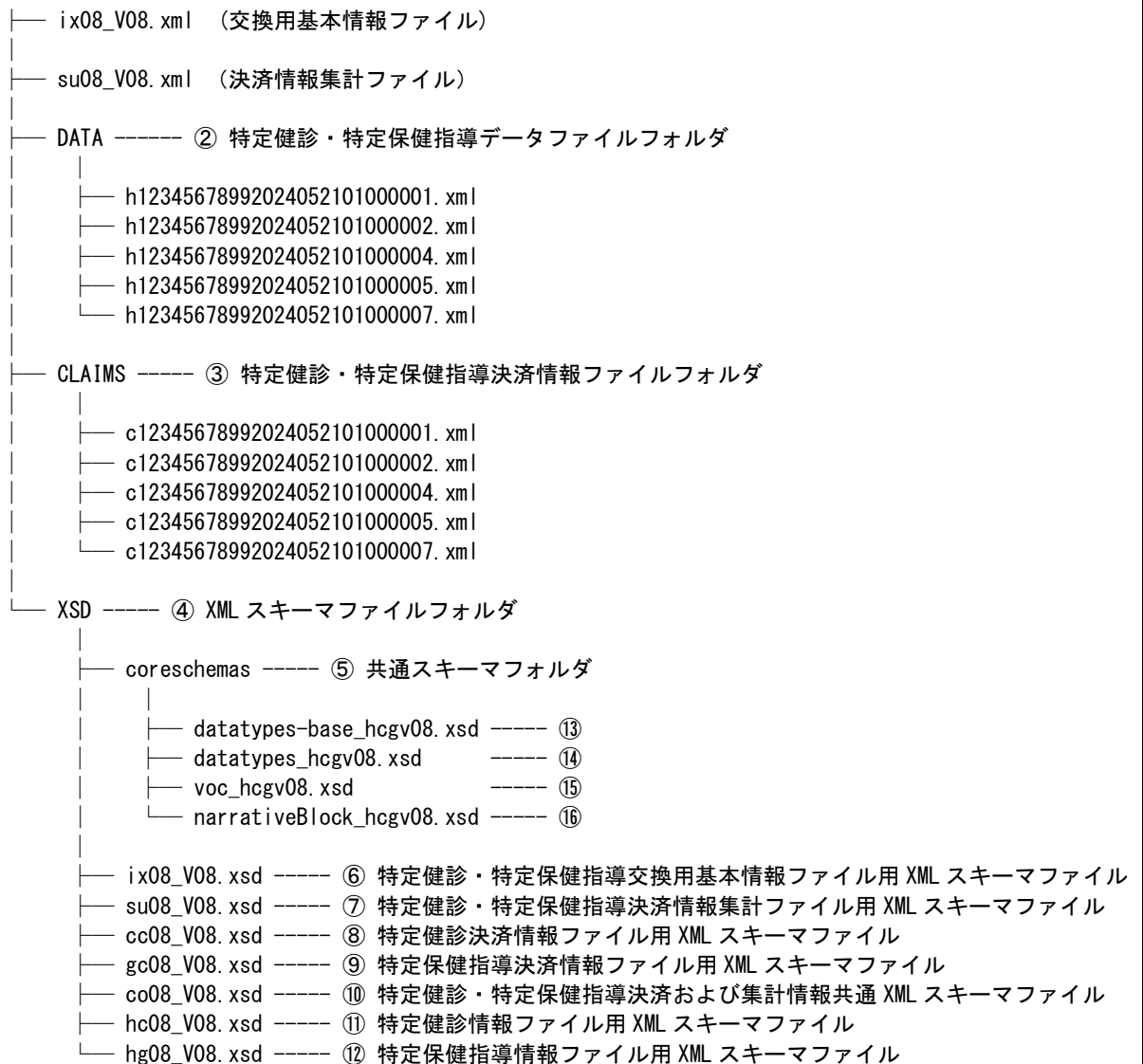


図1 送付用ファイルアーカイブのフォルダ構成

送付用ファイルアーカイブ仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

2.1.1 ルートフォルダ

送付用ファイルアーカイブのルートフォルダ名の命名規則を以下に示す。このフォルダには、特定健診情報・特定保健指導情報交換用基本情報ファイルと、決済情報集計ファイルを配置する。また、データファイルフォルダ、決済情報ファイルフォルダ、及び、XMLスキーマフォルダを含む。

2.1.1.1 一般規則

図1①に示される、送付用ファイルアーカイブのルートフォルダのフォルダ名は表1、表2に示すように、提出元機関の機関番号、提出先機関の機関番号、提出日、同一日分割番号、及び、実施区分コードから構成される。提出元機関または提出先機関が健診・保健指導機関の場合、機関番号は10桁となる。また、提出元機関または提出先機関が代行機関の場合、8桁の代行機関番号を指定する。提出元機関または提出先機関が保険者の場合、保険者番号は8桁未満の場合もあり得る。その場合は先頭をゼロ埋めし8桁とする。市町村への提出データは、全国地方公共団体コード[3]と市町村部門コード（表10）を組み合わせた7桁を提出先機関番号とする。提出日は西暦（YYYYMMDD形式）で指定する。同一日分割番号（N）は、表1に記載したルールで1桁の数字を指定する。実施区分コード（X）には、表5に示す実施区分を指定する。

[提出元機関番号]_[提出先機関番号]_[提出年月日(YYYYMMDD)]_[同日分割送信回数(N)]_[実施区分コード(X)]

表1 ルートフォルダ名規則

長さ	内容	フォーマット	例
8~10	提出元機関番号	nnnnnnnn[nn]	1234567890
7~10	提出先機関番号	nnnnnnn[nnn]	1234567899
8	提出年月日	yyyymmdd	20240612
1	同じ送信元機関から同じ送信先機関に同日に複数回送信する場合（同日分割送信）、送信回数識別番号。1回目の送信では0とし、同日に2回目以降の送信をする場合、1、2、3、…と増やしていく。最大9までとする。1回で送信を完了する場合にも0を指定する。	n	0
1	実施区分コード（表5）	n	1

送付用ファイルアーカイブ仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

表2 ルートフォルダ名に使用する各設定値

	特定健診/特定保健指導機関→代行機関	特定健診/特定保健指導機関→保険者	特定健診機関→市町村衛生部門	特定健診機関→市町村一般衛生部門	保険者→保険者
提出元機関番号	健診/保健指導機関番号	健診/保健指導機関番号	健診機関番号	健診機関番号	(異動元) 保険者番号
提出先機関番号	代行機関番号 (8桁)	保険者番号 (8桁: 8桁に満たない場合はゼロ埋めする)	全国地方公共団体コード[3]+市町村部門コード(表10) (7桁)	全国地方公共団体コード[3]+市町村部門コード(表10) (7桁)	(異動先) 保険者番号
種別コード(実施区分コード)	特定健診データ: 「1: 特定健診情報」 特定保健指導データ: 「2: 特定保健指導情報」	特定健診データ: 「1: 特定健診情報」 特定保健指導データ: 「2: 特定保健指導情報」	「4: 他の健診結果の受領分」	「4: 他の健診結果の受領分」	特定健診データ: 「1: 特定健診情報」 特定保健指導データ: 「2: 特定保健指導情報」

2.1.1.2 健診機関から事業者への健診結果・決済情報提出時

事業者健診や学校保健安全法による健診をおこなう事業者(学校の設置者等)は、代行機関番号や保険者番号のように、一意に識別可能な機関番号を持っていない。そのため、一般規則のルートフォルダ名において、提出先機関番号を使用しない形とする。

[提出元機関番号]_[提出年月日(YYYYMMDD)][同日分割送信回数(N)]_[実施区分コード(X)]

表3 事業者への結果提出時のルートフォルダ名規則

長さ	内容	フォーマット	例
10	提出元機関番号 健診機関番号 (10桁) を指定。	nnnnnnnnnn	1234567890
8	提出年月日	yyyymmdd	20240612
1	同じ送信元機関から同じ送信先機関に同日に複数回送信する場合(同日分割送信)、送信回数識別番号。1回目の送信では0とし、同日に2回目以降の送信をする場合、1、2、3、…と増やしていく。最大9までとする。1回で送信を完了する場合にも0を指定する。	n	0
1	実施区分コード 「4: 他の健診結果の受領分」 を指定。	n	1

2.1.1.3 事業者等から保険者への健診結果・決済情報提出時

事業者健診や学校保健安全法による健診をおこなう事業者(学校の設置者)は、代行機関番号や保険者番号のように、一意に識別可能な機関番号を持たない。そのため、一般規則のルートフォルダ名において、提出元機関番号は、特別な機関番号「5521111111」または「6631111116」を使用する。

付番ルールの詳細については、厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」4-5-1を参照。

送付用ファイルアーカイブ仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

例) 5521111111_[提出先機関番号]_[提出年月日(YYYYMMDD)]_[同日分割送信回数(N)]_[実施区分コード(X)]
 例) 6631111116_[提出先機関番号]_[提出年月日(YYYYMMDD)]_[同日分割送信回数(N)]_[実施区分コード(X)]

表 4 ルートフォルダ名規則

長さ	内容	フォーマット	例
10	提出元機関番号 特別な機関番号「5521111111」または「6631111116」を指定。	nnnnnnnnnn	1234567890
8	提出先機関番号 保険者番号(8桁)を指定。8桁に満たない場合はゼロ埋めする。	nnnnnnnn	12345678
8	提出年月日	yyyymmdd	20240612
1	同じ送信元機関から同じ送信先機関に同日に複数回送信する場合(同日分割送信)、送信回数識別番号。1回目の送信では0とし、同日に2回目以降の送信をする場合、1、2、3、…と増やしていく。最大9までとする。1回で送信を完了する場合にも0を指定する。	n	0
1	実施区分コード「4: 他の健診結果の受領分」を指定。	n	1

表 5 実施区分コード

コード名	コード	内容	備考
実施区分 コード	1	特定健診情報	
	2	特定保健指導情報	
	3	国への実績報告(匿名化済)	保険者での設定は不要
	4	他の健診結果の受領分	事業者健診の結果を受領した場合
	5	国への実績報告(匿名化前)	
	6	予備	
	7	予備	
	8	予備	
	9	予備	

2.1.2 データフォルダ

図1②に示されるフォルダ。フォルダ名は「DATA」とする。ルートフォルダ内に配置され、特定健診データファイル、及び、特定保健指導データファイルを含む。データファイルの命名規則は2.2節に示す。

2.1.3 決済情報フォルダ

図1③に示されるフォルダ。フォルダ名は「CLAIMS」とする。ルートフォルダ内に配置され、特定健診決済情報ファイル、及び、特定保健指導決済情報ファイルを含む。データファイルの命名規則は2.2節に示す。

送付用ファイルアーカイブ仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

2.1.4 XML スキーマフォルダ

図 1 ④ に示されるフォルダ。フォルダ名は「XSD」とする。ルートフォルダ内に配置され、特定健診・特定保健指導データの電子的交換に必要な XML スキーマを含む。図 1 ⑥～⑫ に示される各 XML スキーマの詳細を表 3 に示す。各ファイル名の「V08」の部分は、そのスキーマのバージョン番号を表しており、今後スキーマが改訂される度に番号が更新される。

表 6 特定健診・特定保健指導 XML スキーマファイル

図 1 中の番号	ファイル名	内容	備考
⑥	ix08_V08. xsd	特定健診・特定保健指導交換用基本情報ファイル用 XML スキーマファイル	
⑦	su08_V08. xsd	特定健診・特定保健指導決済情報集計ファイル用 XML スキーマファイル	
⑧	cc08_V08. xsd	特定健診決済情報ファイル用 XML スキーマファイル	特定健診 送付用ファイルアーカイブでのみ必要
⑨	gc08_V08. xsd	特定保健指導決済情報ファイル用 XML スキーマファイル	特定保健指導用 送付用ファイルアーカイブでのみ必要
⑩	co08_V08. xsd	特定健診・特定保健指導決済および集計情報共通 XML スキーマファイル	ix08_V08. xsd、su08_V08. xsd、cc08_V08. xsd、gc08_V08. xsd で共通に利用される
⑪	hc08_V08. xsd	特定健診情報ファイル用 XML スキーマファイル	特定健診 送付用ファイルアーカイブでのみ必要
⑫	hg08_V08. xsd	特定保健指導情報ファイル用 XML スキーマファイル	特定保健指導用 送付用ファイルアーカイブでのみ必要

健診情報 XML スキーマファイル「hc08_V08. xsd」と保健指導情報 XML スキーマファイル

「hg08_V08. xsd」の中から読み込まれて使用される、共通 XML スキーマファイルは、図 1 ⑤ に示される「coreschemas」フォルダ内に配置する。図 1 ⑬～⑯ に示される各 XML スキーマファイルの詳細を表 7 に示す。

表 7 特定健診・特定保健指導 XML スキーマファイル

図 1 中の番号	ファイル名	内容	備考
⑬	datatypes-base_hcgv08. xsd	HL7 データ型基本 XML スキーマファイル	
⑭	datatypes_hcgv08. xsd	HL7 データ型拡張 XML スキーマファイル	
⑮	voc_hcgv08. xsd	HL7 ボキャブラリドメイン XML スキーマファイル	
⑯	narrativeBlock_hcgv08. xsd	CDA 説明ブロック XML スキーマファイル	

送付用ファイルアーカイブ仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

2.2 ファイル命名規則

特定健診データファイル、特定保健指導データファイル、及び、それぞれの決算情報ファイルの命名規則を表8に示す。送付用アーカイブファイル内に、ある受診者の結果データと対応する決済情報が含まれる場合、両者のファイルは1対1に対応し、先頭の記号1文字(hとc、gとp)を除き同一のファイル名を持つ。ただし、個別契約の場合には、健診結果データのみ、または、保健指導結果データのみを委託元に提出する場合があります。その場合には、健診（保健指導）決済情報ファイル、及び、決済情報集計ファイルを含める必要はなく、健診（保健指導）結果データ、XMLスキーマファイル、及び、交換用基本情報ファイルのみを送付用アーカイブファイルに含める。

また、保険者間における異動者の健診/保健指導結果データ提出に関しては、健診データファイル名、及び、保健指導データファイル名は自由とし、以下の規則に従う必要はない。

表8 特定健診・特定保健指導ファイル命名規則

開始位置	長さ	内容	フォーマット	例
1	1	h:特定健診データファイル c:特定健診決済情報ファイル g:特定保健指導データファイル p:特定保健指導決済情報ファイル	X	h
2	10	健診機関番号 (事業者等から保険者へ提出する場合は、「5521111111」または「6631111116」)。	nnnnnnnnnn	1234567899
12	8	ファイル生成日付またはアーカイブ生成日付	yyyymmdd	20240612
20	1	同じ送信元機関から同じ送信先機関に同日に複数回送信する場合(同日分割送信)、送信回数識別番号。1回目の送信では0とし、同日に2回目以降の送信をする場合、1、2、3、…と増やしていく。最大9までとする。1回で送信を完了する場合にも0を指定する。	n	0
21	1	種別(表2)	n	1
22	6	同一フォルダ内で同一ファイル名とならないように振られた6桁の数字	nnnnnn	000005
28	4	拡張子「.xml」	-	.xml

送付用ファイルアーカイブ仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

2.3 アーカイブ規則

送付用データはZIP形式¹による圧縮を行う。圧縮ファイルのファイル名は「ルートフォルダ名.zip」とする。

2.4 各交換パターンにおけるファイル構成

代表的な交換パターンにおける送付用ファイルアーカイブの構成を表9に示す。

表9 各交換パターンにおける送付用ファイルアーカイブ構成

	保険者→ 保険者 (異動者)	事業者→ 保険者	特定健診/ 特定保健指導 機関→代行 機関	特定健診/ 特定保健 指導機関 →保険者	特定健診機 関→事業者 ²	特定健診機関 →市町村衛生 部門	特定健診機 関→市町村 一般衛生部 門
交換用 基本情 報ファ イル	○	○	○	○	○	○	○
決済情 報集計 ファイ ル	—	—	○	○注1	○注1	○*1	○注1
健診デ ータフ ァイル	○	○	○	○	○	○	○
健診決 済情報 ファイ ル	—	—	○	△注1,2	△注1,2	△注1,2	△注1,2
保健指 導デー タファ イル	○	—	○	○	—	—	—
保健指 導決済 情報フ ァイル	—	—	○	△注1	—	—	—

注1：健診結果、保健指導結果のみを提出する場合は、交換用基本情報ファイル、及び、健診データファイル、保健指導データファイルのみでよい。

注2：国保システムの「費用決済を伴わない特定健診結果データ」の場合は、決済情報にある「委託料単価区分コード」が必要となるため、決済情報は必須となる。

表10 市町村部門コード（本仕様独自コード）

コード名	コード	内容	備考
市町村部 門 コード	1	市町村介護部門	
	2	市町村一般衛生部門	
	3	介護部門と一般衛生部門を兼務の場合	

¹ <http://www.pkware.com/documents/casestudies/APPNOTE.TXT>

² 学校保健安全法の対象となる学校の設置者も含む

送付用ファイルアーカイブ仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

3. サンプル

以下の特定健診データの送付用ファイルアーカイブのフォルダ構成の例を図3に示す。

健診機関番号	0123456789
提出先機関番号	代行機関 99991234
提出日	令和6年6月10日
同一日、同一送信先への送信回数	1回目
特定健診情報ファイル件数	5件
特定健診情報ファイル作成日	令和6年6月5日
特定健診決済情報ファイル件数	5件
特定健診決済情報ファイル作成日	令和6年6月5日

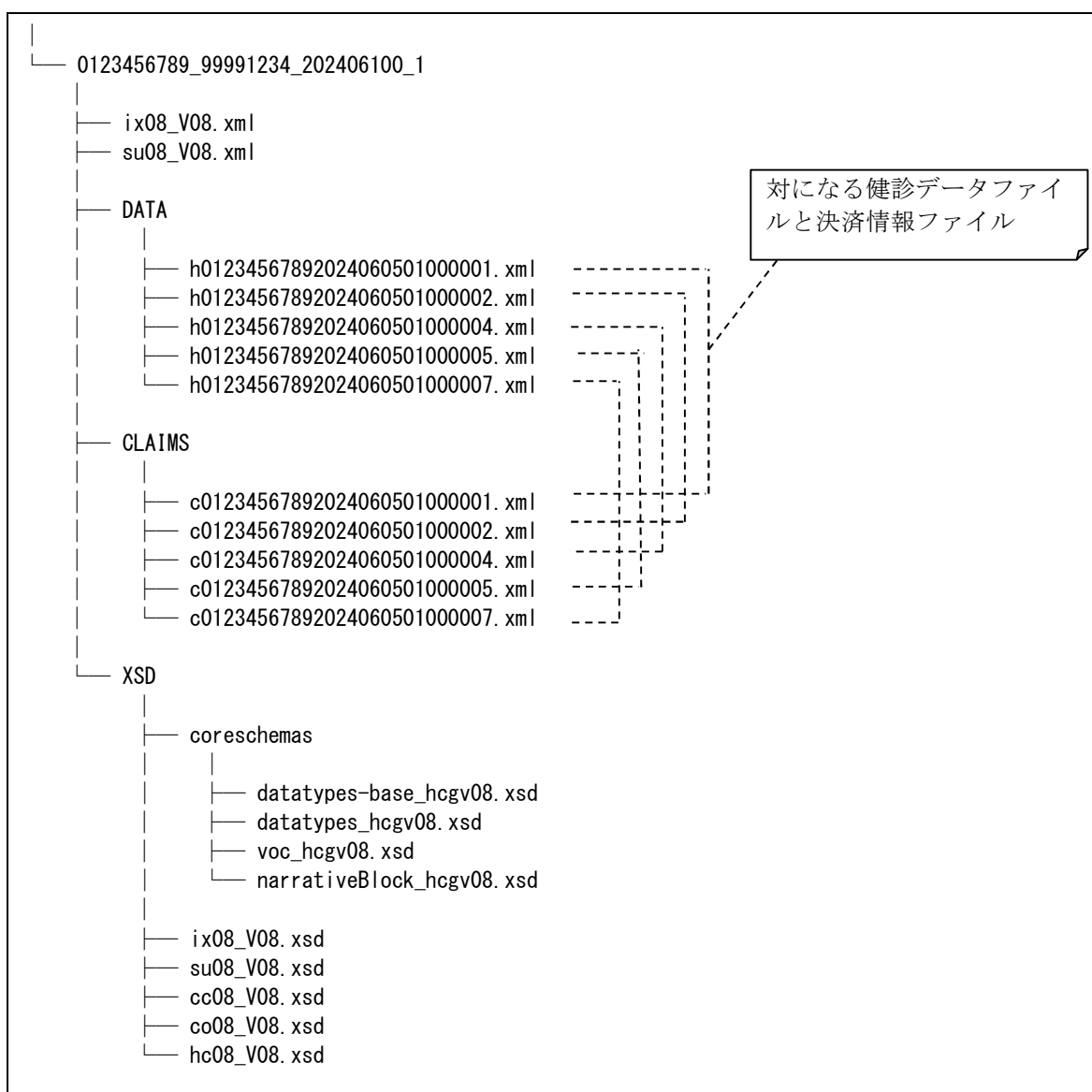


図2 サンプルのフォルダ構成

送付用ファイルアーカイブ仕様説明書	Version: 4
	2023.03.31

Ver.4

本説明文書は、厚生労働省保険局医療介護連携政策課医療費適正化対策推進室により修正されました。また、「第4期特定健診・特定保健指導の見直しに関する検討会」の下に設置された「システム改修に関するワーキンググループ」の作業班メンバーや、ここに記載していない多くの方々の献身的な貢献により検討された成果に基づいています。

システム改修に関するワーキンググループ作業班

特定健診・特定保健指導の電子的なデータ標準様式

8-2B 提出用データアーカイブ仕様

Version 4

	Version: 4
	2023.03.31

目次

1.	はじめに	1
1.1	目的	1
1.2	参考資料	1
1.3	改訂履歴	1
2.	提出用アーカイブ仕様	3
2.1	フォルダ構成	3
2.1.1	ルートフォルダ	3
2.1.1.1	ルートフォルダ名	3
2.1.2	特定健診結果データフォルダ	5
2.1.3	特定保健指導結果データフォルダ	5
2.1.4	集計情報ファイルフォルダ	5
2.1.5	XMLスキーマフォルダ	7
2.2	ファイル命名規則	8
2.3	アーカイブ規則	8
2.4	アーカイブファイルを分割する場合	8
3.	サンプル	10

	Version: 4
	2023.03.31

提出用データアーカイブ仕様

1. はじめに

1.1 目的

本書は、特定健診・特定保健指導データの電子的交換において、保険者が特定健診・特定保健指導の実績報告として国へ提出する際、または支払基金が国へ提出する際のいずれかにおいて作成する、一連のファイルとフォルダ構成、及び、ファイル名の仕様を定めたものである。

本仕様は、以下の事項について規定する。

- ・ 特定健診・特定保健指導提出用データの格納体系及び配置体系
- ・ 特定健診・特定保健指導提出用データの圧縮形式

1.2 参考資料

下記は、この文書で参照している標準仕様及び研究報告書等の名称、バージョン、並びにその説明の一覧である。

[1] 厚生労働省、「標準的な健診・保健指導プログラム（改定版）」

[2] 厚生労働省、「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」

※[1]、[2]については、厚生労働省HP「特定健診・特定保健指導について」

(<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html>) に公表されている最新版を参照すること。

1.3 修正履歴

日付	版	修正内容
-	1.1	2.1.1.1 ルートフォルダ名 の命名規則を変更。本文、表1を改訂。
-	3.1	他の標準仕様書にあわせてバージョンを「3.0」に変更。 1.2参考資料の資料名を修正V3.1オンライン資格確認等システムを活用した特定健診情報等の保険者間引継ぎ実施に伴い、本文書を保険者から支払基金への実績報告（匿名化前）、及び支払基金から国への実績報告（匿名化済）に使用することとした変更を反映させた。 (修正内容) - 文書名の変更。および他文書名変更に伴う参照名の変更。 1.1目的（保険者から支払基金、支払基金から国） 2.1.1.1ルートフォルダ名 ・表2実施区分コード（3:「匿名化済」を明記、5:「匿名化前」を新規追加、6~9:予備追加） 2.2ファイル命名規約 ・表7ファイル命名規約（報告先の違いによりファイル名に含める実施区分コードの説明を追加） ・バージョンを「3」から「3.1」に修正 ・各種サンプルXMLの日付変更 ・その他既存誤記及び見栄え修正
2023年3月31日	4	■XML仕様上に関する修正 ・実施区分コードの名称変更に合わせて表2を修正 ■XML仕様上に関係のない修正

	Version: 4
	2023.03.31

		<ul style="list-style-type: none">• 本仕様書のファイル名を変更• バージョンを「3.1」から「4」に修正• 1.1 目的の厚労省通知との対応関係に係る記載を削除• 各種サンプルの年度変更• その他既存誤記及び見栄え修正
--	--	---

2. 提出用アーカイブ仕様

特定健診情報ファイル、及び、特定保健指導情報ファイルを、保険者が実績報告として国へ提出する際、および支払基金が国へ提出する際には、提出するファイルを定められたファイル名とフォルダ構成で配置する。本書は、これらのファイル構成に関する仕様を示す。提出用に構成された一連のファイルを、提出用アーカイブと呼ぶ。

2.1 フォルダ構成

特定健診データ、及び、特定保健指導データの提出用アーカイブのフォルダ構成を図1に示す。

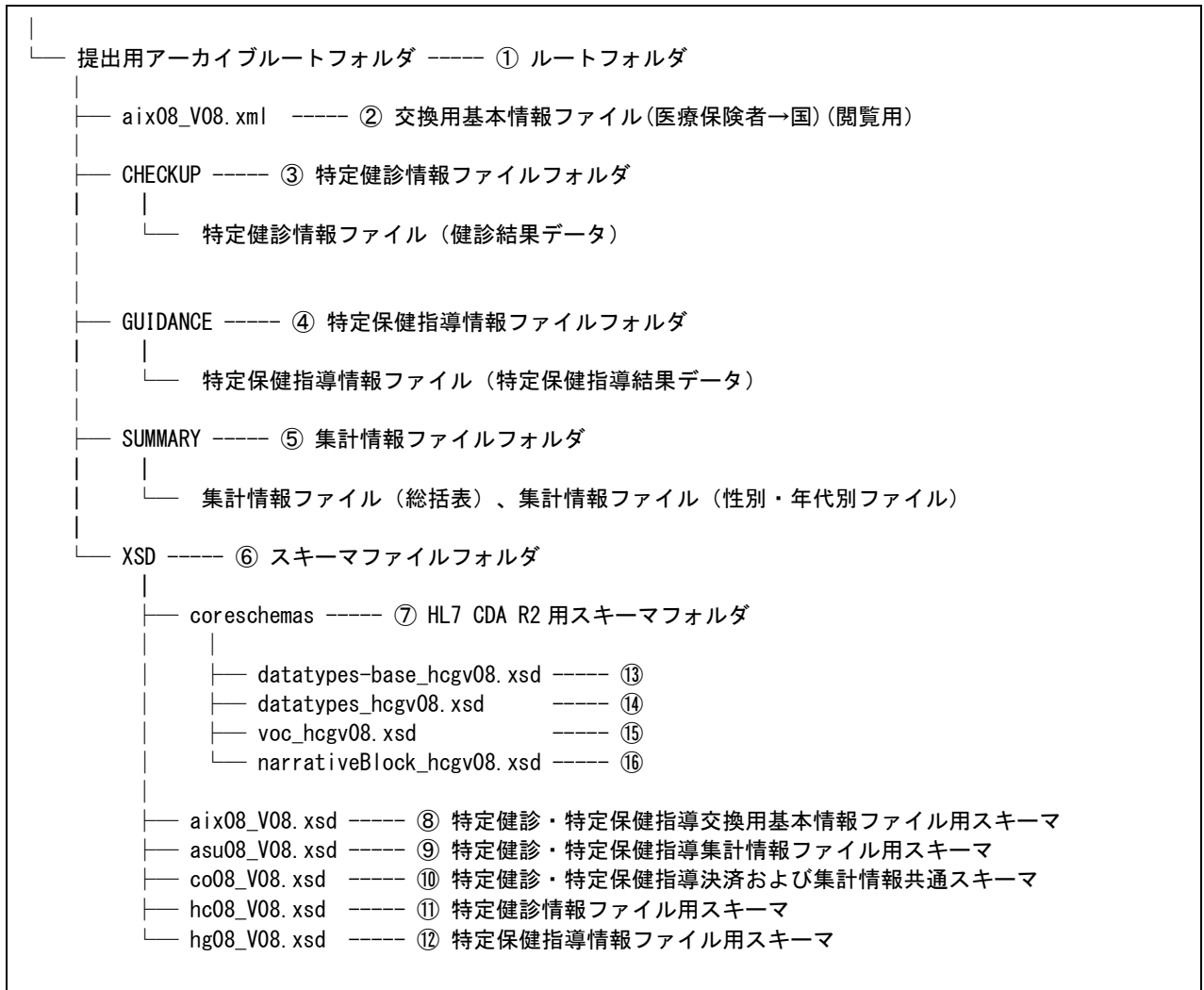


図1 提出用アーカイブのフォルダ構成

2.1.1 ルートフォルダ

図1①に示される国への実績報告提出用アーカイブファイルのルートフォルダには、交換用基本情報ファイル(医療保険者→国)(閲覧用) (図1②)が配置される。また、特定健診データファイルフォルダ(図1③)、特定保健指導データファイルフォルダ(図1④)、集計情報ファイルフォルダ(図1⑤)及び、XMLスキーマフォルダ(図1⑥)を含む。

2.1.1.1 ルートフォルダ名

国への実績報告提出用アーカイブファイルのルートフォルダのフォルダ名の命名規則を表1に示す。フォルダ名は、提出元機関の機関番号(すなわち保険者番号)、提出先機関(支払基金)番号

	Version: 4
	2023.03.31

94899010、報告対象年度、アーカイブ分割番号、及び、実施区分コードから構成される。提出元機関番号（保険者番号）が8桁未満の場合は先頭をゼロ埋めし8桁とする。報告対象年度は西暦（YYYY形式）で指定する（提出年度ではないことに注意）。アーカイブ分割識別番号（000NN）は、表1に記載したルールで01から99までの最大2桁の数値の先頭をゼロ埋めした5桁数字を指定する。実施区分コード（X）には、表2に示す実施区分のうち、保険者から国への提出時は「5：国への実績報告(匿名化前)」を、支払基金から国への提出時には「3：国への実績報告(匿名化済)」を指定する。

報告対象年度とそれにつづく000およびアーカイブ分割識別番号との間には区切り文字「_」は存在しないことに注意されたい。

[提出元機関番号]_94899010_[報告対象年度(YYYY)]000[アーカイブ分割識別番号(NN)]_[実施区分コード(X)]

表1 ルートフォルダ名規則

長さ	内容	フォーマット	例
8	提出元機関番号（保険者番号） 8桁に満たない場合は先頭をゼロ埋めする。	nnnnnnnn	12345678
8	提出先機関（支払基金）番号「94899010」を指定する。	nnnnnnnn	94899010
4	報告対象年度を西暦4桁で指定する。 提出年度ではないことに注意。	yyyy	2024
3	ゼロ3桁（固定値）を指定する。	nnn	000
2	アーカイブ分割識別番号。 提出用ファイルを複数に分割する場合、分割番号を01から最大99までで指定する。1ファイルの場合でも「01」を指定する。	nn	01
1	実施区分コード（表2）	n	5

表2 実施区分コード

網掛けは本仕様では使用しない。

コード名	コード	内容	備考
実施区分コード	1	特定健診情報	
	2	特定保健指導情報	
	3	国への実績報告(匿名化済)	保険者での設定は不要
	4	他の健診結果の受領分	事業者健診の結果を受領した場合
	5	国への実績報告(匿名化前)	
	6	予備	
	7	予備	
	8	予備	
	9	予備	

	Version: 4
	2023.03.31

2.1.2 特定健診結果データフォルダ

図1③に示されるフォルダ。フォルダ名は「**CHECKUP**」とする。特定健診結果データファイル（医療保険者→国）を格納する。データファイルの命名規則は2.2節に示す。

2.1.3 特定保健指導結果データフォルダ

図1④に示されるフォルダ。フォルダ名は「**GUIDANCE**」とする。特定保健指導結果データファイル（医療保険者→国）を格納する。データファイルの命名規則は2.2節に示す。

2.1.4 集計情報ファイルフォルダ

図1⑤に示されるフォルダ。フォルダ名は「**SUMMARY**」とする。特定健診・特定保健指導集計情報ファイル（医療保険者→国）総括表、及び、性別・年代別ファイルを含む。各ファイルのファイル名命名規則は表3の通りである。なお、2.4節で説明するように、提出用アーカイブファイルを複数に分割して提出する場合には、最終のアーカイブファイル以外には集計情報ファイルフォルダはフォルダ自体が格納されない。

【総括表】

asu08_V08_all.xml	※全対象者
asu08_V08_[男女区分コード(X)].xml	※男女別

【性別・年代別ファイル】

asu08_V098_[年代下限(NN)]_[年代上限(NN)]_[男女区分コード(X)].xml

	Version: 4
	2023.03.31

表3 集計情報ファイルファイル名

番号	ファイル名	内容
1	asu08_V08_all.xml	実績報告用集計情報ファイル（総括表、全対象者）。
2	asu08_V08_1.xml	実績報告用集計情報ファイル（総括表、男性）。
3	asu08_V08_2.xml	実績報告用集計情報ファイル（総括表、女性）。
4	asu08_V08_40_44_1.xml	実績報告用集計情報ファイル（40～44歳、男性）。
5	asu08_V08_40_44_2.xml	実績報告用集計情報ファイル（40～44歳、女性）。
6	asu08_V08_45_49_1.xml	実績報告用集計情報ファイル（45～49歳、男性）。
7	asu08_V08_45_49_2.xml	実績報告用集計情報ファイル（45～49歳、女性）。
8	asu08_V08_50_54_1.xml	実績報告用集計情報ファイル（50～54歳、男性）。
9	asu08_V08_50_54_2.xml	実績報告用集計情報ファイル（50～54歳、女性）。
10	asu08_V08_55_59_1.xml	実績報告用集計情報ファイル（55～59歳、男性）。
11	asu08_V08_55_59_2.xml	実績報告用集計情報ファイル（55～59歳、女性）。
12	asu08_V08_60_64_1.xml	実績報告用集計情報ファイル（60～64歳、男性）。
13	asu08_V08_60_64_2.xml	実績報告用集計情報ファイル（60～64歳、女性）。
14	asu08_V08_65_69_1.xml	実績報告用集計情報ファイル（65～69歳、男性）。
15	asu08_V08_65_69_2.xml	実績報告用集計情報ファイル（65～69歳、女性）。
16	asu08_V08_70_74_1.xml	実績報告用集計情報ファイル（70～74歳、男性）。
17	asu08_V08_70_74_2.xml	実績報告用集計情報ファイル（70～74歳、女性）。

表4 男女区分コード

コード名	コード	内容
男女区分 コード	1	男
	2	女

	Version: 4
	2023.03.31

2.1.5 XML スキーマフォルダ

図 1 ⑥ に示されるフォルダ。フォルダ名は「XSD」とする。特定健診・特定保健指導機関フォルダ内に配置され、特定健診・特定保健指導データの電子的交換に必要な XML スキーマを含む。図 1 ⑧～⑫ に示される各 XML スキーマの詳細を表 5 に示す。表 5 および表 6 中で記載の「納品用ファイル」とは、健診機関・保健指導機関から保険者への報告用のファイルを意味する。

表 5 特定健診・特定保健指導 XML スキーマファイル

図 1 中の番号	ファイル名	内容	備考
⑧	aix08_V08. xsd	特定健診・特定保健指導交換用基本情報ファイル(医療保険者→国)(閲覧用) XML スキーマ	
⑨	asu08_V08. xsd	特定健診・特定保健指導集計情報ファイル(医療保険者→国) XML スキーマ	
⑩	co08_V08. xsd	特定健診・特定保健指導決済および集計情報共通スキーマ	納品用ファイルで使用する XML スキーマと同一。 aix08_V08. xsd、asu08_V08. xsd の中から読み込まれて共通に利用される。
⑪	hc08_V08. xsd	特定健診情報ファイル用スキーマ	納品用ファイルで使用する XML スキーマと同一。
⑫	hg08_V08. xsd	特定保健指導情報ファイル用スキーマ	納品用ファイルで使用する XML スキーマと同一。

健診情報 XML スキーマファイル「hc08_V08. xsd」と保健指導情報 XML スキーマファイル

「hg08_V08. xsd」の中から読み込まれて使用される、HL7 CDA R2 規格で定められた XML スキーマファイルは、図 1 ⑦ に示される「coreschemas」フォルダ内に配置する。図 1 ⑬～⑯ に示される各 XML スキーマの詳細を表 6 に示す。

表 6 特定健診・特定保健指導 XML スキーマファイル

図 1 中の番号	ファイル名	内容	備考
⑬	datatypes-base_hcgv08. xsd	HL7 データ型基本スキーマ	納品用ファイルで使用する XML スキーマと同一。
⑭	datatypes_hcgv08. xsd	HL7 データ型拡張スキーマ	
⑮	voc_hcgv08. xsd	HL7 ボキャブラリドメインスキーマ	
⑯	narrativeBlock_hcgv08. xsd	CDA 説明ブロックスキーマ	

	Version: 4
	2023.03.31

2.2 ファイル命名規則

特定健診結果データファイルと特定保健指導結果データファイルの命名規則を表7に示す。提出用アーカイブファイル内に、ある受診者の特定健診結果データと対応する特定保健指導結果データが含まれる場合、両者のファイルは1対1に対応し、先頭の記号1文字(hとg)を除き同一のファイル名を持つ。

表7 特定健診・特定保健指導ファイル命名規則

開始位置	長さ	内容	フォーマット	例
1	1	h:特定健診データファイル g:特定保健指導データファイル	X	h
2	8	保険者番号 8桁に満たない場合は先頭をゼロ埋めする。	nnnnnnnn	12345678
10	4	報告対象年度（西暦4桁）	yyyy	2024
14	2	アーカイブ分割識別番号。 提出用アーカイブファイルを複数個に分割する際に01から最大99までの番号を指定。	nn	01
16	1	実施区分コード（表2） ・保険者から国へ提出する場合は「5: 国への実績報告(匿名化前)」を指定。 ・支払基金から国へ提出する場合は「3: 国への実績報告(匿名化済)」を指定。	n	5
17	6	同一フォルダ内で同一ファイル名とならないように振られた6桁の数字。 必ずしも連番でなくてもよい。	nnnnnn	000005
23	4	拡張子「.xml」	-	.xml

2.3 アーカイブ規則

提出用データはZIP形式¹による圧縮を行う。圧縮ファイルのファイル名は「ルートフォルダ名.zip」とする。

2.4 アーカイブファイルを分割する場合

提出ファイルのファイル数が多くなる場合、ファイルサイズの観点から、全ファイルを1つのアーカイブファイルに含めることが困難な場合がある。その場合は、提出用アーカイブファイルを複数個に分割してもよい。提出用アーカイブファイルを分割する場合、以下の規則で個々のアーカイブファイルを構成する。

- ① アーカイブ分割識別番号を01、02、03…と最大99まで増やし、各アーカイブファイルのルートフォルダのフォルダ名、及び、特定健診・特定保健指導結果データファイルのファイル名に当該番号を指定する。
- ② 交換用基本情報ファイルのアーカイブ分割識別番号、及び、総アーカイブファイル数に、対応するアーカイブ分割識別番号と総ファイル数を指定する。
- ③ 特定健診情報ファイル、特定保健指導情報ファイルのファイル名のアーカイブ分割番号に、対応するアーカイブ分割識別番号を指定する。
- ④ 集計情報ファイルフォルダは、最後のアーカイブにしか格納しない。言い換えると、交換用基本情報ファイルの総アーカイブファイル数とアーカイブ分割識別番号が等しくなるアーカイブ

¹ <http://www.pkware.com/documents/casestudies/APPNOTE.TXT>

	Version: 4
	2023.03.31

イブファイルにのみ格納する。

例えば、特定健診結果ファイル数 120,000 件、特定保健指導結果ファイル数 18,000 件を、50,000 件ずつ 3 つの提出用アーカイブファイルに格納する場合の格納イメージを示す。



図 2 提出用アーカイブファイルを分割する場合の構成イメージ図

	Version: 4
	2023.03.31

3. サンプル

以下の特定健診データの提出用アーカイブのフォルダ構成の例を図3に示す。

保険者番号	123456
報告対象年度	令和6（西暦2024）年度
アーカイブ分割数	1
特定健診情報ファイル件数	800件
特定保健指導情報ファイル件数	300件

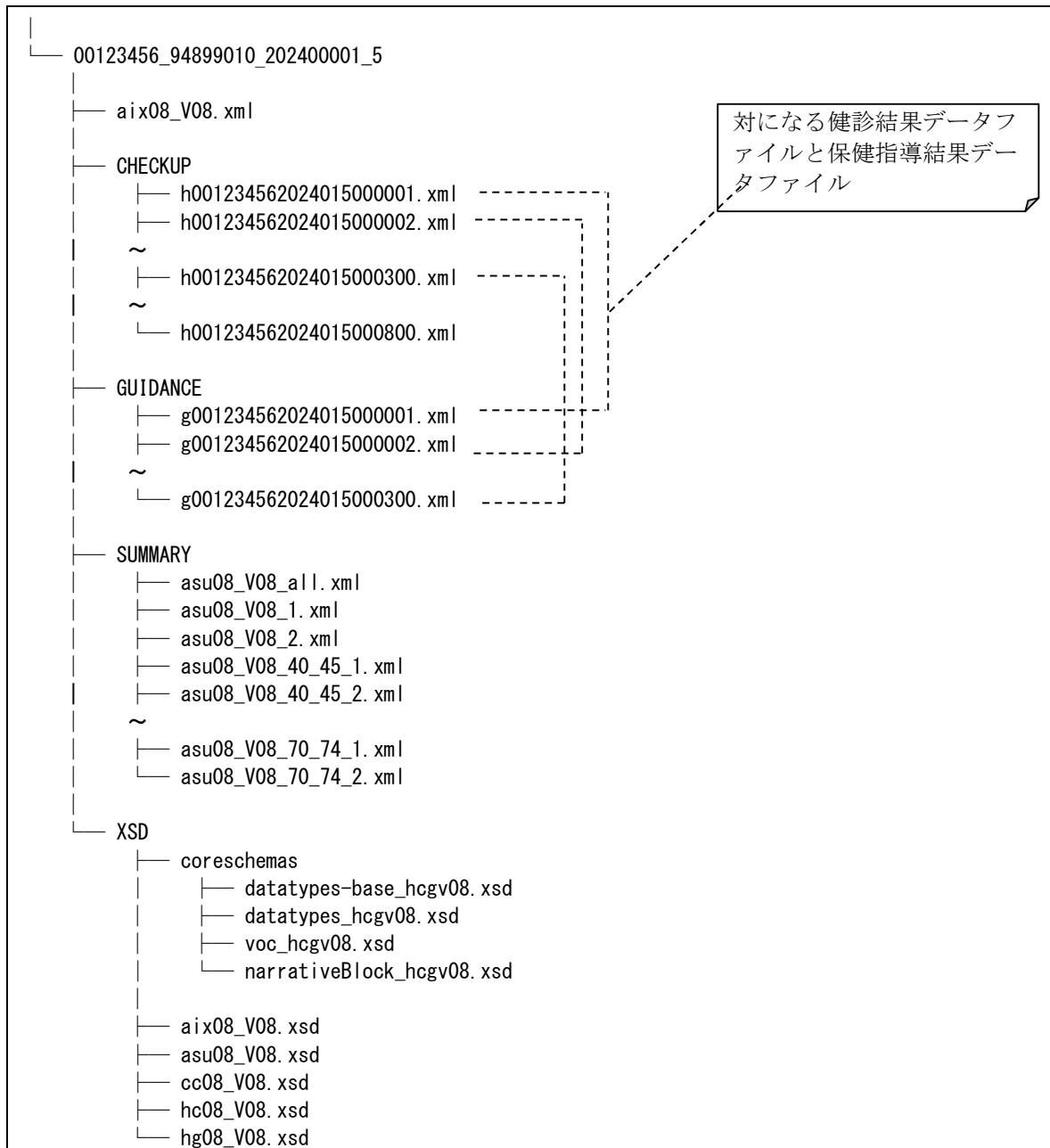


図3 サンプルのフォルダ構成

	Version: 4
	2023.03.31

Ver.4

本説明文書は、厚生労働省保険局医療介護連携政策課医療費適正化対策推進室により修正されました。また、「第4期特定健診・特定保健指導の見直しに関する検討会」の下に設置された「システム改修に関するワーキンググループ」の作業班メンバーや、ここに記載していない多くの方々の献身的な貢献により検討された成果に基づいています。

システム改修に関するワーキンググループ作業班

特定健診・特定保健指導の電子的なデータ標準様式

9-1B 特定健診情報ファイル
(閲覧用)
仕様説明書
Version 1.1

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version : 1.1
特定健診情報ファイル（閲覧用）仕様説明書	20230.03.31

目次

1.	はじめに	1
1.1	目的	1
1.2	参考資料	1
2.	概要	2
2.1	本文書の位置付け	2
2.2	記載内容の優先度	2
2.3	標準フォーマットの基本的な方針	2
2.3.1	1健診結果1ファイル	2
2.3.2	本標準フォーマットが対象とする健診情報	2
2.3.3	HL7CDA規格との関係	3
3.	特定健診情報ファイル仕様	6
3.1	全体構成の概要	6
3.2	ヘッダ部	7
3.2.1	名前空間	7
3.2.2	CDA管理情報	8
3.2.3	健診管理情報	8
3.2.3.1	受診者情報	11
3.2.3.2	ファイル作成機関の情報	17
3.2.3.3	ファイル作成管理責任機関情報	18
3.2.3.4	受診券情報	18
3.2.3.5	健診実施情報	18
3.3	ボディ部	18
4.	ボキャブラリ仕様	19
5.	本仕様に準拠したXML作成例	20
5.1	「保険者が健診機関から受領するファイル」を加工する例	20
5.2	5.1で登録した健診結果を削除依頼する場合の例	23

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version : 1.1
特定健診情報ファイル（閲覧用）仕様説明書	20230.03.31

修正履歴

日付	版	修正内容
2020.03.31	V1.0	初版
2023.03.31	V1.1	<ul style="list-style-type: none"> ■XML仕様上に関する修正 <ul style="list-style-type: none"> ・3.2.3.1 表4 No.6.7 「整理用番号5のチェックコード」を追加 ■XML仕様上に関係のない修正 <ul style="list-style-type: none"> ・本仕様書のファイル名を変更 ・バージョンを「1」から「1.1」に修正 ・2.1 本文書の位置付け等の厚労省通知との対応関係に係る記載を削除 ・「保険者から支払基金へ」という表現を「保険者から国へ」という表現に変更 ・各種サンプルの日付変更 ・その他既存誤記及び見栄え修正

本仕様書の適用範囲

本仕様説明書（Version1.1）は、令和6年4月1日以降に実施される特定健康診査による特定健診情報ファイル（閲覧用）から適用される。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version : 1.1
特定健診情報ファイル（閲覧用）仕様説明書	20230.03.31

特定健診情報ファイル（閲覧用） 仕様説明書

1. はじめに

1.1 目的

本文書の目的は、2008年から実施している特定健診の健診結果情報を、「オンライン資格確認等システム」を経由することにより保険者間で電子的に引継ぐ際に使用する、電子的なデータ標準様式の定義について詳細に説明することである。

保険者は、本仕様に準拠したデータを作成し、「オンライン資格確認等システム」への登録データとして社会保険診療報酬支払基金等（以下、支払基金等）に提出しなければならない。また、保険者からの要求によって提供される該当者の健診結果情報についても、本仕様に準拠したデータとして保険者に提供される。

1.2 参考資料

下記の表は、この文書で参照している標準仕様及び研究報告書等の名称、バージョン、並びにその説明の一覧である。

本文書での仕様等の引用名称	バージョン	説明
厚生労働省 特定健診プログラム	※	「標準的な健診・保健指導プログラム」
厚生労働省 特定健診プログラム手引書	※	「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」
HL7 Version 3	Normative 2005	HL7 Version 3 の 2005 年度 規範版パッケージ。CDA Release 2.0 の規格書が含まれる。
日本 HL7 協会 診療情報提供書	1.0	日本 HL7 協会が策定した、CDA R2 規格をベースとした診療情報提供書の規格。 http://www.hl7.jp/intro/std/HL7J-CDA-001.pdf
HL7 CRS	final draft	米国 HL7 協会が策定中の診療文書に関する実装ガイド。 Implementation Guide for CDA Release 2 – Level 1 and 2 – Care Record Summary (US realm), HL7, Inc., Final Text, June 8, 2006
XML	1.1	Extensible Markup Language http://www.w3.org/TR/2006/REC-xml11-20060816/
XPath	1.0	http://www.w3.org/TR/xpath
電子レセプト仕様書		「電子レセプトの作成手引き（医科）」社会保険診療報酬支払基金レセプト電算処理システム電子レセプト作成手引き http://www.ssk.or.jp/seikyushiharai/rezept/iryokikan/iryokikan_02.files/jiki_i01.pdf
健診機関健診情報ファイル仕様説明書（健診機関→保険者）	※	「3-1A 特定健診情報ファイル（健診・保健指導機関等→医療保険者）仕様説明書」

※厚生労働省 HP 「特定健診・特定保健指導について」

(<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html>) に公表されている最新版を参照すること。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version : 1.1
特定健診情報ファイル（閲覧用）仕様説明書	20230.03.31

2. 概要

2.1 本文書の位置付け

本文書は、「閲覧用特定健診情報ファイル」について、電子的なデータ標準様式（以下では閲覧用特定健診標準フォーマット、または単に標準フォーマットと記載する）を定義するものである。

標準フォーマットは XML 規格にもとづいている。XML 規格はデータ中に<aaa> ... </aaa> のようなタグと呼ばれるマークを埋め込むことにより、データの意味付けと構造に関する情報をデータと一緒に送信できるようにした言語規格で、インターネット上でのデータのやり取りや、コンピュータシステム間でのデータ交換、データベースからのデータの読み書きの際など広範に使用されるようになっている。XML 規格をある目的で使用する場合には、どのようなデータにどのようなタグをつけるか、またデータ同士をどのように階層化するかについて、その目的ごとに取り決める必要があり、その取り決めに関する規則は XML スキーマと呼ばれる方式で記述されたファイルで記述する。DTD と呼ばれる方式で記述する方法もあるが、最近は XML スキーマによる記述のほうが増えている。

本標準フォーマットは、XML スキーマで詳細が定義されており、ホームページに公開されている¹。DTD 形式による定義は提供されていない。本書はその XML スキーマの説明書としての位置付けであると同時に、XML スキーマでは記述しつくせない細かい制約事項を記載している。従って、本書は別途公開されている対応する XML スキーマファイルと併せて使用するものであり、それぞれ単独では意味をなさない。

2.2 記載内容の優先度

この文書の記載内容と最新の厚生労働省通知との記述に相違がある場合には、最新の厚生労働省通知 (<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html>) の記述を優先するものとする。

本文書と対をなして公表されている XML スキーマファイルでは、XML 要素や属性の出現多重度や選択性について、本文書での記載よりも緩い記述（制約条件が広い記述）になっていることがある。このような場合には、本文書に記載されている記述が優先するものとする。

2.3 標準フォーマットの基本的な方針

2.3.1 1 健診結果 1 ファイル

本標準フォーマットは、1 人の受診者の 1 回の特定健診の結果情報を、報告に際して必要となるヘッダー情報（健診機関に関する情報や日付、受診者を識別するための情報など）を含めた 1 つの XML 形式で格納し、1 個の電子ファイル（Windows や UNIX などのコンピュータオペレーティングシステムでひとつの電子ファイルとして扱われるファイル単位）とするものである。

1 人の受診者の 1 回の特定健診の結果情報ごとに 1 電子ファイルとし、複数回もしくは複数受診者の結果はその数だけの電子ファイルを別々に生成する方針をとっている。従って、1 電子ファイルに、複数回もしくは複数受診者の健診結果を格納することはできない。

2.3.2 本標準フォーマットが対象とする健診情報

本標準フォーマットは、提出対象となる特定健診・特定保健指導情報ファイルのうち「特定健康診

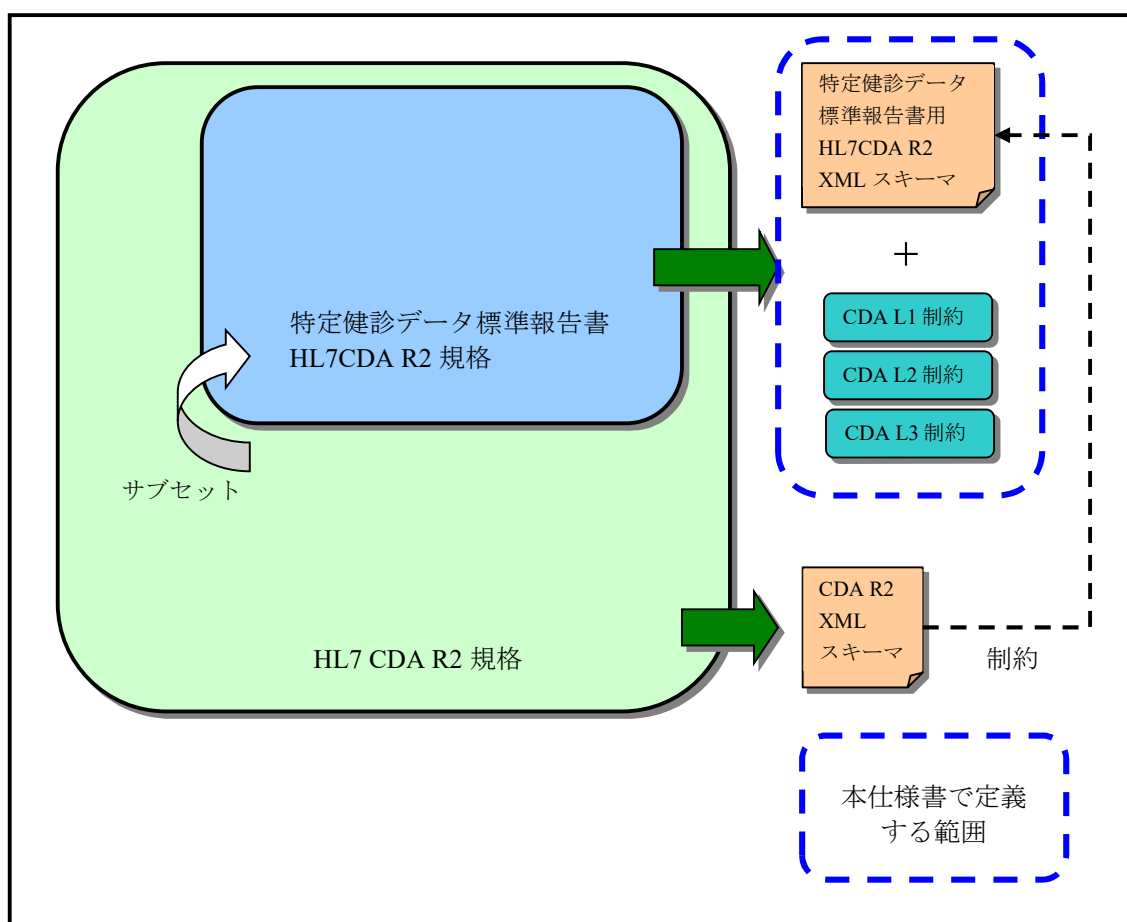
¹<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html>

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version : 1.1
特定健診情報ファイル（閲覧用）仕様説明書	20230.03.31

「査の実施状況に関する結果」を格納することを目的としている。

2.3.3 HL7 CDA規格との関係

本標準フォーマットは、HL7 CDA Release 2（以下 CDA R2）規格²に完全準拠するものとし、本標準フォーマット仕様は、HL7 CDA 規格で定義される XML スキーマに対して特定健診固有のさらなる制約を課すことで実現されている。各種制約のなかで、HL7CDA R2 仕様に対して、その XML 要素あるいは属性の多重度に対して適用される制約³や、コード値を限定するような制約については、HL7CDA R2 仕様の XML スキーマとなる「特定健診情報ファイル XML スキーマ」で定義され、その XML スキーマファイルが本説明書とは別に公開される。本説明書で解説される XML スキーマで妥当であると検証された XML インスタンス（XML ファイル）は、HL7CDA R2 XML スキーマに対しても妥当であることが必ず保証される。



² ANSI/HL7 CDA R2-2005 4/21/2005 版

³例えば CDA R2 仕様においてある要素の多重度が"0..*"であるものを"1..1"に制約するといった制約。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version : 1.1
特定健診情報ファイル（閲覧用）仕様説明書	20230.03.31

本仕様書では、XML タグ仕様を以下のような表形式で示す。ここで掲げる表と図は XML タグ仕様の読み方を示すために記載した架空のものであり、本仕様とは無関係のものとして見る必要がある。

XML-No	XPath	説明	多重度	選択性
3.2.1	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		0..*	O
3.2.1.1	code	セクションコード。	1..1	M
3.2.1.1.1	@code	セクションコードのニーモニック。	1..1	M
3.2.1.1.2	@codeSystem	セクションコードのコード体系を識別する OID。	1..1	M
3.2.1.1.3	@codeSystemVersion	セクションコードのコード体系バージョン。	0..1	O
3.2.1.2	title	セクションタイトル。	1..1	M
3.2.1.2.1	text()	セクションタイトルを示す文字列。	1..1	M

「XPath」の列に示される"/ClinicalDocument"から開始される文字列は、XML のルート要素から、この表で示される XML 要素までのパスを XPath により記述したものである。例えば上の表中の XPath "/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section" は、以下の XML の青枠で囲まれた section 要素の仕様を記述していることを示す。

```

<ClinicalDocument>
  <component>
    <structuredBody>
      <component>
        <section>
          <code code="ABCDE" codeSystem="123.456.7890.1" />
          <title>検体検査等</title>
        </section>
        ...
      </component>
    </structuredBody>
  </component>
</ClinicalDocument>

```

表中には XPath で示される要素の子要素を、表の各行に順に記述する。このとき、code や title などインデントされずに灰色の網掛けで表現される項目は、それが XML 要素であることを意味する。一方、@code や @codeSystem のようにインデントされ @ をつけて示される項目は、それが XML 属性であることを意味する。text() と示される項目は、XML テキスト内容を表す。

「多重度」は、指定された項目の出現数の最小値と最大値を“..”の両端に示す形で表現する。最大値に制限が無い場合は、“*” (アスタリスク) によって表現される。例えば、上の例で、section 要素に付けられた“0..*”という多重度は、指定された section 要素が XML 中に 0 個以上複数出現し、その出現数の最大値には制限がないことを示す。一方 title 要素は、section 要素が出現する際には必ず 1 つ出現することを示す。多重度が 0 とだけ記載されている場合には、既存の「健診機関健診情報ファイル仕様説明書（健診機関→保険者）」では要素または属性が存在していたが、本仕様では出現しないこととなった（使用しないこととなった）ことを明示しており、この場合当該要素または属性は出現してはならない。この場合次項の選択性は×となっている。

「選択性（オプションリティ）」は、M (Mandatory) または O (Optional) または×（出現してはならない）のいずれかの値で表現される。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version : 1.1
特定健診情報ファイル（閲覧用）仕様説明書	20230.03.31

Mは、必須値であり、その要素または属性は必ず1個以上出現し、かつ空文字列でない値が必ず格納されなければならない。

Oはオプション項目（任意出現項目）であり、記述すべき値が存在しない場合やある条件下では、省略する項目である。また記述すべき値がない（または記述すべき値が空文字列）場合には、その要素自体または属性自体を省略しなければならない。要素または属性を出現させて値は空文字列にすることは許可されない。Mが指定されている要素の多重度の最小値は必ず1以上となる。

Xは、既存の「健診機関健診情報ファイル仕様説明書（健診機関→保険者）」では要素または属性が存在していたが、本仕様では出現しないこととなった（使用しないこととなった）ことを明示しており、この場合当該要素または属性は出現してはならない。Xが指定されている項目の多重度は必ず0である。

表中でXML要素の階層の上位にある項目に対して下位に位置する項目の多重度や選択性を指定する場合、下位の項目の多重度および選択性は、上位の項目が出現する場合での制約を記述する。例えば、上の例で、**section**要素の選択性がO（Optional）であるのに、その下位の**code**要素の選択性がM（Mandatory）であるのは、**section**要素が存在する状況での**code**要素の選択性を示しており、**section**要素が存在するときには**code**要素が必ず出現しなければならないことを意味する。

上記の表で最初の列XML-NOは、本仕様書内で引用に便利ようにつけた番号で、すべての表を通じた一意の通し番号になっており、XML仕様Noとして引用される。

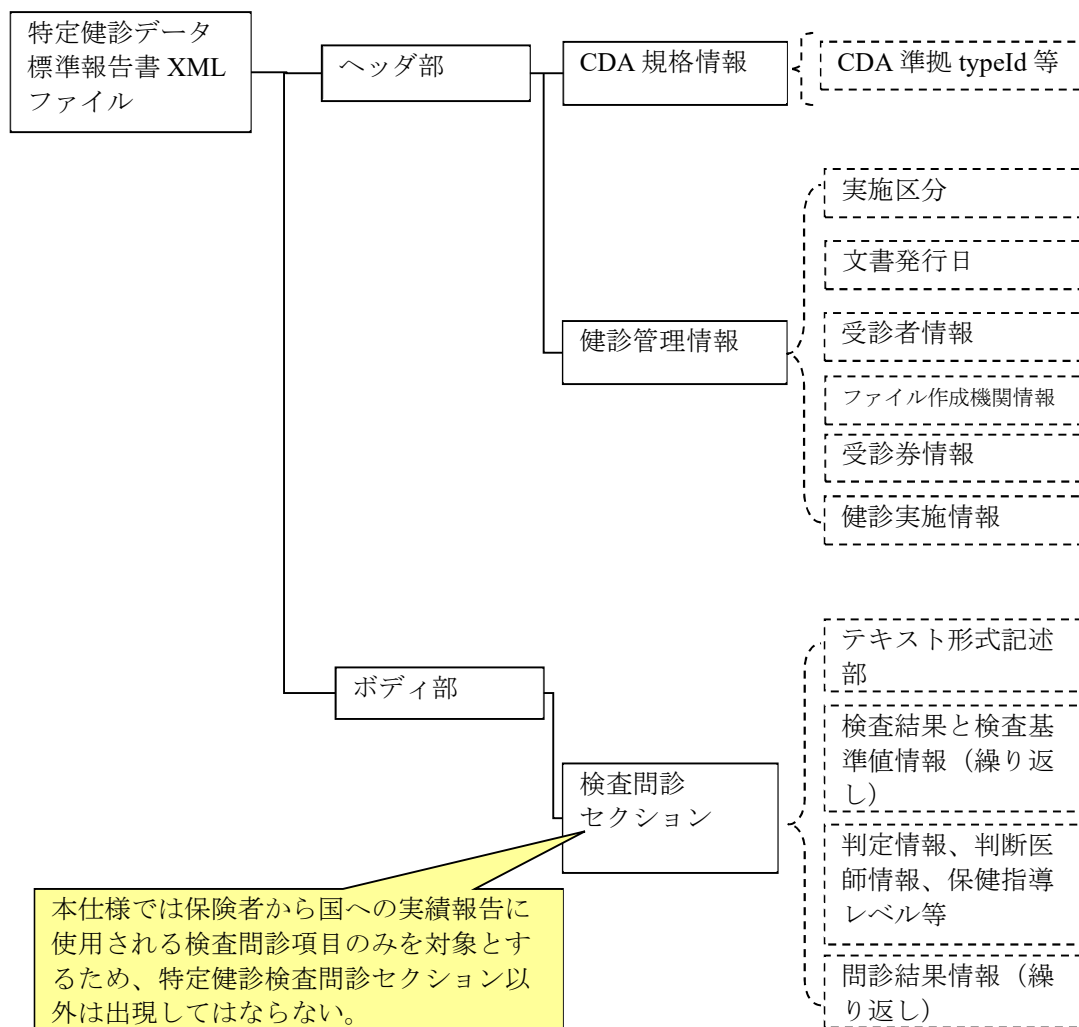
説明文中に最大バイト数の記載がある場合には、特に条件記載がない限り半角文字を1バイト、全角文字（シフトJIS系文字における2バイト文字）を2バイトを換算した場合の文字列バイト長を指すものとする。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version : 1.1
特定健診情報ファイル（閲覧用）仕様説明書	20230.03.31

3. 特定健診情報ファイル仕様

3.1 全体構成の概要

本標準フォーマットにもとづく XML ファイルは、ヘッダ部とボディ部からなる（下図）。



ヘッダ部には、CDA 規格上必要となるメッセージ種別など CDA 規格情報、記録されているイベント（健診、指導など）に関する実施区分や文書発行日（特定健診情報ファイルの作成日）情報、作成者情報、記録対象者（受診者）情報、受診券情報、健診実施日などの健診管理情報から構成される。

ボディ部には、健診結果の情報が、一部は人間可読なテキスト形式で記述されるとともに、コンピュータ処理を可能とするための形式で構造化されて記述される。

健診結果は、特定健診検査問診セクションだけからなる。⁴

⁴健診情報ファイル仕様説明書(健診機関→保険者)では、特定健診検査問診セクション以外に追加のセクションの配置が認められているが、本仕様では保険者から国への実績報告に使用される検査問診項目のみを対象とするため、特定健診検査問診セクション以外は出現してはならない。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version : 1.1
特定健診情報ファイル（閲覧用）仕様説明書	20230.03.31

3.2 ヘッダ部

3.2.1 名前空間

本仕様書で定義される XML インスタンスの名前空間は「**urn:hl7-org:v3**」とし、これをデフォルト名前空間として指定する。

また、本仕様書で定義される XML インスタンスでは、「**http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance**」という URI で識別される XML スキーマインスタンスの名前空間を使用する。

本仕様のスキーマファイルは「**hc08_V08.xsd**」というファイル名のファイルにより別途提供される。ここでこのファイル名中の **V08** は version 番号であり、今後スキーマファイルが一部修正された場合においても、リリースされたスキーマファイル名のバージョン番号部分を **V08** に名前を変更して使用するものとする。なお、将来の制度の改訂などにより、部分修正に留まらない大きな変更が加えられた場合には、これによらない場合がある。

下記は XML インスタンスの実例であり、本仕様に基づくすべての XML インスタンスは、スキーマファイル名の version 番号部分を除きこの部分を変更してはならない。

補足説明 1：本仕様でファイルを生成する側は、文字コードは UTF-8 を使用するものとする。

補足説明 2：UTF-8 文字コードのファイルをコンピュータプログラムにより生成する場合に、ファイルの冒頭の（通常のテキスト表示では見えない最初の）3 バイトに **Byte Order Mark**

（**BOM**）と呼ばれる 3 バイト **EF BB BF** (16 進)をつけるスタイルと、つけないスタイルの両方が世の中に存在する。本仕様でファイルを生成する側は、この **BOM** と呼ばれる 3 バイトを付与しないものとする。ソフトウェア開発者は、自分の使用する XML ファイル生成機能が自動的に **BOM** を付与するソフトかどうかを調べ、自動付与するスタイルのソフトウェアの場合には、生成されたファイルの第 1 バイト目からの先頭 3 バイトを削除することが必要である。どちらのソフトウェアであるかを調査するためには、テキスト表示ソフトでは通常表示されないの、冒頭の数バイトをプログラムで確認するなりして確認することが必要である。

一方、本仕様で生成されたファイルを受信する側では、生成側が誤って **BOM** を付けたファイルを生成している可能性を想定し、**BOM** の有無にかかわらず正しく処理できるようにすることが必要である。

補足説明 3：スキーマファイル名の version 番号部分は **V08** で統一する。下記の例で示すように、**hc08_V08.xsd** とするものとする。今後スキーマファイルが一部修正された場合においても、リリースされたスキーマファイル名を下図のようにバージョン番号部分を **V08** に名前を変更して使用するものとする。なお、将来の制度の改訂などにより、部分修正に留まらない大きな変更が加えられた場合には、これによらない場合がある。

なお、オペレーティングシステムによる違いの影響を排除するため、スキーマファイル名、その相対パス名の英大文字小文字の違いを意識するものとし、以下の通りとする。

スキーマファイル名を含む相対パス名： **../XSD/hc08_V08.xsd**

注：ピリオド 2 個で始まっていることから分かるように、スキーマファイルが格納されるフォルダ **XSD** は、本 XML ファイルが格納されるフォルダ（ディレクトリ）の兄弟フォルダである。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<ClinicalDocument xmlns="urn:hl7-org:v3"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="urn:hl7-org:v3 ../XSD/hc08_V08.xsd">
  ...
</ClinicalDocument>
```

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version : 1.1
特定健診情報ファイル（閲覧用）仕様説明書	20230.03.31

3.2.2 CDA 管理情報

特定健診情報ファイルのトップレベルの XML 要素である ClinicalDocument の最初の 2 つの要素は、HL7CDA に準拠する上で必要な情報であり、表 1 に示される 2 要素が含まれる。

これは、保険者から国への実績報告用ファイルと同一である。

表 1 ヘッダ部の CDA 管理情報

No	XPath	説明	厚労省公表資料との対応	多重度	選択性
0	/ClinicalDocument			1..1	M
1	typeId	タイプ ID。準拠している CDA R2 仕様を識別する。		1..1	M
1.1	@root	HL7 に登録されている成果物の名前空間 OID となる「2.16.840.1.113883.1.3」を設定。		1..1	M
1.2	@extension	CDA R2 仕様のバージョンを一意に識別する成果物識別子である「POCD_HD000040」を設定。		1..1	M
2	Id	生成されたファイルをユニークに識別する ID。		1..1	M
2.1	@nullFlavor	未使用としヌル値を意味する“NI”を設定。		1..1	M

3.2.3 健診管理情報

CDA 管理情報の 2 つの要素につづく要素は、健診管理情報であり、表 2 に示される項目からなる。

ここでは、保険者から国への実績報告用ファイルに対して次の加工を行うことが必要である。

- 1) 表 2 XML 仕様 No.4.1（ファイル作成日）：作成元保険者が本ファイルを作成した日付に上書き設定。
- 2) 同仕様 No.6（受診者情報）：アップロード時には加工不要。ダウンロード時にダウンロード保険者向けデータを追記する。詳細は 3.2.3.1 節参照
- 3) 同 No.7（ファイル作成機関情報）：加工不要
- 4) 同 No.8（ファイル作成管理責任機関情報）：加工不要
- 5) 同 No.10（健診実施情報）：加工不要

表 2 ヘッダ部の健診管理情報

No	XPath	説明	厚労省公表資料との対応	多重度	選択性
0	/ClinicalDocument			1..1	M
3	code	報告区分を表すコードを設定。このファイルが作成された目的や作成タイミングなどの情報を格納するために使用される。		1..1	M
3.1	@code	報告区分コード 2 桁 <ul style="list-style-type: none"> ・上位 1 桁は特定健診受診情報の実施区分に対応する ・下位 1 桁は通常は「0」、提出済健診情報の削除依頼時は「9」とする。 (設定値)	1 桁目（10 の位）は実施区分コード。	1..1	M

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version : 1.1
特定健診情報ファイル（閲覧用）仕様説明書	20230.03.31

		通常の特健診結果登録依頼の場合、「10」を設定する。 提出済健診情報の削除依頼の場合、「19」を設定する。		
3.2	@codeSystem	コードのコード体系を識別する OID。 「1.2.392.200119.6.1001」を設定。	1..1	M
3.3	@displayName	使用しない。存在しなくてもよい。	0..1	O
4	effectiveTime	本ファイルのオフィシャルなファイル作成日（実際のファイル作成日と異なることもあり）。この日付をもって本データを提出したこととして取り扱う日。 ※健診機関より受領したファイル中に格納されている本要素の日付を書き換える必要がある。	1..1	M
4.1	@value	「YYYYMMDD」。	1..1	M
5	confidentialityCode	守秘レベルコード。HL7 ポキャブラリドメイン Confidentiality の値を使用。	1..1	M
5.1	@code	守秘レベルコード。通常時の守秘レベルを表す「N」を設定。	1..1	M
5.2	@codeSystem	XML ファイルサイズを小さくするため当面使用しなくてよいが、使用する場合には守秘レベルコードのコード体系を識別する OID。 「2.16.840.1.113883.5.25」固定。	0..1	O
6	recordTarget	受診者情報。構造を含め詳細は、3.2.3.1 節に記載。	1..1	M
7	author	本ファイルを作成し提出する保険者側の情報（通常は送付元に相当する）。構造を含め詳細は、3.2.3.2 節に記載。	1..1	X
8	custodian	本ファイル作成管理責任機関情報。本仕様では使用しないが HL7CDA 規格上必須であるため、3.2.3.3 節のように記述するものとする。	1..1	M
9	participant	受診者の受診券に関する情報。3.2.3.4 節に記載。	0..1	O
10	documentationOf	健診実施情報。詳細は、3.2.3.5 節に記載。	1..1	M

ヘッダ部の XML サンプルを以下に示す。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version : 1.1
特定健診情報ファイル（閲覧用）仕様説明書	20230.03.31

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<ClinicalDocument xmlns="urn:hl7-org:v3"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="urn:hl7-org:v3 ../XSD/hc08_V08.xsd">
  <typeId root="2.16.840.1.113883.1.3" extension="POCD_HD000040" />
  <id nullFlavor="NI"/>
  <!-- 報告区分 10=特定健診情報-->
  <!-- ※ただし、登録済健診情報の削除依頼時は 19 を設定する-->
  <code code="10" codeSystem="1.2.392.200119.6.1001" />
  <!-- 文書発行日（西暦） -->
  <effectiveTime value="20240901" />
  <confidentialityCode code="N" />
  <!-- 受診者情報 -->
  <recordTarget>...</recordTarget>
  <!-- ファイル作成機関情報 -->
  <author>...</author>
  <!-- ファイル作成管理責任機関情報 -->
  <custodian>...</custodian>
  <!-- 健診実施情報 -->
  <documentationOf>...</documentationOf>
    <component>...</component>
    ...
</ClinicalDocument>

```

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version : 1.1
特定健診情報ファイル（閲覧用）仕様説明書	20230.03.31

3.2.3.1 受診者情報

ClinicalDocument の子要素である **recordTarget** 要素で受診者情報を記述する。健診データ項目一覧表のうち、表 3 に示す項目がこの要素で表現される。

表 3 受診者情報に含まれる項目

項目名	XML仕様 No	XPath
保険者番号	6.8.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/id/@extension
被保険者証等記号	6.9.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/id/@extension
被保険者証等番号	6.10.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/id/@extension
被保険者証等枝番	6.11.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/id/@extension
保険者番号(ダウンロード保険者)	6.12.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/id/@extension
被保険者証等記号(ダウンロード保険者)	6.13.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/id/@extension
被保険者証等番号(ダウンロード保険者)	6.14.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/id/@extension
被保険者証等枝番(ダウンロード保険者)	6.15.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/id/@extension
受診者の氏名	6.19.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/patient/name/text()
受診者の生年月日	6.21.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/patient/birthTime/@value
受診者の性別	6.20.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/patient/administrativeGenderCode/@code
資格区分	6.7.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/id/@extension
受診者の郵便番号	6.17.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/addr/postalCode/text()
受診者の住所	6.16.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/addr/text()

受診者情報の XML 仕様の詳細を表 4 に示す。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version : 1.1
特定健診情報ファイル（閲覧用）仕様説明書	20230.03.31

表 4 受診者情報 XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
6	/ClinicalDocument/recordTarget		1..1	M
6.1	patientRole	受診者情報	1..1	M
6.2	patientRole/id	整理用番号1 ※1	0	X
6.2.1	@extension	「整理用番号1」に対応する文字列。 保険者からの実績報告(匿名化前)用出力データの場合は出現させない。	1..1	M
6.2.2	@root	整理用番号1のOID。「1.2.392.200119.6.202」を設定。	1..1	M
6.3	patientRole/id	整理用番号2 ※1	0	X
6.3.1	@extension	「整理用番号2」に対応する文字列。 保険者からの実績報告(匿名化前)用出力データの場合は出現させない。	1..1	M
6.3.2	@root	整理用番号2のOID。「1.2.392.200119.6.203」を設定。	1..1	M
6.4	patientRole/id	整理用番号3 ※1	0	X
6.4.1	@extension	「整理用番号3」に対応する文字列。 保険者からの実績報告(匿名化前)用出力データの場合は出現させない。	1..1	M
6.4.2	@root	整理用番号3のOID。「1.2.392.200119.6.900」を設定。	1..1	M
6.5	patientRole/id	整理用番号4 将来的な活用可能性を考え、何らかの個人識別番号を入れられる枠を設けておく。	0	X
6.5.1	@extension	「整理用番号4」に対応する文字列。 保険者からの実績報告(匿名化前)用出力データの場合は出現させない。	1..1	M
6.5.2	@root	整理用番号4のOID。「1.2.392.200119.6.18010」を設定。	1..1	M
6.6	patientRole/id	整理用番号5 将来的な活用可能性を考え、何らかの個人識別番号を入れられる枠を設けておく。	0	X
6.6.1	@extension	「整理用番号5」に対応する文字列。 保険者からの実績報告(匿名化前)用出力データの場合は出現させない。	1..1	M
6.6.2	@root	整理用番号5のOID。「1.2.392.200119.6.18020」を設定。	1..1	M
6.7	patientRole/id	整理用番号5のチェックコード。保険者からの実績報告(匿名化前)用出力データの場合は出現させない。	0	X
6.7.1	@extension	「整理用番号5のチェックコード」の値。整理用番号5付番時の状況を表すコード。保険者からの実績報告(匿名化前)用出力データの場合は出現させない。	1..1	M
6.7.2	@root	整理用番号5のチェックコードのOID。「1.2.392.200119.6.21010」を設定。保険者からの	1..1	M

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version : 1.1
特定健診情報ファイル（閲覧用）仕様説明書	20230.03.31

		実績報告（匿名化前）用出力データの場合は出現させない。		
6.8	patientRole/id	資格区分 > 保険者より国へ報告する際に利用するものであり、健診機関からの出力データには出現しない。 資格は、特定健康診査においては受診日時点、特定保健指導においては初回面談実施日時点を基準とする。 > 国保においては、値が一意に定まるため、出現させなくても良い。	0..1	O
6.8.1	@extension	「資格区分」コード文字列。数字1桁固定長とする。 ボキャブラリは、4.11 資格区分コードを参照	1..1	M
6.8.2	@root	資格区分のOID。「1.2.392.200119.6.206」を設定。	1..1	M
6.9	patientRole/id	保険者番号	1..1	M
6.9.1	@extension	「保険者番号」文字列。数字8桁固定長とする。 8桁に満たない場合には先頭のゼロをつけて8桁とする。	1..1	M
6.9.2	@root	保険者番号のOID。「1.2.392.200119.6.101」を設定。	1..1	M
6.10	patientRole/id	被保険者証等記号 被保険者証等記号が存在しない場合には、本要素は出現させない。 ただし、アップロードまたはダウンロードを行う保険者のシステムによっては「一」の1文字（シフトJISコード 849F、ひらがなで「けいせん」と入力して仮名漢字変換される罫線記号）を設定するものとして本要素を出力する必要がある場合があるので、保険者システムに確認をとること。	0..1	O
6.10.1	@extension	「被保険者証等記号」に対応する文字列。全角だけからなる文字列または半角だけからなる文字列のどちらかとする。英数字だけの場合には1バイト系（半角）文字だけから構成するか、または全角文字だけから構成する。記号または仮名漢字を含む場合には英数字を含めすべて全角文字だけから構成するものとする。なお、いずれの場合にも、全角空白を含めないこととする。 最大40バイト。	1..1	M
6.10.2	@root	被保険者証等記号のOID。 「1.2.392.200119.6.204」を設定。	1..1	M
6.11	patientRole/id	被保険者証等番号	1..1	M
6.11.1	@extension	「被保険者証等番号」に対応する文字列。全角だけからなる文字列または半角だけからなる文字列のどちらかとする。英数字だけの場合には1バイト系（半角）文字だけから構成するか、または全角文字だけから構成する。記号または仮名漢字	1..1	M

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version : 1.1
特定健診情報ファイル（閲覧用）仕様説明書	20230.03.31

		を含む場合には英数字を含めすべて全角文字だけから構成するものとする。なお、いずれの場合にも、全角空白を含めないこととする。		
6.11.2	@root	被保険者証等番号の OID。 「1.2.392.200119.6.205」を設定。	1..1	M
6.12	patientRole/id	被保険者証等枝番 後期高齢者医療保険者においては本要素は出現させない。その他採番されない場合は「00」を設定する。	1..1	M
6.12.1	@extension	「被保険者証等枝番」に対応する文字列。数字 2 桁固定とする。	1..1	M
6.12.2	@root	被保険者証等枝番の OID。 「1.2.392.200119.6.211」を設定。	1..1	M
6.13	patientRole/id	保険者番号(ダウンロード保険者) アップロード時には、本要素は出現させない。 ダウンロードした保険者での名寄せを行うための項目である。	0..1	M
6.13.1	@extension	「保険者番号(ダウンロード保険者)」文字列。数字 8 桁固定長とする。 8桁に満たない場合には先頭のゼロをつけて8桁とする。	1..1	M
6.13.2	@root	保険者番号(ダウンロード保険者)の OID。 「1.2.392.200119.6.212」を設定。	1..1	M
6.14	patientRole/id	被保険者証等記号(ダウンロード保険者) アップロード時には、本要素は出現させない。また、ダウンロード時でも、被保険者証等記号が存在しない場合には、本要素は出現させない。ただし、受信側保険者のシステムによっては「一」の 1 文字(シフトJISコード 849F、ひらがなで「けいせん」と入力して仮名漢字変換される罫線記号)を設定するものとして本要素を出力する必要がある場合があるので、受信側保険者システムに確認をとること。 ダウンロードした保険者での名寄せを行うための項目である。	0..1	O
6.14.1	@extension	「被保険者証等記号(ダウンロード保険者)」に対応する文字列。全角だけからなる文字列または半角だけからなる文字列のどちらかとする。英数字だけの場合には 1 バイト系(半角)文字だけから構成するか、または全角文字だけから構成する。記号または仮名漢字を含む場合には英数字を含めすべて全角文字だけから構成するものとする。なお、いずれの場合にも、全角空白を含めないこととする。 最大 40 バイト。	1..1	M
6.14.2	@root	被保険者証等記号(ダウンロード保険者)の OID。 「1.2.392.200119.6.213」を設定。	1..1	M
6.15	patientRole/id	被保険者証等番号(ダウンロード保険者) アップロード時には、本要素は出現させない。	0..1	M

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version : 1.1
特定健診情報ファイル（閲覧用）仕様説明書	20230.03.31

		ダウンロードした保険者での名寄せを行うための項目である。		
6.15.1	@extension	「 被保険者証等番号 (ダウンロード保険者)」に対応する文字列。全角だけからなる文字列または半角だけからなる文字列のどちらかとする。英数字だけの場合には 1 バイト系(半角)文字だけから構成するか、または全角文字だけから構成する。記号または仮名漢字を含む場合には英数字を含めすべて全角文字だけから構成するものとする。なお、いずれの場合にも、全角空白を含めないこととする。	1..1	M
6.15.2	@root	被保険者証等番号(ダウンロード保険者)の OID。「1.2.392.200119.6.214」を設定。	1..1	M
6.16	patientRole/id	被保険者証等枝番(ダウンロード保険者)アップロード時には、本要素は出現させない。後期高齢者医療保険者においては本要素は出現させない。その他採番されない場合は「00」を設定する。 ダウンロードした保険者での名寄せを行うための項目である。	0..1	M
6.16.1	@extension	「 被保険者証等枝番 (ダウンロード保険者)」に対応する文字列。数字 2 桁固定とする。	1..1	M
6.16.2	@root	被保険者証等枝番(ダウンロード保険者)の OID。「1.2.392.200119.6.215」を設定。	1..1	M
6.17	patientRole/addr/	受診者住所情報	1..1	M
6.17.1	text()	「 受診者住所 」に対応する受診券裏面に記入された受診者の住所を2バイト系だけからなる文字列で記録。郵便番号を含まず、空白を含めない。最大 80 バイト。	1..1	M
6.18	patientRole/addr/postalCode	受診者の郵便番号	1..1	M
6.18.1	text()	「 受診者郵便番号 」に対応する半角文字列。書式は、「###-####」([0-9]{3}-[0-9]{4})。ハイフンを含む)。8 バイト固定。	1..1	M
6.19	patientRole/patient	受診者個人情報	1..1	M
6.20	patientRole/patient/name	受診者の氏名	1..1	M
6.20.1	text()	「 受診者カナ氏名 」に対応する全角カタカナ文字列で空白を含まない。姓と名の間にも空白をあげないこと。最大 40 バイト。	1..1	M
6.21	patientRole/patient/administrativeGenderCode	「 受診者の性別 」コード。	1..1	M
6.21.1	@code	受診者の性別コード 男=「1」、女=「2」。	1..1	M
6.21.2	@codeSystem	受診者の性別コードのコード体系を識別する OID。「1.2.392.200119.6.1104」を設定。	0..1	O
6.22	patientRole/patient/birthTime	受診者の生年月日。	1..1	M
6.22.1	@value	「 受診者の生年月日 」。書式は数字半角文字列で「YYYYMMDD」。	1..1	M

※1 整理用番号 1～5 は厚労省から配布された匿名化・提供システムで生成される項目である。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version : 1.1
特定健診情報ファイル（閲覧用）仕様説明書	20230.03.31

受診者情報の XML サンプルを以下に示す。

```

<ClinicalDocument>
...
<!-- 受診者情報 -->
<recordTarget>
<patientRole>

<!-- 保険者番号 -->
<id extension="12345678" root="1.2.392.200119.6.101" />
<!-- 被保険者証記号 -->
<id extension="あいう" root="1.2.392.200119.6.204" />
<!-- 被保険者証番号 -->
<id extension="11223344" root="1.2.392.200119.6.205" />
<!-- 被保険者証枝番 -->
<id extension="01" root="1.2.392.200119.6.211" />

<!-- ダウンロード時のみ -->
<!-- 保険者番号(ダウンロード保険者) -->
<id extension="87654321" root="1.2.392.200119.6.212" />
<!-- 被保険者証記号(ダウンロード保険者) -->
<id extension="いろは" root="1.2.392.200119.6.213" />
<!-- 被保険者証番号(ダウンロード保険者) -->
<id extension="55667788" root="1.2.392.200119.6.214" />
<!-- 被保険者証枝番(ダウンロード保険者) -->
<id extension="01" root="1.2.392.200119.6.215" />

<!-- 資格区分 -->
<id extension="1" root="1.2.392.200119.6.206" />
<addr>
<!-- 受診者の郵便番号 -->
<postalCode>123-0001</postalCode>
<!-- 受診者の住所 -->
東京都千代田区霞が関1-1-1
</addr>
<patient>
<!-- 氏名カナ -->
<name>スズキイチロウ</name>
<!-- 性別コード: 男 -->
<administrativeGenderCode code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.1104" />
<!-- 受診者の生年月日(西暦) -->
<birthTime value="19720924" />
</patient>
</patientRole>
</recordTarget>
...
</ClinicalDocument>

```

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version : 1.1
特定健診情報ファイル（閲覧用）仕様説明書	20230.03.31

3.2.3.2 ファイル作成機関の情報

本ファイル作成機関の情報として、国への提出を行った保険者の情報を格納する。すなわち、保険者から支払基金等への実績報告の該当情報と同一となる。

表 5 ファイル作成機関情報に含まれる項目

項目名	XML 仕様 No	XPath
ファイル作成機関番号	7.5.1	/ClinicalDocument/author/assignedAuthor/representedOrganization/id/@extension
ファイル作成機関名称	7.6.1	/ClinicalDocument/author/assignedAuthor/representedOrganization/name/text()
ファイル作成機関電話番号	7.7.1	/ClinicalDocument/author/assignedAuthor/representedOrganization/telecom/@value
ファイル作成機関住所	7.8.1	/ClinicalDocument/author/assignedAuthor/representedOrganization/addr/text()
ファイル作成機関郵便番号	7.9.1	/ClinicalDocument/author/assignedAuthor/representedOrganization/addr/postalCode/text()

ファイル作成機関情報の XML 仕様を表 6 に示す。

表 6 作成機関情報 XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
7	/ClinicalDocument/author		1..1	M
7.1	time	ファイル作成日。このファイルの実際の作成日。XML 仕様 No.4 の effectiveTime と通常は同一の値であるが、3 月 31 日付けの報告 (effectiveTime) のファイルを、3 月 29 日に作成(本項目)したことを記録したい場合では、両者を異なる値とすることは可能。受信側で特に利用されることはない。	1..1	M
7.1.1	@value	書式は「YYYYMMDD」	1..1	M
7.2	assignedAuthor	ファイル作成機関情報	1..1	M
7.3	assignedAuthor/id	ファイル作成機関識別子	1..1	M
7.3.1	@nullFlavor	HL7 ボキャブラリドメイン NullFlavor より「NI」を設定。	1..1	M
7.4	assignedAuthor/representedOrganization	ファイル作成機関	1..1	M
7.5	assignedAuthor/representedOrganization/id	ファイル作成機関の番号	1..1	M
7.5.1	@extension	「ファイル作成機関番号」に対応する文字列。 保険者: 8 桁の保険者番号	1..1	M
7.5.2	@root	ファイル作成機関のための OID を設定。 保険者の場合: 「1.2.392.200119.6.101」	1..1	M
7.6	assignedAuthor/representedOrganization/name	ファイル作成機関の名称。	1..1	M
7.6.1	text()	「ファイル作成機関名称」文字列。	1..1	M
7.7	assignedAuthor/representedOrganization/telecom	ファイル作成機関の連絡先情報。	0..1	O
7.7.1	@value	電話番号。「tel:」で始まる文字列で数字だけとし、ハイフンやカッコなど区切り文字を含まない。例:	1..1	M

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version : 1.1
特定健診情報ファイル（閲覧用）仕様説明書	20230.03.31

		"tel:0312345678" 「tel:」の 4 バイトを含めて最大 15 バイト。		
7.8	assignedAuthor/ representedOrganization/addr	ファイル作成機関の所在地情報。	0..1	O
7.8.1	text()	「ファイル作成機関住所」に対応する住所を全角文字列で記録。郵便番号を含まず、空白を含めない。最大 80 バイト。	1..1	M
7.9	assignedAuthor/ representedOrganization/addr/ postalCode	ファイル作成機関の所在地郵便番号情報。	0..1	O
7.9.1	text()	「ファイル作成機関郵便番号」に対応する半角文字列。書式は、「###-####」([0-9]{3}-[0-9]{4})。ハイフンを含む)。8 バイト固定。	1..1	M

3.2.3.3 ファイル作成管理責任機関情報

保険者から国への実績報告の該当情報と同一仕様。

3.2.3.4 受診券情報

保険者から国への実績報告の該当情報と同一仕様。

3.2.3.5 健診実施情報

保険者から国への実績報告の該当情報と同一仕様。

3.3 ボディ部

保険者から国への実績報告の該当情報と同一仕様。

ただし、提出済健診結果情報の削除依頼を行う（ヘッダ部の健診管理情報に設定する報告区分コード（表 2 XML 仕様 No3.1）に「19」を設定）場合は、ボディ部の設定内容に関わらず、削除依頼が優先される。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version : 1.1
特定健診情報ファイル（閲覧用）仕様説明書	20230.03.31

4. ボキャブラリ仕様

保険者から国への実績報告の該当情報と同一仕様。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version : 1.1
特定健診情報ファイル（閲覧用）仕様説明書	20230.03.31

5. 本仕様に準拠した XML 作成例

5.1 「保険者が健診機関から受領するファイル」を加工する例

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<!-- 新規登録サンプル -->
<ClinicalDocument xmlns="urn:h17-org:v3" xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="urn:h17-org:v3 ../XSD/hc08_V08.xsd">
  <!-- ヘッダ情報記述部 -->
  <!--CDAのデフォルト-->
  <typeId root="2.16.840.1.113883.1.3" extension="POCD_HD000040" />
  <id nullFlavor="NI" />
  <!--報告区分コード -->
  <code code="10" codeSystem="1.2.392.200119.6.1001" />
  <!--文書発行日（西暦） -->
  <effectiveTime value="20240510" /> ☆保険者が本ファイルを作成した日付に上書き設定
  <confidentialityCode code="N" />
  <!--受診者情報-->
  <recordTarget>
    <patientRole>
      <!-- 保険者番号 -->
      <id extension="12000001" root="1.2.392.200119.6.101" />
      <!-- 被保険者証等記号 -->
      <id extension="あああ" root="1.2.392.200119.6.204" />
      <!-- 被保険者証等番号 -->
      <id extension="103" root="1.2.392.200119.6.205" />
      <!-- 被保険者証等枝番 -->
      <id extension="01" root="1.2.392.200119.6.211" />
      <id extension="1" root="1.2.392.200119.6.206" /> ☆資格区分（1桁） 追加
    <!--受診者 -->
    <addr>
      <postalCode>113-8655</postalCode>東京都文京区本郷7-3-1</addr>
    <patient>
      <name>タナカカズコ</name>
      <!-- 性別 -->
      <administrativeGenderCode code="2" codeSystem="1.2.392.200119.6.1104" />
      <!-- 生年月日 -->
      <birthTime value="19600203" />
    </patient>
  </patientRole>
</recordTarget>
<!--Author -->
<author>
  <!-- 作成日 -->
  <time value="20240510" /> ☆保険者が本ファイルを作成した日付に上書き設定
  <assignedAuthor>
    <id nullFlavor="NI" />
    <representedOrganization>

```

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version : 1.1
特定健診情報ファイル（閲覧用）仕様説明書	20230.03.31

```

<!--作成機関のID番号 -->
<id extension="12000001" root="1.2.392.200119.6.101" />
<!-- 作成機関名 -->
<name>あいうえお健康保険組合</name>
<telecom value="tel:0312345678" />
<addr>
  <postalCode>112-0000</postalCode>東京都千代田区大手町1-2-3</addr>
</representedOrganization>
</assignedAuthor>
</author>
<custodian>
  <assignedCustodian>
    <representedCustodianOrganization>
      <id nullFlavor="NI" />
    </representedCustodianOrganization>
  </assignedCustodian>
</custodian>
<participant typeCode="HLD">
  <!-- 受診券 -->
  <functionCode code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.208" />
  <time>
    <!--有効期限-->
    <high value="20090331" />
  </time>
  <associatedEntity classCode="IDENT">
    <!-- 番号 -->
    <id extension="10111293841" root="1.2.392.200119.6.209.112000001" />
    <!-- 保険者情報 -->
    <scopingOrganization>
      <!-- 保険者番号 -->
      <id extension="12000001" root="1.2.392.200119.6.101" />
    </scopingOrganization>
  </associatedEntity>
</participant>
<!--健診実施情報-->
<documentationOf>
  <serviceEvent>
    <!-- プログラムサービスコード -->
    <code code="010" codeSystem="1.2.392.200119.6.1002" />
    <!--実施日-->
    <effectiveTime value="20240430" />
    <performer typeCode="PRF">
      <assignedEntity>
        <id nullFlavor="NI" />
        <representedOrganization>
          <!--実施機関番号 -->
          <id extension="1323456789" root="1.2.392.200119.6.102" />
          <!-- 実施組織名 -->

```

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version : 1.1
特定健診情報ファイル（閲覧用）仕様説明書	20230.03.31

```

    <name>東京健診センター</name>
  </representedOrganization>
</assignedEntity>
</performer>
</serviceEvent>
</documentationOf>
<!-- 結果記述部 -->
<component>
  <structuredBody>
    <component>
      <section>
        <code code="01010" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="特定健診検査・問診
セクション" />
        <text />
        <entry>
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="9N00100000000001" displayName="身長" />
            <value xsi:type="PQ" value="150.0" unit="cm" />
          </observation>
        </entry>
        :
        :
      </section>
    </component>
    <component>  特定健診検査問診セクション以外は削除する
      <section>
        <code code="01990" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="追加項目セクション" />
        <text />
        <entry>
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="3J010000002327101" displayName="総ビリルビン" />
            <value xsi:type="PQ" value="0.8" unit="mg/dL" />
          </observation>
          :
          :
        </entry>
        :
        :
      </section>
    </component>
  </structuredBody>
</component>
</ClinicalDocument>

```

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version : 1.1
特定健診情報ファイル（閲覧用）仕様説明書	20230.03.31

5.2 5.1 で登録した健診結果を削除依頼する場合の例

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<!-- 削除依頼サンプル -->
<ClinicalDocument xmlns="urn:hl7-org:v3" xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="urn:hl7-org:v3 ../XSD/hc08_V08.xsd">
  <!-- ヘッダ情報記述部 -->
  <!--CDAのデフォルト-->
  <typeId root="2.16.840.1.113883.1.3" extension="POCD_HD000040" />
  <id nullFlavor="NI" />
  <!--報告区分コード -->
  <code code="19" codeSystem="1.2.392.200119.6.1001" /> ☆削除依頼時は19を設定
  <!--文書発行日（西暦）-->
  <effectiveTime value="20240610" /> ☆保険者が本ファイルを作成した日付に上書き設定
  <confidentialityCode code="N" />
  <!--受診者情報-->
  <recordTarget>
    <patientRole>
      <!-- 保険者番号 -->
      <id extension="12000001" root="1.2.392.200119.6.101" />
      <!-- 被保険者証等記号 -->
      <id extension="あああ" root="1.2.392.200119.6.204" />
      <!-- 被保険者証等番号 -->
      <id extension="103" root="1.2.392.200119.6.205" />
      <!-- 被保険者証等枝番 -->
      <id extension="01" root="1.2.392.200119.6.211" />
      <id extension="1" root="1.2.392.200119.6.206" /> ☆資格区分（1桁） 追加
      <!--受診者 -->
      <addr>
        <postalCode>113-8655</postalCode>東京都文京区本郷7-3-1</addr>
      <patient>
        <name>タナカカズコ</name>
        <!-- 性別 -->
        <administrativeGenderCode code="2" codeSystem="1.2.392.200119.6.1104" />
        <!-- 生年月日 -->
        <birthTime value="19600203" />
      </patient>
    </patientRole>
  </recordTarget>
  <!--Author -->
  <author>
    <!-- 作成日 -->
    <time value="20240610" /> ☆保険者が本ファイルを作成した日付に上書き設定
    <assignedAuthor>
      <id nullFlavor="NI" />
      <representedOrganization>
        <!--作成機関のID番号 -->

```

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version : 1.1
特定健診情報ファイル（閲覧用）仕様説明書	20230.03.31

```

<id extension="12000001" root="1.2.392.200119.6.101" />
<!-- 作成機関名 -->
<name>あいうえお健康保険組合</name>
<telecom value="tel:0312345678" />
<addr>
  <postalCode>112-0000</postalCode>東京都千代田区大手町1-2-3</addr>
</representedOrganization>
</assignedAuthor>
</author>
<custodian>
  <assignedCustodian>
    <representedCustodianOrganization>
      <id nullFlavor="NI" />
    </representedCustodianOrganization>
  </assignedCustodian>
</custodian>
<!-- 健診実施情報 -->
<documentationOf>
  <serviceEvent>
    <!-- プログラムサービスコード -->
    <code code="010" codeSystem="1.2.392.200119.6.1002" />
    <!-- 実施日 -->
    <effectiveTime value="20240430" />
    <performer typeCode="PRF">
      <assignedEntity>
        <id nullFlavor="NI" />
        <representedOrganization>
          <!-- 実施機関番号 -->
          <id extension="1323456789" root="1.2.392.200119.6.102" />
          <!-- 実施組織名 -->
          <name>東京健診センター</name>
        </representedOrganization>
      </assignedEntity>
    </performer>
  </serviceEvent>
</documentationOf>
<!-- 結果記述部 -->
<component>
  <structuredBody>
    <component>
      <section>
        <code code="01010" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="特定健診検査・問診セクシヨン" />
        <text />
        <entry>
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="9N0010000000000001" displayName="身長" />
            <value xsi:type="PQ" value="150.0" unit="cm" />
          </observation>
        </entry>
      </section>
    </component>
  </structuredBody>
</component>

```

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version : 1.1
特定健診情報ファイル（閲覧用）仕様説明書	20230.03.31

```
        </observation>
      </entry>
      :
      :
    </section>
  </component>
</structuredBody>
</component>
</ClinicalDocument>
```

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version : 1.1
特定健診情報ファイル（閲覧用）仕様説明書	20230.03.31

Ver.1.1

本説明文書は、厚生労働省保険局医療介護連携政策課医療費適正化対策推進室により修正されました。また、「第4期特定健診・特定保健指導の見直しに関する検討会」の下に設置された「システム改修に関するワーキンググループ」の作業班メンバーや、ここに記載していない多くの方々の献身的な貢献により検討された成果に基づいています。

システム改修に関するワーキンググループ作業班

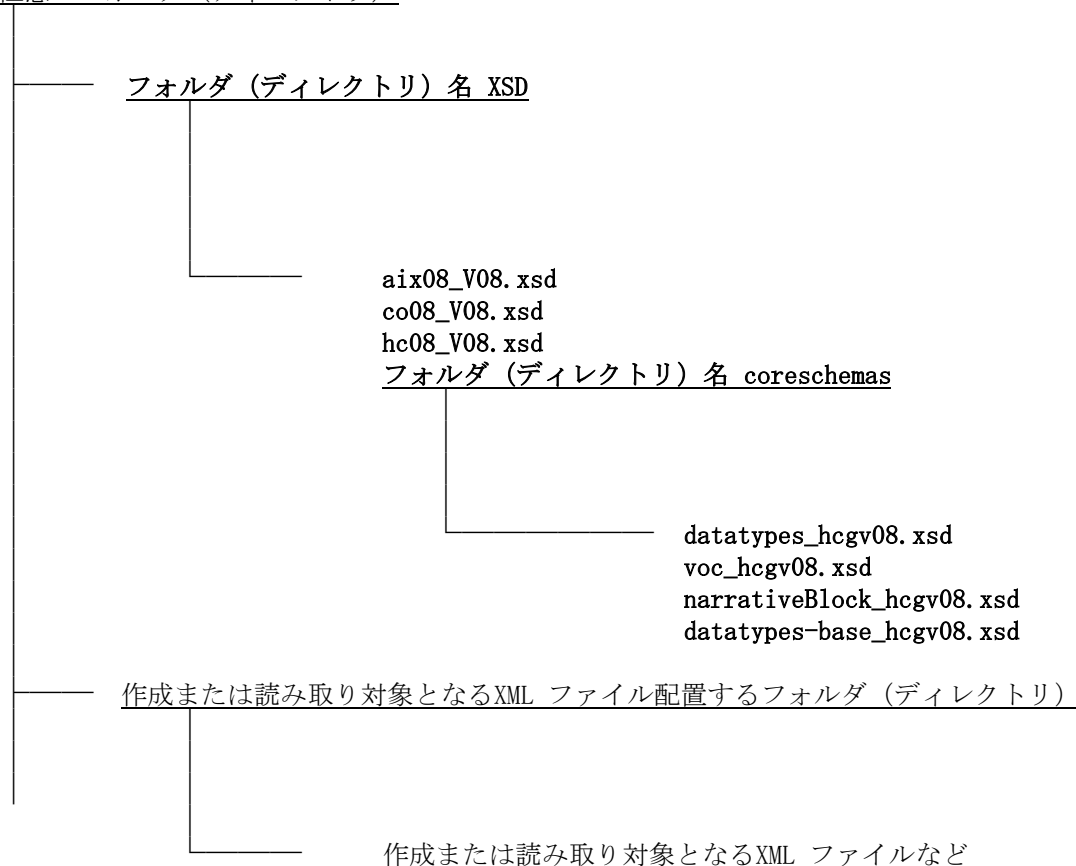
特定健診・特定保健指導の電子的なデータ標準様式

9-2B特定健診・特定保健指導 XML スキーマ説明書 (閲覧用)

提供されるXML スキーマは各ファイル名を変更せず、以下のようにXSD という名前のフォルダ (ディレクトリ) の中に配置することが必要である。この際、`datatypes_hcgv08.xsd`, `voc_hcgv08.xsd`, `narrativeBlock_hcgv08.xsd`, `datatypes-base_hcgv08.xsd` の4つのファイルは下記のようにさらに `coreschemas` という名前のフォルダ (ディレクトリ) を作成しその中に配置することが前提として作成されている。

なお`datatypes_hcgv08.xsd`, `voc_hcgv08.xsd`, `narrativeBlock_hcgv08.xsd`, `datatypes-base_hcgv08.xsd` の4つのファイルは、米国HL7で公開されているHL7 CDA 標準規格用の共通XML スキーマを一部修正して転載している。

任意のフォルダ (ディレクトリ)



特定健診・特定保健指導の電子的なデータ標準様式

9-3B 提供用データアーカイブ仕様
(閲覧用)

Version 1.1

	Version: 1.1
)	2023.03.31

目次

1.	はじめに	1
1.1	目的	1
1.2	参考資料	1
2.	交換用アーカイブ仕様	2
2.1	フォルダ構成	2
2.1.1	ルートフォルダ	2
2.1.1.1	ルートフォルダ名	2
2.1.2	特定健診結果データフォルダ	4
2.1.3	XML スキーマフォルダ	4
2.2	ファイル命名規則	5
2.3	アーカイブ規則	5
2.4	アーカイブファイルを分割する場合	5
3.	サンプル	7

	Version: 1.1
)	2023.03.31

提供用データアーカイブ仕様（閲覧用）

1. はじめに

1.1 目的

本書は、特定健診データの電子的交換において、保険者と支払基金が、特定健診結果の閲覧用ファイルとして交換する一連のファイルとフォルダ構成、及び、ファイル名の仕様を定めたものである。

本仕様は、以下の事項について規定する。

- ・ 特定健診提出用データの格納体系及び配置体系
- ・ 特定健診提出用データの圧縮形式

1.2 参考資料

下記は、この文書で参照している標準仕様及び研究報告書等の名称、バージョン、並びにその説明の一覧である。

[1] 厚生労働省、「標準的な健診・保健指導プログラム」

[2] 厚生労働省、「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」

※[1]、[2]については、厚生労働省HP「特定健診・特定保健指導について」

(<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html>) に公表されている最新版を参照すること。

1.3 修正履歴

日付	版	修正内容
2023.03.31	V1.1	<p>■XML仕様上に関する修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コード値の名称変更に合わせて表2を修正 <p>■XML仕様上に関係のない修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本仕様書のファイル名を変更 ・バージョンを「1」から「1.1」に修正 ・各種サンプルの年度修正 ・その他既存誤記及び見栄え修正

	Version: 1.1
)	2023.03.31

2. 交換用アーカイブ仕様

特定健診情報ファイルを、閲覧用ファイルとして保険者と支払基金との間で交換する際には、交換するファイルを定められたファイル名とフォルダ構成で配置する。本書は、これらのファイル構成に関する仕様を示す。交換用に構成された一連のファイルを、交換用アーカイブと呼ぶ。

2.1 フォルダ構成

特定健診データの交換用アーカイブのフォルダ構成を図1に示す。

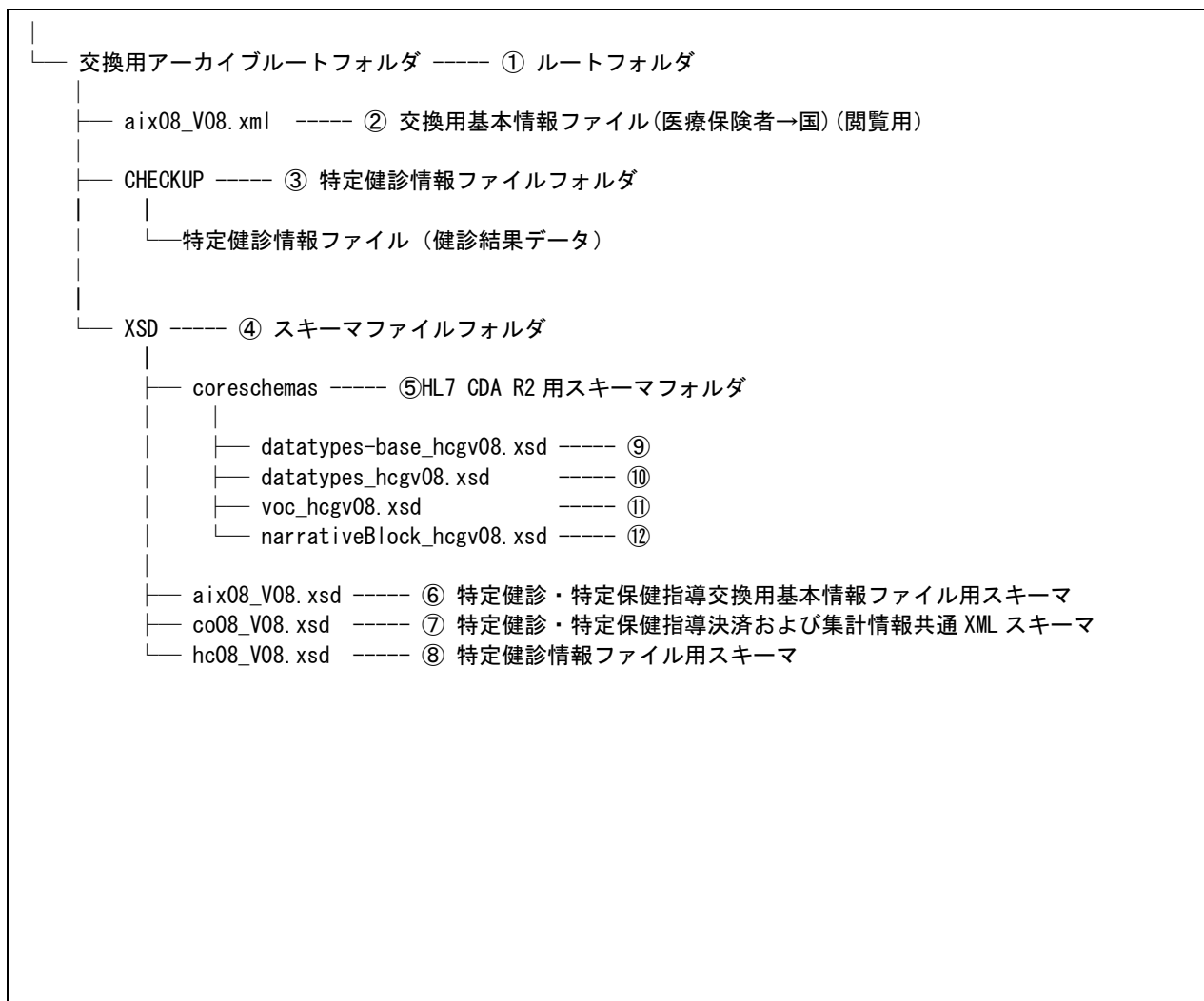


図1 交換用アーカイブのフォルダ構成

2.1.1 ルートフォルダ

図1①に示される国への閲覧用ファイル交換用アーカイブファイルのルートフォルダには、交換用基本情報ファイル(医療保険者→国)(閲覧用) (図1②)が配置される。また、特定健診データファイルフォルダ(図1③)、及び、XMLスキーマフォルダ(図1④)を含む。

2.1.1.1 ルートフォルダ名

国への実績報告交換用アーカイブファイルのルートフォルダのフォルダ名の命名規則を表1に示す。フォルダ名は、送付元機関(保険者または支払基金)の機関番号(保険者番号または94899010)、送付先機関(支払基金または保険者)番号、提出年月日、同日分割送信回数、アーカイブ分割番号、及び、実施区分コードから構成される。提出元機関番号(保険者番号)が8桁

	Version: 1.1
)	2023.03.31

未満の場合は先頭をゼロ埋めし8桁とする。提出年月日は西暦（YYYYMMDD形式）で指定する。同日分割送信回数(NNN)は、表1に記載したルールで000から999までの最大3桁の数値の先頭をゼロ埋めした3桁数字を指定する。アーカイブ分割識別番号（NN）は、表1に記載したルールで01から99までの最大2桁の数値の先頭をゼロ埋めした2桁数字を指定する。実施区分コード（X）には、表2に示す実施区分のうち、「1：特定健診情報」を指定する。

報告対象年度とそれにつづく000およびアーカイブ分割識別番号との間には区切り文字「_」は存在しないことに注意されたい。

[送付元機関番号]_[送付先機関番号]_[提出年月日(YYYYMMDD)]_[同日分割送信回数(NNN)]_[アーカイブ分割識別番号(NN)]_[実施区分コード(X)]

表1 ルートフォルダ名規則

長さ	内容	フォーマット	例
8	送付元(保険者または支払基金)機関番号（保険者番号または支払基金の機関番号「94899010」） 8桁に満たない場合は先頭をゼロ埋めする。 オンライン資格確認等システムから閲覧用ファイルをダウンロードする際には、オンライン資格確認等システムからの受信の旨を示すため、便宜上、社会保険診療報酬支払基金：「94899010」を記録する。	nnnnnnnn	12345678
8	送付先(保険者または支払基金)機関番号（保険者番号または支払基金の機関番号「94899010」） 8桁に満たない場合は先頭をゼロ埋めする。 オンライン資格確認等システムに閲覧用ファイルをアップロードする際には、オンライン資格確認等システムへの送信の旨を示すため、便宜上、社会保険診療報酬支払基金：「94899010」を記録する。	nnnnnnnn	94899010
8	提出年月日を西暦8桁で指定する。	yyyyMMDD	20240531
3	同じ送信元機関から同じ送信先機関に同日に複数回送信する場合（同日分割送信）のための同日分割送信回数。 1回目の送信では000とし、同日に2回目以降の送信をする場合、001、002、003、…と増やしていく。 最大999までとする。1回で送信を完了する場合にも000を指定する。	nnn	000
2	アーカイブ分割識別番号。 交換用ファイルを複数に分割する場合、分割番号を01から最大99までで指定する。1ファイルの場合でも「01」を指定する。	nn	01
1	実施区分コード（表2）	n	1

	Version: 1.1
)	2023.03.31

表 2 実施区分コード
網掛けは本仕様では使用しない。

コード名	コード	内容	備考
実施区分 コード	1	特定健診情報	
	2	特定保健指導情報	
	3	国への実績報告(匿名化済)	保険者での設定は不要
	4	他の健診結果の受領分	事業者健診の結果を受領した場合
	5	国への実績報告(匿名化前)	
	6	予備	
	7	予備	
	8	予備	
	9	予備	

2.1.2 特定健診結果データフォルダ

図 1 ③に示されるフォルダ。フォルダ名は「CHECKUP」とする。その下に、特定健診結果データファイル(閲覧用)を格納する。データファイルの命名規則は 2.2 節に示す。

2.1.3 XML スキーマフォルダ

図 1 ④に示されるフォルダ。フォルダ名は「XSD」とする。特定健診データの電子的交換に必要な XML スキーマを含む。図 1 ⑥～⑧に示される各 XML スキーマの詳細を表 3 に示す。

表 3 特定健診 XML スキーマファイル

図 1 中の 番号	ファイル名	内容	備考
⑥	aix08_V08. xsd	特定健診・特定保健指導交換用基本情報ファイル(医療保険者→国)(閲覧用) XML スキーマ	
⑦	co08_V08. xsd	特定健診・特定保健指導決済および集計情報共通 XML スキーマ	aix08_V08. xsd の中から読み込まれて利用される。
⑧	hc08_V08. xsd	特定健診情報ファイル用スキーマ	

健診情報 XML スキーマファイル「hc08_V08. xsd」の中から読み込まれて使用される、HL7 CDA R2 規格で定められた XML スキーマファイルは、図 1 ⑦に示される「coreschemas」フォルダ内に配置する。図 1 ⑨～⑫に示される各 XML スキーマの詳細を表 4 に示す。

表 4 特定健診 XML スキーマファイル

図 1 中の 番号	ファイル名	内容	備考
⑨	datatypes-base_hcgv08. xsd	HL7 データ型基本スキーマ	
⑩	datatypes_hcgv08. xsd	HL7 データ型拡張スキーマ	
⑪	voc_hcgv08. xsd	HL7 ボキャブラリドメインスキーマ	
⑫	narrativeBlock_hcgv08. xsd	CDA 説明ブロックスキーマ	

	Version: 1.1
)	2023.03.31

2.2 ファイル命名規則

特定健診結果データファイルの命名規則を表5に示す。

表5 特定健診ファイル命名規則

開始位置	長さ	内容	フォーマット	例
1	1	h:特定健診データファイル	X	h
2	8	保険者番号 8桁に満たない場合は先頭をゼロ埋めする。	nnnnnnnn	12345678
10	4	健診受診年度（西暦4桁）	yyyy	2024
14	3	同日分割送信回数。 同じ送信元機関から同じ送信先機関に同日に複数回送信する場合、000から最大999までの番号を指定。ルートフォルダ名に利用したものと同一番号を指定する(表1を参照)。	nnn	000
17	2	アーカイブ分割識別番号。 交換用アーカイブファイルを複数個に分割する際に01から最大99までの番号を指定。	nn	01
19	1	実施区分コード（表2） 「1: 特定健診情報」を指定。	n	1
20	6	同一フォルダ内で同一ファイル名とならないように振られた6桁の数字。 必ずしも連番でなくてもよい。	nnnnnn	000005
26	4	拡張子「.xml」	-	.xml

2.3 アーカイブ規則

交換用データはZIP形式¹による圧縮を行う。圧縮ファイルのファイル名は「ルートフォルダ名.zip」とする。

2.4 アーカイブファイルを分割する場合

提出ファイルのファイル数が多くなる場合、ファイルサイズの観点から、全ファイルを1つのアーカイブファイルに含めることが困難な場合がある。その場合は、交換用アーカイブファイルを複数個に分割してもよい。交換用アーカイブファイルを分割する場合、以下の規則で個々のアーカイブファイルを構成する。

- ① アーカイブ分割識別番号を01、02、03…と最大99まで増やし、各アーカイブファイルのルートフォルダのフォルダ名、及び、特定健診情報ファイルのファイル名に当該番号を指定する。
- ② 交換用基本情報ファイルのアーカイブ分割識別番号、及び、総アーカイブファイル数に、対応するアーカイブ分割識別番号と総ファイル数を指定する。
- ③ 特定健診情報ファイルのファイル名のアーカイブ分割番号に、対応するアーカイブ分割識別番号を指定する。

¹ <http://www.pkware.com/documents/casestudies/APPNOTE.TXT>

	Version: 1.1
)	2023.03.31

例えば、特定健診結果閲覧用ファイル数 120,000 件を、50,000 件ずつ 3 つの交換用アーカイブファイルに格納する場合の格納イメージを示す。

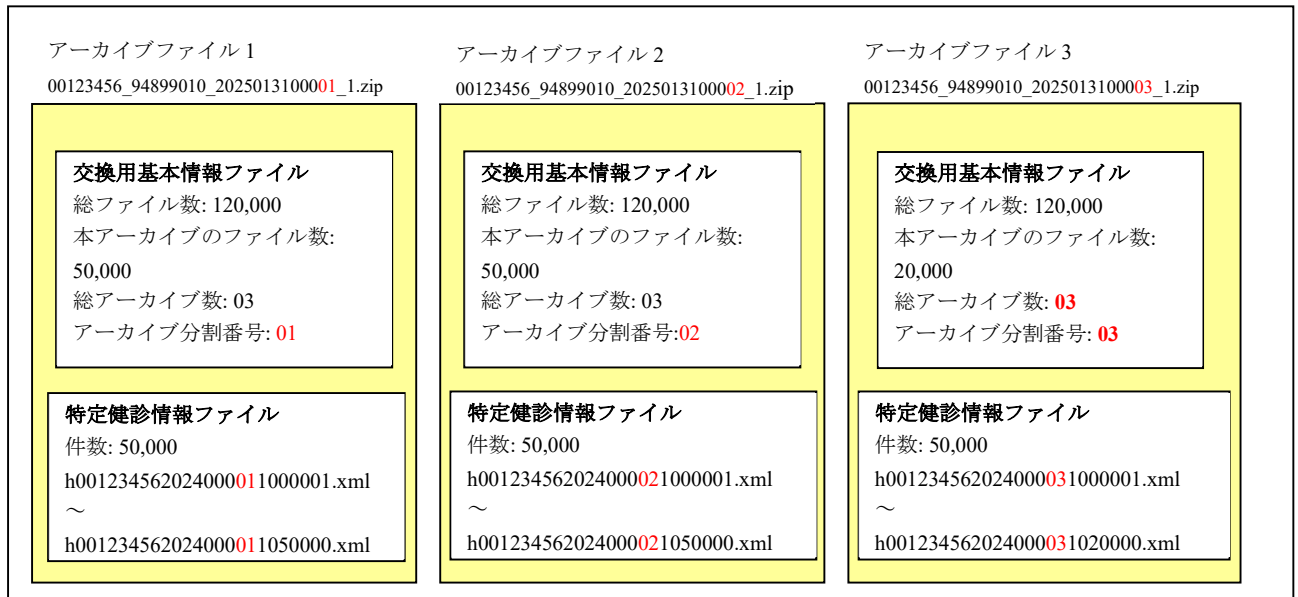


図 2 交換用アーカイブファイルを分割する場合の構成イメージ図

	Version: 1.1
)	2023.03.31

3. サンプル

以下の特定健診データの交換用アーカイブのフォルダ構成の例を図3に示す。

保険者番号	123456
提出年月日	令和7年1月31日
アーカイブ分割数	1
特定健診情報ファイル件数	800件

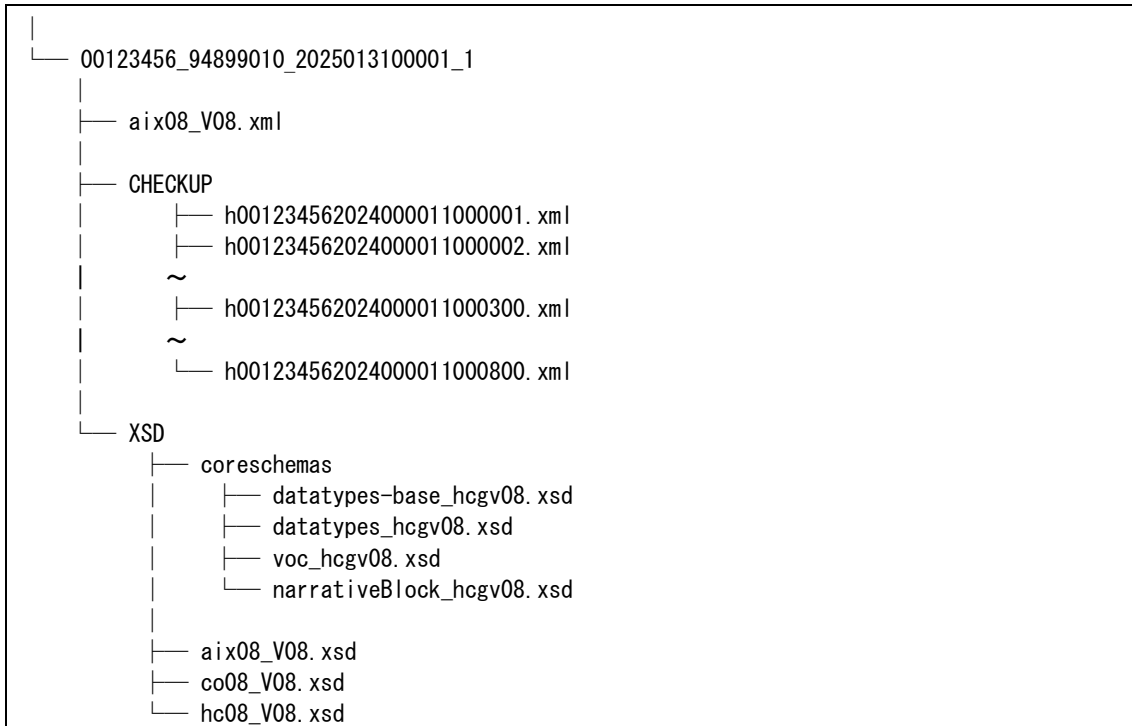


図3 サンプルのフォルダ構成

	Version: 1.1
)	2023.03.31

Ver.1.1

本説明文書は、厚生労働省保険局医療介護連携政策課医療費適正化対策推進室により修正されました。また、「第4期特定健診・特定保健指導の見直しに関する検討会」の下に設置された「システム改修に関するワーキンググループ」の作業班メンバーや、ここに記載していない多くの方々の献身的な貢献により検討された成果に基づいています。

システム改修に関するワーキンググループ作業班

特定健診・特定保健指導の電子的なデータ標準様式

10-1B 特定健診情報ファイル
(国への報告用)
仕様説明書
Version 1.1

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 1.1
特定健診情報ファイル（国への報告用）仕様説明書	2023.03.31

目次

1.	はじめに	1
1.1	目的	1
1.2	参考資料	1
2.	概要	3
2.1	本文書の位置付け	3
	<u>本文書と既存の仕様説明書との相違点</u>	3
2.2	記載内容の優先度	3
2.3	標準フォーマットの基本的な方針	4
2.3.1	1健診結果1ファイル	4
2.3.2	本標準フォーマットが対象とする健診情報	4
2.3.3	HL7CDA規格との関係	4
3.	特定健診情報ファイル仕様	8
3.1	全体構成の概要	8
3.2	ヘッダ部	9
3.2.1	名前空間	9
3.2.2	CDA管理情報	10
3.2.3	健診管理情報	10
3.2.3.1	受診者情報	13
3.2.3.2	ファイル作成機関の情報	19
3.2.3.3	ファイル作成管理責任機関情報	21
3.2.3.4	受診券番号	21
3.2.3.5	健診実施情報	21
3.3	ボディ部	22
4.	ボキャブラリ仕様	23
5.	OID表	23
6.	「保険者から国への実績報告用ファイル」を支払基金が加工して本仕様に準拠させるのに必要な加工箇所の例	24

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 1.1
特定健診情報ファイル（国への報告用）仕様説明書	2023.03.31

修正履歴

日付	版	修正内容
2020.03.31	V1.0	初版
2023.03.31	V1.1	<ul style="list-style-type: none"> ■XML仕様上に関する修正 <ul style="list-style-type: none"> ・3.2.3.1 表4 No.6.7 「整理用番号5のチェックコード」を追加 ■XML仕様上に関係のない修正 <ul style="list-style-type: none"> ・本仕様書のファイル名を変更 ・バージョンを「1」から「1.1」に修正 ・2.1 本文書の位置付け等の厚労省通知との対応関係に係る記載を削除 ・「保険者から支払基金へ」という表現を「保険者から国へ」という表現に変更 ・各種サンプルの日付変更 ・その他既存誤記及び見栄え修正

本仕様書の適用範囲

本仕様説明書（Version1.1）は、令和6年度分の法定報告（令和7年11月1日までに実施する法定報告）に係る特定健診情報ファイル（支払基金→国）から適用される。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 1.1
特定健診情報ファイル（国への報告用）仕様説明書	2023.03.31

特定健診情報ファイル （国への報告用） 仕様説明書

1. はじめに

1.1 目的

本文書の目的は、2008年度から実施している特定健診の健診結果情報を、支払基金から国へ電子的に提出（報告）する際に使用する、電子的なデータ標準様式の定義について詳細に説明することである。

支払基金、もしくは国保は、本仕様に準拠したデータを作成し、提出を行わねばならない。

1.2 参考資料

下記の表は、この文書で参照している標準仕様及び研究報告書等の名称、バージョン、並びにその説明の一覧である。

本文書での仕様等の引用名称	バージョン	説明
厚生労働省 特定健診プログラム	※	「標準的な健診・保健指導プログラム」
厚生労働省 特定健診プログラム手引書	※	「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」
HL7 Version 3	Normative 2005	HL7 Version 3 の 2005 年度 規範版パッケージ。CDA Release 2.0 の規格書が含まれる。
日本 HL7 協会 診療情報提供書	1.0	日本 HL7 協会が策定した、CDA R2 規格をベースとした診療情報提供書の規格。 http://www.hl7.jp/intro/std/HL7J-CDA-001.pdf
HL7 CRS	final draft	米国 HL7 協会が策定中の診療文書に関する実装ガイド。 Implementation Guide for CDA Release 2 – Level 1 and 2 – Care Record Summary (US realm), HL7, Inc., Final Text, June 8, 2006
XML	1.1	Extensible Markup Language http://www.w3.org/TR/2006/REC-xml11-20060816/
XPath	1.0	http://www.w3.org/TR/xpath
電子レセプト仕様書		「電子レセプトの作成手引き（医科）」社会保険診療報酬支払基金レセプト電算処理システム電子レセプト作成手引き http://www.ssk.or.jp/seikyushiharai/rezept/iryokikan/iryokikan_02.files/jiki_i01.pdf
特定健診実績報告（保険者→国）仕様説明書	※	「3-1B 特定健診情報ファイル（医療保険者→国）仕様説明書」。本書と対となる文書で、保険者から国へ特定健診実績を提出する際の仕様について解説した文書。
健診情報ファイル仕様説明書（健診機関→保険者）	※	「3-1A 特定健診情報ファイル（健診・保健指導機関等→医療保険者）仕様説明書」

※厚生労働省 HP 「特定健診・特定保健指導について」

(<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html>) に公表されている最新版を参照す

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 1.1
特定健診情報ファイル（国への報告用）仕様説明書	2023.03.31

ること。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 1.1
特定健診情報ファイル（国への報告用）仕様説明書	2023.03.31

2. 概要

2.1 本文書の位置付け

本文書は、「特定健康診査の実施状況に関する結果」について、支払基金から国に対して提出する際の電子的なデータ標準様式（以下では特定健診標準フォーマット、または単に標準フォーマットと記載する）を定義するものである。

標準フォーマットは XML 規格にもとづいている。XML 規格はデータ中に<aaa> ... </aaa> のようなタグと呼ばれるマークを埋め込むことにより、データの意味付けと構造に関する情報をデータと一緒に送信できるようにした言語規格で、インターネット上でのデータのやり取りや、コンピュータシステム間でのデータ交換、データベースからのデータの読み書きの際など広範に使用されるようになっている。XML 規格をある目的で使用する場合には、どのようなデータにどのようなタグをつけるか、またデータ同士をどのように階層化するかについて、その目的ごとに取り決める必要があり、その取り決めに関する規則は XML スキーマと呼ばれる方式で記述されたファイルで記述する。DTD と呼ばれる方式で記述する方法もあるが、最近は XML スキーマによる記述のほうが増えている。

本標準フォーマットは、XML スキーマで詳細が定義されており、ホームページに公開されている¹。DTD 形式による定義は提供されていない。本書はその XML スキーマの説明書としての位置付けであると同時に、XML スキーマでは記述しつくせない細かい制約事項を記載している。従って、本書は別途公開されている対応する XML スキーマファイルと併せて使用するものであり、それぞれ単独では意味をなさない。

本文書と既存の仕様説明書との相違点

本文書で説明される標準フォーマットは、保険者から国に特定健診の結果情報を報告するための仕様と基本的には同一である。

仕様上の異なる部分は、個人を特定できる項目等の不要な項目についてのその仕様の削除、および報告項目が異なるための仕様変更である。仕様の削除の中には、これまで必須または任意に存在してよいとされていた情報が、存在してはいけない情報となった場合が含まれることに注意が必要である。

また本文書として「特定健診実績報告仕様説明書（保険者→国）」と異なる部分は、1）上記の仕様上の異なる部分を反映させている点、2）国への報告としての位置づけから明らかに説明が不要となる部分の削除、の2点である。

なお、本書に対応する XML スキーマファイルは、「健診機関健診情報ファイル仕様説明書（健診機関→保険者）」および「特定健診実績報告仕様説明書（保険者→国）」とともに公開されている XML スキーマファイルと完全に同一であるため重複して公表をせず、後者を参照するものとする。提出不要となった特定健診情報項目を本仕様で削除したにもかかわらず、対応する XML スキーマファイルに変更の必要がない理由は、これらの削除項目に対応する要素または属性はあらかじめ省略可能と定義されていたからである。

なお、「保険者から国への実績報告ファイル」を支払基金が加工して本仕様に準拠させるのに必要な加工箇所の例を本仕様説明書の末尾に提示してあるので参考にされたい。

2.2 記載内容の優先度

この文書の記載内容と最新の厚生労働省通知との記述に相違がある場合には、最新の厚生労働省

¹<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html>

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 1.1
特定健診情報ファイル（国への報告用）仕様説明書	2023.03.31

通知 (<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html>) との記述を優先するものとする。

本文書と対をなして公表されている XML スキーマファイルでは、XML 要素や属性の出現多重度や選択性について、本文書での記載よりも緩い記述（制約条件が広い記述）になっていることがある。このような場合には、本文書に記載されている記述が優先するものとする。たとえば XML スキーマでは 1 回以上何度出現してもよいとなっている要素について、本文書では 1 回だけ必ず出現するものと記載しているケースでは、本文書に従うものとし、当該要素は 1 回だけ必ず出現しなければならないと 2 回以上出現してはならない。同様にたとえば XML スキーマでは出現してもしなくても良い（出現がオプショナル）とされている属性や要素について、本文書では出現してもよいことが明示的に記載されていないケースでは、本文書に従うものとし、当該属性や当該要素は出現してはならない。

2.3 標準フォーマットの基本的な方針

2.3.1 1 健診結果 1 ファイル

本標準フォーマットは、1 人の受診者の 1 回の特定健診の結果情報を、報告に際して必要となるヘッダー情報（健診機関に関する情報や日付、受診者を識別するための情報など）を含めた 1 つの XML 形式で格納し、1 個の電子ファイル（Windows や UNIX などのコンピュータオペレーティングシステムでひとつの電子ファイルとして扱われるファイル単位）とするものである。

1 人の受診者の 1 回の特定健診の結果情報ごとに 1 電子ファイルとし、複数回もしくは複数受診者の結果はその数だけの電子ファイルを別々に生成する方針をとっている。従って、1 電子ファイルに、複数回もしくは複数受診者の健診結果を格納することはできない。

2.3.2 本標準フォーマットが対象とする健診情報

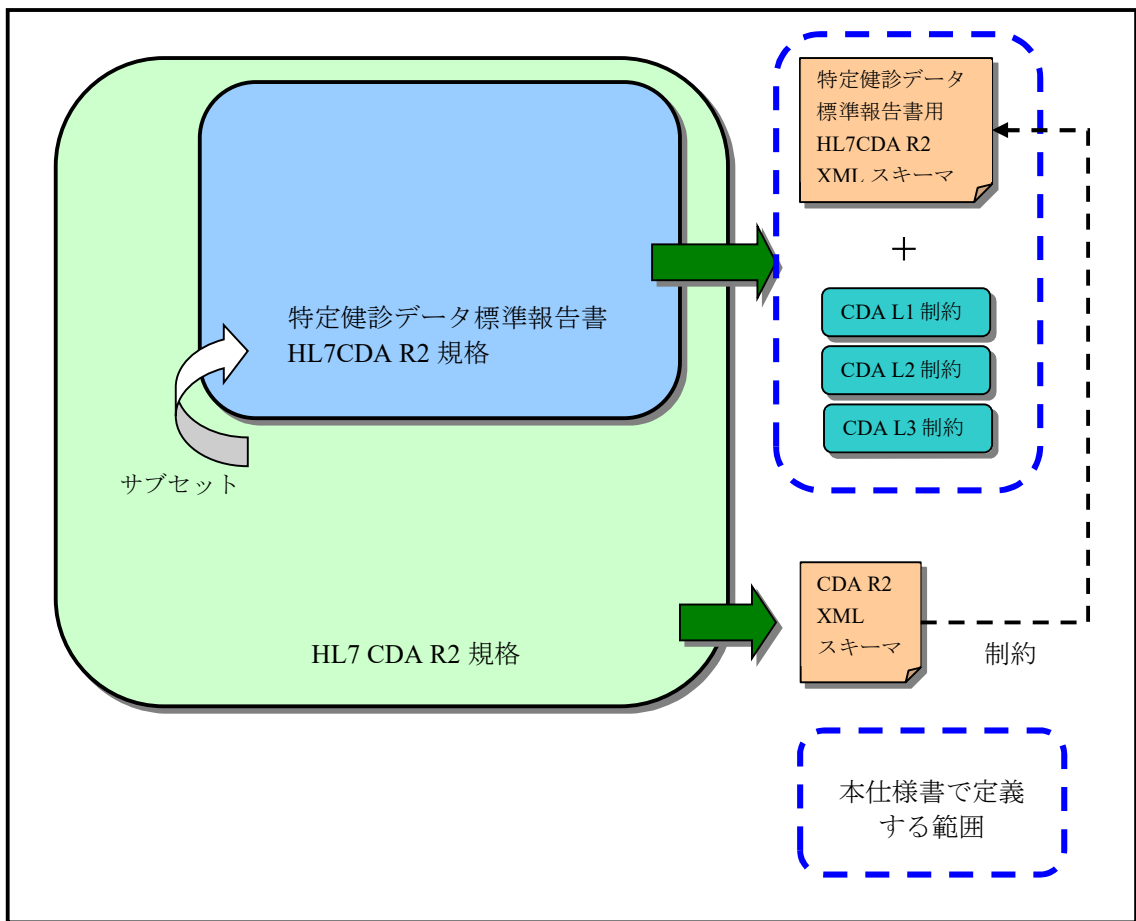
本標準フォーマットは、提出対象となる特定健診・特定保健指導情報ファイルのうち「特定健康診査の実施状況に関する結果」を格納することを目的としている。

2.3.3 HL7 CDA 規格との関係

本標準フォーマットは、HL7 CDA Release 2（以下 CDA R2）規格²に完全準拠するものとし、本標準フォーマット仕様は、HL7 CDA 規格で定義される XML スキーマに対して特定健診固有のさらなる制約を課すことで実現されている。各種制約のなかで、HL7 CDA R2 仕様に対して、その XML 要素あるいは属性の多重度に対して適用される制約³や、コード値を限定するような制約については、HL7 CDA R2 仕様の XML スキーマとなる「特定健診情報ファイル XML スキーマ」で定義され、その XML スキーマファイルが本説明書とは別に公開される。本説明書で解説される XML スキーマで妥当であると検証された XML インスタンス（XML ファイル）は、HL7 CDA R2 XML スキーマに対しても妥当であることが必ず保証される。

² ANSI/HL7 CDA R2-2005 4/21/2005 版

³例えば CDA R2 仕様においてある要素の多重度が"0..*"であるものを"1..1"に制約するといった制約。



特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 1.1
特定健診情報ファイル（国への報告用）仕様説明書	2023.03.31

本仕様書では、XML タグ仕様を以下のような表形式で示す。ここで掲げる表と図は XML タグ仕様の読み方を示すために記載した架空のものであり、本仕様とは無関係のものとして見る必要がある。

XML-No	XPath	説明	多重度	選択性
3.2.1	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section		0..*	O
3.2.1.1	code	セクションコード。	1..1	M
3.2.1.1.1	@code	セクションコードのニーモニック。	1..1	M
3.2.1.1.2	@codeSystem	セクションコードのコード体系を識別する OID。	1..1	M
3.2.1.1.3	@codeSystemVersion	セクションコードのコード体系バージョン。	0..1	O
3.2.1.2	title	セクションタイトル。	1..1	M
3.2.1.2.1	text()	セクションタイトルを示す文字列。	1..1	M

「XPath」の列に示される”/ClinicalDocument”から開始される文字列は、XML のルート要素から、この表で示される XML 要素までのパスを XPath により記述したものである。例えば上の表中の XPath ”/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section” は、以下の XML の青枠で囲まれた section 要素の仕様を記述していることを示す。

```

<ClinicalDocument>
  <component>
    <structuredBody>
      <component>
        <section>
          <code code="ABCDE" codeSystem="123.456.7890.1" />
          <title>検体検査等</title>
        </section>
      ...
    </component>
  </structuredBody>
</ClinicalDocument>

```

表中には XPath で示される要素の子要素を、表の各行に順に記述する。このとき、code や title などインデントされずに灰色の網掛けで表現される項目は、それが XML 要素であることを意味する。一方、@code や @codeSystem のようにインデントされ @ をつけて示される項目は、それが XML 属性であることを意味する。text() と示される項目は、XML テキスト内容を表す。

「多重度」は、指定された項目の出現数の最小値と最大値を”..”の両端に示す形で表現する。最大値に制限が無い場合は、”*” (アスタリスク) によって表現される。例えば、上の例で、section 要素に付けられた”0..*”という多重度は、指定された section 要素が XML 中に 0 個以上複数出現し、その出現数の最大値には制限がないことを示す。一方 title 要素は、section 要素が出現する際には必ず 1 つ出現することを示す。多重度が 0 とだけ記載されている場合には、既存の「特定健診実績報告仕様説明書（保険者→国）」では要素または属性が存在していたが、本仕様では出現しないこととなった（使用しないこととなった）ことを明示しており、この場合当該要素または属性は出現してはならない。この場合次項の選択性は×となっている。

「選択性（オプションリティ）」は、M (Mandatory) または O (Optional) または×（出現してはならない）のいずれかの値で表現される。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 1.1
特定健診情報ファイル（国への報告用）仕様説明書	2023.03.31

Mは、必須値であり、その要素または属性は必ず1個以上出現し、かつ空文字列でない値が必ず格納されなければならない。

Oはオプション項目（任意出現項目）であり、記述すべき値が存在しない場合やある条件下では、省略する項目である。また記述すべき値がない（または記述すべき値が空文字列）場合には、その要素自体または属性自体を省略しなければならない。要素または属性を出現させて値は空文字列にすることは許可されない。Mが指定されている要素の多重度の最小値は必ず1以上となる。

×は、既存の「特定健診実績報告仕様説明書（保険者→国）」では要素または属性が存在していたが、本仕様では出現しないこととなった（使用しないこととなった）ことを明示しており、この場合当該要素または属性は出現してはならない。×が指定されている項目の多重度は必ず0である。

表中でXML要素の階層の上位にある項目に対して下位に位置する項目の多重度や選択性を指定する場合、下位の項目の多重度および選択性は、上位の項目が出現する場合での制約を記述する。例えば、上の例で、**section**要素の選択性がO（Optional）であるのに、その下位の**code**要素の選択性がM（Mandatory）であるのは、**section**要素が存在する状況での**code**要素の選択性を示しており、**section**要素が存在するときには**code**要素が必ず出現しなければならないことを意味する。

上記の表で最初の列XML-NOは、本仕様書内で引用に便利ようにつけた番号で、すべての表を通じた一意の通し番号になっており、XML仕様Noとして引用される。

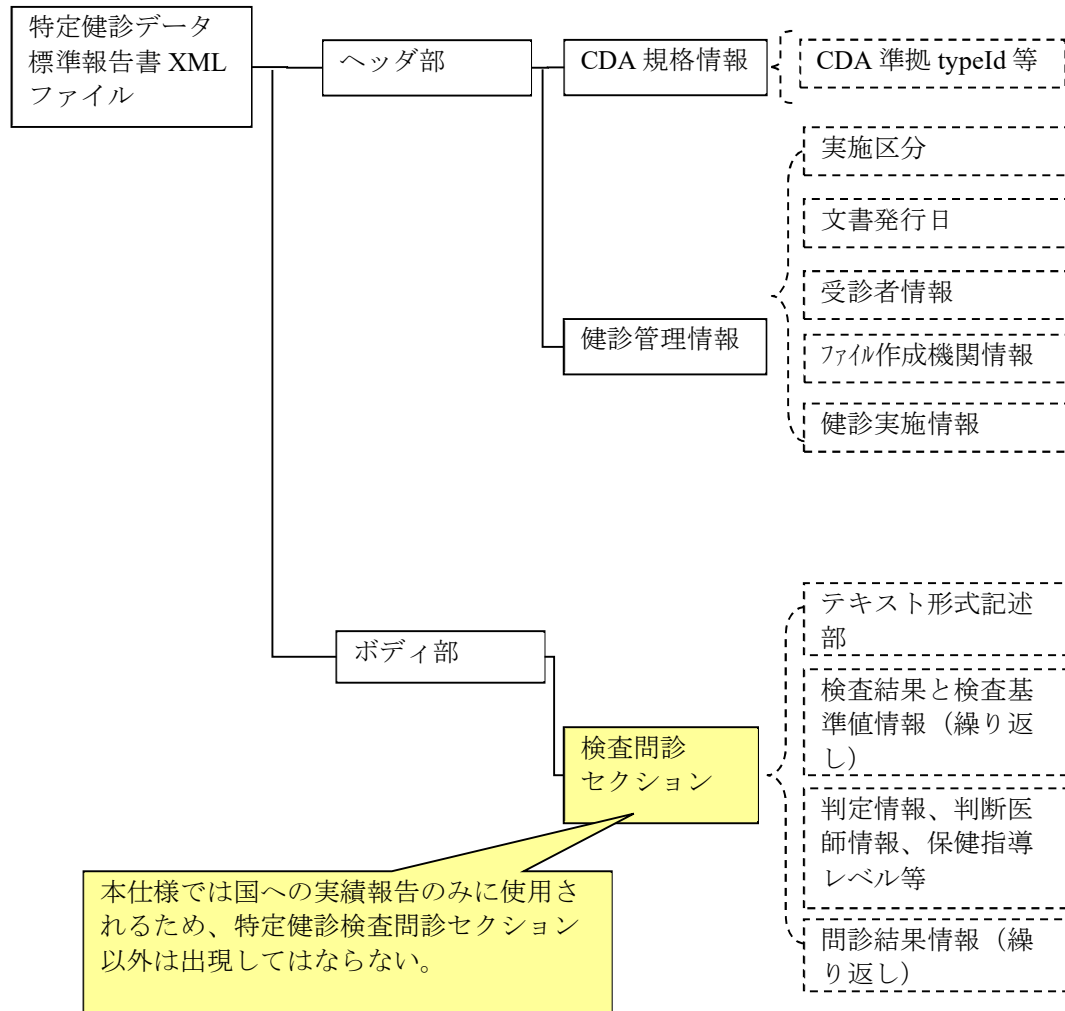
説明文中に最大バイト数の記載がある場合には、特に条件記載がない限り半角文字を1バイト、全角文字（シフトJIS系文字における2バイト文字）を2バイトを換算した場合の文字列バイト長を指すものとする。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 1.1
特定健診情報ファイル（国への報告用）仕様説明書	2023.03.31

3. 特定健診情報ファイル仕様

3.1 全体構成の概要

本標準フォーマットにもとづく XML ファイルは、ヘッダ部とボディ部からなる（下図）。



ヘッダ部には、CDA 規格上必要となるメッセージ種別など CDA 規格情報、記録されているイベント（健診、指導など）に関する実施区分や文書発行日（特定健診情報ファイルの作成日）情報、作成者情報、記録対象者（受診者）情報、健診実施日などの健診管理情報から構成される。ボディ部には、健診結果の情報が、一部は人間可読なテキスト形式で記述されるとともに、コンピュータ処理を可能とするための形式で構造化されて記述される。健診結果は、特定健診検査問診セクションだけからなる。⁴

⁴健診情報ファイル仕様説明書(健診機関→保険者)では、特定健診検査問診セクション以外に追加のセクションの配置が認められているが、本仕様では支払基金から国への実績報告のみに使用されるため、特定健診検査問診セクション以外は出現してはならない。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 1.1
特定健診情報ファイル（国への報告用）仕様説明書	2023.03.31

3.2 ヘッダ部

3.2.1 名前空間

本仕様書で定義される XML インスタンスの名前空間は「`urn:hl7-org:v3`」とし、これをデフォルト名前空間として指定する。

また、本仕様書で定義される XML インスタンスでは、「`http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance`」という URI で識別される XML スキーマインスタンスの名前空間を使用する。

本仕様のスキーマファイルは「`hc08_V08.xsd`」というファイル名のファイルにより別途提供される。ここでこのファイル名中の `V08` は version 番号であり、今後スキーマファイルが一部修正された場合においても、リリースされたスキーマファイル名のバージョン番号部分を `V08` に名前を変更して使用するものとする。なお、将来の制度の改訂などにより、部分修正に留まらない大きな変更が加えられた場合には、これによらない場合がある。

下記は XML インスタンスの実例であり、本仕様に基づくすべての XML インスタンスは、スキーマファイル名の version 番号部分を除きこの部分を変更してはならない。

補足説明 1：本仕様でファイルを生成する側は、文字コードは UTF-8 を使用するものとする。

補足説明 2：UTF-8 文字コードのファイルをコンピュータプログラムにより生成する場合に、ファイルの冒頭の（通常のテキスト表示では見えない最初の）3 バイトに Byte Order Mark

（BOM）と呼ばれる 3 バイト `EF BB BF`（16 進）をつけるスタイルと、つけないスタイルの両方が世の中に存在する。本仕様でファイルを生成する側は、この BOM と呼ばれる 3 バイトを付与しないものとする。ソフトウェア開発者は、自分の使用する XML ファイル生成機能が自動的に BOM を付与するソフトかどうかを調べ、自動付与するスタイルのソフトウェアの場合には、生成されたファイルの第 1 バイト目からの先頭 3 バイトを削除することが必要である。どちらのソフトウェアであるかを調査するためには、テキスト表示ソフトでは通常表示されないので、冒頭の数バイトをプログラムで確認するなりして確認することが必要である。

一方、本仕様で生成されたファイルを受信する側では、生成側が誤って BOM を付けたファイルを生成している可能性を想定し、BOM の有無にかかわらず正しく処理できるようにすることが必要である。

補足説明 3：スキーマファイル名の version 番号部分は `V08` で統一する。下記の例で示すように、`hc08_V08.xsd` とするものとする。今後スキーマファイルが一部修正された場合においても、リリースされたスキーマファイル名を下図のようにバージョン番号部分を `V08` に名前を変更して使用するものとする。なお、将来の制度の改訂などにより、部分修正に留まらない大きな変更が加えられた場合には、これによらない場合がある。

なお、オペレーティングシステムによる違いの影響を排除するため、スキーマファイル名、その相対パス名の英大文字小文字の違いを意識するものとし、以下の通りとする。

スキーマファイル名を含む相対パス名：`../XSD/hc08_V08.xsd`

注：ピリオド 2 個で始まっていることから分かるように、スキーマファイルが格納されるフォルダ `XSD` は、本 XML ファイルが格納されるフォルダ（ディレクトリ）の兄弟フォルダである。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<ClinicalDocument xmlns="urn:hl7-org:v3"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="urn:hl7-org:v3 ../XSD/hc08_V08.xsd">
  ...
</ClinicalDocument>
```

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 1.1
特定健診情報ファイル（国への報告用）仕様説明書	2023.03.31

3.2.2 CDA 管理情報

特定健診情報ファイルのトップレベルの XML 要素である ClinicalDocument の最初の 2 つの要素は、HL7CDA に準拠する上で必要な情報であり、表 1 に示される 2 要素が含まれる。

これは、保険者から国への実績報告用ファイルと同一である。

表 1 ヘッダ部の CDA 管理情報

No	XPath	説明	厚労省公表資料との対応	多重度	選択性
0	/ClinicalDocument			1..1	M
1	typeId	タイプ ID。準拠している CDA R2 仕様を識別する。		1..1	M
1.1	@root	HL7 に登録されている成果物の名前空間 OID となる「2.16.840.1.113883.1.3」を設定。		1..1	M
1.2	@extension	CDA R2 仕様のバージョンを一意に識別する成果物識別子である「POCD_HD000040」を設定。		1..1	M
2	Id	生成されたファイルをユニークに識別する ID。		1..1	M
2.1	@nullFlavor	未使用としヌル値を意味する“NI”を設定。		1..1	M

3.2.3 健診管理情報

CDA 管理情報の 2 つの要素につづく要素は、健診管理情報であり、表 2 に示される項目からなる。

ここでは、保険者から国への実績報告用ファイルに対して次の加工を行うことが必要である。

1) 表 2 XML 仕様 No.4.1 (ファイル作成日) : 支払基金が本ファイルを作成した日付に上書き設定。

2) 同仕様 No.6 (受診者情報) : 加工必要。詳細は 3.2.3.1 節参照。

3) 同 No.7 (ファイル作成機関情報) : 加工不要。

4) 同 No.8 (ファイル作成管理責任機関情報) : 加工不要。

6) 同 No.10 (健診実施情報) : 加工必要。詳細は 3.2.3.5 節参照。

表 2 ヘッダ部の健診管理情報

No	XPath	説明	厚労省公表資料との対応	多重度	選択性
0	/ClinicalDocument			1..1	M
3	code	報告区分を表すコードを設定。このファイルが作成された目的や作成タイミングなどの情報を格納するために使用される。		1..1	M
3.1	@code	報告区分コード 2 桁 (上位 1 桁が特定健診受診情報の実施区分に対応する) 10: 特定健診情報	1 桁目 (10 の位) は実施区分コード。	1..1	M
3.2	@codeSystem	コードのコード体系を識別する OID。 「1.2.392.200119.6.1001」を設定。		1..1	M
3.3	@displayName	使用しない。存在しなくてもよい。		0..1	O

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 1.1
特定健診情報ファイル（国への報告用）仕様説明書	2023.03.31

4	effectiveTime	本ファイルのオフィシャルなファイル作成日（実際のファイル作成日と異なることもあり）。この日付をもって本データを提出したことから取り扱う日。 ※健診機関より受領したファイル中に格納されている本要素の日付を書き換える必要がある。		1..1	M
4.1	@value	「YYYYMMDD」。		1..1	M
5	confidentialityCode	守秘レベルコード。HL7 ボキャブラリドメイン Confidentiality の値を使用。		1..1	M
5.1	@code	守秘レベルコード。通常時の守秘レベルを表す「N」を設定。		1..1	M
5.2	@codeSystem	XML ファイルサイズを小さくするため当面使用しなくてよいが、使用する場合には守秘レベルコードのコード体系を識別する OID。「2.16.840.1.113883.5.25」固定。		0..1	O
6	recordTarget	受診者情報。構造を含め詳細は、3.2.3.1 節に記載。		1..1	M
7	author	本ファイルを作成し提出する保険者側の情報（通常は送付元に相当する）。構造を含め詳細は、3.2.3.2 節に記載。		1..1	M
8	custodian	本ファイル作成管理責任機関情報。本仕様では使用しないが HL7CDA 規格上必須であるため、3.2.3.3 節のように記述するものとする。		1..1	M
9	participant	受診者の受診券に関する情報。3.2.3.4 節に記載。本仕様では出現させない。		0	X
10	documentationOf	健診実施情報。詳細は、3.2.3.5 節に記載。		1..1	M

ヘッダ部の XML サンプルを以下に示す。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 1.1
特定健診情報ファイル（国への報告用）仕様説明書	2023.03.31

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<ClinicalDocument xmlns="urn:hl7-org:v3"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="urn:hl7-org:v3 ../XSD/hc08_V08.xsd">
  <typeId root="2.16.840.1.113883.1.3" extension="POCD_HD000040" />
  <id nullFlavor="NI"/>
  <!--報告区分 10=特定健診情報の報告-->
  <code code="10" codeSystem="1.2.392.200119.6.1001" />
  <!-- 文書発行日（西暦） -->
  <effectiveTime value="20240401" />
  <confidentialityCode code="N" />
  <!-- 受診者情報 -->
  <recordTarget>...</recordTarget>
  <!--ファイル作成機関情報 -->
  <author>...</author>
  <!-- ファイル作成管理責任機関情報 -->
  <custodian>...</custodian>
  <!-- 健診実施情報 -->
  <documentationOf>...</documentationOf>
    <component>...</component>
    ...
</ClinicalDocument>

```

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 1.1
特定健診情報ファイル（国への報告用）仕様説明書	2023.03.31

3.2.3.1 受診者情報

ClinicalDocument の子要素である **recordTarget** 要素で受診者情報を記述する。健診データ項目一覧表のうち、表 3 に示す項目がこの要素で表現される。

保険者番号、被保険者証等記号、被保険者証等番号、被保険者証等枝番、受診者住所、受診者カナ氏名は、実績報告用ファイルには格納しない。また整理用番号 1～5 は必須と明示された。

ここでは、支払基金が保険者から受領するファイルに対して次の加工を行うことが必要である。

1) 表 4 XML 仕様 No. 6. 2 : 新たに要素を追加。厚生労働省の付番方法により付番した整理用番号 1 を設定。

2) 同 No. 6. 3 : 新たに要素を追加。厚生労働省の付番方法により付番した整理用番号 2 を設定。

もしすでに本要素 (patientRole/id/@root の値が「1.2.392.200119.6.203」または「1.2.392.200119.6.299」であることで判定) が存在する場合には、厚生労働省の付番方法により付番した整理用番号 2 を上書き設定し、その patientRole/id/@root に「1.2.392.200119.6.203」を上書き設定。

3) 同 No. 6. 4 : 新たに要素を追加。厚生労働省の付番方法により付番した整理用番号 3 を設定。

4) 同 No. 6. 5 : 新たに要素を追加。厚生労働省の付番方法により付番した整理用番号 4 を設定。

5) 同 No. 6. 6 : 新たに要素を追加。厚生労働省の付番方法により付番した整理用番号 5 を設定

6) 同 No. 6. 8～6. 11 : 要素を削除。

保険者番号の要素であることは、patientRole/id/@root の値が「1.2.392.200119.6.101」であることで判定し削除。

被保険者証等記号の要素であることは、patientRole/id/@root の値が「1.2.392.200119.6.204」であることで判定し削除。

被保険者証等番号の要素であることは、patientRole/id/@root の値が「1.2.392.200119.6.205」であることで判定し削除。

被保険者証等枝番の要素であることは、patientRole/id/@root の値が「1.2.392.200119.6.211」であることで判定し削除。

5) 同 No. 6. 12. 1 : 受診者住所の値だけを (patientRole/addr 要素は残したまま) 削除。

6) 同 No. 6. 15 : 受診者の氏名の要素を削除。

表 3 受診者情報に含まれる項目

項目名	XML 仕様 No	XPath
整理用番号 1	6.2.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/id/@extension
整理用番号 2	6.3.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/id/@extension
整理用番号 3	6.4.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/id/@extension
整理用番号 4	6.5.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/id/@extension
整理用番号 5	6.6.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/id/@extension
整理用番号 5 チェックコード	6.7.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/id/@extension
資格区分	6.8.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/id/@extension
受診者の郵便番号	6.14.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/addr/postalCode/text()
受診者の性別	6.17.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/patient/administrativeGenderCode/@code
受診者の生年月日	6.18.1	/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole/patient/birthTime/@value

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 1.1
特定健診情報ファイル（国への報告用）仕様説明書	2023.03.31

受診者情報の XML 仕様の詳細を表 4 に示す。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 1.1
特定健診情報ファイル（国への報告用）仕様説明書	2023.03.31

表 4 受診者情報 XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
6	/ClinicalDocument/recordTarget		1..1	M
6.1	patientRole	受診者情報	1..1	M
6.2	patientRole/id	整理用番号1 ※1	1..1	M
6.2.1	@extension	「整理用番号1」に対応する文字列。	1..1	M
6.2.2	@root	整理用番号1の OID。「1.2.392.200119.6.202」を設定。	1..1	M
6.3	patientRole/id	整理用番号2 ※1	1..1	M
6.3.1	@extension	「整理用番号2」に対応する文字列。	1..1	M
6.3.2	@root	整理用番号2の OID。「1.2.392.200119.6.203」を設定。	1..1	M
6.4	patientRole/id	整理用番号3 ※1	1..1	M
6.4.1	@extension	「整理用番号3」に対応する文字列。	1..1	M
6.4.2	@root	整理用番号3の OID。「1.2.392.200119.6.900」を設定。	1..1	M
6.5	patientRole/id	整理用番号4 ※1	1..1	M
6.5.1	@extension	「整理用番号4」に対応する文字列。	1..1	M
6.5.2	@root	整理用番号4の OID。「1.2.392.200119.6.18010」を設定。	1..1	M
6.6	patientRole/id	整理用番号5 ※1	1..1	M
6.6.1	@extension	「整理用番号5」に対応する文字列。	1..1	M
6.6.2	@root	整理用番号5の OID。「1.2.392.200119.6.18020」を設定。	1..1	M
6.7	patientRole/id	整理用番号5のチェックコード	1..1	M
6.7.1	@extension	「整理用番号5のチェックコード」の値。整理用番号5 付番時の状況を表すコード。	1..1	M
6.7.2	@root	整理用番号5チェックコードの OID 「1.2.392.200119.6.21010」を設定。	1..1	M
6.8	patientRole/id	資格区分 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 保険者より国へ報告する際に利用するものであり、健診機関からの出力データには出現しない。 資格は、特定健康診査においては受診日時点、特定保健指導においては初回面談実施日時点を基準とする。 ➤ 国保においては、値が一意に定まるため、出現させなくても良い。 	0..1	O

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 1.1
特定健診情報ファイル（国への報告用）仕様説明書	2023.03.31

6.8.1	@extension	「資格区分」コード文字列。数字1桁固定長とする。 ボキャブラリは、4.11 資格区分コードを参照	1..1	M
6.8.2	@root	資格区分の OID。「1.2.392.200119.6.206」を設定。	1..1	M
6.9	patientRole/id	保険者番号 要素が出現しない 存在する本要素を削除する場合には、保険者番号の要素であることは、patientRole/id/@root の値が「1.2.392.200119.6.101」であることで判定する。	0	X
6.10	patientRole/id	被保険者証等記号 要素が出現しない 存在する本要素を削除する場合には、被保険者証等記号の要素であることは、patientRole/id/@root の値が「1.2.392.200119.6.204」であることで判定する。	0	X
6.11	patientRole/id	被保険者証等番号 要素が出現しない 存在する本要素を削除する場合には、被保険者証等番号の要素であることは、patientRole/id/@root の値が「1.2.392.200119.6.205」であることで判定する。	0	X
6.12	patientRole/id	被保険者証等枝番 要素が出現しない 存在する本要素を削除する場合には、被保険者証等枝番の要素であることは、patientRole/id/@root の値が「1.2.392.200119.6.211」であることで判定する。	0	X
6.13	patientRole/addr/	受診者住所情報	1..1	M
6.13.1	text()	「 受診者住所 」は格納しない。 値が出現しない	0	X
6.14	patientRole/addr/postalCode	受診者の郵便番号	1..1	M
6.14.1	text()	「 受診者郵便番号 」に対応する半角文字列。書式は、「###-####」（[0-9]{3}-[0-9]{4}。ハイフンを含む）。8 バイト固定。	1..1	M
6.15	patientRole/patient	受診者個人情報	1..1	M
6.16	patientRole/patient/name	受診者の氏名 要素が出現しない	0	X
6.17	patientRole/patient/administrativeGenderCode	「 受診者の性別 」コード。	1..1	M
6.17.1	@code	受診者の性別コード 男=「1」、女=「2」。	1..1	M
6.17.2	@codeSystem	受診者の性別コードのコード体系を識別する OID。「1.2.392.200119.6.1104」を設定。	0..1	O
6.18	patientRole/patient/birthTime	受診者の生年月日。	1..1	M
6.18.1	@value	「 受診者の生年月日 」。書式は数字半角文字列で「YYYYMMDD」。	1..1	M

※1 整理用番号 1～5 は厚労省から配布された匿名化・提供システムで生成される項目である。
支払基金が国へ実績報告を行う際は、厚労省から配布された最新の匿名化・提供システムを使用

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 1.1
特定健診情報ファイル（国への報告用）仕様説明書	2023.03.31

して整理用番号1～5を生成すること。

受診者情報のXMLサンプルを以下に示す（整理用番号1～5は仕様上は64桁であるが、下記サンプルでは便宜上8桁としている）

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 1.1
特定健診情報ファイル（国への報告用）仕様説明書	2023.03.31

```

<ClinicalDocument>
  ...
  <!-- 受診者情報 -->
  <recordTarget>
  <patientRole>
  <!-- 整理用番号 1 -->
  <id extension="12345678" root="1.2.392.200119.6.202" />
  <!-- 整理用番号 2 -->
  <id extension="98765432" root="1.2.392.200119.6.203" />
  <!-- 整理用番号 3 -->
  <id extension="56789012" root="1.2.392.200119.6.900" />
  <!-- 整理用番号 4 -->
  <id extension="34567890" root="1.2.392.200119.6.18010" />
  <!-- 整理用番号 5 -->
  <id extension="78901234" root="1.2.392.200119.6.18020" />
  <!-- 整理用番号 5 チェックコード -->
  <id extension="23456789" root="1.2.392.200119.6.21010" />

  <!-- 資格区分 -->
  <id extension="1" root="1.2.392.200119.6.206" />

  <!-- 受診者の郵便番号 -->
  <addr>
    <postalCode>123-0001</postalCode>
  </addr>
  <patient>
  <!-- 性別コード: 男 -->
  <administrativeGenderCode code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.1104" />
  <!-- 受診者の生年月日 (西暦) -->
  <birthTime value="19720924" />
  </patient>
  </patientRole>
  </recordTarget>
  ...
</ClinicalDocument>

```

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 1.1
特定健診情報ファイル（国への報告用）仕様説明書	2023.03.31

3.2.3.2 ファイル作成機関の情報

本ファイル作成機関の情報として、支払基金への提出を行った保険者の情報を格納する。すなわち、保険者から国への実績報告の該当情報と同一となる。

表 5 ファイル作成機関情報に含まれる項目

項目名	XML 仕様 No	XPath
ファイル作成機関番号	7.5.1	/ClinicalDocument/author/assignedAuthor/representedOrganization/id/@extension
ファイル作成機関名称	7.6.1	/ClinicalDocument/author/assignedAuthor/representedOrganization/name/text()
ファイル作成機関電話番号	7.7.1	/ClinicalDocument/author/assignedAuthor/representedOrganization/telecom/@value
ファイル作成機関住所	7.8.1	/ClinicalDocument/author/assignedAuthor/representedOrganization/addr/text()
ファイル作成機関郵便番号	7.9.1	/ClinicalDocument/author/assignedAuthor/representedOrganization/addr/postalCode/text()

ファイル作成機関情報の XML 仕様を表 6 に示す。

表 6 作成機関情報 XML 仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
7	/ClinicalDocument/author		1..1	M
7.1	time	ファイル作成日。このファイルの実際の作成日。XML 仕様 No.4 の effectiveTime と通常は同一の値であるが、3 月 31 日付けの報告 (effectiveTime) のファイルを、3 月 29 日に作成(本項目)したことを記録したい場合には、両者を異なる値とすることは可能。受信側で特に利用されることはない。	1..1	M
7.1.1	@value	書式は「YYYYMMDD」	1..1	M
7.2	assignedAuthor	ファイル作成機関情報	1..1	M
7.3	assignedAuthor/id	ファイル作成機関識別子	1..1	M
7.3.1	@nullFlavor	HL7 ポキャプラリドメイン NullFlavor より「NI」を設定。	1..1	M
7.4	assignedAuthor/representedOrganization	ファイル作成機関	1..1	M
7.5	assignedAuthor/representedOrganization/id	ファイル作成機関の番号	1..1	M
7.5.1	@extension	「ファイル作成機関番号」に対応する文字列。8 桁の保険者番号 を設定。	1..1	M
7.5.2	@root	ファイル作成機関のための OID を設定。保険者:「1.2.392.200119.6.101」	1..1	M
7.6	assignedAuthor/representedOrganization/name	ファイル作成機関の名称。	1..1	M
7.6.1	text()	「ファイル作成機関名称」文字列。	1..1	M
7.7	assignedAuthor/representedOrganization/telecom	ファイル作成機関の連絡先情報。	0..1	O
7.7.1	@value	電話番号。「tel:」で始まる文字列で数字だけとし、ハイフンやカッコなど区切り文字を含まない。	1..1	M

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 1.1
特定健診情報ファイル（国への報告用）仕様説明書	2023.03.31

		例: "tel:0312345678" 「tel:」の 4 バイトを含めて最大 15 バイト。		
7.8	assignedAuthor/ representedOrganization/addr	ファイル作成機関の所在地情報。	0..1	O
7.8.1	text()	「ファイル作成機関住所」に対応する住所を全角文字列で記録。郵便番号を含まず、空白を含めない。最大 80 バイト。	1..1	M
7.9	assignedAuthor/ representedOrganization/addr/ postalCode	ファイル作成機関の所在地郵便番号情報。	0..1	O
7.9.1	text()	「ファイル作成機関郵便番号」に対応する半角文字列。書式は、「###-####」([0-9]{3}-[0-9]{4})。ハイフンを含む)。8 バイト固定。	1..1	M

ファイル作成機関の XML サンプルを以下に示す。

```

<ClinicalDocument>
...
<!-- ファイル作成機関情報 -->
<author>
  <time value="20250402" />
  <assignedAuthor>
    <id nullFlavor="NI" />
    <representedOrganization>
      <id extension="1234" root="1.2.392.200119.6.101" />
      <name>あいうえお健康保険組合</name>
      <telecom value="tel:0312345678" />
      <addr>
        <postalCode>112-0000</postalCode>
        東京都千代田区大手町 1 - 2 - 3
      </addr>
    </representedOrganization>
  </assignedAuthor>
</author>
...
</ClinicalDocument>

```

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 1.1
特定健診情報ファイル（国への報告用）仕様説明書	2023.03.31

3.2.3.3 ファイル作成管理責任機関情報

特定健診実績報告（保険者→国）仕様説明書の該当情報と同一。

3.2.3.4 受診券番号

本仕様では出現させない。

3.2.3.5 健診実施情報

特定健診実績報告（保険者→国）仕様説明書の該当情報と同一。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 1.1
特定健診情報ファイル（国への報告用）仕様説明書	2023.03.31

3.3 ボディ部

特定健診実績報告（保険者→国）仕様説明書の該当情報と同一。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 1.1
特定健診情報ファイル（国への報告用）仕様説明書	2023.03.31

4. ボキャブラリ仕様

特定健診実績報告（保険者→国）仕様説明書の該当情報と同一。

5. OID 表

本文中で記載されている各種コードのコード体系コード（OID）は、別表 OID 一覧表を参照すること。

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 1.1
特定健診情報ファイル（国への報告用）仕様説明書	2023.03.31

6. 「保険者から国への実績報告用ファイル」を支払基金が加工して本仕様に準拠させるのに必要な加工箇所の例

この例はあくまで理解を助けるために提示するものであり、万一、ここでの例と本仕様説明書およびXMLスキーマとに相違がある場合には、後者を優先するものとする。

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<!-- 2023.03.31 項目を充実して新しいサンプルを作成 -->
<ClinicalDocument xmlns="urn:hl7-org:v3" xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="urn:hl7-org:v3 ../XSD/hc08_V08.xsd">
  <!-- ヘッダ情報記述部 -->
  <!--CDAのデフォルト-->
  <typeId root="2.16.840.1.113883.1.3" extension="POCD_HD000040" />
  <id nullFlavor="NI" />
  <!--報告区分コード -->
  <code code="10" codeSystem="1.2.392.200119.6.1001" />
  <!--文書発行日（西暦） -->
  <effectiveTime value="20251110" /> ☆保険者が本ファイルを作成した日付に上書き設定
  <confidentialityCode code="N" />
  <!--受診者情報-->
  <recordTarget>
    <patientRole>
      <!-- 保険者番号 -->
      <id extension="12000001" root="1.2.392.200119.6.101" />
      <!-- 被保険者証等記号 -->
      <id extension="あああ" root="1.2.392.200119.6.204" />
      <!-- 被保険者証等番号 -->
      <id extension="103" root="1.2.392.200119.6.205" />
      <!-- 被保険者証等枝番 -->
      <id extension="01" root="1.2.392.200119.6.211" />
      <id extension="123 . . ." root="1.2.392.200119.6.202" /> ☆整理用番号 1（実際は64桁）
      <id extension="987 . . ." root="1.2.392.200119.6.203" /> ☆整理用番号 2（実際は64桁）
      <id extension="567 . . ." root="1.2.392.200119.6.900" /> ☆整理用番号 3（実際は64桁）
      <id extension="345 . . ." root="1.2.392.200119.6.18010" /> ☆整理用番号 4（実際は64桁）
      <id extension="789 . . ." root="1.2.392.200119.6.18020" /> ☆整理用番号 5（実際は64桁）
      <id extension="1" root="1.2.392.200119.6.206" /> ☆資格区分（1桁）
      <!--受診者 -->
      <addr>
        <postalCode>113-8655</postalCode>東京都文京区本郷7-3-1</addr>
      <patient>
        <name>タチカカズヨ</name>
        <!-- 性別 -->
        <administrativeGenderCode code="2" codeSystem="1.2.392.200119.6.1104" />
        <!-- 生年月日 -->

```

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 1.1
特定健診情報ファイル（国への報告用）仕様説明書	2023.03.31

```

    <birthTime value="19600203" />
  </patient>
</patientRole>
</recordTarget>
<!--Author -->
<author>
  <!-- 作成日 -->
  <time value="20251010" />
  <assignedAuthor>
    <id nullFlavor="NI" />
    <representedOrganization>
      <!--作成機関のID番号 -->
      <id extension="1234" root="1.2.392.200119.6.101" />
      <!-- 作成機関名 -->
      <name>あいうえお健康保険組合</name>
      <telecom value="tel:0312345678" />
      <addr>
        <postalCode>112-0000</postalCode>
        東京都千代田区大手町1-2-3
      </addr>
    </representedOrganization>
  </assignedAuthor>
</author>
<custodian>
  <assignedCustodian>
    <representedCustodianOrganization>
      <id nullFlavor="NI" />
    </representedCustodianOrganization>
  </assignedCustodian>
</custodian>
<participant typeCode="HLD">
  <!-- 受診券 -->
  <functionCode code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.208" />
  <time>
    <!--有効期限-->
    <high value="20240331" />
  </time>
  <associatedEntity classCode="IDENT">
    <!-- 番号 -->
    <id extension="10111293841" root="1.2.392.200119.6.209.112000001" />
    <!-- 保険者情報 -->
    <scopingOrganization>
      <!--保険者番号-->
      <id extension="12000001" root="1.2.392.200119.6.101" />
    </scopingOrganization>
  </associatedEntity>
</participant>
  <!--健診実施情報-->
</documentationOf>

```

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 1.1
特定健診情報ファイル（国への報告用）仕様説明書	2023.03.31

```

<serviceEvent>
  <!-- プログラムサービスコード -->
  <code code="010" codeSystem="1.2.392.200119.6.1002" />
  <!--実施日-->
  <effectiveTime value="20240401" />
  <performer typeCode="PRF">
    <assignedEntity>
      <id nullFlavor="NI" />
      <representedOrganization>
        <!--実施機関番号 -->
        <id extension="1323456789" root="1.2.392.200119.6.102" />
        <!-- 実施組織名 -->
        <name>東京健診センター</name>
      </representedOrganization>
    </assignedEntity>
  </performer>
</serviceEvent>
</documentationOf>
<!-- 結果記述部 -->
<component>
  <structuredBody>
    <component>
      <section>
        <code code="01010" codeSystem="1.2.392.200119.6.1010" displayName="特定健診検査・問診
セクション" />
        <text />
        <entry>
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="9N001000000000001" displayName="身長" />
            <value xsi:type="PQ" value="150.0" unit="cm" />
          </observation>
        </entry>
        :
        :
      </section>
    </component>
  </structuredBody>
</component>
</ClinicalDocument>

```

特定健診の電子的なデータ標準様式	Version: 1.1
特定健診情報ファイル（国への報告用）仕様説明書	2023.03.31

Ver.1.1

本説明文書は、厚生労働省保険局医療介護連携政策課医療費適正化対策推進室により修正されました。また、「第4期特定健診・特定保健指導の見直しに関する検討会」の下に設置された「システム改修に関するワーキンググループ」の作業班メンバーや、ここに記載していない多くの方々の献身的な貢献により検討された成果に基づいています。

システム改修に関するワーキンググループ作業班

特定健診・特定保健指導の電子的なデータ標準様式

10-2B 特定保健指導情報ファイル
(国への報告用)
仕様説明書
Version 1.1

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.1
特定保健指導情報ファイル（国への報告用）仕様説明書	2023.03.31

目次

1. はじめに	1
1.1 目的.....	1
1.2 参考資料.....	1
2. 概要	3
2.1 本文書の位置付け.....	3
本文書と既存の仕様説明書との相違点.....	3
2.2 記載内容の優先度.....	4
2.3 標準フォーマットの基本的な方針.....	4
2.3.1 1保健指導1ファイル.....	4
2.3.2 本標準フォーマットが対象とする保健指導情報.....	4
2.3.3 HL7 CDA規格との関係.....	4
3. 特定保健指導情報ファイル仕様	5
3.1 全体構成の概要.....	5
3.2 ヘッダ部.....	6
3.2.1 名前空間.....	6
3.2.2 CDA管理情報.....	7
3.2.3 保健指導管理情報.....	7
3.3 ボディ部.....	11
4. OID表	11

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.1
特定保健指導情報ファイル（国への報告用）仕様説明書	2023.03.31

修正履歴

日付	版	修正内容
2020.03.31	V1.0	初版
2023.03.31	V1.1	■XML仕様上に関係のない修正 <ul style="list-style-type: none">・本仕様書のファイル名を変更・バージョンを「1」から「1.1」に修正・2.1 本文書の位置付け等の厚労省通知との対応関係に係る記載を削除・「保険者から支払基金へ」という表現を「保険者から国へ」という表現に変更・その他既存誤記及び見栄え修正

本仕様書の適用範囲

本仕様説明書（Version1.1）は、令和6年度分の法定報告（令和7年11月1日までに実施する法定報告）に係る特定保健指導情報ファイルから適用される。

。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.1
特定保健指導情報ファイル（国への報告用）仕様説明書	2023.03.31

特定保健指導情報ファイル（国への報告用） 仕様説明書

1. はじめに

1.1 目的

本文書の目的は、2008年度から実施している特定保健指導の実績情報を、支払基金から国へ電子的に提出（報告）する際に使用する、電子的なデータ標準様式の定義について詳細に説明することである。

支払基金、もしくは国保は、本仕様に準拠したデータを作成し、提出を行わねばならない。

1.2 参考資料

下記の表は、この文書で参照している標準仕様及び研究報告書等の名称、バージョン、並びにその説明の一覧である。

表1 参考資料

本文書での仕様等の引用名称	バージョン	説明
厚生労働省特定健診プログラム	※	「標準的な健診・保健指導プログラム」
厚生労働省特定健診プログラム手引書	※	「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」
特定健診実績報告（支払基金→国）仕様書	※	「10-1B_特定健診情報ファイル仕様説明書（国への報告用）仕様説明書」。本書と対となる文書で、支払基金から国へ特定健診実績を提出する際の仕様について解説した文書。
特定保健指導実績報告（保険者→国）仕様書	※	「5-1B_特定保健指導情報ファイル仕様説明書」（医療保険者→国）仕様説明書」。保険者から国へ特定保健指導実績を提出する際の仕様について解説した文書。
XML用保健指導項目コード表	※	保健指導報告に関する「XML用保健指導項目コード表」
HL7 Version 3	Normative 2005	HL7 Version 3 の 2005 年度 規範版パッケージ。CDA Release 2.0 の規格書が含まれる。
日本 HL7 協会診療情報提供書	1.0	日本 HL7 協会が策定した、CDA R2 規格をベースとした診療情報提供書の規格。 http://www.hl7.jp/intro/std/HL7J-CDA-001.pdf
HL7 CRS	final draft	米国 HL7 協会が策定中の診療文書に関する実装ガイド。 Implementation Guide for CDA Release 2 – Level 1 and 2 – Care Record Summary (US realm), HL7, Inc., Final Text, June 8, 2006
XML	1.1	Extensible Markup Language http://www.w3.org/TR/2006/REC-xml11-20060816/
XPath	1.0	http://www.w3.org/TR/xpath

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.1
特定保健指導情報ファイル（国への報告用）仕様説明書	2023.03.31

電子レセプト 仕様書	「電子レセプトの作成手引き（医科）」社会保険診療報酬支払基金レセプト電算処理システム電子レセプト作成手引き http://www.ssk.or.jp/seikyushiharai/rezept/iryokikan/iryokikan_02.files/jiki_i01.pdf
---------------	--

※厚生労働省 HP 「特定健診・特定保健指導について」

(<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html>) に公表されている最新版を参照すること。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.1
特定保健指導情報ファイル（国への報告用）仕様説明書	2023.03.31

2. 概要

2.1 本文書の位置付け

本文書は、提出対象となる特定健診・特定保健指導情報ファイルのうち「特定保健指導の実施状況に関する結果」について、支払基金から国に対して提出する際の電子的なデータ標準様式（以下では特定保健指導標準フォーマット、または単に標準フォーマットと記載する）を定義するものである。

本文書で定義される特定保健指導情報の仕様は、「特定健診情報ファイル（国への報告用）仕様説明書」（以下、「特定健診実績報告（支払基金→国）仕様書」と記載する）の文書で定義される健診標準フォーマットの基本的な考え方と共通部分の仕様は同一であり、そちらの文書を参照する形で説明されており、本文書では保健指導に固有の部分についてのみ説明している。従って、本文書を読むに先立って必ず「特定健診実績報告（支払基金→国）仕様書」を読む必要がある。

本文書と既存の仕様説明書との相違点

本文書で説明される標準フォーマットは、保険者から国に特定保健指導の結果情報を報告するための仕様と基本的には同一である。

仕様上の異なる部分は、個人を特定できる項目等の不要な項目についてのその仕様の削除、および報告項目が異なるための仕様変更である。仕様の削除の中には、これまで必須または任意に存在してよいとされていた情報が、存在してはいけない情報となった場合が含まれることに注意が必要である。

また本文書として「特定保健指導実績報告（保険者→国）仕様書」と異なる部分は、1）上記の仕様上の異なる部分を反映させている点、2）国への報告としての位置づけから明らかに説明が不要となる部分の削除、3）国への報告として必要となった情報に対応する仕様変更の3点である。

なお、本文書に対応するXMLスキーマファイルは、「特定保健指導実績報告（保険者→国）仕様書」とともに公開されているXMLスキーマファイルと完全に同一であるため重複して公表をせず、後者を参照するものとする。提出不要となった特定保健指導情報項目を本仕様で削除したにもかかわらず、対応するXMLスキーマファイルに変更の必要がない理由は、これらの削除項目に対応する要素または属性はあらかじめ省略可能と定義されていたからである。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.1
特定保健指導情報ファイル（国への報告用）仕様説明書	2023.03.31

2.2 記載内容の優先度

この文書の記載内容と最新の厚生労働省通知との記述に相違がある場合には、最新の厚生労働省通知（<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000161103.html>）の記述を優先するものとする。

本文書と対をなして公表されている XML スキーマファイルでは、XML 要素や属性の出現多重度や選択性について、本文書での記載よりも緩い記述（制約条件が広い記述）になっていることがある。このような場合には、本文書に記載されている記述が優先するものとする。たとえば XML スキーマでは 1 回以上何度出現してもよいとなっている要素について、本文書では 1 回だけ必ず出現するものと記載しているケースでは、本文書に従うものとし、当該要素は 1 回だけ必ず出現しなければならない。同様にたとえば XML スキーマでは出現してもしなくても良い（出現がオプション）とされている属性や要素について、本文書では出現してもよいことが明示的に記載されていないケースでは、本文書に従うものとし、当該属性や当該要素は出現してはならない。

2.3 標準フォーマットの基本的な方針

2.3.1 1 保健指導 1 ファイル

本標準フォーマットは、1 人の保健指導利用者（以下、利用者）に対してなされた一連の保健指導の実施情報を、報告が義務付けられた報告単位（1 報告）ごとに 1 つの XML 形式で格納し、1 個の電子ファイル（Windows や UNIX などのコンピュータオペレーティングシステムでひとつの電子ファイルとして扱われるファイル単位）とするものである。1 報告にとって必要となるヘッダー情報（保健指導機関に関する情報や日付、利用者を識別するための情報など）が含まれている。

1 人の利用者の 1 報告ごとに 1 電子ファイルとし、複数報告もしくは複数利用者の実施情報はその数だけの電子ファイルを別々に生成する方針をとっている。従って、1 電子ファイルに、複数報告もしくは複数利用者の実施情報を格納することはできない。

2.3.2 本標準フォーマットが対象とする保健指導情報

本標準フォーマットは、提出対象となる特定健診・特定保健指導情報ファイルのうち「特定保健指導の実施状況に関する結果」を格納することを目的としている。

2.3.3 HL7 CDA 規格との関係

本標準フォーマットは、HL7 CDA Release 2（以下 CDA R2）規格¹に完全準拠するものとし、本標準フォーマット仕様は、HL7 CDA 規格で定義される XML スキーマに対して特定保健指導固有のさらなる制約を課すことで実現されている。

本仕様書では、XML タグ仕様は、健診仕様書と同一の方法で説明している。

¹ ANSI/HL7 CDA R2-2005 4/21/2005 版

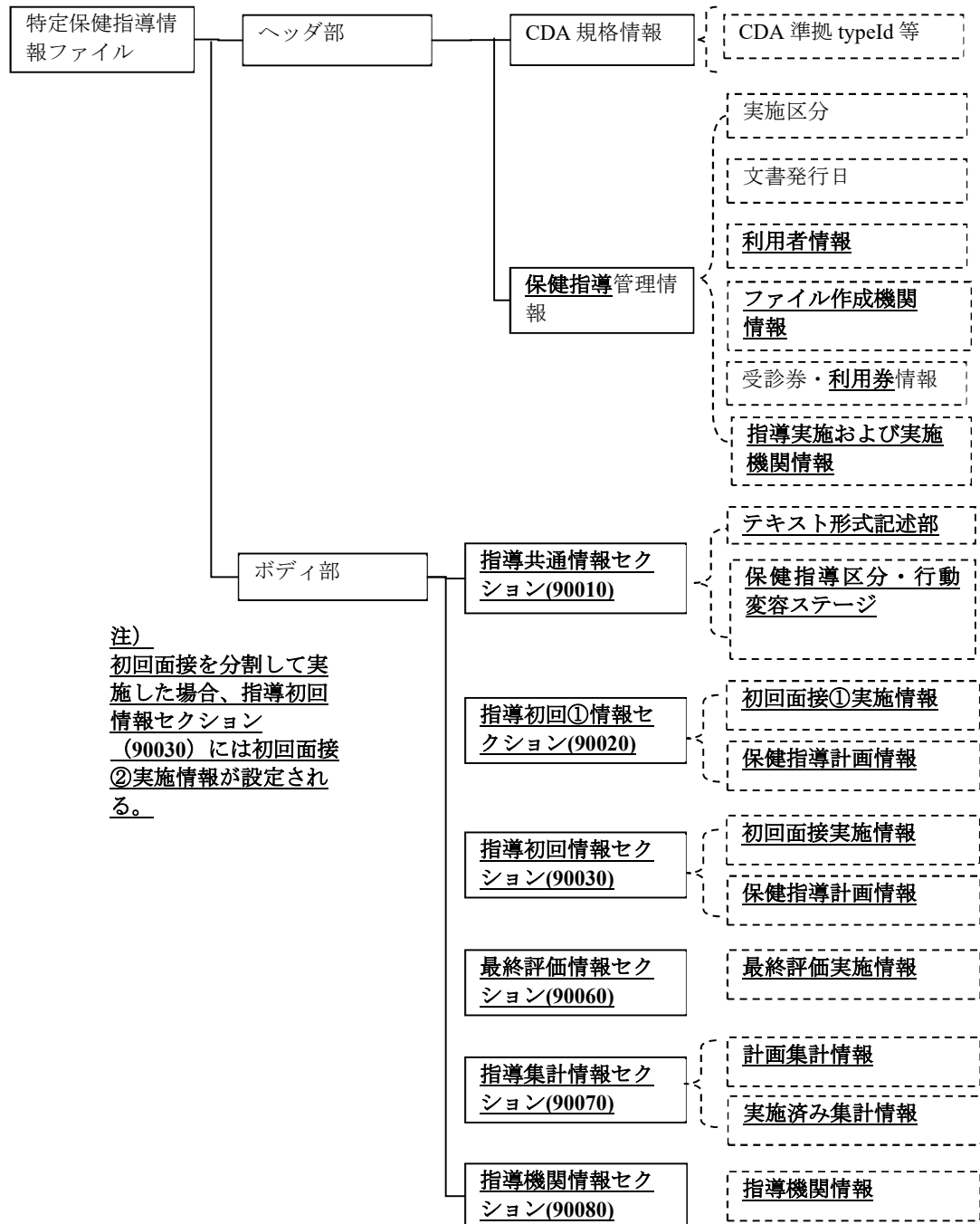
特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.1
特定保健指導情報ファイル（国への報告用）仕様説明書	2023.03.31

3. 特定保健指導情報ファイル仕様

※図表中で「特定健診実績報告（支払基金→国）仕様書」との相違の主要部分は太字下線で示している。

3.1 全体構成の概要

本標準フォーマットにもとづく XML ファイルは、ヘッダ部とボディ部からなる（下図）。



注)
初回面接を分割して実施した場合、指導初回情報セクション(90030)には初回面接②実施情報が設定される。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.1
特定保健指導情報ファイル（国への報告用）仕様説明書	2023.03.31

ヘッダ部には、CDA 規格上必要となるメッセージ種別など CDA 規格情報、記録されているイベント（健診、指導など）に関する実施区分や文書発行日（特定保健指導情報ファイルの作成日）情報、作成者情報、記録対象者（利用者）情報などの保健指導管理情報から構成される。

ボディ部には、指導計画や指導実施に関する情報が、一部は人間可読なテキスト形式で記述されるとともに、コンピュータ処理を可能とするための形式で構造化されて記述される。

3.2 ヘッダ部

3.2.1 名前空間

特定健診実績報告（支払基金→国）仕様書の当該部分と以下の部分を除き同一である。

当該部分を、特定健診実績報告（支払基金→国）仕様書と異なる部分に下線を引いて、以下に引用する。

==引用開始==

本仕様書で定義される XML インスタンスの名前空間は「urn:hl7-org:v3」とし、これをデフォルト名前空間として指定する。

また、本仕様書で定義される XML インスタンスでは、「http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance」という URI で識別される XML スキーマインスタンスの名前空間を使用する。

本仕様のスキーマファイルは「hg08_V08.xsd」というファイル名のファイルにより別途提供される。ここでこのファイル名中の V08 は version 番号であり、今後スキーマファイルに大きな変更が加わる場合にはそれに伴って変更される可能性がある。下記は XML インスタンスの実例であり、本仕様に基づくすべての XML インスタンスは、スキーマファイル名の version 番号部分を除きこの部分を変更してはならない。

補足説明 1：本仕様でファイルを生成する側は、文字コードは UTF-8 を使用するものとする。

補足説明 2：UTF-8 文字コードのファイルをコンピュータプログラムにより生成する場合に、ファイルの冒頭の（通常のテキスト表示では見えない最初の）3 バイトに Byte Order Mark (BOM) と呼ばれる 3 バイト EF BB BF (16 進)をつけるスタイルと、つけないスタイルの両方が世の中に存在する。本仕様でファイルを生成する側は、この BOM と呼ばれる 3 バイトを付与しないものとする。ソフトウェア開発者は、自分の使用する XML ファイル生成機能が自動的に BOM を付与するソフトかどうかを調べ、自動付与するスタイルのソフトウェアの場合には、生成されたファイルの第 1 バイト目からの先頭 3 バイトを削除することが必要である。どちらのソフトウェアであるかを調査するためには、テキスト表示ソフトでは通常表示されないので、冒頭の数バイトをプログラムで確認するなりして確認することが必要である。

一方、本仕様で生成されたファイルを受信する側では、生成側が誤って BOM を付けたファイルを生じている可能性を想定し、BOM の有無にかかわらず正しく処理できるようにすることが必要である。

補足説明 3：スキーマファイル名の version 番号部分は V08 で統一する。下記の例で示すように、hg08_V08.xsdとするものとする。今後スキーマファイルが一部修正された場合においても、リリースされたスキーマファイル名を下図のようにバージョン番号部分を V08 に名前を変更して使用するものとする。なお、将来の制度の改訂などにより、部分修正に留まらない大きな変更が加えられた場合には、これによらない場合がある。

なお、オペレーティングシステムによる違いの影響を排除するため、スキーマファイル名、その相対パス名の英大文字小文字の違いを意識するものとし、以下の通りとする。

スキーマファイル名を含む相対パス名： ../XSD/hg08_V08.xsd

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.1
特定保健指導情報ファイル（国への報告用）仕様説明書	2023.03.31

注：ピリオド 2 個で始まっていることから分かるように、スキーマファイルが格納されるフォルダ XSD は、本 XML ファイルが格納されるフォルダ（ディレクトリ）の兄弟フォルダである。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<ClinicalDocument xmlns="urn:hl7-org:v3"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="urn:hl7-org:v3 ../XSD/hg08_V08.xsd">
  ...
</ClinicalDocument>
```

==引用終了==

3.2.2 CDA 管理情報

特定健診実績報告（支払基金→国）仕様書の当該部分と同一である。

3.2.3 保健指導管理情報

CDA 管理情報の 2 つの要素につづく要素は、保健指導管理情報であり、表 2 に示される項目からなる。

表 2 ヘッダ部の保健指導管理情報

No	XPath	説明	厚労省公表資料との対応	多重度	選択性
0	/ClinicalDocument			1..1	M
3	code	報告区分を表すコードを設定。		1..1	M
3.1	@code	<u>10の桁は実施区分、1の桁は実施時点の各コードである。すなわち</u> <u>22:すべて完了して国に保健指導実績を報告する場合</u> <u>23:特定保健指導途中終了確定時に国に保健指導実績を報告する場合</u>	10の桁は実施区分、1の桁は実施時点の各コード	1..1	M
3.2	@codeSystem	特定健診実績報告（支払基金→国）仕様書の当該部分と同一仕様。 コードのコード体系を識別する OID。 「1.2.392.200119.6.1001」を設定。		1..1	M
3.3	@displayName	使用しない		0..1	O
4	effectiveTime	特定健診実績報告（支払基金→国）仕様書の当該部分と同一仕様。 本ファイルのオフィシャルなファイル作成日（実際のファイル作成日と異なることもあり）。この日付をもって本データを提出したことから取り扱う日。		1..1	M
4.1	@value	特定健診実績報告（支払基金→国）仕様書の当該部分と同一仕様。 「YYYYMMDD」。		1..1	M

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.1
特定保健指導情報ファイル（国への報告用）仕様説明書	2023.03.31

5	confidentialityCode	特定健診実績報告（支払基金→国）仕様書の当該部分と同一仕様。 守秘レベルコード。HL7 ボキャブラリドメイン Confidentiality の値を使用。	1..1	M
5.1	@code	特定健診実績報告（支払基金→国）仕様書の当該部分と同一仕様。 守秘レベルコードのニーモニック。通常時の守秘レベルを表す「N」を設定。	1..1	M
5.2	@codeSystem	特定健診実績報告（支払基金→国）仕様書の当該部分と同一仕様。 XML ファイルサイズを小さくするため当面使用しない。使用するには守秘レベルコードのコード体系を識別する OID。「2.16.840.1.113883.5.25」固定。	0..1	O
6	recordTarget	特定健診実績報告（支払基金→国）仕様書の当該部分と同一仕様。 利用者情報。構造を含め詳細は、3.2.3.1 節に記載。	1..1	M
7	author	特定健診実績報告（支払基金→国）仕様書の当該部分と同一仕様。 本ファイルを作成し提出する保険者側の情報（通常は送付元に相当する。構造を含め詳細は、3.2.3.2 節に記載。	1..1	M
8	custodian	特定健診実績報告（支払基金→国）仕様書の当該部分と同一仕様。 本ファイル作成管理責任機関情報。本仕様では使用しないが HL7CDA 規格上必須であるため、0 節のように記述するものとする。	1..1	M
9	participant	利用者の受診券と利用券に関する情報。詳細は、3.2.3.4 節に記載。	0..2	O
10	documentationOf	保健指導実施情報。詳細は、3.2.3.5 節に記載。	1..1	M

ヘッダ部のサンプルは省略する。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.1
特定保健指導情報ファイル（国への報告用）仕様説明書	2023.03.31

3.2.3.1 利用者情報

特定健診実績報告（支払基金→国）仕様書の当該部分と以下の点を除き同一仕様。

- ・「受診者」を「利用者」に読み替える。

3.2.3.2 ファイル作成機関の情報

特定健診実績報告（支払基金→国）仕様書の当該部分と以下の点を除き同一仕様。

- ・「健診」を「保健指導」に読み替える。

3.2.3.3 ファイル作成管理責任機関情報

特定健診実績報告（支払基金→国）仕様書の当該部分と同一仕様。

3.2.3.4 受診券・利用券情報

特定保健指導情報ファイル（医療保険者→国）仕様書の当該部分と以下の点を除き同一仕様。

- ・受診券情報を出現させない。
- ・利用券整理番号は、厚労省から配布された匿名化・提供システムにより、最初の2桁(特定保健指導の基になった特定健診の実施年度のみ)を残し、残りの桁が「*」に変更される。

以下 表3 に再掲する。

表3 利用券情報のXML仕様

No	XPath	説明	多重度	選択性
9	participant[functionCode/@code="2"]	利用券整理番号は、利用券を発券しないで特定保健指導を実施した場合にも必ず出現させること	1..1	M
9.1	@typeCode	HL7 ポキャブラリドメイン ParticipationType から所有者を示す「HLD」を設定。	1..1	M
9.2	functionCode	利用券の情報であることを示す情報	1..1	M
9.2.1	@code	利用券券面種別コードを示す「2」を設定。	1..1	M
9.2.2	@codeSystem	受診券・利用券の券面種別コードのためのOID。「1.2.392.200119.6.208」を設定。	1..1	M
9.3	time	利用券の有効期間 要素が出現しない	0	X
9.5	associatedEntity	利用券と発行者の識別情報。	1..1	M
9.5.1	@classCode	HL7 ポキャブラリドメイン RoleClass から「IDENT」を設定。	1..1	M
9.6	associatedEntity/id	利用券整理番号	1..1	M
9.6.1	@extension	「利用券整理番号」に対応する文字列。数字11桁固定。 厚労省から配布された匿名化・提供システムにより、最初の2桁(特定保健指導の基になった特定健診の実施年度のみ)を残し、残りの桁が「*」に変更される。	1..1	M
9.6.2	@root	本来は利用券整理番号のためのOIDを設定する属性であるが、本仕様では省略す	0	X

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.1
特定保健指導情報ファイル（国への報告用）仕様説明書	2023.03.31

		る。 属性が出現しない 保健指導機関情報から受領するファイルには OID が設定されており、そのOIDには利用券を発行した保険者番号が含まれているため、OIDを削除することが必要である。		
9.7	associatedEntity/scopingOrganization	利用券を発行した保険者の保険者情報 要素が出現しない	0	X

3.2.3.5 保健指導実施情報

特定健診実績報告（支払基金→国）仕様書の当該部分と以下の点を除き同一仕様。

- ・「健診」を「保健指導」に読み替える。
- ・「受診者」を「利用者」に読み替える。
- ・「実施日」もしくは「実施年月日」は保健指導の実施年月日として国への実績報告書に記述すべき日付を厚生労働省通知に従い設定する。
- ・プログラムサービスコードとして
「/ClinicalDocument/documentationOf/serviceEvent/code/@code」には「100」を設定する。
- ・保健指導実施機関には、行動計画の実績評価を行った実施機関の情報を記録する。
※途中終了の場合は、初回面接を行った実施機関の情報とする。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.1
特定保健指導情報ファイル（国への報告用）仕様説明書	2023.03.31

3.3 ボディ部

特定保健指導実績報告(保険者→国)仕様書と同一仕様。

4. OID 表

本文書中で記載されている各種コードのコード体系コード（OID）は、別表 OID 一覧表を参照すること。

特定保健指導の電子的なデータ標準様式	Version: 1.1
特定保健指導情報ファイル（国への報告用）仕様説明書	2023.03.31

Ver.1.1

本説明文書は、厚生労働省保険局医療介護連携政策課医療費適正化対策推進室により修正されました。また、「第4期特定健診・特定保健指導の見直しに関する検討会」の下に設置された「システム改修に関するワーキンググループ」の作業班メンバーや、ここに記載していない多くの方々の献身的な貢献により検討された成果に基づいています。

システム改修に関するワーキンググループ作業班

OID(オブジェクト I D) 表

付属 1

OID	コード表名称	コード：値 または説明	備考
1.2.392.200119.6.101	保険者番号	8桁に満たない場合は先頭ゼロをつけて8桁化して使用する	このOIDは自治体健診でも使用
1.2.392.200119.6.102	特定健診機関番号・特定保健指導機関番号(10桁)		このOIDは自治体健診でも使用
1.2.392.200119.6.103	代行機関番号(8桁)		
1.2.392.200119.6.104	国・支払基金区分	1：国、2：支払基金	
1.2.392.200119.6.105	地方公共団体コード	財団法人地方自治情報センターが公開する自治体コード	このOIDは自治体健診でも使用
1.2.392.200119.6.202	整理用番号 1		保険者での設定は不要
1.2.392.200119.6.203	整理用番号 2		保険者での設定は不要
1.2.392.200119.6.900	整理用番号 3		保険者での設定は不要
1.2.392.200119.6.18010	整理用番号 4		保険者での設定は不要
1.2.392.200119.6.18020	整理用番号 5		保険者での設定は不要
1.2.392.200119.6.21010	整理用番号 5 チェックコード		保険者での設定は不要
1.2.392.200119.6.204	被保険者記号		このOIDは自治体健診でも使用
1.2.392.200119.6.205	被保険者番号		このOIDは自治体健診でも使用
1.2.392.200119.6.206	資格区分コード	1：強制被保険者 2：強制被扶養者 3：任意継続被保険者 4：任意継続被扶養者 5：特例退職被保険者 6：特例退職被扶養者 7：国保被保険者	健診は健診実施日、保健指導は初回面接実施日の資格を記録※ 国保は提出を必須化しない
1.2.392.200119.6.208	券面種別	1：受診券、2：利用券	
1.2.392.200119.6.209.xxxx xxxx	受診券の整理番号	xxxxxxxx は受診券を発行した 8 桁の保険者番号の先頭に 1 を付与した 9 桁番号	
1.2.392.200119.6.210.xxxx xxxx	利用券整理番号	xxxxxxxx は利用券を発行した 8 桁の保険者番号の先頭に 1 を付与した 9 桁番号	
1.2.392.200119.6.211	被保険者証等枝番		このOIDは自治体健診でも使用
1.2.392.200119.6.212	保険者番号(ダウンロード保険者)	8桁に満たない場合は先頭ゼロをつけて8桁化して使用する	
1.2.392.200119.6.213	被保険者記号(ダウンロード保険者)		
1.2.392.200119.6.214	被保険者番号(ダウンロード保険者)		
1.2.392.200119.6.215	被保険者証等枝番(ダウンロード保険者)		
1.2.392.200119.6.299	当事者間固有の利用者 I D	当事者間で合意して記述する利用者識別番号	このOIDは自治体健診でも使用

OID	コード表名称	コード：値 または説明	備考
1.2.392.200119.6.1001	報告区分コード	10：特定健診情報 19：提出済み健診情報(閲覧用ファイル)の削除依頼 21：特定保健指導情報(開始時) 22：特定保健指導情報(実績評価時=集合契約の場合の最終決済時) 23：特定保健指導情報(途中終了時=利用停止等) 24：特定保健指導情報(その他) 25：特定保健指導情報(初回未完了) 30：国への実施結果報告 40：特定健診以外の健診結果を送付 41：事業者健診 42：自治体健診 43：乳幼児健診 44：妊婦健診 49：提出済み特定健診以外の情報(閲覧用ファイル)の削除依頼 90：そのほか	10、19、40：送信側がXMLファイルを作成する時には、実施区分コード(別表2)1桁を10の位に設定し、1の位にはゼロを設定するものとする 19：保険者からの閲覧用ファイルの削除依頼に使用 21：保健指導実施時点コード別表5のコード1に相当 22：保健指導実施時点コード別表5のコード2に相当 23：保健指導実施時点コード別表5のコード3に相当 24：保健指導実施時点コード別表5のコード4に相当 25：保健指導実施時点コード別表5のコード5に相当 ※このOIDは自治体健診でも使用
1.2.392.200119.6.1002	プログラム種別コード	000：不明 010：特定健診 020：広域連合の保健事業 030：事業者健診(労働安全衛生法に基づく健診) 040：学校健診(学校保健安全法に基づく職員健診) 060：がん検診 090：肝炎検診 990：上記いずれでもない健診(検診) 100：特定保健指導	
1.2.392.200119.6.1005	特定健診項目コード表	XML健診コード表の項目コード(JLAC10-17桁コード)	
1.2.392.200119.6.1006	特定保健指導項目コード表	XML保健指導コード表の項目コード	
1.2.392.200119.6.1007	検査方法 10桁コード	XML健診コード表のXML検査方法コード欄を参照	
1.2.392.200119.6.1008	メタボリックシンドローム判定	1：基準該当、2：予備群該当、3：非該当、4：判定不能	

OID	コード表名称	コード：値 または説明	備考
1.2.392.200119.6.1010	CDA セクションコード	01010：特定健診・問診結果セクション 01020：広域連合保健事業セクション 01030：労働安全衛生法健診結果セクション 01040：学校保健安全法健診結果セクション 01060：がん検診セクション 01090：肝炎検診セクション 01990：任意追加項目セクション 90010：指導共通情報セクション 90020：指導初回①情報セクション 90030：指導初回情報セクション 90040：継続支援情報セクション 90050：中間評価情報セクション 90060：最終評価情報セクション(=3か月評価情報セクション) 90070：指導集計情報セクション 90080：指導機関情報セクション	
1.2.392.200119.6.1101	種別コード	1：特定健診機関又は特定保健指導機関から代行機関 2：代行機関から特定健診機関又は特定保健指導機関 3：代行機関から保険者 4：保険者から代行機関(未決済データの場合) 5：保険者から代行機関(決済済データの場合) 6：特定健診機関又は特定保健指導機関から保険者 7：保険者から特定健診機関又は特定保健指導機関 8：保険者から保険者 9：その他 10：保険者から国(支払基金) 11：代行機関から保険者へ確認依頼 12：閲覧用 13：予備	
1.2.392.200119.6.1103	実施区分コード	1：特定健診情報、2：特定保健指導情報、3：国への実績報告、 4：他の健診結果の受領分、5：国への実績報告(匿名化前)	3：保険者での設定は不要 4：事業者健診の結果を受領した場合
1.2.392.200119.6.1104	男女区分コード	1：男、2：女	このOIDは自治体健診でも使用
1.2.392.200119.6.1106	窓口負担コード	1：受診者・利用者は負担なし 2：受診者・利用者は定額負担 3：受診者・利用者は定率負担 4：保険者の負担上限額	

OID	コード表名称	コード：値 または説明	備考
1.2.392.200119.6.1107	請求区分コード	1：基本的な健診 2：基本的な健診＋詳細な健診 3：基本的な健診＋追加健診項目 4：基本的な健診＋詳細な健診＋追加健診項目 5：人間ドック	
1.2.392.200119.6.1108	詳細な健診項目コード	1：貧血検査、2：心電図検査、3：眼底検査、4：血清クレアチニン検査	
1.2.392.200119.6.1109	返戻理由コード	01：データの記録形式不備 02：データの記録もれ 03：健診結果データ異常 04：契約対象外 05：受診券・利用券の整理番号不備 06：有効期限外 07：窓口負担金額不備 08：健診・指導機関からの取下げ依頼による 09：その他	
1.2.392.200119.6.1110	過誤返戻理由コード	01：被保険者証の記号・番号の誤り 02：受診券・利用券の整理番号の誤り 03：受診者・利用者氏名の誤り 04：該当者なし 05：保険者番号と記号の不一致 06：資格喪失後の受診 07：重複請求 08：健診・指導機関からの取下げ依頼による 09：その他	
1.2.392.200119.6.1111	保健指導実施時点コード	1：開始時 2：実績評価時 3：途中終了時 4：その他 5：初回未完了	2：集合契約の場合の最終決済時に記録 3：被保険者資格喪失による利用停止・脱落等 4：個別契約の場合に記録（月次決済時、報告のみ等）1～3に該当しない場合 5：初回面接を分割実施し、被保険者資格喪失による利用停止・脱落等により初回面接①のみとなった場合
1.2.392.200119.6.1112	保健指導区分コード	1：積極的支援、2：動機付け支援、3：動機付け支援相当	

OID	コード表名称	コード：値 または説明	備考
1.2.392.200119.6.24010	保健指導支援形態コード	1：個別支援（対面）、2：個別支援（遠隔）、3：グループ支援（対面）、4：グループ支援（遠隔）、5：電話、6：電子メール等 ※「5：電話」及び「6：電子メール等」は、初回面接(分割して実施した場合は1回目)は入力不可能	
1.2.392.200119.6.1114	窓口負担徴収コード	1：初回指導時全額徴収、2：それ以外	
1.2.392.200119.6.1205.[枝番号]	検査項目独自ローカルコード	J L A C 1 0 準拠でない独自のローカルコードを検査項目等に使用する場合の O I D で、使用方法は、別途サイト上の「厚労省手引書附属資料7に収載されていない検査項目コードの取扱い指針」を必ず参照しそれに準拠すること	
1.2.392.200119.6.24020	再確認コード	1：質問票の記載違い(服薬中)を確認、2：健診以後に服薬開始を確認	
1.2.392.200119.6.24030	保健指導時服薬確認コード	1：保健指導以後に服薬開始を確認	対象から除外する場合に記載し、服薬中であっても保健指導を継続した場合は記載しない
1.2.392.200119.6.2001	健診検査特記事項有無コード	1：特記事項あり、2：特記事項なし	
1.2.392.200119.6.2002	健診検査所見解釈コード	1：異常所見あり、2：異常所見なし、3：要再検査、4：検査不適	
1.2.392.200119.6.2003	問診結果コード	1：はい、2：いいえ	
1.2.392.200119.6.2004	食事の速さコード	1：速い、2：ふつう、3：遅い	
1.2.392.200119.6.24040	飲酒習慣	1：毎日、2：週5～6日、3：週3～4日、4：週1～2日、5：月に1～3日、6：月に1日未満、7：やめた、8：飲まない(飲めない)	
1.2.392.200119.6.24050	飲酒量区分	1：1合未満、2：1～2合未満、3：2～3合未満、4：3～5合未満、5：5合以上	
1.2.392.200119.6.24060	喫煙	1：はい、2：以前は吸っていたが、最近1ヶ月間は吸っていない、3：いいえ	
1.2.392.200119.6.2007	生活習慣改善意志区分	1：意志なし、2：意志あり（6か月以内）、3：意志あり（近いうち）、4：取組済み（6か月未満）、5：取組済み（6か月以上）	
1.2.392.200119.6.2008	問診結果コード	0：はい、1：いいえ	
1.2.392.200119.6.2009	問診結果コード	0：いいえ、1：はい	
1.2.392.200119.6.18030	咀嚼コード	1：何でも、2：かみにくい、3：ほとんどかめない	
1.2.392.200119.6.18040	間食コード	1：毎日、2：時々、3：ほとんど摂取しない	
1.2.392.200119.6.18050	情報提供コード	1：付加価値の高い情報提供、2：専門職による対面説明、3：1と2両方実施	
1.2.392.200119.6.18060	初回面接	1：健診1週間以内に初回面接実施	セット券の運用で使用健診実施日を0日として7日後までに特定保健指導の初回面接を実施した場合のみ設定。1に当てはまらない場合は出現させない
1.2.392.200119.6.24070	健診後早期の初回面接	0：実施なし、1：当日、2：1週間以内（当日は除く）	「2：1週間以内（当日は除く）」は、健診実施日を0日として1日後から7日後までに特定保健指導の初回面接を実施した場合
1.2.392.200119.6.24080	検査未実施の理由	1：生理中、2：腎疾患等の基礎疾患があるため排尿障害を有する、3：その他	
1.2.392.200119.6.2100	定性検査結果	1：陽性、2：陰性	

OID	コード表名称	コード：値 または説明	備考
1.2.392.200119.6.2101	定性検査結果	1：陰性、2：陽性	
1.2.392.200119.6.2102	健診定性検査結果コード	1：－、2：±、3：1＋、4：2＋、5：3＋	
1.2.392.200119.6.2103	ウイルス等のタイター	1：陰性、2：低力価、3：中力価、4：高力価	
1.2.392.200119.6.2110	眼底検査KW分類	1：0、2：I、3：IIa、4：IIb、5：III、6：IV	
1.2.392.200119.6.2111	眼底検査シェイエ分類H	1：0、2：1、3：2、4：3、5：4	
1.2.392.200119.6.2112	眼底検査シェイエ分類S	1：0、2：1、3：2、4：3、5：4	
1.2.392.200119.6.2113	眼底検査SCOTT分類S	1：I(a)、2：I(b)、3：II、4：III(a)、5：III(b)、6：IV、7：V(a)、8：V(b)、9：VI	
1.2.392.200119.6.18080	眼底検査Wong-Mitchell分類	1：所見なし、2：軽度、3：中等度、4：重度	
1.2.392.200119.6.18090	眼底検査改変Davis分類	1：網膜症なし、2：単純網膜症、3：増殖前網膜症、4：増殖網膜症	
1.2.392.200119.6.2115	血液型 (ABO)	1：A、2：B、3：AB、4：O	
1.2.392.200119.6.2116	血液型 (Rh)	1：＋、2：－	
1.2.392.200119.6.2120	子宮頸部細胞診(日母分類)	1：classI～6：classV、7：検体不良	
1.2.392.200119.6.18100	子宮頸部細胞診(細胞診婦人科材料)(ベセスダシステム2001)	1：NILM、2：ASC-US、3：ASC-H、4：LSIL、5：HSIL、6：SCC、7：AGC、8：AIS、9：Adenocarcinoma、10：other	
1.2.392.200119.6.2122	子宮体部細胞診(細胞診婦人科材料)	1：陽性、2：疑陽性、3：陰性、4：検体不良	
1.2.392.200119.6.2130	喀痰検査細胞診	1：A、2：B、3：C、4：D、5：E	
1.2.392.200119.6.2131	喀痰検査ガフキー	1：0号～11：10号	
1.2.392.200119.6.2140	がん検診	1：A、2：B、3：C、4：D、5：E	
1.2.392.200119.6.2141	がん検診判定	1：精密検査必要、2：精密検査不要	
1.2.392.200119.6.2150	C型肝炎ウイルス検診の判定	1：現在、C型肝炎ウイルスに感染していない可能性が極めて高い、2：現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が極めて高い	
1.2.392.200119.6.18110	血清クレアチニン (対象者)	0：詳細健診以外で実施 1：検査結果による血清クレアチニン検査対象者	
1.2.392.200119.6.18120	心電図 (対象者)	0：詳細健診以外で実施 1：検査結果による心電図検査対象者 2：不整脈による心電図検査対象者	
1.2.392.200119.6.18130	眼底検査 (対象者)	0：詳細健診以外で実施 1：検査結果による眼底検査対象者	
1.2.392.200119.6.2202	食後時間区分	2：10時間以上、3：食後3.5時間以上10時間未満、 4：食後3.5時間未満	
1.2.392.200119.6.2301	聴力検査方法	1：オージオメトリー、2：その他	
1.2.392.200119.6.2501	生活機能評価の結果1	1：介護予防事業の利用が望ましい、2：医学的な理由により次の介護予防の利用は不適当、3：生活機能の低下なし	
1.2.392.200119.6.2502	生活機能評価の結果2	1：すべて、2：運動器の機能向上、3：栄養改善、4：口腔機能の向上、5：その他（上記で2を選択したときに記載）	
1.2.392.200119.6.3001	支援レベルコード	1：積極的支援、2：動機付け支援、3：なし（情報提供）、4：判定不能	

OID	コード表名称	コード：値 または説明	備考
1.2.392.200119.6.3002	生活習慣の改善意思区分(行動変容ステージ区分)	1：意志なし、2：意志あり（6か月以内）、3：意志あり（近いうち）、4：取組済み（6ヶ月未満）、5：取組済み（6ヶ月以上）	
1.2.392.200119.6.24090	腹囲・体重の改善	0：未達成、1：1cm・1kg、2：2cm・2kg	
1.2.392.200119.6.24100	生活習慣の改善	0：未達成、1：達成、9：目標なし	
1.2.392.200119.6.24130	喫煙習慣の改善	0：禁煙未達成、1：禁煙達成、8：非喫煙、9：禁煙目標なし	
1.2.392.200119.6.24110	腹囲・体重の計画	0：計画なし、1：1cm・1kg、2：2cm・2kg	
1.2.392.200119.6.24120	行動変容の計画	0：計画なし、1：計画あり	
1.2.392.200119.6.3020	保健指導関係者区分	1：医師、2：保健師、3：管理栄養士、4：その他	
1.2.392.200119.6.18150	実施内容	1：初回面接（分割実施以外）、2：初回面接①、3：初回面接②、4：中間評価、5：継続的支援、6：実績評価	
1.2.392.200119.6.19010	あなたの現在の健康状態はいかがですか（後期）	1：よい、2：まあよい、3：ふつう、4：あまりよくない、5：よくない	
1.2.392.200119.6.19020	毎日の生活に満足していますか（後期）	1：満足、2：やや満足、3：やや不満、4：不満	
1.2.392.200119.6.19030	1日3食きちんと食べていますか（後期）	1：はい、2：いいえ	
1.2.392.200119.6.19040	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（後期）	1：はい、2：いいえ	
1.2.392.200119.6.19050	お茶や汁物等でむせることがありますか（後期）	1：はい、2：いいえ	
1.2.392.200119.6.19060	6カ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか（後期）	1：はい、2：いいえ	
1.2.392.200119.6.19070	以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか（後期）	1：はい、2：いいえ	
1.2.392.200119.6.19080	この1年間に転んだことがありますか（後期）	1：はい、2：いいえ	
1.2.392.200119.6.19090	ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか（後期）	1：はい、2：いいえ	
1.2.392.200119.6.19100	周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされていますか（後期）	1：はい、2：いいえ	
1.2.392.200119.6.19110	今日が何月何日かわからない時がありますか（後期）	1：はい、2：いいえ	
1.2.392.200119.6.19120	あなたはたばこを吸いますか（後期）	1：吸っている、2：吸っていない、3：やめた	
1.2.392.200119.6.19130	週に1回以上は外出していますか（後期）	1：はい、2：いいえ	
1.2.392.200119.6.19140	ふだんから家族や友人と付き合いがありますか（後期）	1：はい、2：いいえ	
1.2.392.200119.6.19150	体調が悪いときに、身近に相談できる人がいますか（後期）	1：はい、2：いいえ	

XML用特定健診項目情報

実施項目	法定報告項目	区分番号	区分名称	順番号	項目コード (17桁)	項目名	データタイプ	XMLデータ型	最大バイト長	数値型の場合の形式	表示用単位	XML用単位	author要素	一連検査グループ識別	一連検査グループ関係コード	同一性項目コード	同一性項目名称	XML検査方法コード	検査方法	結果コードOID	項目コードOID	XML化にあつたの備考	備考	
○	○	10	身体計測	10	9N001000000000001	身長	数字	PQ	5	NNN.N	cm	cm				9N001	身長				1.2.392.200119.6.1005			
○	○	10	身体計測	20	9N006000000000001	体重	数字	PQ	5	NNN.N	kg	kg				9N006	体重				1.2.392.200119.6.1005			
○	○	10	身体計測	30	9N011000000000001	BMI	数字	PQ	4	NN.N	kg/m2	kg/m2				9N011	B M I				1.2.392.200119.6.1005			
○	○	10	身体計測	40	9N021000000000001	内臓脂肪面積	数字	PQ	5	NNN.N	cm2	cm2				9N021	内臓脂肪面積				1.2.392.200119.6.1005			
		10	身体計測	50	9N016160100000001	腹囲(実測)	数字	PQ	5	NNN.N	cm	cm				9N016	腹囲	9N01610000	1:実測		1.2.392.200119.6.1005			
		10	身体計測	60	9N016160200000001	腹囲(自己判定)	数字	PQ	5	NNN.N	cm	cm				9N016	腹囲	9N01620000	2:自己判定		1.2.392.200119.6.1005			
		10	身体計測	70	9N016160300000001	腹囲(自己申告)	数字	PQ	5	NNN.N	cm	cm				9N016	腹囲	9N01630000	3:自己申告		1.2.392.200119.6.1005		BMIが22未満である者に限る	
		10	身体計測	80	9N026000000000002	肥満度	数字	PQ	5	NNN.N	%	%				9N026	肥満度				1.2.392.200119.6.1005			
		20	診察	90	9N051000000000049	業務歴	文字列	ST	256							9N051	業務歴				1.2.392.200119.6.1005			
○	○	20	診察	100	9N056000000000011	既往歴	コード	CD	1	N						9N056	既往歴			1.2.392.200119.6.2001	1.2.392.200119.6.1005		1:特記すべきことあり、2:特記すべきことなし	
○	○	20	診察	110	9N056160400000049	具体的な既往歴	文字列	ST	256							9N056	既往歴				1.2.392.200119.6.1005		特記すべきことありの場合記載	
○	○	20	診察	120	9N061000000000011	自覚症状	コード	CD	1	N						9N061	自覚症状			1.2.392.200119.6.2001	1.2.392.200119.6.1005		1:特記すべきことあり、2:特記すべきことなし	
○	○	20	診察	130	9N061160800000049	自覚症状(所見)	文字列	ST	256							9N061	自覚症状				1.2.392.200119.6.1005		特記すべきことありの場合記載	
○	○	20	診察	140	9N066000000000011	他覚症状	コード	CD	1	N						9N066	他覚症状			1.2.392.200119.6.2001	1.2.392.200119.6.1005		1:特記すべきことあり、2:特記すべきことなし	
○	○	20	診察	150	9N066160800000049	他覚症状(所見)	文字列	ST	256							9N066	他覚症状				1.2.392.200119.6.1005		特記すべきことありの場合記載	
		20	診察	160	9N071000000000049	その他(家族歴等)	文字列	ST	256							9N071	その他(家族歴等)				1.2.392.200119.6.1005			
		20	診察	170	9N076000000000049	視診(口腔内含む)	文字列	ST	256							9N076	視診(口腔内含む)				1.2.392.200119.6.1005			
		20	診察	180	9N081000000000049	打聴診	文字列	ST	256							9N081	打聴診				1.2.392.200119.6.1005			
		20	診察	190	9N086000000000049	触診(関節可動域含む)	文字列	ST	256							9N086	触診(関節可動域含む)				1.2.392.200119.6.1005			
		20	診察	200	9N091000000000001	反復唾液嚥下テスト	数字	PQ	1	N		回	{times}			9N091	反復唾液嚥下テスト				1.2.392.200119.6.1005			
○	○	30	血圧等	210	9A755000000000001	収縮期血圧(その他)	数字	PQ	3	NNN	mmHg	mm[Hg]				9A750	収縮期血圧	9A75500000	3:その他		1.2.392.200119.6.1005		平均値等、「1回目」、「2回目」以外の値の最も適切な値を記入する	
		30	血圧等	220	9A752000000000001	収縮期血圧(2回目)	数字	PQ	3	NNN	mmHg	mm[Hg]				9A750	収縮期血圧	9A75200000	2:2回目		1.2.392.200119.6.1005			
		30	血圧等	230	9A751000000000001	収縮期血圧(1回目)	数字	PQ	3	NNN	mmHg	mm[Hg]				9A750	収縮期血圧	9A75100000	1:1回目		1.2.392.200119.6.1005			
○	○	30	血圧等	240	9A765000000000001	拡張期血圧(その他)	数字	PQ	3	NNN	mmHg	mm[Hg]				9A760	拡張期血圧	9A76500000	3:その他		1.2.392.200119.6.1005		平均値等、「1回目」、「2回目」以外の値の最も適切な値を記入する	
		30	血圧等	250	9A762000000000001	拡張期血圧(2回目)	数字	PQ	3	NNN	mmHg	mm[Hg]				9A760	拡張期血圧	9A76200000	2:2回目		1.2.392.200119.6.1005			
		30	血圧等	260	9A761000000000001	拡張期血圧(1回目)	数字	PQ	3	NNN	mmHg	mm[Hg]				9A760	拡張期血圧	9A76100000	1:1回目		1.2.392.200119.6.1005			
		30	血圧等	270	9N121000000000001	心拍数	数字	PQ	3	NNN	拍/分	{h"b"}/min				9N121	心拍数				1.2.392.200119.6.1005			
○	○	40	採血条件	280	9N141000000000011	採血時間(食後)	コード	CD	1	N						9N141	採血時間(食後)			1.2.392.200119.6.2202	1.2.392.200119.6.1005		2:食後10時間以上、3:食後3.5時間以上10時間未満、4:食後3.5時間未満	
		50	生化学検査	290	3F050000002327101	総コレステロール	数字	PQ	5	NNNN	mg/dl	mg/dL				3F050	総コレステロール	3F05010000	1:可視吸光度法(コレステロール酸化酵素法)		1.2.392.200119.6.1005			
		50	生化学検査	300	3F050000002327201	総コレステロール	数字	PQ	5	NNNN	mg/dl	mg/dL				3F050	総コレステロール	3F05020000	2:紫外吸光度法(コレステロール脱水素酵素法)		1.2.392.200119.6.1005			
		50	生化学検査	310	3F050000002399901	総コレステロール	数字	PQ	5	NNNN	mg/dl	mg/dL				3F050	総コレステロール	3F05030000	3:その他		1.2.392.200119.6.1005			
●	●	50	生化学検査	320	3F015000002327101	空腹時中性脂肪(トリグリセリド)	数字	PQ	5	NNNN	mg/dl	mg/dL				3F015	中性脂肪(トリグリセリド)	3F01510000	1:可視吸光度法(酵素比色法・グリセロール消去)		1.2.392.200119.6.1005		V4.0でXML表示名変更	特定健康診査においてこの項目の結果が記録される場合、「採血時間(食後)」のコードが「2:食後10時間以上」である必要がある
		50	生化学検査	330	3F015000002327201	空腹時中性脂肪(トリグリセリド)	数字	PQ	5	NNNN	mg/dl	mg/dL				3F015	中性脂肪(トリグリセリド)	3F01520000	2:紫外吸光度法(酵素比色法・グリセロール消去)		1.2.392.200119.6.1005		V4.0でXML表示名変更	
		50	生化学検査	340	3F015000002399901	空腹時中性脂肪(トリグリセリド)	数字	PQ	5	NNNN	mg/dl	mg/dL				3F015	中性脂肪(トリグリセリド)	3F01530000	3:その他		1.2.392.200119.6.1005		V4.0でXML表示名変更	
●	●	50	生化学検査	342	3F015129902327101	随時中性脂肪(トリグリセリド)	数字	PQ	5	NNNN	mg/dl	mg/dL				3F015	中性脂肪(トリグリセリド)	3F01510000	1:可視吸光度法(酵素比色法・グリセロール消去)		1.2.392.200119.6.1005		V4.0で追加	特定健康診査においてこの項目の結果が記録される場合、「採血時間(食後)」のコードが「3:食後3.5時間以上10時間未満」である必要がある
		50	生化学検査	344	3F015129902327201	随時中性脂肪(トリグリセリド)	数字	PQ	5	NNNN	mg/dl	mg/dL				3F015	中性脂肪(トリグリセリド)	3F01520000	2:紫外吸光度法(酵素比色法・グリセロール消去)		1.2.392.200119.6.1005		V4.0で追加	
		50	生化学検査	346	3F015129902399901	随時中性脂肪(トリグリセリド)	数字	PQ	5	NNNN	mg/dl	mg/dL				3F015	中性脂肪(トリグリセリド)	3F01530000	3:その他		1.2.392.200119.6.1005		V4.0で追加	
○	○	50	生化学検査	350	3F070000002327101	HDLコレステロール	数字	PQ	5	NNNN	mg/dl	mg/dL				3F070	H D Lコレステロール	3F07010000	1:可視吸光度法(直接法(非沈澱法))		1.2.392.200119.6.1005			
		50	生化学検査	360	3F070000002327201	HDLコレステロール	数字	PQ	5	NNNN	mg/dl	mg/dL				3F070	H D Lコレステロール	3F07020000	2:紫外吸光度法(直接法(非沈澱法))		1.2.392.200119.6.1005			
		50	生化学検査	370	3F070000002399901	HDLコレステロール	数字	PQ	5	NNNN	mg/dl	mg/dL				3F070	H D Lコレステロール	3F07030000	3:その他		1.2.392.200119.6.1005			
○	○	50	生化学検査	380	3F077000002327101	LDLコレステロール	数字	PQ	5	NNNN	mg/dl	mg/dL				3F077	L D Lコレステロール	3F07710000	1:可視吸光度法(直接法(非沈澱法))		1.2.392.200119.6.1005			
		50	生化学検査	390	3F077000002327201	LDLコレステロール	数字	PQ	5	NNNN	mg/dl	mg/dL				3F077	L D Lコレステロール	3F07720000	2:紫外吸光度法(直接法(非沈澱法))		1.2.392.200119.6.1005			
		50	生化学検査	400	3F077000002399901	LDLコレステロール	数字	PQ	5	NNNN	mg/dl	mg/dL				3F077	L D Lコレステロール	3F07730000	3:その他		1.2.392.200119.6.1005			

実施項目	法定報告項目	区分番号	区分名称	順番号	項目コード (17桁)	項目名	データタイプ	XMLデータ型	最大バイト長	数値型の場合の形式	表示用単位	XML用単位	author要素	一連検査グループ識別	一連検査グループコード	同一性項目コード	同一性項目名称	XML検査方法コード	検査方法	結果コードOID	項目コードOID	XML化にあたっての備考	備考	
		50	生化学検査	401	3F077000002391901	LDLコレステロール	数字	PQ	5	NNNN	mg/dl	mg/dL				3F077	LDLコレステロール	3F07740009	4:計算法		1.2.392.200119.6.1005	V3.0で追加		
		50	生化学検査	402	3F069000002391901	Non-HDLコレステロール	数字	PQ	5	NNNN	mg/dl	mg/dL				3F069	non-HDLコレステロール	3F06910000			1.2.392.200119.6.1005	V3.0で追加		
		50	生化学検査	410	3I010000002327101	総ビリルビン	数字	PQ	5	NN.N	mg/dl	mg/dL				3I010	総ビリルビン	3I01010000	1:可視分光光度法(化学療法、酵素法、ジアン法)		1.2.392.200119.6.1005			
		50	生化学検査	420	3I010000002399901	総ビリルビン	数字	PQ	5	NN.N	mg/dl	mg/dL				3I010	総ビリルビン	3I01020009	2:その他		1.2.392.200119.6.1005			
○	○	50	生化学検査	430	3B035000002327201	AST(GOT)	数字	PQ	5	NNNN	U/l	U/L				3B035	AST(GOT)	3B03510000	1:紫外分光光度法(JSCC標準化対応法)		1.2.392.200119.6.1005			
		50	生化学検査	440	3B035000002399901	AST(GOT)	数字	PQ	5	NNNN	U/l	U/L				3B035	AST(GOT)	3B03520009	2:その他		1.2.392.200119.6.1005			
○	○	50	生化学検査	450	3B045000002327201	ALT(GPT)	数字	PQ	5	NNNN	U/l	U/L				3B045	ALT(GPT)	3B04510000	1:紫外分光光度法(JSCC標準化対応法)		1.2.392.200119.6.1005			
		50	生化学検査	460	3B045000002399901	ALT(GPT)	数字	PQ	5	NNNN	U/l	U/L				3B045	ALT(GPT)	3B04520009	2:その他		1.2.392.200119.6.1005			
○	○	50	生化学検査	470	3B090000002327101	γ-GT(γ-GTP)	数字	PQ	5	NNNN	U/l	U/L				3B090	γ-GT(γ-GTP)	3B09010000	1:可視分光光度法(JSCC標準化対応法)		1.2.392.200119.6.1005			
		50	生化学検査	480	3B090000002399901	γ-GT(γ-GTP)	数字	PQ	5	NNNN	U/l	U/L				3B090	γ-GT(γ-GTP)	3B09020009	2:その他		1.2.392.200119.6.1005			
		50	生化学検査	490	3B070000002327101	ALP	数字	PQ	5	NNNN	U/l	U/L				3B070	A L P	3B07010000	1:可視分光光度法(JSCC標準化対応法)		1.2.392.200119.6.1005			
		50	生化学検査	495	3B070000002327501	ALP	数字	PQ	5	NNNN	U/l	U/L				3B070	A L P	3B07020000	2:IFCC対応法(改定JSCC標準化対応法)		1.2.392.200119.6.1005	V4.0で追加		
		50	生化学検査	500	3B070000002399901	ALP	数字	PQ	5	NNNN	U/l	U/L				3B070	A L P	3B07030009	3:その他		1.2.392.200119.6.1005			
		50	生化学検査	502	3B050000002327201	LD	数字	PQ	5	NNNN	U/l	U/L				3B050	LD	3B05010000	1:可視分光光度法(JSCC標準化対応法)		1.2.392.200119.6.1005	V4.0で追加		
		50	生化学検査	504	3B050000002327901	LD	数字	PQ	5	NNNN	U/l	U/L				3B050	LD	3B05020000	2:IFCC対応法(改定JSCC標準化対応法)		1.2.392.200119.6.1005	V4.0で追加		
		50	生化学検査	506	3B050000002399901	LD	数字	PQ	5	NNNN	U/l	U/L				3B050	LD	3B05030009	3:その他		1.2.392.200119.6.1005	V4.0で追加		
□	□注1)	50	生化学検査	510	3C015000002327101	血清クレアチニン	数字	PQ	5	NN.NN	mg/dl	mg/dL		3C015161002399949	COMP	3C015	血清クレアチニン	3C01510000	1:可視分光光度法(酵素法)		1.2.392.200119.6.1005			
		50	生化学検査	520	3C015000002399901	血清クレアチニン	数字	PQ	5	NN.NN	mg/dl	mg/dL		3C015161002399949	COMP	3C015	血清クレアチニン	3C01520009	2:その他		1.2.392.200119.6.1005			
□	□注1)	50	生化学検査	525	3C015161602399911	血清クレアチニン(対象者)	コード	CD	1	N				3C015161002399949	RSON	3C015	血清クレアチニン			1.2.392.200119.6.18110	1.2.392.200119.6.1005	V3.0で追加		
□	□注1)	50	生化学検査	526	3C015161002399949	血清クレアチニン(実施理由)	文字列	ST	256					3C015161002399949	RSON	3C015	血清クレアチニン			1.2.392.200119.6.1005	V3.0で追加	1:検査結果による血清クレアチニン検査対象者 ※詳細な健診の項目として実施しない場合で、値を出現させるときは0(ゼロ)を入力する		
□	□注1)	50	生化学検査	527	8A065000002391901	eGFR	数字	PQ	5	NN.N	ml/min/1.73m2	ml/min/1.73m2		3C015161002399949	COMP	8A065	血清クレアチニン	8A06510000			1.2.392.200119.6.1005	V3.0で追加	詳細な健診の項目として血清クレアチニン検査を実施した場合は必須	
		50	生化学検査	530	3C020000002327101	血清尿酸	数字	PQ	4	NN.N	mg/dl	mg/dL				3C020	血清尿酸	3C02010000	1:可視分光光度法(ウリカーゼ・ペルオキシターゼ法)		1.2.392.200119.6.1005			
		50	生化学検査	540	3C020000002399901	血清尿酸	数字	PQ	4	NN.N	mg/dl	mg/dL				3C020	血清尿酸	3C02020009	2:その他		1.2.392.200119.6.1005			
		50	生化学検査	550	3A010000002327101	総蛋白	数字	PQ	4	NN.N	g/dl	g/dL				3A010	総蛋白	3A01010000	1:可視分光光度法(ビウレット法)		1.2.392.200119.6.1005			
		50	生化学検査	560	3A010000002399901	総蛋白	数字	PQ	4	NN.N	g/dl	g/dL				3A010	総蛋白	3A01020009	2:その他		1.2.392.200119.6.1005			
		50	生化学検査	570	3A015000002327101	アルブミン	数字	PQ	4	NN.N	g/dl	g/dL				3A015	アルブミン	3A01510000	1:可視分光光度法(BCG法、BCP改良法)		1.2.392.200119.6.1005			
		50	生化学検査	580	3A015000002399901	アルブミン	数字	PQ	4	NN.N	g/dl	g/dL				3A015	アルブミン	3A01520009	2:その他		1.2.392.200119.6.1005			
		50	生化学検査	590	3A016000002327102	A/G	数字	PQ	5	NN.NN						3A016	A/G				1.2.392.200119.6.1005		計算値	
		50	生化学検査	600	5C095000002302301	血清フェリチン	数字	PQ	5	NN.N	ng/ml	ng/mL				5C095	血清フェリチン	5C09510000	1:エンザイム免疫アッセイ(EIA)		1.2.392.200119.6.1005			
		50	生化学検査	610	5C095000002399901	血清フェリチン	数字	PQ	5	NN.N	ng/ml	ng/mL				5C095	血清フェリチン	5C09520009	2:その他		1.2.392.200119.6.1005			
●注2)	●注2)	60	血糖検査	620	3D010000001926101	空腹時血糖	数字	PQ	4	NNNN	mg/dl	mg/dL				3D010	血糖	3D01010000	1:電位差法(ブドウ糖酸化酵素電極法)		1.2.392.200119.6.1005			
		60	血糖検査	630	3D010000002227101	空腹時血糖	数字	PQ	4	NNNN	mg/dl	mg/dL				3D010	血糖	3D01020000	2:可視分光光度法(ブドウ糖酸化酵素法)		1.2.392.200119.6.1005			
		60	血糖検査	640	3D010000001927201	空腹時血糖	数字	PQ	4	NNNN	mg/dl	mg/dL				3D010	血糖	3D01030000	3:紫外分光光度法(ヘキシナーゼ法、グルコキナーゼ法、ブドウ糖脱水)		1.2.392.200119.6.1005			
		60	血糖検査	650	3D010000001999901	空腹時血糖	数字	PQ	4	NNNN	mg/dl	mg/dL				3D010	血糖	3D01040009	4:その他		1.2.392.200119.6.1005		特定健康診査においてこの項目に結果が記録される場合、「採血時期(食後)」のコードが記録されている場合は「3:食後3.5時間以上10時間未満」である必要がある	
●注2)	●注2)	60	血糖検査	660	3D010129901926101	随時血糖	数字	PQ	4	NNNN	mg/dl	mg/dL				3D010	血糖	3D01010000	1:電位差法(ブドウ糖酸化酵素電極法)		1.2.392.200119.6.1005			
		60	血糖検査	670	3D010129902227101	随時血糖	数字	PQ	4	NNNN	mg/dl	mg/dL				3D010	血糖	3D01020000	2:可視分光光度法(ブドウ糖酸化酵素法)		1.2.392.200119.6.1005			
		60	血糖検査	680	3D010129901927201	随時血糖	数字	PQ	4	NNNN	mg/dl	mg/dL				3D010	血糖	3D01030000	3:紫外分光光度法(ヘキシナーゼ法、グルコキナーゼ法、ブドウ糖脱水)		1.2.392.200119.6.1005			
		60	血糖検査	690	3D010129901999901	随時血糖	数字	PQ	4	NNNN	mg/dl	mg/dL				3D010	血糖	3D01040009	4:その他		1.2.392.200119.6.1005		特定健康診査においてこの項目に結果が記録される場合、「採血時期(食後)」のコードが記録されている場合は「3:食後3.5時間以上10時間未満」である必要がある	
●注2)	●注2)	60	血糖検査	692	3D046000001906202	HbA1c(NGSP値)	数字	PQ	4	NN.N	%	%				3D046	H b A 1 c	3D04610000	1:免疫学的方法(ラテックス凝集比濁法等)		1.2.392.200119.6.1005	V2.0で追加		
		60	血糖検査	694	3D046000001920402	HbA1c(NGSP値)	数字	PQ	4	NN.N	%	%				3D046	H b A 1 c	3D04620000	2:HPLC(不安定分離除去HPLC法)		1.2.392.200119.6.1005	V2.0で追加		
		60	血糖検査	696	3D046000001927102	HbA1c(NGSP値)	数字	PQ	4	NN.N	%	%				3D046	H b A 1 c	3D04630000	3:酵素法		1.2.392.200119.6.1005	V2.0で追加		
		60	血糖検査	698	3D046000001999902	HbA1c(NGSP値)	数字	PQ	4	NN.N	%	%				3D046	H b A 1 c	3D04640009	4:その他		1.2.392.200119.6.1005	V2.0で追加		
○	○	70	尿検査	740	1A020000000191111	尿糖	コード	CO	1	N						1A020	尿糖	1A02010000	1:試験紙法(機械読み取り)		1.2.392.200119.6.2102	1.2.392.200119.6.1005		1:-、2:+、3:++、4:+++、5:++++
		70	尿検査	750	1A020000000190111	尿糖	コード	CO	1	N						1A020	尿糖	1A02020000	2:試験紙法(目視法)		1.2.392.200119.6.2102	1.2.392.200119.6.1005		
○	○	70	尿検査	760	1A010000000191111	尿蛋白	コード	CO	1	N						1A010	尿蛋白	1A01010000	1:試験紙法(機械読み取り)		1.2.392.200119.6.2102	1.2.392.200119.6.1005		1:-、2:+、3:++、4:+++、5:++++

実施項目	法定報告項目	区分番号	区分名称	順番号	項目コード(17桁)	項目名	データタイプ	XMLデータ型	最大バイト長	数値型の場合の形式	表示用単位	XML用単位	author要素	一連検査グループ識別	一連検査グループ関係コード	同一性項目コード	同一性項目名称	XML検査方法コード	検査方法	結果コードOID	項目コードOID	XML化にあたっての備考	備考		
		70	尿検査	770	1A01000000190111	尿蛋白	コード	CO	1	N						1A010	尿蛋白	1A01020000	2: 試験紙法(目視法)	1.2.392.200119.6.2102	1.2.392.200119.6.1005		+++		
		70	尿検査	780	1A10000000191111	尿潜血	コード	CO	1	N						1A100	尿潜血	1A10010000	1: 試験紙法(機械読み取り)	1.2.392.200119.6.2102	1.2.392.200119.6.1005		1:-, 2:+, 3:+, 4:++ , 5:+++		
		70	尿検査	790	1A10000000190111	尿潜血	コード	CO	1	N						1A100	尿潜血	1A10020000	2: 試験紙法(目視法)	1.2.392.200119.6.2102	1.2.392.200119.6.1005				
		70	尿検査	800	1A105160700166211	尿沈渣(所見の有無)	コード	CD	1	N						1A105	尿沈渣			1.2.392.200119.6.2002	1.2.392.200119.6.1005		1: 所見あり、2: 所見なし		
		70	尿検査	810	1A105160800166249	尿沈渣(所見)	文字列	ST	256							1A105	尿沈渣				1.2.392.200119.6.1005		所見ありの場合に記載		
		70	尿検査	820	1A03000000190301	尿比重	数字	PQ	5	N.NNN						1A030	尿比重	1A03010000	1: 屈折計法			1.2.392.200119.6.1005			
		70	尿検査	830	1A03000000199901	尿比重	数字	PQ	5	N.NNN						1A030	尿比重	1A03020009	2: その他			1.2.392.200119.6.1005			
		70	尿検査	831	3A015000000106101	尿中アルブミン定量	数字	PQ	7	NNNN.N	mg/L	mg/L				3A015	尿中アルブミン	3A01510000	1: 免疫比濁法 (TIA) (尿)			1.2.392.200119.6.1005		V3.0で追加	
		70	尿検査	832	3A015000000199901	尿中アルブミン定量	数字	PQ	7	NNNN.N	mg/L	mg/L				3A015	尿中アルブミン	3A01520000	2: その他 (尿)			1.2.392.200119.6.1005		V3.0で追加	
		70	尿検査	833	3A015000000406101	尿中アルブミン定量	数字	PQ	7	NNNN.N	mg/L	mg/L				3A015	尿中アルブミン	3A01530000	3: 免疫比濁法 (TIA) (番尿)			1.2.392.200119.6.1005		V3.0で追加	
		70	尿検査	834	3A015000000499901	尿中アルブミン定量	数字	PQ	7	NNNN.N	mg/L	mg/L				3A015	尿中アルブミン	3A01540000	4: その他 (番尿)			1.2.392.200119.6.1005		V3.0で追加	
		70	尿検査	835	3A015000000106128	尿中アルブミンクレアチニン補正値/アルブミン指数	数字	PQ	7	NNNN.N	mg/g-CR	mg/g-CR				3A015	尿中アルブミン	3A01550000	1: 免疫比濁法 (TIA)			1.2.392.200119.6.1005		V3.0で追加	
		70	尿検査	836	3A015000000199928	尿中アルブミンクレアチニン補正値/アルブミン指数	数字	PQ	7	NNNN.N	mg/g-CR	mg/g-CR				3A015	尿中アルブミン	3A01560000	2: その他			1.2.392.200119.6.1005		V3.0で追加	
		70	尿検査	837	3A015000000406126	尿中アルブミン一日量	数字	PQ	7	NNNN.N	mg/day	mg/day				3A015	尿中アルブミン	3A01570000	1: 免疫比濁法 (TIA)			1.2.392.200119.6.1005		V3.0で追加	
		70	尿検査	838	3A015000000499926	尿中アルブミン一日量	数字	PQ	7	NNNN.N	mg/day	mg/day				3A015	尿中アルブミン	3A01580000	2: その他			1.2.392.200119.6.1005		V3.0で追加	
	□ □注1)	80	血液像検査	840	2A040000001930102	ヘマトクリット値	数字	PQ	4	NN.N	%	%		2A020161001930149	COMP	2A040	ヘマトクリット値		自動血球算定装置			1.2.392.200119.6.1005			
	□ □注1)	80	血液像検査	850	2A030000001930101	血色素量(ヘモグロビン値)	数字	PQ	4	NN.N	g/dl	g/dL		2A020161001930149	COMP	2A030	血色素量		自動血球算定装置			1.2.392.200119.6.1005			
	□ □注1)	80	血液像検査	860	2A020000001930101	赤血球数	数字	PQ	4	NNNN	万/mm3	10 ⁴ /m ³		2A020161001930149	COMP	2A020	赤血球数		自動血球算定装置			1.2.392.200119.6.1005			
	□ □注1)	80	血液像検査	870	2A020161001930149	貧血検査(実施理由)	文字列	ST	256					2A020161001930149	RSON	2A021	貧血検査					1.2.392.200119.6.1005		詳細な健診の項目として貧血検査を実施した場合は必須	
		80	血液像検査	880	2A060000001930101	MCV	数字	PQ	5	NN.N	f l	f l		2A020161001930149	COMP	2A060	M C V		自動血球算定装置			1.2.392.200119.6.1005			
		80	血液像検査	890	2A070000001930101	MCH	数字	PQ	5	NN.N	pg	pg		2A020161001930149	COMP	2A070	M C H		自動血球算定装置			1.2.392.200119.6.1005			
		80	血液像検査	900	2A080000001930101	MCHC	数字	PQ	5	NN.N	%	%		2A020161001930149	COMP	2A080	M C H C		自動血球算定装置			1.2.392.200119.6.1005			
		80	血液像検査	910	2A010000001930101	白血球数	数字	PQ	7	NNNN.N	/mm3	/mm3		2A020161001930149	COMP	2A010	白血球数		自動血球算定装置			1.2.392.200119.6.1005			
		80	血液像検査	920	2A050000001930101	血小板数	数字	PQ	3	NNN	万/mm3	10 ⁴ /m ³		2A020161001930149	COMP	2A050	血小板数		自動血球算定装置			1.2.392.200119.6.1005			
	□ □注1)	200	がん検診・生体検査等	930	9A110160700000011	心電図(所見の有無)	コード	CD	1	N				9A110161000000049	COMP	9A110	心電図				1.2.392.200119.6.2002	1.2.392.200119.6.1005		1: 所見あり、2: 所見なし	
	□ □注1)	200	がん検診・生体検査等	940	9A110160800000049	心電図(所見)	文字列	ST	256					9A110161000000049	COMP	9A110	心電図					1.2.392.200119.6.1005		所見ありの場合に記載	
	□ □注1)	200	がん検診・生体検査等	945	9A110161600000011	心電図(対象者)	コード	CD	1	N				9A110161000000049	RSON	9A110	心電図				1.2.392.200119.6.18120	1.2.392.200119.6.1005		V3.0で追加 1: 検査結果による心電図検査対象者 2: 不整脈による心電図検査対象者 ※詳細健診以外で実施し後を出発させるときは0(ゼロ)を入力する	
	□ □注1)	200	がん検診・生体検査等	950	9A110161000000049	心電図(実施理由)	文字列	ST	256					9A110161000000049	RSON	9A110	心電図					1.2.392.200119.6.1005		詳細な健診の項目として心電図検査を実施した場合は必須	
		200	がん検診・生体検査等	960	9N201000000000011	胸部X線検査(がん:直接撮影)	コード	CO	1	N				9N211161100000049	COMP	9N209	胸部エックス線検査(がん:直接撮影)	9N20110000	1: 直接撮影			1.2.392.200119.6.2140	1.2.392.200119.6.1005		1:A, 2:B, 3:C, 4:D, 5:E
		200	がん検診・生体検査等	970	9N206160700000011	胸部X線検査(一般:直接撮影)(所見の有無)	コード	CD	1	N				9N211161100000049	COMP	9N206	胸部エックス線検査(一般:直接撮影)	9N20610000	1: 直接撮影			1.2.392.200119.6.2002	1.2.392.200119.6.1005		1: 所見あり、2: 所見なし、3: 要再撮影
		200	がん検診・生体検査等	980	9N206160800000049	胸部X線検査(一般:直接撮影)(所見)	文字列	ST	256					9N211161100000049	COMP	9N206	胸部エックス線検査(一般:直接撮影)	9N20610000	1: 直接撮影			1.2.392.200119.6.1005		所見ありの場合に記載	
		200	がん検診・生体検査等	990	9N211161100000049	胸部X線検査(直接撮影)(撮影年月日)	年月日	ST	8					9N211161100000049	COMP	9N211	胸部エックス線検査(直接撮影)	9N21110000	1: 直接撮影			1.2.392.200119.6.1005		yyyyymmdd	
		200	がん検診・生体検査等	1000	9N211161200000049	胸部X線検査(直接撮影)(フィルム番号)	文字列	ST	64					9N211161100000049	COMP	9N211	胸部エックス線検査(直接撮影)	9N21110000	1: 直接撮影			1.2.392.200119.6.1005			
		200	がん検診・生体検査等	1010	9N216000000000011	胸部X線検査(がん:間接撮影)	コード	CO	1	N				9N226161100000049	COMP	9N216	胸部エックス線検査(がん:間接撮影)	9N21620000	2: 間接撮影			1.2.392.200119.6.2140	1.2.392.200119.6.1005		1:A, 2:B, 3:C, 4:D, 5:E
		200	がん検診・生体検査等	1020	9N221160700000011	胸部X線検査(一般:間接撮影)(所見の有無)	コード	CD	1	N				9N226161100000049	COMP	9N221	胸部エックス線検査(一般:間接撮影)	9N22120000	2: 間接撮影			1.2.392.200119.6.2002	1.2.392.200119.6.1005		1: 所見あり、2: 所見なし、3: 要再撮影
		200	がん検診・生体検査等	1030	9N221160800000049	胸部X線検査(一般:間接撮影)(所見)	文字列	ST	256					9N226161100000049	COMP	9N221	胸部エックス線検査(一般:間接撮影)	9N22120000	2: 間接撮影			1.2.392.200119.6.1005		所見ありの場合に記載	
		200	がん検診・生体検査等	1040	9N226161100000049	胸部X線検査(間接撮影)(撮影年月日)	年月日	ST	8					9N226161100000049	COMP	9N226	胸部エックス線検査(間接撮影)	9N22620000	2: 間接撮影			1.2.392.200119.6.1005		yyyyymmdd	
		200	がん検診・生体検査等	1050	9N226161200000049	胸部X線検査(間接撮影)(フィルム番号)	文字列	ST	64					9N226161100000049	COMP	9N226	胸部エックス線検査(間接撮影)	9N22620000	2: 間接撮影			1.2.392.200119.6.1005			
		200	がん検診・生体検査等	1060	6A010160706170411	喀痰検査(塗抹鏡検 一般細菌)(所見の有無)	コード	CD	1	N						6A010	喀痰検査(塗抹鏡検 一般細菌)					1.2.392.200119.6.2002	1.2.392.200119.6.1005		1: 所見あり、2: 所見なし
		200	がん検診・生体検査等	1070	6A010160806170449	喀痰検査(塗抹鏡検 一般細菌)(所見)	文字列	ST	256							6A010	喀痰検査(塗抹鏡検 一般細菌)					1.2.392.200119.6.1005		所見ありの場合に記載	
		200	がん検診・生体検査等	1080	6A205000006171711	喀痰検査(塗抹鏡検 抗酸菌)	コード	CO	1	N						6A205	喀痰検査(塗抹鏡検 抗酸菌)					1.2.392.200119.6.2102	1.2.392.200119.6.1005		1:-, 2:+, 3:+, 4:2+, 5:3+
		200	がん検診・生体検査等	1090	6A205165606171711	喀痰検査(カフォー号数)	コード	CO	2	NN						6A205	喀痰検査(塗抹鏡検 抗酸菌)					1.2.392.200119.6.2131	1.2.392.200119.6.1005		1: 0号、2: 1号、3: 2号、4: 3号、5: 4号、6: 5号、7: 6号、8: 7号、
		200	がん検診・生体検査等	1100	7A010000006143311	喀痰細胞診検査	コード	CO	1	N						7A010	喀痰細胞診検査					1.2.392.200119.6.2130	1.2.392.200119.6.1005		1:A, 2:B, 3:C, 4:D, 5:E
		200	がん検診・生体検査等	1110	9N251000000000011	胸部CT検査(がん)	コード	CO	1	N				9N251161100000049	COMP	9N251	胸部C T検査(がん)					1.2.392.200119.6.2140	1.2.392.200119.6.1005		1:A, 2:B, 3:C, 4:D, 5:E
		200	がん検診・生体検査等	1120	9N251160700000011	胸部CT検査(所見の有無)	コード	CD	1	N				9N251161100000049	COMP	9N251	胸部C T検査(がん)					1.2.392.200119.6.2002	1.2.392.200119.6.1005		1: 所見あり、2: 所見なし

実施項目	法定報告項目	区分番号	区分名称	順番号	項目コード (17桁)	項目名	データタイプ	XMLデータ型	最大バイト長	数値型の場合の形式	表示用単位	XML用単位	author要素	一連検査グループ識別	一連検査グループコード	同一性項目コード	同一性項目名称	XML検査方法コード	検査方法	結果コードOID	項目コードOID	XML化にあたっての備考	備考
		200	がん検診・生体検査等	1130	9N251160800000049	胸部CT検査(所見)	文字列	ST	256					9N251161100000049	COMP	9N251	胸部C T検査 (がん)				1.2.392.200119.6.1005		所見ありの場合に記載
		200	がん検診・生体検査等	1140	9N251161100000049	胸部CT検査(撮影年月日)	年月日	ST	8					9N251161100000049	COMP	9N251	胸部C T検査 (がん)				1.2.392.200119.6.1005		yyyyymmdd
		200	がん検診・生体検査等	1150	9N251161200000049	胸部CT検査(フィルム番号)	文字列	ST	64					9N251161100000049	COMP	9N251	胸部C T検査 (がん)				1.2.392.200119.6.1005		
		200	がん検診・生体検査等	1160	9N256160700000011	上部消化管X線(直接撮影)(所見の有無)	コード	CD	1	N				9N256161100000049	COMP	9N256	上部消化管エックス線 (直接撮影)			1.2.392.200119.6.2002	1.2.392.200119.6.1005		1: 所見あり、2: 所見なし、3: 要再撮影
		200	がん検診・生体検査等	1170	9N256160800000049	上部消化管X線(直接撮影)(所見)	文字列	ST	256					9N256161100000049	COMP	9N256	上部消化管エックス線 (直接撮影)				1.2.392.200119.6.1005		所見ありの場合に記載
		200	がん検診・生体検査等	1180	9N256161100000049	上部消化管X線(直接撮影)(撮影年月日)	年月日	ST	8					9N256161100000049	COMP	9N256	上部消化管エックス線 (直接撮影)				1.2.392.200119.6.1005		yyyyymmdd
		200	がん検診・生体検査等	1190	9N256161200000049	上部消化管X線(直接撮影)(フィルム番号)	文字列	ST	64					9N256161100000049	COMP	9N256	上部消化管エックス線 (直接撮影)				1.2.392.200119.6.1005		
		200	がん検診・生体検査等	1200	9N261160700000011	上部消化管X線(間接撮影)(所見の有無)	コード	CD	1	N				9N261161100000049	COMP	9N261	上部消化管エックス線 (間接撮影)			1.2.392.200119.6.2002	1.2.392.200119.6.1005		1: 所見あり、2: 所見なし、3: 要再撮影
		200	がん検診・生体検査等	1210	9N261160800000049	上部消化管X線(間接撮影)(所見)	文字列	ST	256					9N261161100000049	COMP	9N261	上部消化管エックス線 (間接撮影)				1.2.392.200119.6.1005		所見ありの場合に記載
		200	がん検診・生体検査等	1220	9N261161100000049	上部消化管X線(間接撮影)(撮影年月日)	年月日	ST	8					9N261161100000049	COMP	9N261	上部消化管エックス線 (間接撮影)				1.2.392.200119.6.1005		yyyyymmdd
		200	がん検診・生体検査等	1230	9N261161200000049	上部消化管X線(間接撮影)(フィルム番号)	文字列	ST	64					9N261161100000049	COMP	9N261	上部消化管エックス線 (間接撮影)				1.2.392.200119.6.1005		
		200	がん検診・生体検査等	1240	9N266160700000011	上部消化管内視鏡検査(所見の有無)	コード	CD	1	N						9N266	上部消化管内視鏡検査			1.2.392.200119.6.2002	1.2.392.200119.6.1005		1: 所見あり、2: 所見なし
		200	がん検診・生体検査等	1250	9N266160800000049	上部消化管内視鏡検査(所見)	文字列	ST	256							9N266	上部消化管内視鏡検査				1.2.392.200119.6.1005		所見ありの場合に記載
		200	がん検診・生体検査等	1260	3B339000002399811	ヘパシノゲン	コード	CD	1	N						3B339	ヘパシノゲン		方法問わず	1.2.392.200119.6.2100	1.2.392.200119.6.1005		1: 陽性、2: 陰性
		200	がん検診・生体検査等	1270	9F130160700000011	腹部超音波(所見の有無)	コード	CD	1	N						9F130	腹部超音波			1.2.392.200119.6.2002	1.2.392.200119.6.1005		1: 所見あり、2: 所見なし
		200	がん検診・生体検査等	1280	9F130160800000049	腹部超音波(所見)	文字列	ST	256							9F130	腹部超音波				1.2.392.200119.6.1005		所見ありの場合に記載
		200	がん検診・生体検査等	1290	9N271160700000011	婦人科診察(所見の有無)	コード	CD	1	N						9N271	婦人科診察			1.2.392.200119.6.2002	1.2.392.200119.6.1005		1: 所見あり、2: 所見なし
		200	がん検診・生体検査等	1300	9N271160800000049	婦人科診察(所見)	文字列	ST	256							9N271	婦人科診察				1.2.392.200119.6.1005		所見ありの場合に記載
		200	がん検診・生体検査等	1310	9N276160700000011	乳房視触診(所見の有無)	コード	CD	1	N						9N276	乳房視触診			1.2.392.200119.6.2002	1.2.392.200119.6.1005		1: 所見あり、2: 所見なし
		200	がん検診・生体検査等	1320	9N276160800000049	乳房視触診(所見)	文字列	ST	256							9N276	乳房視触診				1.2.392.200119.6.1005		所見ありの場合に記載
		200	がん検診・生体検査等	1330	9N281160700000011	乳房画像診断(マンモグラフィ)(所見の有無)	コード	CD	1	N						9N281	乳房画像診断 (マンモグラフィ)			1.2.392.200119.6.2002	1.2.392.200119.6.1005		1: 所見あり、2: 所見なし、3: 要再撮影、4: マンモグラフィー不通
		200	がん検診・生体検査等	1340	9N281160800000049	乳房画像診断(マンモグラフィ)(所見)	文字列	ST	256							9N281	乳房画像診断 (マンモグラフィ)				1.2.392.200119.6.1005		所見ありの場合に記載
		200	がん検診・生体検査等	1350	9F140160700000011	乳房超音波検査(所見の有無)	コード	CD	1	N						9F140	乳房超音波検査			1.2.392.200119.6.2002	1.2.392.200119.6.1005		1: 所見あり、2: 所見なし
		200	がん検診・生体検査等	1360	9F140160800000049	乳房超音波検査(所見)	文字列	ST	256							9F140	乳房超音波検査				1.2.392.200119.6.1005		所見ありの場合に記載
		200	がん検診・生体検査等	1370	9N291160700000011	子宮頸部視診(所見の有無)	コード	CD	1	N						9N291	子宮頸部視診			1.2.392.200119.6.2002	1.2.392.200119.6.1005		1: 所見あり、2: 所見なし
		200	がん検診・生体検査等	1380	9N291160800000049	子宮頸部視診(所見)	文字列	ST	256							9N291	子宮頸部視診				1.2.392.200119.6.1005		所見ありの場合に記載
		200	がん検診・生体検査等	1390	9N296160700000011	子宮内診(所見の有無)	コード	CD	1	N						9N296	子宮内診			1.2.392.200119.6.2002	1.2.392.200119.6.1005		1: 所見あり、2: 所見なし
		200	がん検診・生体検査等	1400	9N296160800000049	子宮内診(所見)	文字列	ST	256							9N296	子宮内診				1.2.392.200119.6.1005		所見ありの場合に記載
		200	がん検診・生体検査等	1410	7A0211650008543311	子宮頸部細胞診 (細胞診婦人科材料)(白母分類)	コード	CO	1	N						7A021	子宮頸部細胞診 (細胞診婦人科材料)			1.2.392.200119.6.2120	1.2.392.200119.6.1005		1: class I、2: class II、3: class III a、4: class III b、5: class IV、6:
		200	がん検診・生体検査等	1421	7A021165208543311	子宮頸部細胞診 (細胞診婦人科材料)(ベセスシステム2001)	コード	CD	2	NN						7A021	子宮頸部細胞診 (細胞診婦人科材料)			1.2.392.200119.6.18100	1.2.392.200119.6.1005		V3.0で追加 1: NILM、2: ASC-US、3: ASC-H、4: LSIL、5: HSIL、6: SCC
		200	がん検診・生体検査等	1430	7A022000008543311	子宮体部細胞診 (細胞診婦人科材料)	コード	CD	1	N						7A022	子宮体部細胞診 (細胞診婦人科材料)			1.2.392.200119.6.2122	1.2.392.200119.6.1005		1: 陽性、2: 疑陽性、3: 陰性、4: 検体不良
		200	がん検診・生体検査等	1440	9Z771160700000011	直腸肛門機能(2項目以上)(所見の有無)	コード	CD	1	N						9Z771	直腸肛門機能 (2項目以上)			1.2.392.200119.6.2002	1.2.392.200119.6.1005		1: 所見あり、2: 所見なし
		200	がん検診・生体検査等	1450	9Z771160800000049	直腸肛門機能(2項目以上)(所見)	文字列	ST	256							9Z771	直腸肛門機能 (2項目以上)				1.2.392.200119.6.1005		所見ありの場合に記載
		200	がん検診・生体検査等	1460	9Z770160700000011	直腸肛門機能(1項目)(所見の有無)	コード	CD	1	N						9Z770	直腸肛門機能 (1項目)			1.2.392.200119.6.2002	1.2.392.200119.6.1005		1: 所見あり、2: 所見なし
		200	がん検診・生体検査等	1470	9Z770160800000049	直腸肛門機能(1項目)(所見)	文字列	ST	256							9Z770	直腸肛門機能 (1項目)				1.2.392.200119.6.1005		所見ありの場合に記載
		200	がん検診・生体検査等	1480	1B03000001599811	便潜血	コード	CD	1	N						1B030	便潜血		方法問わず	1.2.392.200119.6.2100	1.2.392.200119.6.1005		1: 陽性、2: 陰性
		200	がん検診・生体検査等	1490	5D305000002399811	PSA(前立腺特異抗原)	コード	CD	1	N						5D305	P S A (前立腺特異抗原)		方法問わず	1.2.392.200119.6.2100	1.2.392.200119.6.1005		1: 陽性、2: 陰性
		200	がん検診・生体検査等	1500	9C310000000000001	肺機能検査(努力肺活量)	数字	PQ	4	NN.N	%	L				9C310	肺機能検査 (努力肺活量)				1.2.392.200119.6.1005		
		200	がん検診・生体検査等	1510	9C320000000000001	肺機能検査(1秒量)	数字	PQ	4	NN.N	%	L				9C320	肺機能検査 (1秒量)				1.2.392.200119.6.1005		
		200	がん検診・生体検査等	1520	9C330000000000002	肺機能検査(1秒率)	数字	PQ	5	NNN.N	%	%				9C330	肺機能検査 (1秒率)				1.2.392.200119.6.1005		
		200	がん検診・生体検査等	1530	9C380000000000002	肺機能検査(%VC)	数字	PQ	5	NNN.N	%	%				9C380	肺機能検査 (%V C)				1.2.392.200119.6.1005		
		200	がん検診・生体検査等	1540	9E160162100000001	視力(右)	数字	PQ	4	N.NN						9E160	視力				1.2.392.200119.6.1005		
		200	がん検診・生体検査等	1550	9E160162500000001	視力(右:矯正)	数字	PQ	4	N.NN						9E160	視力				1.2.392.200119.6.1005		
		200	がん検診・生体検査等	1560	9E160162200000001	視力(左)	数字	PQ	4	N.NN						9E160	視力				1.2.392.200119.6.1005		
		200	がん検診・生体検査等	1570	9E160162600000001	視力(左:矯正)	数字	PQ	4	N.NN						9E160	視力				1.2.392.200119.6.1005		
		200	がん検診・生体検査等	1580	9D100163100000011	聴力(右:1000Hz)	コード	CD	1	N						9D100	聴力			1.2.392.200119.6.2002	1.2.392.200119.6.1005		1: 所見あり、2: 所見なし
		200	がん検診・生体検査等	1590	9D100163200000011	聴力(右:4000Hz)	コード	CD	1	N						9D100	聴力			1.2.392.200119.6.2002	1.2.392.200119.6.1005		1: 所見あり、2: 所見なし

実施項目	法定報告項目	区分番号	区分名称	順番号	項目コード(17桁)	項目名	データタイプ	XMLデータ型	最大バイト長	数値型の場合の形式	表示用単位	XML用単位	author要素	一連検査グループ識別	一連検査グループ識別コード	同一性項目コード	同一性項目名称	XML検査方法コード	検査方法	結果コードOID	項目コードOID	XML化にあたっての備考	備考
		200	がん検診・生体検査等	1600	9D100163500000011	聴力(左:1000Hz)	コード	CD	1	N						9D100	聴力			1.2.392.200119.6.2002	1.2.392.200119.6.1005	1: 所見あり、2: 所見なし	
		200	がん検診・生体検査等	1610	9D100163600000011	聴力(左:4000Hz)	コード	CD	1	N						9D100	聴力			1.2.392.200119.6.2002	1.2.392.200119.6.1005	1: 所見あり、2: 所見なし	
		200	がん検診・生体検査等	1660	9D100164000000011	聴力(検査方法)	コード	CD	1	N						9D100	聴力			1.2.392.200119.6.2301	1.2.392.200119.6.1005	1: オージオメトリー、2: その他	
		200	がん検診・生体検査等	1670	9D100160900000049	聴力(その他の所見)	文字列	ST	256							9D100	聴力				1.2.392.200119.6.1005		
□	□注1)	200	がん検診・生体検査等	1680	9E100166000000011	眼底検査(キースフナー分類)	コード	CO	1	N			9E100161000000049	COMP	9E100	眼底検査				1.2.392.200119.6.2110	1.2.392.200119.6.1005	1: 0、2: 1、3: IIa、4: IIb、5: III、6: IV	
□	□注1)	200	がん検診・生体検査等	1690	9E100166100000011	眼底検査(シエイエ分類:H)	コード	CO	1	N			9E100161000000049	COMP	9E100	眼底検査				1.2.392.200119.6.2111	1.2.392.200119.6.1005	1: 0、2: 1、3: 2、4: 3、5: 4	
□	□注1)	200	がん検診・生体検査等	1700	9E100166200000011	眼底検査(シエイエ分類:S)	コード	CO	1	N			9E100161000000049	COMP	9E100	眼底検査				1.2.392.200119.6.2112	1.2.392.200119.6.1005	1: 0、2: 1、3: 2、4: 3、5: 4	
□	□注1)	200	がん検診・生体検査等	1710	9E100166300000011	眼底検査(SCOTT分類)	コード	CO	1	N			9E100161000000049	COMP	9E100	眼底検査				1.2.392.200119.6.2113	1.2.392.200119.6.1005	1: I(a)、2: I(b)、3: II、4: III(a)、5: III(b)、6: IV、7: V(a)、8: V(b)、9: VI	
□	□注1)	200	がん検診・生体検査等	1711	9E100166600000011	眼底検査(Wong-Mitchell分類)	コード	CO	1	N			9E100161000000049	COMP	9E100	眼底検査				1.2.392.200119.6.18080	1.2.392.200119.6.1005	V3.0で追加 1: 所見なし、2: 軽度、3: 中等度、4: 重度	
□	□注1)	200	がん検診・生体検査等	1712	9E100166500000011	眼底検査(改変Davis分類)	コード	CO	1	N			9E100161000000049	COMP	9E100	眼底検査				1.2.392.200119.6.18090	1.2.392.200119.6.1005	V3.0で追加 1: 網膜症なし、2: 単純網膜症、3: 増殖前網膜症、4: 増殖網膜症	
□	□注1)	200	がん検診・生体検査等	1720	9E100160900000049	眼底検査(その他の所見)	文字列	ST	256					COMP	9E100	眼底検査					1.2.392.200119.6.1005	その他の所見の判定方法を用いている場合については、本欄に所見を記載す	
□	□注1)	200	がん検診・生体検査等	1725	9E100161600000011	眼底検査(対象者)	コード	CD	1	N			9E100161000000049	RSON	9E100	眼底検査				1.2.392.200119.6.18130	1.2.392.200119.6.1005	V3.0で追加 ※詳細な健診の項目として実施しない	
□	□注1)	200	がん検診・生体検査等	1730	9E100161000000049	眼底検査(実施理由)	文字列	ST	256					9E100161000000049	RSON	9E100	眼底検査				1.2.392.200119.6.1005	詳細な健診の項目として眼底検査を実施した場合は必須	
		200	がん検診・生体検査等	1740	9E105162100000001	眼圧検査(右)	数字	PQ	3	NNN	mmHg	mm[Hg]				9E105	眼圧検査					1.2.392.200119.6.1005	
		200	がん検診・生体検査等	1750	9E105162200000001	眼圧検査(左)	数字	PQ	3	NNN	mmHg	mm[Hg]				9E105	眼圧検査					1.2.392.200119.6.1005	
		300	その他医療保険者等が任意に行う検査	1760	5C070000002306201	CRP	数字	PQ	5	NNN.N	mg/dl	mg/dL				5C070	C R P	5C07010000	1: 可視吸光度法(ラテックス凝集比濁法)		1.2.392.200119.6.1005		
		300	その他医療保険者等が任意に行う検査	1770	5C070000002306301	CRP	数字	PQ	5	NNN.N	mg/dl	mg/dL				5C070	C R P	5C07020000	2: 可視吸光度法(免疫比濁法)		1.2.392.200119.6.1005		
		300	その他医療保険者等が任意に行う検査	1780	5C070000002399901	CRP	数字	PQ	5	NNN.N	mg/dl	mg/dL				5C070	C R P	5C07030009	3: その他		1.2.392.200119.6.1005		
		300	その他医療保険者等が任意に行う検査	1790	5H010000001910111	血液型(ABO)	コード	CD	1	N						5H010	血液型(A B O)	5H01010000	1: 試験管法 カラム凝集法	1.2.392.200119.6.2115	1.2.392.200119.6.1005	1: A、2: B、3: AB、4: O	
		300	その他医療保険者等が任意に行う検査	1800	5H010000001999911	血液型(ABO)	コード	CD	1	N						5H010	血液型(A B O)	5H01020009	2: その他	1.2.392.200119.6.2115	1.2.392.200119.6.1005	1: A、2: B、3: AB、4: O	
		300	その他医療保険者等が任意に行う検査	1810	5H020000001910111	血液型(Rh)	コード	CD	1	N						5H020	血液型(R h)	5H02010000	1: 試験管法 カラム凝集法	1.2.392.200119.6.2116	1.2.392.200119.6.1005	1: +、2: -	
		300	その他医療保険者等が任意に行う検査	1820	5H020000001999911	血液型(Rh)	コード	CD	1	N						5H020	血液型(R h)	5H02020009	2: その他	1.2.392.200119.6.2116	1.2.392.200119.6.1005	1: +、2: -	
		300	その他医療保険者等が任意に行う検査	1830	5E071000002399811	梅毒反応	コード	CD	1	N						5E071	梅毒反応		方法問わず	1.2.392.200119.6.2100	1.2.392.200119.6.1005	1: 陽性、2: 陰性	
		300	その他医療保険者等が任意に行う検査	1840	5F016141002399811	HBs抗原	コード	CD	1	N						5F016	H B s 抗原		方法問わず	1.2.392.200119.6.2100	1.2.392.200119.6.1005	1: 陽性、2: 陰性	
		300	その他医療保険者等が任意に行う検査	1850	5F360149502399811	HCV抗体	コード	CD	1	N						5F360	H C V 抗体		方法問わず	1.2.392.200119.6.2100	1.2.392.200119.6.1005	1: 陽性、2: 陰性	
		300	その他医療保険者等が任意に行う検査	1860	5F360149702399811	HCV抗体(力価)	コード	CO	1	N						5F360	H C V 抗体		方法問わず	1.2.392.200119.6.2103	1.2.392.200119.6.1005	1: 陰性、2: 低力価、3: 中力価、4: 高力価	
		300	その他医療保険者等が任意に行う検査	1870	5F360150002399811	HCV抗原検査	コード	CD	1	N						5F360	H C V 抗原		方法問わず	1.2.392.200119.6.2100	1.2.392.200119.6.1005	1: 陽性、2: 陰性	
		300	その他医療保険者等が任意に行う検査	1880	5F360145002399811	HCV核酸増殖検査	コード	CD	1	N						5F360	H C V 抗原		方法問わず	1.2.392.200119.6.2100	1.2.392.200119.6.1005	1: 陽性、2: 陰性	
		300	その他医療保険者等が任意に行う検査	1890	9N401000000000011	C型肝炎ウイルス検診の判定	コード	CD	1	N						9N401	C型肝炎ウイルス検診の判定			1.2.392.200119.6.2150	1.2.392.200119.6.1005	1: 現在、C型肝炎ウイルスに感染していない可能性が高、2: 現	
		300	その他医療保険者等が任意に行う検査	1900	9N406000000000049	その他の法定特殊健康診断	文字列	ST	256							9N406	その他の法定特殊健康診断				1.2.392.200119.6.1005		
		300	その他医療保険者等が任意に行う検査	1910	9N411000000000049	その他の法定検査	文字列	ST	256							9N411	その他の法定検査				1.2.392.200119.6.1005		
		300	その他医療保険者等が任意に行う検査	1920	9N416000000000049	その他の検査	文字列	ST	256							9N416	その他の検査				1.2.392.200119.6.1005		
○	○	400	医師の判断	1930	9N501000000000011	メタボリックシンドローム判定	コード	CD	1	N						9N501	メタボリックシンドローム判定			1.2.392.200119.6.1008	1.2.392.200119.6.1005	1: 基準該当、2: 予備該当、3: 非該当、4: 判定不能	
○	○	400	医師の判断	1940	9N506000000000011	保健指導レベル	コード	CD	1	N						9N506	保健指導レベル			1.2.392.200119.6.3001	1.2.392.200119.6.1005	1: 積極的支援、2: 動機付け支援、3: なし(情報提供)、4: 判定不能	
○	○	400	医師の判断	1950	9N511000000000049	医師の診断(判定)	文字列	ST	256				9N5160000000049			9N511	医師の診断(判定)				1.2.392.200119.6.1005		
☆	☆	400	医師の判断	1955	9N512000000000011	検査未実施の理由	コード	CD	1	N						9N512	検査未実施の理由			1.2.392.200119.6.24080	1.2.392.200119.6.1005	V4.0で追加 1: 生体中、2: 腎疾患等の基礎疾患があるため尿検査を有する、3: その他 受診者の事情(生体中等)により検査を実施できなかった場合の理由の記録	
○		400	医師の判断	1960	9N516000000000049	健康診断を実施した医師の氏名	文字列	ST	64							9N516					1.2.392.200119.6.1005	XMLでは医師名は独立項目として扱わず、診断所見等の項目のauthor要素として記述(以下*印、同じ)	
		400	医師の判断	1970	9N521000000000049	医師の意見	文字列	ST	256				9N5260000000			9N521	医師の意見				1.2.392.200119.6.1005		
		400	医師の判断	1980	9N526000000000049	意見を述べた医師の氏名	文字列	ST	64							9N526					1.2.392.200119.6.1005	*	
		400	医師の判断	1990	9N531000000000049	歯科医師による健康診断	文字列	ST	256				9N5360000000			9N531	歯科医師による健康診断				1.2.392.200119.6.1005		
		400	医師の判断	2000	9N536000000000049	健康診断を実施した歯科医師の氏名	文字列	ST	64							9N536					1.2.392.200119.6.1005	*	

実施項目	法定報告項目	区分番号	区分名称	順番号	項目コード(17桁)	項目名	データタイプ	XMLデータ型	最大バイト長	数値型の場合の形式	表示用単位	XML用単位	author要素	一連検査グループ識別	一連検査グループ識別コード	同一性項目コード	同一性項目名称	XML検査方法コード	検査方法	結果コードID	項目コードID	XML化にあたっての備考	備考	
		400	医師の判断	2010	9N541000000000049	歯科医師の意見	文字列	ST	256				9N5460000000			9N541	歯科医師の意見				1.2.392.200119.6.1005			
		400	医師の判断	2020	9N546000000000049	意見を述べた歯科医師の氏名	文字列	ST	64							9N546					1.2.392.200119.6.1005	*		
		400	医師の判断	2030	9N551000000000049	備考	文字列	ST	256							9N551	備考				1.2.392.200119.6.1005			
		400	医師の判断	2040	9N556000000000011	生活機能評価の結果1	コード	CD	1	N			9N556000000000011		COMP	9N556	生活機能評価の結果1			1.2.392.200119.6.2501	1.2.392.200119.6.1005			
		400	医師の判断	2050	9N561000000000011	生活機能評価の結果2	コード	CD	1	N			9N556000000000011		COMP	9N561	生活機能評価の結果2			1.2.392.200119.6.2502	1.2.392.200119.6.1005		1:介護予防事業の利用が望ましい、2:医学的により次の介護予防1:手へて、2:運動後の機能向上、3:坐骨改善、4:口腔機能の向上、5	
		400	医師の判断	2060	9N566000000000049	生活機能評価の結果3	文字列	ST	256							9N566	生活機能評価の結果3				1.2.392.200119.6.1005		上記でその他を記載したとき記載	
		400	医師の判断	2070	9N571000000000049	医師の診断(判定)(生活機能評価)	文字列	ST	256				9N5760000000			9N571	医師の診断(判定)(生活機能評価)				1.2.392.200119.6.1005			
		400	医師の判断	2080	9N576000000000049	診断をした医師の氏名	文字列	ST	256							9N576					1.2.392.200119.6.1005	*		
		400	医師の判断	2090	9N581161300000011	医師の診断(肺がん検診)(コード)	コード	CD	1	N			9N5860000000			9N581	医師の診断(肺がん検診)(コード)				1.2.392.200119.6.2141	1.2.392.200119.6.1005		1:精密検査必要、2:精密検査不要
		400	医師の判断	2100	9N581161400000049	医師の診断(肺がん検診)(自由記載)	文字列	ST	256				9N5860000000			9N581	医師の診断(肺がん検診)(自由記載)				1.2.392.200119.6.1005			
		400	医師の判断	2110	9N586000000000049	診断をした医師の氏名	文字列	ST	256							9N586					1.2.392.200119.6.1005	*		
		400	医師の判断	2120	9N591161300000011	医師の診断(胃がん検診)(コード)	コード	CD	1	N			9N5960000000			9N591	医師の診断(胃がん検診)(コード)				1.2.392.200119.6.2141	1.2.392.200119.6.1005		1:精密検査必要、2:精密検査不要
		400	医師の判断	2130	9N591161400000049	医師の診断(胃がん検診)(自由記載)	文字列	ST	256				9N5960000000			9N591	医師の診断(胃がん検診)(自由記載)				1.2.392.200119.6.1005			
		400	医師の判断	2140	9N596000000000049	診断をした医師の氏名	文字列	ST	256							9N596					1.2.392.200119.6.1005	*		
		400	医師の判断	2150	9N601161300000011	医師の診断(乳がん検診)(コード)	コード	CD	1	N			9N6060000000			9N601	医師の診断(乳がん検診)(コード)				1.2.392.200119.6.2141	1.2.392.200119.6.1005		1:精密検査必要、2:精密検査不要
		400	医師の判断	2160	9N601161400000049	医師の診断(乳がん検診)(自由記載)	文字列	ST	256				9N6060000000			9N601	医師の診断(乳がん検診)(自由記載)				1.2.392.200119.6.1005			
		400	医師の判断	2170	9N606000000000049	診断をした医師の氏名	文字列	ST	256							9N606					1.2.392.200119.6.1005	*		
		400	医師の判断	2180	9N611161300000011	医師の診断(子宮がん検診)(コード)	コード	CD	1	N			9N6160000000			9N611	医師の診断(子宮がん検診)(コード)				1.2.392.200119.6.2141	1.2.392.200119.6.1005		1:精密検査必要、2:精密検査不要
		400	医師の判断	2190	9N611161400000049	医師の診断(子宮がん検診)(自由記載)	文字列	ST	256				9N6160000000			9N611	医師の診断(子宮がん検診)(自由記載)				1.2.392.200119.6.1005			
		400	医師の判断	2200	9N616000000000049	診断をした医師の氏名	文字列	ST	256							9N616					1.2.392.200119.6.1005	*		
		400	医師の判断	2210	9N621161300000011	医師の診断(大腸がん検診)(コード)	コード	CD	1	N			9N6260000000			9N621	医師の診断(大腸がん検診)(コード)				1.2.392.200119.6.2141	1.2.392.200119.6.1005		1:精密検査必要、2:精密検査不要
		400	医師の判断	2220	9N621161400000049	医師の診断(大腸がん検診)(自由記載)	文字列	ST	256				9N6260000000			9N621	医師の診断(大腸がん検診)(自由記載)				1.2.392.200119.6.1005			
		400	医師の判断	2230	9N626000000000049	診断をした医師の氏名	文字列	ST	64							9N626					1.2.392.200119.6.1005	*		
		400	医師の判断	2240	9N631161300000011	医師の診断(前立腺がん検診)(コード)	コード	CD	1	N			9N6360000000			9N631	医師の診断(前立腺がん検診)(コード)				1.2.392.200119.6.2141	1.2.392.200119.6.1005		1:精密検査必要、2:精密検査不要
		400	医師の判断	2250	9N631161400000049	医師の診断(前立腺がん検診)(自由記載)	文字列	ST	256				9N6360000000			9N631	医師の診断(前立腺がん検診)(自由記載)				1.2.392.200119.6.1005			
		400	医師の判断	2260	9N636000000000049	診断をした医師の氏名	文字列	ST	256							9N636					1.2.392.200119.6.1005	*		
		400	医師の判断	2270	9N641000000000049	医師の診断(その他)	文字列	ST	256				9N6460000000			9N641	医師の診断(その他)				1.2.392.200119.6.1005			
		400	医師の判断	2280	9N646000000000049	診断をした医師の氏名	文字列	ST	64							9N646					1.2.392.200119.6.1005	*		
○	○	500	質問票	2290	9N701000000000011	服薬1(血圧)	コード	CD	1	N						9N701	服薬1(血圧)				1.2.392.200119.6.2003	1.2.392.200119.6.1005		1:はい、2:いいえ
☆	☆	500	質問票	2300	9N701167000000049	服薬1(血圧)(薬剤名)	文字列	ST	256							9N701	服薬1(血圧)				1.2.392.200119.6.1005			
☆	☆	500	質問票	2310	9N701167100000049	服薬1(血圧)(服薬理由)	文字列	ST	256							9N701	服薬1(血圧)				1.2.392.200119.6.1005			
	☆	500	質問票	2315	9N702167200000049	保険者再確認 服薬1(血圧)	コード	CD	1	N						9N702	服薬確認者(血圧)				1.2.392.200119.6.24020	1.2.392.200119.6.1005	V2.0で追加	1:質問票の記載通り(服薬中)を確認、2:健診以後に服薬開始を確認
○	○	500	質問票	2320	9N706000000000011	服薬2(血糖)	コード	CD	1	N						9N706	服薬2(血糖)				1.2.392.200119.6.2003	1.2.392.200119.6.1005		1:はい、2:いいえ
☆	☆	500	質問票	2330	9N706167000000049	服薬2(血糖)(薬剤名)	文字列	ST	256							9N706	服薬2(血糖)				1.2.392.200119.6.1005			
☆	☆	500	質問票	2340	9N706167100000049	服薬2(血糖)(服薬理由)	文字列	ST	256							9N706	服薬2(血糖)				1.2.392.200119.6.1005			
	☆	500	質問票	2345	9N707167200000049	保険者再確認 服薬2(血糖)	コード	CD	1	N						9N707	服薬確認者(血糖)				1.2.392.200119.6.24020	1.2.392.200119.6.1005	V2.0で追加	1:質問票の記載通り(服薬中)を確認、2:健診以後に服薬開始を確認
○	○	500	質問票	2350	9N711000000000011	服薬3(脂質)	コード	CD	1	N						9N711	服薬3(脂質)				1.2.392.200119.6.2003	1.2.392.200119.6.1005		1:はい、2:いいえ
☆	☆	500	質問票	2360	9N711167000000049	服薬3(脂質)(薬剤名)	文字列	ST	256							9N711	服薬3(脂質)				1.2.392.200119.6.1005			
☆	☆	500	質問票	2370	9N711167100000049	服薬3(脂質)(服薬理由)	文字列	ST	256							9N711	服薬3(脂質)				1.2.392.200119.6.1005			
	☆	500	質問票	2375	9N712167200000049	保険者再確認 服薬3(脂質)	コード	CD	1	N						9N712	服薬確認者(脂質)				1.2.392.200119.6.24020	1.2.392.200119.6.1005	V2.0で追加	1:質問票の記載通り(服薬中)を確認、2:健診以後に服薬開始を確認
☆	☆	500	質問票	2380	9N716000000000011	既往歴1(脳血管)	コード	CD	1	N						9N716	既往歴1(脳血管)				1.2.392.200119.6.2003	1.2.392.200119.6.1005		1:はい、2:いいえ
☆	☆	500	質問票	2390	9N721000000000011	既往歴2(心血管)	コード	CD	1	N						9N721	既往歴2(心血管)				1.2.392.200119.6.2003	1.2.392.200119.6.1005		1:はい、2:いいえ
☆	☆	500	質問票	2400	9N726000000000011	既往歴3(腎不全・人工透析)	コード	CD	1	N						9N726	既往歴3(腎不全・人工透析)				1.2.392.200119.6.2003	1.2.392.200119.6.1005		1:はい、2:いいえ
☆	☆	500	質問票	2410	9N731000000000011	貧血	コード	CD	1	N						9N731	貧血				1.2.392.200119.6.2003	1.2.392.200119.6.1005		1:はい、2:いいえ
○	○	500	質問票	2420	9N736000000000011	喫煙	コード	CD	1	N						9N736	喫煙				1.2.392.200119.6.24060	1.2.392.200119.6.1005		1:はい、2:以前は吸っていたが、最近1ヶ月間は吸っていない、3:いいえ
☆	☆	500	質問票	2430	9N741000000000011	20歳からの体重変化	コード	CD	1	N						9N741	20歳からの体重変化				1.2.392.200119.6.2003	1.2.392.200119.6.1005		1:はい、2:いいえ
☆	☆	500	質問票	2440	9N746000000000011	30分以上の運動習慣	コード	CD	1	N						9N746	30分以上の運動習慣				1.2.392.200119.6.2003	1.2.392.200119.6.1005		1:はい、2:いいえ

実施項目	法定報告項目	区分番号	区分名称	順番号	項目コード(17桁)	項目名	データタイプ	XMLデータ型	最大バイト長	数値型の場合の形式	表示用単位	XML用単位	author要素	一連検査グループ識別	一連検査グループ識別コード	同一性項目コード	同一性項目名称	XML検査方法コード	検査方法	結果コードOID	項目コードOID	XML化にあたっての備考	備考
☆	☆	500	質問票	2450	9N751000000000011	歩行又は身体活動	コード	CD	1	N						9N751	歩行又は身体活動			1.2.392.200119.6.2003	1.2.392.200119.6.1005		1: はい、 2: いいえ
☆	☆	500	質問票	2460	9N756000000000011	歩行速度	コード	CD	1	N						9N756	歩行速度			1.2.392.200119.6.2003	1.2.392.200119.6.1005		1: はい、 2: いいえ
☆	☆	500	質問票	2471	9N872000000000011	咀嚼	コード	CD	1	N						9N872	咀嚼			1.2.392.200119.6.18030	1.2.392.200119.6.1005	V3.0で追加	1: 何でも、 2: かみにくい、 3: ほとんどかめない
☆	☆	500	質問票	2480	9N766000000000011	食べ方1(朝食)	コード	CD	1	N						9N766	食べ方1(朝食)			1.2.392.200119.6.2004	1.2.392.200119.6.1005		1: 速い、 2: ふつう、 3: 遅い
☆	☆	500	質問票	2490	9N771000000000011	食べ方2(就寝前)	コード	CD	1	N						9N771	食べ方2(就寝前)			1.2.392.200119.6.2003	1.2.392.200119.6.1005		1: はい、 2: いいえ
☆	☆	500	質問票	2501	9N782000000000011	食べ方3(間食)	コード	CD	1	N						9N782	食べ方3(間食)			1.2.392.200119.6.18040	1.2.392.200119.6.1005	V3.0で追加	1: 毎日、 2: 時々、 3: ほとんど摂取しない
☆	☆	500	質問票	2510	9N781000000000011	食習慣	コード	CD	1	N						9N781	食習慣			1.2.392.200119.6.2003	1.2.392.200119.6.1005		1: はい、 2: いいえ
☆	☆	500	質問票	2520	9N786000000000011	飲酒	コード	CD	1	N						9N786	飲酒			1.2.392.200119.6.24040	1.2.392.200119.6.1005		1: 毎日、 2: 週5～6日、 3: 週3～4日、 4: 週1～2日、 5: 月に1～3日、 6: 月に1日未満、 7: やめた、 8: 飲まない(飲めない)
☆	☆	500	質問票	2530	9N791000000000011	飲酒量	コード	CO	1	N						9N791	飲酒量			1.2.392.200119.6.24050	1.2.392.200119.6.1005		1: 1合未満、 2: 1～2合未満、 3: 2～3合未満、 4: 3～5合未満、 5: 5合以上
☆	☆	500	質問票	2540	9N796000000000011	睡眠	コード	CD	1	N						9N796	睡眠			1.2.392.200119.6.2003	1.2.392.200119.6.1005		1: はい、 2: いいえ
☆	☆	500	質問票	2550	9N801000000000011	生活習慣の改善	コード	CD	1	N						9N801	生活習慣の改善			1.2.392.200119.6.2007	1.2.392.200119.6.1005		1: 意志なし、 2: 意志あり(6か月以内)、 3: 意志あり(近いうち)、 4: 取組済み(6ヶ月未満)、 5: 取組済み(6ヶ月以上)
☆	☆	500	質問票	2560	9N808000000000011	特定保健指導の受診歴	コード	CD	1	N						9N808	保健指導の受診歴			1.2.392.200119.6.2003	1.2.392.200119.6.1005	V4.0で追加	1: はい、 2: いいえ
		600	生活機能基本子エック リスト	2570	9N811000000000011	生活機能問診1	コード	CD	1	N						9N811	生活機能問診1			1.2.392.200119.6.2008	1.2.392.200119.6.1005		0: はい、 1: いいえ
		600	生活機能基本子エック リスト	2580	9N816000000000011	生活機能問診2	コード	CD	1	N						9N816	生活機能問診2			1.2.392.200119.6.2008	1.2.392.200119.6.1005		0: はい、 1: いいえ
		600	生活機能基本子エック リスト	2590	9N821000000000011	生活機能問診3	コード	CD	1	N						9N821	生活機能問診3			1.2.392.200119.6.2008	1.2.392.200119.6.1005		0: はい、 1: いいえ
		600	生活機能基本子エック リスト	2600	9N826000000000011	生活機能問診4	コード	CD	1	N						9N826	生活機能問診4			1.2.392.200119.6.2008	1.2.392.200119.6.1005		0: はい、 1: いいえ
		600	生活機能基本子エック リスト	2610	9N831000000000011	生活機能問診5	コード	CD	1	N						9N831	生活機能問診5			1.2.392.200119.6.2008	1.2.392.200119.6.1005		0: はい、 1: いいえ
		600	生活機能基本子エック リスト	2620	9N836000000000011	生活機能問診6	コード	CD	1	N						9N836	生活機能問診6			1.2.392.200119.6.2008	1.2.392.200119.6.1005		0: はい、 1: いいえ
		600	生活機能基本子エック リスト	2630	9N841000000000011	生活機能問診7	コード	CD	1	N						9N841	生活機能問診7			1.2.392.200119.6.2008	1.2.392.200119.6.1005		0: はい、 1: いいえ
		600	生活機能基本子エック リスト	2640	9N846000000000011	生活機能問診8	コード	CD	1	N						9N846	生活機能問診8			1.2.392.200119.6.2008	1.2.392.200119.6.1005		0: はい、 1: いいえ
		600	生活機能基本子エック リスト	2650	9N851000000000011	生活機能問診9	コード	CD	1	N						9N851	生活機能問診9			1.2.392.200119.6.2009	1.2.392.200119.6.1005		1: はい、 0: いいえ
		600	生活機能基本子エック リスト	2660	9N856000000000011	生活機能問診10	コード	CD	1	N						9N856	生活機能問診10			1.2.392.200119.6.2009	1.2.392.200119.6.1005		1: はい、 0: いいえ
		600	生活機能基本子エック リスト	2670	9N861000000000011	生活機能問診11	コード	CD	1	N						9N861	生活機能問診11			1.2.392.200119.6.2009	1.2.392.200119.6.1005		1: はい、 0: いいえ
		600	生活機能基本子エック リスト	2680	9N866000000000011	生活機能問診12	数字	PQ	4	NN.N	kg/m2	kg/m2				9N866	生活機能問診12			1.2.392.200119.6.2009	1.2.392.200119.6.1005		身長と体重から計算されるBMIを記載すること。小数点以下1桁
		600	生活機能基本子エック リスト	2690	9N871000000000011	生活機能問診13	コード	CD	1	N						9N871	生活機能問診13			1.2.392.200119.6.2009	1.2.392.200119.6.1005		1: はい、 0: いいえ
		600	生活機能基本子エック リスト	2700	9N876000000000011	生活機能問診14	コード	CD	1	N						9N876	生活機能問診14			1.2.392.200119.6.2009	1.2.392.200119.6.1005		1: はい、 0: いいえ
		600	生活機能基本子エック リスト	2710	9N881000000000011	生活機能問診15	コード	CD	1	N						9N881	生活機能問診15			1.2.392.200119.6.2009	1.2.392.200119.6.1005		1: はい、 0: いいえ
		600	生活機能基本子エック リスト	2720	9N886000000000011	生活機能問診16	コード	CD	1	N						9N886	生活機能問診16			1.2.392.200119.6.2008	1.2.392.200119.6.1005		0: はい、 1: いいえ
		600	生活機能基本子エック リスト	2730	9N891000000000011	生活機能問診17	コード	CD	1	N						9N891	生活機能問診17			1.2.392.200119.6.2009	1.2.392.200119.6.1005		1: はい、 0: いいえ
		600	生活機能基本子エック リスト	2740	9N896000000000011	生活機能問診18	コード	CD	1	N						9N896	生活機能問診18			1.2.392.200119.6.2009	1.2.392.200119.6.1005		1: はい、 0: いいえ
		600	生活機能基本子エック リスト	2750	9N901000000000011	生活機能問診19	コード	CD	1	N						9N901	生活機能問診19			1.2.392.200119.6.2008	1.2.392.200119.6.1005		0: はい、 1: いいえ
		600	生活機能基本子エック リスト	2760	9N906000000000011	生活機能問診20	コード	CD	1	N						9N906	生活機能問診20			1.2.392.200119.6.2009	1.2.392.200119.6.1005		1: はい、 0: いいえ
		600	生活機能基本子エック リスト	2770	9N911000000000011	生活機能問診21	コード	CD	1	N						9N911	生活機能問診21			1.2.392.200119.6.2009	1.2.392.200119.6.1005		1: はい、 0: いいえ
		600	生活機能基本子エック リスト	2780	9N916000000000011	生活機能問診22	コード	CD	1	N						9N916	生活機能問診22			1.2.392.200119.6.2009	1.2.392.200119.6.1005		1: はい、 0: いいえ
		600	生活機能基本子エック リスト	2790	9N921000000000011	生活機能問診23	コード	CD	1	N						9N921	生活機能問診23			1.2.392.200119.6.2009	1.2.392.200119.6.1005		1: はい、 0: いいえ
		600	生活機能基本子エック リスト	2800	9N926000000000011	生活機能問診24	コード	CD	1	N						9N926	生活機能問診24			1.2.392.200119.6.2009	1.2.392.200119.6.1005		1: はい、 0: いいえ
		600	生活機能基本子エック リスト	2810	9N931000000000011	生活機能問診25	コード	CD	1	N						9N931	生活機能問診25			1.2.392.200119.6.2009	1.2.392.200119.6.1005		1: はい、 0: いいえ
	☆	700	情報提供	2820	9N950000000000011	情報提供の方法	コード	CD	1	N						9N950	情報提供			1.2.392.200119.6.18050	1.2.392.200119.6.1005	V3.0で追加	1: 付加価値の高い情報提供、 2: 専門職による対面説明、 3: 1と2両方実施 1～3に当てはまらない場合は出現させない
	☆	800	初回面接	2830	9N807000000000011	初回面接実施	コード	CD	1	N						9N807	初回面接			1.2.392.200119.6.18060	1.2.392.200119.6.1005	V3.0で追加	1: 健診1週間以内に初回面接実施 1に当てはまらない場合は出現させない

実施項目	法定報告項目	区分番号	区分名称	順番号	項目コード(17桁)	項目名	データタイプ	XMLデータ型	最大バイト長	数値型の場合の形式	表示用単位	XML用単位	author要素	一連検査グループ識別	一連検査グループ識別コード	同一性項目コード	同一性項目名称	XML検査方法コード	検査方法	結果コードOID	項目コードOID	XML化にあたっての備考	備考
		900	後期質問票	2840	9N932000000000011	あなたの現在の健康状態はいかがですか(後期)	コード	CD	1	N						9N932	あなたの現在の健康状態はいかがですか(後期)			1.2.392.200119.6.19010	1.2.392.200119.6.1005	後期質問票追加による修正	1:よい、2:まあよい、3:ふつう、4:あまりよくない、5:よくない
		900	後期質問票	2850	9N933000000000011	毎日の生活に満足していますか(後期)	コード	CD	1	N						9N933	毎日の生活に満足していますか(後期)			1.2.392.200119.6.19020	1.2.392.200119.6.1005	後期質問票追加による修正	1:満足、2:やや満足、3:やや不満、4:不満
		900	後期質問票	2860	9N934000000000011	1日3食きちんと食べていますか(後期)	コード	CD	1	N						9N934	1日3食きちんと食べていますか(後期)			1.2.392.200119.6.19030	1.2.392.200119.6.1005	後期質問票追加による修正	1:はい、2:いいえ
		900	後期質問票	2870	9N935000000000011	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか(後期)	コード	CD	1	N						9N935	半年前に比べて固いもの(*)が食べにくくなりましたか(後期) *ききいか、たくあんなど			1.2.392.200119.6.19040	1.2.392.200119.6.1005	後期質問票追加による修正	1:はい、2:いいえ
		900	後期質問票	2880	9N936000000000011	お茶や汁物等でむせることがありますか(後期)	コード	CD	1	N						9N936	お茶や汁物等でむせることがありますか(後期)			1.2.392.200119.6.19050	1.2.392.200119.6.1005	後期質問票追加による修正	1:はい、2:いいえ
		900	後期質問票	2890	9N937000000000011	6カ月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか(後期)	コード	CD	1	N						9N937	6カ月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか(後期)			1.2.392.200119.6.19060	1.2.392.200119.6.1005	後期質問票追加による修正	1:はい、2:いいえ
		900	後期質問票	2900	9N938000000000011	以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか(後期)	コード	CD	1	N						9N938	以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか(後期)			1.2.392.200119.6.19070	1.2.392.200119.6.1005	後期質問票追加による修正	1:はい、2:いいえ
		900	後期質問票	2910	9N939000000000011	この1年間に転んだことがありますか(後期)	コード	CD	1	N						9N939	この1年間に転んだことがありますか(後期)			1.2.392.200119.6.19080	1.2.392.200119.6.1005	後期質問票追加による修正	1:はい、2:いいえ
		900	後期質問票	2920	9N940000000000011	ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか(後期)	コード	CD	1	N						9N940	ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか(後期)			1.2.392.200119.6.19090	1.2.392.200119.6.1005	後期質問票追加による修正	1:はい、2:いいえ
		900	後期質問票	2930	9N941000000000011	周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあると 言われていますか(後期)	コード	CD	1	N						9N941	周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあると 言われていますか(後期)			1.2.392.200119.6.19100	1.2.392.200119.6.1005	後期質問票追加による修正	1:はい、2:いいえ
		900	後期質問票	2940	9N942000000000011	今日が何月何日かわからない時がありますか(後期)	コード	CD	1	N						9N942	今日が何月何日かわからない時がありますか(後期)			1.2.392.200119.6.19110	1.2.392.200119.6.1005	後期質問票追加による修正	1:はい、2:いいえ
		900	後期質問票	2950	9N943000000000011	あなたはたばこを吸いますか(後期)	コード	CD	1	N						9N943	あなたはたばこを吸いますか(後期)			1.2.392.200119.6.19120	1.2.392.200119.6.1005	後期質問票追加による修正	1:吸っている、2:吸っていない、3:やめた
		900	後期質問票	2960	9N944000000000011	週に1回以上は外出していますか(後期)	コード	CD	1	N						9N944	週に1回以上は外出していますか(後期)			1.2.392.200119.6.19130	1.2.392.200119.6.1005	後期質問票追加による修正	1:はい、2:いいえ
		900	後期質問票	2970	9N945000000000011	ふだんから家族や友人と付き合いがありますか(後期)	コード	CD	1	N						9N945	ふだんから家族や友人と付き合いがありますか(後期)			1.2.392.200119.6.19140	1.2.392.200119.6.1005	後期質問票追加による修正	1:はい、2:いいえ
		900	後期質問票	2980	9N946000000000011	体調が悪くときに、身近に相談できる人がいますか(後期)	コード	CD	1	N						9N946	体調が悪くときに、身近に相談できる人がいますか(後期)			1.2.392.200119.6.19150	1.2.392.200119.6.1005	後期質問票追加による修正	1:はい、2:いいえ

○…必須項目、□…医師の判断に基づき選択的に実施する項目、●…いずれかの項目の実施で可、☆…情報を入手した場合に限り報告

注1)要実施理由

注2)HbA1cと空腹時血糖、あるいはHbA1cと随時血糖は同時に記録されてもよい

注3)医療保険者は、特定健診以外の項目について、健診機関等における対応の可否を踏まえ、本表に示す項目以外の項目をも含め、任意に特定健診以外の項目の実施や、当該項目の入力方法の変更等を行うことができる。

※1 内臓脂肪面積、腹囲(実測)、腹囲(自己申告)について、後期高齢者は任意項目

※2 メタボリックシンドローム判定 保健指導レベルについて、後期高齢者は任意項目

※3 服薬1(血圧)、服薬2(血糖)、服薬3(脂質)、喫煙について、後期高齢者は任意項目

XML用特定保健指導項目情報

付属 3

エントリー名	番号	実施項目 (1回目の請求時)			実施項目 (2回目の請求時)			法定報告項目			項目コード	項目名	データ タイプ	XML データ型	act moodCode	observation classCode	observation moodCode	XML単位	コード表O I D	備考(通知)
		動機 付け 支援	積極 的 支 援	動機 付け 支 援 相 当	動機 付け 支 援	積極 的 支 援	動機 付け 支 援 相 当	動機 付け 支 援	積極 的 支 援	動機 付け 支 援 相 当										
		○	△	☆	○	△	☆	○	△	☆										
指導共通情報	1101	○	○	○	△	△	△	○	○	○	102000001	保健指導区分	コード	CD	EVN	OBS	EVN		1.2.392.200119.6.1112	1: 積極的支援、2: 動機付け支援、3: 動機付け支援相当
	1102	△	△	△	△	△	△	△	△	△	102000002	行動変容ステージ	コード	CD	EVN	OBS	EVN		1.2.392.200119.6.3002	1: 意志なし、2: 意志あり(6ヶ月以内)、3: 意志あり(近いうち)、4: 取組済み(6ヶ月未満)、5: 取組済み(6ヶ月以上)
	1103	☆	☆	☆	△	△	△	○	○	○	102000003	保健指導コース名	漢字	ST	EVN	OBS	EVN			漢字32文字以内、64バイト以内
	1104	☆	☆	☆	△	△	△	○	○	○	102000004	健診実施年月日(確認用)	年月日		EVN	-	-			YYYYMMDD 特定保健指導に対応する健診実施年月日と同一である必要がある ☆1回目の請求時、初回面談を1週間以内におこなった場合は必須
	1105				△	△	△	○	○	○	102000005	保健指導後 服薬1(血圧)	コード	CD	EVN	OBS	EVN		1.2.392.200119.6.24030	1: 保健指導以後に服薬開始を確認 ※対象から除外する場合に記載し、服薬中であっても保健指導を継続した場合は記載しない。
	1106				△	△	△	○	○	○	102000006	保健指導後 服薬2(血糖)	コード	CD	EVN	OBS	EVN		1.2.392.200119.6.24030	1: 保健指導以後に服薬開始を確認 ※対象から除外する場合に記載し、服薬中であっても保健指導を継続した場合は記載しない。
	1107				△	△	△	○	○	○	102000007	保健指導後 服薬3(脂質)	コード	CD	EVN	OBS	EVN		1.2.392.200119.6.24030	1: 保健指導以後に服薬開始を確認 ※対象から除外する場合に記載し、服薬中であっても保健指導を継続した場合は記載しない。
初回面接実施情報	1301	○	○	○	△	△	△	○	○	○	102200011	初回面接の実施日付	年月日		EVN	-	-			YYYYMMDD
	1302	○	○	○	△	△	△	○	○	○	102200012	初回面接による支援の支援形態	コード		EVN	-	-		1.2.392.200119.6.24010	1: 個別支援(対面)、2: 個別支援(遠隔)、3: グループ支援(対面)、4: グループ支援(遠隔)、5: 電話、6: 電子メール等 ※「5: 電話」及び「6: 電子メール等」は、初回面接を分割して実施した場合における2回目(初回面接②)のみ入力可能
	1303	○	○	○	△	△	△	○	○	○	102200016	健診後早期の初回面接	コード		EVN	-	-		1.2.392.200119.6.24070	0: 実施なし、1: 当日、2: 1週間以内(当日は除く)
	1304	○	○	○	△	△	△	○	○	○	102200013	初回面接の実施時間	数字		EVN	OBS	EVN	min		
	1305	○	○	○	△	△	△	○	○	○	102200015	初回面接の実施者	コード		EVN	-	-		1.2.392.200119.6.3020	1: 医師、2: 保健師、3: 管理栄養士、4: その他
	1306	△	△	△	△	△	△	○	○	○	102200090	初回面接情報	漢字	ST	EVN	OBS	EVN			文字数上限は256文字
保健指導計画情報	1331		○	△	△	△	△	○	○	△	102100020	継続的支援予定期間	数字	PQ	INT	OBS	INT	wk		
	1332	☆	☆	☆	△	△	△	○	○	○	1021001031	目標腹囲	数字	PQ	INT	OBS	GOL	cm		
	1333	☆	☆	☆	△	△	△	○	○	○	1021001032	目標体重	数字	PQ	INT	OBS	GOL	kg		
	1334	△	△	△	△	△	△	○	○	○	1021001033	目標収縮期血圧	数字	PQ	INT	OBS	GOL	mm[Hg]		
	1335	△	△	△	△	△	△	○	○	○	1021001034	目標拡張期血圧	数字	PQ	INT	OBS	GOL	mm[Hg]		
	1336	☆	☆	☆	△	△	△	○	○	○	1021001050	一日の削減目標エネルギー量	数字	PQ	INT	OBS	GOL	kcal		
	1337	☆	☆	☆	△	△	△	○	○	○	1021001051	一日の運動による目標エネルギー量	数字	PQ	INT	OBS	GOL	kcal		
	1338	☆	☆	☆	△	△	△	○	○	○	1021001052	一日の食事による目標エネルギー量	数字	PQ	INT	OBS	GOL	kcal		
	1339	○	○	△	△	△	△	○	○	△	1021001053	計画上の腹囲・体重の改善	コード	CD	INT	OBS	INT		1.2.392.200119.6.24110	0: 計画なし、1: 1cm・1kg、2: 2cm・2kg
	1340	○	○	△	△	△	△	○	○	△	1021001054	計画上の生活習慣の改善(食習慣)	コード	CD	INT	OBS	INT		1.2.392.200119.6.24120	0: 計画なし、1: 計画あり
	1341	○	○	△	△	△	△	○	○	△	1021001055	計画上の生活習慣の改善(運動習慣)	コード	CD	INT	OBS	INT		1.2.392.200119.6.24120	0: 計画なし、1: 計画あり
	1342	○	○	△	△	△	△	○	○	△	1021001056	計画上の生活習慣の改善(喫煙習慣)	コード	CD	INT	OBS	INT		1.2.392.200119.6.24120	0: 計画なし、1: 計画あり
	1343	○	○	△	△	△	△	○	○	△	1021001057	計画上の生活習慣の改善(休養習慣)	コード	CD	INT	OBS	INT		1.2.392.200119.6.24120	0: 計画なし、1: 計画あり
	1344	○	○	△	△	△	△	○	○	△	1021001058	計画上の生活習慣の改善(その他の生活習慣)	コード	CD	INT	OBS	INT		1.2.392.200119.6.24120	0: 計画なし、1: 計画あり
1345		○	△	△	△	△	○	○	△	1021001059	計画上のポイント(アウトカム評価の合計)	数字	INT	INT	OBS	INT			自動計算(1339+1340+1341+1342+1343+1344) 自動計算定義表を参照。	
	1501	△	△	△	▲*	△	▲*	○	○	○	103200011	中間評価の実施日付	年月日		EVN					YYYYMMDD
	1502	△	△	△	▲*	△	▲*	○	○	○	103200012	中間評価の支援形態	コード		EVN				1.2.392.200119.6.24010	1: 個別支援(対面)、2: 個別支援(遠隔)、3: グループ支援(対面)、4: グループ支援(遠隔)、5: 電話、6: 電子メール等
	1503	△	△	△	▲*	△	▲*	○	○	○	103200013	中間評価の実施時間	数字		EVN	OBS	EVN	min		
	1504	△	△	△	▲*	△	▲*	○	○	○	103200014	中間評価の実施ポイント	数字	INT	EVN	OBS	EVN			自動計算
	1505	△	△	△	▲*	△	▲*	○	○	○	103200015	中間評価の実施者	コード		EVN				1.2.392.200119.6.3020	1: 医師、2: 保健師、3: 管理栄養士、4: その他
	1506	△	△	△	▲*	△	▲*	○	○	○	1032001031	中間評価時の腹囲	数字	PQ	EVN	OBS	EVN	cm		YYYYMMDD
	1507	△	△	△	▲*	△	▲*	○	○	○	1032001032	中間評価時の体重	数字	PQ	EVN	OBS	EVN	kg		

		実施項目 (1回目の請求時)	実施項目 (2回目の請求時)	法定報告項目												
	1616															
	1701	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	1702	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	1703	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	1704	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	1705	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	1706	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	1707	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	1708	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	1709	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	1710	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	1711	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	1712	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	1713	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
計画上の集計情報																
	1731	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	1732	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	1733	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	1734	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	1735	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	1736	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	1737	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	1738	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	1739	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	1740	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	1741	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	1742	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	1743	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	1744	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	1745	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
実施上の集計情報																
	1811	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	1812	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	1813	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	1814	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	1821	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	1822	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	1823	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	1824	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	1831	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	1832	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	1833	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	1834	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	1841	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△

法定報告項目の自動計算定義表

番号	項目コード	項目名	計算定義				
			番号	項目コード	項目名	データタイプ	備考
1345	1021001059	計画上のポイント(アウトカム評価の合計)	1339	1021001053	計画上の腹囲・体重の改善	コード	1の場合：20p、2の場合：180p
			1340	1021001054	計画上の生活習慣の改善(食習慣)	コード	1の場合：20p
			1341	1021001055	計画上の生活習慣の改善(運動習慣)	コード	1の場合：20p
			1342	1021001056	計画上の生活習慣の改善(喫煙習慣)	コード	1の場合：30p
			1343	1021001057	計画上の生活習慣の改善(休養習慣)	コード	1の場合：20p
			1344	1021001058	計画上の生活習慣の改善(その他の生活習慣)	コード	1の場合：20p
1615	1042001060	実績評価時のポイント(アウトカム評価の合計)	1609	1042001044	実績評価時の腹囲・体重の改善	コード	1の場合：20p、2の場合：180p
			1610	1042001042	実績評価時の生活習慣の改善(食習慣)	コード	1の場合：20p
			1611	1042001041	実績評価時の生活習慣の改善(運動習慣)	コード	1の場合：20p
			1612	1042001043	実績評価時の生活習慣の改善(喫煙習慣)	コード	1の場合：30p
			1613	1042001045	実績評価時の生活習慣の改善(休養習慣)	コード	1の場合：20p
			1614	1042001046	実績評価時の生活習慣の改善(その他の生活習慣)	コード	1の場合：20p
1712	1041010070	計画上の継続的な支援によるポイント(合計)	1701	1041010010	計画上の継続的な支援の実施回数(個別支援(対面))	数字	支援1回当たり70p
			1703	1041010020	計画上の継続的な支援の実施回数(個別支援(遠隔))	数字	
			1705	1041010030	計画上の継続的な支援の実施回数(グループ支援(対面))	数字	支援1回当たり70p
			1707	1041010040	計画上の継続的な支援の実施回数(グループ支援(遠隔))	数字	
			1709	1041010050	計画上の継続的な支援の実施回数(電話)	数字	支援1回当たり30p
			1711	1041010060	計画上の継続的な支援の実施回数(電子メール等)	数字	支援1往復当たり30p
1713	1041010080	計画上のポイント(合計)	1303	1022000016	健診後早期の初回面接	コード	1の場合：20p、2の場合：10p
			1345	1021001059	計画上のポイント(アウトカム評価の合計)	数字	
			1712	1041010070	計画上の継続的な支援によるポイント(合計)	数字	
1742	1042010070	継続的なポイント(プロセス評価の合計)	1731	1042010010	継続的な支援の実施回数(個別支援(対面))	数字	支援1回当たり70p
			1733	1042010020	継続的な支援の実施回数(個別支援(遠隔))	数字	
			1735	1042010030	継続的な支援の実施回数(グループ支援(対面))	数字	支援1回当たり70p
			1737	1042010040	継続的な支援の実施回数(グループ支援(遠隔))	数字	
			1739	1042010050	継続的な支援の実施回数(電話)	数字	支援1回当たり30p
			1741	1042010060	継続的な支援の実施回数(電子メール等)	数字	支援1往復当たり30p
1743	1042010080	ポイント(合計)	1303	1022000016	健診後早期の初回面接	コード	1の場合：20p、2の場合：10p
			1615	1042001060	実績評価時のポイント(アウトカム評価の合計)	数字	
			1742	1042010070	継続的なポイント(プロセス評価の合計)	数字	

本資料はメタボリックシンドローム判定・保健指導レベル判定のロジックや、集計情報ファイルの項目に対して計算フローや判定仕様を示す。

【目次】

1. メタボリックシンドローム判定・保健指導レベル判定のロジック

2. 集計情報ファイルの計算に係る前提条件

- 郵便番号判定
- 対象年齢の考え方

3. 集計情報ファイルの計算方法

- 集計情報ファイルの項目一覧
- 特定健康診査受診者数
- 評価対象者数
- 内臓脂肪症候群該当者数、内臓脂肪症候群予備群者数
- 薬剤を服用している者の数
- 特定保健指導開始前に、服薬確認により特定保健指導対象者から除外した者の数
- 特定保健指導の利用者数
- 特定保健指導（積極的支援レベル）の対象者数、特定保健指導（動機付け支援レベル）の対象者数
- 特定保健指導（積極的支援）の終了者数、特定保健指導（動機付け支援相当）の終了者数、特定保健指導（動機付け支援）の終了者数
- 特定保健指導開始後に、服薬確認により特定保健指導対象者から除外した者の数

○フロー図に用いる演算子(記号)について

演算子	意味
A == B	AとBは同じ
A != B	AとBは同じではない
A && B	AかつB
A B	AまたはB

1. メタボリックシンドローム判定・保健指導レベル判定のロジック

①桁まるめの方法

数値データでまるめを行う必要がある場合にはどの項目においても四捨五入により指定された桁数にするものとする。

桁数の情報は、付属2「XML用特定健診項目情報」の「数値型の場合の形式」に従う。
小数点以下の取り扱いの記載がない項目は、整数値である。計算によって整数値化する場合にも上記のルールに従い、小数点以下1位の桁まで計算し四捨五入により整数値化すること。

②小数点以下の桁の値がゼロの場合、あるべき桁が存在しない場合の取扱い

ファイル作成側：

小数点以下n桁の指示がある場合にその桁の数値が0である場合には、0を出力する必要はない。

例) 身長180.0cmの場合、180と出力してもよい。

ファイル受理側：

小数点以下n桁の指示があるにもかかわらずn未満の桁数しか存在しないデータを受理した場合には、その桁の値は0であったとみなして処理を行うこととし、返戻扱いはしない。

例) 身長のデータとして180.0と格納されているべきところに180とだけ格納されている場合には、180.0と格納されていたとして処理を行う。

事業者健診（労働安全衛生法および学校保健安全法に基づく健診）等、他の制度に基づく健診においては、数値データの形式（小数点以下の桁数）についての制限等はないことから、小数点以下n桁を超える数値データを受理した場合も異常データとはしない。ただし、作成側と受理側とで個別に合意されている場合はこの限りではない。

なお、法定報告においては、指定された数値データ形式での報告が必要である。

③検査結果が桁数を超えた場合の取扱い

測定値が入力範囲上限・下限に達した場合の測定値の記載のように、以下のルールを用いて記述を行う。

測定値が最大バイト長（*1）の表現範囲を超えた場合は、表現範囲の最大値を記載する。

*1) 付属2「XML用特定健診項目情報」の「最大バイト長」、「数値型の場合の形式」を参照のこと。

「数値型の場合の形式」が、「NNNNN」ならば、「99999」を記載する。

検査装置からの出力が装置の測定範囲内を示している場合の運用であり、検査装置の測定限界を超えた異常な値を示した場合は、「特定健診・特定保健指導の電子的なデータ標準様式特定健診情報ファイル（健診・保健指導機関等→医療保険者）仕様説明書Version 4」3.3.2.3.5の測定不能の記述を行うこと。

1. メタボリックシンドローム判定・保健指導レベル判定のロジック

④ 欠損値の基本的な考え方

必須とされている項目については、当該検査項目コードが出現していなければ欠損として取り扱われる。検査項目コードが出現していたとしても、未実施として報告されているのであれば、欠損として取り扱われる。

問診における必須項目について未回答の場合の記述であるが、空欄であった以上、実施機関が独自に値を設定することは許されない。したがって、未実施または判定不能を用いて記述することになり、欠損値として取り扱われることになる。このような事態を防ぐためには、手引き等に記載されるように、問診票の工夫や医師面談時に空欄であれば聞き取りを行う等、運用面において工夫を凝らすことも重要である。

計測行為		本仕様上の記載	メタボリックシンドローム判定・指導レベル等への利用	欠損値
実施	数値型：記述範囲外	9埋め+H	○	非欠損
	数値型：入力上限以上	値+H	○	非欠損
	数値型：入力範囲内	値	○	非欠損
	数値型：入力下限以下	値+L	○	非欠損
	コード型：データあり	コード値	○	非欠損
	生理等により尿検査除外等	測定不能	×	非欠損
	喫煙・服薬問診未回答 検体破損 機器の測定限界外	測定不能	×	欠損扱い
未実施	未実施	×	欠損扱い	
計測実施の有無にかかわらず、必須項目において当該項目コードが未出現			×	欠損扱い

1. メタボリックシンドローム判定・保健指導レベル判定のロジック

⑤判定において欠損値がある場合の判定の考え方

判定結果が確定せず、追加情報（リスク群）の発生により、よりリスクの高いレベルと判定される可能性のある場合は、一旦「判定不能」として取り扱う。ただし、支払基金への報告時点においても不足情報が入手出来なかった場合は、その時点で入手できている情報から算出される判定結果を報告する必要がある。参考までに、保健指導レベル判定における、確定リスク数と欠損による未確定リスク数の関係を下に示す。

<腹囲が基準以上の場合>

該当確定リスク数 \ 未確定リスク数	0	1	2	3	4
0	情	不	不	不	不
1	動	不	不	不	
2	積	積	積		
3	積	積			
4	積				

情：「情報提供レベル」 動：「動機づけ支援レベル」 積：「積極的支援レベル」 不：判定不能

<腹囲が基準未滿かつBMIが25以上の場合>

該当確定リスク数 \ 未確定リスク数	0	1	2	3	4
0	情	不	不	不	不
1	動	動	不	不	
2	動	不	不		
3	積	積			
4	積				

情：「情報提供レベル」 動：「動機づけ支援レベル」 積：「積極的支援レベル」 不：判定不能

ただし、喫煙におけるリスクについては、回答があった場合でも血糖・血圧・脂質にて未確定リスクがある場合は、リスクが確定しないことを考慮する必要がある。

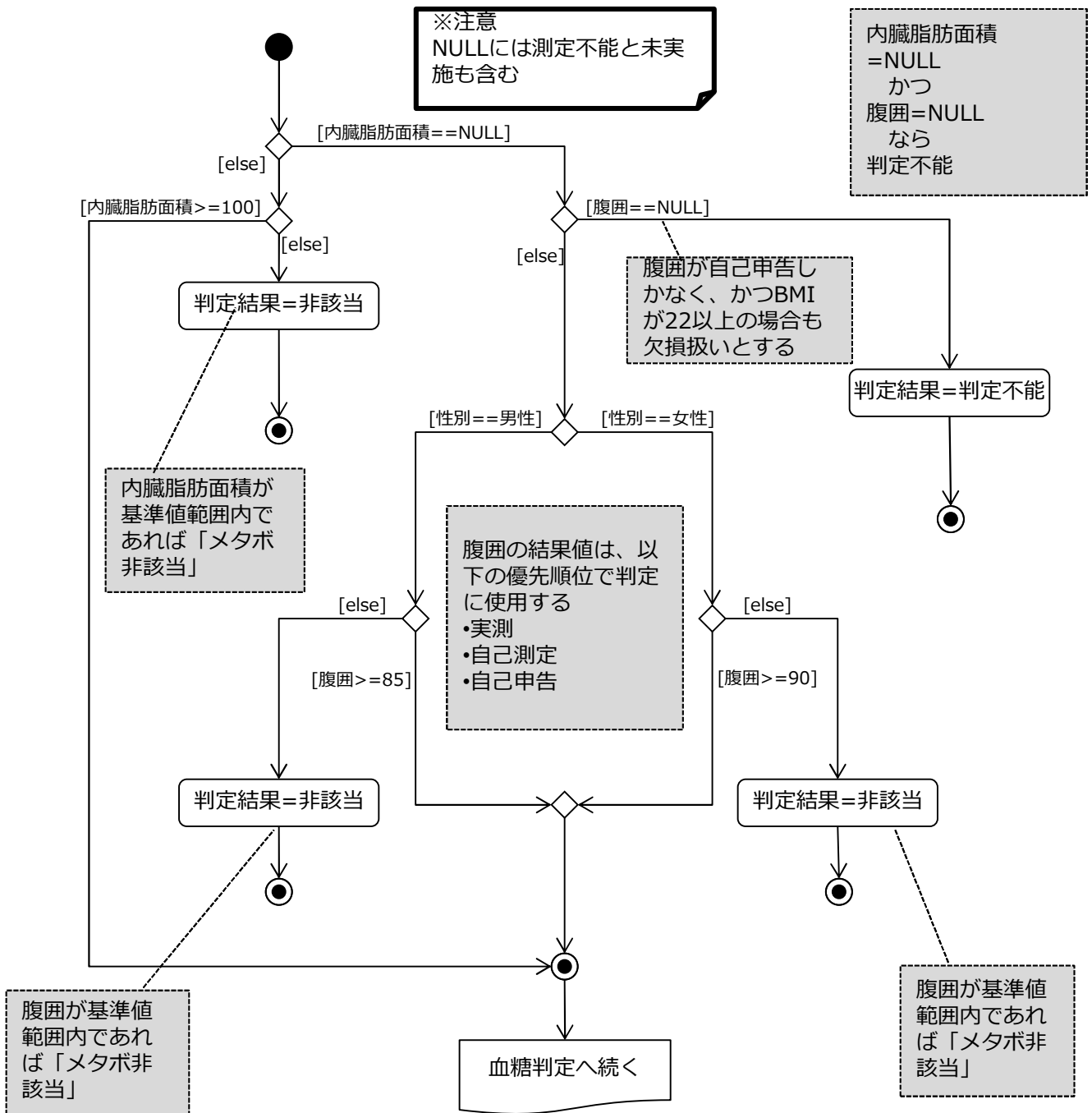
「動機づけ支援レベル」か「積極的支援レベル」かが確定せず、「判定不能」となるケースにおいて、65歳以上の場合は、「動機づけ支援レベル」に確定すると考えることも可能であることから、そのように判定をすることも可能とする。（65歳以上であり、かつ太文字の「不」に相当する場合。）

1. メタボリックシンドローム判定・保健指導レベル判定のロジック

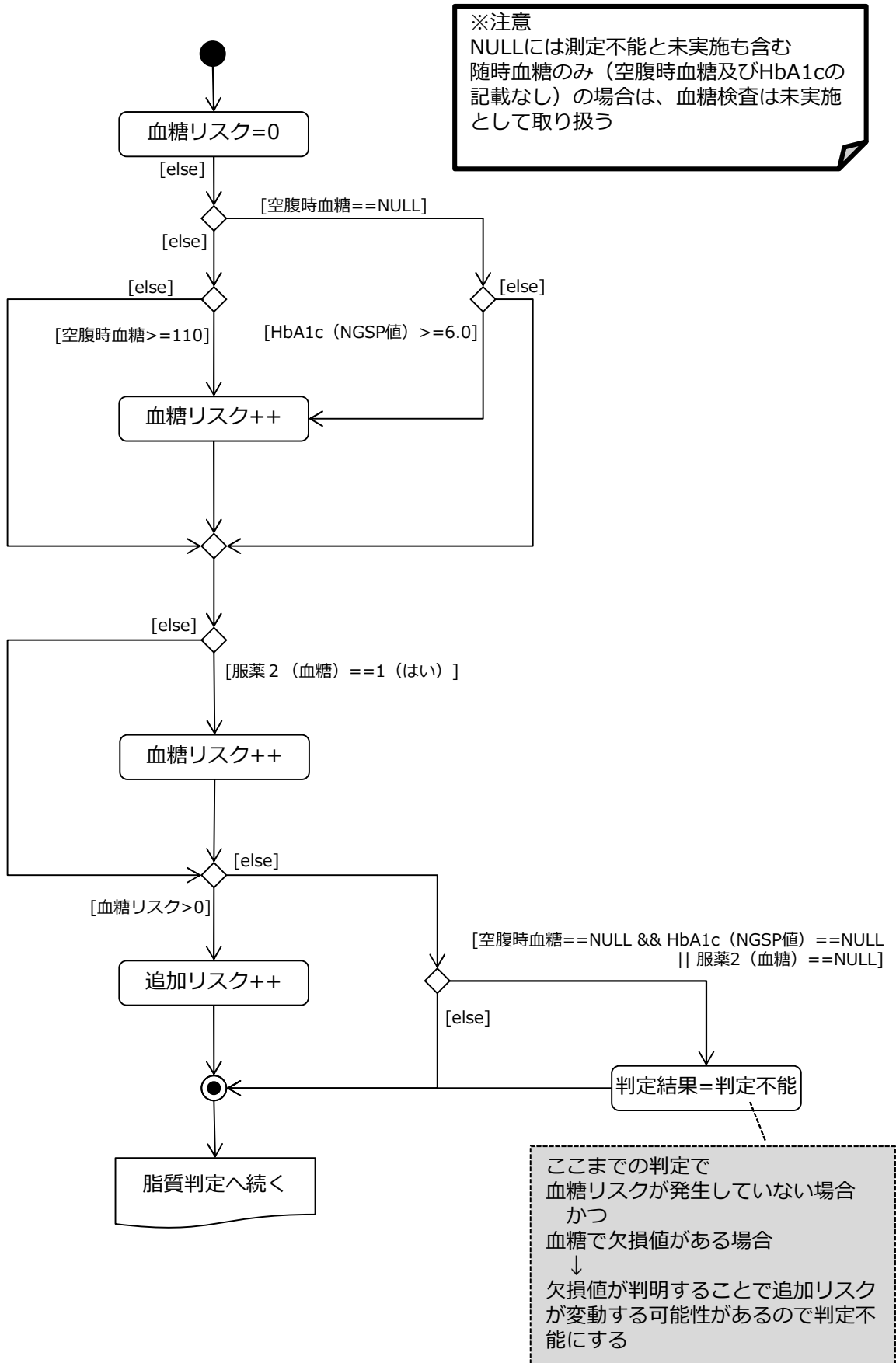
また、「動機づけ支援レベル」か「積極的支援レベル」かが確定せず、「判定不能」となるケースにおいて、少なくとも「動機づけ支援レベル」以上に確定すると考えられる場合、保健指導を行うことが出来る。ただし、国への報告時点において確定した保健指導レベルと実際に実施された保健指導内容がレベル的に異なる場合、次のように取り扱う。積極的支援対象者と確定した者に対して、動機づけ支援を行った場合、保健指導終了者としてカウントすることはできない。動機づけ支援対象者として確定した者に対して、積極的支援を行った場合、動機づけ支援の保健指導終了者としてカウントすることが出来る。

次ページより、欠損値を考慮した際の判定のフローの例を示す。

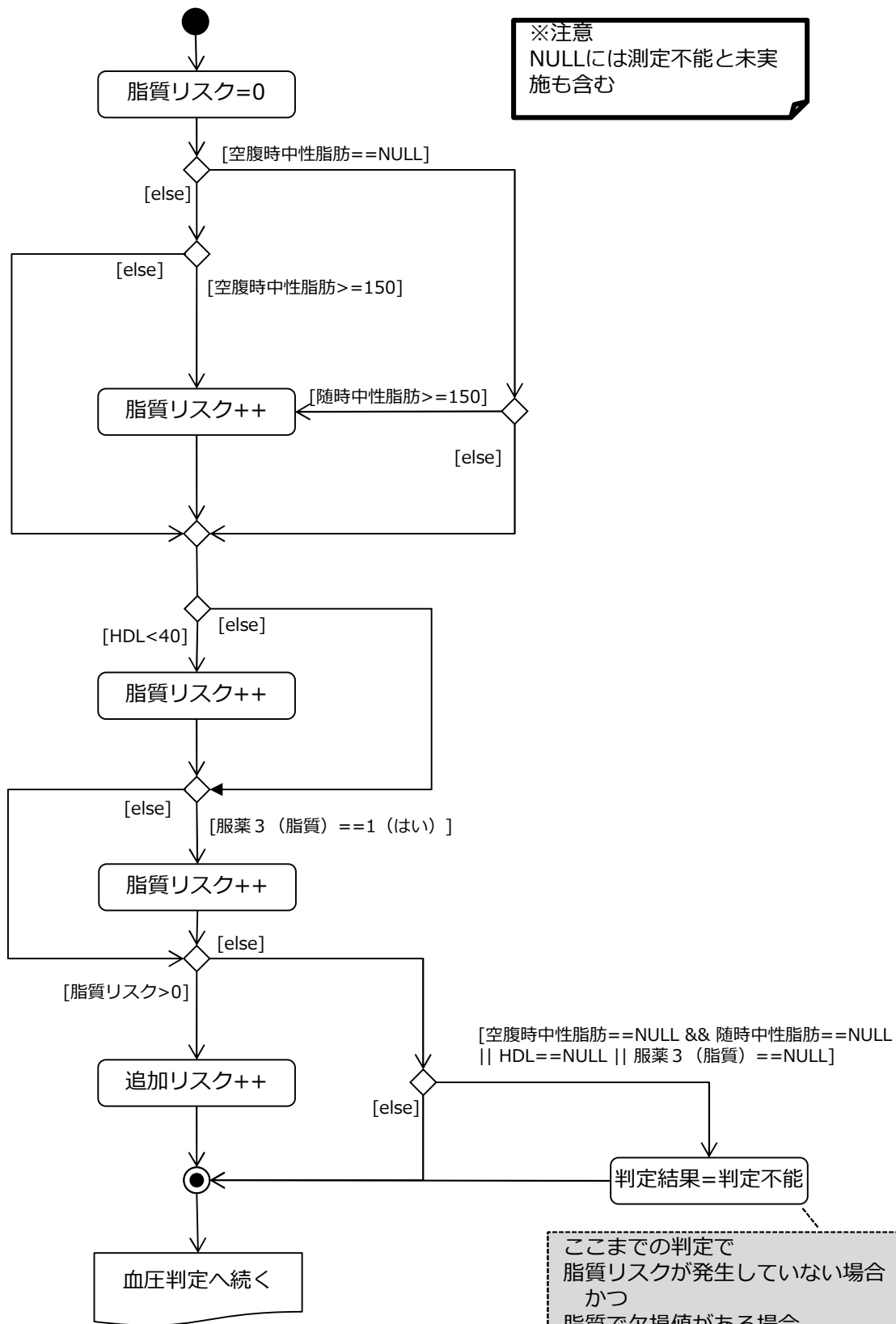
1. メタボリックシンドローム判定 1 (内臓脂肪面積&腹囲判定)



1. メタボリックシンドローム判定 2 (血糖判定)



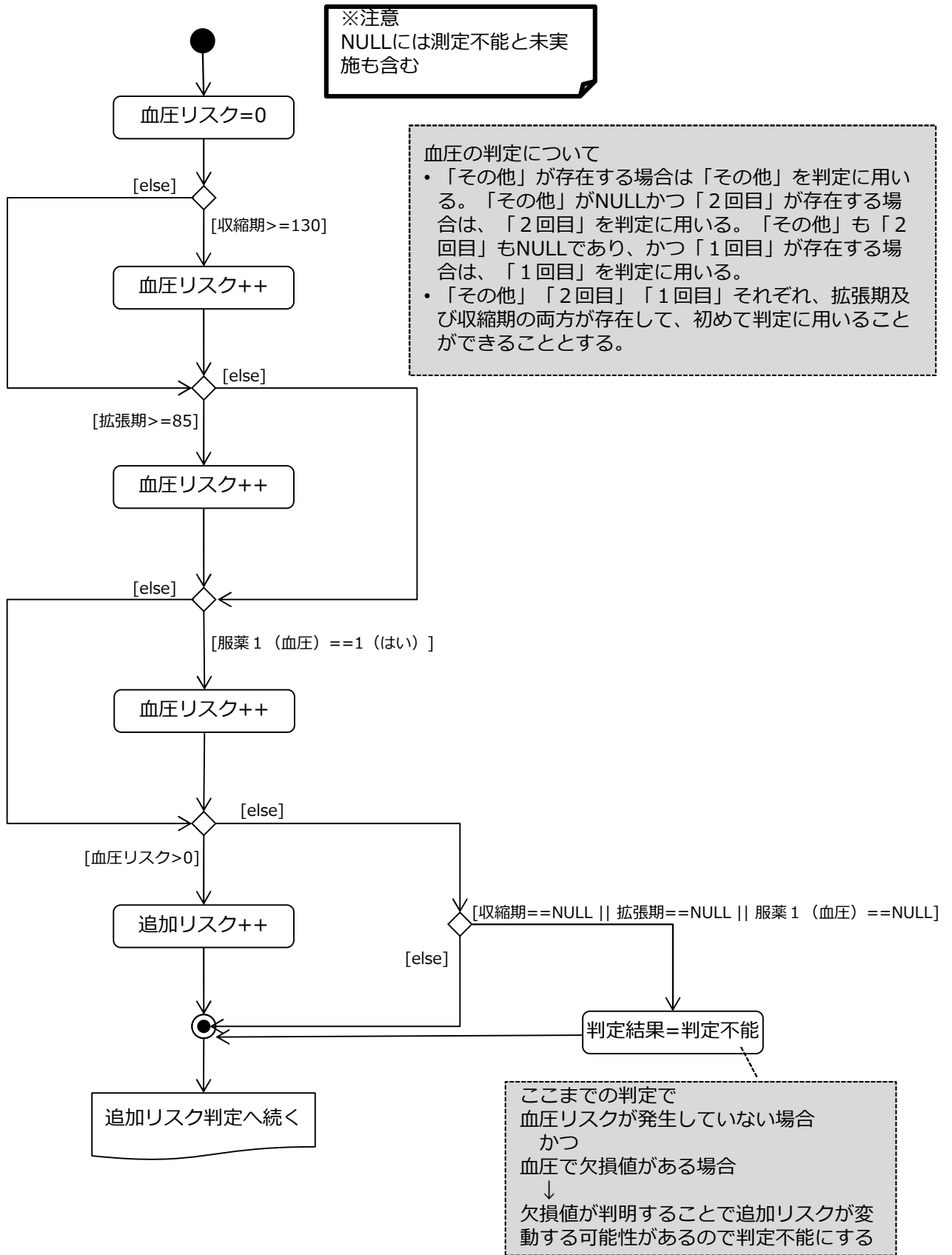
1. メタボリックシンドローム判定 3 (脂質判定)



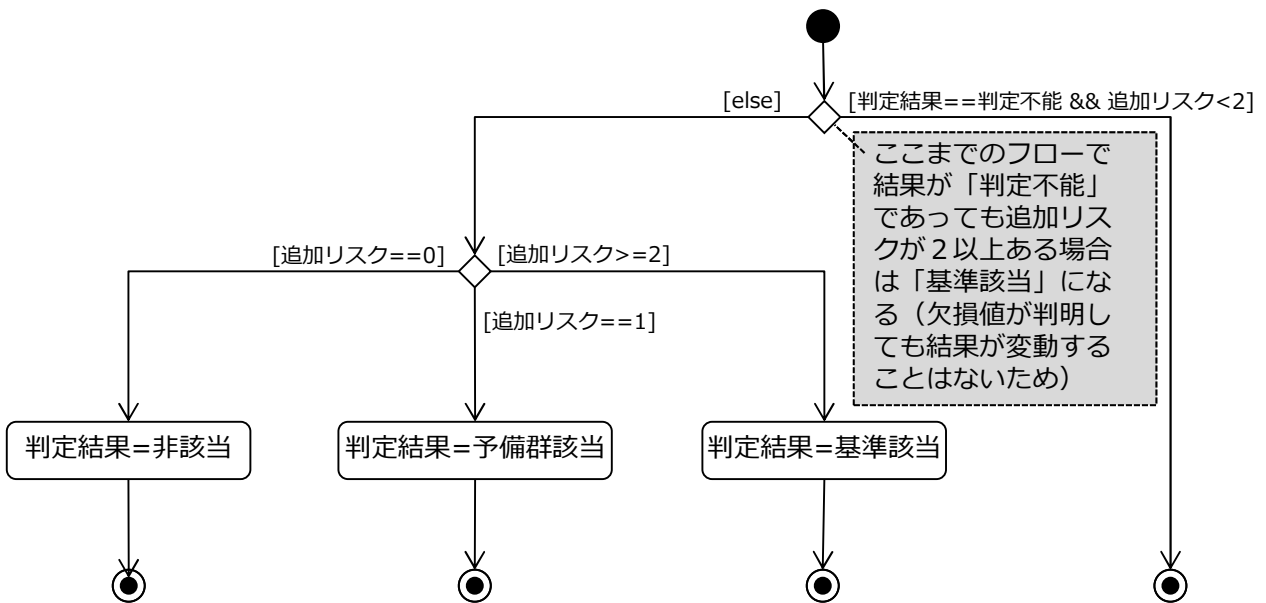
※注意
NULLには測定不能と未実施も含む

ここまでの判定で
脂質リスクが発生していない場合
かつ
脂質で欠損値がある場合
↓
欠損値が判明することで追加リスクが変動する可能性があるので判定不能にする

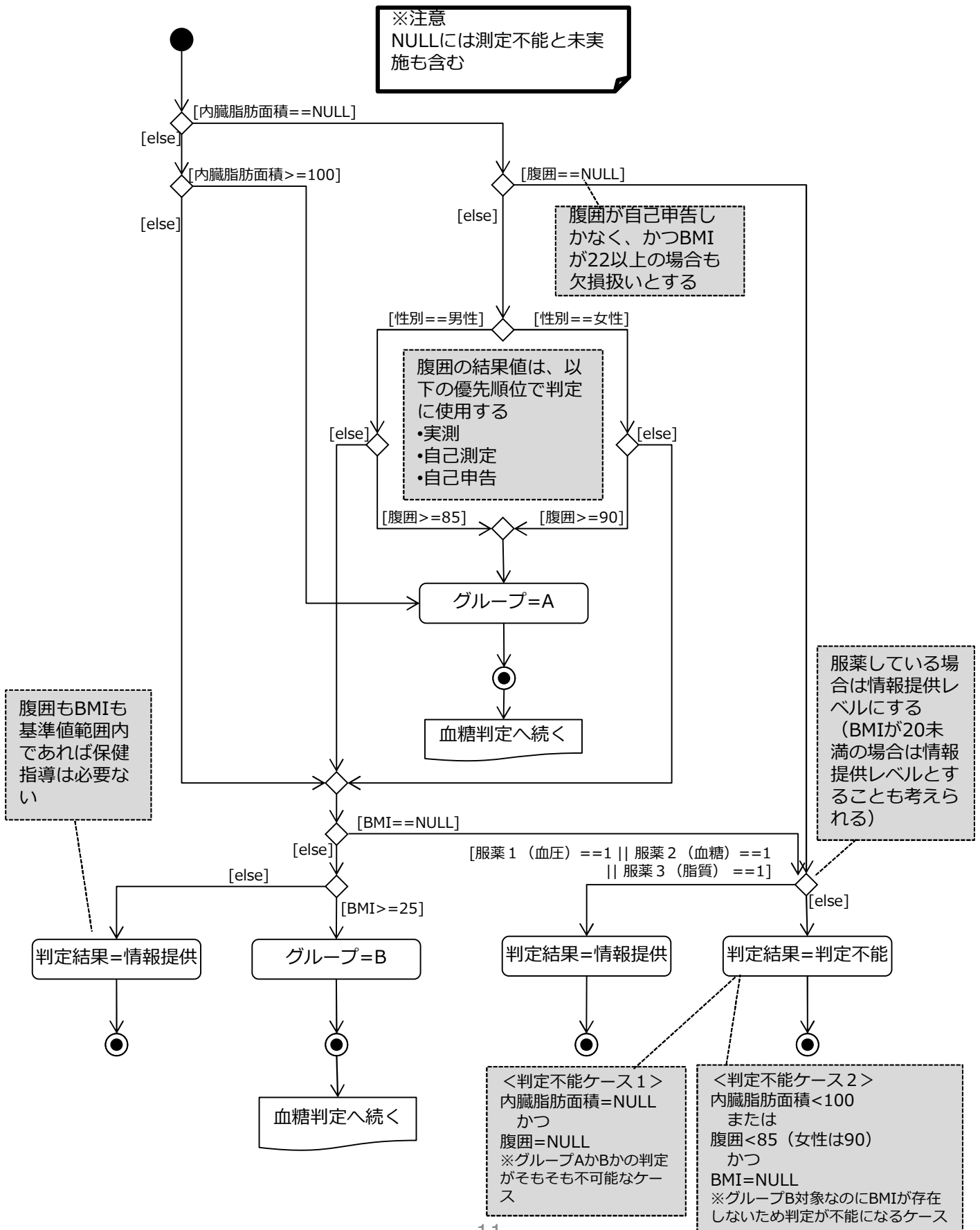
1. メタボリックシンドローム判定 4 (血圧判定)



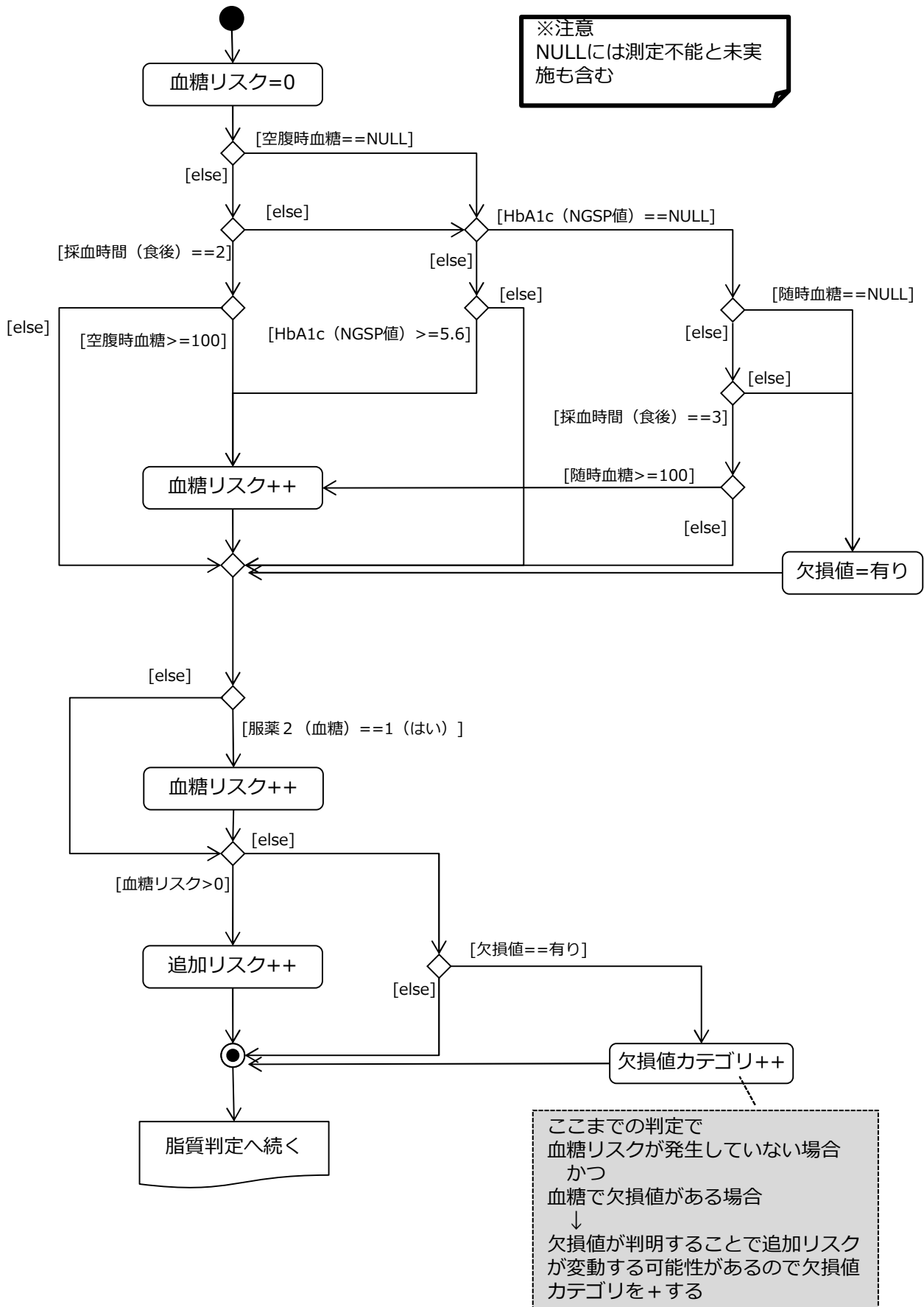
1. メタボリックシンドローム判定 5 (追加リスク判定)



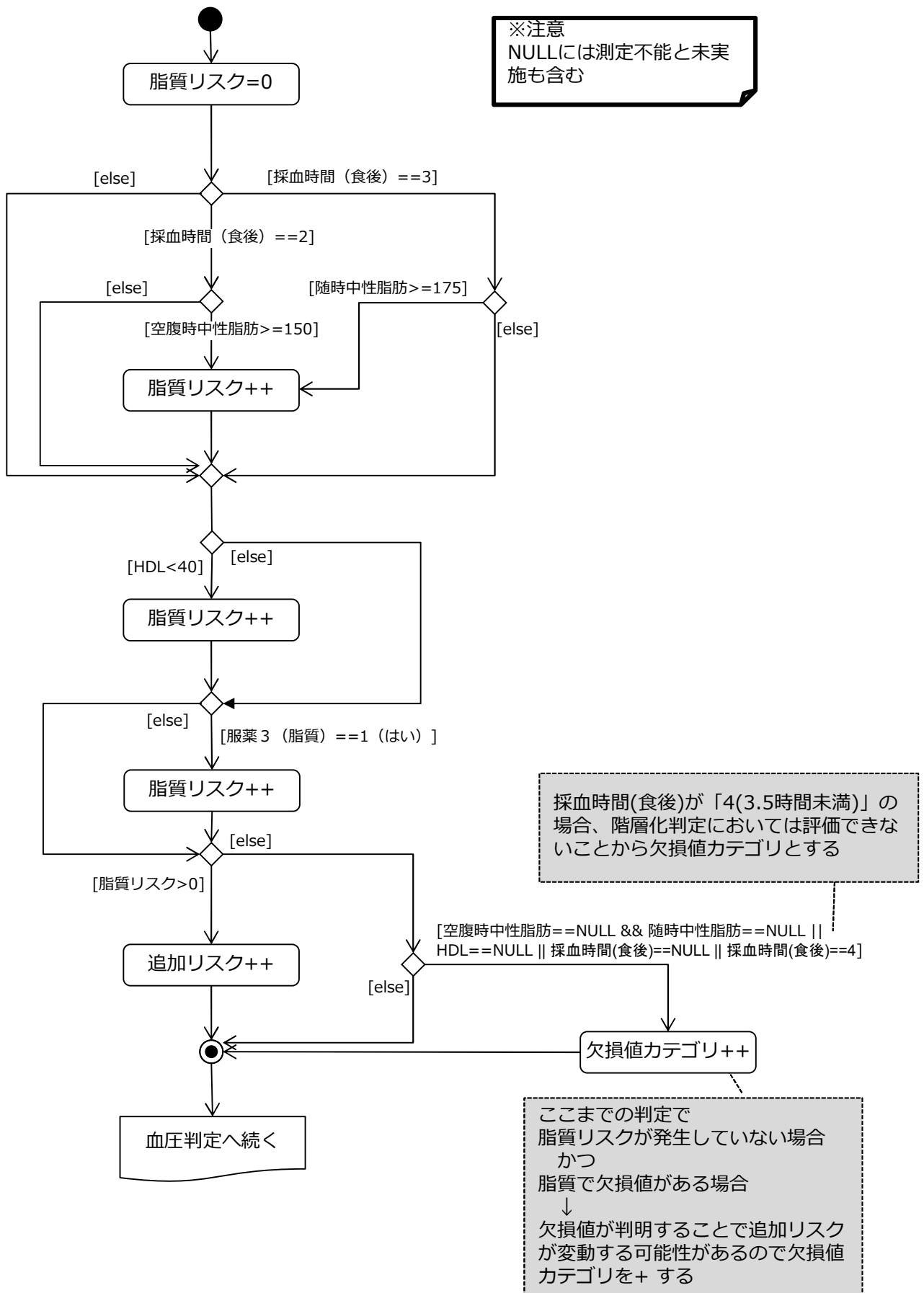
1. 保健指導レベル判定 1 (内臓脂肪面積・腹囲判定&BMI判定)



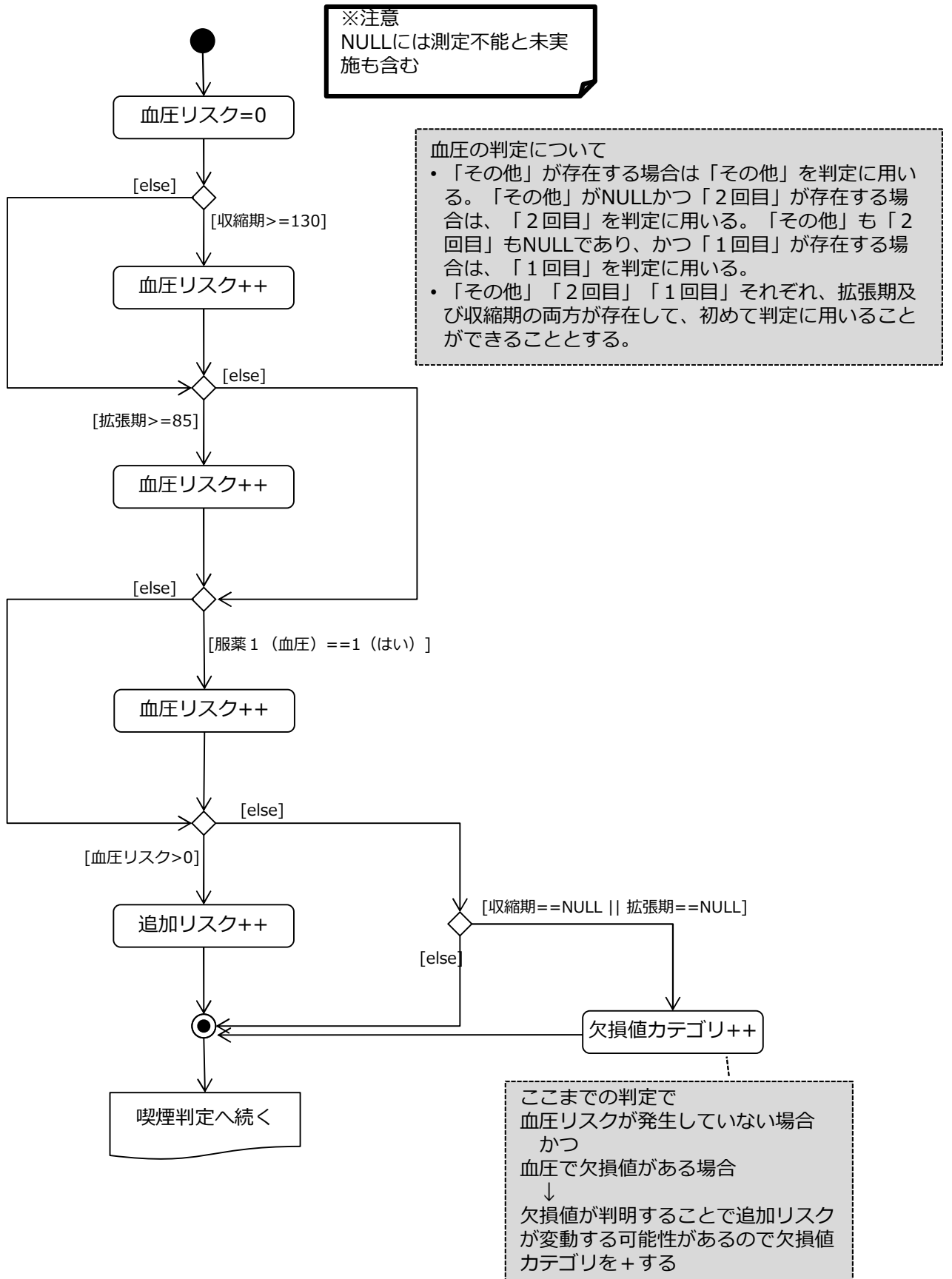
1. 保健指導レベル判定 2 (血糖判定)



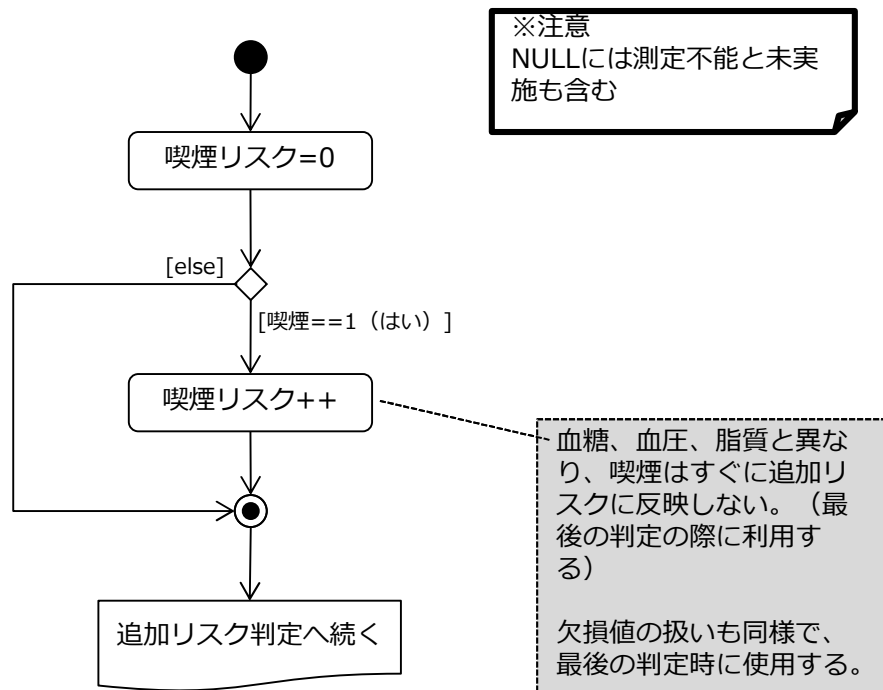
1. 保健指導レベル判定 3 (脂質判定)



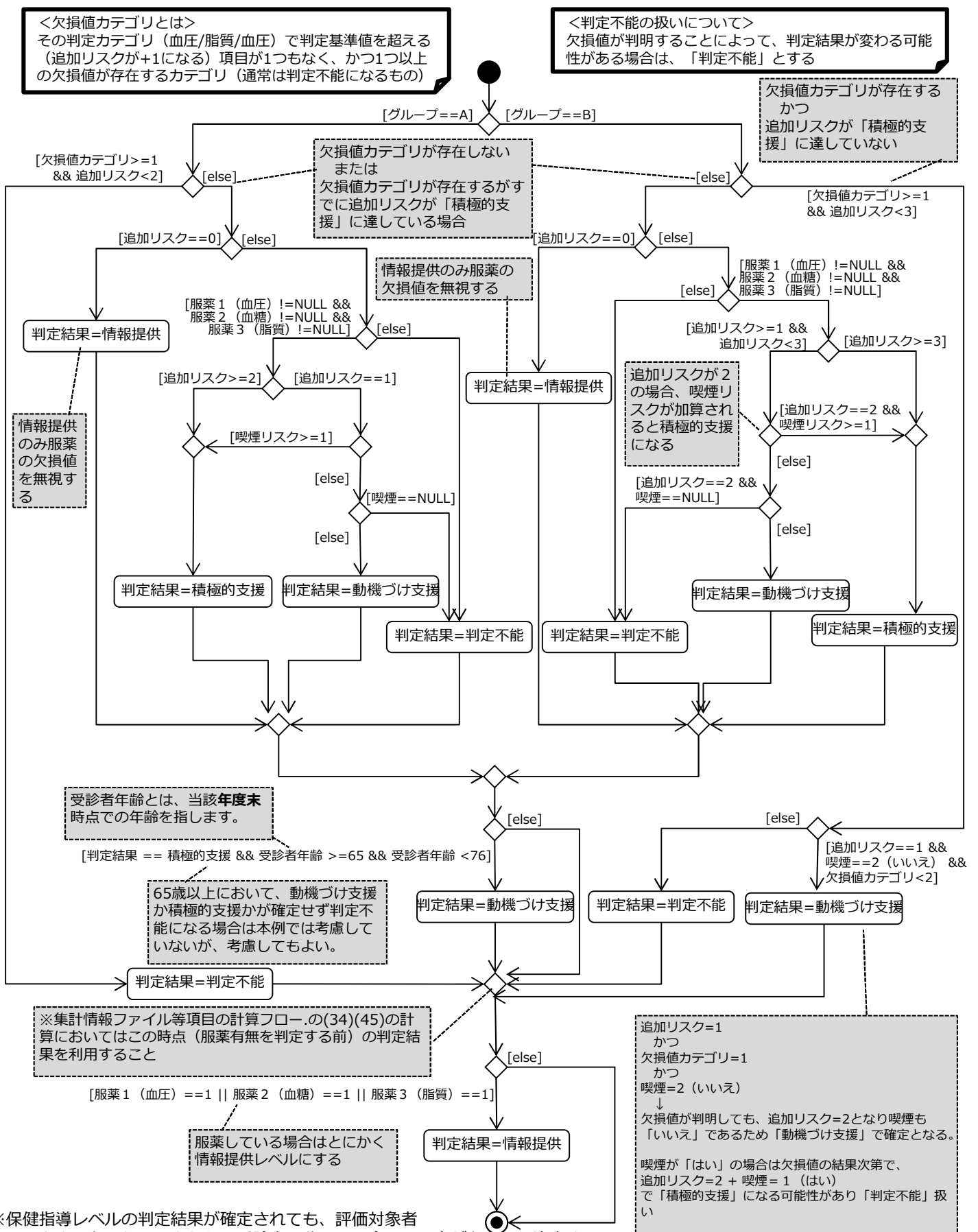
1. 保健指導レベル判定 4 (血圧判定)



1. 保健指導レベル判定 5 (喫煙判定)



1. 保健指導レベル判定6（追加リスク判定）



※保健指導レベルの判定結果が確定されても、評価対象者としてカウントされることから、受診率の分子には含まない事があるので注意する。

2. 集計情報ファイルの計算に係る前提条件 - 郵便番号判定

【郵便番号判定】

郵便番号の存在確認は上位2桁について判定を行う。以下の表に当てはまる場合に集計対象とする。ただし、郵便番号が「000-0000」、「999-9999」となっている場合は対象外とする。

上2桁	都道府県	上2桁	都道府県	上2桁	都道府県	上2桁	都道府県
00	北海道	25	神奈川県	50	岐阜県	75	山口県
01	秋田県	26	千葉県	51	三重県	76	香川県
02	岩手県	27	千葉県	52	滋賀県	77	徳島県
03	青森県	28	千葉県	53	大阪府	78	高知県
04	北海道	29	千葉県	54	大阪府	79	愛媛県
05	北海道	30	茨城県	55	大阪府	80	福岡県
06	北海道	31	茨城県	56	大阪府	81	福岡県
07	北海道	32	栃木県	57	大阪府	82	福岡県
08	北海道	33	埼玉県	58	大阪府	83	福岡県
09	北海道	34	埼玉県	59	大阪府	84	佐賀県
10	東京都	35	埼玉県	60	京都府	85	長崎県
11	東京都	36	埼玉県	61	京都府	86	熊本県
12	東京都	37	群馬県	62	京都府	87	大分県
13	東京都	38	長野県	63	奈良県	88	宮崎県
14	東京都	39	長野県	64	和歌山県	89	鹿児島県
15	東京都	40	山梨県	65	兵庫県	90	沖縄県
16	東京都	41	静岡県	66	兵庫県	91	福井県
17	東京都	42	静岡県	67	兵庫県	92	石川県
18	東京都	43	静岡県	68	鳥取県	93	富山県
19	東京都	44	愛知県	69	島根県	94	新潟県
20	東京都	45	愛知県	70	岡山県	95	新潟県
21	神奈川県	46	愛知県	71	岡山県	96	福島県
22	神奈川県	47	愛知県	72	広島県	97	福島県
23	神奈川県	48	愛知県	73	広島県	98	宮城県
24	神奈川県	49	愛知県	74	山口県	99	山形県

2. 集計情報ファイルの計算に係る前提条件 - 対象年齢の考え方

【年齢の考え方】

特定健診の受診者・特定保健指導の終了者などの判定する際に、年度末年齢を用いて判定を行う。具体的な判定例は【対象年齢の具体例】を参照。

【特定健診の場合】

特定健診情報ファイルにおいて、年度末年齢(健診実施年月日)が40～74歳である場合、対象とする

○年度末年齢(健診実施年月日)

年度末年齢(健診実施年月日)は「健診実施年月日」(受診日)を起点として下記計算式に従う。生年月はその年度の4月として換算し取り扱う。年齢算出が出来ない場合、算出した結果がマイナスになる場合は、集計対象外とする。

- ・生年月の月が01(1月)、02(2月)、03(3月)の場合、
健診実施年月(YYYYMM形式) - ((生年月のYYYY - 1) || '04')とした後、先頭2桁を取得
- ・生年月の月が01(1月)、02(2月)、03(3月)以外の場合、
健診実施年月(YYYYMM形式) - ((生年月のYYYY) || '04')とした後、先頭2桁を取得

【特定保健指導の場合】

特定保健指導情報ファイルにおいて以下のいずれかに当てはまる場合、対象とする

- ・年度末年齢(健診実施年月日)が40～64歳の場合
- ・年度末年齢(健診実施年月日)が65～74歳かつ保健指導区分が2の場合

※特定保健指導の実績評価前に75歳となった場合、途中終了として報告することに留意

【集計情報ファイルの年齢階層の考え方】

集計情報ファイルでは年齢階層(5歳階層)別に集計するが、その際の年齢の考え方は、年度末年齢(健診実施年月日)に準ずる。

2. 集計情報ファイルの計算に係る前提条件 - 対象年齢の考え方

<対象年齢の具体例>

健診、保健指導の対象者とN年度の法定報告（N+1年度の11月締切）の報告対象者は以下の通り。

1. 年度末年齢39,40歳のケース

No	N-1年度			N年度												N+1年度			対象者			N年度実績報告対象			備考
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	~	11	健診	動機付	積極的	健診	動機付	積極的				
1			健診			初回			評価						年度末 39歳				×	×	×	×	×	×	
2			健診			初回			評価						年度末 40歳				○	○	○	○	○	○	

2. 年度末年齢64,65歳のケース

No	N-1年度			N年度												N+1年度			対象者			N年度実績報告対象			備考
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	~	11	健診	動機付	積極的	健診	動機付	積極的				
3			健診			初回			評価						年度末 64歳				○	○	○	○	○	○	
4			健診			初回									年度末 64歳	評価 65歳			○	○	○	○	○	○	健診をN年度中に実施した場合、 N+1年度の実績評価時点で65歳 でも積極的支援報告対象となる
5			健診			初回			評価						年度末 65歳				○	○	×	○	○	×	
6	健診	年度末 64歳				初回			評価						年度末 65歳				○	○	○	×	○	○	健診受診が前年度に行われた場 合、N年度末年齢が65歳であって も積極的支援は報告対象

3. 年度末年齢74,75歳のケース

No	N-1年度			N年度												N+1年度			対象者			N年度実績報告対象			備考
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	~	11	健診	動機付	積極的	健診	動機付	積極的				
7			健診			初回			評価						年度末 74歳				○	○	×	○	○	×	
8			健診			初回									年度末 74歳	評価 74歳			○	○	×	○	○	×	
9			健診			初回									年度末 74歳	評価 75歳			○	○	×	○	△	×	実績評価前に75歳となった場合は 保健指導の対象外（報告はす るが途中終了）
10	健診	年度末 73歳				初回									年度末 74歳	評価 74歳			○	○	×	×	○	×	
11	健診	年度末 73歳				初回									年度末 74歳	評価 75歳			○	○	×	×	△	×	実績評価前に75歳となった場合は 保健指導の対象外（報告はす るが途中終了）
12			健診			初回			評価						年度末 75歳				○	×	×	×	×	×	
13	健診	年度末 74歳				初回			評価						年度末 75歳				○	○	×	×	○	×	
14	健診	年度末 74歳				初回			評価						年度末 75歳				○	○	×	×	△	×	実績評価前に75歳となった場合は 保健指導の対象外（報告はす るが途中終了）

3. 集計情報ファイルの計算方法 - 項目一覧 (1/3)

No	項目	備考	本資料の対象
1	特定健康診査対象者数 ※1	当該年齢層における対象者数	
2	特定健康診査の対象となる被扶養者の数	被用者保険の保険者のみ記録	
3	2のうち、特定健康診査受診券を配布した者の数	被用者保険の保険者のみ記録	
4	全体 特定健康診査受診者数 (人)	1のうち、定められた健診項目を全て受診した者の数	○
5	健診受診率 (%)	$= 4 / 1 * 100$	
6	評価対象者数 (人)	4の健診完了者に加え、全ての健診は受診できなかったものの、階層化が可能な対象者も含んだ数	○
7	内臓脂肪症候群該当者数 (人)		○
8	内臓脂肪症候群該当者割合 (%)	$= 7 / 6 * 100$	
9	内臓脂肪症候群予備群者数 (人)		○
10	内臓脂肪症候群予備群者割合 (%)	$= 9 / 6 * 100$	
11	服薬中の者 高血圧症の治療に係る薬剤を服用している者の数 (人)		○
12	高血圧症の治療に係る薬剤を服用している者の割合 (%)	$= 11 / 6 * 100$	
13	脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者の数 (人)		○
14	脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者の割合 (%)	$= 13 / 6 * 100$	
15	糖尿病の治療に係る薬剤を服用している者の数 (人)		○
16	糖尿病の治療に係る薬剤を服用している者の割合 (%)	$= 15 / 6 * 100$	
17	内臓脂肪症候群該当者の減少率 昨年度の内臓脂肪症候群該当者の数 (人)		
18	17のうち、今年度の内臓脂肪症候群予備群の数 (人)		
19	17のうち、今年度の内臓脂肪症候群予備群の割合 (%)	$= 18 / 17 * 100$	
20	17のうち、今年度の内臓脂肪症候群該当者・予備群ではなくなった者の数 (人)		
21	17のうち、今年度の内臓脂肪症候群該当者・予備群ではなくなった者の割合 (%)	$= 20 / 17 * 100$	
22	内臓脂肪症候群該当者の減少率	$= (18 + 20) / 17 * 100$	
23	内臓脂肪症候群予備群の減少率 昨年度の内臓脂肪症候群予備群の数 (人)		
24	23のうち、今年度の内臓脂肪症候群該当者・予備群ではなくなった者の数(人)		
25	23のうち、今年度の内臓脂肪症候群該当者・予備群ではなくなった者の割合 (%)	$= 24 / 23 * 100$	

※1 健診対象者数は当該年度で毎年4月1日を基準とし、その年度中に異動した者及び除外基準を満たす者を除く。

※2 検査結果の改善により、特定保健指導の対象から外れたのみをカウントする(服薬中の者となることにより、特定保健指導の対象から外れたものを除く)。

※ 「昨年度」欄には実施年度の前年度の集計結果をそのまま記録し、「増減」欄には「昨年度」欄の数値から「今年度」欄の数値を減じた数を記録する(単位が%の項目についてもそのまま減算した結果を記録)。なお、「今年度」欄や「昨年度」欄に小数点以下の数値が発生する場合は、それぞれの欄において端数処理(小数点以下第2位で四捨五入)を行った後に差異の計算を行う。

※ 健診受診率や内臓脂肪症候群該当者の割合等小数点以下の数値が生じうる事項については、小数点以下第2位で四捨五入を行い、小数点以下第1位までの値で記録することとする。なお、小数点以下の数値が生じない場合は小数点以下第1位については0を記録する。

※ 本報告は、主として健診結果・質問票情報及び保健指導情報のデータから集計を行う。なお、備考欄に算出式のあるものについては、健診結果・質問票等から集計しなくとも算出式を用いることで集計値の作成が可能。

3. 集計情報ファイルの計算方法 - 項目一覧 (2/3)

No	項目	備考	本資料の対象
26	保健指導対象者の減少率		
27	26のうち、今年度は特定保健指導対象でなくなった者の数 (人) ※2		
28	特定保健指導対象者の減少率 (%)	= 27 / 26 * 100	
29	特定保健指導対象者の減少率		
30	29のうち、今年度は特定保健指導の対象ではなくなった者の数 (人)		
31	特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率 (%)	= 30 / 29 * 100	
32	特定保健指導 (積極的支援レベル) の対象者数 (人)	6のうち、実施基準(※3)第8条第2項の規定に該当する者	○
33	特定保健指導 (積極的支援レベル) の対象者の割合 (%)	= 32 / 6 * 100	
34	特定保健指導開始前に、服薬確認により特定保健指導 (積極的支援レベル) 対象者から除外した者の数 (人)		○
35	特定保健指導 (積極的支援) の利用者数 (人)	初回面接を実施した者 (※4) の数	○
36	特定保健指導 (動機付け支援相当) の利用者数 (人)	初回面接を実施した者 (※4) の数	○
37	特定保健指導 (積極的支援レベル) の利用者の割合 (%)	= (35 + 36) / 32 * 100	
38	特定保健指導 (積極的支援) の終了者数 (人)	実績評価まで完了した者(実績評価において、度重なる連絡にも応答がなく未実施の場合も完了と見做す)	○
39	特定保健指導 (動機付け支援相当) の終了者数 (人)		○
40	特定保健指導開始後に、服薬確認により特定保健指導 (積極的支援) 対象者から除外した者の数 (人)		○
41	特定保健指導開始後に、服薬確認により特定保健指導 (動機付け支援相当) 対象者から除外した者の数 (人)		○
42	特定保健指導 (積極的支援レベル) の終了者の割合 (%)	= (38 + 39) / (32 - 40 - 41) * 100	
43	特定保健指導 (動機付け支援レベル) の対象者数 (人)	6のうち、実施基準(※3)第7条第2項の規定に該当する者	○
44	特定保健指導 (動機付け支援レベル) の対象者の割合 (%)	= 43 / 6 * 100	
45	特定保健指導開始前に、服薬確認により特定保健指導 (動機付け支援レベル) 対象者から除外した者の数 (人)		○
46	特定保健指導 (動機付け支援) の利用者数 (人)	初回面接を実施した者 (※4) の数	○
47	特定保健指導 (動機付け支援レベル) の利用者の割合 (%)	= 46 / 43 * 100	
48	特定保健指導 (動機付け支援) の終了者数 (人)	実績評価まで完了した者(度重なる連絡にも応答がなく未実施の場合も完了と見做す)	○
49	特定保健指導開始後に、服薬確認により特定保健指導 (動機付け支援) 対象者から除外した者の数 (人)		○
50	特定保健指導 (動機付け支援) の終了者の割合 (%)	= 48 / (43 - 49) * 100	
51	特定保健指導の対象者数 (小計) (人)	= 32 - 40 - 41 + 43 - 49	
52	特定保健指導の終了者数 (小計) (人)	= 38 + 39 + 48	
53	特定保健指導の終了者 (小計) の割合 (%)	= 52 / 51 * 100	

※3 特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する基準(平成19年厚生労働省令第157号)

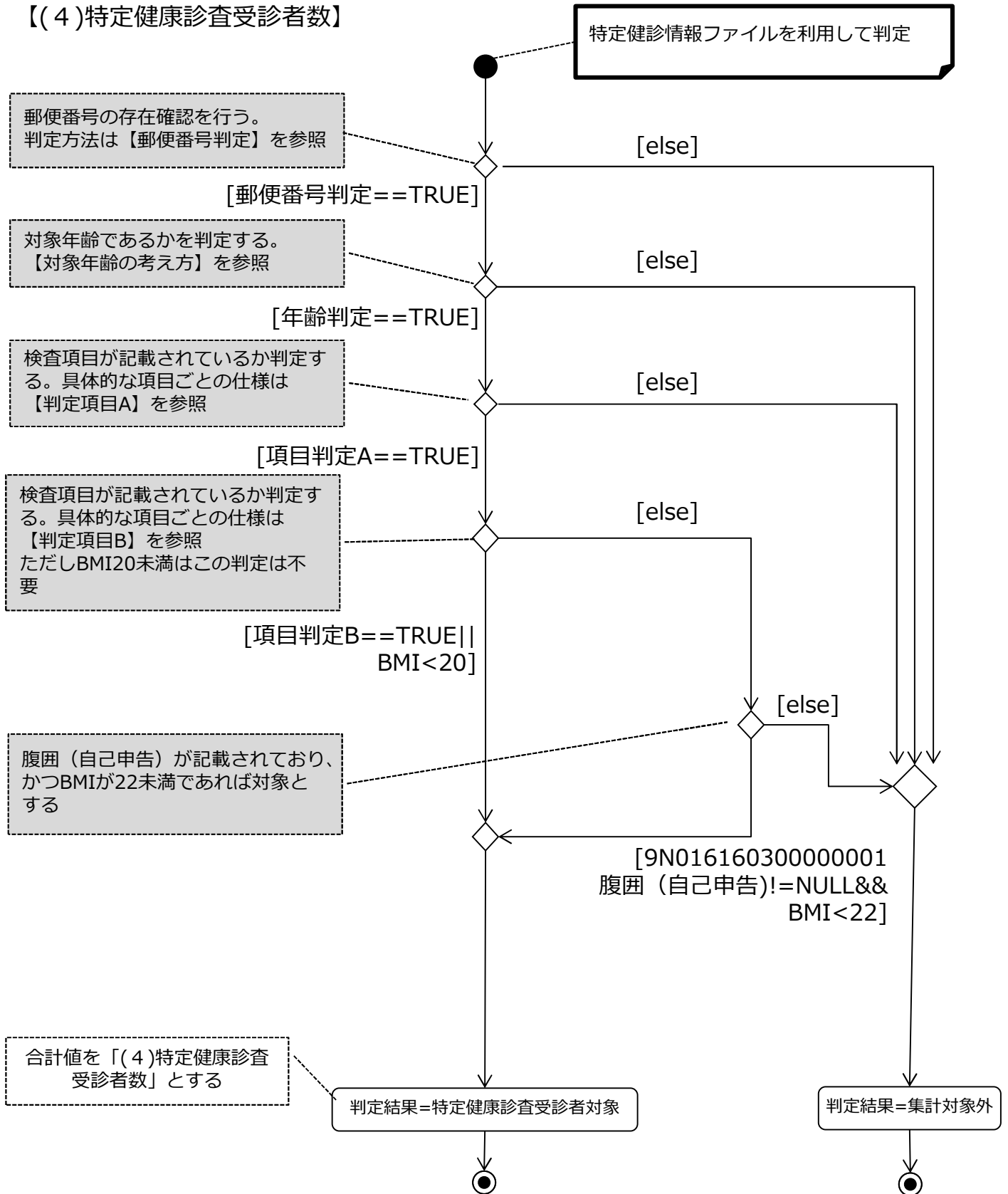
※4 初回面接未完了の者は含めない。

3. 集計情報ファイルの計算方法 - 項目一覧 (3/3)

No	項目	備考	本資料の対象
54	特定保健指導（積極的支援）終了者の腹囲 2 cm・体重 2 kg減達成者数（人）	38のうち、2cm・2kg減を達成した者の数	
55	特定保健指導（積極的支援）終了者の腹囲 2 cm・体重 2 kg減達成割合（%）	=54/38 * 100	
56	特定保健指導（積極的支援）終了者の腹囲 1 cm・体重 1 kg減達成者数（人）	38のうち、1cm・1kg減を達成した者の数	
57	特定保健指導（積極的支援）終了者の腹囲 1 cm・体重 1 kg減達成割合（%）	=56/38 * 100	
58	特定保健指導（積極的支援）終了者の生活習慣の改善(食習慣)者数（人）	38のうち、食習慣の改善した者の数	
59	特定保健指導（積極的支援）終了者の生活習慣の改善(食習慣)割合（%）	=58/38 * 100	
60	特定保健指導（積極的支援）終了者の生活習慣の改善(運動習慣)者数（人）	38のうち、運動習慣の改善した者の数	
61	特定保健指導（積極的支援）終了者の生活習慣の改善(運動習慣)割合（%）	60/38 * 100	
62	特定保健指導（積極的支援）終了者の生活習慣の改善(喫煙習慣)者数（人）	38のうち、喫煙習慣の改善した者の数	
63	特定保健指導（積極的支援）終了者の生活習慣の改善(喫煙習慣)割合（%）	=62/38 * 100	
64	特定保健指導（積極的支援）終了者の生活習慣の改善(休養習慣)者数（人）	38のうち、休養習慣の改善した者の数	
65	特定保健指導（積極的支援）終了者の生活習慣の改善(休養習慣)割合（%）	=64/38 * 100	
66	特定保健指導（積極的支援）終了者の生活習慣の改善(その他の生活習慣)者数（人）	38のうち、その他の生活習慣の改善した者の数	
67	特定保健指導（積極的支援）終了者の生活習慣の改善(その他の生活習慣)割合（%）	=66/38 * 100	

3. 集計情報ファイルの計算方法- 特定健康診査受診者数 (人)

【(4)特定健康診査受診者数】



3. 集計情報ファイルの計算方法- 特定健康診査受診者数（人）

【項目判定A】

以下のNo. 1 からNo.23の項目をすべてに記載がある場合に集計対象とする。

No.	項目コード	項目名	データタイプ	備考
1	9N001000000000001	身長	数字	
2	9N006000000000001	体重	数字	
3	9N011000000000001	B M I	数字	
4	9N056000000000011	既往歴	コード	
5	9N061000000000011	自覚症状	コード	
6	9N066000000000011	他覚症状	コード	
7	9N501000000000011	メタボリックシンドローム判定	コード	
8	9N506000000000011	保健指導レベル	コード	
9	9N701000000000011	服薬 1（血圧）	コード	
10	9N706000000000011	服薬 2（血糖）	コード	
11	9N711000000000011	服薬 3（脂質）	コード	
12	9N736000000000011	喫煙	コード	
13	9A755000000000001	収縮期血圧（その他）	数字	いずれかに健診結果の記載がある者
	9A752000000000001	収縮期血圧（2回目）	数字	
	9A751000000000001	収縮期血圧（1回目）	数字	
14	9A765000000000001	拡張期血圧（その他）	数字	いずれかに健診結果の記載がある者
	9A762000000000001	拡張期血圧（2回目）	数字	
	9A761000000000001	拡張期血圧（1回目）	数字	
15	3F015000002327101	空腹時中性脂肪（可視吸光光度法(酵素比色法・グリセロール消去)）	数字	いずれかに健診結果の記載がある者
	3F015000002327201	空腹時中性脂肪（紫外吸光光度法(酵素比色法・グリセロール消去)）	数字	
	3F015000002399901	空腹時中性脂肪（その他）	数字	
	3F015012992327101	随時中性脂肪（可視吸光光度法(酵素比色法・グリセロール消去)）	数字	
	3F015012992327201	随時中性脂肪（紫外吸光光度法(酵素比色法・グリセロール消去)）	数字	
	3F015012992399901	随時中性脂肪（その他）	数字	
16	3F070000002327101	HDL コレステロール（可視吸光光度法（直接法（非沈殿法）））	数字	いずれかに健診結果の記載がある者
	3F070000002327201	HDL コレステロール（紫外吸光光度法（直接法（非沈殿法）））	数字	
	3F070000002399901	HDL コレステロール（その他）	数字	
17	3F077000002327101	LDL コレステロール（可視吸光光度法（直接法（非沈殿法）））	数字	いずれかに健診結果の記載がある者
	3F077000002327201	LDL コレステロール（紫外吸光光度法（直接法（非沈殿法）））	数字	
	3F077000002399901	LDL コレステロール（その他）	数字	
	3F077000002391901	LDLコレステロール（計算法）	数字	
	3F069000002391901	non-HDLコレステロール	数字	
18	3B035000002327201	AST(GOT)（紫外吸光光度法（JSCC 標準化対応法））	数字	いずれかに健診結果の記載がある者
	3B035000002399901	AST(GOT)（その他）	数字	
19	3B045000002327201	ALT(GPT)（紫外吸光光度法（JSCC 標準化対応法））	数字	いずれかに健診結果の記載がある者
	3B045000002399901	ALT(GPT)（その他）	数字	
20	3B090000002327101	γ-GT(γ-GTP)（可視吸光光度法（JSCC 標準化対応法））	数字	いずれかに健診結果の記載がある者
	3B090000002399901	γ-GT(γ-GTP)（その他）	数字	
21	3D010000001926101	空腹時血糖（電位差法（ブドウ糖酸化酵素電極法））	数字	いずれかに健診結果の記載がある者
	3D010000002227101	空腹時血糖（可視吸光光度法（ブドウ糖酸化酵素法））	数字	
	3D010000001927201	空腹時血糖（紫外吸光光度法（ヘキソキナーゼ、グルコキナーゼ法、ブドウ糖脱水素酵素法））	数字	
	3D010000001999901	空腹時血糖（その他）	数字	
	3D010129901926101	随時血糖（電位差法（ブドウ糖酸化酵素電極法））	数字	
	3D010129902227101	随時血糖（可視吸光光度法（ブドウ糖酸化酵素法））	数字	
	3D010129901927201	随時血糖（紫外吸光光度法（ヘキソキナーゼ、グルコキナーゼ法、ブドウ糖脱水素酵素法））	数字	
	3D010129901999901	随時血糖（その他）	数字	
	3D046000001906202	HbA1C（免疫学的方法（ラテックス凝集比濁法等））	数字	
	3D046000001920402	HbA1C（HPLC（不安定分画除去法 HPLC 法））	数字	
	3D046000001927102	HbA1C（酵素法）	数字	
3D046000001999902	HbA1C（その他）	数字		
22	9N141000000000011	採血時間(食後)	コード	
23	1A020000000191111	尿糖（試験紙法（機械読み取り））	コード	尿蛋白および尿糖の記載がある者 もしくは検査未実施の理由に記載のある者
	1A020000000190111	尿糖（試験紙法（目視法））	コード	
	1A010000000191111	尿蛋白（試験紙法（機械読み取り））	コード	
	1A010000000190111	尿蛋白（試験紙法（目視法））	コード	
	9N512000000000011	検査未実施の理由	コード	

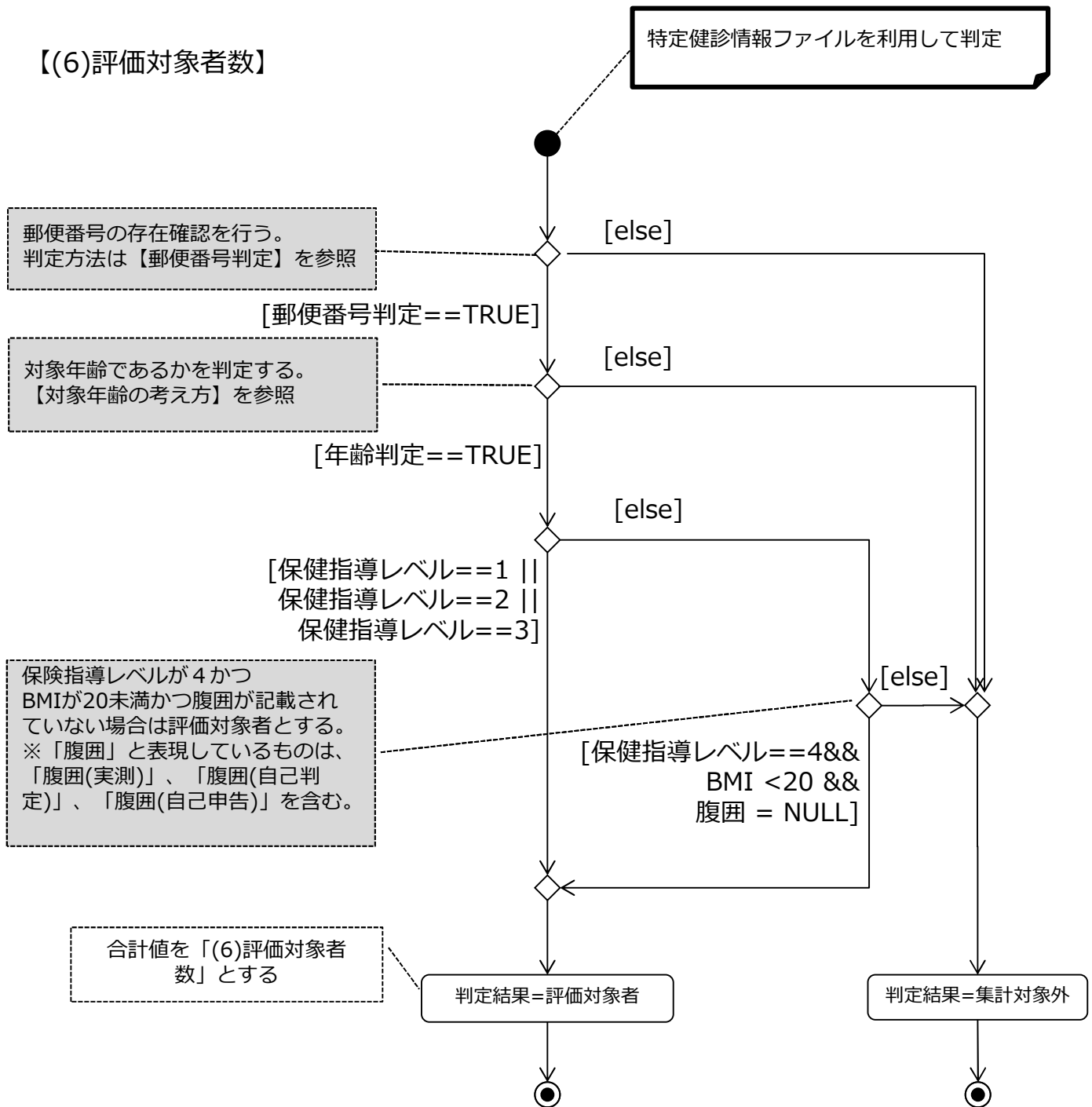
3. 集計情報ファイルの計算方法- 特定健康診査受診者数（人）

【項目判定B】

以下に当てはまる場合に集計対象とする。

No.	項目コード	項目名	データタイプ	備考
1	9N021000000000001	内臓脂肪面積	数字	いずれかに健診結果の記載がある者
	9N016160100000001	腹囲（実測）	数字	
	9N016160200000001	腹囲（自己判定）	数字	

3. 集計情報ファイルの計算方法- 評価対象者数



3. 集計情報ファイルの計算方法- 内臓脂肪症候群該当者数および予備群者数、薬剤を服用している者の数

【(7)内臓脂肪症候群該当者数、(9)内臓脂肪症候群予備群者数】

特定健診情報ファイルを用いた内臓脂肪症候群該当者数、内臓脂肪症候群予備群者数の該当者数の集計方法は以下の表に従う。

「評価対象者数」の判定は【(6)評価対象者数】を参照。

(7)内臓脂肪症候群該当者数	「(6)評価対象者数」のうち、「メタボリックシンドローム判定」が、「1:基準該当」である者の合計
(9)内臓脂肪症候群予備群者数	「(6)評価対象者数」のうち、「メタボリックシンドローム判定」が、「2:予備群該当」である者の合計

【(11)(13)(15)薬剤を服用している者の数】

特定健診情報ファイルを用いた服薬者数の集計方法は以下の表に従う。

(11)高血圧症の治療に係る薬剤を服用している者の数	「服薬1(血圧)」が「1:はい」である者 あるいは 「保険者再確認 服薬1(血圧)」が、「1:質問票の記載違い(服薬中)を確認」、「2:健診後に服薬開始を確認」である者の合計
(15)糖尿病の治療に係る薬剤を服用している者の数	「服薬2(血糖)」が「1:はい」である者 あるいは 「保険者再確認 服薬2(血糖)」が、「1:質問票の記載違い(服薬中)を確認」、「2:健診後に服薬開始を確認」である者の合計
(13)脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者の数	「服薬3(脂質)」が「1:はい」である者 あるいは 「保険者再確認 服薬3(脂質)」が、「1:質問票の記載違い(服薬中)を確認」、「2:健診後に服薬開始を確認」である者の合計

【(34)(45)特定保健指導開始前に、服薬確認により特定保健指導対象者から除外した者の数】

特定健診情報ファイルを用いて保健指導区分ごとに対象者から除外した者の数の集計方法は以下の表に従う。

(34)特定保健指導開始前に、服薬確認により特定保健指導(積極的支援レベル)対象者から除外した者の数	「(6)評価対象者数」のうち積極的支援に該当する者※であり、「項目判定C」表に該当する者の合計
(45)特定保健指導開始前に、服薬確認により特定保健指導(動機付け支援レベル)対象者から除外した者の数	「(6)評価対象者数」のうち動機付け支援に該当する者※であり、「項目判定C」表に該当する者の合計

※ただし階層化実施時点で服薬している者を除外しない(服薬有無を判定する前の判定結果を使用する)点に注意。「メタボリック判定・保健指導レベル判定ロジック」を参照のこと。

【項目判定C】

No.1とNo.2のいずれかの定義に該当する者を集計対象とする。

No.	項目コード	項目名	データタイプ	備考
1	9N701000000000011	服薬1(血圧)	コード	いずれか項目で「1:はい」の者
	9N706000000000011	服薬2(血糖)	コード	
	9N711000000000011	服薬3(脂質)	コード	
2	9N702167200000049	保険者再確認 服薬1(血圧)	コード	いずれか項目で「1:質問票の記載違い 服薬中を確認」もしくは「2:健診後に服薬開始を確認」の者
	9N707167200000049	保険者再確認 服薬2(血糖)	コード	
	9N712167200000049	保険者再確認 服薬3(脂質)	コード	

3. 集計情報ファイルの計算方法 - 積極的支援、動機付け支援相当、動機付け支援の利用者数

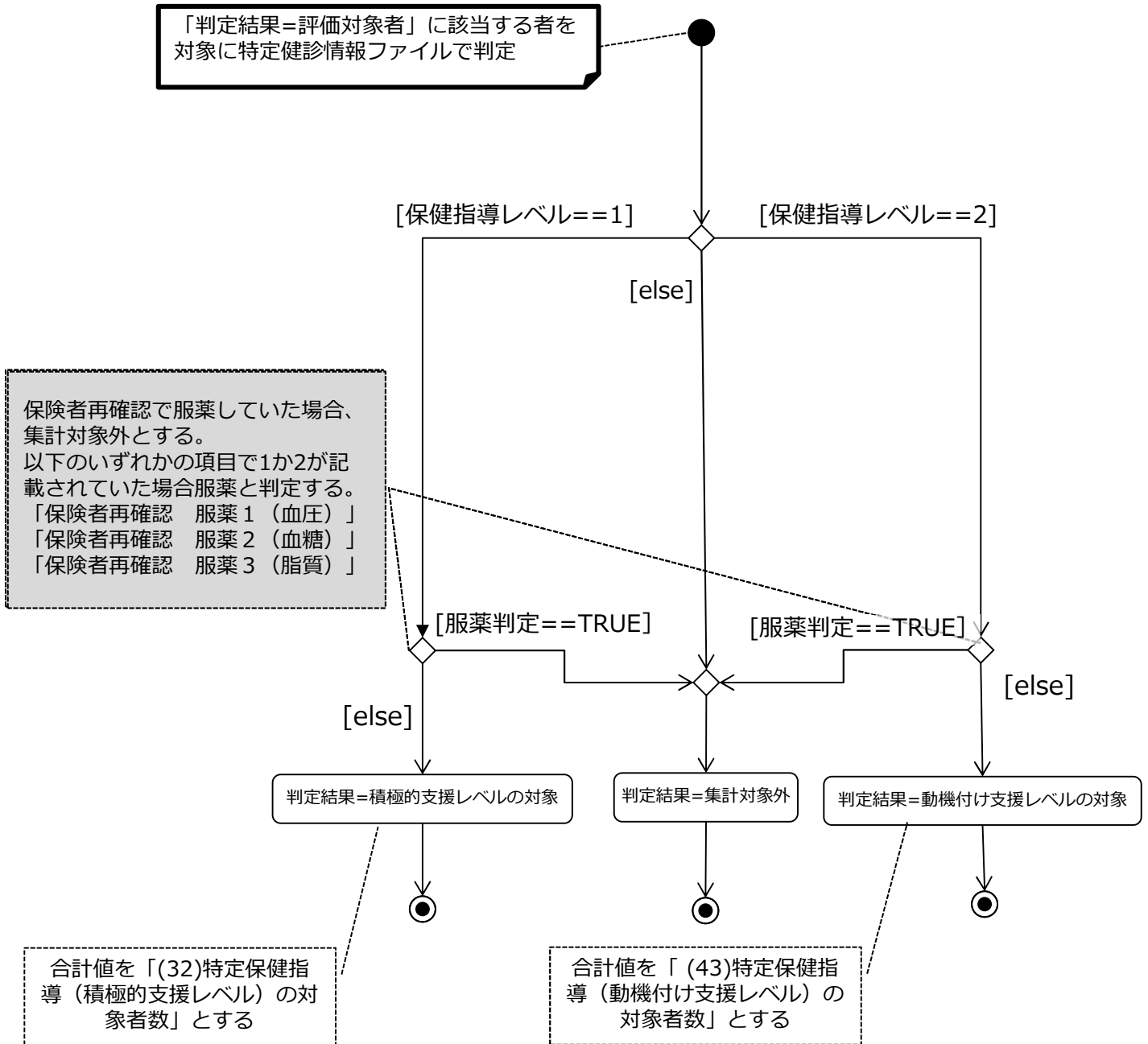
【(35)(36)(46)特定保健指導の利用者数】

保健指導の利用者数は保健指導の対象者数から保健指導区分、初回面接区分を用いて判定を行う。保健指導区分ごとの集計方法は以下の表に従う。

(35)特定保健指導（積極的支援）の利用者数	「(32)特定保健指導（積極的支援レベル）の対象者数」のうち、特定保健指導情報上の保健指導区分が「1：積極的支援」であり、指導初回情報セクション（90030）が存在する者の合計。
(36)特定保健指導（動機付け支援相当）の利用者数	「(32)特定保健指導（積極的支援レベル）の対象者数」のうち、特定保健指導情報ファイル上の保健指導区分が「3：動機付け支援相当」であり、指導初回情報セクション（90030）が存在する者の合計。
(46)特定保健指導（動機付け支援）の利用者数	「(43)特定保健指導（動機付け支援レベル）の対象者数」のうち、特定保健指導情報ファイル上の保健指導区分が「2：動機づけ支援」であり、指導初回情報セクション（90030）が存在する者の合計。

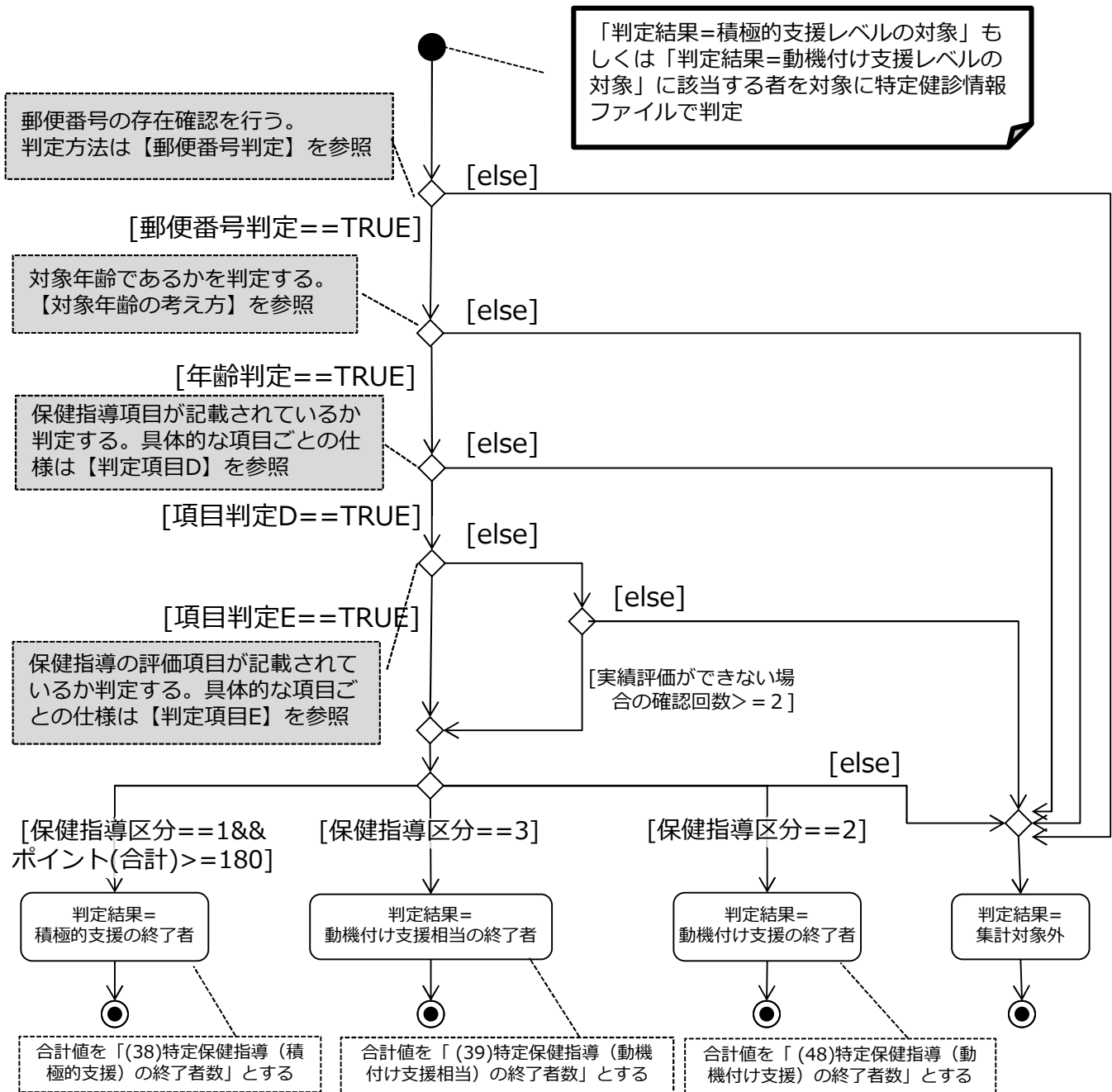
3. 集計情報ファイルの計算方法- 積極的支援対象者数、動機付け支援対象者数

【(32)特定保健指導（積極的支援レベル）の対象者数、
 (43)特定保健指導（動機付け支援レベル）の対象者数】



3. 集計情報ファイルの計算方法- 積極的支援終了者、動機付け支援相当終了者、動機付け支援終了者

【(38)特定保健指導（積極的支援）の終了者数、(39)特定保健指導（動機付け支援相当）の終了者数、(48)特定保健指導（動機付け支援）の終了者数】



【項目判定D】

以下のNo. 1 からNo.7の項目をすべてに記載がある場合に集計対象とする。

No.	項目コード	項目名	データタイプ	備考
1	1022000011	初回面接の実施日付	年月日	
2	1022000012	初回面接による支援の支援形態	コード	
3	1022000013	初回面接の実施時間	数字	
4	1022000015	初回面接の実施者	コード	
5	1042000011	実績評価の実施日付	年月日	
6	1042000012	実績評価の支援形態又は確認方法	コード	
7	1042000015	実績評価の実施者	コード	

3. 集計情報ファイルの計算方法- 積極的支援終了者、動機付け支援相当終了者、動機付け支援終了者

【項目判定E】

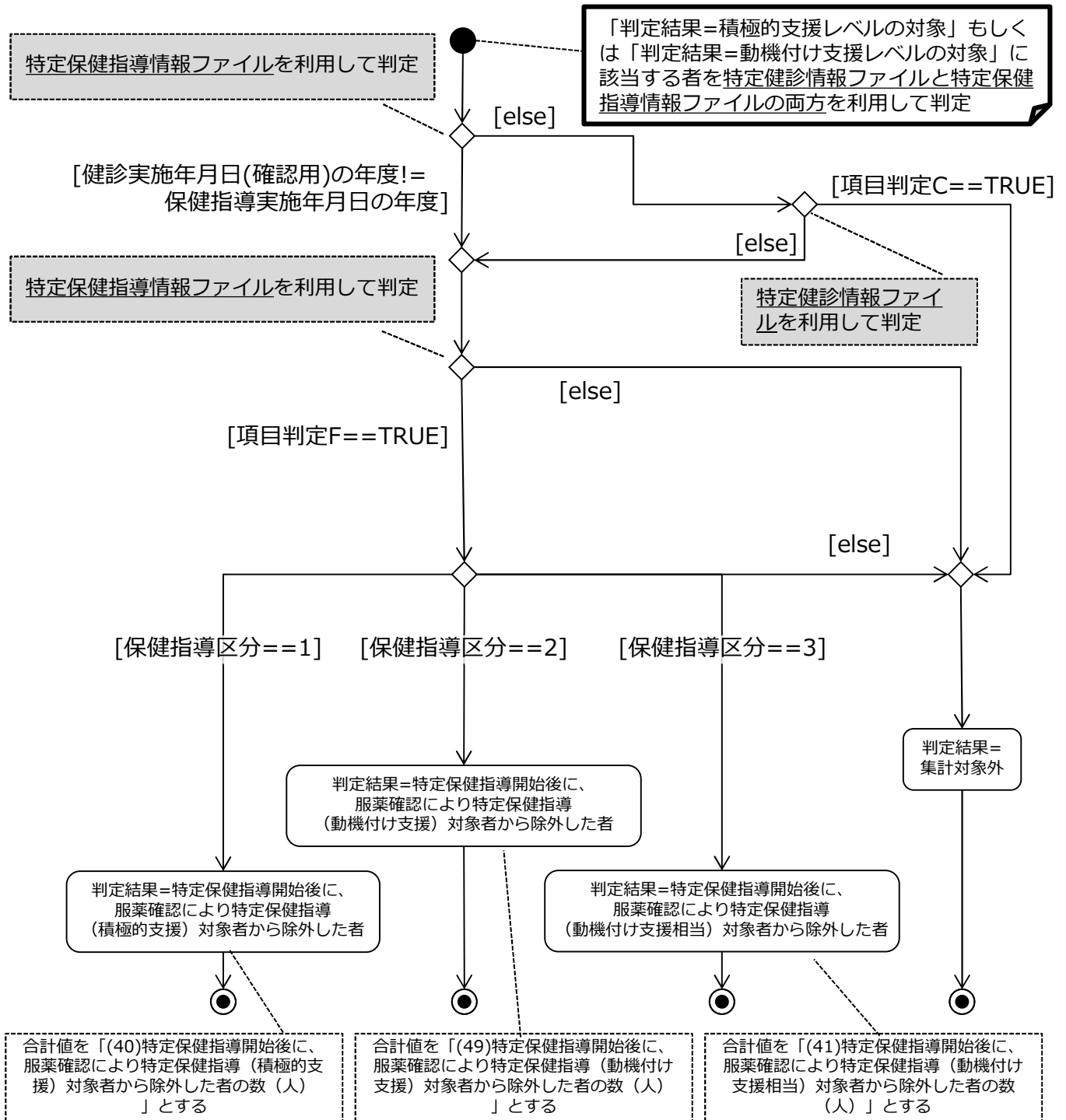
以下のNo. 1 からNo.11の項目をすべてに記載がある場合に集計対象とする。

No.	項目コード	項目名	データタイプ	備考
1	1042001031	実績評価時の腹囲	数字	
2	1042001032	実績評価時の体重	数字	
3	1042001044	実績評価時の腹囲・体重の改善	コード	
4	1042001042	実績評価時の生活習慣の改善(食習慣)	コード	
5	1042001041	実績評価時の生活習慣の改善(運動習慣)	コード	
6	1042001043	実績評価時の生活習慣の改善(喫煙習慣)	コード	
7	1042001045	実績評価時の生活習慣の改善(休養習慣)	コード	
8	1042001046	実績評価時の生活習慣の改善(その他の生活習慣)	コード	
9	1042001060	実績評価時のポイント(アウトカム評価の合計)	数字	

3. 集計情報ファイルの計算方法-保健指導以後に服薬中のため対象者から除外した者の数

【(40)(41)(49)特定保健指導開始後に、服薬確認により特定保健指導対象者から除外した者の数】

保健指導区分ごとに下記項目判定Fの定義に該当する者を集計対象とする。



【項目判定F】

以下に当てはまる場合に集計対象とする。

No.	項目コード	項目名	データタイプ	備考
1	1020000005	保健指導後 服薬1 (血圧)	コード	いずれか項目で「1:保健指導以後に服薬開始を確認」の者
	1020000006	保健指導後 服薬2 (血糖)	コード	
	1020000007	保健指導後 服薬3 (脂質)	コード	